SQUARE ENIX®
SE-MOOK



KINGDOM HEARTS SERIES MEMORIAL ULTIMANIA

Before KINGDOM HEARTS III

キングダム ハーツ シリーズ
メモリアル アルティマニア

KINGDOM HEARTS SERIES MEMORIAL ULTIMANIA

Before KINGDOM HEARTS III

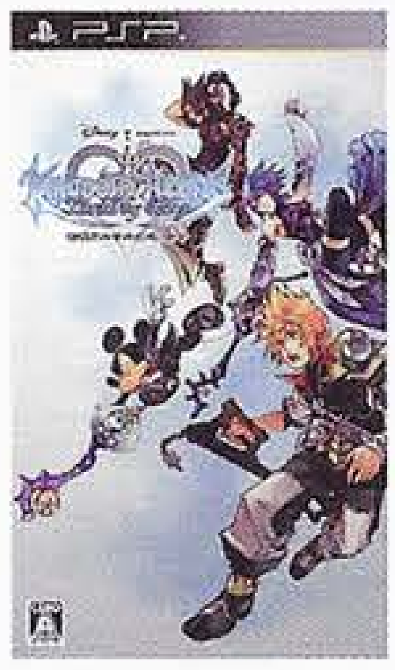
キングダム ハーツ シリーズ　メモリアル アルティマニア

KINGDOM HEARTS
SERIES

キングダム ハーツ バース バイ スリープ

発売日
2010年1月9日

機種
プレイステーション・ポータブル



かつて世界を闇で覆った「キーブレード戦争」の再現をもくろむマスター・ゼアノート。その野望を阻止せんと、3人の若者――テラ、ヴェントゥス、アクアが立ち上がる。

関連タイトル

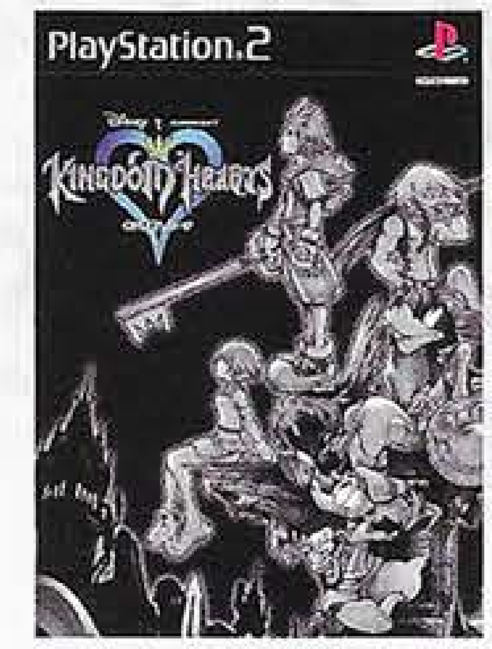
●『キングダム ハーツ バース バイ スリープ ファイナル ミックス』
発売日 2011年1月20日　**機種** プレイステーション・ポータブル

●『キングダム ハーツ バース バイ スリープ ファイナル ミックス』(HDリミックス版)
発売日 2014年10月2日　**機種** プレイステーション3
※『キングダム ハーツ HD2.5リミックス』に収録

キングダム ハーツ

発売日
2002年3月28日

機種
プレイステーション2



マレフィセントら闇の勢力によって、世界は闇に飲みこまれようとしていた。偶然キーブレードを手に入れたソラは、異なる世界の者たちとの絆を力に変え、闇の勢力と戦う。

関連タイトル

●『キングダム ハーツ ファイナル ミックス』
発売日 2002年12月26日　**機種** プレイステーション2

●『キングダム ハーツ ファイナル ミックス』(HDリミックス版)
発売日 2013年3月14日　**機種** プレイステーション3
※『キングダム ハーツ HD1.5リミックス』に収録

物語の流れ

はるか未来 → 約10年後 → 直後 →

『KHI』終盤

キングダム ハーツ キー

サービス開始日
2013年7月18日

機種
PC(ブラウザゲーム)

おとぎ話でしか語られない大昔――光をもたらす"キングダム ハーツ"と、それと対をなすX(キー)ブレードによって守られていた世界に、闇がはびこりはじめた。人々は闇を払うため、Xブレードを模したキーブレードを生み出し、世界をめぐる。

キングダム ハーツ チェイン オブ メモリーズ

発売日
2004年11月11日

機種
ゲームボーイアドバンス



忘却の城を訪れたソラは、謎の組織"機関"の手で記憶を書きかえられていく。一方リクも、この城で己の心の闇に立ち向かっていた。戦いの果てに、彼らは何を得るのか?

関連タイトル

●『キングダム ハーツ Re:チェイン オブ メモリーズ』
発売日 2007年3月29日　**機種** プレイステーション2
※『キングダム ハーツII ファイナル ミックス+』に収録

●『キングダム ハーツ Re:チェイン オブ メモリーズ』(HDリミックス版)
発売日 2013年3月14日　**機種** プレイステーション3
※『キングダム ハーツ HD1.5リミックス』に収録

TITLES

【『キングダム ハーツ』シリーズ 一覧】
第１作の発売以来、数多くの作品にわたって壮大なストーリーがつむがれてきた『キングダム ハーツ』シリーズ。きたるべき最新作に備えて、各タイトルでどのようなエピソードが描かれていたのか、おさらいをしておこう。

キングダム ハーツII

発売日
2005年12月22日

機種
プレイステーション2



ロクサスの"偽りの夏休み"が終わりを告げたとき、ソラは１年の眠りから目覚めた。新たな危機に瀕した世界を救うため、ソラは仲間と一緒にふたたび旅立つ。

関連タイトル

●『キングダム ハーツII ファイナル ミックス』
発売日 2007年3月29日　機種 プレイステーション2
※『キングダム ハーツII ファイナル ミックス+』に収録

●『キングダム ハーツII ファイナル ミックス』(HDリミックス版)
発売日 2014年10月2日　機種 プレイステーション3
※『キングダム ハーツ HD2.5リミックス』に収録

キングダム ハーツ 3D［ドリーム ドロップ ディスタンス］

発売日
2012年3月29日

機種
ニンテンドー3DS



間近に迫るマスター・ゼアノートの脅威に対抗すべく、ソラとリクはキーブレードマスターの承認試験に挑む。眠りに閉ざされた世界へと向かった彼らを待つものは……？

約1年後 → キングダム ハーツII → しばらくあと → キングダム ハーツ コーデッド → しばらくあと → キングダム ハーツ 3D → ？ → キングダム ハーツIII

『KHII』直前

キングダム ハーツ 358/2 Days

発売日
2009年5月30日

機種
ニンテンドーDS



ゼムナスに拾われXIII機関の一員となったロクサスは、淡々と任務をこなす毎日を送っていた。だが、アクセルやシオンと過ごすうちに、自身の存在に疑問を覚えはじめる。

関連タイトル

●『キングダム ハーツ 358/2 Days』(HDリメイク版)
発売日 2013年3月14日　機種 プレイステーション3
※映像作品として『キングダム ハーツ HD1.5リミックス』に収録

キングダム ハーツ コーデッド

配信開始日
2009年6月3日

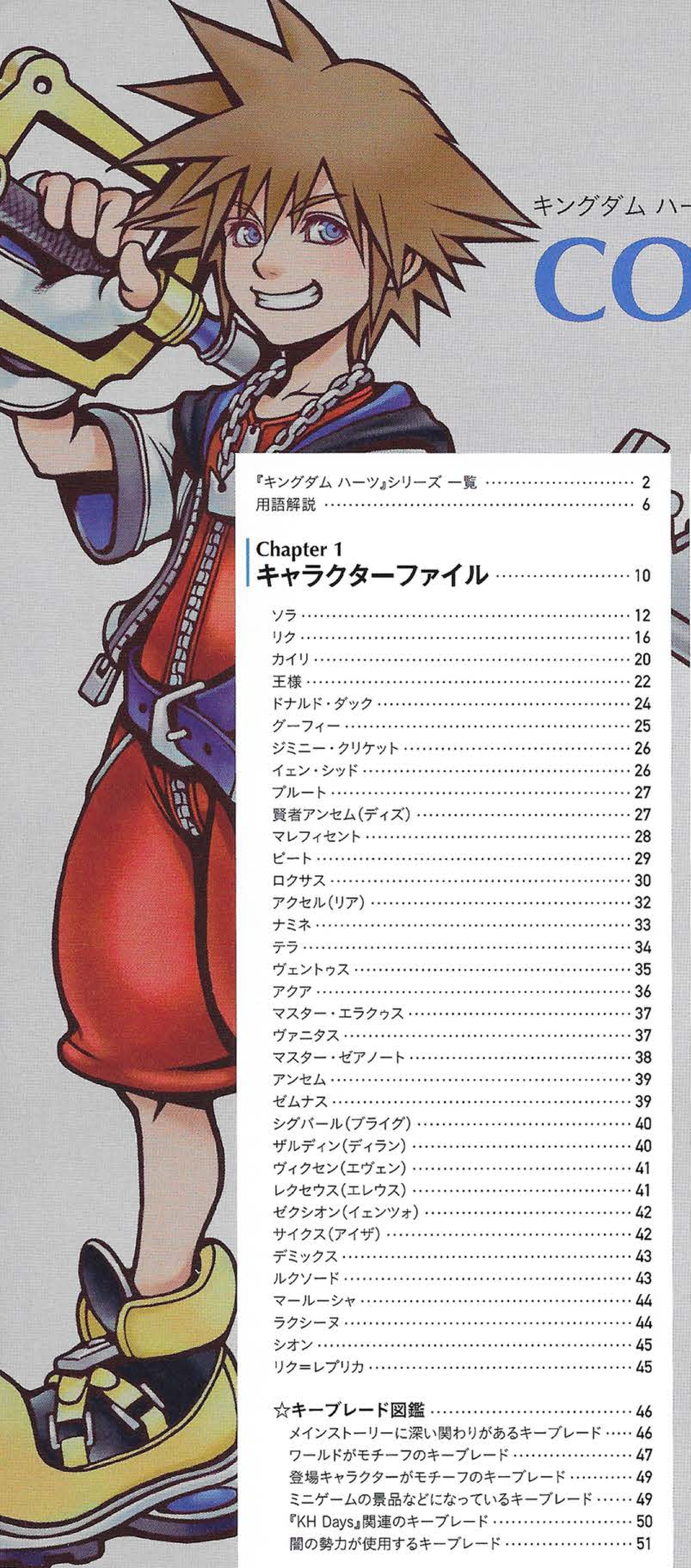
機種
携帯電話(iモード)

ある日突然、ジミニーメモの空白だったページに謎のメッセージが浮かび上がった。疑問を抱いた王様はメモをデータ化し、データのソラに調べてもらうことを思いつく。

関連タイトル

●『キングダム ハーツ Re:コーデッド』
発売日 2010年10月7日　機種 ニンテンドーDS

●『キングダム ハーツ Re:コーデッド』(HDリメイク版)
発売日 2014年10月2日　機種 プレイステーション3
※映像作品として『キングダム ハーツHD2.5リミックス』に収録



キングダム ハーツ シリーズ　メモリアル アルティマニア

CONTENTS

もくじ

Chapter 3
メインストーリープレイバック …… 112

Chapter 4
アートギャラリー …… 168

折りこみポスター

【表】『キングダム ハーツ』シリーズ人物相関図

【裏】ゼアノート行動記録



※本書では『キングダム ハーツ』シリーズの各作品を以下の略号で記しています

KHⅠ	『キングダム ハーツ』
KHⅠ FM	『キングダム ハーツ ファイナル ミックス』
KH COM	『キングダム ハーツ チェイン オブ メモリーズ』
KHⅡ	『キングダム ハーツⅡ』
KHⅡ FM	『キングダム ハーツⅡ ファイナル ミックス』
KH Re:COM	『キングダム ハーツ Re:チェイン オブ メモリーズ』
KH Days	『キングダム ハーツ 358/2 Days』
KH coded	『キングダム ハーツ コーデッド』
KH BbS	『キングダム ハーツ バース バイ スリープ』
KH Re:coded	『キングダム ハーツ Re:コーデッド』
KH BbS FM	『キングダム ハーツ バース バイ スリープ ファイナル ミックス』
KH 3D	『キングダム ハーツ 3D［ドリーム ドロップ ディスタンス］』
KH χ	『キングダム ハーツ キー』
KH HD1.5リミックス	『キングダム ハーツ HD1.5リミックス』
KH HD2.5リミックス	『キングダム ハーツ HD2.5リミックス』
KHⅢ	『キングダム ハーツⅢ』
『KH』シリーズ	『キングダム ハーツ』シリーズ

※本書では、オリジナル版と派生作（ファイナルミックス版やリメイク版）で共通する内容の場合はオリジナル版の作品名（『KHⅠ』『KH COM』など）、派生作で新たに追加された内容の場合は派生作の作品名（『KHⅠ FM』『KH Re:COM』など）を使用しています

※本書で掲載している画面写真は、『KH 3D』をのぞき、基本的に『KH HD1.5リミックス』および『KH HD2.5リミックス』のものです

WORDS encyclopedia

【用語解説】
光と闇の世界を舞台に人の心のつながりを描く、『キングダム ハーツ』の物語。キーブレードをはじめとするシリーズ独自の用語や、世界に関する基本的なルールを、全作品を見通した形で解説しよう。



世界

『キングダム ハーツ』シリーズの舞台は、「光の世界」「闇の世界」「狭間の世界」に大別される。光の世界にはたくさんのワールドがあり、そのひとつひとつが空の星々を形成している。

光の世界

●I ●COM ●II ●Days ●coded ●BbS ●3D

人々が暮らす、光に満ちた世界。大昔はひとつだったが、一度崩壊し、無数の小さな世界(ワールド)にわかれた。個々のワールドは見えない壁で覆われ、特殊な手段を使わなければ行き来できない。また、異なるワールドを安易に出入りすることは、互いの秩序を乱しかねないので、原則として禁止されている。

各ワールドはそれぞれ「世界の心」を持ち、そこへ通じる扉が開かれると、闇の力で壁がくずれる。壁の断片は流星となって降り注ぎ、星を渡る船「グミシップ」の材料となる。



⬆世界の秩序を乱さぬよう、ドナルドとグーフィーはディズニーキャッスルの王宮服から着替え、どこからきたかを伏せて旅をする。

データ世界 [●II][●coded]

データをもとに作られた、仮想空間内に展開する世界。『KH coded』で王様が1冊目のジミニーメモのデータから再現した世界のほか、『KHⅡ』でディズが用意した、ロクサスが偽りの夏休みを過ごすトワイライトタウンなどが該当する。



⬅ロクサスがいたトワイライトタウンは、ソラが眠るポッドとつながるコンピュータ内のデータ世界。

眠りに閉ざされた世界 [●3D]

『KHⅠ』で闇に飲まれたワールドの多くはソラがアンセムを倒すと復活したが、そのいくつかは闇の眠りについたままとなった。これが『KH 3D』の舞台となる、「眠りに閉ざされた世界」だ。眠りに閉ざされた世界は、キーブレードで「眠りの鍵穴」が開かれると目覚めて、再生への道を歩み出す。

ワールド間の移動方法

光の世界の各ワールドは、「星の大海」「異空の海」と呼ばれる空間に浮かぶ。ソラたちは、グミシップを使ったり特殊な回廊を開けたりして、ワールド間を移動する。

グミシップ [●I][●II]

ディズニーキャッスルで開発された、星の大海を渡るのに用いられる船。ワールドの壁の破片である星のカケラ(グミ)をパーツとし、乗員の笑顔を原動力に動く。



⬅外見はオモチャのようだが、星の大海にうごめくハートレスの船団と互角に戦えるだけの性能を持つ。

星のカケラ [●BbS]

流星となったワールドの壁の破片。王様は『KH BbS』で、不思議な塔から持ち出した星のカケラの力で各地を旅する。



異空の回廊／闇の回廊 [●II][●Days][●BbS][●3D]

ワールド間を行き来するための道が「異空の回廊」で、キーブレード使いはキーブレードの力によって、これを開くことができる。また、闇の住人は、闇の力で回廊を開けられるが、その場合は「闇の回廊」として区別される。回廊を通ると心身が闇にむしばまれるので、闇の住人でも多用するのは危険。



⬅テラたちは、師が用意した異空の回廊のゲートを開き、変形させたキーブレードに乗って回廊を進む。



➡XIII機関の黒コートやディズの赤いマント、テラたちの鎧は、回廊を通るときに防護服の役目を果たす。

闇の世界

●I ●II ●BbS

光の世界のいわば裏側に位置する異世界。基本的に人間はおらず、ハートレスたち闇の化け物であふれている。

光と闇の2世界を結ぶ扉には、「闇の扉」と「光の扉」の2種類がある。闇の扉は闇の住人だけ、光の扉は光の世界の住人だけしかくぐることができない(右ページを参照)。



⬆アンセムに肉体を乗っ取られたリクは、闇の世界に心が放り出され、身体を取りもどしたあともそのまま閉じこめられた。

狭間の世界

●COM ●II ●Days ●BbS ●3D

光と闇の狭間に存在する世界。光の世界にくらべて、属しているワールドは少ない。また、空間的に不安定なので、闇の回廊が突然口を開けることがある。

● **世界同士の位置関係**





心

『キングダム ハーツ』の世界では、人間や生き物のみならず、すべての存在に心が宿るとされている。そんなあらゆる心の集合体が、「大いなる心」——“キングダムハーツ”だ。

世界の心と鍵穴

●I

光の世界に点在するワールドはどれも、「世界の心」を持つ。世界の心とは、その世界を形成するものすべての心の集合体で、世界のどこかにある鍵穴の奥に隠されている。

世界の心の鍵穴は、闇の世界にも通じている。鍵穴はふだんは閉じており、世界は闇から守られる反面、外の世界への道も閉ざされている。鍵穴が開くと、世界を覆う壁が壊れて外の世界との行き来が可能になるが、闇の力の流入も許すことになるため、その世界は危険にさらされてしまう。『KHⅠ』では最初から世界の心の鍵穴が開いており、ソラたちはそれを閉じるために冒険する。



⬅世界の心の鍵穴は通常は隠されており、キーブレードをかざすと姿を見せる。



➡リクは幼いころキーブレード継承の儀式を受けたため、人には見えない鍵穴を見ることができた。

冒険のさいに開閉する鍵穴

世界の心の鍵穴以外にも、世界にはさまざまな鍵穴がある。『KHⅠ』以外の作品では、世界の心の鍵穴とは異なる鍵穴をキーブレードで開き、世界をめぐっていく。

● 鍵穴をめぐる主人公の行動

作品	主人公	行動
●I	ソラ	闇の侵入を食い止めるためにグミシップで旅し、開いてしまった世界の心の鍵穴を閉じていく
●II	ソラ	世界の再生を助けるべく、世界が用意したゲートの鍵穴を開き、グミシップで旅する
●codec	データ・ソラ	バグに侵されたジミニーメモのデータを修復するため、各データ世界の鍵穴を開けてバグを取りのぞいていく
●BbS	テラ ヴェントゥス アクア	エラクゥスが用意した異空の回廊への鍵穴を開き、世界をめぐる(目的は3人それぞれ異なる)
●3D	ソラ リク	マスター承認試験に挑戦し、世界が見ている夢づたいに世界を渡って、眠りの鍵穴を開いていく



⬆『KHⅠ』以外の作品では、閉じている鍵穴を開いていくことがほとんどだ。

“キングダムハーツ”

●I ●II ●Days ●BbS ●3D

この世の心が集約されたもの。「王国の心」「世界の中心」とも呼ばれ、大いなる力の源、知識の宝庫とされる。

かつて人々は“キングダムハーツ”を「大いなる光の心」と見なし、これを求めて世界を滅ぼすほどの戦争を起こした(→P.8)。そのため、現在“キングダムハーツ”は厳重に封印され、容易には近づけない。マスター・ゼアノートをはじめとする闇の勢力はあの手この手で“キングダムハーツ”に近づこうとし、ソラたちはそれを阻止すべく戦う。

“世界の心のキングダムハーツ”[●I]

世界の心を集約させた“キングダムハーツ”。そこへ通じる鍵穴は、セブンプリンセスの心でできた「人の心のキーブレード」で導かれる。『KHⅠ』でマレフィセントやアンセムはハートレスを使って世界の心を奪い、“世界の心のキングダムハーツ”を目指す。

“人の心のキングダムハーツ”[●II][●3D]

人の心を集約させた“キングダムハーツ”。XIII機関は、これと一体化すれば自分たちが完全になれると信じ、ハートレスから解放された心を集めて“人の心のキングダムハーツ”を作る。もっとも、機関を率いるゼムナスの狙いは、“人の心のキングダムハーツ”を媒介にゼアノートの心をメンバーに植えつけ、「13の闇」を作ることだった(→P.9)。



⬅XIII機関の城の上空には、作られている途中の“人の心のキングダムハーツ”が浮かぶ。

真の“キングダムハーツ”[●BbS][●3D]

上記ふたつのような人工的に作られたものではなく、この世の最初から存在するキングダムハーツ。はるか昔にキーブレード戦争で争われて闇に飲まれたが、対をなす存在の「χブレード」があれば、再度姿を見せるという。



⬆マスター・ゼアノートの目的は、χブレードで真の“キングダムハーツ”の扉を開き、キーブレード戦争を再来させること(→P.8)。

闇の扉と光の扉

“キングダムハーツ”へとつづく扉は、闇の世界につながる「闇の扉」でもある。闇の扉は闇の存在しか通れず、扉を封印するには光の世界のキーブレードと闇の世界のキーブレードのふたつが必要で、それぞれの持ち主が光の世界と闇の世界の両方の側から力を合わせなければならない。

闇の扉と対をなすものとして、「光の扉」がある。闇の世界に迷いこんでしまった光の住人にとって帰り道となるこの扉は、言うなれば人の心のなかに存在し、心の持ちようをきっかけにして現れる。



⬆闇の世界でキーブレードを手にした王様は、光の世界にいるソラと協力し、闇の扉を封印した。



⬆闇の世界に残されたソラとリクは、カイリの手紙を読んで希望を抱き、光の扉を見いだす。

セブンプリンセス

●I ●II ●BbS ●3D

「闇なき光の心」を持ち、存在自体が光の世界の根幹を支える、7人の女性。“キングダムハーツ”を導くことができるがゆえに、闇の勢力から狙われる。





⬆プリンセスはそれぞれ異なる世界に住むが、ヴィランズ(→P.9)の手で集められ、人の心のキーブレードを作るのに利用された。



カギ

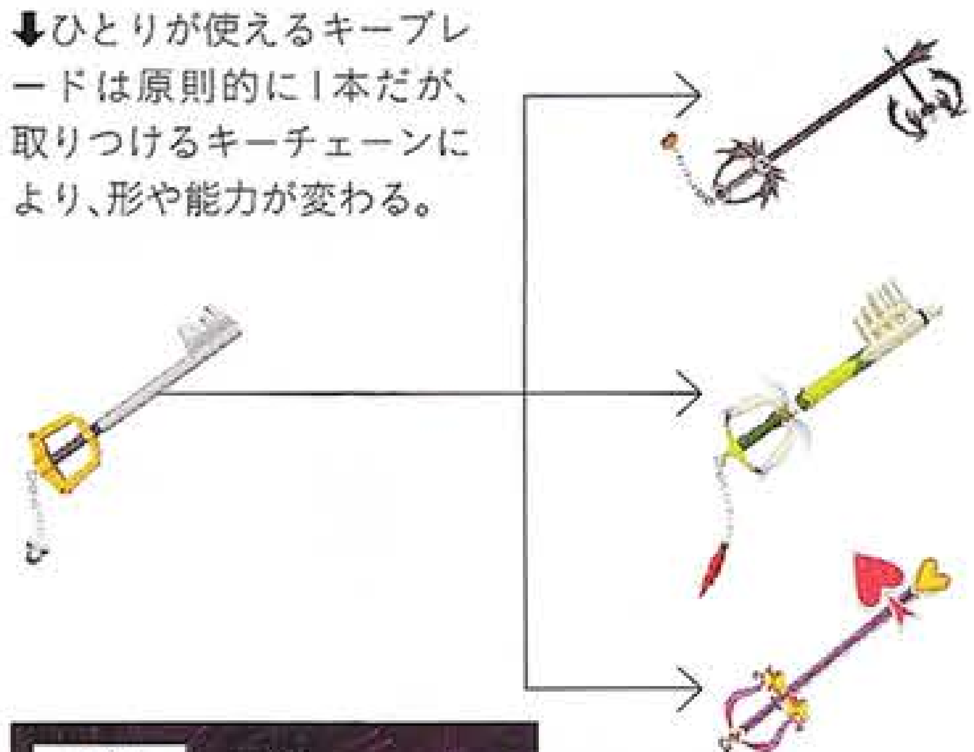
選ばれし者の手に現れ、あらゆることの"カギ"となる不思議な武器——キーブレード。心の力の証であるこの武器を使ってソラたちは道を拓き、闇の勢力に立ち向かう。

キーブレード

●I ｜ ●COM ｜ ●II ｜ ●Days ｜ ●coded ｜ ●BbS ｜ ●3D

さまざまな事象を起こす力を持つ、カギ型の武器。闇の存在を打ち倒し、闇の化け物ハートレスにとらわれた心を解放できる。また、文字どおり「鍵」として使うことで、「世界の心」の鍵穴をはじめとするあらゆる鍵穴を開閉でき、大いなる力の源"キングダムハーツ"への道を導き出す。

もともとキーブレードは、"キングダムハーツ"を求める人々の争いの道具として作られ、「キーブレード戦争」を引き起こした。その反省から、現在キーブレードの使い手は原則として光の世界の監視者として動き、それゆえ「光の勇者」と呼ばれることが多い。



⬇ひとりが使えるキーブレードは原則的に1本だが、取りつけるキーチェーンにより、形や能力が変わる。



⬅テラたちが使うキーブレードは、乗り物に変形し、持ち主を乗せて異空の回廊を渡る。

キーブレードが使える仕組み

キーブレードは、継承の儀式を経たのち、キーブレード自身から選ばれることで使えるようになる。継承の儀式は、キーブレードを介してキーブレードマスターと触れ合うと完了し、新たな使い手は、マスターのものとは別のキーブレードを使う。キーブレードが使い手を選ぶ基準は、対象が強い心を持つかどうかで、その心の善悪は関係ない。

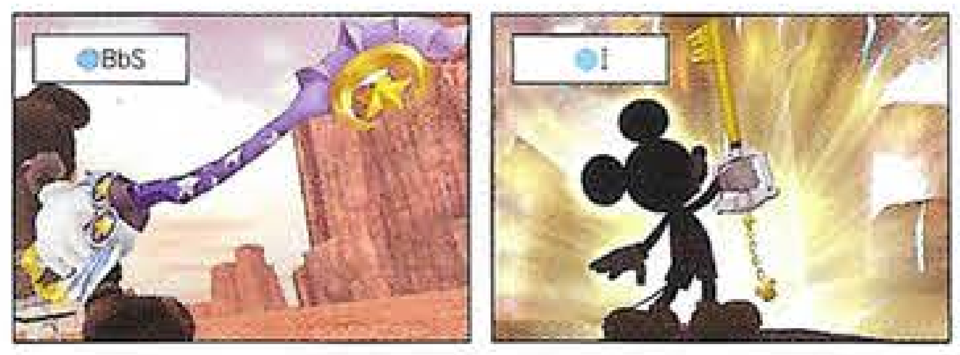
キーブレードは心の力の象徴であり、使い手の心の数だけ存在する。ソラはふたつの心を持つため、例外的に二刀流が可能(→P.13)。また、ソラは、継承の儀式を受けずにキーブレードが使えるようになった珍しい例でもある。



⬆リクは幼少時にテラから継承の儀式を受け、同じころカイリはアクアのキーブレードに偶然触れることで継承の条件を満たした。

光の世界のキーブレード／闇の世界のキーブレード ［●I］

キーブレードには、光の世界に属するものと闇の世界に属するものがある。これらは"キングダムハーツ"の扉の内カギと外カギの役割を果たすだけで、「闇の世界のものなら闇の力を持つ」といったことはない。物語中に登場するキーブレードのほとんどは、光の世界のものとなっている。



⬆王様は、『KH BbS』の時代は光の世界のキーブレードを、『KH I』以降は闇の世界のものを使う。

人の心のキーブレード ［●I］

セブンプリンセスの心でできた、特殊なキーブレード。"世界の心のキングダムハーツ"へつづく鍵穴を出現させる力のほか、人の心を開いて取り出し、相手を闇に堕とす力を持つ。『KH I』でアンセムがこれを作るが、カイリの心が足りず、不完全なものになった。



キーブレードマスター ［●BbS］［●3D］

キーブレード使いのなかでも、とくにすぐれた者。基本的には、「光の監視者」にふさわしい者が、師に認定されることでマスターになる。キーブレード継承の儀式を行なったり、自分の心を取り出して別の身体に移したりできるのは、キーブレードマスター(もしくはそれに類する力の持ち主)のみ。



マスター・エラクゥス　マスター・ゼアノート　王様　アクア



リク

⬅⬆王様は『KH BbS』の最後に、アクアは同作品の序盤に、リクは『KH 3D』の最後に、それぞれキーブレードマスターとして認められる。



⬆マスター・エラクゥスは、キーブレードマスターのなかでも代々ただひとり選ばれる、旅立ちの地を守護する正統後継者だった。

キーブレード戦争

●I ｜ ●BbS ｜ ●3D

はるか昔、"キングダムハーツ"をめぐってキーブレード使いたちが起こした戦争。この戦争の結果、光の世界は闇に飲まれて一度消滅し、子どもたちの心の光のおかげで再生したものの、小さなワールドにわかれてしまった。そうした事実は、光と闇をめぐるおとぎ話として語り継がれている。



⬆光と闇の均衡を理想とするマスター・ゼアノートは、現在の世界は光が強すぎるとして、キーブレード戦争の再来をもくろんでいる。

χブレード（キーブレード）

●BbS ｜ ●3D

真の"キングダムハーツ"を導くカギ。読みかたは「キーブレード」だが、ほかのキーブレードとは似て非なるもので、真の"キングダムハーツ"とともに世界の最初から存在し、あらゆるキーブレードの原型となった。キーブレード戦争のさいに砕け散り、7つの光と13の闇にわかれたので現存しないが、純粋な光の心と純粋な闇の心が均等な力で合わさると、ふたたび生み出せるという。

マスター・ゼアノートは、χブレードを完成させるべく10年以上前から暗躍している。『KH 3D』の時点では、自分とその分身で「13の闇」をそろえ、「7つの光」とぶつけることでχブレードを生む計画を進行中。



⬅ヴェントゥスの光の心とヴァニタスの闇の心が融合して誕生したχブレード。2本のキーブレードがX字型に交差した形状をしている。



⬆「13の闇」と「7つの光」を交錯させることでχブレードを生む——それが、現在マスター・ゼアノートが進めている計画だ。



闇の勢力

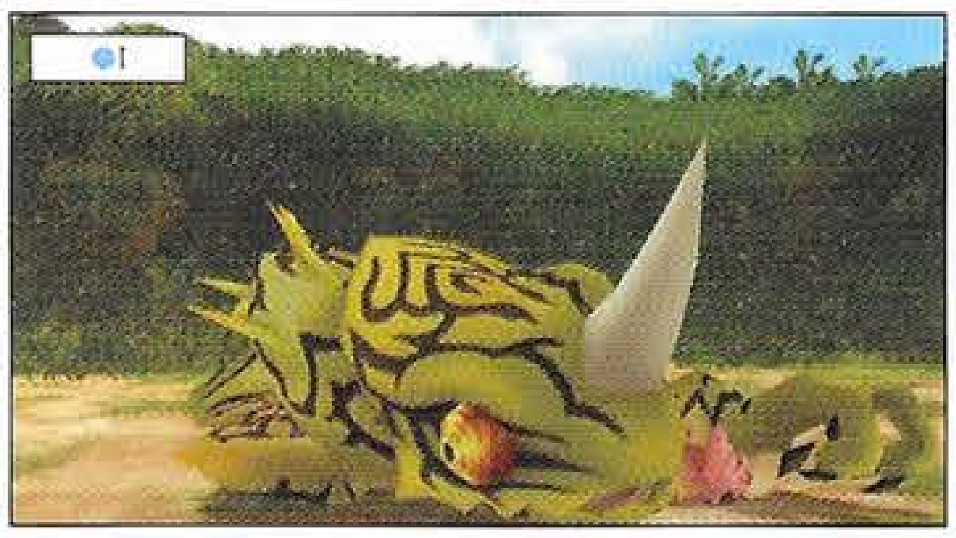
ソラたちの前には、ハートレスやノーバディ、そしてそれらを使役するXIII機関やヴィランズなどが立ちはだかる。彼ら闇の勢力と戦わなければ、光の世界に平和は訪れない。

ハートレス

I｜COM｜II｜Days｜coded｜BbS｜3D

闇から生まれ闇に回帰する"心無き者"。心の闇が具現化したものであり、人が心を失って闇に堕ちると誕生する。知性や意思はなく、大いなる闇を本能的に求めて「世界の心」を目指し、心ある者から心を奪うことで仲間を増やしていく。

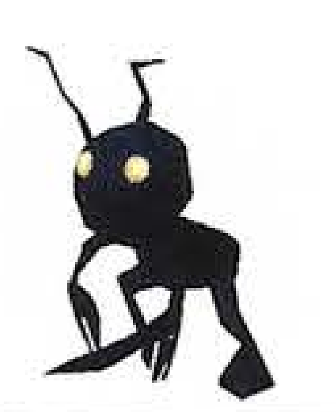
ハートレスにはたくさんの種類があるが、自然に発生する「ピュアブラッド」と、『KH I』の約10年前にゼアノート(闇の探求者アンセム)の実験で生み出された「エンブレム」に大きくわけられる。光の世界にハートレスが爆発的に増えたのはアンセムのせいであり、『KH I』で彼を倒すとその発生はやや収まったものの、人の心に闇があるかぎりハートレスが消えることはない。



⬆ソラたちと敵対する者は、闇の力を用いてハートレスを使役するが、その多くは闇に飲まれ、ときにハートレスにとりつかれてしまう。

ピュアブラッド

自然に発生したハートレス。キーブレードで倒すと、心を解放することができる。世界に存在するハートレスの多くはこれ。



例：シャドウ



⬅闇の世界は、ピュアブラッドタイプのハートレスであふれている。

エンブレム

ゼアノートを中心とする賢者アンセムの弟子たちが、心に闇を発生させる実験で人工的に造ったハートレス。身体の一部に、ゼアノートが異端の証として用いる「X」とハートが組み合わさった紋章(エンブレム)を持つ。



例：ソルジャー



例：シーネオン

ノーバディ

COM｜II｜Days｜coded｜3D

ハートレスと対をなし、「誰でもない者」の名で呼ばれる闇の化け物。強い心の持ち主がハートレスになるときに誕生する。そのほとんどは白い身体の魔物だが、特別に強い心の持ち主がノーバディとなった場合は、人間だったころの外見を保つ。

ハートレスの正体が、闇に回帰した「心」であるのに対し、ノーバディは心が離れた「肉体と魂」からなる。感情がないかわりに記憶と知性を持ち、集団行動が可能だが、その存在は不確かで、放っておいてもいずれは闇に溶けてしまう。

ハートレスから心が解放されたうえで、ノーバディが消滅すると、もとになった人間は復活する。



例：ダスク



⬅XIII機関は人間の姿を保ったノーバディの集団で、一般のノーバディたちを支配・統率している。

アンヴァース

BbS

人の怒りや憎悪の感情から生まれ、「生命に精通しないもの」の異名を取る闇の化け物。『KH BbS』の時代に光の世界に現れ、人々をおびやかした。その正体はヴァニタスの負の感情が具現化したもので、ヴァニタスがヴェントゥスに倒された結果、絶滅する。



例：フラッド

ドリームイーター

3D

「眠りに閉ざされた世界」だけに巣くう、夢を食べる魔物。個体ごとに、悪夢をもたらす「ナイトメア」か悪夢を喰らう「スピリット」のどちらかに属し、スピリットのほうはソラやリクに力を貸してくれる。



例：ワンダニャン(ナイトメア)



例：ワンダニャン(スピリット)

XIII機関

COM｜II｜Days｜3D

強大な力を持ち人間のころの姿を保ったノーバディの集団。13人のメンバーで構成され、全員が人間時代の名前に異端の印「X」を加えたアナグラムの名を持つ。

ノーバディが不完全な存在だと自覚し、完全を求めて"人の心のキングダムハーツ"との一体化を目指していたが、ソラたちの手で壊滅した。しかし、隠れた目的である「13の闇の補充」が完了間近となったことで、"真のXIII機関"として再始動する。



I ゼムナス　II シグバール　III ザルディン　IV ヴィクセン　V レクセウス　VI ゼクシオン　VII サイクス　VIII アクセル　IX デミックス　X ルクソード　XI マールーシャ　XII ラクシーヌ

⬆➡No. I ～VI は賢者アンセムの弟子だった者。最後に加入したシオンは正規メンバーではなく、番号が虚数を意味するiになっている。



XIII ロクサス　i シオン

真のXIII機関

3D

ゼアノートとその分身からなる「13人の闇の探求者」たち。自分らを「13の闇」に見立て、「7つの光」とぶつかることでχブレードを作ろうとしている。『KH 3D』の時点で12名おり、そのうち判明しているのはマスター・ゼアノート、アンセム、ゼムナス、シグバール、サイクス、青年ゼアノートの6人。

ヴィランズ

I｜COM｜II｜Days｜coded｜BbS｜3D

マレフィセントやピートなど、ディズニー作品に登場する悪役たちの総称。ハートレスや闇の力を使って悪さを働き、ソラたちの行く先々で冒険の邪魔をする。



⬅『KH I』のヴィランズは、マレフィセントを中心に"キングダムハーツ"を目指して結託していた。

Chapter 1
Character File
キャラクターファイル

Sora / Riku / Kairi / King Mickey / Donald Duck / Goofy / Jiminy Cricket / Yen Sid / Pluto / Ansem the Wise(DiZ) / Maleficent / Pete / Roxas / Axel / Naminé / Terra / Ventus / Aqua / Master Eraqus / Vanitas / Master Xehanort / Ansem / Xemnas / Xigbar / Xaldin / Vexen / Lexaeus / Zexion / Saix / Demyx / Luxord / Marluxia / Larxene / Xion / Riku-replica

つながる心を力として戦うキーブレードの勇者

SORA

ソラ

登場作品 | [I][COM][II][Days] [coded][BbS][3D]

※[Days]では、回想シーンに登場するほか、ミッションモードの操作キャラクターとして使用可能

使用キーブレード **キングダムチェーン** ほか

「つながる心が、俺の力だ！」

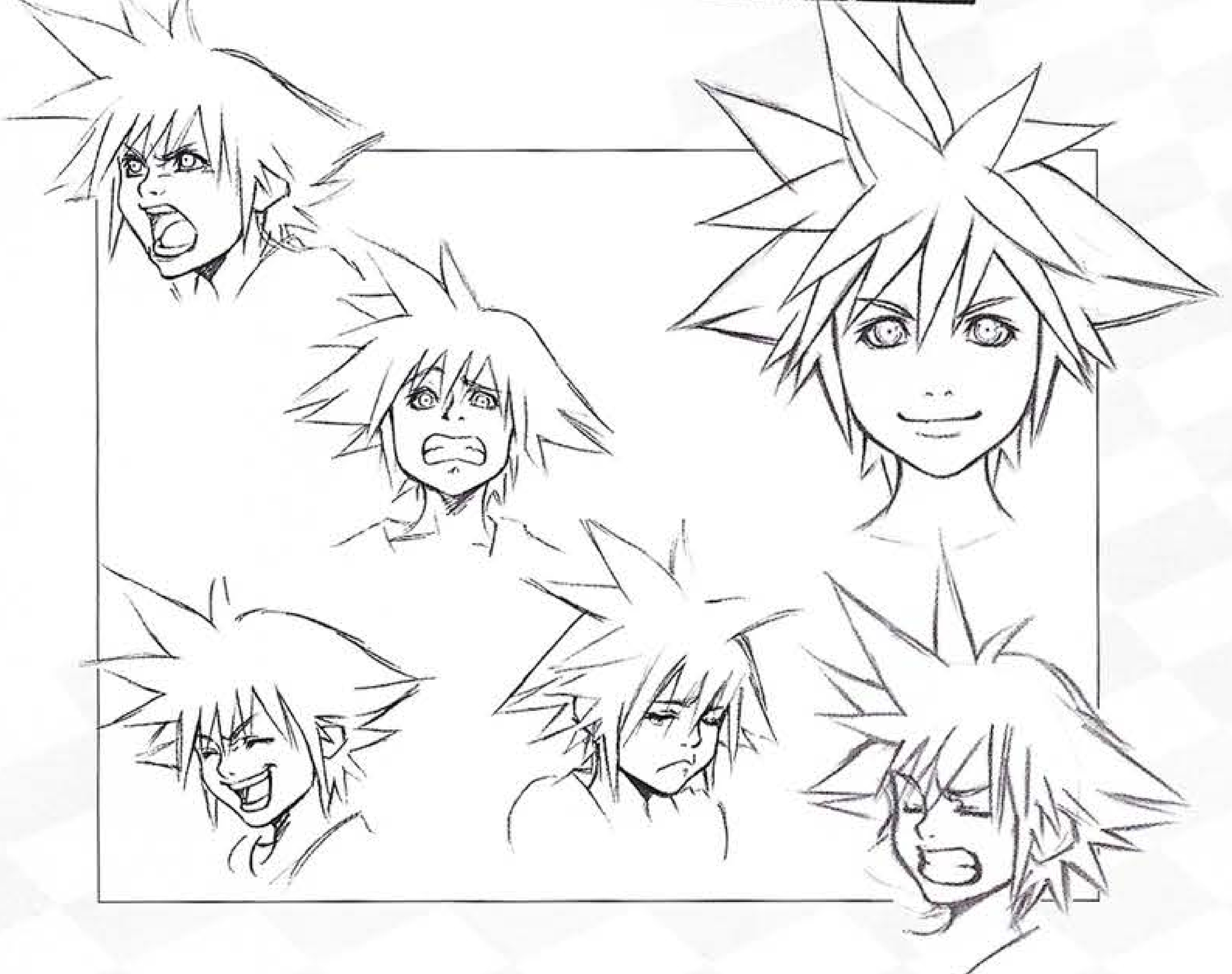
デスティニーアイランドで育った、明るく元気な少年。特別な能力はなく、継承の儀式を受けたわけでもないが、人の想いをまっすぐに受け止める純粋な心の強さを持つがゆえ、心の力の証たるキーブレードから使い手として選ばれた。幼なじみのリクとカイリ、旅の仲間のドナルドやグーフィー、そして道中で出会った人々との心のつながりを力に変え、マスター・ゼアノートら闇の勢力に立ち向かう。



14歳時

[I][COM][Days][coded]

はじめて冒険に出たときの、14歳のソラ。『KH』シリーズを象徴する王冠のモチーフが、ペンダントトップやウォレットチェーンにあしらわれている。





15歳時

[II][3D]

最初の冒険から1年後の姿。衣装の色が黒基調で引きしまった印象になり、顔つきもキリッとした。髪の色が明るくなったのは、分身であるロクサスを取りこんだ影響。

キングダム ハーツ



偶然手にしたキーブレードの力で さまざまな世界を冒険

住んでいた島が闇に飲まれ、リクのものになるはずだったキーブレードを手に外の世界へ。リクとカイリを捜して、ドナルドやグーフィーと旅するうち、キーブレードの勇者としての使命に目覚めていく。冒険のすえカイリを助け、リクの身体を奪った闇の探求者アンセムを倒し、"キングダムハーツ"を狙う闇の勢力の陰謀を阻止した。



「俺の心は、仲間と、みんなとつながってるんだ!」



➡"鍵"の持ち主としてドナルド、グーフィーと一緒に世界をめぐり、闇の侵入経路となる各世界の鍵穴をキーブレードで閉じていく。



⬅カイリを大切に想う気持ちは同じなのに、異なる道を歩んでいくソラとリク。ふたりの対立には闇の勢力の思惑がからんでいた。



➡友とのつながりと闇の奥の光を信じつづけるソラの強さは、"キングダムハーツ"の真の力――光を呼び覚ます。

「ほんとうの武器は――心なんだ」



⬅黒幕のアンセムを倒しても、ソラの冒険は終わらない。闇の世界に残ったリクを捜すため、かならず帰るとカイリに約束して新たな旅へ……。

キングダム ハーツ バース バイ スリープ



まだ物心つく前の出会いが、のちの運命を決定づける



『KH I』の10年以上昔、この世に生まれて間もなく、ヴェントゥスの欠けた心とつながって彼を立ち直らせる。それから数年後、キーブレード使いのテラ、アクアと遭遇。さらに、ふたたび消えかかったヴェントゥスの心を受け止め、自分のなかで眠らせた。

「だったら、ボクの心とつなげばいいよ」



⬅ヴェントゥスの痛みを感じ取り、壊れかけた彼の心を眠りにつかせる。その結果、ふたつの心を抱えることになったため、のちにキーブレードの二刀流に開花した。

キングダム ハーツ チェイン オブ メモリーズ



少女ナミネとの出会い、バラバラになる記憶……

「記憶を消されたって、
心が壊れたって――
約束は、ナミネはかならず守る！」



⬆「自分の大切な人は幼なじみのナミネ」という記憶をすりこまれ、彼女を救おうとあせるソラ。最終的にその記憶がウソだと知るが、それでも彼女への想いは変わらなかった。

リクと王様を捜す途中、闇の組織「XIII機関」の陰謀で忘却の城を訪れ、偽りの記憶を植えつけられてしまう。黒幕のマールーシャを倒し、ソラの記憶を書きかえた少女ナミネの口から真実を聞くと、本来の記憶を取りもどすべく、ポッドのなかで長い眠りについた。

キングダム ハーツII

親友とともに島に帰るため、XIII機関に立ち向かう



自分の半身であるノーバディのロクサスを吸収して記憶を取りもどし、1年間の眠りから覚醒。リクと王様を捜しながら、各地でハートレスやノーバディと戦っていく。旅のすえにカイリ、リク、王様と合流し、"キングダムハーツ"を狙うXIII機関のゼムナスを倒して、故郷デスティニーアイランドへと帰還した。





➡ソラがキーブレードでハートレスを倒すことは、心を集めるXIII機関の思うツボだった。その事実を知って、ソラは悩むが……。

「キーブレードが
使えないなんて、
どうしたらいいんだよ！」



➡1年前にソラから分かたれた、ノーバディのロクサス。行く先々でソラは彼の名で呼ばれ、旅の終盤には当人と戦うことに。



「惑わされないぞ！
存在しないもの、ノーバディ！
おまえは何も悲しんでいない！」

➡闇の探求者アンセムと対をなす存在である、XIII機関のリーダーのゼムナスと対峙。親友たちと協力して彼を打ち倒し、またしても"キングダムハーツ"をめぐる陰謀を阻止して光の世界を守る。

キングダム ハーツ コーデッド

ジミニーメモを修復すべく、データの分身が大活躍



ソラ自身ではなく、彼の最初の冒険を記したジミニーメモのデータ世界にいる「データ・ソラ」が登場。王様の頼みでメモに隠された謎を解こうとデータ世界のバグを取りのぞくうち、ソラ本人のなかで眠る"痛み"の記憶に触れることになる。



「この痛みだけがなくした記憶を繋ぎとめてくれる絆なんだ」

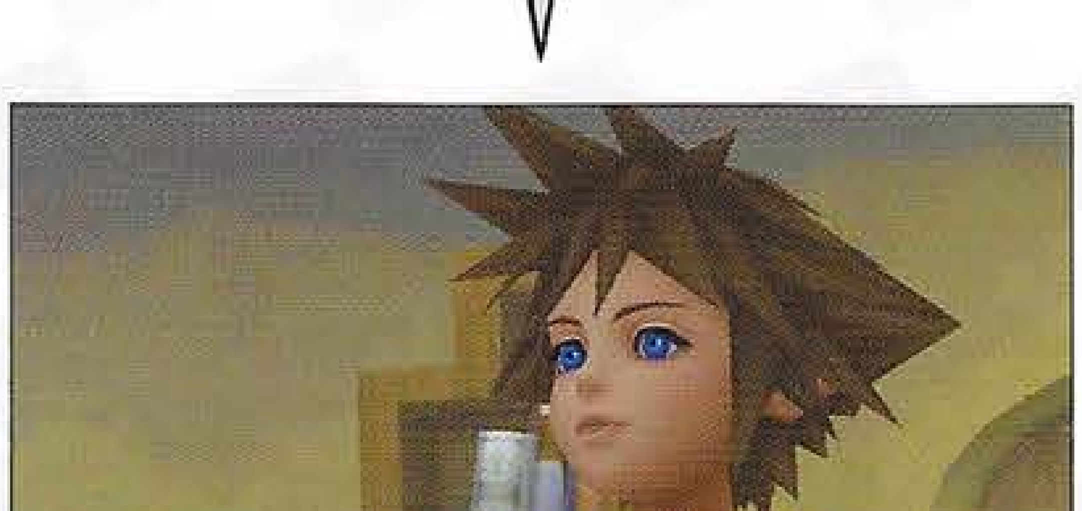


➡追加データの世界で、データ・ソラは出会いと別れを重ね、"痛み"を負っていく。それは、のちにソラ本人が、彼とつながる者たちを目覚めさせるのに必要な体験だった。

キングダム ハーツ 3D [ドリーム ドロップ ディスタンス]

キーブレードマスターを目指して夢から夢へダイブ！

アンセムとゼムナスの本体であるマスター・ゼアノートの復活に備え、リクとともにマスター承認試験にチャレンジ。課題をこなすため、眠りに閉ざされた世界を夢づたいに旅して「眠りの鍵穴」を開いていくなか、13人のゼアノートからなる"真のXIII機関"の最後の器として狙われる。



⬆一緒に試験をはじめたリクとは、夢の世界に入るときに離ればなれとなるが、互いに相手の存在を感じながら旅していく。



「心はおまえたちの実験やたくらみの道具じゃない！」

⬅真のXIII機関へと誘うゼアノートの分身たちに、絆の力で立ち向かおうとするソラ。だが、彼らの手で夢の深淵に誘いこまれ、闇の眠りへ……。

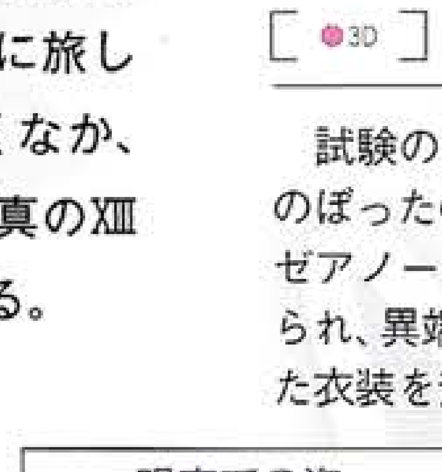
夢の世界での姿

[●3D]

試験のために時間をさかのぼったので、14歳時の姿。ゼアノートたちに目をつけられ、異端の印「X」が刻まれた衣装を着ることに。



現実での姿



異端の印



内なる闇に苦しみながらも、友を想い支える少年

RIKU

リク

登場作品｜[I][COM][II][Days]
[coded][BbS][3D]

使用キーブレード **ウェイトゥザドーン** ほか

ソラとカイリの幼なじみで親友。しっかり者で探求心に富み、クールそうに見えて友だち想い。デスティニーアイランドで育ったが、せまい島での日々に満足できず、外の世界にあこがれていた。その渇望や、友への複雑な感情から生まれた心のスキにつけこまれ、闇の探求者アンセムに身体を乗っ取られるも、紆余曲折を経て己の闇を克服。キーブレードを手に、光の勇者としてソラとともに歩んでいく。

「恐れていては何も始まらない。闇を恐れる事はないいんだ！」



15歳時

[I][COM]

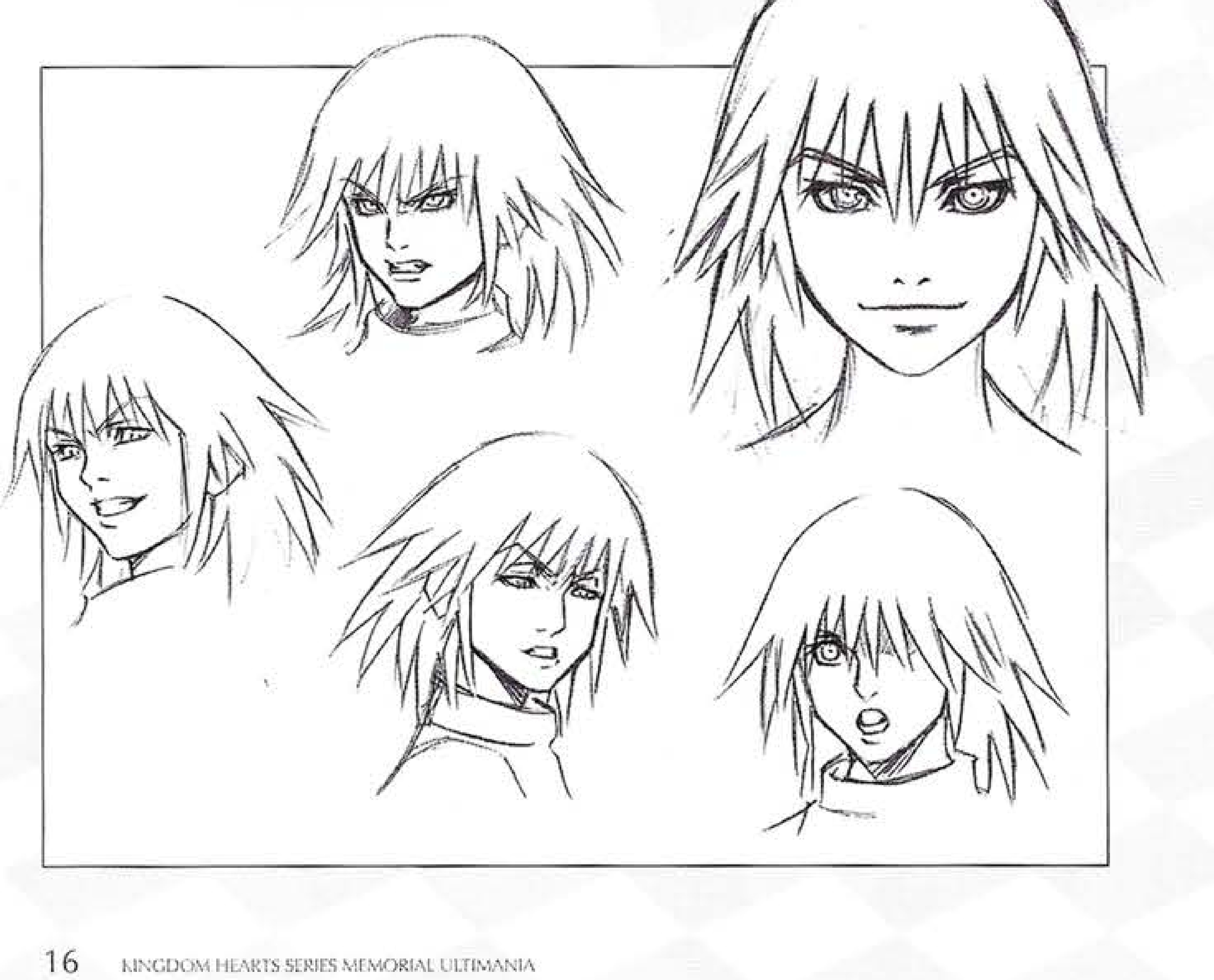
最初の冒険に出たときの姿。ソラの1歳上なのもあって、より大人びた印象だ。異端の印「X」を思わせる胸元のデザインが意味深。



16歳時

[II]

最初の冒険から1年後のリク。衣装の色合いは以前のものと似ているが、髪が伸び、顔も身体も見ちがえるほどたくましくなった。



キングダム ハーツ





キーブレード使いの力を秘めつつも心を闇に染めて……

島が闇に飲まれた結果、念願かなって外の世界へ。しかし、キーブレードを手にしたソラへの対抗意識と、心をなくしたカイリを助けようというあせりをマレフィセントに利用され、ソラと敵対。そのうえ闇の探求者アンセムに身体を乗っ取られて"キングダムハーツ"への道を開いてしまうが、最後はソラとともにその扉を閉じ、自身は闇の世界にとどまった。



「俺は、俺たちがどうしてここにいるのか知りたい」

⬅外の世界に出たいというリクの想いは、間接的に闇を呼びこんだ。ゆえに、彼が持つはずだったキーブレードは、最初にソラの手へ渡る。

⬇うつろな状態のカイリを見つけて自責の念に駆られ、彼女を救うべく必死になるが、それがリクを闇の道へと歩ませる。



⬇カイリを救う方法を求めてマレフィセントと手を組んだことで闇に堕ち、"キングダムハーツ"の扉を開こうとして、親友ソラと対決する。



闇の力をまとったリク

[I] [COM] [coded]

心を闇に染めて変貌したリク。不気味な剣ソウルイーターを手に、ソラの前に立ちはだかる。『KH COM』のDモード発動時や、『KH coded』でデータ・リクがバグに侵されたときも、この姿に。



「もう終わりにしようぜ。勇者は二人要らないんだ」

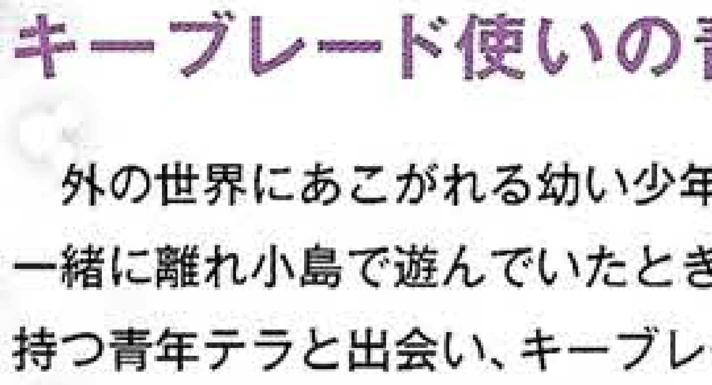
キングダム ハーツ バース バイ スリープ

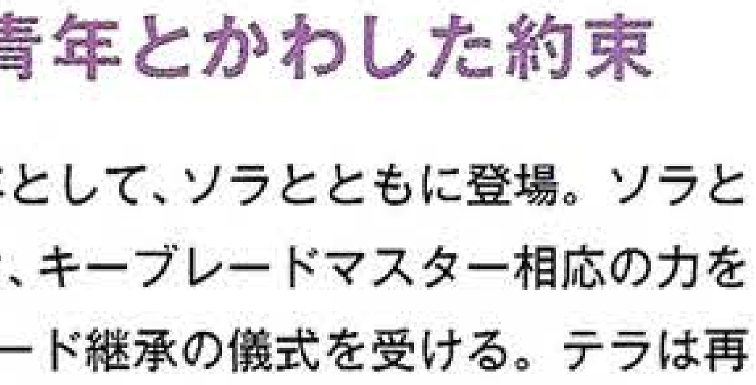


「ここから出られれば――強くなれそうな気がするんだ」

キーブレード使いの青年とかわした約束

外の世界にあこがれる幼い少年として、ソラとともに登場。ソラと一緒に離れ小島で遊んでいたとき、キーブレードマスター相応の力を持つ青年テラと出会い、キーブレード継承の儀式を受ける。テラは再会を約束して去り、その出来事はリクの記憶のはるか奥底に刻まれた。





⬆大事なものを守ろうとする姿がテラの共感を呼び、彼からキーブレードを継承。リクがキーブレード使いとなる下地と、ゼアノートに狙われる下地はここで整った。

キングダム ハーツ チェイン オブ メモリーズ



↑たったひとりで城を訪れたリクだが、謎の男ディズに導かれ、王様の存在に支えられつつ進む。

内なる闇との戦いの果てに選び取ったのは“狭間の道”

闇の世界をさまようなか、無意識のうちにソラに引かれて忘却の城へ。自分を仲間に誘うⅩⅢ機関や、己の内にひそむアンセムと戦いながら城の地下を進み、正しい記憶を失ってしまったソラの現状を知る。





➡己の闇の象徴たるアンセムを打ち破ったリクは、黒コートをまとい、王様とともに新たな旅路につく。

目隠しのリク

[I FM][Days][II]

忘却の城を出て約1年後の姿。ディズにもらった黒コートでⅩⅢ機関や闇から身を守っている。目隠ししているのは、自分の心を偽り、闇の住人として行動しているため。

キングダム ハーツ 358／2 Days



大切な友の目覚めのために友の半身と対決

ディズやナミネと協力して、ソラをもとにもどそうと奔走。ソラの半身のロクサスと、ソラの力をコピーする人形であるシオンの存在がカギだと知って彼らと対決し、闇の力を使った代償でアンセムの姿になってしまう。

「たとえ、
俺が俺でなくなっても」

キングダム ハーツⅡ



「本当は――
ソラ、おまえがうらやましかった」

忌まわしき姿に変貌しても心は友とともに……

闇の探求者アンセムの姿のまま、引きつづきソラの記憶を再生すべく力を尽くし、目覚めたソラが世界を救う旅に出ると、陰ながら彼を支援する。ソラやカイリと合流したのち、もとの姿を取りもどし、晴れてキーブレードの勇者に。友と力を合わせて、ⅩⅢ機関のゼムナスに立ち向かう。



↑現在の姿は己の闇を克服できなかった罰だと考え、自嘲気味に「アンセム」と名乗る。



⬅ソラとともにゼムナスを打ち破るも、ふたたび闇の世界に閉じこめられることに。あきらめかけたところをソラに救われ、光を見いだす。

キングダム ハーツ コーデッド

ジミニーメモのデータとしてデータ世界の修復をソラに依頼

リク本人ではなく、バグに侵されるのを恐れたジミニーメモの退避データが、リクの姿を借りて登場。ソラと王様にメモの調査を頼み、データの悪用をもくろむマレフィセントたちや、データのみならず現実世界をもむしばもうとするバグに立ち向かう。



黒コート姿

[COM][coded]

黒コートを身につけた、15歳時のリク。データ・リクのほか、『KH COM』のリク編のエンディングでのリクが、この姿で現れる。



⬅マレフィセントとピートの手に落ちてバグを植えつけられ、ソラとの敵対を余儀なくされる場面も。

「おまえの心が感じたままに行動すれば、たくさんの人たちを救える」



➡正体はジミニーメモのデータだが、ソラとの友情はリク本人と変わらず、過酷な戦いにおもむくソラを支える。

キングダム ハーツ 3D [ドリーム ドロップ ディスタンス]

ソラの悪夢を喰らう者として闇の陰謀に立ち向かう

ソラとともに受けたマスター承認試験で、"真のⅩⅢ機関"に目をつけられたソラを守るべく、無意識に彼の夢のなかを旅することに。最終的にソラを悪夢から救い出し、晴れてキーブレードマスターとなった。



⬆かつて自分を闇から救ってくれたソラを今度は自分が助ける──そう心に誓って、ソラをとらえた悪夢に身を投じる。

夢の世界での姿

[3D]

ソラを悪夢から救う役割を負ったため、悪夢を食べるスピリットのマークが背に入った服を着ることに。外見は15歳時のもの。



背中のマーク



現実での姿



「俺は闇を喰らい、光を溶かす」



⬆青年ゼアノートやアンセムの闇への誘いを拒否し、闇を封じこめるのではなく自身の光に変えようとする。

光輝く心を持つ、ソラとリクの幼なじみの少女

KAIRI

カイリ

登場作品 [I][COM][II][Days][coded][BbS][3D]

※[COM][Days]では、回想シーンなどに登場
※[3D]では、シークレットムービーにのみ登場

使用キーブレード **デスティニープレイス**



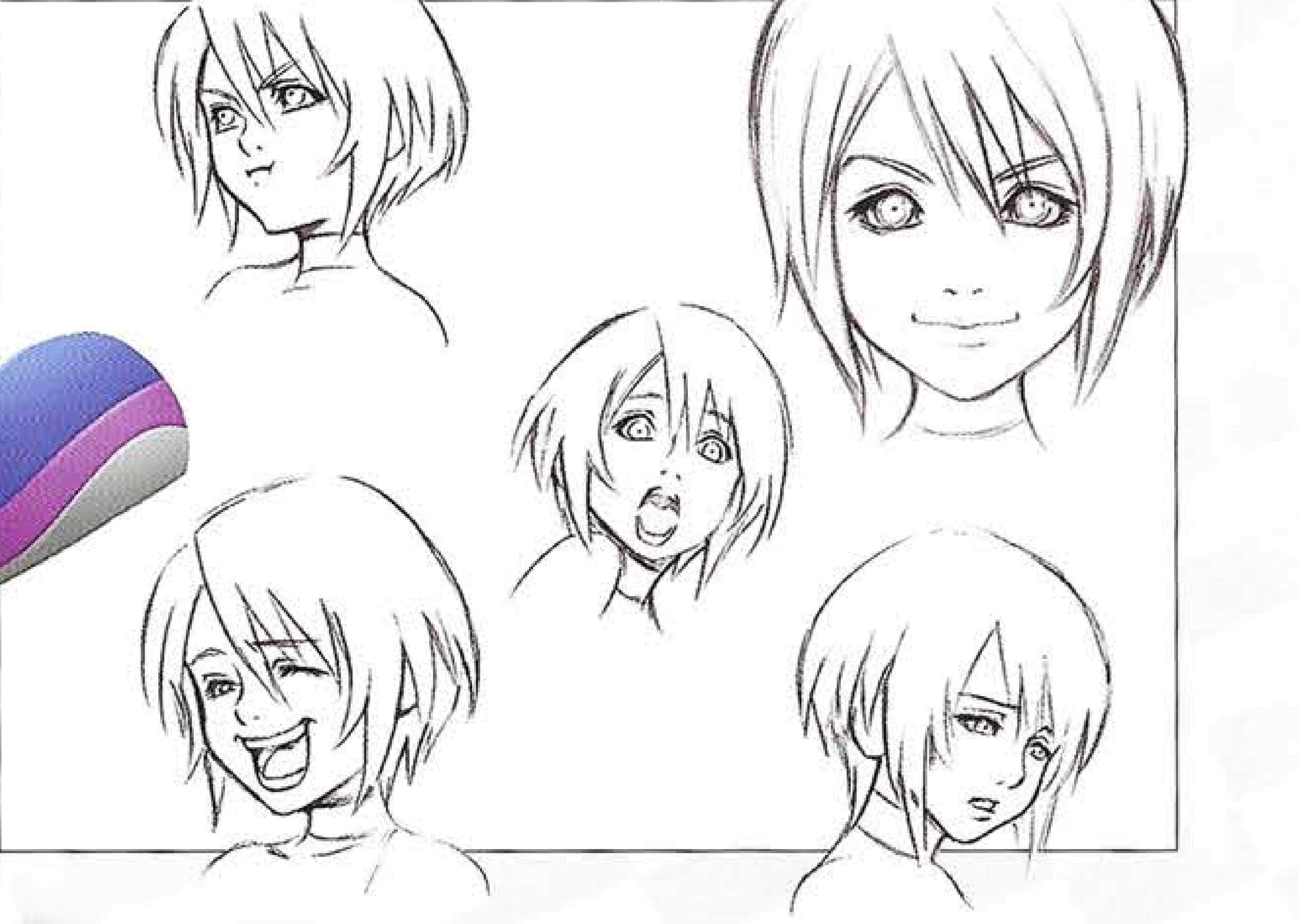
「うん、届いてるよ、ソラの気持ち。忘れないで」

14歳時

[I][COM][Days]

『KH』シリーズにはじめて登場したときの、14歳のカイリ。髪が短く、ショートパンツに巻きスカートをはいており、活動的でボーイッシュな印象だ。

ソラやリクとともに育った、快活で気丈な少女。じつは光の世界を支えるセブンプリンセスのひとりで、幼いころ闇の探求者アンセムのたくらみによって故郷レイディアントガーデンを放り出され、光の勇者の素質を持つソラとリクのもとにたどり着いた。"キングダムハーツ"のカギとなる存在であるがゆえに闇の勢力から狙われるが、ソラやリクに助けられ、自身もまた彼らを助けようとする。



たとえ引き裂かれても 心はソラとともに

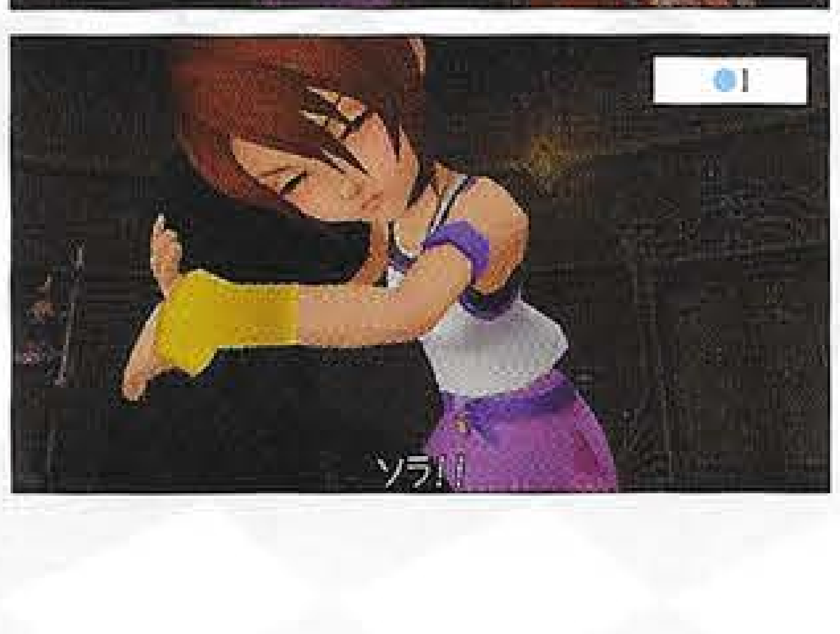


⬆"秘密の場所"にソラが残した落書きを見て、自分を想う彼の気持ちをかみしめるカイリ。落書きを描き加えておまじないを完成させ、ふたたび旅立ったソラの帰りを待つ。





⬆3人が離ればなれになっても再会できるように、お守りを作る。このお守りは、のちに重要な意味を持つことに……。



⬅島が闇に飲まれたとき、カイリの心はソラのなかに隠れた。以来ずっと一緒にいたふたりの絆は奇跡を呼び、ハートレスとなったソラをよみがえらせる。

ソラとリクにとって大切な“光”



➡光輝く心を持っているため、幼いころから闇の勢力に狙われていたカイリ。あぶないところをアクアに助けられたさい、彼女から偶然キーブレードを継承することに。



⬅忘却の城で記憶をバラバラにされたソラが自身の心の奥底を確かめたとき、もっとも大切な存在として浮かんだのは、カイリの姿だった。



15歳時（制服姿）

［ Ⅱ ］

『KHⅡ』の物語序盤にロクサスと邂逅した場面で披露する、中学校の制服姿。ネクタイをゆるく巻き、袖をまくったラフな着こなし。

「今度は――私が闘う。
私たちがいなくちゃ
ソラはダメなんだから！」



15歳時（私服姿）

［ Ⅱ ］［ coded ］［ 3D ］

『KHⅡ』での基本的な格好。髪が伸び、ピンクのワンピースに身を包んで見た目はグッと女らしくなったが、活発なのは変わらない。

➡ソラが記憶を失った影響でカイリもソラのことを忘れたが、彼への気持ちは残っていた。名前を忘れた“誰か”に想いをつのらせたカイリはやがて、1通の手紙をしたためる。



待つだけじゃない！戦うプリンセス



⬅ソラを闇に堕とす人質としてⅩⅢ機関にとらわれるも、己の半身であるナミネの助けで脱出。キーブレードを手に、ソラのピンチに駆けつける。



⬅ソラとリクのマスター承認試験を経て、“真のⅩⅢ機関”の陰謀が明らかに。彼らに対抗するためのカギをにぎるのは、カイリの存在!?

➡ソラを捜しに行くなかで、幾度もリクに助けられる。彼の外見はアンセムに変貌していたが、その正体がリクだとカイリはひと目で見抜いた。



光の世界を見守る偉大なキーブレード使い

King Mickey

王様（ミッキー）

登場作品 ｜［ I ］［ COM ］［ II ］［ Days ］［ coded ］［ BbS ］［ 3D ］

出典 ｜『蒸気船ウィリー』（1928年）

使用キーブレード **キングダムチェーンD** ほか

「だいじょうぶさ。光への扉が、どこかにある」



基本衣装時

［ II ］［ coded ］［ 3D ］

ミッキーマウスのシンボルカラーである赤を基調にした、『KH』シリーズオリジナルの衣装。

ディズニーキャッスルの王様で、キーブレードマスターのひとり。偉大なる魔法使いイエン・シッドのもとで修行を積み、彼と一緒に光の世界全体を見守ってきた。おだやかな人柄ながら正義感がとても強く、世界の危機を察知するたびに、城を王妃のミニーにまかせて事態を解決すべく旅立つ。闇の勢力との戦いを通じて知り合ったソラやリク、ヴェントゥスやアクアとは、固い絆で結ばれた仲。



➡ソラと協力して闇の扉に鍵をかけ、光の世界へ闇があふれ出すのを阻止したものの、リクともども闇の世界に取り残された。

修行時代に体験した出会い



⬆ヴェントゥスとは、修行中の身でありながら師匠のもとを飛び出した者同士、互いに親近感を覚える。



➡レイディアントガーデンでカイリの危機に遭遇。アクアと力を合わせて、闇の魔物を退ける。



⬅χブレードの崩壊によって異空の回廊へと放り出されたヴェントゥスとアクアを救出し、不思議な塔へ連れ帰った。

修行時代

［ BbS ］

イエン・シッドのもとで修行していたときの衣装。使用するキーブレードは、ソラも『KH II』でイエン・シッドから贈られた、スターシーカーだ。



リクと育んだ友情の絆



⬆忘却の城で、己の心にひそむアンセムに立ち向かうリクを応援。戦いのあとは、リクと行動をともにする道を選ぶ。



『KH COM』での衣装時

[COM]

物語の序盤では、遠くから思念だけでリクを助けていたが、のちにこの衣装で忘却の城へ駆けつける。



黒コート時

[COM][II][Days]

忘却の城での冒険後、ディズにもらった黒コートを着た王様。リクとおそろいの衣装だが、フードが耳の形に沿った専用のものになっている。



⬆ソラの記憶を修復するために動いていたリクと再会。ロクサスとの対決に向かうリクから、ソラのことを託された。

⬇XIII機関の監視や行方不明の賢者アンセムの捜索をひとりで行ないつつ、ソラたちの冒険をところどころで手助けする。



「僕たちは元気で、そして自由だ。
困っている友達を助けるのは
あたりまえだよね」

➡ホロウバスティオンでの闇の軍勢との決戦では先陣を切って戦い、光の勇者としての実力を存分に発揮。





➡ソラの旅の模様が記録された1冊目のジミニーメモに謎が隠されていると気づき、データのソラにメモの調査を依頼する。





⬅マスター承認試験の最中にマスター・ゼアノートの策略にハマったソラとリクを救出するべく、単身駆けつける。

自信家でちょっぴり短気な王宮魔導士

Donald Duck

ドナルド・ダック

「このドナルドの魔法にまかせておきなさい!」



登場作品 | [I][COM][II][Days][coded][BbS][3D]

※[Days]では、ミッションモードの操作キャラクターとしてのみ登場

出典 | 『かしこいメンドリ』(1934年)

王様の古くからの親友でもある、ディズニーキャッスルの王宮魔導士。姿を消した王様を捜すべく、グーフィーと一緒に城を出発し、旅の途中でソラと出会った。最初は「"鍵"を持つ者に同行せよ」という王様からの指示に従うためだけに、キーブレードを持つソラと旅をしていたものの、苦楽をともにしているうちに彼と固い絆で結ばれる。魔法の腕は確かだが、お調子者で少々怒りっぽいのがタマにキズ。



⬆王様の命令を守ろうとしてソラと一度はたもとをわかつが、最後にはソラとの友情を選ぶ。



⬅少々欲張りなところがあり、金目のものに目がくらんで周囲に注意されることもしばしば。



⬅記憶を改変されたソラが我を忘れてひとりで先走ったときでも、彼のピンチにはすかさず駆けつけた。



⬅王様がイェン・シッドのもとを勝手に飛び出したと聞いて、不思議な塔へ。王様の帰りを待っているときに、ヴェントゥスと出会う。

王宮魔導士の衣装時

[I][coded][BbS][3D]

ディズニーキャッスルや不思議な塔にいるときは、魔法使い風の帽子が目印の王宮魔導士の衣装を着ている。



敬愛する王様のもとで……



⬅ジミニーメモの記録から再現されたデータ上のソラに対しても、まるで本物のソラと同じように接して友情を深め合う。



⬅ソラとリク、そして彼らの救出に向かった王様に助太刀すべく、危険を承知で敵地に乗りこむ。

のんびり屋で心優しい王宮騎士隊長

Goofy

グーフィー

「僕らは仲間だもんね!」



登場作品 | [I][COM][II][Days]
[coded][BbS][3D]

※[Days]では、ミッションモードの操作キャラクターとしてのみ登場

出典 | 『グーフィーのバケーション』(1932年)

ディズニーキャッスルの王宮騎士隊長。王様をドナルドと一緒に捜していたときにソラとめぐり会って以来、数々の冒険を経て3人で友情を育んできた。のんびりとしたところもあるが、優しい心の持ち主で、どんなときも温かい言葉で場をなごませる。騎士でありながら争いごとを嫌っており、人を傷つけないように武器は持たず、ハートレスなどと戦うときも盾だけを装備している。





⬆戦いを好まないものの、大切な友だちのピンチには危険をかえりみず助けに入る。

王宮騎士隊長の衣装時

[I][coded][BbS][3D]

外の世界を旅するとき以外は、騎士らしく鎧を着ている。腕の防具は盾を持たない左手側のみ装着。





⬅忘却の城で、ソラやドナルドと同じように記憶が失われていくなか、不安に襲われる仲間を優しく励ます。



➡のんびり屋ではあるが、意外と鋭い一面も持ち合わせており、無意識のうちに物事の核心を突く発言をすることも。



⬅修行先を飛び出した王様の帰りをドナルドと一緒に待つ。ヴェントゥスの名前をまちがえるのはご愛敬。



➡ゼアノートの意表を突く形でソラと王様のもとに駆けつけ、"真のXIII機関"のたくらみを阻止する。

ソラたちの冒険の一部始終を書きとめる旅の記録係

Jiminy Cricket ジミニー・クリケット

登場作品 | [I][COM][II][coded][3D]　出典 | 『ピノキオ』(1940年)





良識のあるコオロギの紳士。住んでいた世界が闇に飲まれてディズニーキャッスルに避難したが、ミニー王妃に頼まれ、記録係としてドナルドとグーフィーの旅に同行。ソラと出会ってからは、彼の冒険を「ジミニーメモ」として記録することに情熱を傾けている。

「このジミニー・クリケットが、“ジミニーメモ”に、しっかり書きとめておかなくてはな！」



←几帳面でしっかり者。自分の住む世界が闇に飲まれる前は、ピノキオの“良心”として、彼に物事の善悪を教える役目をになっていた。

世界を見守る偉大な魔法使い

Yen Sid イエン・シッド

登場作品 | [II][BbS][Re:coded][3D]　出典 | 『魔法使いの弟子』(1940年)



不思議な塔に住み、光と闇の均衡を長きにわたって見守りつづけてきた偉大な魔法使い。キーブレードマスターのエラクゥスやゼアノートと親交が深く、王様の師匠でもある。世界を闇で覆いつくそうとするゼアノートの野望を阻止するため、ソラたちキーブレードの勇者を導く。



↑光と闇の動向につねに目を向けており、ソラの新たな旅の準備を整えるなど、光のキーブレード使いたちに進むべき道を示している。

「キーブレードに選ばれし少年よ。そなたが光の扉を開くカギだ」

↓キーブレード戦争の再来をもくろむマスター・ゼアノートの脅威に備え、ソラとリクにマスター承認試験を受けさせる。



若きキーブレード使いたちに未来を託して



王様の忠実な愛犬

Pluto ブルート

登場作品 | [●I][●COM][●II][●coded][●BbS][●3D]

出典 | 『ミッキーの陽気な囚人』(1930年)



⬆闇の世界にいる王様から手紙を預かり、ソラたちのもとへ届けたかと思えば、ソラの帰りを待つカイリの前に現れるなど、神出鬼没。

王様がペットとしてかわいがっている犬。鼻がきくのが自慢で、ドナルドやグーフィーとともに王様を捜す旅に出たときには、途中から単独で行動し、大事なものや重要な人物を数多くかぎ当てた。



⬅住んでいた島を放り出されてトラヴァースタウンにやってきたソラを、誰よりも早く発見した。

弟子たちに裏切られた心の研究の第一人者

Ansem the Wise (DiZ) 賢者アンセム(ディズ)

登場作品 | [●CCM][●II][●Days][●BbS][●3D]

かつてレイディアントガーデンを治めていた賢者。ゼアノートたち6人の弟子とともに心の研究を進めていたが、彼らに裏切られ、無の世界へ追放された。絶望から心を闇に染め、Darkness in Zero(無のなかの闇)を意味する「DiZ(ディズ)」を自称。弟子たちへの復讐にソラやリクを利用しようとするも、ふたりの友情に心打たれ、彼らや旧友である王様を助けて闇の世界に消えた。



⬆心の研究は、闇から人々を救うためにはじめたものだったが、それが結果的にゼアノートの野望を押し進めることにつながってしまう。



⬆心に関する研究成果と自分自身をデータ化してひそかにソラの心の奥に隠し、ソラの夢のなかにダイブしてきたリクに託した。





ディズとしての姿

「私の研究が
招いたことなのか――」

闇の力ですべてを手に入れようとする悪の女王

Maleficent

マレフィセント

登場作品｜［ I ］［ COM ］［ II ］［ coded ］［ BbS ］［ 3D ］

※［ COM ］では、ソラやリクの記憶から生まれた幻として登場

出典｜『眠れる森の美女』(1959年)

黒いマントに身を包んだ邪悪な魔女。とてつもない魔力を持ち、みずからの姿を巨大なドラゴンに変身させたり、闇の力やハートレスをあやつったりできる。マスター・ゼアノートから純粋な光の心や"キングダムハーツ"に関する話を聞いて以来、ありとあらゆる世界を手に入れようと暗躍しており、ソラたちキーブレード使いと幾度となく対決する。





「思い知れ！
悪の力を！」

マレフィセントのおとも

レイバン

マレフィセントが連れている大ガラス。彼女の使いとして手紙を届けるなどの役割を果たす。





I

←各世界の悪者たち（ヴィランズ）のリーダー的存在。闇の軍勢を率い、"キングダムハーツ"の力を得て全世界を征服しようとした。



COM

↑忘却の城では、ソラやリクの記憶のなかの存在としてふたりの前に立ちはだかる。



II

←わずかな魔力をもとに復活を果たし、ピートを新たに味方につけ、ふたたび世界征服へ向けて動き出す。



BbS

↑ゼアノートから"キングダムハーツ"のことを聞き、世界征服を画策しはじめる。

「キングダムハーツと名の付く物は
なんだって私のものさ！」



竜に変身した姿（マレフィセントドラゴン）

→ジミニーメモから生み出されたデータ世界の存在を知り、そこから闇を送りこむことで、現実の世界を支配しようとする。



coded

→王様が留守にしたスキにディズニーキャッスルへ侵入。ミニーを人質にとってジミニーメモのデータ世界を奪おうとした。



3D

マレフィセントと組んで悪事を働く乱暴者

Pete

ピート

登場作品 ｜ [●II][●Days][●coded][●BbS][●3D]

※[●BbS]では、キャプテン・ジャスティスおよびキャプテン・ダークとして登場

出典 ｜『蒸気船ウィリー』(1928年)



「このピート様の邪魔をする奴は誰だって許さねえぞ!」

何かにつけて王様に対抗意識を燃やすやっかい者。ディズニーキャッスルでさまざまな騒動を起こし、おしおきとして異空間の牢獄に幽閉されていたものの、マレフィセントの手引きによって脱走。助けられた恩を返すために、彼女の手下となった。怒りっぽくて乱暴だが、どこか間が抜けており、マレフィセントからは叱られてばかりいる。



⬆世界征服に向けてハートレスの軍団を作るべく、あちこちの世界に出没しては、そこにいる悪者たちと手を組んで悪事を働く。



➡ハートレスを探して世界をめぐっていたので、マレフィセントがソラたちの最初の冒険中に倒されたことは知らなかった。

あの手この手でソラたちを妨害



⬆マレフィセントの命令で、ハートレスの数を増やすためにアグラバーやネバーランドをひとりでまわる。



➡王様の様子を探っている途中、ジミニーメモの記録をもとにしたデータ世界へ偶然飛ばされて、そこから現実世界へ闇を送りこむことを思いつく。

人気投票のために策を講じるも……





⬆街の人気投票の優勝賞品ほしさに、正義の味方「キャプテン・ジャスティス」やダークヒーロー「キャプテン・ダーク」に扮するが、結局はみんなを困らせてばかり。



⬆マレフィセントとともにディズニーキャッスルへ乗りこみ、ジミニーメモの記録を再現した「世界のデータ」を奪おうとするも、失敗に終わる。

ソラの半身として生まれ
キーブレードをあやつる特殊なノーバディ

Roxas
ロクサス

登場作品 | [COM][II][Days][coded][BbS][3D]

※[coded][3D]では、幻やデータ内の存在として登場
※[BbS]では、シークレットムービーにのみ登場

XIII機関No.13　属性：光

使用キーブレード **キングダムチェーン** ほか

ソラのノーバディ。ソラがホロウバスティオンで一時的にハートレスになったときに誕生し、ゼムナスに拾われてXIII機関に加入した。何もわからぬまま任務をこなす日々を送っていたが、しだいに自分の正体への疑念がふくらみ、機関を離脱。ソラに会いに行く途中でリクと戦って敗れ、データ上のトワイライトタウンへ送られて偽りの夏休みを過ごしたのち、ふたたびソラと融合した。

私服時
[II][Days][3D]

ディズが用意したデータ上のトワイライトタウンで、街に住む少年として夏休みを過ごしたときのロクサス。



「ソラ——うらやましいよ。俺の夏休み——終わっちゃった」







⬅データ上の街で奇妙な出来事に接するうち、自分自身の存在に少しずつ疑問を抱いていく。

己の半身との戦い



⬅⬇いったんはソラと同化したものの、親友だったアクセルの消滅を機に一時的に覚醒。本体であるソラに戦いを挑み、己の存在意義を問いかける。



「教えてくれ——おまえが選ばれたわけを」

黒コート時
[II][Days][coded]
[BbS][3D]

XIII機関の黒コートを着たロクサス。心がないと言われるノーバディでありながら、心の力の象徴でもあるキーブレードを二刀流で使いこなす。





「俺は俺のことが知りたい。
自分が何者なのか――
どうして生まれたのか知りたいんだ」



**アクセルやシオンと
3人で過ごした
大切な時間**





⬅淡々と任務をこなすだけの毎日は、教育係のアクセルや新人メンバーのシオンと友情を育むうちに、かけがえのないものとなっていくが……。

「だったら俺が教えてやる。
本当の痛みってやつをな！」





⬆データ世界の忘却の城で、本人ではなくデータとして登場し、ソラに心の痛みを教えようとする。

**融合したのちも
ソラを導いて……**



⬆闇の深淵へ落ちていくソラの夢のなかで、ソラの心とつながる者たちのことを語るロクサス。彼もまた、ソラとは別個の存在として復活する日がくるのか？

ロクサスと友情で結ばれた“おどる火の風”

Axel

アクセル

登場作品 | [COM][Ⅱ][Days][coded][BbS]

※[coded]では、幻として登場
※[BbS]では、シークレットムービーにのみ登場

XIII機関 No.8　　属性：炎

炎とチャクラムを自在にあやつる、燃えるような赤髪の青年。XIII機関のメンバーだが、機関の目的より己の意志を優先して行動しがちで、ほかのメンバーからは腹の底が読めない人物と思われている。親友のロクサスの本体であるソラに興味を抱いた結果、ソラを助けようとして一度は消滅したものの、その後人間として復活を果たした。話すときに「記憶したか？」と言い足すのがクセ。







⬆忘却の城では、ソラやナミネに助言する一方で、機関への反逆者や自分にとって邪魔となる者たちを手にかけ、城内にいた機関員では唯一生き残った。



⬆「ソラをハートレスにすればロクサスに会える」と考え、機関の意向に反して独断行動に走るも、途中からはソラのために行動するようになる。

「ちゃんと
記憶しとけ。
俺たちは親友だ」



➡サイクスと結託し、ある計画を進めていたが、ロクサスやシオンと友情を深めていくうちに、サイクスと対立するように。

人間時

Lea リア

[BbS][Re:coded(※Ⅰ)][3D]

ノーバディとしての存在が消滅したことで、人間にもどった姿。同じように人間にもどった仲間を捜そうとする過程で王様たちに味方し、ディズニーキャッスルでのミニー救出やXIII機関の城でのソラ奪還にひと役買う。



⬅キーブレードを使えるようにしてほしいとイェン・シッドに頼みこみ、最後にはキーブレードを出現させることに成功する。

少年時代

[BbS]

『KH Ⅰ』の約10年前の、少年のころのリア。陽気な性格で、フリスビーを武器に、街で偶然見かけたヴェントゥスに勝負を挑む。





※Ⅰ……『KH HD2.5リミックス』のシークレットムービーにのみ登場

ソラの記憶に介入できる"カイリの影"

Naminé

ナミネ

登場作品 | [COM][II][Days][coded][BbS][3D]

※[coded][3D]では、幻やデータ内の存在として登場
※[BbS]では、シークレットムービーにのみ登場

カイリのノーバディ。ソラと"ソラにつながる者たち"の記憶を書きかえる力を持っており、XIII機関のマールーシャによって忘却の城にとらえられ、彼の命令でソラの記憶をバラバラにした。マールーシャがソラに倒されて自由の身となったあとは、ディズやリクの助けを得ながらソラの記憶を修復。現在は、本体であるカイリのなかに還っている。

成長前

[COM][coded]

金髪と真っ白なワンピースが特徴的。スケッチブックに絵を描くのが好きで、ソラやロクサスの記憶を絵に描き起こす。





⬆自分が誰の記憶のなかにも存在しないという寂しさに耐えられず、マールーシャの命じるままにソラの記憶に自分の存在をすりこませていく。

「さっきの約束が、
いつか私たちをつなぐ
光になる」



ソラとロクサスをつなぐ者





➡ソラの記憶の修復を進めていたが、ロクサスやシオンの存在がそれをさまたげていると気づき、シオンやリクに助言をする。





⬆➡ディズの意に反してロクサスに真相を伝えようとしたため消されそうになるが、ディズから差し向けられたリクに見逃してもらった。

成長後

[II][Days][BbS][3D]

『KH COM』のころから1年近くが過ぎ、少し大人びた容姿になった。



➡ジミニーメモ内のデータとして登場。ソラのなかに"痛み"を抱える者たちの記憶が眠っていることをデータ・ソラや王様に伝える。

闇の策略に翻弄され苦悩する、まっすぐな青年

Terra
テラ

登場作品 | [I][coded][BbS][3D]

※[I]では、シークレットムービーにのみ登場
※[coded][3D]では、幻などとして登場

使用キーブレード **アースシェイカー** ほか

マスター・エラクゥスのもとで、キーブレードマスターを目指して修行に励んでいた屈強な若者。悪を憎み正義を信じる生真面目な性格だが、心の奥に闇を抱え、修行仲間のヴェントゥスやアクアに負い目を感じている。師の命令で、アンヴァースの討伐とマスター・ゼアノートの捜索のために外の世界へ旅立つも、ゼアノートの陰謀によって、彼に肉体を奪われてしまった。





「俺の心に闇があるだと――。だから、何だっていうんだ。俺には心の闇に負けない力がある」



⬆兄弟弟子のヴェントゥスとアクアとは親友同士で、3人一緒にキーブレードマスターになるのが夢だった。



⬅光に導かれてデスティニーアイランドを訪れたとき、島で出会った少年リクに運命的なものを感じ、彼にキーブレード継承の儀式を行なう。

鎧装着時

この鎧は、異空の回廊を通るさいに心を闇から守るためのもの。テラが肉体を奪われたあとは鎧に思念が乗り移り、"留まりし思念"として、ゼアノートに抵抗したほかソラとも戦った。



「大事なものを守れる――友達や、みんなを――。俺にもまだ守るものはある」



⬅みずからの闇に思い悩み道を見失ったテラは、ゼアノートの策略により闇に染まっていき、ついにはゼアノートの新たな器と化す。



➡ゼアノートに肉体を乗っ取られたあとも、心の奥底で必死に抵抗をつづけたが、現在は……?

ゼアノートの器にされながらも……

闇と分かたれソラとつながった、数奇な運命を背負う少年

Ventus

ヴェントゥス

登場作品｜[II][coded][BbS][3D]

※[II]では、シークレットムービーにのみ登場
※[coded][3D]では、幻などとして登場

使用キーブレード **フレッシュブリーズ** ほか


BbS



「友達が、守る者がいるから強くなれる。つながる心が俺の力だ！」

キーブレードマスターとなるべく旅立ちの地で修行を積んでいた少年で、愛称はヴェン。マスター・ゼアノートによって心のなかの闇の部分が「ヴァニタス」として取り出されたのち、抜け殻のような状態でマスター・エラクゥスに預けられた。その後、純粋な光の心を持つ存在として成長したが、ゼアノートやヴァニタスとの死闘を経た現在、心はソラのなかで、肉体は忘却の城で眠りについている。



BbS

⬅外の世界へ出ることを禁じられていたが、ヴァニタスから「テラを追わないと二度と会えなくなる」と吹きこまれて旅立ち、運命の渦に飲みこまれていく。

「χ(キー)ブレードが何なのかはわからない。でも俺の心が怖がってる。χブレードが生まれる事を」

➡ゼアノートに闇を取り出されたことが原因で心が欠けたものの、生まれたばかりのソラが心をおぎなってくれたおかげで目覚めた。



BbS

「俺たちの心は足りない部分を補って同じ時に生まれた」



鎧装着時

鎧は本来、ヴェントゥスの心を闇から守るためのものだが、『KH 3D』では、闇の深淵に堕ちたソラの心を守る役目も果たした。


BbS

⬆χブレードの崩壊によって消えかかったヴェントゥスの心は、ソラのなかでふたたび眠りについて目覚めのときを待つ。


BbS

⬆テラやアクアからは弟のようにかわいがられている。テラにもらった手製の木剣は、ヴェントゥスの宝物。

キーブレードマスターにふさわしい心と実力を持つ気丈な女性

Aqua
アクア





登場作品 [Ⅱ][coded][BbS][3D]

※[Ⅱ]では、シークレットムービーにのみ登場
※[coded][3D]では、幻などとして登場

使用キーブレード **レインフォール** ほか

「テラ、ヴェン――待ってて。私があなたたちを救ってみせる」

テラやヴェントゥスとともに旅立ちの地で修行を積み、3人のなかでただひとりキーブレードマスターとして認められた女性。アンヴァースの討伐とマスター・ゼアノートの捜索のほかに、テラを見守るという任務を師エラクゥスから内密に受ける。χブレードをめぐる戦いに身を投じ、ゼアノートに身体を奪われたテラを救おうとして、闇の世界に閉じこめられた。



⬅テラやヴェントゥスとの絆を何よりも大切に思っており、3人のつながりの象徴としてお守りを作る。



⬆師に命じられてさまざまな世界を旅するなかで、幼いころのソラ、リク、カイリと出会った。

「私たちの心の絆は、おまえたちの策ごときで壊されるほど脆弱ではない！」



⬅肉体を奪われたテラを救おうと孤軍奮闘。闇の世界へ落ちかけたテラを光の世界に帰したものの、それと引きかえに自分は闇の世界をさまようことに。

⬇闇の世界で出会った賢者アンセムから、ソラがキーブレードの勇者になったと聞かされ、いつかソラがみんなを救ってくれると信じて待ちつづけている。





鎧装着時

テラを光の世界へ帰すとき、アクアは自分の鎧にテラを託した。その鎧は現在、ゼムナスがホロウバスティオンの賢者アンセムの研究室の地下に作った「眠りの部屋」に安置されている。

テラたちを育てた厳格な師匠

Master Eraqus マスター・エラクゥス



登場作品 [BbS] 使用キーブレード **マスターキーパー**

「おまえたち誰一人、
闇に奪われたくは
ないのだ」

テラ、ヴェントゥス、アクアの師匠で、旅立ちの地を守る正統なるキーブレードマスター。光こそが正義と信じ、闇は排除すべきものと考えている。マスター・ゼアノートは兄弟子であるが、かつて光と闇のありかたをめぐって衝突した間柄。また、光の世界を見守りつづけるイェン・シッドとも親交が深い。



➡3人の弟子を厳しくも温かな目で指導。とくにテラのことは実の息子のように思っており、彼が抱える心の闇について案じている。



⬅ゼアノートの陰謀を阻止するためにヴェントゥスを封印しようとしてテラと争い、ゼアノートにトドメを刺されたが、エラクゥスの心は……。

ヴェントゥスから欠け落ちた闇の権化

Vanitas ヴァニタス

登場作品 [FM][BbS] 使用キーブレード （ヴォイドギアと同型のもの）

※[FM]では、シークレットムービーにのみ登場

仮面をかぶり、全身から闇の気配を漂わせる少年。その正体は、マスター・ゼアノートがヴェントゥスの心から取り出した闇が具現化した存在で、ゼアノートの策略に従ってヴェントゥスと戦い、χブレードを生み出すことに成功。だが、最後はヴェントゥスに敗北し、χブレードともども消滅した。



「テラを追って、
おまえの目で確かめるんだ。
テラがテラでなくなるところをな」



⬆アンヴァースはヴァニタスの感情の一部が魔物と化したもので、ヴァニタスが各地にバラまいていた。



仮面をはずした姿

[BbS]

ヴェントゥスの欠けた心をソラがおぎなった結果、その欠けた部分であるヴァニタスにも影響がおよんでソラと同じ顔になった。



長きにわたる混乱を世にもたらした悪しきキーブレード使い

Master Xehanort

マスター・ゼアノート

登場作品 | [●Ⅱ][●BbS][●3D]

※[●Ⅰ]では、シークレットムービーにシルエットで登場
※[●ⅠFM]では、シークレットムービーにのみ登場

使用キーブレード （名称不明）

マスター・エラクゥスの兄弟子で、光と闇の均衡がとれた世界こそが理想であると考えているキーブレードマスター。光の力が強すぎる世界を闇で覆うため、χブレードを生み出してキーブレード戦争を引き起こそうと、10年以上にわたって暗躍してきた。本来は老人の姿だが、若き日のゼアノートや、みずから心を捨ててハートレスやノーバディとなったゼアノートなど、さまざまな分身が存在する。







⬆ヴェントゥスとヴァニタスを利用してχブレードを生み出そうとしたが、失敗に終わった。



⬆かつての失敗を経て、今度は「7人の光の守護者」と「13人の闇の探求者」からχブレードを生み出そうとする。

「完全なる光と
完全なる闇の衝突こそが生み出すのだ。
究極の鍵、χブレード(キー)を！」

青年ゼアノート

[●BbS FM(※1)][●Re:coded(※2)]
[●3D]

故郷を旅立ったころの若きゼアノート。ソラを"真のⅩⅢ機関"の13番目の器とすべく、夢の深みへと誘う。



「眠りの先で待っている」

テラ=ゼアノート

[●BbS]

テラの身体を乗っ取ったゼアノート。テラとほぼ同じ姿だが、髪が銀色、瞳が金色に変化している。





⬅アクアと戦ったあと、記憶喪失になった状態で賢者アンセムに助けられ、弟子入りしたのちにハートレスとノーバディに分かれた。



⬆夢の世界を旅するソラの前にたびたび現れては、ソラをまどわせ闇に堕とすために謎めいた言葉をかける。

「奴の心は、闇に消えた。自らの闇に溺れたのだ」

※1……隠しボス「謎の男」として登場　※2……『KH HD2.5リミックス』のシークレットムービーにのみ登場



"世界の心"を集める闇の探求者

Ansem アンセム

登場作品 | [I][COM][3D]

「無知なる心よ。暗闇で眠るがいい！」

テラの身体を乗っ取り若返ったゼアノートが、心を捨てたことで生まれたハートレス。リクの心の闇につけこんで身体を奪い、マレフィセントたちを利用して"世界の心のキングダムハーツ"へ通じる扉を開こうとした。最後はソラに倒されたが、のちに「13人の闇の探求者」のひとりとしてキーブレードの勇者たちの前に現れる。



⬅賢者アンセムの弟子だったゼアノートは、師を無の世界に追放すると、ハートレスとなったうえで闇の探求者アンセムを名乗り、世界を闇で包もうとする。



➡ソラに倒されたあともリクの心の奥にはアンセムの影が残っており、ことあるごとに表に出てくる。

キーブレード使いを利用して心を集める"虚無の支配者"

Xemnas ゼムナス

登場作品 | [I FM][II][Days][3D]　XIII機関 No.I　属性：無

※[I FM]では、隠しボス「謎の男」として登場

ゼアノートのノーバディ。賢者アンセムの元弟子たちを中心に、強力なノーバディで構成された集団「XIII機関」を結成し、"人の心のキングダムハーツ"の完成を目指す。ソラとリクに倒されたが、「13人の闇の探求者」のひとりとして登場する。



「キーブレードの勇者たちよ――私に心を運んでくれ」

ラストバトル時

[II]





⬆XIII機関のリーダーとして組織をまとめる。口調や身振りは、やや芝居がかったもの。



➡アクアの鎧に「友」と呼びかけるなど、テラを思わせる言動を垣間見せることも。ゼムナスのなかにテラの心はまだ存在しているのか？

鋭い眼光の奥に本心を隠す“魔弾の射手”

Xigbar シグバール

「裏切り者は
消えろってハナシだ!」

登場作品 | [●II][●Days][●3D]

XIII機関 No.2　　属性:空間

XIII機関の最古参メンバーのひとりである隻眼の男。人間時代からマスター・ゼアノートに協力しており、いったんソラに倒されたあと、「13人の闇の探求者」のひとりとしてふたたび姿を現す。





人間時 Blaig ブライグ

[●BbS][●Re:coded(※1)][●3D]

賢者アンセムの弟子のひとりとして、レイディアントガーデンにおいて親衛隊員を務めていた。ゼアノートと出会ったのを期に彼の計画に荷担し、最終的にノーバディとなる。



↑右目の眼帯や左頬の傷跡など、歴戦の強者を思わせる威圧感のある風貌だが、話すときは「〜ってハナシ」を語尾につけて、相手を小馬鹿にするような態度をとる。



↑人間時代にヴェントゥスを知っており、彼とロクサス、そしてロクサスの本体のソラを重ねるような発言をする。

風の力を従える“旋風の六槍”

Xaldin ザルディン

「誰も信用するな。そして怒れ!
怒りだけがおまえを強くするのだ」

登場作品 | [●II][●Days]

XIII機関 No.3　　属性:風

機関の初期メンバー6人のうちのひとりで、風の力と6本の長槍を武器とする黒髪の大男。弁舌にも長け、人の弱みにつけこんで相手を意のままにあやつることを得意とする。ビーストを機関の手駒にしようとするも、ソラに敗れて消滅し、のちに人間として復活した。



↑武人でありながら話術もたくみで、ビーストから生まれるハートレスとノーバディを手に入れて機関の戦力にしようと、彼の怒りや憎しみの感情に火をつける。





↑吹き荒れる風を身にまとい、6本の槍を縦横無尽に振りまわす。その戦闘能力は、機関のなかでもかなりのもの。

人間時 Dilan ディラン

[●BbS][●Re:coded(※1)][●3D]

心を失ってノーバディとなる前は、賢者アンセムの弟子かつ親衛隊員として、レイディアントガーデンの城門を守っていた。人間にもどったあとは寝込んでいる。



※1……『KH HD2.5リミックス』のシークレットムービーにのみ登場

「本当に価値があるのか――見極めるには実験が必要だ」

プライドの高い“いてつく学究”

Vexen ヴィクセン

登場作品 | [COM][II FM][Days]

※[II FM]では、回想シーンに登場するほか、隠しボス「アブセント・シルエット」および「再現データ」として登場

XIII機関 No.4　　属性：氷



データ収集と実験を何よりも好む研究者タイプの機関員。リク＝レプリカとシオンは、彼が作成した。機関の初期メンバーであることに並々ならぬプライドを持っており、自分よりもナンバーが下の者には高圧的な態度をとる。マールーシャの策にハマってアクセルに消されたあと、人間にもどった。



⬆頭脳明晰な科学者だが、性格的にはクールに見えて非常に短気。新参者であるマールーシャやラクシーヌに少し挑発されただけで、すぐ相手に食ってかかる。



⬆リク＝レプリカを生み出すなど、ふだんは研究に身を置き、いざというときは氷の力を宿した盾を持って戦う。

人間時 Even エヴェン

[BbS][Re:coded(※1)][3D]

賢者アンセムの弟子として心の研究を手伝いつつ、孤児のイェンツォの世話をしていた。人間にもどったあとは、容態が安定せず寝込んだままとなっている。



怪力を誇る無口な“静かなる豪傑”

Lexseus レクセウス

「闇に怯える弱い心の持ち主にこのレクセウスは倒せない」

登場作品 | [COM][II FM][Days]

※[II FM]では、隠しボス「アブセント・シルエット」および「再現データ」としてのみ登場

XIII機関 No.5　　属性：土

機関では最古参のひとりで、巨大な斧を持つ筋骨隆々とした武人。寡黙な性格をしており、自分の意志を示すときも必要最小限のことしか語らず、行動で示そうとする。忘却の城にて、リクを自分たちに従わせようとして、リクの身体を支配したアンセムに倒されるが、アクセルらとともに人間として復活した。





⬆武骨な風貌にふさわしく、巨大なアックスソードをいとも簡単に振りまわし、圧倒的な力で敵を打ち砕く。



人間時 Aeleus エレウス

[BbS][Re:coded(※1)][3D]

もともとは賢者アンセムの弟子のひとり。彼の研究を手伝いながら、親衛隊員としてディランと一緒にレイディアントガーデンの城の門番を務めていた。



➡忘却の城では、ヴィクセンやゼクシオンとともに、マールーシャに対抗しようとする。

幻術と知略に長けた“影歩む策士”

Zexion ゼクシオン

登場作品 | [COM][II FM][Days]

※[II FM]では、回想シーンに登場するほか、隠しボス「アブセント・シルエット」および「再現データ」として登場

XIII機関No.6　属性：幻

機関の初期メンバーのなかでは一番若い青年。言葉づかいや物腰はていねいだが、狡猾な策略家で、幻をたくみに使って相手を翻弄する。忘却の城にて、アクセルの手でリク＝レプリカの“エサ”にされて消滅し、のちに人間として復活をとげた。





⬆忘却の城でマールーシャの反逆に気づき、それに対抗するべくリクを手に入れようと画策。自分の手は汚さずに仲間のヴィクセンをたきつけるという、したたかさを見せる。

「嘆かわしい。
機関の結束はどこへ
行ったのでしょうね」

人間時

Ienzo イェンツォ

[BbS][Re:coded(※1)][3D]

幼いころに両親を失って賢者アンセムのもとへ引き取られて以来、心の研究を手伝ってきた。幼少時は無口だったが、成長後は話が長くて理屈っぽい。

子ども時代

[BbS]



※1……『KH HD2.5リミックス』のシークレットムービーにのみ登場

機関の副官を務める“月に舞う魔人”

Saix サイクス

登場作品 | [II][Days][3D]

XIII機関No.7　属性：月

感情の起伏をほとんど表に出さない、冷徹な青年。機関の初期メンバーでないにもかかわらずゼムナスからの信頼は厚く、組織の参謀役を務める。一度はソラに倒されたが、「13人の闇の探求者」のひとりとして復活した。

「我らはキングダムハーツとともに
完全な存在となる」





⬆「“人の心のキングダムハーツ”を作る」という機関の目的を果たすべく、ソラの前に何度か現れてはハートレスを倒すようあおる。



人間時

Isa アイザ

[BbS][Re:coded(※2)]

レイディアントガーデンに住む少年で、親友のリアと一緒に賢者の城へ忍びこもうとしていた。のちに機関に加入したことも含めて、ふたりには何か目的があるようだが？



⬆機関を率いるゼムナスの腹心であるがゆえに、シオンを用いた極秘の計画についても最初から知らされていた。

※2……『KH HD2.5リミックス』のシークレットムービーにのみ、成長後の姿で登場

ノリが軽くつかみどころのない"夜想のしらべ"

Demyx デミックス

登場作品 | ［II］［Days］

XIII機関No.9　属性：水

いつもふざけているかのような態度をとるXIII機関のメンバーのひとり。シタールという楽器を大事にしており、それを演奏することで水をあやつる能力を持つ。ソラと一体化したロクサスを機関に連れもどす任務を受けてソラと対決し、返り討ちに遭った。





⬆戦いは苦手と公言してはばからない。それでも、敵と戦うことになった場合は、水の力で分身を作ったり水泡の衝撃で攻撃したりと、秘めた実力を見せる。



⬆情けない言動をしたかと思えば急に真剣な顔つきになるなど、一見表情が豊かだが、どこかわざとらしい。

「俺、手荒い仕事は
ちょっと向いてないって」

つねに余裕を漂わせる"運命を賭す者"

Luxord ルクソード

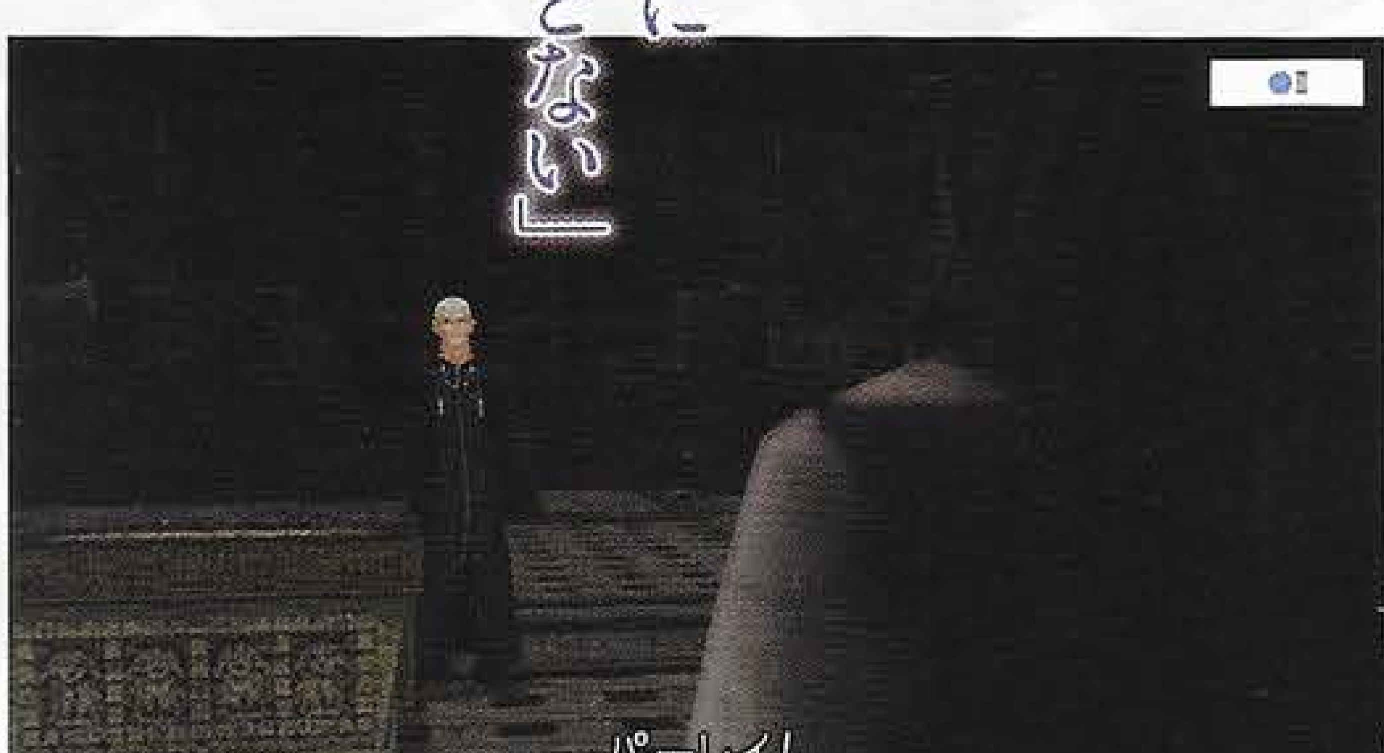
登場作品 | ［II］［Days］

XIII機関No.10　属性：時

勝負事とあれば、生死をかけた戦いにもゲームを楽しむかのように挑む、ギャンブラー気質の機関員。髪とヒゲはつねにきちんと整えており、どのような状況であっても言動や態度に余裕を感じさせる。機関の城に乗りこんだソラを1対1の真剣勝負で迎え撃ち、戦いに敗れて消滅した。

「先が読める勝負などに
何かを賭ける価値などない」





⬆誰に対しても紳士然としたスマートな態度で接し、その言葉はどこかキザで余裕にあふれている。ポートロイヤルでは、海賊のルールを利用してソラたちを振りまわす場面も。



⬆根っからのギャンブラーで、勝負のスリルを味わうためなら自身の存在を賭けることさえもいとわない。

機関への反逆をくわだてる“優雅なる凶刃”

Marluxia マールーシャ

「真実に背を向ける、弱い心――
ならば私の敵ではないッ！」

登場作品 | [COM][II FM][Days]

※[II FM]では、隠しボス「アブセント・シルエット」および「再現データ」としてのみ登場

XIII機関No.11　属性：花

XIII機関では新参者でありながら、忘却の城の管理を一任されていた実力者。ラクシーヌと手を組んで、ナミネの能力を使ってソラを意のままにあやつり、機関を乗っ取ろうとたくらんだが、アクセルの妨害に遭って失敗。自身もソラに倒されて消滅した。







⬆ナミネの力でソラの記憶を改ざんすることはもともと機関の計画のうちだったが、マールーシャはそれを利用してソラを自分だけの手駒にしようとした。



⬆王様とリクを捜すために旅をしていたソラたちの前に現れ、言葉たくみに忘却の城へと誘う。

高飛車で自信過剰な“非情の妖姫”

Larxene ラクシーヌ

「悪いけど私、今ものすっごく
機嫌が悪いのよね」

登場作品 | [COM][II FM][Days]

※[II FM]では、隠しボス「アブセント・シルエット」および「再現データ」としてのみ登場

XIII機関No.12　属性：雷

雷の力とナイフを使いこなす、XIII機関の紅一点。容姿は美しいが、性格は冷酷かつ高慢で、他人の心を傷つけることに何よりも喜びを感じる。マールーシャと共謀して機関の乗っ取りを図るも、計画の途中でソラに倒されて消滅した。







⬆どんな相手に対しても徹底的に見くだした態度をとり、わざと心が傷つくような言葉を投げかけては、相手が苦しむ姿を見て楽しむ。



⬆他人は平気で傷つけるが、己の自尊心を傷つけられるのは我慢ならず、いったん怒ると手がつけられない。



謎に包まれた「14番目のメンバー」

Xion シオン

登場作品 ｜ ［Days］［coded］［BbS］［3D］

※［coded］［BbS］［3D］では、幻として登場

XIII機関 No.14 (i)　属性：――

使用キーブレード　**キングダムチェーン**



「あたしは存在してはならないの？」



⬆シオンは見る者によって異なる姿に映る。ロクサスも、シオンと親しくなるまでは、彼女がフードで顔を隠しているように見えていた。

14番目のメンバーという名目でXIII機関に加入した新人。その正体は、ソラの記憶のなかのカイリをモデルとしたレプリカ人形で、ロクサスのキーブレード使いとしての力を吸収するために機関に作られた。しかし、ロクサスやアクセルと過ごすうちに彼らと友情を深め、最後はソラのなかに還る道を選ぶ。



➡リクと出会って、自分がロクサスの力やソラの記憶を吸収しているのだと知り、自分自身の存在について思い悩むようになる。

機関によって生み出されたリクそっくりの人形

Riku-replica リク=レプリカ

登場作品 ｜ ［COM］

リクから採取した戦闘データをもとにヴィクセンが生み出した、リクのレプリカ人形。外見も戦闘能力も本物のリクとうりふたつだが、戦いを重ねるごとに「自分は所詮、偽物にすぎない」という劣等感が強まっていき、本物のリクに戦いを挑んで敗れた。





⬆当初は本物のリクもソラも倒してみせると意気込んでいたが、ナミネの力で偽の記憶を植えつけられたあとは、自分が偽物だということを忘れ、本物のリクのように振る舞う。



「おまえが存在するかぎり
俺は永久に影なんだッ！」



⬆本物のリクとはちがって闇への恐れを持っておらず、戦いにおいても闇の力をためらうことなく行使する。

KEYBLADE encyclopedia

【キーブレード図鑑】
取っ手につけるキーチェーンによって形が変わる特殊な武器、キーブレード。ここでは、過去に登場したキーブレードを、操作キャラクターが使うものを中心にまとめてみた。

※装備できる操作キャラクターをCGの右下に表記している　※『KH COM』と『KH Re：COM』は、アタックカードとして登場するキーブレードを掲載
※本編以外の場面(タイトルデモやシークレットムービーなど)にのみ登場したキーブレードはのぞいている

メインストーリーに深い関わりがあるキーブレード

キングダムチェーン

[●I] [●COM] [●II] [●Days] [●coded] [●3D]



[ソラ] [ロクサス] [シオン]

ソラ、ロクサス、シオンの基本装備。ソラがはじめてキーブレードを手にしたときには、この形をしていた。なお、『KHII』ではアンチソラ、『KH coded』ではソラ・ハートレス、『KH 3D』ではナイトメア・アーマーヴェントゥスといった敵もこれと同じ形状の武器を使う。

約束のお守り

[●I] [●COM] [●II] [●Days] [●coded] (※1)



[ソラ] [ロクサス] [シオン]

ソラがカイリと交わした「リクを助ける旅から無事に帰ってくる」という約束を象徴するキーブレード。先端部分には「光」の文字がかたどられており、キーチェーンはサラサ貝で作ったカイリのお守りに似ている。

過ぎ去りし思い出

[●I] [●COM] [●II] [●Days] [●coded] (※1)

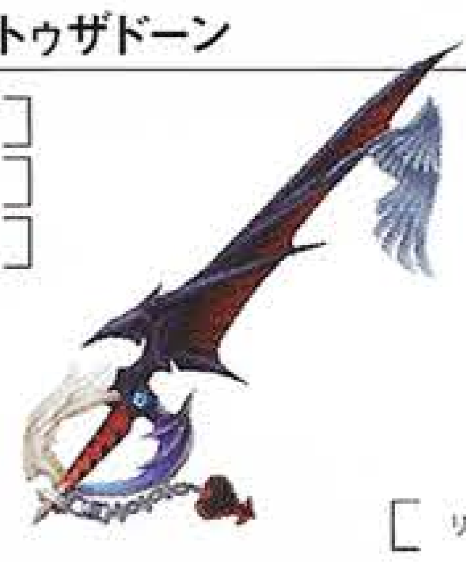


[ソラ] [リク] [ロクサス]

闇にとらわれたリクと関係があるキーブレード。約束のお守りとは対になる存在で、先端部分が「闇」の文字の形になっている。なお、『KH Days』では、敵として現れるアンチリクもこれを使う。

ウェイトゥザドーン

[●II] [●Days] [●3D]

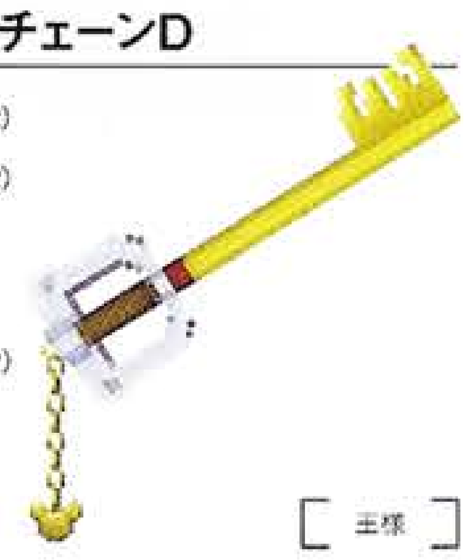


[リク]

リクの基本装備。リクが闇にとらわれていた時期に使っていた武器「ソウルイーター」がモチーフ。

キングダムチェーンD

[●I] (※2) [●Re:COM] (※2) [●II] [●Days] [●3D] (※2)

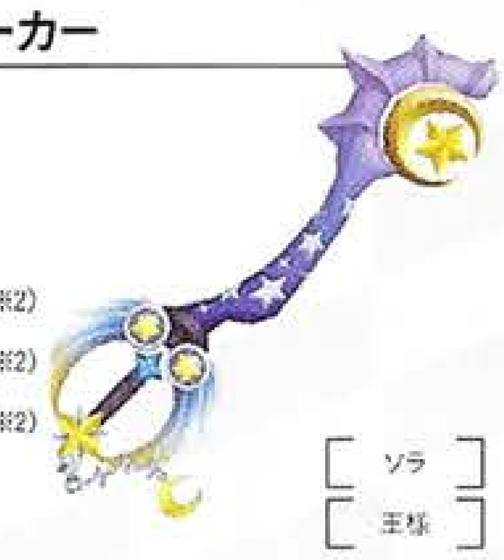


[王様]

王様の基本装備。正式名称は「キングダムチェーン ダークサイド」で、王様が闇の世界を冒険して手に入れた。

スターシーカー

[●II] [●Re:COM] [●Days] [●coded] (※2) [●BbS] (※2) [●3D] (※2)

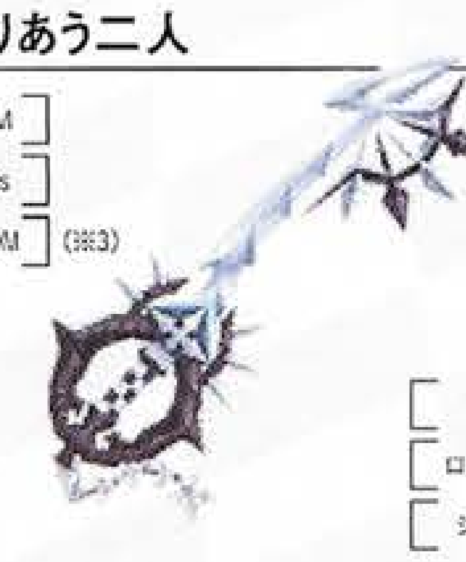


[ソラ] [王様]

もともとは、王様が修行時代に使っていたキーブレード。『KHII』で、イエン・シッドがソラに授けた。

めぐりあう二人

[●II FM] [●Days] [●Re:COM] (※3)



[ソラ] [ロクサス] [シオン]

ロクサスに関係があるキーブレード。『KHII FM』では、存在しなかった世界のロクサス戦で手に入る。

アースシェイカー

[●BbS] [●3D] (※4)

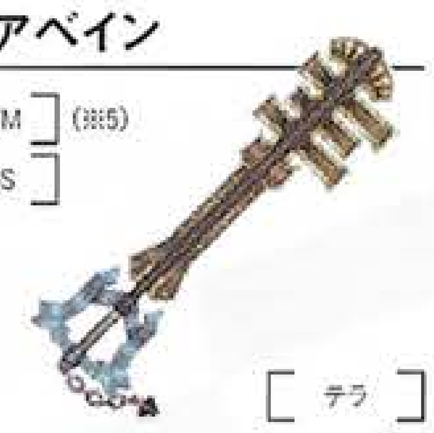


[テラ]

テラの基本装備。パワーにすぐれたテラによく似合う、重厚な外見が目を引く。

ガイアベイン

[●II FM] (※5) [●BbS]



[テラ]

デスティニーアイランドでリクに継承の儀式を行なったときに手に入るキーブレード。

カオスリーパー

[●BbS]

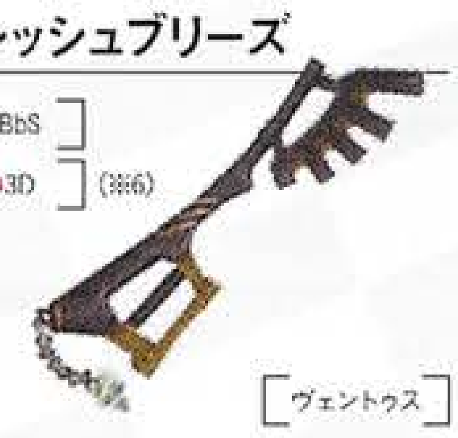


[テラ]

旅立ちの地で師匠のエラクゥスと戦い、闇の力を行使すると利用できるようになる。

フレッシュブリーズ

[●BbS] [●3D] (※6)



[ヴェントゥス]

ヴェントゥスの基本装備。旅立ちの地で修行をはじめる前から出現させることができた。

ロストメモリー

[●BbS]



[ヴェントゥス]

ヴェントゥスの欠けた心を象徴するかのように、先端のハートが欠けているのが特徴。

レインフォール

[●BbS] [●3D] (※7)



[アクア]

アクアの基本装備。女性があつかうためか、比較的細身なデザインになっている。

デスティニープレイス

[●II] (※8) [●BbS] [●3D] (※8)



[アクア]

カイリに関連するキーブレード。レイディアントガーデンで敵からカイリを助けると手に入る。



↑『KHII』では、カイリがこのキーブレードを手に取って敵と戦う場面も。

レインストーム

[●II FM] (※9) [●BbS]



[アクア]

デスティニーアイランドでソラとリクに出会ったことで使えるようになる。

ブライトクレスト

[●BbS]



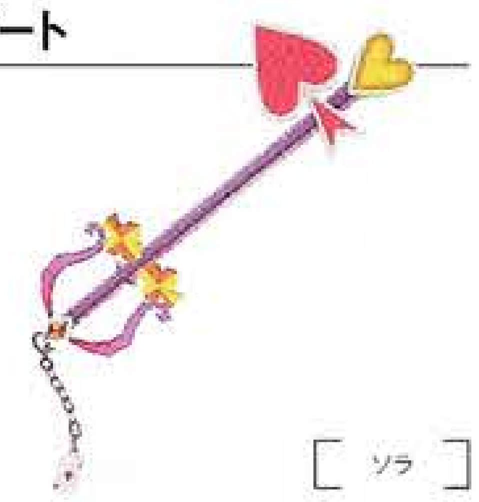
[アクア]

つながりのお守りがもとになったキーブレード。ラストエピソードでのみ使用可能。

※1……敵の？？？？(ロクサス)が使う武器として登場。ソラ(データ・ソラ)が使えるのは『KH Re:coded』のみ　※2……王様の武器としてイベントシーンなどに登場
※3……『KH HD1.5リミックス』にのみ登場(『KH Days』の映像をすべて見たセーブデータが必要)　※4……テラの武器としてイベントシーンに登場
※5……敵の留まりし思念が使う武器として登場　※6……ヴェントゥスの武器としてイベントシーンに登場　※7……アクアの武器としてイベントシーンに登場

ワールドがモチーフのキーブレード

ラストリゾート
[I] [COM] [Re:coded]



[ソラ]

モチーフ｜ワンダーランド

ネイティブワーク
[I]



[ソラ]

モチーフ｜ディープジャングル

パワーオブヒーロー
[I] [COM] [Re:coded]



[ソラ]

モチーフ｜オリンポスコロシアム

ヒーローズクレスト
[II]



[ソラ]

モチーフ｜オリンポスコロシアム

マークオブヒーロー
[BbS]



[テラ]



[ヴェントゥス]



[アクア]

モチーフ｜オリンポスコロシアム

※『KH BbS』に登場するキーブレードは、同じ名前のものでも、装備するキャラクターごとに長さや細部のデザインが異なる

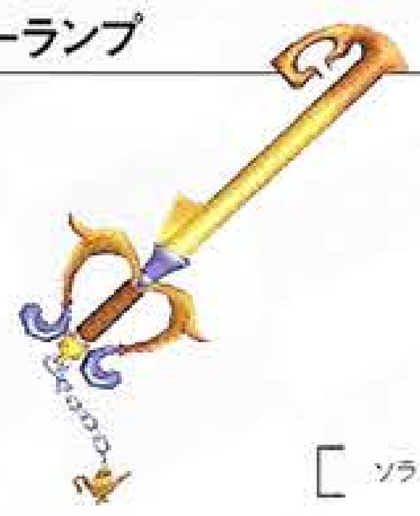
フェイタルクレスト
[II]



[ソラ]

モチーフ｜オリンポスコロシアム(冥界)

デザイアーランプ
[I] [COM] [Re:coded]



[ソラ]

モチーフ｜アグラバー

ウィッシーズランプ
[II]



[ソラ]

モチーフ｜アグラバー

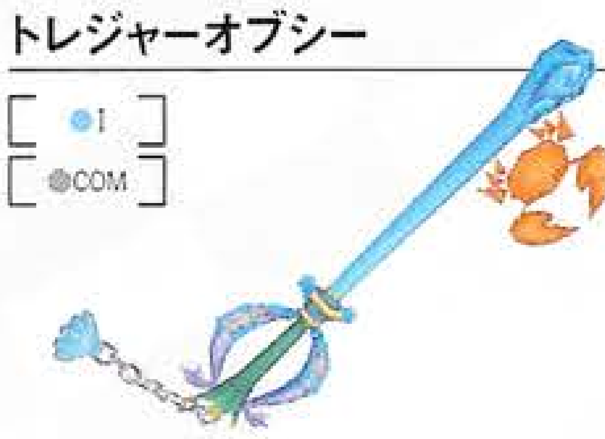
ウィッシュスター
[I] [COM] [Re:coded]



[ソラ]

モチーフ｜モンストロ

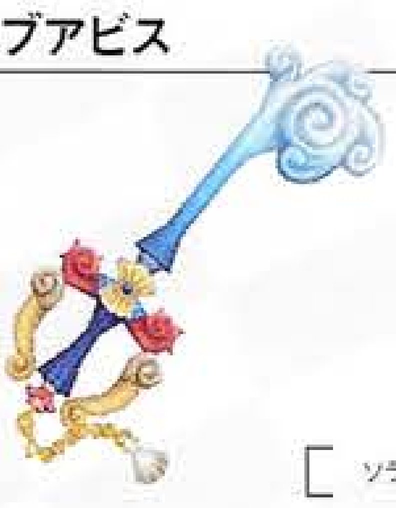
トレジャーオブシー
[I] [COM]



[ソラ]

モチーフ｜アトランティカ

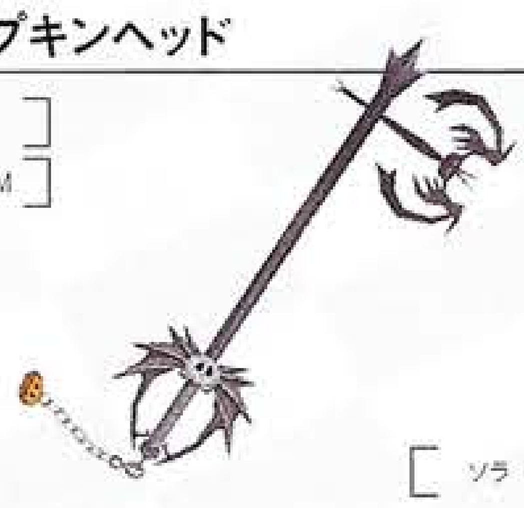
ワンダーオブアビス
[II]



[ソラ]

モチーフ｜アトランティカ

パンプキンヘッド
[I] [COM]



[ソラ]

モチーフ｜ハロウィンタウン

ホーリーパンプキン
[II]



[ソラ]

モチーフ｜ハロウィンタウン

フェアリーハープ
[I] [COM]



[ソラ]

モチーフ｜ネバーランド

ピクシーチャーム
[BbS]



[テラ]



[ヴェントゥス]



[アクア]

モチーフ｜ネバーランド

ラヴィアンローズ
[I] [COM]



[ソラ]

モチーフ｜ホロウバスティオン

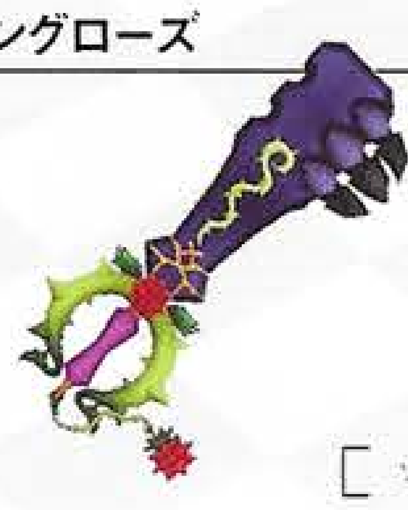
ヒドゥンドラゴン
[II] [Re:COM] (※10)



[ソラ]

モチーフ｜ザ・ランド・オブ・ドラゴン

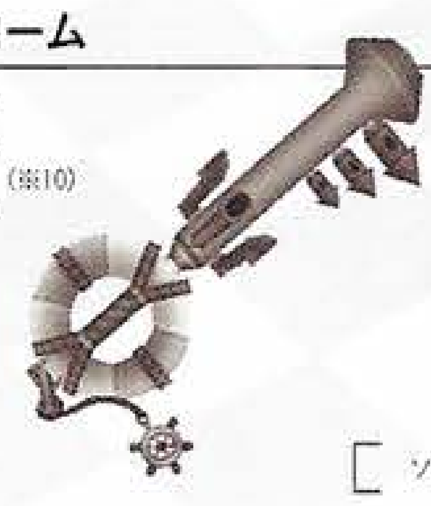
ランブリングローズ
[II]



[ソラ]

モチーフ｜ビーストキャッスル

モノクローム
[II] [Re:COM] (※10)



[ソラ]

モチーフ｜タイムレス・リバー

フォローザウィンド
[II] [Re:COM] (※10)



[ソラ]

モチーフ｜ポートロイヤル

サークルオブライフ
[II]



[ソラ]

モチーフ｜プライド・ランド

※8……カイリの武器としてイベントシーンに登場　※9……ホロウバスティオンの眠りの部屋に保管された状態でイベントシーンに登場
※10……『KH HD1.5リミックス』には登場しない

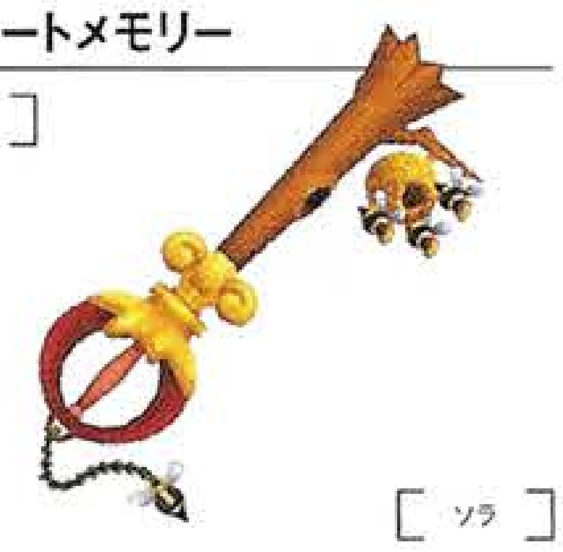
フォトンデバッガー
[●II]
[●Re:COM] (※10)



[ソラ]

モチーフ | スペース・パラノイド

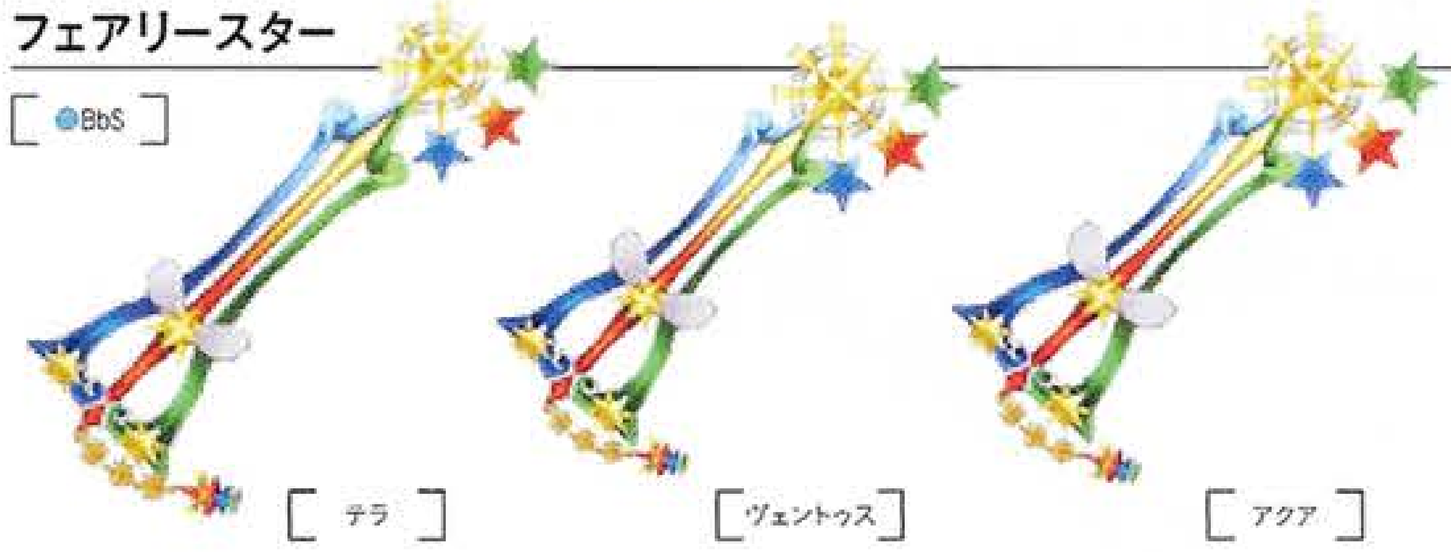
スウィートメモリー
[●II]



[ソラ]

モチーフ | 100エーカーの森

フェアリースター
[●BbS]



[テラ] [ヴェントゥス] [アクア]

モチーフ | エンチャンテッド・ドミニオン

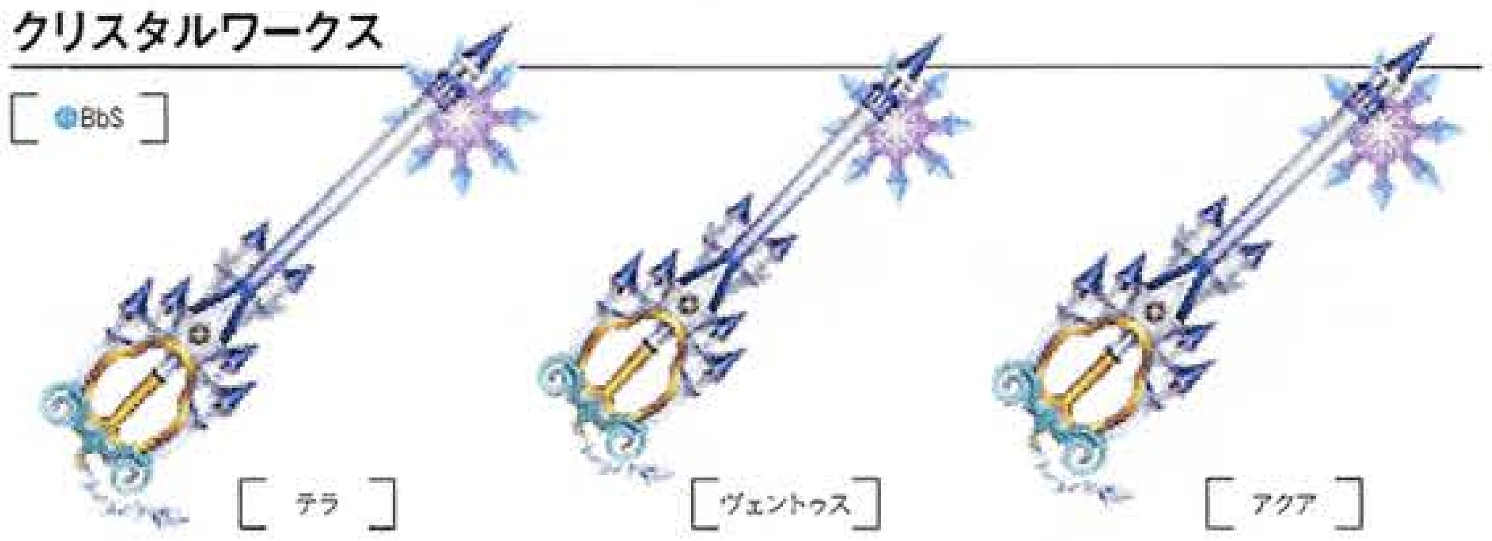
ロックスプレンダー
[●BbS]



[テラ] [ヴェントゥス] [アクア]

モチーフ | ドワーフ・ウッドランド

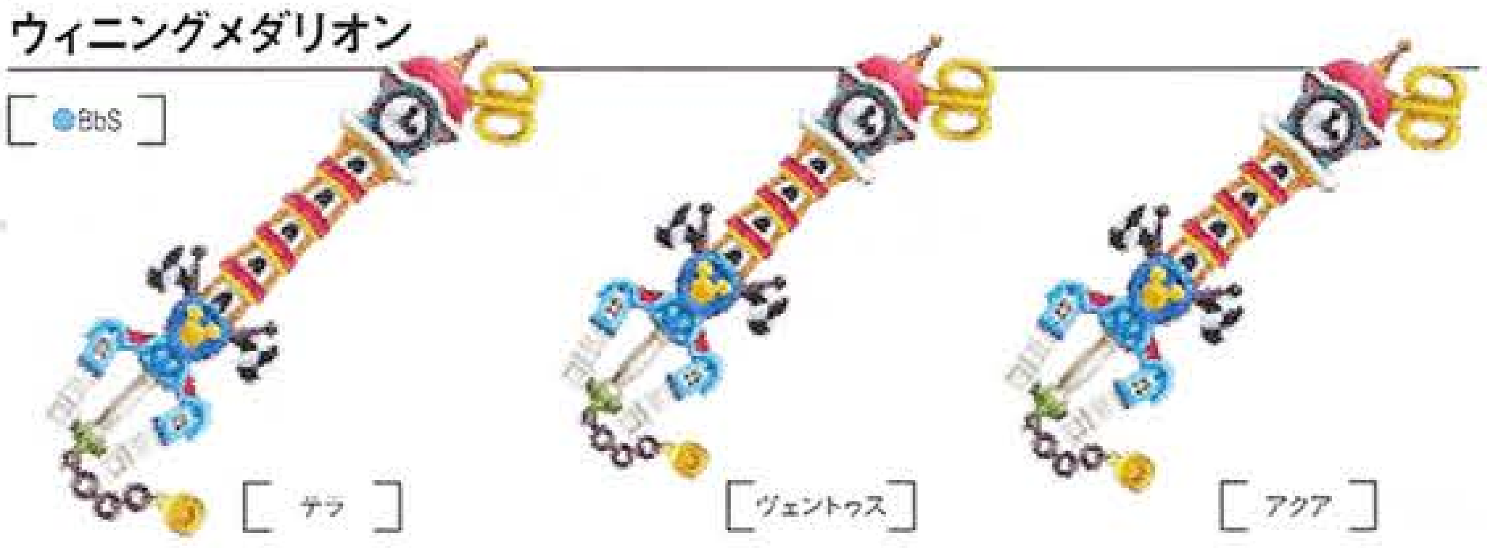
クリスタルワークス
[●BbS]



[テラ] [ヴェントゥス] [アクア]

モチーフ | キャッスル・オブ・ドリーム

ウィニングメダリオン
[●BbS]



[テラ] [ヴェントゥス] [アクア]

モチーフ | ディズニータウン

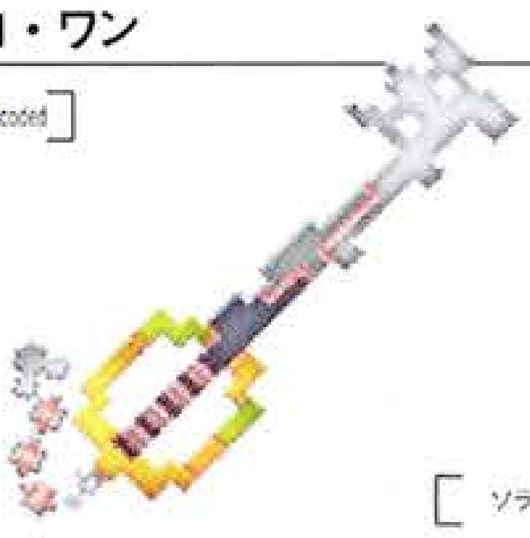
ハイパードライブ
[●BbS]



[テラ] [ヴェントゥス] [アクア]

モチーフ | ディープスペース

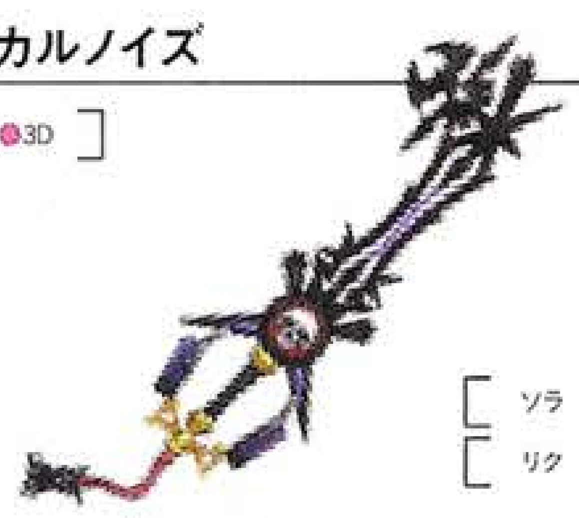
ゼロ・ワン
[●Re:coded]



[ソラ]

モチーフ | データ世界

スカルノイズ
[●3D]



[ソラ]
[リク]

モチーフ | トラヴァースタウン(『すばらしきこのせかい』)

トドメナックル
[●3D]



[ソラ]
[リク]

モチーフ | トラヴァースタウン(ハコザル)

ガーディアンベル
[●3D]



[ソラ]
[リク]

モチーフ | ラ・シテ・デ・クローシュ

デュアルディスク
[●3D]



[ソラ]
[リク]

モチーフ | ザ・グリッド

フェリスギア
[●3D]



[ソラ]

モチーフ | プランクスターズ・パラダイス

オーシャンレイジ
[●3D]



[リク]

モチーフ | プランクスターズ・パラダイス(モンストロ)

オールフォーワン
[●3D]



[ソラ]
[リク]

モチーフ | カントリー・オブ・ザ・マスケティア

ファンタジーノーツ
[●3D]

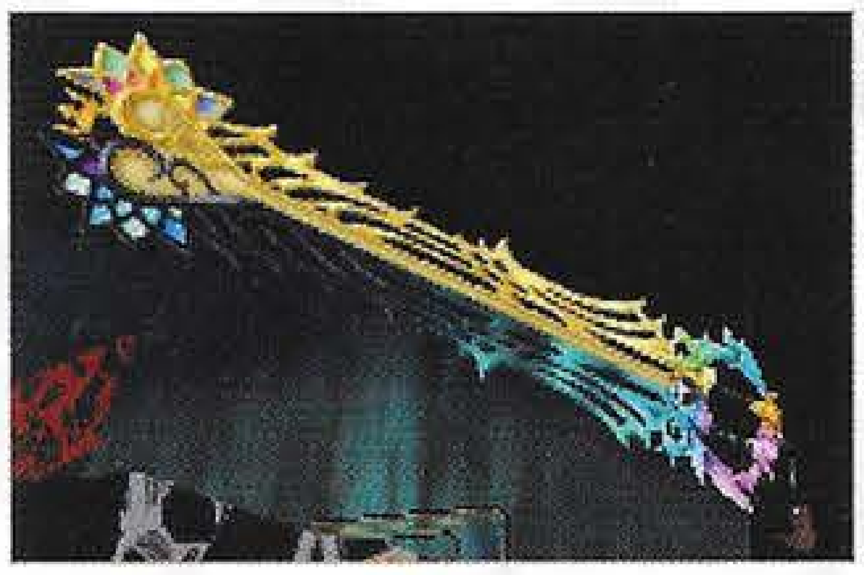


[ソラ]
[リク]

モチーフ | シンフォニー・オブ・ソーサリー

合体キーブレード
[●3D]

存在しなかった世界で、リアリティシフトの入力に成功したときの攻撃で使われるキーブレード。ソラとリクのキーブレードが合体して巨大化する。



※10……『KH HD1.5リミックス』には登場しない

登場キャラクターがモチーフのキーブレード

エグザミネイション
[I]
[COM]



[ソラ]

モチーフ｜マーリン

メタルチョコボ
[I]
[COM]
[Re:coded]



[ソラ]

モチーフ｜クラウド

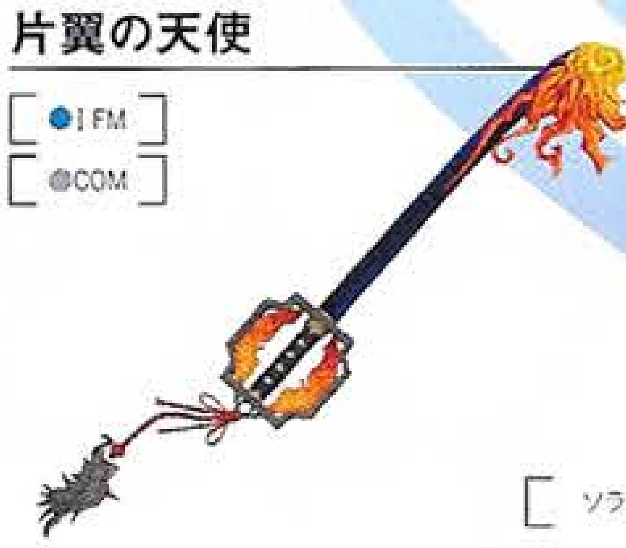
フェンリル
[II]



[ソラ]

モチーフ｜クラウド

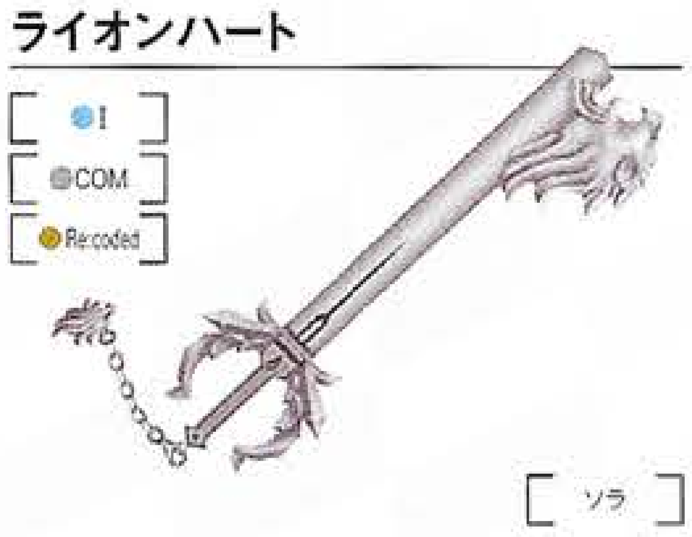
片翼の天使
[I FM]
[COM]



[ソラ]

モチーフ｜セフィロス

ライオンハート
[I]
[COM]
[Re:coded]



[ソラ]

モチーフ｜レオン

スリーピングライオン
[II]



[ソラ]

モチーフ｜レオン

ガルウィング
[II]



[ソラ]

モチーフ｜ユウナ&リュック&パイン

ガーディアンソウル
[II]



[ソラ]

モチーフ｜アーロン

ボンドオブフレイム
[II]
[Re:COM]
[Days]



[ソラ]

モチーフ｜アクセル

ラスカルフレイム
[BbS]



[ヴェントゥス]

モチーフ｜リア

ヴォイドギア
[BbS]（※11）



[テラ]　[ヴェントゥス]　[アクア]

モチーフ｜ヴァニタス

マスターキーパー
[BbS]（※12）



[アクア]

モチーフ｜マスター・エラクゥス

ノーネーム
[BbS FM]



[テラ]　[ヴェントゥス]　[アクア]

モチーフ｜謎の男（青年ゼアノート）

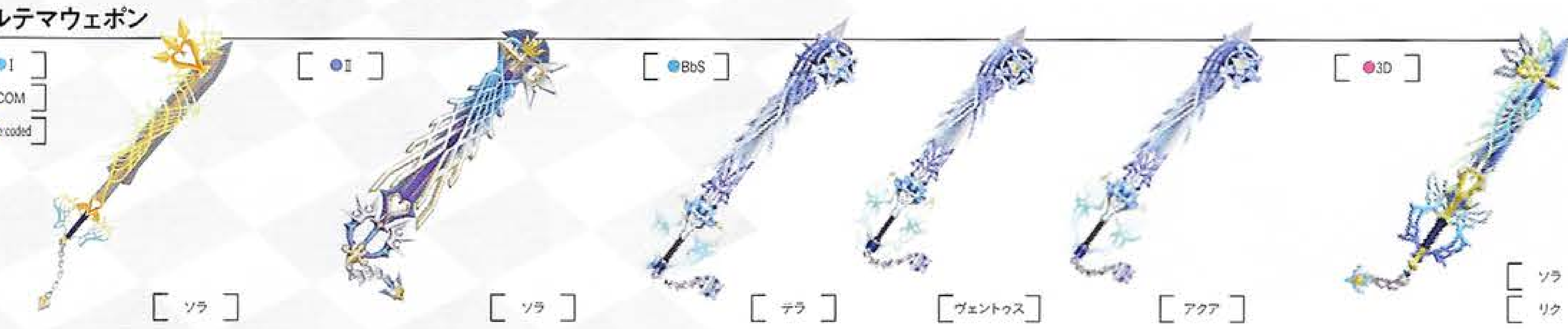
リアのキーブレード
[3D]

エンディングで、リアが出現させるキーブレード。ボンドオブフレイムとラスカルフレイムが融合したようなデザインになっている。



ミニゲームの賞品などになっているキーブレード

アルテマウェポン
[I]
[COM]
[Re:coded]　[II]　[BbS]　[3D]



[ソラ]　[ソラ]　[テラ]　[ヴェントゥス]　[アクア]　[ソラ]　[リク]

[I][II] アイテムを合成して作成できる　[COM] 特定の条件を満たすと忘却の城の宝箱などから手に入る
[Re:coded] ホロウバスティオン前編のシステムエリアのSP報酬　[BbS] アリーナモードのバトル「覇者の復讐」の賞品
[3D] エンディング後にトラヴァースタウンでジュリアスを倒すと手に入る

※11……敵のヴァニタスの思念が使う武器として登場。テラたちが使えるのは『KH BbS FM』のみ
※12……マスター・エラクゥスが使う武器としてイベントシーンなどに登場。アクアが使えるのは『KH BbS FM』のみ

ダイヤモンドダスト

[●Ⅰ FM]
[●COM]



[ソラ]

[●Ⅰ FM] 闘技大会の試合「ゴールドマッチ」の賞品
[●COM] 特定の条件を満たすと手に入るようになる

ウィナーズプルーフ

[●Ⅱ FM]



[ソラ]

Ⅻキノコを全員満足させるともらえる

ダークバイター

[●BbS]



[テラ]

アリーナモードのバトル「幻惑せし者」の賞品

デリシャスタワー

[●BbS]

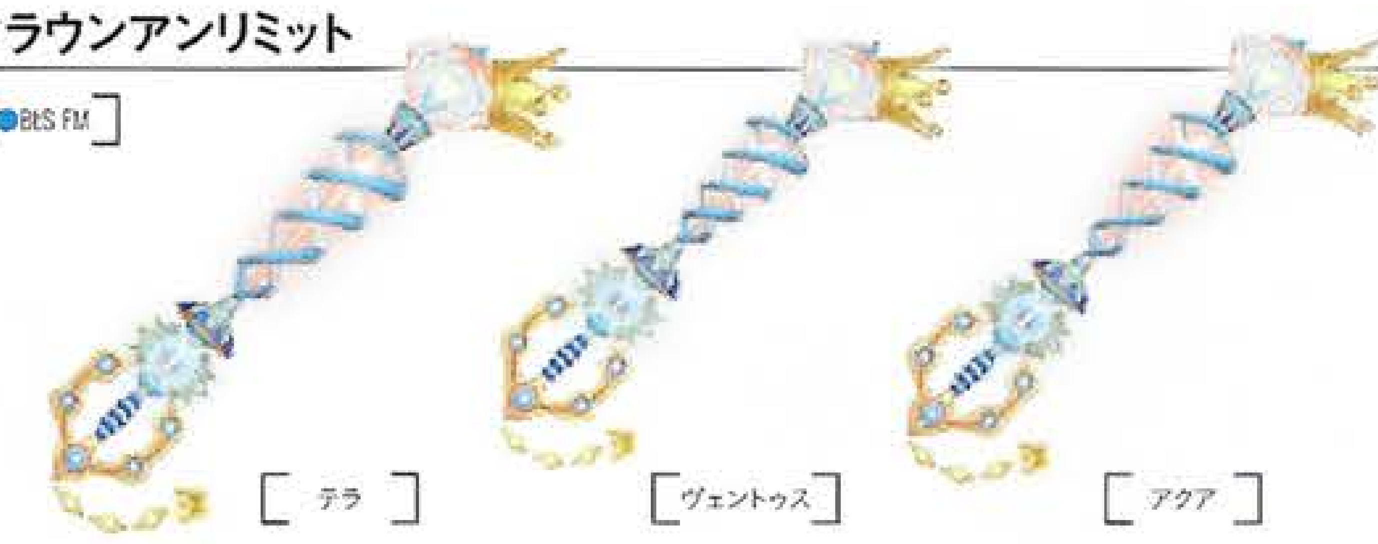


[テラ] [ヴェントゥス] [アクア]

アイスショップで全種類のアイスを作ったごほうび

クラウンアンリミット

[●BbS FM]

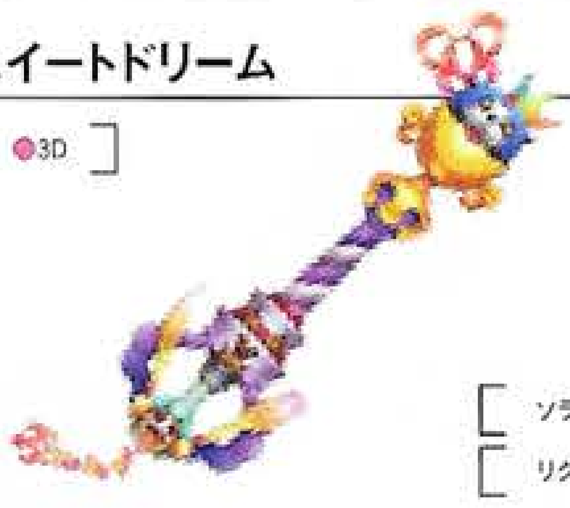


[テラ] [ヴェントゥス] [アクア]

アリーナモードのバトル「闇への遠謀」の賞品

スイートドリーム

[●3D]



[ソラ]
[リク]

フリックラッシュの「シークレットカップ」の賞品

ダイブウイング

[●3D]

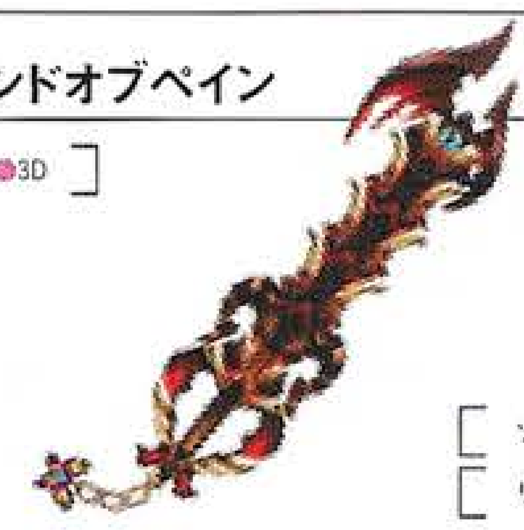


[ソラ]
[リク]

全ワールドのダイブモードでAランクを獲得したごほうび

エンドオブペイン

[●3D]

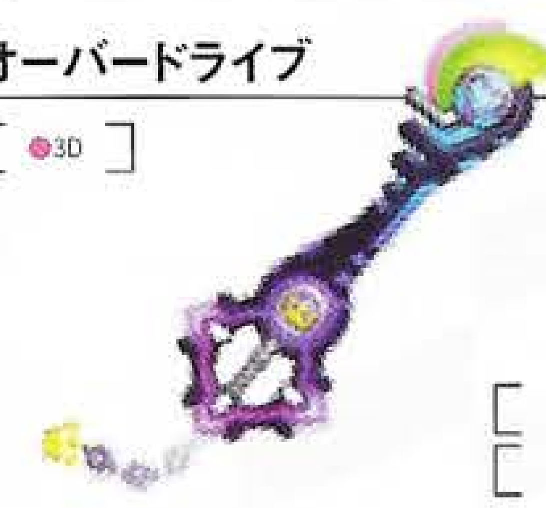


[ソラ]
[リク]

全ワールドのスペシャルポータルをクリアしたごほうび

オーバードライブ

[●3D]



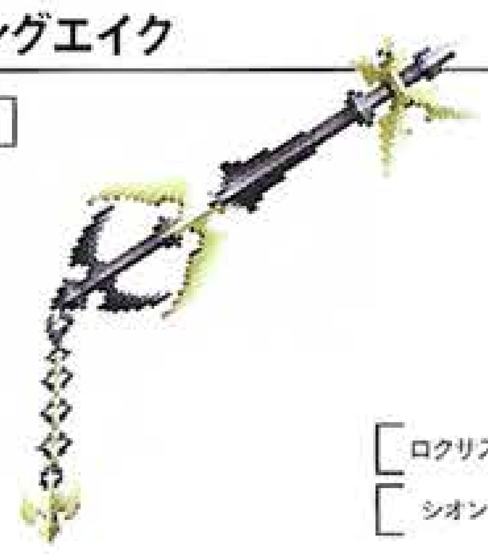
[ソラ]
[リク]

全ワールドのシークレットポータルをクリアしたごほうび

『KH Days』関連のキーブレード

ミッシングエイク

[●Days]



[ロクサス]
[シオン]

オミナスブライト

[●Days]



[ロクサス]
[シオン]

アバドンプラズマ

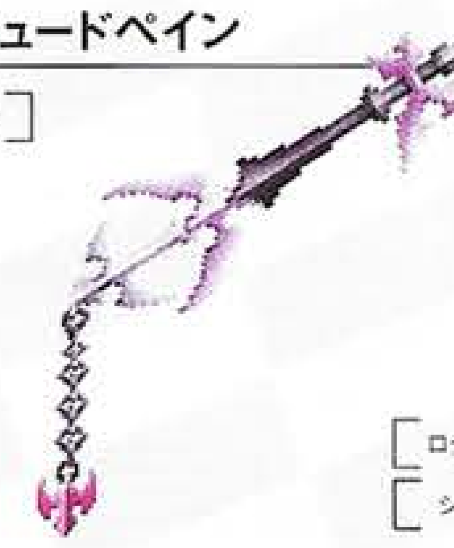
[●Days]



[ロクサス]
[シオン]

ソリチュードペイン

[●Days]



[ロクサス]
[シオン]

イノセントサイン

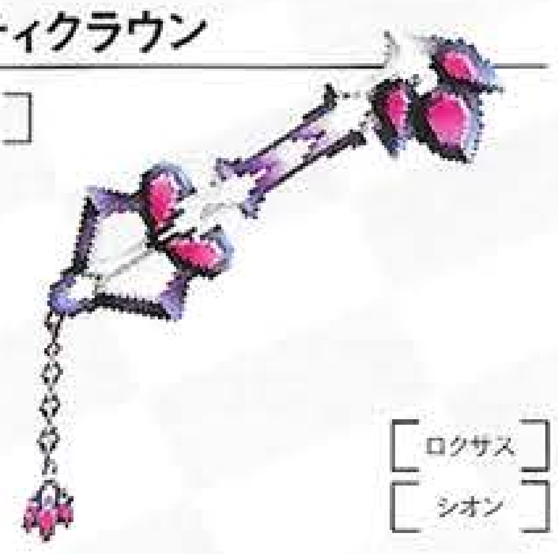
[●Days]



[ロクサス]
[シオン]

ギルティクラウン

[●Days]



[ロクサス]
[シオン]

タイドフロムアビス

[●Days]



[ロクサス]
[シオン]

リヴァイアサン

[●Days]



[ロクサス]
[シオン]

トゥルーライトソアー

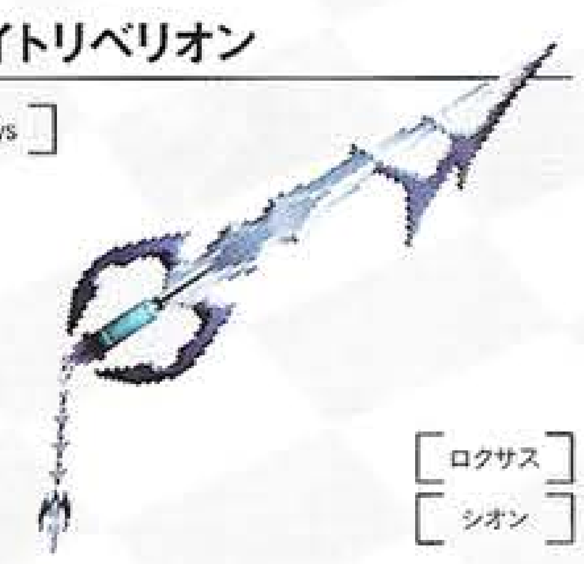
[●Days]



[ロクサス]
[シオン]

フェイトリベリオン

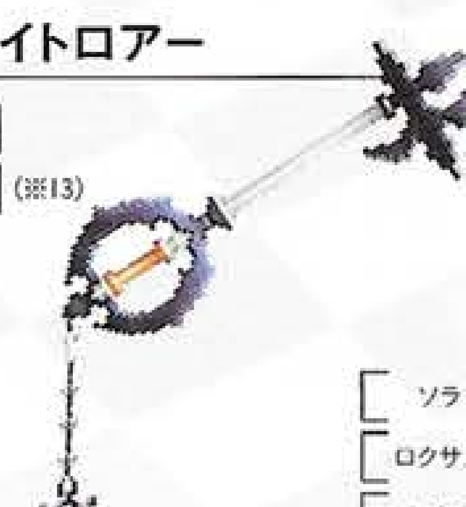
[●Days]



[ロクサス]
[シオン]

ミッドナイトロアー

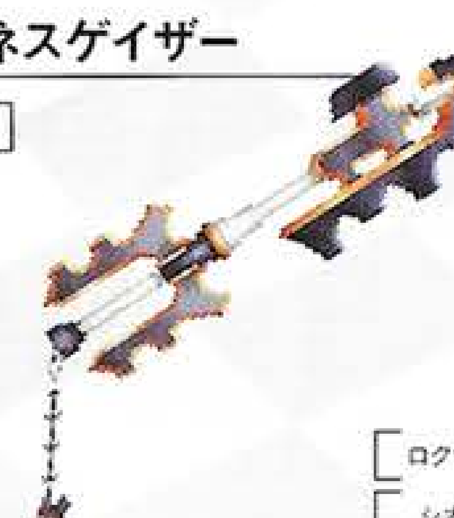
[●Days]
[●Re:COM] (※13)



[ソラ]
[ロクサス]
[シオン]

ダークネスゲイザー

[●Days]



[ロクサス]
[シオン]

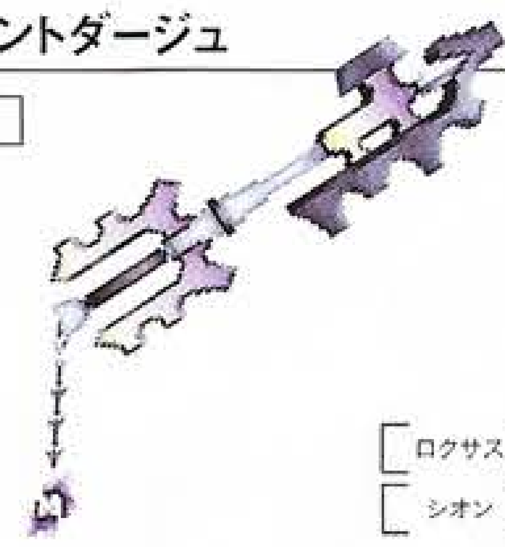
※13……『KH HD1.5リミックス』にのみ登場(『KH Days』の映像をすべて見たセーブデータが必要)

トータルエクリプス
[Days]
[Re:COM] (※13)



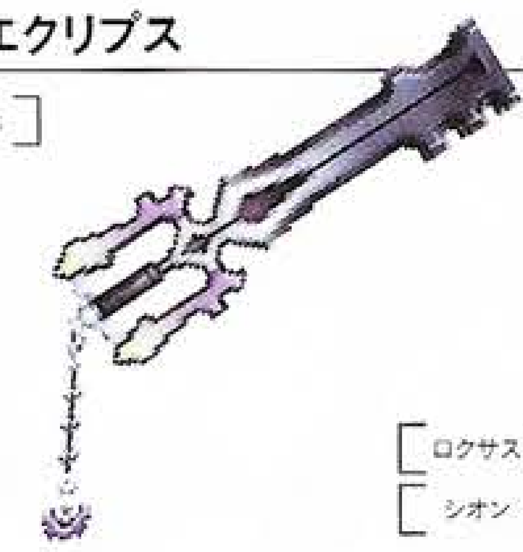
[ソラ]
[ロクサス]
[シオン]

サイレントダージュ
[Days]



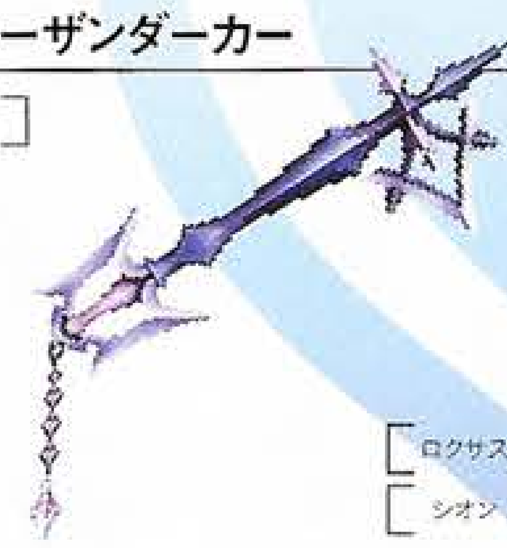
[ロクサス]
[シオン]

ルナエクリプス
[Days]



[ロクサス]
[シオン]

ダーカーザンダーカー
[Days]



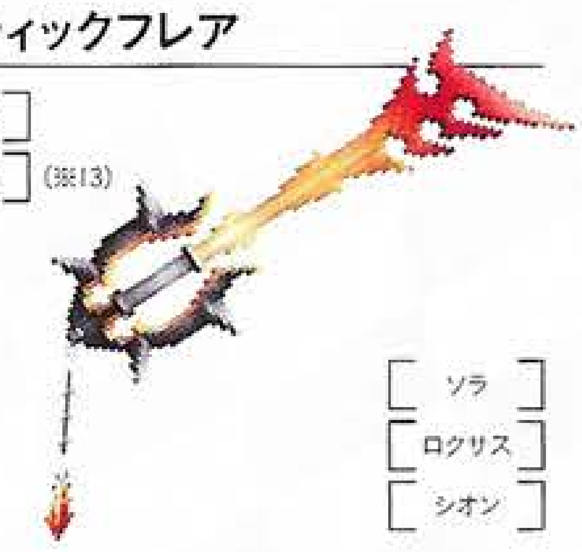
[ロクサス]
[シオン]

アストラルブラスト
[Days]



[ロクサス]
[シオン]

ヘレティックフレア
[Days]
[Re:COM] (※13)



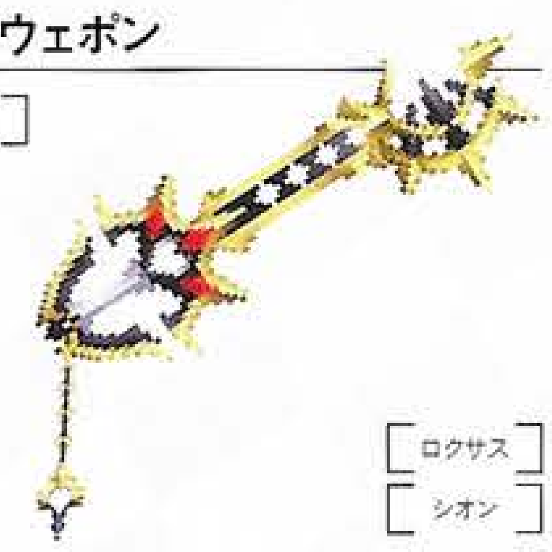
[ソラ]
[ロクサス]
[シオン]

トワイライトブレイズ
[Days]



[ロクサス]
[シオン]

オメガウェポン
[Days]



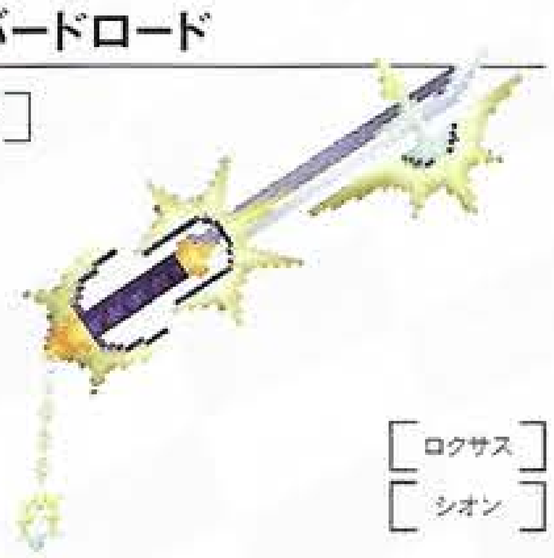
[ロクサス]
[シオン]

アンブレラ
[Days]



[ロクサス]
[シオン]

オウバードロード
[Days]



[ロクサス]
[シオン]

闇の勢力が使用するキーブレード

人の心のキーブレード
[I]



セブンプリンセスの心を集めて作られたキーブレード。リクの身体を乗っ取ったアンセムが生み出したが、カイリの心が足りないため、先端部分のハートマークが不完全な形になっている。

ヴァニタスのキーブレード
[BbS]



仮面をかぶった状態のヴァニタスが使用するキーブレード。ちなみに、ヴァニタスの思念が持っているヴォイドギアは、このキーブレードとデザインが同じで色だけがちがう。

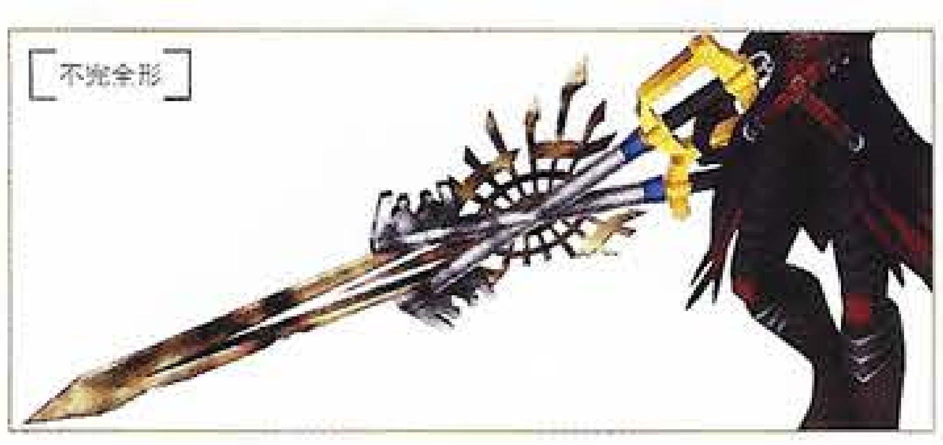
マスター・ゼアノートのキーブレード
[BbS]
[3D]



マスター・ゼアノートやテラ=ゼアノートのほか、『KH BbS FM』のノーハートも使うキーブレード。『KH 3D』ではイベントシーンでのみ登場する。

χ(キー)ブレード
[BbS]





ヴェントゥスとヴァニタスの心が融合したことで完成した、伝説のキーブレード。仮面を脱いだ状態のヴァニタスとヴェントゥス=ヴァニタスが武器として使ったが、ヴェントゥスやアクアの活躍によって破壊され、その力を暴走させながら消滅した。

青年ゼアノートのキーブレード
[3D]



青年ゼアノートが使うキーブレードで、ムチのように変形するのが特徴。デザインは、『KH BbS FM』でテラたちが入手できるノーネームに似ているが、持ち手や先端の部分などが多少異なっている。

Chapter 2
World Guide
ワールドガイド

Destiny Islands / Disney Castle / Traverse Town / Wonder Land / Deep Jungle / Olympus Coliseum / Agrabah / Monstro / Atlantica / Halloween Town / Never Land / Hollow Bastion / 100 Acre Wood / End of The World / Castle Oblivion / Twilight Town / The Mysterious Tower / The Land of Dragons / Beast's Castle / Timeless River / Port Royal / Pride Land / Space Paranoids / The World That Never Was / Land of Departure / Radiant Garden / Enchanted Dominion / Dwarf Woodlands / Castle of Dreams / Disney Town / Deep Space / Keyblade Graveyard / La Cité Des Cloches / The Grid / Pranksters Paradise / Country of The Musketeers / Symphony of Sorcery



デスティニーアイランド

登場作品 [●I][●COM][●II][●Days][●coded][●BbS][●3D]

ソラ、リク、カイリが暮らす、南の海に浮かぶのどかな諸島。ソラたちの家や学校は本島にあり、離れ小島のひとつが子どもたちの遊び場になっている。

『KH II』でのロゴ

『KH BbS』でのロゴ





[●I] 外の世界への旅立ち

ソラ、リク、カイリの3人は、島の外の世界を見たくて、イカダを作って遠くへ漕ぎ出そうと計画していた。だが、ソラが謎のローブの人物から「この世界はつながった」と告げられた日の夜、島は闇に飲みこまれ、ソラは外の世界へ放り出されてしまう。鍵の形をした不思議な武器「キーブレード」とともに……。



[●COM(ソラ)] 本当に大切な人は?

仲間たちの忠告を振り切り、ソラはついに故郷の島でナミネとめぐり会った。しかし、再会を喜ぶソラに対し、彼女は「一番大切な人をもう一度思い浮かべてみて」と言って姿を消す。そのときソラの脳裏に浮かんだのは、ナミネではなく……?



[●COM(リク)] 闇の宿命を受け入れて

記憶のなかの故郷を訪れるも、つぎつぎと友だちが消えていき、動揺するリク。すべては、自分が闇に堕ちたとリクに思わせるためのゼクシオンのワナだった。カイリの幻に励まされて闇を恐れることをやめたリクは、見事ゼクシオンを打ち破る。





[●II] 待ってるだけじゃダメなんだ

カイリは幼なじみのセルフィと話すうち、「昔、島で一緒に遊んでいたのに顔も名前も忘れた男の子」がソラだと思い出し、彼に宛てた手紙をビンに詰めて海に流した。以来、彼に会いたいという想いは日に日につのっていき、あるとき浜辺に出現した闇の回廊に意を決して飛びこむ。





[●Days] 流れこむ記憶

任務で訪れたデスティニーアイランドで、海を見ながらシオンのことを考えていたロクサスは、機関から脱走したシオンらしき人物を目撃。思わず彼女に駆け寄るロクサスだったが、いきなり現実とも幻ともつかぬ映像が頭のなかに流れこんできて混乱し、そのまま島をあとにする。





[●coded] バグブロック発生!

子どもたちの遊び場である小島に、突如としてバグブロックが大量発生した。島の異変の調査に乗り出したソラは、黒コートの人物を発見。彼に言われるがままに鍵穴の奥を訪れてバグの親玉を倒すが、その直後に別の世界へ飛ばされた。





[●BbS(テラ)] そして鍵は受け継がれる

暖かい光に導かれて島を訪れたテラは、浜辺で見かけた少年リクのなかに光を見いだす。早く外の世界に出て、大事なものを守る強さを手に入れたい──そう語るリクにかつての自分の姿を重ねたテラは、リクにキーブレード継承の儀式を行なったあと、島をあとにする。



[●BbS(ヴェントゥス)] よみがえる記憶

テラに救われたヴェントゥスが行き着いた先は、デスティニーアイランドだった。突如現れたヴァニタスの言葉をきっかけに記憶を取りもどしたヴェントゥスは、「テラとアクアの最期を見せてやる」と言って姿を消したヴァニタスを追い、キーブレード墓場へ急ぐ。





[●3D] 賢者が隠した遺産

ソラの夢のデスティニーアイランドで、リクはソラにつながる者たちの質問に答えたのち、賢者アンセムと再会を果たす。賢者アンセムは、ソラのなかに研究データを隠しており、そのデータは失われた仲間を取りもどす手がかりになるという。リクはデータを受け取り、現実の世界にもどる。



[●BbS(アクア)]
未来の勇者たちとの出会い

光の導きで島にたどり着いたアクアは、浜辺で出会ったソラとリクのどちらかに、キーブレード継承の儀式を行なおうとする。だが、リクからテラの気配を感じ取った彼女は継承を思いとどまり、かわりに「リクが迷いそうなときはそばにいるように」とソラに言い聞かせるのだった。



Characters

	I	COM	II	Days	coded	BbS	3D
1 ティーダ	●	●	—	—	●	—	—
2 ワッカ	●	●	—	—	●	—	—
3 セルフィ(13歳時)	●	●	—	—	●	—	—
4 セルフィ(14歳時)	—	—	●	—	—	—	—

1 ティーダ：島に住む元気な少年。いつも自信満々で自分こそがエースだと思っている。

2 ワッカ：島に住む子どもたちの兄貴分。ティーダとセルフィのふたりと、とくに仲が良い。

3 セルフィ(13歳時) / 4 セルフィ(14歳時)：島に住む活発な少女。勝ち気な性格だがロマンティックな一面も。

1


2


3


4




ディズニーキャッスル

登場作品 | [I][II][coded][3D]

すべての世界を見守っている“王様”の城であり、ドナルドやグーフィーの故郷。闇を払う“光の礎”の力で守られているため、闇に属する者は近づくことができない。





[I] 王様の失踪

すべての世界を見守る王様が、忍び寄る災厄から世界を救うために姿を消した。「事件の“鍵”を握る人物を探してほしい」という手紙を残して……。王宮魔導士のドナルドと騎士隊長のグーフィーは、ミニー王妃の命を受け、王様および“鍵”の捜索に出発する。

[II] 光の礎の危機

ソラたちがディズニーキャッスルを訪れると、城内にはハートレスの姿が！　闇を払う力を持つ“光の礎”が呪いのイバラに覆われており、本来の力を発揮できなくなっていたのだ。ソラたちはマーリンの助けを借りて異変の原因を取りのぞき、城をもとどおりにするのだった。





[coded] ジミニーメモのバグを除去せよ！

ある日突然、ジミニーメモに謎のメッセージが浮かび上がった。メッセージの意味を探ろうとした王様は、メモをデータ化してみたが、データは原因不明のバグに侵されており、思うように調査が進まない。そこで王様は、メモのデータ上に再現されたソラにデータの世界を冒険してもらい、バグを除去させることにした。

[3D] 意外な助っ人が参上

王様たちが城を留守にしているあいだに、ミニーがマレフィセントとピートにさらわれてしまった。彼らはミニーを解放する条件として「世界のデータ」を要求してきたが、そこへリアが現れてミニーを救出。虚をつかれたマレフィセントたちは、急いで退散する。



Characters

	I	II	coded	3D
1 ミニーマウス	●	●	—	●
2 デイジーダック	●	●	—	—
3 プルート	●	—	—	—
4 チップ	●	●	●	—
5 デール	●	●	●	—
6 ほうきの召使い	●	●	—	—

1 ミニーマウス：ディズニーキャッスルの王妃。王様の留守を預かっている。

2 デイジーダック：ディズニーキャッスルの貴族の娘で、ドナルドのガールフレンド。

3 プルート：王様がかわいがっている犬。大事なものや重要人物をかぎ当てるのが得意。

4 チップ／5 デール：グミシップの整備などを担当している、シマリスの仲良しコンビ。

6 ほうきの召使い：魔法の力で動くほうき。ふだんは掃除や水くみを行なっているが、ときには衛兵としての役割も果たす。



Column 『KH』シリーズの召喚キャラクターたち

『KHI』『KH COM』『KHⅡ』には、バトル中にソラの呼びかけに応えて姿を現し、力を貸してくれる「召喚キャラクター」と呼ばれる者たちがいる。ここでは、そんな頼もしい彼らを紹介しよう。



シンバ

[I][COM]

動物たちの国を治めるライオンの王。威厳に満ちた吠え声で、フィールド内にいるすべての敵にダメージを与える。



バンビ

[I][COM]

元気な子ジカの王子。跳ねまわりながらMPプライズやアイテムを周囲にバラまく。



ダンボ

[I][COM]

大きな耳で空を飛ぶ、サーカスの子ゾウ。ソラを背中に乗せて飛びつつ、鼻から水を噴射して敵を攻撃する。



ムーシュー

[I][COM]

ムーランの一族の守り神を務めていた、トカゲほどのサイズの龍。ソラの頭に乗って小さな炎の弾を連続で吐く。



ティンク

[I][COM]

ネバーランドで暮らす妖精。ソラの周囲を飛びまわりながら、『リジェネ』や『リレイズ』でソラを回復する。



チキン・リトル

[Ⅱ]

運が悪くて失敗ばかりするニワトリの男の子。ボールを投げることや指笛を吹くことで敵の動きを止める。



ジーニー

[I][COM][Ⅱ]

魔法のランプの魔人。さまざまな攻撃をランダムで選んで敵に仕掛ける。『KHⅡ』では、ソラが持っているフォームのいずれかにチェンジして、『KHⅠ』のときのソラの技を使うことも。



スティッチ

[I]

宇宙の彼方で生まれた謎の生命体。HPプライズを出現させたりソラのMPを完全回復させたりするが、気まぐれなので、いつどんな行動をとるかはわからない。



クラウド

[COM]

巨大な剣をあやつるクールな剣士。『凶斬り』や『超究武神覇斬』をくり出す。



ピーター・パン

[Ⅱ]

ネバーランドに住む永遠の少年。召喚時はティンカー・ベルも一緒に登場し、攻撃と回復の両面でソラを助ける。



トラヴァースタウン

登場作品 | [●1][●COM][●coded][●3D]

住んでいた世界が闇に飲まれるなどして行き場を失った者たちが集い、光と闇の狭間に形成された街。さまざまな世界の人々が暮らし、活気にあふれている。





[●1] 3人の旅のはじまり

故郷から飛ばされてきたソラと、"鍵"を持つ者を捜すドナルドとグーフィーは、この街でレオンとその仲間たちに出会う。彼らの話によれば、ソラが持つキーブレードこそが世界を救う"鍵"だという。いろいろな世界をめぐればリクやカイリを捜し出せると考えたソラは、ドナルドとグーフィーのふたりと一緒に旅をすることにした。

『KH 3D』でのロゴ

[●COM(ソラ)] 記憶から作られた街で

黒コートの男から渡されたカードをかざして、忘却の城の扉を開けると、ソラはトラヴァースタウンにいた。しかし、この街や住人は本物ではなく、ソラの記憶をもとに作られた幻らしい。とまどいながらも街を探索するソラたちは、エアリスから「記憶の幻影にまどわされて大切なものを失わないように」と忠告される。





[●3D] ふたつの街に別れたふたり

過去のデスティニーアイランドにて嵐の海に投げ出されたソラとリクは、よく似たふたつのトラヴァースタウンに離ればなれとなる。それぞれの街で、ソラはネク、リクはヨシュアと出会い、彼らの人捜しに手を貸すことに。探索の途中、黒コート姿の青年がソラとリクの両方に巨大ナイトメアをけしかけてきたが、ふたりともこれを退け、眠りの鍵穴を開いた。



[●coded] 三つ子を捜して

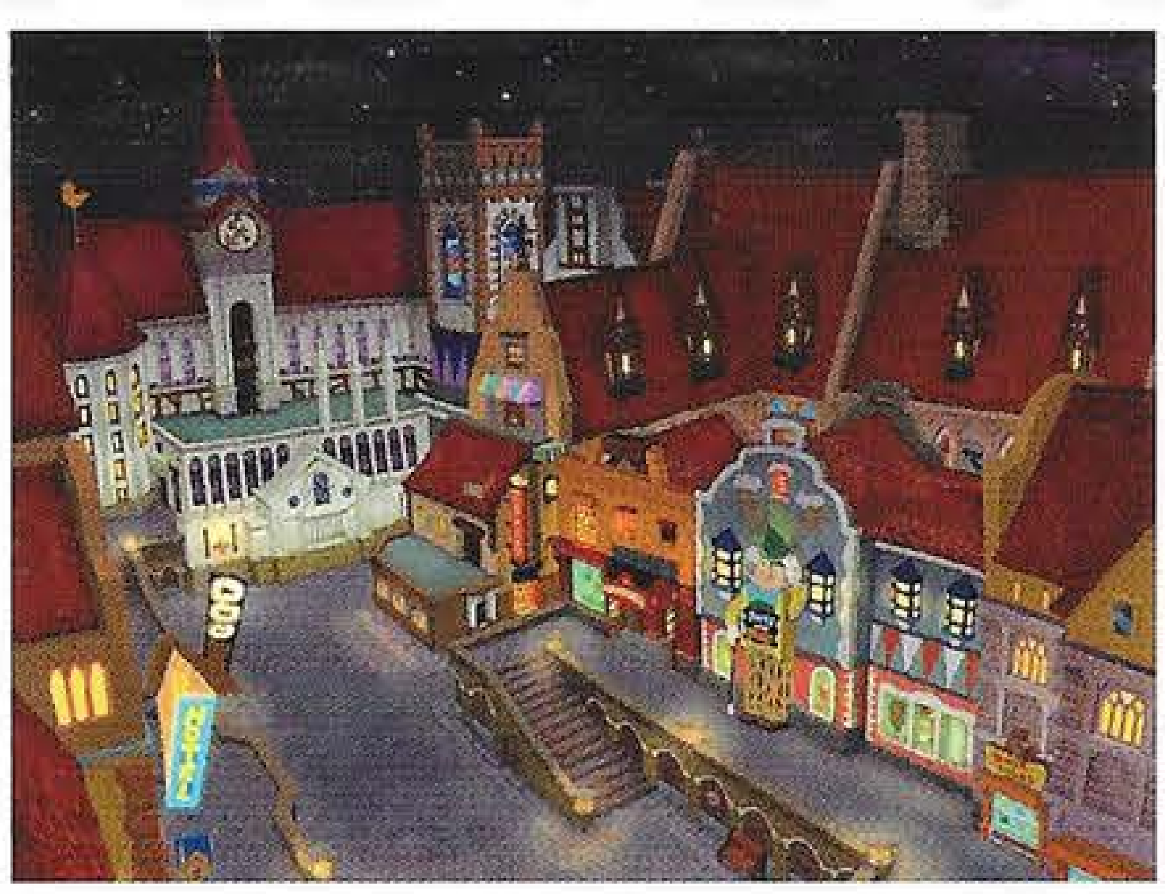
デスティニーアイランドの異変を解決したあとに飛ばされた場所は、トラヴァースタウンだった。街で出会ったシドから、この街でもバグブロックが発生していると聞いたソラは、三つ子の兄弟を捜しながら街を探検していく。

[●3D(再訪)] ナイトメアをはさみ撃ち

ソラが再訪した側の街ではネクたちが、リクが再訪した側の街ではビイトたちが、ふたつの街を行き来するナイトメアに苦戦していた。ヨシュアから「ネクやビイトたちを手伝ってほしい」と頼まれたソラとリクは、それぞれの街で待ち伏せてナイトメアをはさみ撃ちにするものの、あと少しで倒せるというところで外の世界へ逃げられてしまう。









Characters

No.	名前	I	COM	coded	3D	解説
1	レオン	●	●	—	—	キーブレードや世界の鍵の謎を追う青年剣士。本名はスコール・レオンハート。
2	エアリス	●	●	—	—	優しさと芯の強さを兼ね備えた女性。隠された真実を感じ取る力を持つ。
3	ユフィ	●	●	—	—	レオンたちと行動をともにしている、サバサバとした性格の元気な少女。
4	シド	●	●	●	—	アクセサリーショップを営むエンジニア。口調は荒いが、根は優しい。
5	マーリン	●	—	—	—	豊富な知識を持ち、さまざまな世界を飛びまわっている偉大な魔法使い。
6	フェアリー・ゴッドマザー	●	—	—	—	人の良い妖精のおばあさん。ソラたちに魔法や召喚の手ほどきをしてくれる。
7	ヒューイ	●	—	●	—	ドナルドの甥にあたる三つ子の兄弟の長男で、3人のリーダー格。
8	デューイ	●	—	●	—	ドナルドの甥にあたる三つ子の兄弟の次男で、こまかいことを気にしない楽天家。
9	ルーイ	●	—	●	—	ドナルドの甥にあたる三つ子の兄弟の末っ子で、思いやりのあるのんびり屋。
10	ポンゴ	●	—	—	—	
11	パーディタ	●	—	—	—	
12	子犬たち	●	—	—	—	トラヴァースタウンに住むダルメシアンの親子。子犬は全部で99匹いる。
13	ネク	—	—	—	●	死神のゲームに参加している少年。他人との関わり合いを避けるために、つねにヘッドフォンをつけている。
14	ヨシュア	—	—	—	●	ネクたちを見守る少年。もとの世界で存在を失ったネクたちを退避させる目的で新たにトラヴァースタウンを作った。
15	シキ	—	—	—	●	ネクのパートナーを務める少女。自作の黒ネコのぬいぐるみ「にゃんタン」をいつも持ち歩いている。
16	ビイト	—	—	—	●	死神のゲームに参加している少年。口が悪く、猪突猛進でかなりの負けず嫌い。
17	ライム	—	—	—	●	ビイトのパートナーを務めるしっかり者の少女。記憶を失っている。



WONDER LAND

ワンダーランド

登場作品	[●I][●COM][●Days][●coded]
出典	『不思議の国のアリス』(1951年)

おかしなことばかりが起こる不思議の国。この国を治めるハートの女王をはじめ、住人は変わり者ぞろいで、ふつうの世界の常識がちっとも通用しない。



[●I] ハートを盗んだ犯人は？

ワンダーランドを訪れた直後に白ウサギを追いかけていくと、そこではハートの女王が裁判を開いていた。女王のハートを盗んだという罪でアリスが首をはねられそうだと知り、彼女の無実を証明する証拠品を集めるソラたち。調査のすえ、ハートを盗んだ真犯人であるハートレスを倒したものの、アリスは何者かに連れ去られてしまった。

[●COM(ソラ)] ウソとすりかわった記憶

ハートの女王の城では、女王の記憶を盗んだ罪でアリスが裁判にかけられていた。ソラはアリスを助けるために自分が犯人だとウソをつき、女王から追われる身となる。しかし、真犯人のハートレスをソラたちが倒したあと、アリスが「女王の命令でソラが真犯人を倒した」と、記憶がない女王を言いくるめ、事態は丸く収まるのだった。





[●Days] 心のおもむくままに

ロクサスが任務でこの世界を訪れるたび、あいまいな助言ばかりするチシャ猫。敵なのか味方なのかと問いただすロクサスに、チシャ猫は「心のおもむくままに決めればいい」と言って姿を消す。

[●coded] 失われた記憶を取りもどせ

バグの影響は、ワンダーランドにもおよんでいた。しかも、バグブロックが発生しているだけでなく、アリスたちの記憶が失われていたのだ。ソラはみんなの記憶をもとどおりにして鍵穴の場所を教えてもらい、バグの除去に成功する。



Characters

		I	COM	Days	coded
1	アリス	●	●	—	●
2	ハートの女王	●	●	●	●
3	ハートのトランプ兵	●	●	●	●
4	スペードのトランプ兵	●	●	●	●
5	白ウサギ	●	●	●	●
6	チシャ猫	●	●	●	●
7	ドアノブ	●	—	●	●

1 アリス
セブンプリンセスのひとりである、空想好きの女の子。白ウサギを追っているうちに不思議の国に迷いこんでしまった。

2 ハートの女王
不思議の国で一番偉い人物。ムチャなことばかり命令し、それにそむく者や自分が気に入らない者は首をはねようとする。

3 ハートのトランプ兵

4 スペードのトランプ兵
ハートの女王に仕えるトランプの兵士。

5 白ウサギ
ハートの女王の家来。懐中時計を持って忙しそうに走りまわっている。

6 チシャ猫
ニヤニヤ笑ってばかりいる神出鬼没のネコ。不思議の国についてくわしいが、謎かけのような持ってまわった言いかたしかせず、肝心なことを教えてくれない。

7 ドアノブ
ハートの女王の城への入口を守っている扉のノブ。いつも眠そうにしている。


1

5

2

6

3

4

7

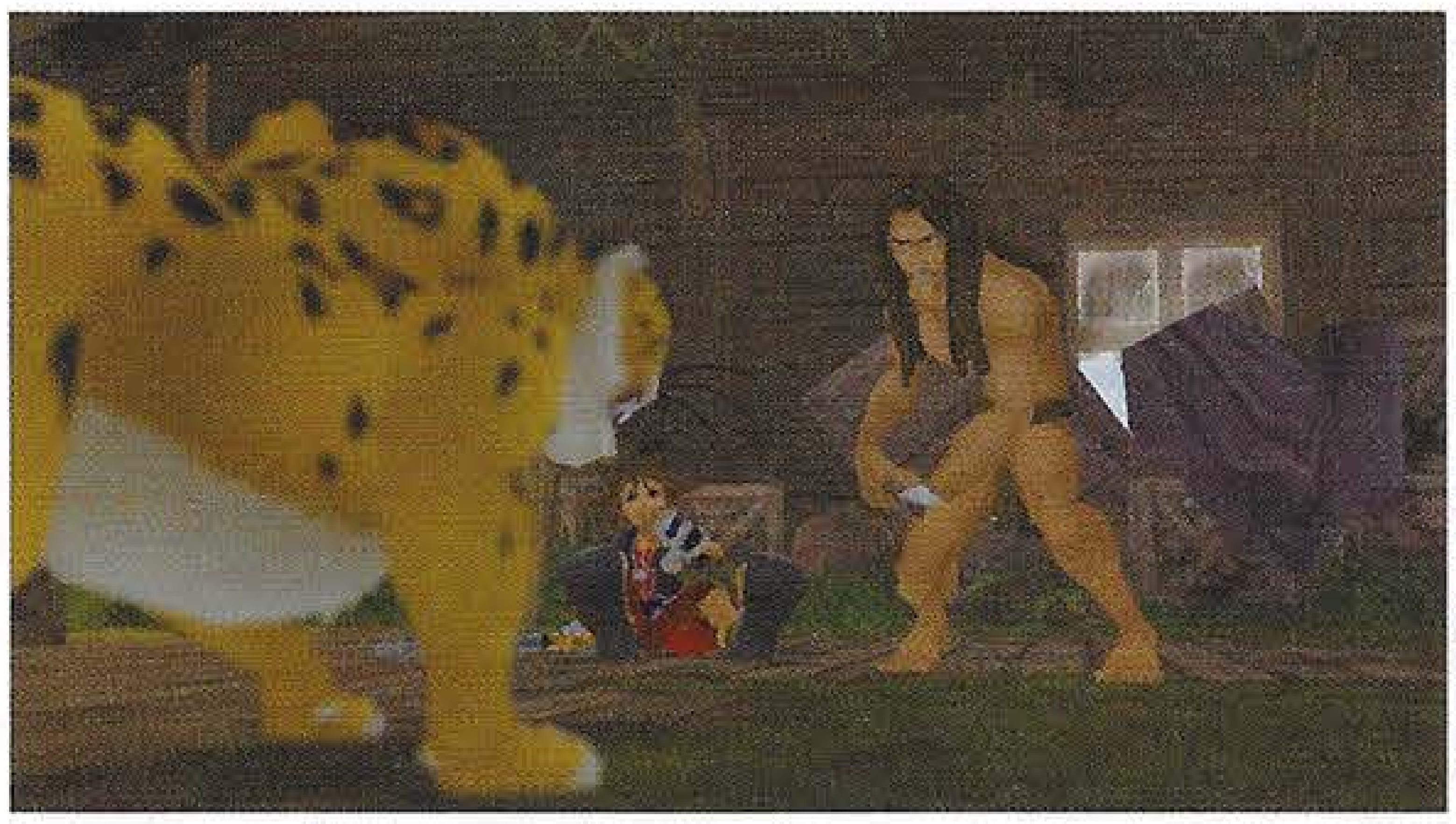


DEEP JUNGLE

ディープジャングル

登場作品 | [●I]
出典 | 『ターザン』(1999年)

木々がうっそうと生い茂る密林の世界。野生動物たちの楽園だったが、ゴリラの調査のために人間が訪れたことで、動物たちはとまどいを隠せずにいる。



[●I] 友だちは心のなかに

ディープジャングルを訪れたソラは、ヒョウのサボーに襲われたところをターザンに助けられる。ターザンはリクやカイリの居場所を知っているようだったが、くわしく話を聞く前に、闇にとらわれたクレイトンがジェーンやゴリラたちを襲いはじめた。クレイトンを倒したのち、滝の奥の洞窟へ案内されたソラは、ターザンの真意を理解する。彼は「友だちはいつも心のなかにいる」と言いたかったのだ。

Characters

●I

1 ターザン ●
幼いころに両親を亡くし、ゴリラのカーラにジャングルで育てられた青年。

2 ジェーン ●
若く美しい動物学者。ゴリラの調査で訪れたジャングルにてターザンと出会う。

3 クレイトン ●
ジェーンのボディガードとして雇われたハンター。ターザンを利用してゴリラの巣を見つけ、ゴリラを狩ろうと画策する。

4 ターク ●
若いメスゴリラ。ターザンと一緒に育ったので、彼の姉のように振る舞う。

5 カーチャック ●
ゴリラの群れのリーダー。群れの安全を守るため、人間との接触を嫌う。

6 カーラ ●
幼いターザンを拾って育てた、心優しきメスゴリラで、カーチャックの妻。

7 サボー ●
ジャングルに住む残忍なヒョウ。





OLYMPUS COLISEUM

オリンポスコロシアム

登場作品	[I][COM][II][Days][coded][BbS]
出典	『ヘラクレス』(1997年)

オリンポスの神々の加護を受けた闘技場。多くの英雄たちがここに集まって、その腕を競い合う。一方、地底深くにはハデスが統べる冥界が広がっている。

『KHⅡ』でのロゴ

『KH BbS』でのロゴ



[I] 闘技大会を勝ち進め!

オリンポスコロシアムにて闘技大会が開かれていることを知り、参加しようとするソラたち。最初は、英雄ではないという理由で門前払いされるも、ハデスが用意したチケットのおかげで出場を許される。これは、ソラと英雄ヘラクレスを亡き者にするためのハデスのワナだったが、ソラたちは刺客をつぎつぎと撃破し、ついにはハデス本人をも破るのだった。

[COM(ソラ)] サバイバルカップ開催!



闘技場では、障害物だらけのコースで競争する「サバイバルカップ」が開催中だという。ソラたちはヘラクレスやクラウドとともに大会に参加するが、クラウドはハデスに雇われた刺客だった。クラウドとの戦いで力を使い果たしたヘラクレスに、トドメを刺そうとするハデス。そこへソラたちがヘラクレスの助太刀に入り、ハデスの野望を打ち破る。



[Days] フィルのカンちがい

任務でこの地を訪れたロクサスは、フィルに弟子入り志願者とまちがえられてしまう。人ちがいだと言い出せないまま、トレーニングに励むロクサス。やがてフィルは、ロクサスが弟子入り志願者ではないことを知るが、ロクサスの素性は詮索せずに「ときどき顔を見せにこい」と声をかける。



[II(EP1)] ハデスのたくらみ

ヘラクレスを憎むハデスは、冥界の牢獄から罪人のアーロンを呼び出してヘラクレスと戦わせようとするが、アーロンはそれを断り、ソラたちと一緒に冥界を脱出する。怒ったハデスは、ヘラクレスのガールフレンドであるメガラをさらって、ヘラクレスとソラを誘い出すことに成功。ソラに冥界コロシアムの封印を解かせると同時に、ヒュドラを使ってオリンポスの闘技場を破壊してしまった。



[II(EP2)] 真の英雄と認められた3人

復活した冥界コロシアムでの闘技大会開催を、ハデスが宣言する。彼は、アーロンをあやつり、闘技場が壊されて元気がないヘラクレスを始末させるつもりなのだ。しかし、ソラたちの活躍によってアーロンは我に返り、ヘラクレスもメガラを助けるために必死になったことで元気を取りもどした。ヘラクレスやアーロンと協力してハデスを倒したソラ、ドナルド、グーフィーは、オリンポスの神々から真の英雄と認められ、夜空に3人の星座が輝く。



[coded] コロシアムで迷宮探検

バグの影響でコロシアムが迷路と化し、ヘラクレスがなかに閉じこめられた。ソラはフィルの頼みを受けて迷宮の調査に出発。コロシアム内で出会ったヘラクレスやクラウドと協力してハデスを撃破し、コロシアムをもとの状態にもどす。



[BbS(テラ)] 新チャンプ誕生!

コロシアムの前でテラを見かけたハデスは、テラを闇に堕として自分の手駒にしようと、強引に闘技大会へ出場させる。ところが、テラは一向に闇の力を使おうとしない。しびれを切らしたハデスは、ザックスをあやつってテラを追いつめるが、テラは闇に堕ちることなくザックスの心を解放し、闘技大会でも優勝を果たした。

[BbS(ヴェントゥス)] フィルの弟子はどちらに?

ヘラクレスを指導していたフィルは、弟子入りを志願するザックスの熱意に根負けし、「闘技大会の試合を見て弟子を決める」と言い出す。しかし、ヘラクレスとザックスによる決勝戦の直前、街にアンヴァースの大群が現れた。ひとりで街へ向かったヴェントゥスのもとへ、試合を棄権して駆けつけるヘラクレス。それを見たフィルは、ヘラクレスを弟子と認めるのだった。





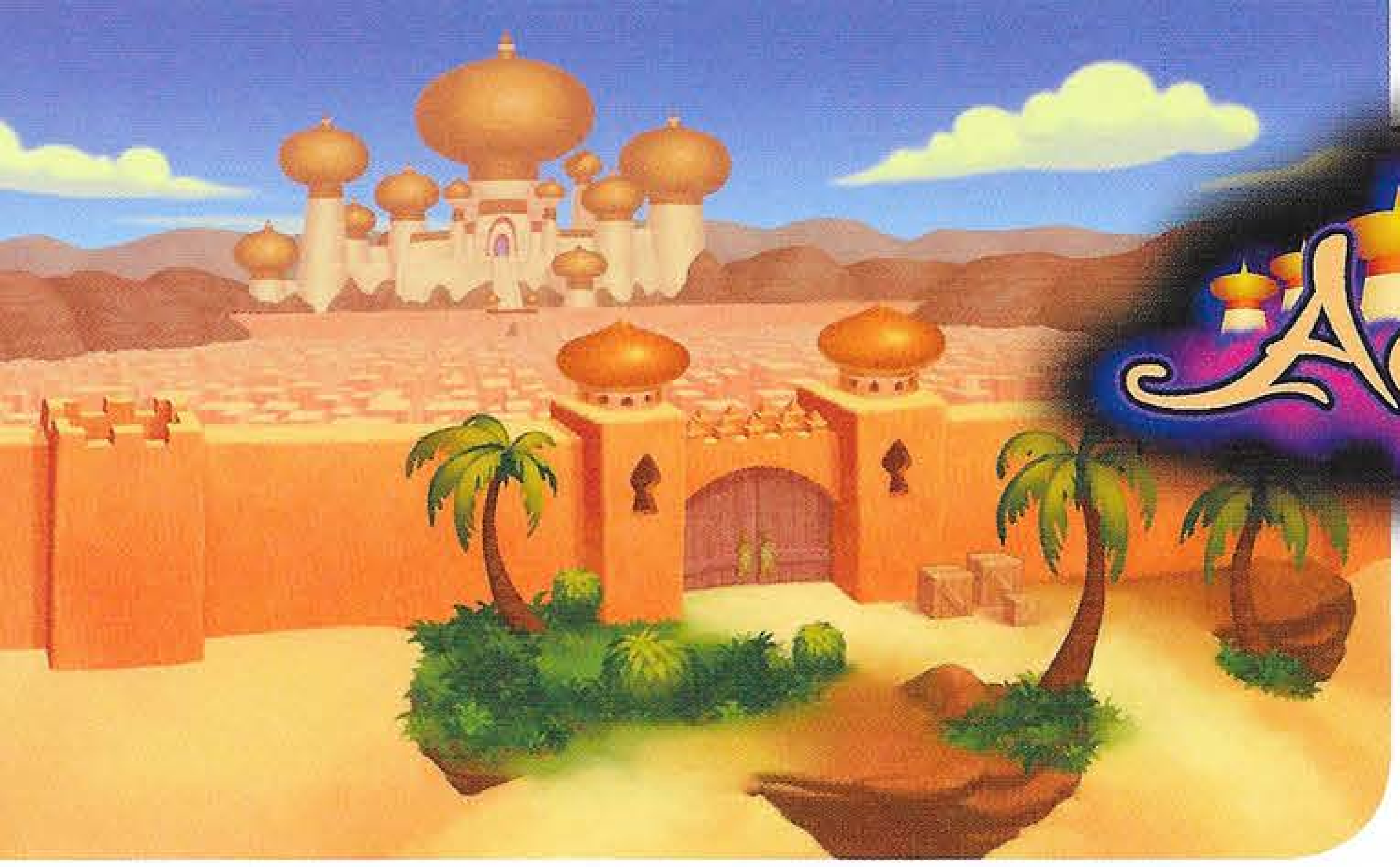
[BbS(アクア)] 優勝祝いはデート1回!?

前回の大会の優勝者がテラだと知ったアクアは、「大会に出場すればテラに会える」とフィルに言われて闘技大会に参加する。だが、決勝戦に進んだアクアの相手は、前回の大会でテラを闇に堕とそうとしたハデスだった。アクアはハデスを倒して優勝を果たし、「お祝いにデートしよう」というザックスの誘いに動揺しつつも、つぎの世界へ旅立つ。



Characters

No.	Name	I	I FM	COM	II	Days	coded	BbS	Description
1	ヘラクレス	●	●	●	●	●	●	—	
2	ヘラクレス(少年時代)	—	—	—	—	—	—	●	怪力と優しい心を併せ持ち、闘技大会では無敗を誇る、英雄のなかの英雄。
3	フィル	●	●	●	●	●	●	●	ヘラクレスを真の英雄に育て上げた英雄トレーナーで、コロシアムの支配人。
4	ハデス	●	●	●	●	—	●	●	世界征服をたくらむ冥界の王。ゼウスやその息子のヘラクレスを憎んでいる。
5	クラウド	●	●	●	—	—	●	—	巨大な剣をあやつる青年剣士。ハデスに雇われ、ヘラクレスやソラたちを狙う。
6	ケルベロス	●	●	—	●	—	●	—	冥界の門番を務める、3つの頭を持った巨大な犬の魔物。
7	ロックタイタン	●	●	—	●	—	●	—	かつて世界を支配し、ゼウスによって冥界に封じられたタイタン族のひとり。岩の身体を持ち、頭がふたつある。
8	アイスタイタン	—	●	—	—	—	●	—	かつて世界を支配し、ゼウスによって冥界に封じられたタイタン族のひとり。氷の力で何でも凍らせる。
9	セフィロス	—	●	—	—	—	—	—	長い銀髪と片方しかない翼が特徴的な剣士。クラウドとは深い因縁がある。
10	ペガサス	—	—	—	●	—	—	—	神々の父ゼウスが巻雲や雨雲から作り出した天馬で、ヘラクレスの良き相棒。
11	メガラ	—	—	—	●	—	—	—	ヘラクレスのガールフレンド。
12	アーロン	—	—	—	●	—	—	—	罪人として冥界の牢獄に幽閉されていた剣士。ヘラクレスやソラたちを始末するために、ハデスが冥界から呼び出した。
13	ペイン	—	—	—	●	—	—	—	
14	パニック	—	—	—	●	—	—	—	ハデスの手下の小悪魔たち。
15	ヒュドラ	—	—	—	●	—	—	—	ハデスがヘラクレスへの刺客として呼び出した、長い首を何本も生やした魔物。
16	ザックス	—	—	—	—	—	—	●	英雄になる夢を持つ青年剣士。フィルに弟子入りしようとする。
17	アイスコロッソス	—	—	—	—	—	—	●	氷の巨人アイスタイタンに似せてハデスが作り出したニセモノ。



アグラバー

登場作品 | [●I][●COM][●II][●Days][●coded]

出典 | 『アラジン』(1992年)

砂漠に囲まれた街。豪華な宮殿の眼下にバザールやスラム街などの雑多な街並みが広がり、街の外の砂漠には財宝が眠る魔法の洞窟や古代文明の廃墟がある。

『KH I』『KH COM』でのロゴ





[●I] 狙われたプリンセス

アグラバーの右大臣ジャファーは、ハートレスを使って、鍵穴とジャスミンを捜していた。ソラたちは、魔法のランプを持つアラジンと協力し、ジャファーの野望を阻止しようと奮闘。どうにかジャファーをランプに封印できたものの、ジャスミンは外の世界へ連れ去られてしまった。外の世界に出られないアラジンにかわって、ジャスミンを連れもどすと約束するソラ。そして、アラジンのおかげで自由の身となったジーニーも、アラジンの親友としてソラを手伝うとみずから申し出るのだった。



[●Days] 友だちの意思は尊重しなきゃ

アラジンとジャスミンは、アグラバーを襲う砂嵐の被害に悩まされていた。アラジンのために魔法で街を修復しようとするジーニーだったが、ロクサスから「魔法に頼らずに自分たちの力で街を復興したい」というアラジンとジャスミンの思いを聞くと、親友である彼らの意思を尊重して、砂嵐を消しただけで旅立っていく。

[●coded] コピーのランプをあやつるジャファー

ジャファーは、バグによる街の混乱に乗じて国の乗っ取りを画策。ジャスミンをさらい、ピートからもらったコピーの魔法のランプを使ってジャスミンと結婚しようとする。アラジンからジャスミンの捜索を頼まれたソラは、ランプの魔人ジーニーと力を合わせ、ジャファーをコピーのランプに封印し、ジャスミンも無事救出した。







[●COM(ソラ)] 王女と仲良くなりたくて

ソラたちはアグラバーの街でアラジンと出会う。彼は、3つの願いをかなえてくれる魔法のランプを持っており、ジャスミンと仲良くなるという願いをかなえたあとは、ランプの魔人ジーニーを自由の身にしてあげようと考えていた。しかし、ジャファーの策略で願いを2回使ってしまい、ランプもジャファーに奪われる。ソラたちのおかげでランプを取りもどしたアラジンだったが、魔法に頼らずに正々堂々とジャスミンに会いに行こうと考え直し、最後の願いを使ってジーニーを自由の身にしてあげた。

[●II(EP1)] ジャファーのランプを取りもどせ

ひさしぶりにアグラバーを訪れると、アブーが商人からランプを盗んで追われていたが、そのランプは前の冒険でジャファーを封印したものだった。ランプをゆずる条件として、商人に財宝を要求されたソラたちは、アラジンや改心したというイアーゴと一緒に魔法の洞窟へ向かう。無事に財宝を手に入れて街へもどると、今度はピートが商人からランプを奪い取ろうとしていた。ソラたちはピートを倒したのち、ランプを王宮の奥深くに封印する。









[●II(EP2)] 復活を果たしたジャファー

財宝を盗むために王宮へ忍びこんだ商人が、王宮に封印されていたランプからジャファーを出してしまった。復活を果たしたジャファーは、イアーゴをおとしてソラやアラジンが砂漠の廃墟へ向かうように仕向け、そのあいだに王宮を乗っ取ろうとする。しかし、ワナに気づいたソラたちが間一髪でもどり、魔人に変身したジャファーを退治。戦いで壊された街もジーニーが魔法ですべてもとどおりに修復し、アグラバーに平和がもどった。



















Characters

	I	COM	II	Days	coded
1 アラジン	●	●	●	●	●
2 ジーニー	●	●	●	●	●
3 ジャスミン	●	●	●	●	●
4 ジャファー	●	●	●	—	●
5 ジャファー(魔人)	●	●	●	—	●
6 イアーゴ	●	●	●	—	●
7 アブー	●	—	●	●	—
8 じゅうたん	●	—	●	●	—
9 商人	—	—	●	—	●

1 アラジン
貧しいが心清らかな青年。ジャスミンにひと目ぼれし、彼女につり合う身分になりたくて魔法のランプを手に入れる。

2 ジーニー
魔法のランプの魔人。ランプの持ち主を主人とし、その願いを何でも3つだけかなえる無敵の存在だが、自由がなく、主人には絶対に従わなければならない。

3 ジャスミン
アグラバーの王女で、セブンプリンセスのひとり。王宮を抜け出したときにアラジンと出会い、彼の人柄に惹かれる。

4 ジャファー
邪悪な魔法使い。アグラバーの右大臣を務めながら、ジャスミンを妻にして国を乗っ取ろうとひそかに画策している。

5 ジャファー(魔人)
魔法のランプに願いをかなえてもらってランプの魔人となったジャファー。絶大な力を持つかわりにランプを持つ者の命令に逆らえないのは、ジーニーと同じ。

6 イアーゴ
おしゃべりで口の悪いオウム。知恵がまわり、ジャファーの右腕として働く。

7 アブー
アラジンの親友である小さなサル。手クセが悪く、すぐに盗みを行なおうとする。

8 じゅうたん
自分の意志や感情を持ち、空を自由に飛びまわれる不思議なじゅうたん。

9 商人
街はずれに店を構える商人。非常に欲深く、財宝に目がくらんで騒動を起こす。









MONSTRO

モンストロ

登場作品 | [I] [COM]
出典 | 『ピノキオ』(1960年)

船を丸飲みできるほど巨大なクジラ。その体内にはひとつの世界とも言うべき空間が広がる。歩きまわれる場所はお腹のなかなので、天井も床もやわらかい。



[I] すれちがうソラとリク

巨大クジラのモンストロに、グミシップごと飲みこまれたソラたち。モンストロの体内には、ピノキオとゼペットだけでなくリクもいた。リクは、「カイリに心を取りもどさせるためのカギとなるかもしれないから、一緒にピノキオを連れ去ろう」とソラに呼びかけるが、ソラは協力をこばむ。リクが去ったあと、巨大ハートレスを倒したソラたちは、その衝撃でピノキオやゼペットと一緒にモンストロの体内から脱出できたものの、親友の変貌ぶりにソラの気持ちは晴れなかった。



[COM(ソラ)] ピノキオの機転

モンストロの体内で、ソラたちはピノキオとゼペットに出会った。ゼペットがモンストロに飲まれたことに責任を感じていたピノキオは、脱出方法を探していくうちに、「モンストロの腹の奥で暴れたら自分たちを吐き出すかもしれない」と思いつく。ソラたちはさっそくそのアイデアを実行に移し、ピノキオとゼペットを外へ脱出させる。

Characters

I / COM

1 ピノキオ ● ●

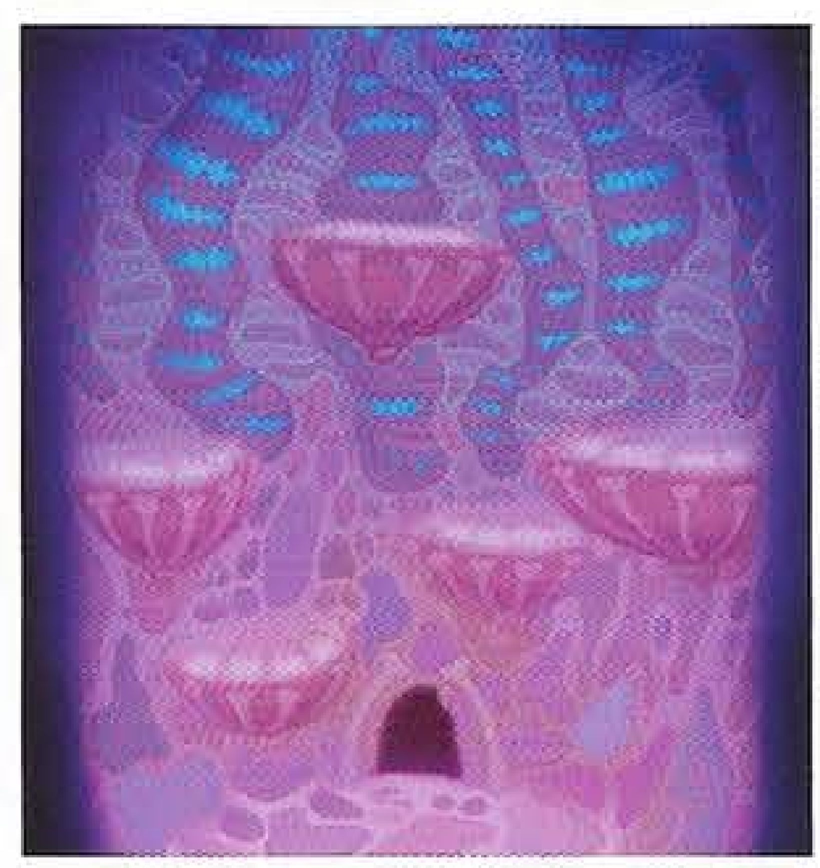
ゼペットに作られ、ブルー・フェアリーから命を授けられた木彫りのあやつり人形。ウソをつくと鼻が伸びる。

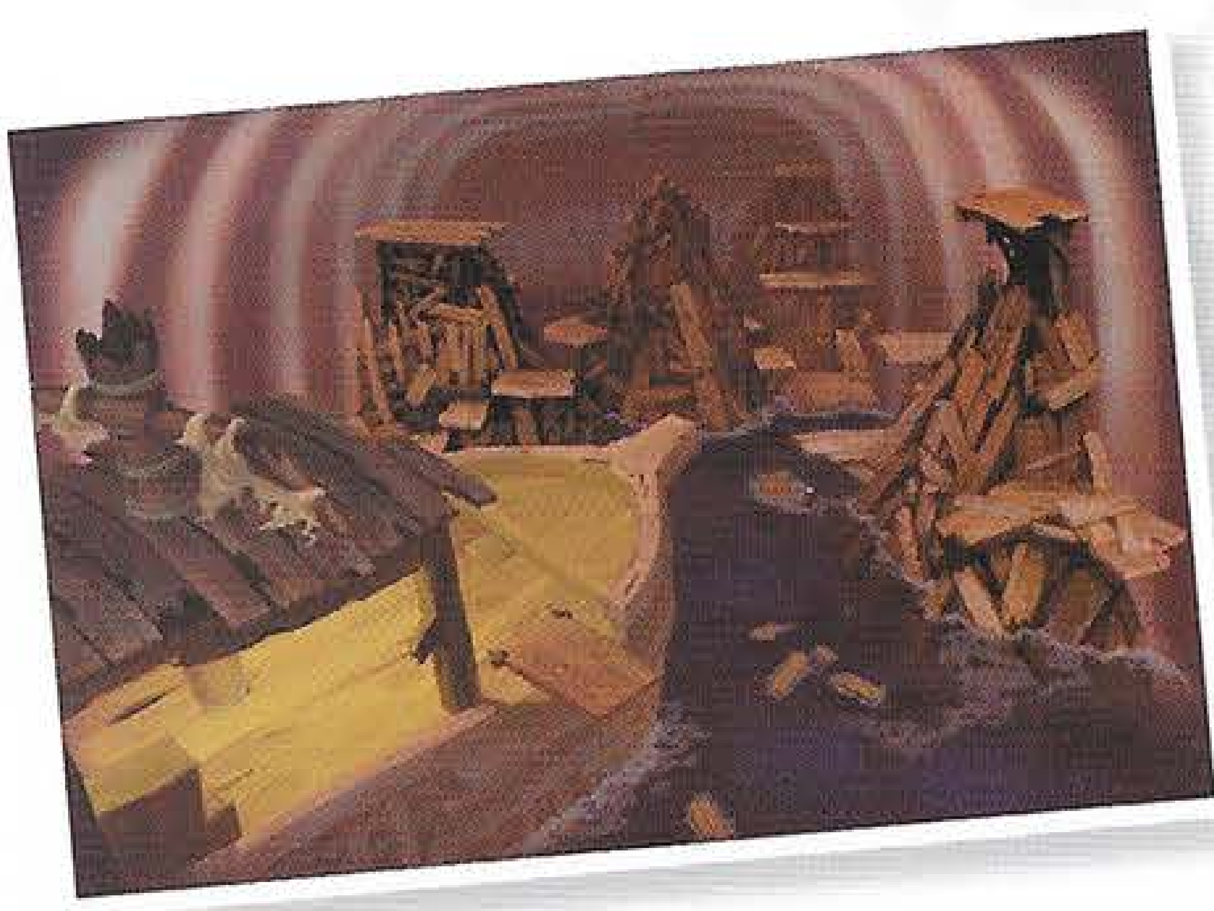
2 ゼペット ● ●

心優しい木彫り職人の老人。自分が作った木彫り人形のピノキオを、本当の息子のようにかわいがっている。

1


2







ATLANTICA

アトランティカ

登場作品	[Ⅰ][COM][Ⅱ]
出典	『リトル・マーメイド』(1989年)

深い海の底に広がる、魚や人魚たちの王国。偉大なる海の王トリトンは、トライデントと呼ばれる魔法のヤリの力を使い、この国の平和を守っている。

ATLANTICA
『KHⅠ』『KH COM』でのロゴ



[Ⅰ] 外の世界にあこがれる姫

アトランティカを訪れたソラたちは、人魚の王女アリエルと出会った。アリエルは鍵穴探しを手伝ってくれるが、トリトン王がそれを厳しくいさめる。外の世界へのあこがれを父親にわかってもらえずに落ちこむアリエル。そんな彼女にアースラが言葉たくみに近づき、アリエルを利用してトライデントを奪ってしまう。責任を感じたアリエルは、ソラたちと協力してアースラを倒し、トライデントを取りもどすのだった。



[Ⅱ] 人と人魚の恋は実るのか?

人間の王子エリックに恋をしたアリエルは、彼に会いに行くためにアースラと契約し、美しい声と引きかえに人間の姿にしてもらう。アースラは、アリエルの声を使ってエリックを誘惑しようとするも、アリエルの恋の行方を見守っていたソラたちがそれを阻止。アリエルとエリックはめでたく結ばれ、地上と海の世界はみんなの笑顔でひとつにつながった。

[COM(ソラ)] 親友を助けたくて

宮殿では、トライデントが盗まれて大さわぎになっていた。「姿を消したフランダーを捜すにはトライデントが必要だ」とアースラに吹きこまれたアリエルが、無断で持ち出したのだ。しかしじつは、フランダーはアースラに捕らわれていた。アースラはフランダーと引きかえにアリエルからトライデントを奪い取るものの、ソラたちがアースラを撃退して、事件は無事に解決する。





Characters

		Ⅰ	COM	Ⅱ
1	アリエル	●	●	●
	トリトン王の末娘で、アトランティカでもっとも美しい声を持つ人魚。好奇心が強く、外の世界にあこがれている。			
2	トリトン王	●	—	●
	アトランティカの王。外の世界との接触は災いを招くと考え、アリエルが外の世界に興味を持つのを良く思っていない。			
3	セバスチャン	●	●	●
	アリエルのお目付け役の宮廷作曲家。			
4	フランダー	●	●	●
	アリエルの親友。身体が小さく臆病だがアリエルのためなら危険もいとわない。			
5	アースラ	●	●	●
	悪賢い海の魔女。アトランティカを乗っ取るため、さまざまな策をめぐらす。			
6	ジェットサム	●	—	●
7	フロットサム	●	—	●
	アースラの手下のウツボたち。			
8	サメ	●	—	—
	沈没船の周辺をうろつく凶暴なサメ。			
9	エリック	—	—	●
	人間の勇敢な王子。乗っていた船が嵐の夜に沈み、気を失ったまま漂流していたところをアリエルに助けられた。			



ハロウィンタウン

登場作品 |［●I］［●COM］［●II］［●Days］

出典 |『ナイトメアー・ビフォア・クリスマス』(1990年)

恐ろしげな雰囲気が漂う街。年に一度のハロウィンを成功させるため、年中ハロウィンの準備に追われている。街はずれには、クリスマスタウンへ通じる扉がある。

『KHⅡ』でのロゴ





［●I］ハートレスと過ごすハロウィン

ハロウィンタウンでは、街の人気者ジャックが人工の心を使ってハートレスを制御し、つぎのハロウィンの目玉にしようと考えていた。「人工の心が完成すればハートレスと戦わずにすむ」と考えたソラはジャックの研究に手を貸すが、ハートレスをあやつって街を乗っ取ろうとするブギーが、完成した人工の心を奪って丸飲みしてしまう。しかし、人工の心は失敗作で、うまくハートレスをあやつれなかったブギーは、怒りのあまり闇にとらわれて暴走。ソラたちはブギーを倒して、事態を収拾した。



［●COM(ソラ)］記憶を取りもどすことへの恐怖

ジャックは、人々を襲うハートレスに頭を悩ませていた。フィンケルスタイン博士が作った「真の記憶をよみがえらせる薬」が問題の元凶であることを知ったソラは、ジャックと一緒にそれを探すが、ブギーが薬を飲み干し、心のバランスをくずして暴走してしまう。ソラたちがブギーを倒して騒動は収まったものの、正気を失ったブギーの姿に、ソラは「自分が真の記憶を取りもどしたら何が起こるのか」と不安に駆られるのだった。







［●II(EP1)］恐怖と悪夢の王がサンタに!?

ハロウィン風クリスマスの開催を計画しているジャックがサンタクロースを迎えに行くと聞いて、一緒にクリスマスタウンへ向かうソラたち。ところが、マレフィセントの手によって復活したブギーが、サンタクロースをさらってしまった。ソラたちがブギーを倒したあと、ジャックは「サンタクロースに扮してプレゼントをくばりたい」と言い出すが、サンタクロースに説得されて、ハロウィンの帝王と呼ばれる本来の自分の役割を思い出す。

［●II(EP2)］プレゼント泥棒を捜せ！

ふたたびハロウィンタウンを訪れると、サンタクロースのもとから盗まれたプレゼントが散らばっていた。最初はイタズラ好きの小鬼3人組のしわざと思われたが、真犯人はフィンケルスタイン博士が作った実験体だった。事件はソラたちが実験体を倒したことで無事解決。そしてジャックは、自分に対するサリーの想いに触れ、プレゼントで一番大事なのは贈る人の心だと学ぶ。









［●Days］ロクサスは地獄の使者?

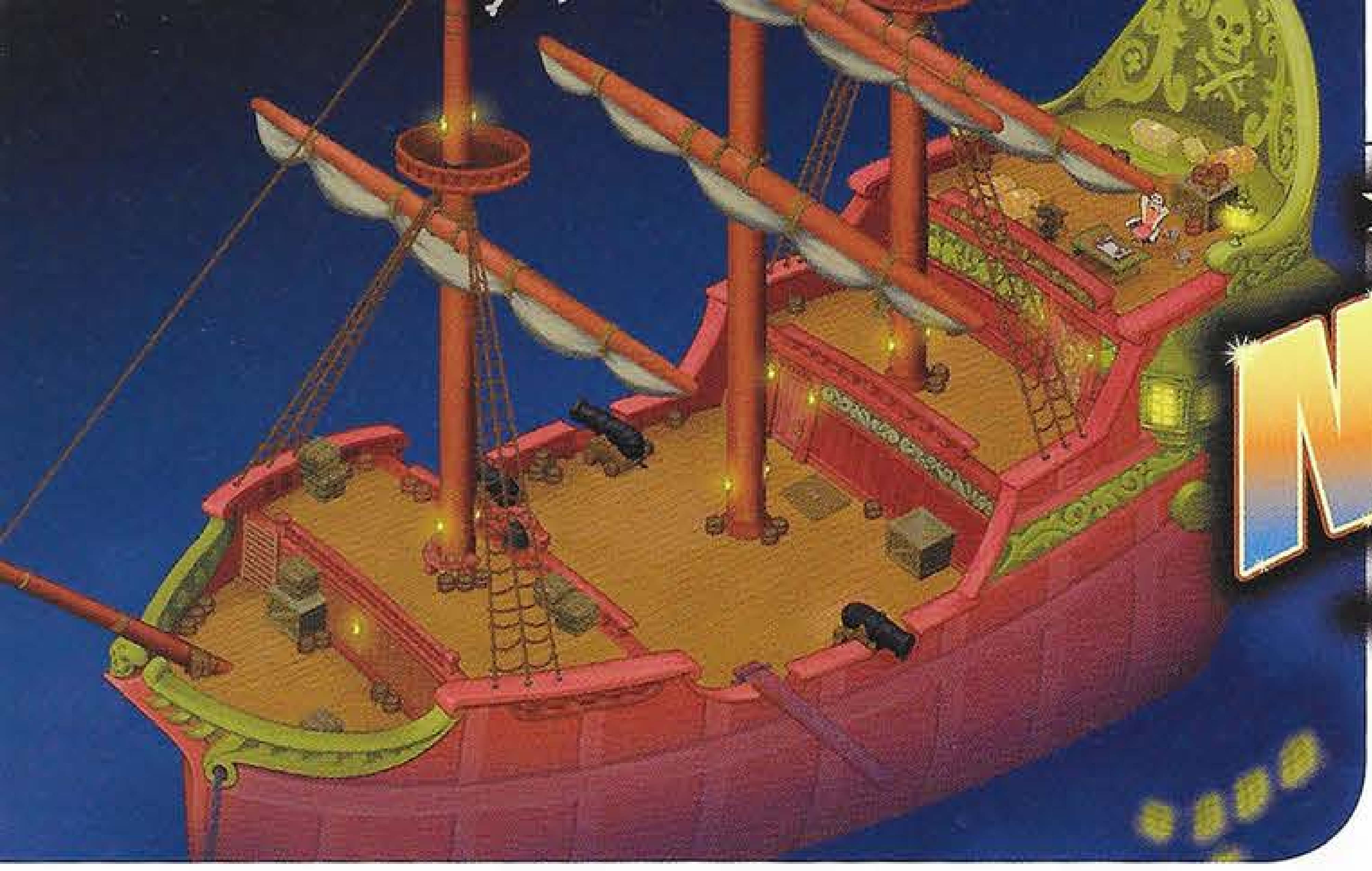
任務でたびたびハロウィンタウンを訪れては、ハートレスを倒してまわるロクサス。小鬼3人組のイタズラにもめげずにハートレスと戦うロクサスを見て、毎年のハロウィンを取り仕切っているジャックは、つぎのハロウィンの主役としてロクサスをモチーフにしたカカシを作った。



Characters

No.	キャラクター	I	COM	II	Days	解説
1	ジャック・スケリントン	●	●	●	●	
2	ジャック・スケリントン(サンタ姿)	—	—	●	—	ハロウィンを取り仕切る、恐怖と悪夢の王。とびっきりのハロウィンを作るために日頃から頭を悩ませている。
3	サリー	●	●	●	—	つぎはぎ人形の女性。ジャックに想いを寄せており、彼を陰ながら見守る。
4	フィンケルスタイン博士	●	●	●	●	電動式の車イスに乗り、あやしげな実験にいそしむヘンクツな科学者。
5	ウーギー・ブーギー	●	●	●	—	ハロウィンタウンの無法者で、イカサマが得意なギャンブラー。通称ブギー。
6	ロック	●	—	●	●	イタズラ好きの小鬼たちのひとり。一応3人組のまとめ役だが、後先のことはあまり考えないで行動する。
7	ショック	●	—	●	●	イタズラ好きの小鬼たちのひとり。唯一の女の子で、悪知恵がよく働く。
8	バレル	●	—	●	●	イタズラ好きの小鬼たちのひとり。得意なことがなく、ソンな役まわりが多い。
9	ゼロ	●	—	●	●	ジャックのペットである、実体を持たない幽霊犬。ふわふわと空を飛ぶ。
10	メイヤー町長	●	—	●	—	ハロウィンタウンの町長。頭の表側には笑顔、裏側には泣き顔があり、そのときの気分に応じてクルクルと入れかわる。
11	サンタクロース	—	—	●	—	クリスマスの主役。トナカイのソリで子どもたちに夢とプレゼントを運ぶ。
12	助手	—	—	●	—	サンタクロースを手伝う助手たち。
13	レインディア	—	—	●	—	フィンケルスタイン博士がジャックの依頼で作った、ハロウィン風のトナカイ。
14	実験体	—	—	●	—	フィンケルスタイン博士が発明した、機械仕掛けで動く人形。





NEVERLAND

ネバーランド

登場作品	[I][COM][Days][BbS]
出典	『ピーター・パン』(1960年)

妖精や海賊が住むおとぎの国。子どもたちの夢から生まれた世界なので、ここでは子どもが大人になることはなく、思いの強さや信じる心が何よりも力を発揮する。

『KH Days』でのロゴ

『KH BbS』でのロゴ



[I] 闇に身を染めていくリク

フックの海賊船に捕らえられてネバーランドにやってきたソラたちは、闇に染まりつつあるリクと、心を失ったかのようなカイリと再会した。ソラたちはリクの手で船内に閉じこめられてしまうが、ウェンディを捜すピーター・パンと出会い、それぞれの大事な人の救出に協力し合うことにする。ウェンディは無事見つかり、フック率いる海賊たちもやっつけたものの、カイリはリクによってどこかへ連れ去られてしまった。



[Days] 宝探しが闇を招く

ロクサスは、フックとスミーが宝の地図を見ながらあちこちを掘り返しているところにたびたび出くわす。彼らが見ていた地図は、フックの欲望を利用してハートレスを呼び寄せるためにピートが用意したもので、ピートの狙いどおりにフックの欲望はどんどん高まり、ついには巨大ハートレスが姿を現した。しかし、ロクサスが何とかこれを討伐し、ピートの計画は失敗に終わる。

[COM(ソラ)] 大切な記憶は消えない

海賊船に迷いこんだソラたちはピーター・パンと出会い、フックにさらわれたウェンディを一緒に捜すことにした。ようやくウェンディを見つけると、彼女は「ロンドンに帰りたい」と言う。ロンドンへ帰ったら、ウェンディは自分のことを忘れてしまうのに——そう考えてピーター・パンはヘソを曲げるが、ソラから「大事な想いは絶対に消えない」と励まされ、ウェンディと再会を約束して、彼女をロンドンへ送り届けた。







[BbS(テラ)] 光を狙う少年との対決

テラは仮面の少年を捜す途中で、"光"を狙う少年に悩まされていたフックの用心棒を引き受ける。フックの留守中に現れた、"光"を狙う少年ピーター・パンと一戦まじえるテラ。ところが、フックが守ろうとしていた"光"とは、光の心ではなく、ただの財宝だった。ピーター・パンへの誤解を解いたテラは、ピーター・パンの友だちでフックにつかまっていたティンカー・ベルを逃がしてあげた。

[BbS(ヴェントゥス)] 本当の宝物を入れよう

島に落ちたという流れ星を探していたヴェントゥスとティンカー・ベルは、集落で星のカケラを見つけるが、フックに横取りされたうえにティンカー・ベルもさらわれてしまう。ヴェントゥスはピーター・パンと一緒にフックの海賊船へ向かい、船を制圧するとともにフックを成敗。戦いのあと、海賊から奪った宝箱に自分たちの宝物を入れることになり、ヴェントゥスはテラにもらった木剣を選ぶ。









[BbS(アクア)] 思い出の宝物は折られても

アクアはひょんなことから、ピーター・パンたちの宝探しにつき合うことになった。あちこちを探険したすえに発見した宝箱には、彼らの宝物のほかにヴェントゥスの木剣も入っていたが、そこへ仮面の少年が現れ、ヴェントゥスの木剣をへし折ってしまった。激高して仮面の少年を撃退したアクアは、テラたちとの心の絆は簡単には折れないと、改めて自分に言い聞かせてネバーランドをあとにする。



Characters

	I	COM	Days	BbS
1 ピーター・パン	●	●	—	●
2 ティンカー・ベル	●	●	●	●
3 ウェンディ	●	●	—	—
4 フック船長	●	●	●	●
5 Mr.スミー	●	—	●	●
6 クロコダイル	●	—	—	●
7 フォクシー	—	—	—	●
8 カビー	—	—	—	●

1 ピーター・パン
勇気と行動力にあふれた永遠の少年。空を自由に飛びまわることができる。

2 ティンカー・ベル
短気なうえにやきもち焼きな妖精の女の子。通称ティンク。

3 ウェンディ
ロンドンに住んでいた、空想好きな女の子。ピーター・パンに連れられてネバーランドへやってきた。

4 フック船長
海賊たちの親玉。ピーター・パンを目のカタキにしている。

5 Mr.スミー
フックが一番信頼している手下。海賊とは思えぬほどのんびりしている。

6 クロコダイル
凶暴なワニ。ピーター・パンが切り落としたフック船長の左腕を懐中時計ごと飲みこんで以来、フックをつけ狙う。

7 フォクシー
8 カビー
現実の世で迷子になって、ネバーランドへやってきた少年たち。ピーター・パンからはロストボーイズと呼ばれる。









HOLLOW BASTION

ホロウバスティオン

登場作品｜[●I][●COM][●II][●coded]

かつてはレイディアントガーデンと呼ばれ、賢者アンセムが治めていた世界(→P.85)。一時はハートレスに襲われて廃墟と化し、闇の勢力の拠点となっていた。

『KHI』『KH COM』でのロゴ



[●I] たとえキーブレードがなくとも

カイリを救うべくやってきたソラだが、キーブレードはリクの手に渡ってしまった。それでもソラはあきらめず、ビーストと協力して城の奥へ。そんなソラを見て、一度はリクについていったドナルドとグーフィーもソラのもとへもどり、ソラは心の強さを認められて、正式にキーブレードの持ち主となる。立ちはだかるリクとマレフィセントを倒し、カイリを解放するソラ。しかし、リクの身体を乗っ取った闇の探求者アンセムにより、"闇の中心"へとつづく鍵穴は開かれてしまう。



[●coded] 絆がもたらした新たな力

ソラはキーブレードを失いながらも、リクと王様を救出すべく、ひとりでホロウバスティオンに乗りこんだ。そんなソラを助けるために駆けつけるドナルドとグーフィー。彼らと絆を確かめ合うことで新たなキーブレードを手にしたソラは、バグをすべて退治し、ジミニーメモのデータを完全に復旧して、王様たちを現実世界へ帰す。

[●COM(ソラ)] 彼を心から愛するがゆえに

ソラたちは、ベルとビーストが言い争っているところに通りかかる。マレフィセントにさらわれたベルをビーストが助けにきたのに、ベルはそれをこばんでいるらしい。じつは、マレフィセントは「誰かを愛する美しい心」を狙っており、ベルはその心を隠すためにビーストにわざと冷たくしていたのだ。だが、ビーストの愛に触れたベルは自分の想いを隠せなくなり、マレフィセントに心を奪われてしまう。ソラたちはビーストと協力してマレフィセントを倒し、ベルの心を取りもどした。







[●II(EP1)] 新たな敵との対面

1年前にマレフィセントの拠点だったホロウバスティオンは、レオンをはじめとする再建委員会によって復興への道を歩んでいた。ところが最近、ハートレスやノーバディが現れ、住人たちを困らせているという。ソラたちはレオンからの要請を受けて魔物退治に乗り出すが、その矢先にXIII機関の面々が登場してソラを挑発。彼らの言葉の真意をつかめないまま、ソラたちはほかの世界へ旅立つ。

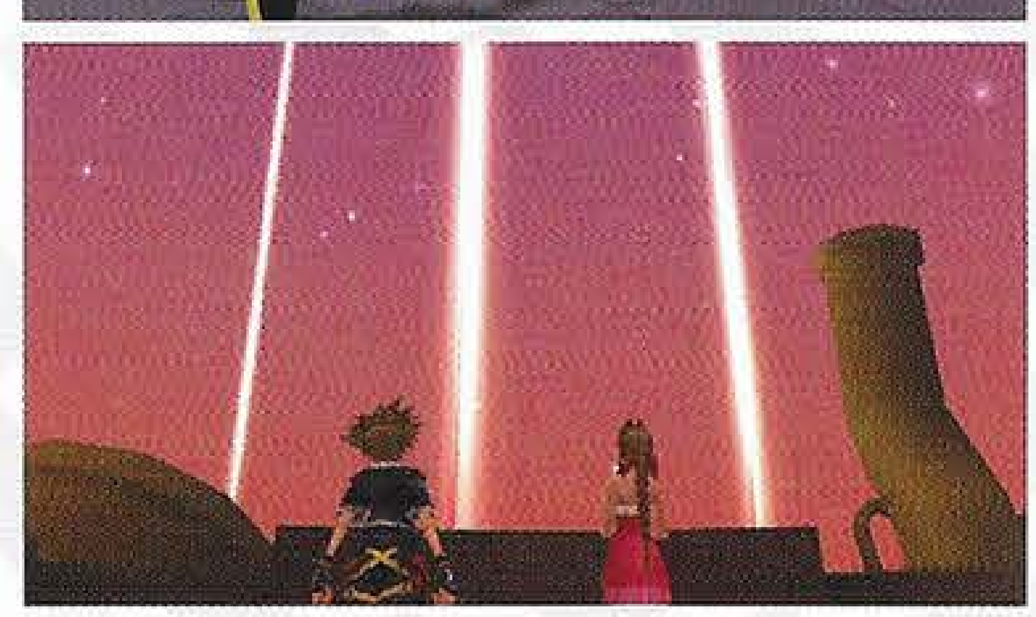
[●II(EP2)] 闇の勢力との大決戦

レオンたちが見つけた、かつて賢者アンセムが使用していたコンピューター——ソラたちはそのコンピュータの世界に入りこみ、データを引き出せるようにする。直後にハートレスとノーバディが大挙して現れ、ソラたちはレオンらと一緒に闇の軍勢に応戦。何とか街は守られたものの、XIII機関の真の目的や、リクとカイリの行方はわからなかった。









[●II(EP3)] MCPの侵攻を食い止めろ！

ソラたちがホロウバスティオンを再訪すると、賢者アンセムのコンピュータのメインシステム「MCP」がハートレスを現実世界に送りこみ、街を襲っていた。ソラたちはふたたびコンピュータ内の世界「スペース・パラノイド」に入り、トロンと協力してMCPを撃破。トロンはお礼として、この街が「レイディアントガーデン」と呼ばれていたころの美しい風景をモニターに映し出す。



Characters

Legend: ● I　● COM　● II　● coded

1 ビースト — I: ●　COM: ●　II: —　coded: —

思いやりの心を持たなかったため、魔女の呪いで野獣の姿にされた王子。ベルと出会ったことで優しさや愛に目覚める。

2 ベル — I: ●　COM: ●　II: —　coded: —

物語のような冒険にあこがれる美しい女性で、セブンプリンセスのひとり。ビーストの内に隠された優しさに気づき、しだいに彼に惹かれるようになる。

3 オーロラ — I: ●　COM: —　II: —　coded: —

4 白雪姫 — I: ●　COM: —　II: —　coded: —

5 シンデレラ — I: ●　COM: —　II: —　coded: —

マレフィセントによって捕らわれの身となった、セブンプリンセスたち。

6 レオン — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

かつてソラと一緒に闇の勢力と戦った青年剣士。ホロウバスティオン再建委員会の中心となって、街の復興に力を尽くす。

7 エアリス — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

ホロウバスティオン再建委員会の一員として働く、不思議な魅力を持った女性。

8 ユフィ — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

ホロウバスティオン再建委員会の一員として働く、明るく元気な忍者娘。

9 シド — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

ホロウバスティオン再建委員会の一員として働く、威勢のいいエンジニア。

10 マーリン — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

偉大な魔法使い。自宅をホロウバスティオン再建委員会に貸し、持ち前の知識と魔力でレオンたちを支援している。

11 スクルージ — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

ドナルドの伯父。かつて流行したアイスを再現して売り出そうと計画中。

12 ヒューイ — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

13 デューイ — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

14 ルーイ — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

ドナルドの甥にあたる三つ子の兄弟。大伯父のスクルージを手伝っている。

15 クラウド — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

大剣をあやつる無口な剣士。自身の闇と決着をつけるべく、セフィロスを追う。

16 セフィロス — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

かつて英雄と呼ばれた剣士。クラウドとは浅からぬ因縁がある。

17 ティファ — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

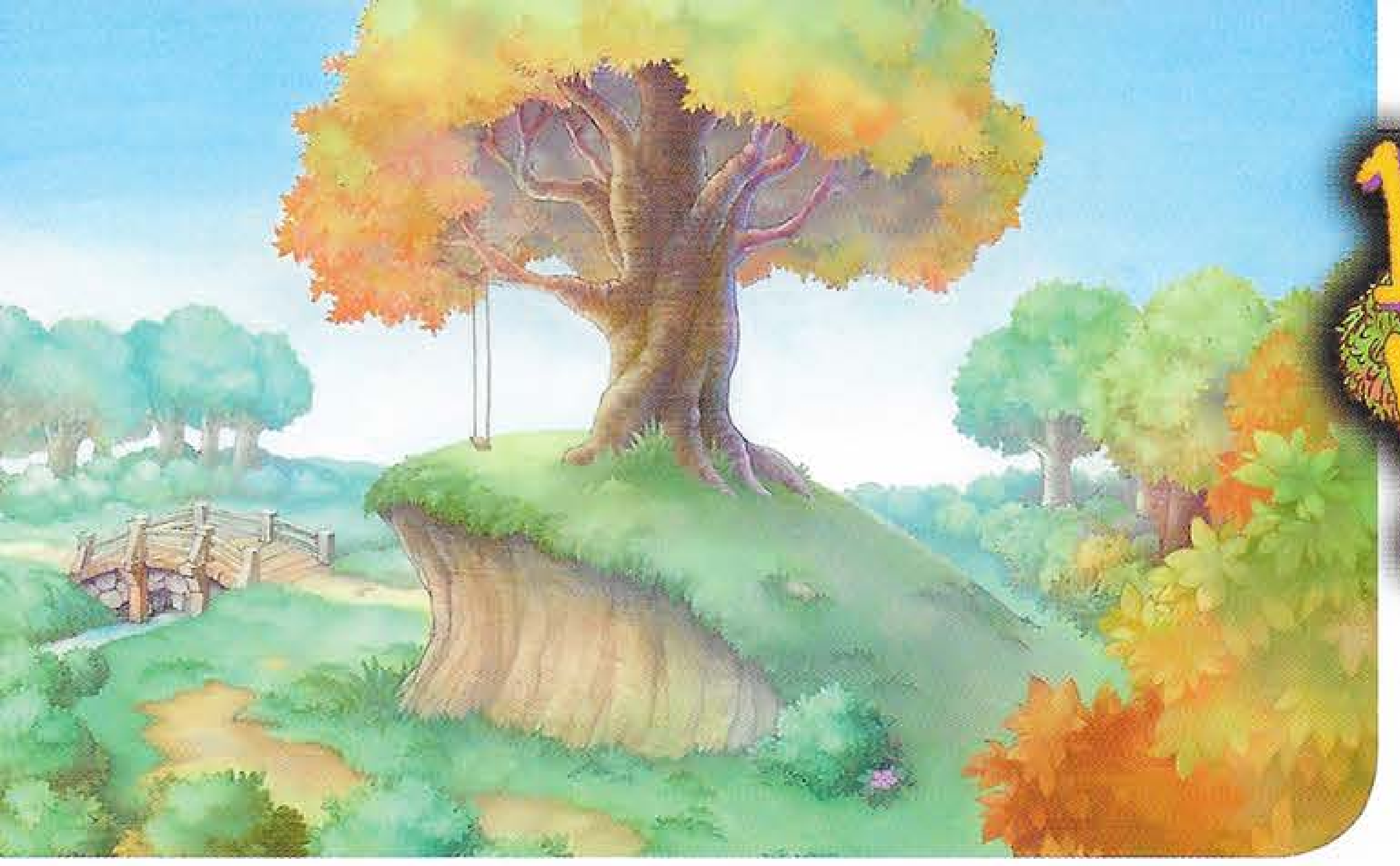
クラウドを捜している女性格闘家。

18 ユウナ — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

19 リュック — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

20 パイン — I: —　COM: —　II: ●　coded: —

各自の名前の頭文字を取って"ユリパ"と名乗る妖精の3人娘。お宝に目がない。



100エーカーの森

登場作品	[●I][●COM][●II][●BbS]
出典	『プーさんとはちみつ』(1966年)ほか

絵本のなかのお話の世界。100エーカー(約40万㎡)もある広大な森に、プーやピグレットなどのぬいぐるみの動物たちが仲良く暮らしている。

『KHⅠ』『KH COM』でのロゴ



[●I] ちぎれたページを集めよう

マーリンが持つ本を開いて100エーカーの森に入りこむと、そこにはプーがいるだけだった。どうやら、本のページがちぎれてあちこちに散らばったせいで、プーの友だちや彼らが住んでいた場所が消えてしまったらしい。さっそくいろいろな世界をまわり、ちぎれたページを集めてプーの友だちを連れもどすソラ。全員そろったことを確認すると、ソラはプーたちに見送られ、自分の旅にもどった。

[●COM(ソラ)] ソラが忘れてもプーは忘れない

100エーカーの森を訪れたソラは、ひとりぼっちのプーと出会い、彼が友だちを捜すのを手伝うことにした。森を捜しまわったすえ、プーの友だちは全員見つかったが、ソラは自分が忘却の城の力でこの森での出来事を忘れるかもしれないと気づいて落ちこむ。しかし、プーから「ソラがプーを忘れても、プーはソラを忘れない」と励まされ、笑顔で森をあとにする。





[●II] プーの記憶を取りもどせ

ソラが100エーカーの森を訪れているさなか、ハートレスが本のページを破り、そのせいでプーは森の仲間やソラに関する記憶を失ってしまう。各地に散ったページを集めて、プーの記憶をもとどおりにしていくソラ。完全に記憶がもどったプーは、ソラと別れたくなくて、ソラがいなくならない方法を考えはじめるが、ソラはプーの胸を指し「いつでもここにいるよ」と笑って言うのだった。

Characters

		I	COM	II	BbS
1	プー	●	●	●	●
	いつもマイペースなクマ。食いしんぼうでハチミツが大好物。				
2	ピグレット	●	●	●	—
	身体が小さくて気も小さい、ピンク色の子ブタ。プーの一番の仲良し。				
3	ティガー	●	●	●	●
	バネのようなシッポを使って飛び跳ねるのが大好きな、元気いっぱいのトラ。				
4	オウル	●	●	●	—
	森一番の物知りであるフクロウ。何かを説明し出すと、話がやたらと長くなる。				
5	ラビット	●	●	●	●
	気難し屋のウサギ。好物の野菜を植えた畑を手入れするのが日々の楽しみ。				
6	イーヨー	●	●	●	—
	マイナス思考のロバ。シッポがすぐに取れることと家がよく壊れることが悩み。				
7	ゴーファー	—	—	●	—
	気が短い地リス。穴掘りが好きで、いつもどこかしらを掘っている。				
8	カンガ	—	—	●	—
	優しいメスのカンガルー。息子のルーや森の仲間たちを温かく見守る。				
9	ルー	●	●	●	—
	やんちゃなカンガルーの少年。ジャンプが得意なティガーにあこがれている。				





[●BbS] ミニゲームでのみ登場

ミニゲーム『コマンドボード』のボードのひとつ「ハニーポットボード」として登場。プーとティガーが対戦相手となるほか、スペシャルパネルで「ハニーパラダイス」の効果が発生すると、ラビットも姿を見せる。





END of THE WORLD

エンド・オブ・ザ・ワールド

登場作品 [I]

すべての世界を飲みこもうとしている闇の中心地。闇に飲まれて消滅してしまった世界や、いままさに闇に飲まれつつある世界の風景が、あちこちで見られる。



[I] もとの世界へ帰れると信じて

ソラたちは闇の探求者アンセムを追って、エンド・オブ・ザ・ワールドを訪れる。彼を倒せば、闇に飲まれて失われた世界はもとどおりになるが、それは同時にこの地が消滅することを意味していた。たとえ世界が消えても、心さえあれば大切な友だちのところへ帰れるはず――そう信じてソラたちは、アンセムの野望を阻止するため、最終決戦の地へ向かう。


1

Characters

I

1 **ファンタジアの魔人**

はげ山の山頂に現れる、巨大な翼を持つ魔人。正式名称はチェルナボーグ。



CASTLE OBLIVION

忘却の城

登場作品 [COM][Days][coded]

光と闇の狭間の世界に建つ城で、XIII機関の研究施設のひとつ。この城を訪れた者は、奥へ進むにつれて何かを手に入れるかわりに何かを失うという。



[COM] カードが生み出す世界を旅して

リクと王様を捜していたソラたちは、黒コートの男に導かれて忘却の城にたどり着き、カードが生み出す世界をめぐる。しかしそれは、黒コートの男――XIII機関のマールーシャのワナだった。一方、光と闇の狭間で眠っていたリクも、謎の声の導きで忘却の城を訪れ、己の心の内にひそむ闇の存在アンセムと戦いつつ城内を進んでいくが……。

[Days] 機関のもうひとつの城

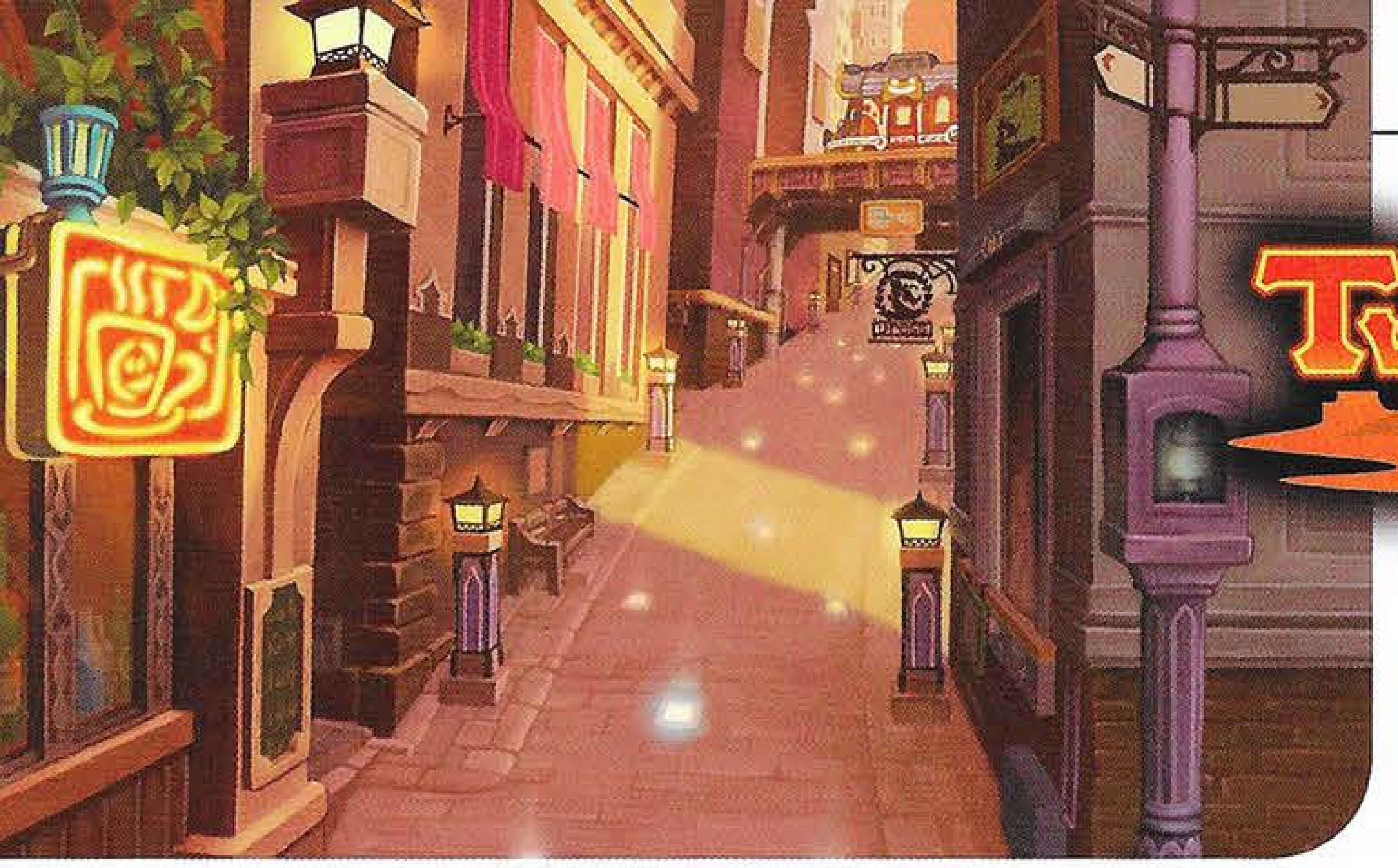
XIII機関は、存在しなかった世界の城以外にもうひとつ、忘却の城という研究施設を持っていた。シオンは、自分が何者なのかを知るために忘却の城を訪れたのち失踪。そして、彼女を捜してこの地を訪れたロクサスは、城に足を踏み入れたとたんに激しい頭痛に襲われて倒れてしまう。





[coded] くり返し感じる心の痛み

ジミニーメモの追加データへの扉を開き、忘却の城を訪れたソラは、友だちの幻と出会ってはそのときの記憶を失うことを何度も強いられ、心に痛みを負っていく。それらはすべて、ソラが痛みを受け止める覚悟ができるようにと、データのロクサスが仕組んだことだった。



Twilight Town

トワイライトタウン

登場作品 | [●COM][●II][●Days]

夕日に照らされた、たそがれの街。高台の上にランドマークとなっているセントラルステーションがあり、駅舎にそびえる大きな時計塔からは街が一望できる。



[●COM(ソラ)] 裏の記憶の世界で

ヴィクセンから渡されたカードを使って訪れた先は、見覚えがないのに懐かしさを感じる奇妙な街だった。「ナミネに惹かれて進めば、ソラは心を失ってマールーシャの道具になる」というヴィクセンの言葉に混乱するソラ。しかし、その言葉の真意を聞き出す前に、ヴィクセンはアクセルの手で消されてしまう。

[●COM(リク)] リク＝レプリカとの最後の戦い



王様がくれたカードを使ってトワイライトタウンを訪れたリクは、これまでアンセムのフリをしていた謎の男ディズから忠告を受ける。「ナミネに会って、ある選択をせよ」──彼に言われたとおり、ナミネを捜して街はずれの屋敷にやってきたリク。そこにリク＝レプリカが現れ、自分の存在意義を示すべく、最後の戦いを挑んできた。



[●II] 7日間だけの夏休み

トワイライトタウンに住むロクサスは、ハイネらと一緒に夏休みを楽しんでいたが、"「鍵」を持つ少年"が出てくる夢を見るようになってから、周囲で奇妙な出来事が起こりはじめる。そしてある日、ロクサスが街はずれの屋敷を訪れ、ポッドのなかで眠るソラと出会ったとき、ロクサスの"夏休み"は終わりを告げてソラが覚醒。一緒に眠っていたドナルドやグーフィー、ジミニーと再会を喜んだソラは、王様の指示に従って、駅から列車に乗って街を離れる。



[●Days] かけがえのない日々

XIII機関のメンバーとなったロクサスは、当初は与えられた任務をこなすだけの毎日を送っていた。そのうちに彼は、任務を終えたあとにこの街の駅の時計塔にのぼり、アクセルやシオンと3人でアイスを食べるのが日課になっていく。

Characters

	●COM	●II	●Re:COM	●Days
① ハイネ	—	●	●	●
② ピンツ	—	●	●	●
③ オレット	—	●	●	●
④ サイファー	—	●	—	—
⑤ ライ(雷神)	—	●	—	—
⑥ フウ(風神)	—	●	—	—
⑦ ビビ	—	●	—	—
⑧ セッツァー	—	●	—	—

① **ハイネ**
街では有名なトンガリ少年。ピンツやオレットたちのリーダー格。

② **ピンツ**
のんびり屋の男の子。コンピュータや街のウワサについてくわしい。

③ **オレット**
しっかり者の女の子。仲良しのハイネやピンツの世話を焼くことが多い。

④ **サイファー**
自称"街の風紀委員長"。強引かつ好戦的な性格で、ハイネたちとは犬猿の仲。

⑤ **ライ(雷神)**
サイファーの取り巻きの少年。力自慢で「〜だもんよ」が口グセ。

⑥ **フウ(風神)**
サイファーの取り巻きの少女。必要最小限のことしかしゃべらない。

⑦ **ビビ**
サイファーたちにいつもくっついている、引っこみ思案で気弱な男の子。

⑧ **セッツァー**
トワイライトタウンで人気の格闘競技「ストラグルバトル」の前回優勝者。







The Mysterious Tower

不思議な塔

登場作品 | [Ⅱ][BbS][Re:coded][3D]

出典 | 『ファンタジア～魔法使いの弟子』(1940年)

光の世界を見守る偉大な魔法使いイェン・シッドが住む塔。魔法の力が働いているため、塔の外から見たときのサイズにくらべて内部はずっと広い。

『KHⅡ』『KH BbS』でのロゴ



[Ⅱ] 新たな旅のはじまり

王様の導きで不思議な塔にやってきたソラたちは、塔の主であるイェン・シッドから、新たな敵ノーバディの存在と、それを率いるⅩⅢ機関という謎の組織について聞かされる。ⅩⅢ機関を追っている王様に会えば、リクの行方もわかるかもしれない——そう考えたソラは3人の妖精から新しい服を授かり、ふたたび世界をめぐる旅に出る。

[Re:coded] マスター・ゼアノート復活!?

ソラたちの活躍で、ハートレスであるアンセムとノーバディであるゼムナスは消滅したが、それはゼアノート本体の復活を意味していた。きたるべきゼアノートとの決戦に向け、イェン・シッドはマスター承認試験の実施を決める。





[3D] マスター承認試験開始！

ⅩⅢ機関との戦いを終えて、デスティニーアイランドで平和な日々を送っていたソラとリクは、イェン・シッドのもとに呼び出される。迫りくるゼアノートの脅威への準備として、ソラとリクにキーブレードマスターの承認試験を行なうというのだ。ソラとリクはさっそく、イェン・シッドの魔法で過去のデスティニーアイランドへ飛ぶ。



[BbS(テラ)] イェン・シッドの助言

テラはアンヴァースの情報を求めて、エラクゥスに世界の異変を知らせてきたイェン・シッドのもとを訪れた。テラから「仮面の少年がアンヴァースを手引きしているようだ」と聞かされたイェン・シッドは、アンヴァースの出現とゼアノートの失踪には関係があると考え、テラにゼアノートの捜索を改めて命じる。

[BbS(ヴェントゥス)] ミッキーの危機

ヴェントゥスが星のカケラで飛ばされた先は、イェン・シッドが住む不思議な塔だった。ヴェントゥスから事情を聞いたイェン・シッドが魔法を使うと、映し出されたのは、荒野に倒れているミッキーの姿！ 以前助けられた恩を返すため、ヴェントゥスは単身ミッキーの救出に出発する。





[BbS(アクア)] 師エラクゥス討たれる

異空の回廊を漂っていたミッキーを救出し、不思議な塔に送り届けたアクアは、イェン・シッドから衝撃の事実を伝えられる。なんと、師エラクゥスがマスター・ゼアノートとテラによって討たれたらしい。真相を確かめるべく、アクアはテラが向かったというキーブレード墓場へ急ぐ。



Characters

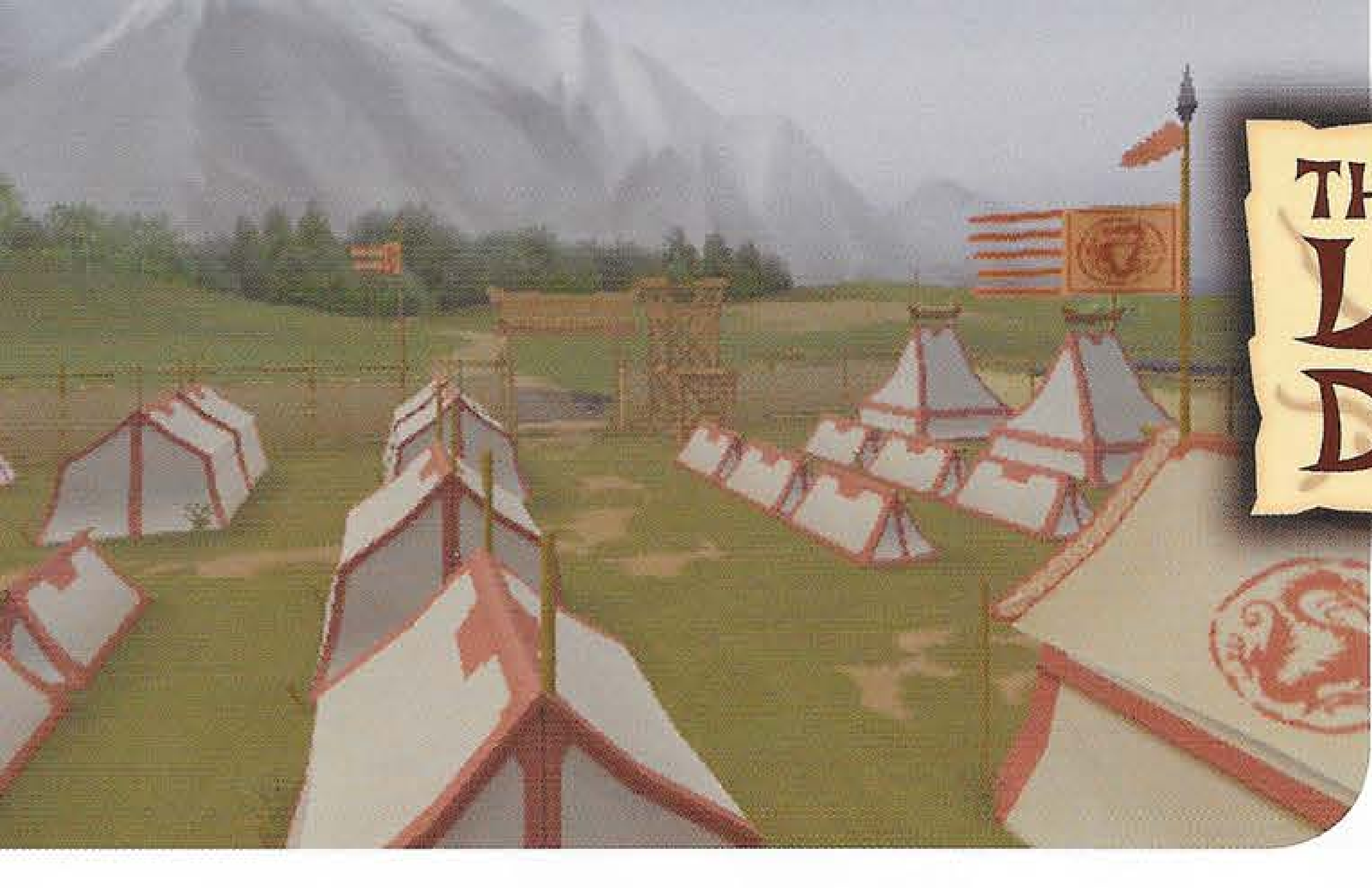
		Ⅱ	BbS	Re:coded	3D
1	イェン・シッド	●	●	●	●
2	フローラ	●	—	—	—
3	フォーナ	●	—	—	—
4	メリーウェザー	●	—	—	—

1 イェン・シッド
光の世界全体を見守っている偉大な魔法使い。王様の師匠でもある。

2 フローラ
ソラに新しい服を授けた3人の妖精のひとり。3人のまとめ役だが、あわて者。

3 フォーナ
ソラに新しい服を授けた3人の妖精のひとり。おっとりして落ち着きがある。

4 メリーウェザー
ソラに新しい服を授けた3人の妖精のひとり。ちょっと頑固な性格。



THE LAND OF DRAGONS

ザ・ランド・オブ・ドラゴン

登場作品 |［ ● II ］

出典 |『ムーラン』(1998年)

古代中国をモチーフとした世界。“龍脈”と呼ばれる力の恵みを受け、偉大な皇帝により治められてきた。北の国境には、皇帝の威光の象徴である長城が横たわる。



［● II(EP1)］ **男装の兵士は入隊できるか?**

ソラたちは、かつての冒険で召喚キャラクターとして力を貸してくれたムーシューと再会し、「ファ家の娘ムーランがフン族討伐隊に入れるように手を貸してほしい」と頼まれる。一時はシャン隊長に女性だとバレて除隊させられたムーランだったが、ハートレスを率いて都に攻めこんだフン族の長シャン・ユーを、ソラたちの協力を受けて撃退。皇帝やシャン隊長から、国を救った立派な兵士とほめたたえられるのだった。



［● II(EP2)］ **黒コートの人物はリク!?**

村で黒コートの人物と遭遇したソラたちは、ムーランと一緒にその人物を追うが見失ってしまい、直後に巨大ハートレスが都へ飛んでいくのを目撃する。急いで都へもどり、巨大ハートレスを倒すソラたち。その手柄が認められて、ムーランは皇帝の側近となり、ソラは黒コートの人物のことを教えてもらう。どうやら黒コートの人物がリクらしいとわかり、ソラは笑顔になる。

Characters

● II

1. **ムーラン** ●
2. **ピン(ムーランの男装姿)** ●

名門ファ家のひとり娘。家の名誉を守るべく、男装してピンと名乗り、病床の父のかわりにフン族討伐隊に参加する。

3. **ムーシュー** ●

ファ家の元守り神。手柄を立てて守り神の座にもどるためにムーランを助ける。

4. **シャン隊長** ●

フン族討伐隊の隊長。指揮官としては優秀だが、融通が利かないところがある。

5. **ヤオ** ●

フン族討伐隊の兵士のひとり。小柄ではあるものの、ケンカっ早く乱暴者。

6. **チェン・ポー** ●

フン族討伐隊の兵士のひとり。戦いよりもおいしい食事が重要という大食漢。

7. **リン** ●

フン族討伐隊の兵士のひとり。腕っぷしには自信がないが、口はかなり達者。

8. **皇帝** ●

大陸を治める皇帝。

9. **シャン・ユー** ●

フン族の長。ハートレスの軍勢を指揮して、ムーランたちが住む国に攻めこむ。





Beast's Castle

ビーストキャッスル

登場作品	[II][Days]
出典	『美女と野獣』(1991年)

ビーストの居城。以前はきらびやかで美しい城だったが、ビーストや召使いたちと一緒に魔女の呪いを受けたことで、昼なお暗き不気味な城に変貌してしまった。



[Days] 人ならざる者たちの城で

ロクサスとザルディンは、ハートレス退治の任務で奇妙な城を訪れる。この城の住人は、ベル以外の全員が呪いによって野獣や家具の姿にされており、野獣の部屋にあるバラが散るまでが、呪いを解くタイムリミットらしい。ザルディンは、強大な力を持つビーストをXIII機関の目的達成に利用しようと考え、策略をめぐらせる。



[II(EP1)] 正気を失った野獣

ソラたちが訪れた不気味な城は、かつてホロウバスティオンで一緒に戦ったビーストの居城だった。ところが、再会したビーストの様子がどこかおかしい。じつは、XIII機関のザルディンが、ビーストを"キングダムハーツ"の入手に利用しようと暗躍していたのだ。ソラは城の召使いたちと協力してビーストを正気にもどし、ザルディンの放ったハートレスの手からベルを救い出す。

[II(EP2)] 心を通わせるふたり

魔法のバラがザルディンに盗まれた。あのバラがなければ、ビーストや城の召使いたちは人間の姿にもどれない。深く絶望し、ベルを城から追い出そうとするビースト。しかし、ベルに危険がおよんだことで、ビーストは本当に大切なものの存在に気づく。ソラたちの活躍によってバラは取りもどせたが、ビーストはベルの無事を何よりも喜び、ベルもそんな彼の想いに応えるのだった。





Characters

		II	Days
1	ビースト 魔女の呪いで野獣の姿にされた王子。優しさと愛に目覚めたはずだったが、ふたたび乱暴なふるまいを見せるように。	●	●
2	ベル 物語のような冒険にあこがれる美しい女性。ビーストが乱暴な態度をとるようになって、心を痛めている。	●	●
3	コグスワース ビーストとともに魔女の呪いを受けて置き時計に変えられた、城の執事長。	●	●
4	ルミエール ビーストとともに魔女の呪いを受けて燭台に変えられた、城の給仕長。	●	●
5	ポット夫人 魔女の呪いでポットに変えられた、城のメイド頭。チップの母親でもある。	●	—
6	チップ 呪いでティーカップにされた男の子。歯が欠けていたので、フチが欠けている。	●	—
7	ワードローブ 魔女の呪いによって洋服ダンスにされてしまった、城付きのオペラ歌手。	●	—



TIMELESS RIVER

タイムレス・リバー

登場作品	[ ]
出典	『蒸気船ウィリー』(1928年) ほか

ディズニー初期のモノクロアニメを題材とした、ディズニーキャッスルが建てられる前の世界。何もかもが白黒であるなど、古めかしい雰囲気が漂う。



[ ] 光の礎の異変を起こした犯人は?

ディズニーキャッスルを守る"光の礎"の異変を解決するため、マーリンが用意した扉を開いたソラたち。ところが、扉の先はあらゆるものが白黒になっており、ピートもまるで別人のよう……。じつは、ここは過去のディズニーキャッスルで、光の礎に異変が起きたのは、現代のピートがこの地にある光の礎を奪ったせいだったのだ。ソラたちは現代のピートをこらしめて光の礎を取りもどし、事態を収拾する。

Characters

1. **ピート船長**
蒸気船ウィリー号の船長をしていたころのピート。船が盗まれて困っている。

2. **ミッキー**
蒸気船ウィリー号の船員をしていたころの王様。ハートレスに対してもひるまずに戦う勇敢さは、いまと変わらない。

3. **ホーレス・ホースカラー**
麦わら帽をかぶったウマの男の子。

4. **クララベル・カウ**
カウベルを下げたウシの女の子。

5. **クララ・クラック**
おしゃべり好きなメンドリの夫人。





Port Royal

ポートロイヤル

登場作品 | [●II]

出典 | 『パイレーツ・オブ・カリビアン』(2003年)

大陸との交易が盛んな熱帯の島の港町。周辺の海域には海賊が出没するほか、難破船の残骸が集まる船の墓場や呪われた死の島があり、危険には事欠かない。



[●II(EP1)] 呪われた金貨と不死の海賊たち

バルボッサ率いる不死の海賊団は、自分たちの不死の呪いを解くのに必要な"呪いの金貨"と"償いの血"を狙って街を襲撃し、その両方を持つというエリザベスを連れ去った。ソラたちはエリザベスを救い出すべく、彼女に想いを寄せるウィルや一匹狼の海賊ジャック・スパロウとともに死の島へ向かう。一時は、償いの血の真の持ち主であるウィルが不死の海賊団の手に落ちるも、ジャックの活躍によってバルボッサは倒され、呪いの金貨がすべて宝箱にしまわれたことで不死の呪いも消えた。



[●II(EP2)] 不死の海賊の復活

バルボッサとの戦いで不死の呪いは消えたはずなのに、街ではまたもや不死の海賊たちが暴れていた。XIII機関のルクソードが金貨を宝箱から奪ったために、呪いが復活したのだ。あちこちに散らばった金貨を集めつつルクソードを追うソラたち。ルクソードには逃げられたが、街を襲う巨大ハートレスを倒したのち、金貨をすべて海に沈め、街に平和を取りもどすことに成功する。

Characters

[●II]







1 ジャック・スパロウ ●

2 ジャック・スパロウ(骸骨姿) ●

自由をこよなく愛する一匹狼の海賊。自分から船と部下を奪ったバルボッサへの復讐を果たすために放浪している。

3 ウィル・ターナー ●

ポートロイヤルに住む鍛冶職人。エリザベスに想いを寄せている。

4 エリザベス・スワン ●

近隣の島々を治めているスワン総督のひとり娘で、ウィルの幼なじみ。

5 バルボッサ ●

6 バルボッサ(骸骨姿) ●

不死の海賊たちを率いる非情な男。呪いの金貨を求めて各地を荒らしまわる。

7 不死の海賊A ●

8 不死の海賊A(骸骨姿) ●

9 不死の海賊B ●

10 不死の海賊B(骸骨姿) ●

11 不死の海賊C ●

12 不死の海賊C(骸骨姿) ●

金貨の呪いで不死となった海賊たち。月の光の下では死骸のような姿になる。



PRIDE LAND

プライド・ランド

登場作品 | [Ⅱ]

出典 | 『ライオン・キング』(1994年)

誇り高きライオンの王族が治めてきた、野生動物たちの王国。大岩のプライド・ロックを中心にサバンナが広がり、その周囲にジャングルや険しい峡谷が点在する。



[Ⅱ(EP1)] 新たな王の誕生

ハートレスからナラを助けたソラたちは、彼女が住む王国がスカーの圧政に苦しんでいることを知る。預言者のラフィキによれば、王国を救えるのは先代の王ムファサの息子であるシンバだけだという。シンバは父の死に責任を感じて国にもどることをためらい、オアシスに隠れ住んでいたが、亡き父の幻に励まされて国への帰還を決意。ソラたちの助けも借りてスカーを倒したシンバは、プライド・ランドの新たな王となる。

Characters

	Ⅱ

1. シンバ
2. シンバ(幼少時)

プライド・ランドの先代の王ムファサの息子。父の死に責任を感じて国を飛び出し、オアシスでひっそりと暮らしている。

3. ティモン

おしゃべりなミーアキャット。オアシスに行き倒れていた幼いシンバを助け、これまで面倒を見てきた。

4. プンバァ

ティモンといつも一緒にいるイボイノシシ。ブタあつかいされると怒る。

5. ナラ

シンバの幼なじみのメスライオン。国を救ってくれる新たな王を探している。

6. ムファサ

プライド・ランドの先代の王。幼いシンバを救ったときにガケから転落して命を落としたことになっているが、実際は弟のスカーにガケから突き落とされた。

7. ラフィキ

呪術師のヒヒ。不思議な力でプライド・ランドの未来を占い、預言をする。

8. スカー

プライド・ランドの現在の王。ハイエナたちと手を組んで、国が荒れ果てるのもかまわずにやりたい放題している。

9. シェンジ
10. バンザイ
11. エド

スカーと手を組み、プライド・ランドを荒らしているハイエナ3匹組。



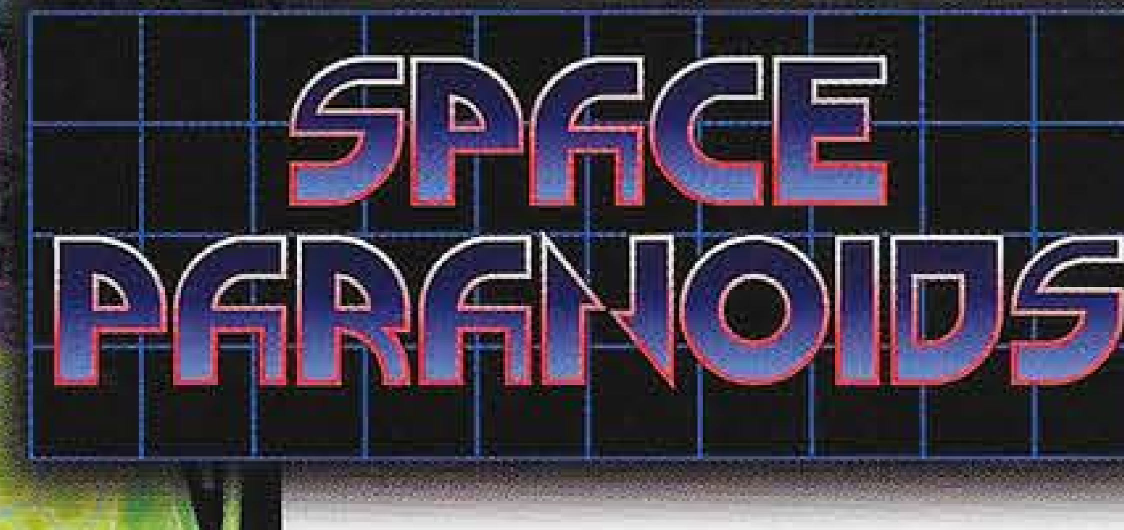


[Ⅱ(EP2)] 真の王への試練

ソラたちが再訪したプライド・ランドでは、スカーの幻影が出現して動物たちを悩ませていたが、シンバは何もしようとしない。彼は偉大な王であった父と自分をくらべるあまり、臆病になっていたのだ。しかし、ソラたちに勇気づけられ、自分が多くの仲間に支えられていると気づいたシンバは、スカーの幻影に打ち勝つ。さらに、スカーの幻影が集まってできた巨大ハートレスも、ソラたちの協力を得て撃退した。





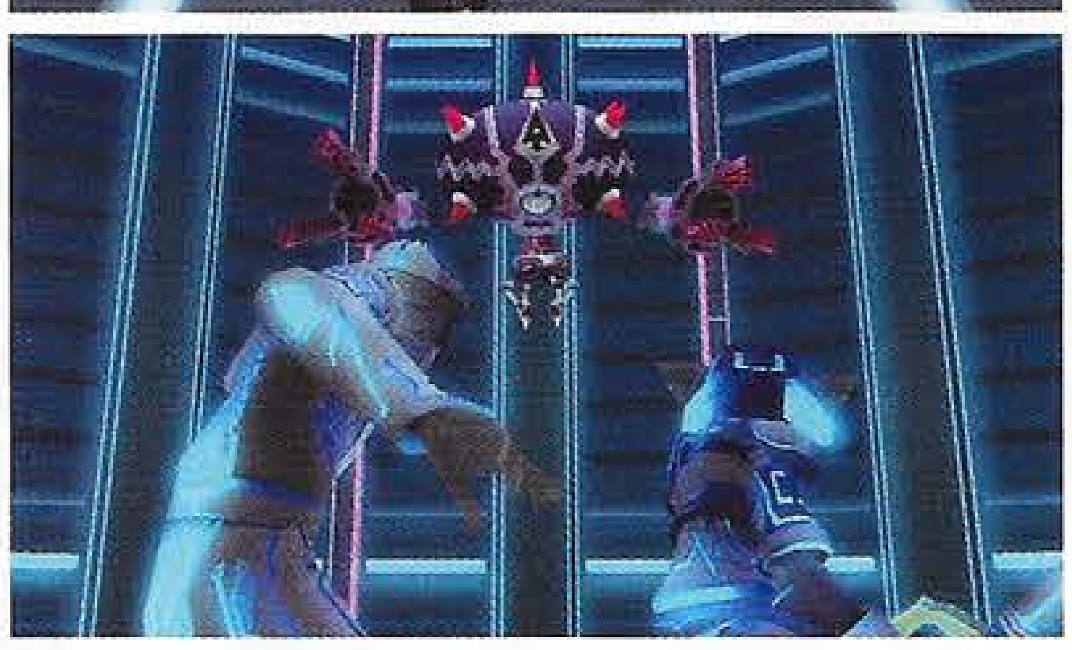


スペース・パラノイド

登場作品	[●II]
出典	『トロン』(1982年)

賢者アンセムが研究などに使用していたコンピュータ内の電子空間。この世界ではプログラムが人の姿をしており、まるで意志を持った人間のように動いている。





[●II(EP1)] **電子世界での戦い**

アンセムのコンピュータを調べていたソラたちは、システムを支配するMCPによってプログラムのなかに取りこまれ、牢獄に入れられてしまう。しかし、打倒MCPを目指すトロンとともに牢獄を脱出し、アンセムの研究データがあるデータエリアを開放。さらにMCPが危険プログラムを現実世界へ送りこむのを阻止して、ホロウバスティオンを危機から救う。

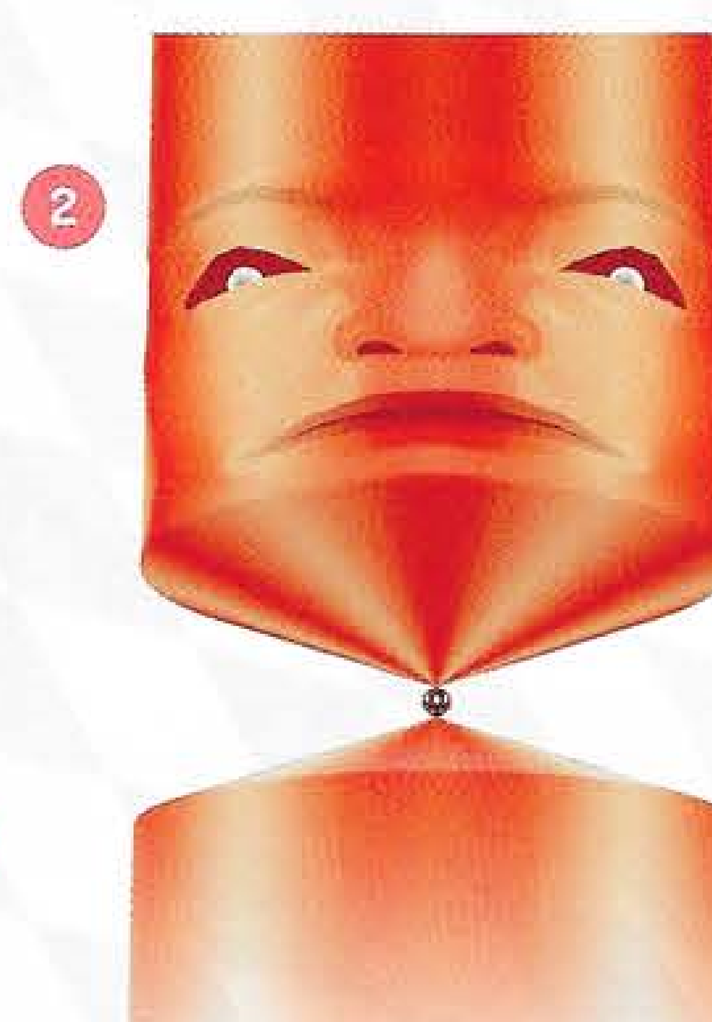


[●II(EP2)] **MCPから街を守れ！**

ホロウバスティオンを再訪すると、各所にハートレスが現れ、街の防衛装置も暴走していた。どうやら、MCPが街のシステムを支配してしまったらしい。ソラたちはふたたびコンピュータの世界に入り、トロンと合流。サーク司令官とMCPを倒し、トロンがシステムを掌握したことで、ようやくホロウバスティオンに平和がもどった。











Characters

●II

1 トロン

賢者アンセムのコンピュータのセキュリティプログラム。ユーザー(コンピュータの使用者)の世界を守るために、メインシステムであるMCPと戦う。

2 MCP

賢者アンセムのコンピュータのメインシステム。ユーザーの命令を無視して、現実世界への侵攻をたくらむ。

3 サーク司令官

MCPに従わないプログラムやユーザーを始末する、残忍な司令官。

4 危険プログラム

MCPがDTDというデータエリアから呼び出した、兵器型のプログラム。現実世界で実体化して街を破壊する。



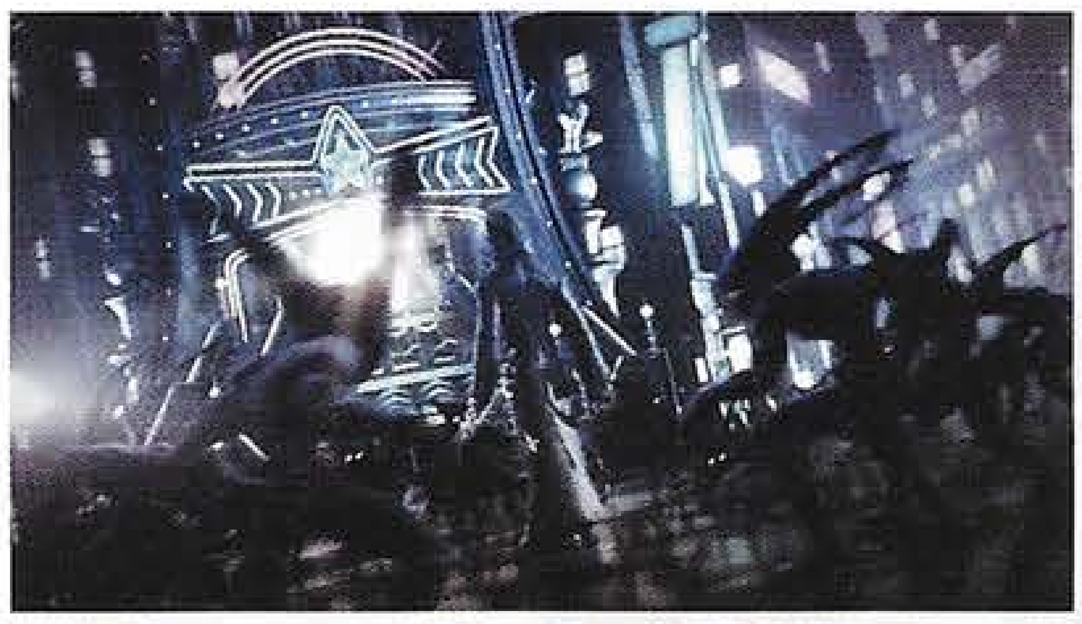
The World That Never Was

存在しなかった世界

登場作品 | [I FM][II][Days][3D]

光と闇の狭間に位置する、"存在しない者"ノーバディたちの世界。高層ビルが建ち並ぶ闇色の街ダークシティの上空には、XIII機関の本拠地である巨大な城が浮かぶ。

『KH 3D』でのロゴ





[I FM] 雨の街に現れた男たち

雨が降るビル街で、黒コートの人物が2本のキーブレードをあやつり、ハートレスの大群をなぎ払っていく。そのとき、目隠しをした銀髪の男がビルの屋上に現れた。黒コートの人物はビルを駆け上がって、目隠しの男に向かっていき……。



[II] 機関との最終決戦

アクセルの力を借りてXIII機関の本拠地にたどり着いたソラたちは、ノーバディの大群や機関のメンバーを突破し、ついにリクやカイリと再会を果たす。一方、賢者アンセムによって"キングダムハーツ"を壊されたゼムナスは、その破片から力を奪って姿を消した。XIII機関の野望を阻止して、大切な友だちと一緒に故郷へ帰るため、ソラたちは最後の決戦にのぞむ。







[Days] 任務に追われる日々のなかで

ロクサスはXIII機関の一員となり、何もわからぬままに、この世界にある機関の城と任務先を往復する毎日を送っていた。しかし、アクセルやシオンと過ごすうち、自分の正体に疑問を持ちはじめる。

[3D(ソラ)] 機関のワナにかかったソラ

眠りの鍵穴を7つ開けて、イェン・シッドが待つ不思議な塔へもどるはずだったソラは、なぜかXIII機関の拠点に運ばれていた。機関は、ソラの身体にゼアノート本体の心を注いで"真のXIII機関"の一員とすべく、マスター承認試験の開始直後からソラを誘導していたのだ。真相を知ったソラは絆の力で抵抗するも、心は夢の深淵に堕ちていく。









[3D(リク)] 機関の手に落ちた友を救え

眠りの鍵穴を7つ開けたリクが運ばれた先は、XIII機関の城だった。闇の探求者アンセムから真相を聞き、自分がいる世界がソラの夢のなかだと知ったリクは、「闇の力を解放せよ」と呼びかけるアンセムを倒して夢の世界から脱出。真のXIII機関のもとへ駆けつけ、王様やリア、そしてドナルドとグーフィーの助けを得て、ソラを奪還する。



Land of Departure

旅立ちの地

登場作品 | [●BbS]

歴代のキーブレードマスターに守られてきた、光と闇の狭間に位置する地。テラ、ヴェントゥス、アクアの3人は、この場所で厳しい修行にいそしんできた。



[●BbS(テラ)] 闇を抱く青年

テラはアクアと一緒にマスター承認試験に挑むも、試験中に闇の力を使いかけたことで不合格となった。「心の闇を制御する力が足りない」と師エラクゥスに指摘されて落ちこむテラ。そんなとき、エラクゥスのもとに世界の異変が伝えられた。テラは自分の実力を示すため、アンヴァース討伐とマスター・ゼアノート捜索の命を受けて旅立つ。

[●BbS(ヴェントゥス)] 兄弟子を追って

テラとアクアのマスター承認試験が終了し、自分の部屋にもどったヴェントゥスの前に、仮面の少年が現れた。けげんそうなヴェントゥスに「テラがテラではなくなるところを見届けろ」と不吉な言葉を投げかける仮面の少年。その言葉に胸さわぎを覚えたヴェントゥスは、師エラクゥスの命で旅立ったテラを追って、外の世界へ飛び出してしまう。





[●BbS(アクア)] 新マスターに与えられた密命

承認試験に合格してキーブレードマスターとなったアクアだったが、テラが不合格となって素直に喜べない。そこへ世界の異変を伝える知らせが届き、テラとアクアは異変の調査を命じられる。さらにアクアは、心に闇を抱えるテラを見守ることと、外の世界へ飛び出したヴェントゥスを連れもどすことを、師エラクゥスから内密に託された。



Radiant Garden

レイディアントガーデン

登場作品 | [●BbS]

美しい花々が咲き誇り、光の力に満ちあふれた街。この地を治めているのは賢者アンセムで、弟子たちと一緒に心に関する研究を行なっている。



[●BbS] ふたたび分かたれる道

テラ、ヴェントゥス、アクアの3人は、レイディアントガーデンで偶然に再会し、街に現れた巨大アンヴァースを協力して倒した。しかし、再会を喜んだのもつかの間、自分がアクアに監視されていたと知ったテラは仲間たちのもとを去る。アクアもまたテラと仮面の少年を追って単身旅立ち、3人はふたたびバラバラになってしまう。

『KHⅡ』でのロゴ(※1)







Characters

●BbS

1 **マーリン**

大きなカバンを持ち、さまざまな世界や時代を渡り歩く偉大な魔法使い。

2 **スクルージ**

礼儀とお金にうるさい商人。ディズニータウンの出身だが、マーリンに頼んでこの世界へ連れてきてもらった。

3 **カイリのおばあちゃん**

カイリの祖母。光にまつわるおとぎ話を孫娘のカイリに話して聞かせる。

※1……『KHⅡ』のホロウバスティオン・エピソード3をクリアしたときに表示される



Enchanted Dominion

エンチャンテッド・ドミニオン

登場作品 | [BbS]

出典 | 『眠れる森の美女』(1959年)

美しい緑と水をたたえた王国。魔の山に住む魔女マレフィセントの呪いで、オーロラ姫をはじめとする城の者は全員、永遠に目覚めない眠りについている。



[BbS(テラ)] オーロラの心を狙う魔女

マスター・ゼアノートを捜していたテラは、城の一室で永遠の眠りにつくオーロラ姫を見つけた。そこへマレフィセントが現れて、「姫の心を取り出せばゼアノートのことを教えよう」と持ちかけてくる。テラはその提案をこばむが、マレフィセントの魔法によって幻惑され、我に返ったときには姫の心は取り出されていた。テラは己の心の弱さを責めつつ城をあとにする。



[BbS(ヴェントゥス)] 姫の心を奪ったのは……?

テラを捜す途中、城で眠りつづけるオーロラ姫を見つけたヴェントゥスは、姫を見守る3人の妖精たちと一緒に魔の山へ乗りこみ、姫の心を解放した。しかし、城へもどろうとする彼らの前にマレフィセントが立ちはだかる。「姫から心を奪ったのはテラだ」とマレフィセントから吹きこまれて動揺したヴェントゥスは、テラに会って真実を確かめるまでは師匠のもとへ帰らないことを決意するのだった。

[BbS(アクア)] 悪を断つ真実の愛

魔の山にてヴェントゥスを見つけたアクアだったが、ヴェントゥスは走り去ってしまい、アクアもマレフィセントによって地下牢へ落とされる。牢には、同じようにマレフィセントに捕らえられたフィリップ王子がいた。アクアは王子と一緒に牢獄を脱出し、ドラゴンに変身したマレフィセントを撃破。王子の愛によってオーロラの呪いは解かれ、マレフィセントは「光あるかぎり闇もついえぬ」と言い残して去っていった。



Characters

		BbS
1	オーロラ	●
2	オーロラ(普段着姿)	●

純粋な光の心を持つセブンプリンセスのひとり。マレフィセントの呪いによって16歳の誕生日に永遠の眠りについた。

		BbS
3	フィリップ	●

隣の国の王子。マレフィセントから身を隠すために森に住んでいたオーロラと偶然出会い、彼女と愛し合うようになる。

		BbS
4	フローラ	●
5	フォーナ	●
6	メリーウェザー	●

生まれたばかりのオーロラに祝福を授けた3人の妖精たち。

		BbS
7	マレフィセント	●

オーロラに眠りの呪いをかけた、闇の力をあやつる魔女。マスター・ゼアノートとの接触を機に、7つの純粋な光の心を集めれば世界を支配できることを知る。





ドワーフ・ウッドランド

登場作品 ｜［ BbS ］

出典 ｜『白雪姫』(1937年)

魔法の鏡を持つ王妃が住んでいる王国。城の周囲には、宝石が掘り出される鉱山や、昼でも暗い森があり、森では陽気で働き者のドワーフたちが暮らす。



［BbS(テラ)］ **真実を語る鏡**

テラは、真実を伝えるという魔法の鏡のウワサを聞きつけて城を訪れた。鏡の持ち主である王妃は、「鏡に質問したければ白雪姫の心臓を持ってこい」とテラに命じる。だが、テラは王妃の命令を無視して、王妃の心が闇にとらわれていると指摘。怒った王妃はテラを鏡のなかに閉じこめるが、テラは鏡との戦いを制して外へ脱出し、鏡からマスター・ゼアノートの情報を得る。



［BbS(ヴェントゥス)］ **テラの手がかりを探して**

鉱山を訪れたヴェントゥスは、ドワーフたちにテラのことを聞こうとするが、宝石泥棒とカンちがいされて追い返される。仕方なく城へ向かう途中、森のなかで白雪姫に出会い、「鍵のような剣を持つ男と花畑で会った」という話を聞く。その男がテラだと確信したヴェントゥスは急いで花畑へ向かうものの、そこにはあやしげな老婆がいるだけで、テラの姿はなかった。



［BbS(アクア)］ **永遠の眠りからの目覚め**

白雪姫が、老婆に扮した王妃から渡された毒リンゴを食べて永遠の眠りに落ち、ドワーフたちは悲しみに暮れていた。彼らから事情を聞いたアクアは、白雪姫を助ける方法を求めて城を訪れるが、手がかりは何も得られない。一同が絶望にうちひしがれるなか、駆けつけた隣国の王子が白雪姫にお別れのキスをすると、なんと彼女が目を覚ました。ドワーフたちに見送られ、白雪姫は王子とともに旅立っていった。



Characters

BbS

1. **白雪姫**
純粋な光の心を持つセブンプリンセスのひとり。その清楚な美しさをねたんだ王妃から、命を狙われている。

2. **王子**
隣の国の王子。以前、城で出会った白雪姫にひと目ぼれし、彼女のことが忘れられずにこの国を再訪する。

3. **王妃**
この国の女王。世界で一番美しい女性は自分であるべきと思っており、美しい白雪姫をねたんで亡き者にしようとする。

4. **老婆**
白雪姫に毒のリンゴを食べさせるために王妃が変装した姿。

5. **マジックミラー**
王妃が地下室に置いている魔法の鏡。この世のあらゆることを見通し、問いかけに対して真実のみを答える。

6. **先生**
7. **おこりんぼ**
8. **ごきげん**
9. **ねぼすけ**
10. **てれすけ**
11. **くしゃみ**
12. **おとぼけ**

森の小屋に住む7人のドワーフたち。王妃に命を狙われて逃げてきた白雪姫と仲良くなり、一緒に暮らすようになった。

Chapter 1 Character File
Chapter 2 World Guide
Chapter 3 Main Story Playback
Chapter 4 Art Gallery



Castle of Dreams

キャッスル・オブ・ドリーム

登場作品 | [BbS]

出典 | 『シンデレラ』(1950年)

きらびやかな城が印象的な世界。城では、王子の結婚相手を見つけるための舞踏会が開かれる。城の近くにはシンデレラやトレメイン夫人が住む屋敷が建つ。



[BbS(テラ)] 夢を信じる力がもたらす光

舞踏会へ向かう途中、ドレスを継母たちに破かれて泣いていたシンデレラは、フェアリー・ゴッドマザーから魔法で素敵なドレスをもらう。テラはシンデレラの心に光が宿ったのを感じ取り、彼女を追って城へ向かった。シンデレラをアンヴァースから守って舞踏会に送り届け、彼女が王子と幸せそうに踊っているのを見て、テラは夢を信じることの大切さを再確認する。



[BbS(ヴェントゥス)] ドレスを作ろう

ヴェントゥスは、なぜか身体が縮んだ状態でネズミ捕りに引っかかっていた。そんな彼を助けたのは、シンデレラとネズミのジャックだった。シンデレラが継母たちの嫌がらせで舞踏会のドレスを作れずにいることを知ったヴェントゥスは、ジャックと一緒にドレス作りに奔走。途中、ネコのルシファーに襲われるもドレスは完成し、シンデレラは大喜びで舞踏会に出発した。

[BbS(アクア)] ガラスの靴の持ち主は?

アクアはフェアリー・ゴッドマザーに頼まれ、部屋に閉じこめられたシンデレラを助けようと奮闘するネズミのジャックを手伝う。そのかいあって、シンデレラは無事に部屋から出ることができ、ガラスの靴に足が合う女性を捜す大公の前で靴を履いてみせた。シンデレラに嫉妬したトレメイン夫人らの負の感情からアンヴァースが生み出されるが、アクアがこれを撃退し、シンデレラは晴れて王子と結ばれるのだった。



Characters

	BbS
1 シンデレラ	●
2 シンデレラ(普段着姿)	●

純粋な光の心を持つセブンプリンセスのひとり。継母とその連れ子にいじめられながらも、つねに夢を忘れない。

3 フェアリー・ゴッドマザー	●

夢を決してあきらめない者の前に現れる妖精。魔法でドレスやカボチャの馬車をシンデレラにプレゼントする。

4 ジャック	●

面倒見のいいネズミ。シンデレラとは友だちで、彼女のために舞踏会へ着ていくドレスを用意しようと力を尽くす。

5 ルシファー	●

トレメイン夫人が飼っているネコ。いじわるなうえに非常に凶暴。

6 プリンス・チャーミング	●

この国の王子。舞踏会でシンデレラと出会い、彼女にひと目ぼれする。

7 大公	●

この国に仕える大公。プリンス・チャーミングを結婚させるために奮闘中。

8 トレメイン夫人	●

シンデレラの継母。義理の娘であるシンデレラを屋根裏部屋に押しこんで激しくこき使う一方、実の娘たちには甘い。

9 ドリゼラ	●
10 アナスタシア	●

トレメイン夫人の実の娘たち。母親と一緒になってシンデレラをいじめる。

1


2


4

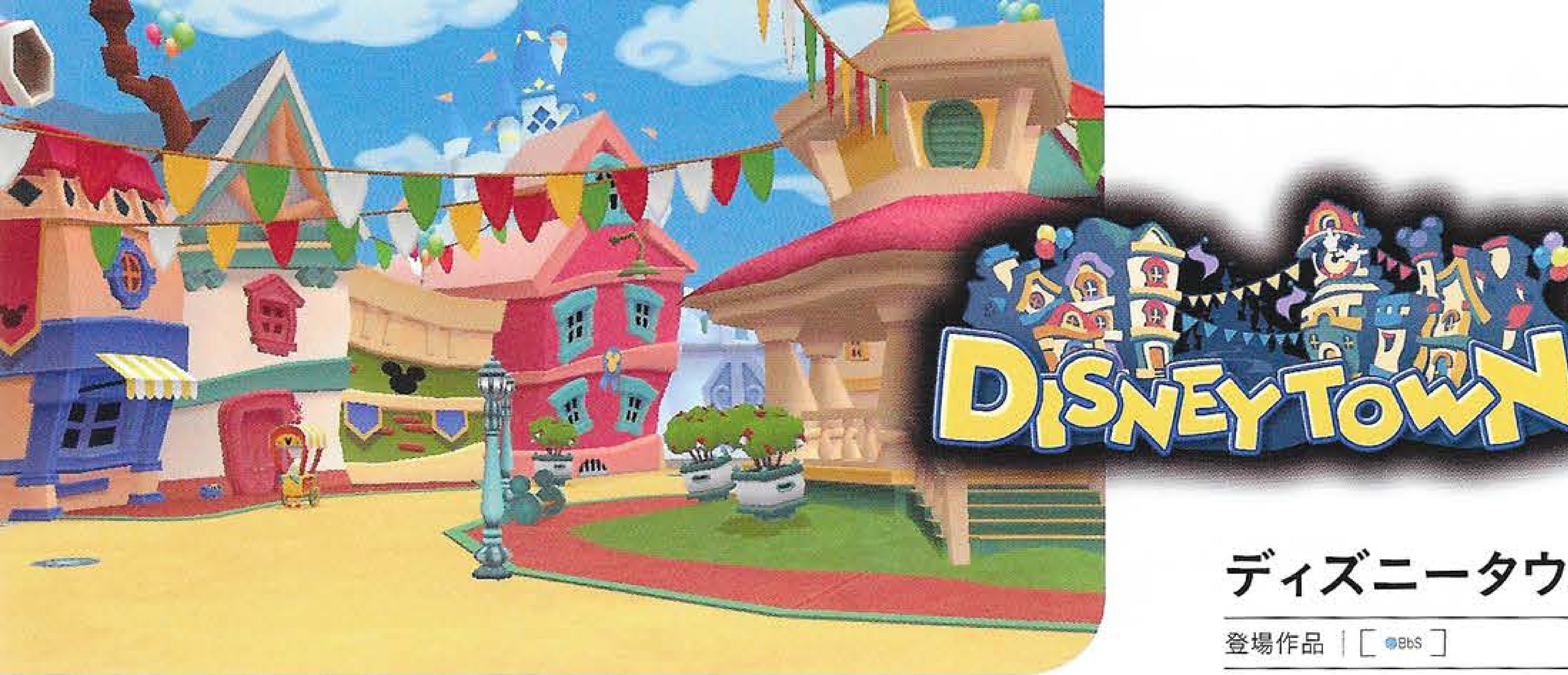

6


5


3


7


9 8 10

ディズニータウン

登場作品 | [●BbS]

ミッキーが治めるディズニーキャッスルの城下町。年に一度、「ドリーム・フェスティバル」というお祭りが盛大に催され、期間中はさまざまなイベントが楽しめる。



[●BbS(テラ)] 暴走するアンヴァースを倒せ

サーキットでは、レースに参加しているマシンのほかにアンヴァースも走行していた。「レースに出場しなければサーキットに入ってはダメ」とミニーたちから怒られたテラは、レースにエントリー。アンヴァースを退治しつつ、キャプテン・ダークことピートを破って優勝を果たす。世界を救うためなら闇に堕ちることも覚悟していたテラは、レースを通じ、ルールを破らずとも目的は達成できると考え直すのだった。

[●BbS(ヴェントゥス)] アイス作りに挑戦!

ヴェントゥスが広場を訪れると、キャプテン・ジャスティスに扮したピートが話しかけてきた。ピートは人気投票の賞品ほしさに、目につく人におせっかいを焼いてまわっていたのだ。さらにピートは、アイス製造器の操作方法がわからなくて困っていた三つ子たちの助っ人を買って出たが、うまくアイスが作れず機械を壊そうとする。そこへヴェントゥスが現れ、アイス作りに成功すると、ピートは悔しそうに退散した。





[●BbS(アクア)] 今年一番の人気者は?

正義のヒーローを自称する、キャプテン・ジャスティスことピートにからまれ、対応に困るアクア。そのときホーレス・ホースカラーが、「フルーツスキャッターを邪魔するアンヴァースを退治して」と頼んでくる。アクアは、依頼を受けずに逃げ出したピートにかわって、アンヴァースを一掃。みんなに感謝され、テラやヴェントゥスとともに人気投票で1位となった。

Characters

●BbS

1. **ミニーマウス** ●
   ディズニーキャッスルの王妃。不在の王様にかわって、今回のドリーム・フェスティバルを取り仕切る。
2. **デイジーダック** ●
   ディズニーキャッスルの貴族の娘。
3. **チップ** ●
4. **デール** ●
   ディズニーキャッスルでメカニックを担当している兄弟。ドリーム・フェスティバルでは、ランブルレーシングを開催。
5. **ヒューイ** ●
6. **デューイ** ●
7. **ルーイ** ●
   三つ子のアヒルたち。ドリーム・フェスティバルでは、スクルージからもらったアイス製造器を使ってアイス屋を開く。
8. **ホーレス・ホースカラー** ●
   王様とミニー王妃の古くからの友人。ドリーム・フェスティバルでは、フルーツスキャッター場を管理している。
9. **プルート** ●
   王様がかわいがっている犬。
10. **ほうきの召使い** ●
    王様が魔法で動くようにしたほうき。掃除から衛兵の仕事まで何でもこなす。
11. **キャプテン・ジャスティス** ●
    人気投票の賞品ほしさに、ピートが変装した姿。正義のヒーローを名乗っているが、余計なおせっかいばかりする。
12. **キャプテン・ダーク** ●
    人気投票の賞品ほしさに、ピートが変装した姿。ダークヒーローを演じているつもりだが、反則し放題で人気がない。





ディープスペース

登場作品 | [BbS]

出典 | 『リロ&スティッチ』(2002年)ほか

銀河宇宙連邦が統括している世界。作中では、連邦本部があるトゥーロ星と、試作品626号やジャンバ博士を護送する囚人移送船ダーゴンが登場。





[BbS(テラ)] 本当に求めていたものは

異空の回廊で謎の宇宙船に捕獲されて独房に入れられたテラは、キーブレードを使って脱獄する。それを見ていたジャンバ博士から頼まれて、テラは試作品626号の救出に手を貸すものの、解放した試作品626号につながりのお守りを奪われてしまった。思わず取り乱すテラだったが、自分が心の奥底で求めていたものが友との絆だったと悟り、お守りを返してくれた試作品626号に「友だち」について教える。



[BbS(ヴェントゥス)] 絆は壊れない

ヴェントゥスは、謎の宇宙船を訪れ、試作品626号と出会う。自分たちのものと同じ形のお守りを持つ試作品626号に親近感を抱くヴェントゥスだったが、ガントゥ大尉にお守りを壊された試作品626号は凶暴化してしまう。お守りが壊れても絆は壊れないと教え、試作品626号と友情を深めるヴェントゥス。ふたりは宇宙船を脱出するも、試作品626号が乗った小型艇は制御不能となり、宇宙の彼方へ飛び去った。

[BbS(アクア)] 最強の生物に芽生えた心

謎の宇宙船で密航者としてつかまったアクアは、アンヴァース退治と試作品626号の捜索が難航していると聞き、宇宙船の責任者である議長から両方の任務を受諾。船内を探しまわって、試作品626号とジャンバ博士を発見する。試作品626号が、テラのものを真似たお守りを作って大事に持ち歩いていると知ったアクアは、自分がテラと友だちであることを試作品626号に伝え、新たな友情の絆を結ぶのだった。



Characters

BbS

1. **試作品626号(スティッチ)**
ジャンバ博士が作り出した宇宙最強の生物兵器。破壊本能しか持たないはずだったが、テラ、ヴェントゥス、アクアとの出会いを通じて"絆"に目覚める。

2. **ジャンバ・ジュキューバ博士**
試作品626号や221号を生み出した、自称"悪の天才科学者"。

3. **ガントゥ大尉**
銀河宇宙連邦軍の大尉。試作品626号を護送中に脱走を許してしまい、汚名を返上しようとアセっている。

4. **議長**
銀河宇宙連邦の議長。規則に厳しいが柔軟な考えを示すことも。

5. **試作品221号スパーキー**
626号が完成するまでに生み出された数多くの試作品のひとつ。体内に電気をためこみ、自由に放電できる。


1


3


2


4


5

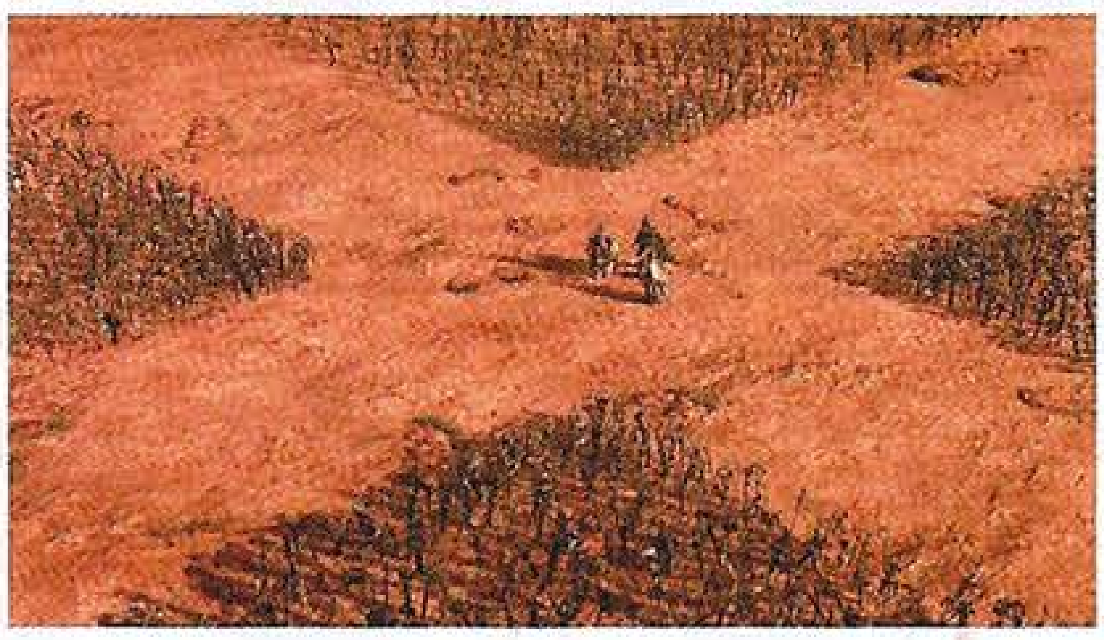


キーブレード墓場

登場作品 ｜［ ●Ⅱ ］［ ●BbS ］

岩場と砂地が延々とつづく荒野。大いなる光の心をめぐってキーブレード使いが争った「キーブレード戦争」の跡地で、無数のキーブレードが墓標のように立ち並ぶ。





［ ●Ⅱ ］ **荒野に集いし者たち**

キーブレードを手にした鎧姿の3人が、数え切れないほどのキーブレードが突き立てられた荒野に集まり、十字路の中央で3本のキーブレードをそれぞれ引き抜く。そこへ、砂塵のなかから謎の人物が歩いてきた。はたして、この人物の正体は？



［ ●Ⅱ FM ］ **宿命の戦い**

砂塵の彼方から歩いてきたのは、闇の探求者アンセムに似た服装の老人と、その従者だった。鎧姿の3人は老人たちに戦いを挑むも、簡単にあしらわれてしまう。自分たちとの力の差に愕然とする鎧の女性が上空を見上げると、雲のあいだから青白く光る"キングダムハーツ"が現れ……。





［ ●BbS(テラ) ］ **後始末は自分でつける**

マスター・ゼアノートの策略により、師エラクゥスを討ってしまったテラは、みずからの手でゼアノートとの決着をつけようと、キーブレード墓場を訪れる。時を同じくしてヴェントゥスとアクアも駆けつけるが、ゼアノートとヴァニタスの圧倒的な力の前になすすべもない。それでもテラは、友を守り師のカタキをとるため、ひとりでゼアノートに立ち向かっていく。





［ ●BbS(ヴェントゥス) ］ **純粋な光と闇の激突**

マスター・ゼアノートの目的は、純粋な光の心を持つヴェントゥスと、純粋な闇の心を持つヴァニタスを戦わせて、χブレードを生み出すことだった。そうはさせまいと、「万一のときは自分を消してほしい」とテラやアクアに頼むヴェントゥス。だが、ヴァニタスの不意打ちに倒れたアクアが心を奪われそうになり、ヴェントゥスはヴァニタスとの戦いを余儀なくされる。



［ ●BbS(アクア) ］ **大切な友を取りもどすために**

テラやヴェントゥスと一緒に、マスター・ゼアノートの猛攻に必死に耐えるアクア。しかし、ヴァニタスの不意打ちを受けて気を失い、ミッキーに助け起こされたときには、ヴェントゥスの心と身体がヴァニタスに乗っ取られていた。友の心を取りもどし、χブレードを破壊すべく、アクアはヴェントゥス＝ヴァニタスに戦いを挑む。



LA CITÉ DES CLOCHES

ラ・シテ・デ・クローシュ

登場作品 ｜［ 3D ］

出典 ｜『ノートルダムの鐘』(1996年)

フランス語で「鐘のある街」を意味する名前のとおり、大きな鐘を持つノートルダム大聖堂が建つ街。大聖堂の建物内は"聖域"とされ、いかなる権力も行使できない。



［3D(ソラ)］ **心を閉じこめていた青年**

ソラは大聖堂に幽閉されていた青年カジモドと出会う。彼は醜い外見のせいで自分に自信が持てずにいたが、ジプシーのエスメラルダとの出会いを機に少しずつ変わりはじめる。そんなとき、ジプシーを憎むフロローにエスメラルダがつかまった。ソラはカジモドやフィーバスと協力してエスメラルダを救出したのち、フロローが従える巨大ナイトメアを撃退。カジモドもフロローとの決着をつけ、外の世界へと歩み出すのだった。



［3D(リク)］ **闇に堕ちた判事**

街でフロローに追われるエスメラルダをかくまったリクは、ジプシー狩りに執念を燃やすフロローに闇の気配を感じて、彼を追うことにした。ジプシーを憎むあまり闇に堕ちたフロローは、"神が遣わした力"と称する巨大ナイトメアを従えて街を火の海にしてしまうが、リクの活躍で巨大ナイトメアは倒され、街は救われる。

Characters

3D

1 **カジモド**

大聖堂で鐘つきを務める青年。生まれながらに醜い容姿をしており、それを理由にフロローから外出を禁じられている。

2 **エスメラルダ**

ジプシーの踊り子。カジモドにとって生まれてはじめての人間の友だちになる。

3 **フロロー**

大聖堂がある街の判事。街の治安をジプシーたちが乱していると考えており、彼らを執拗に排除しようとする。

4 **フィーバス**

街の警備隊長。強引な手段を用いるフロローに反発し、追放されてしまう。

5 **ユーゴ**

大聖堂に飾られているガーゴイルの石像のひとり。カジモド、ソラ、リクの前では、動いたりしゃべったりする。お調子者でケンカっ早い。

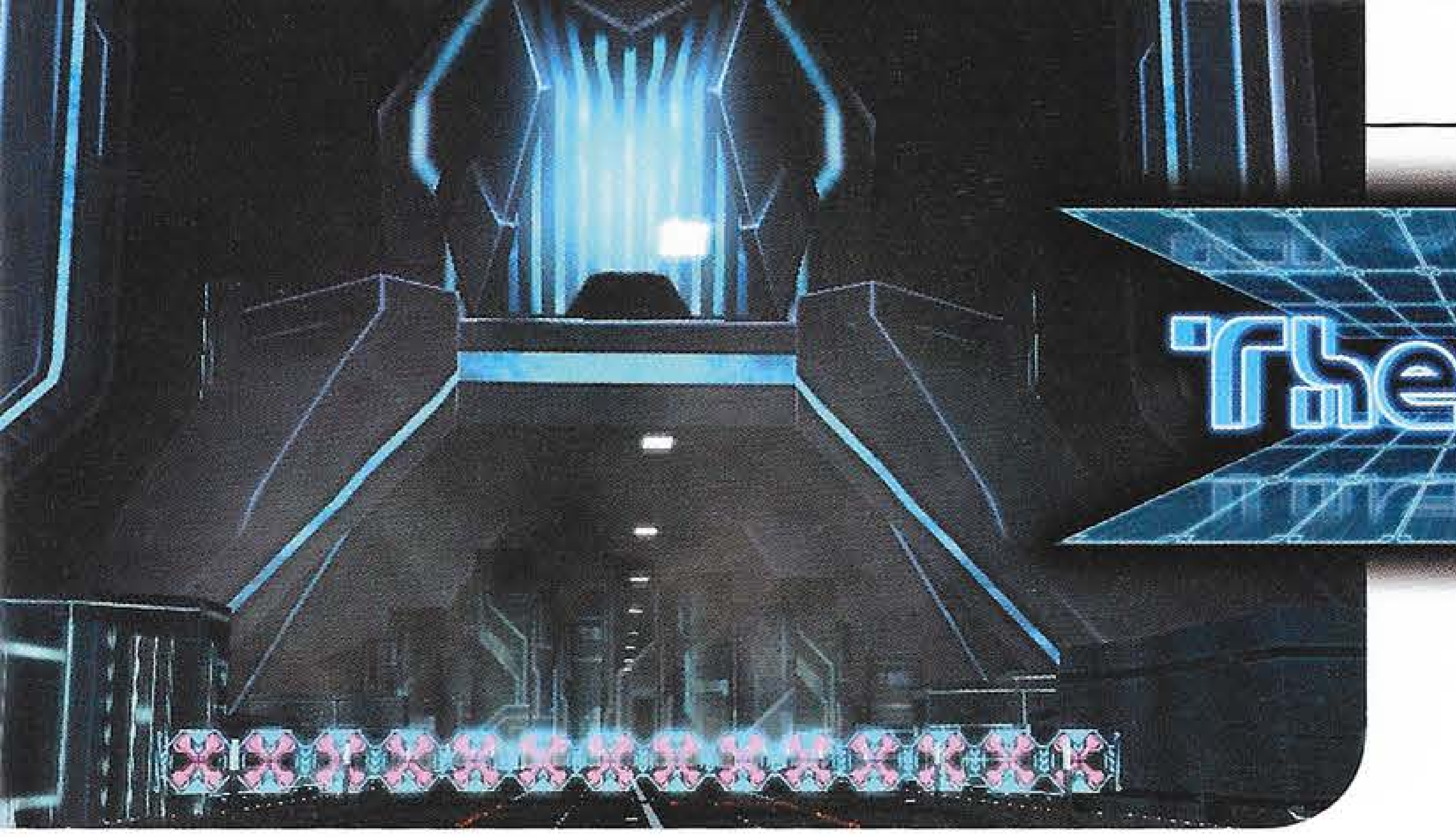
6 **ヴィクトル**

ユーゴと同じ、ガーゴイルの石像のひとり。温厚かつ思慮深い性格。

7 **ラヴァーン**

ユーゴと同じ、ガーゴイルの石像のひとり。3人の石像のまとめ役で、カジモドにとっては母親的存在。





The Grid

ザ・グリッド

登場作品 | [●3D]
出典 | 『トロン：レガシー』(2010年)

コンピュータ内に広がる電子空間。ケヴィンが理想郷を目指して創造した世界だが、開発支援用プログラムのクルーが反乱を起こして乗っ取ってしまった。



[●3D(ソラ)] **リンズラーはトロン?**

ザ・グリッドを訪れたソラは、見覚えのある風景とサムたちの話から、ここが以前トロンと出会った電子世界のオリジナル版の世界だと知る。しかし、この世界にいるトロンは、クルーによってリンズラーという敵対プログラムに改造されて記憶を失っていた。ソラはトロンの記憶をもどすためにクルーのもとへ乗りこみ、リンズラーと対決。戦いのさなか、ソラはクルーの攻撃から自分をかばってくれたリンズラーを見て、彼に心が通じてトロンの記憶がもどったと確信する。



[●3D(リク)] **父と子の別れ**

ザ・グリッドに降り立った直後、クルーの兵隊につかまったリクはライトサイクルに挑戦させられるも、スキを突いて逃亡。途中で出会ったサムたちに同行し、彼らが現実世界へ脱出できるよう手を貸すことにした。現実世界への出口では、クルーがナイトメアをけしかけてきたが、リクがこれを撃退。さらに、ケヴィンが自分を犠牲にしてクルーを食い止めたおかげで、サムとクオラは現実世界への脱出を果たす。



Characters

●3D

1 サム ●
電脳世界ザ・グリッドの創造主ケヴィンの息子。行方不明になっていた父を現実世界へ連れもどそうとする。

2 クオラ ●
電脳世界の新生命体ISO(アイソー)の最後の生き残り。自分の命を救ってくれたケヴィンのためなら危険もいとわない。

3 ケヴィン ●
ザ・グリッドの創造主。クルーが反乱を起こしたせいで、ザ・グリッドから現実世界へもどれなくなっていた。

4 ブラックガード ●
黒ずくめの兵士型プログラム。クルーの命令に忠実に従う。

5 クルー ●
ザ・グリッドを開発するさい、ケヴィンが自分に似せて作ったプログラム。完璧な世界の創造を実現するために反乱を起こし、ザ・グリッドを支配下に置いた。

6 リンズラー ●
サムやクオラを執拗に追う戦士。その正体は、かつてソラと一緒に戦ったこともあるプログラム「トロン」だが、クルーの手で改造されて記憶を失っている。



プランクスターズ・パラダイス

登場作品｜［●3D］

出典｜『ピノキオ』(1940年)

子どもが好きなものばかりが並ぶ遊園地。ここで遊びつづけた子どもは、ロバにされてしまう。遊園地の近くの海には、怪物クジラのモンストロが住んでいる。



［●3D(ソラ)］ピノキオを救い出せ

夜の遊園地を訪れたソラはジミニーと出会い、この遊園地に迷いこんだピノキオを捜すことに。ナイトメアに襲われていたピノキオを無事に救出するソラだったが、直後にピノキオとジミニーはゼペットを捜しに行ってモンストロに飲まれ、モンストロも巨大ナイトメアに氷づけにされてしまった。ソラは巨大ナイトメアを倒してモンストロを氷から解放するものの、モンストロはジミニーとピノキオを飲みこんだまま姿を消す。



［●3D(リク)］過去の自分との邂逅

リクはモンストロの体内でゼペットに出会い、ピノキオの捜索を引き受ける。捜しまわったすえに、黒コートの人物に連れられたピノキオを発見するが、黒コートの人物の正体は、闇に染まっていたころのリクの幻だった。闇に堕ちた過去を思い返して落ちこむリク。しかし、ピノキオたちに励まされた彼は、モンストロの体内で暴れる巨大ナイトメアを倒したのち、ピノキオをゼペットのもとへ連れ帰った。

Characters

3D

1 **ピノキオ** ●

ゼペットが作った木彫りの人形。本物の人間の子どもにしてもらうため、いい子になろうと頑張っている。

2 **ジミニー・クリケット** ●

ブルー・フェアリーからピノキオに良心を教えることをまかされた、しっかり者で良識のあるコオロギの紳士。

3 **ゼペット** ●

木彫り職人の老人。ピノキオが本当の子どもになるようにとブルー・フェアリーに願い、半分だけかなえてもらった。

4 **ブルー・フェアリー** ●

ゼペットの願いを聞き届け、木彫りの人形のピノキオに命を与えた妖精。

5 **モンストロ** ●

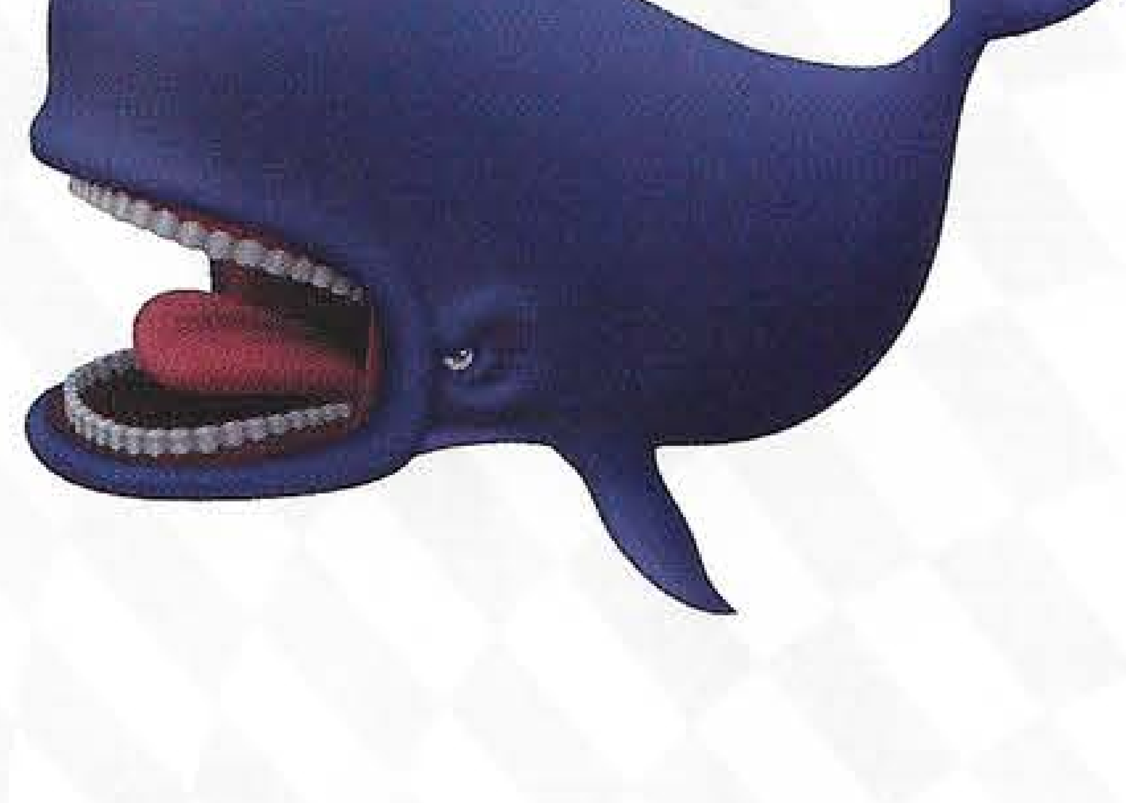
船さえも飲みこむ巨大なクジラ。ピノキオを捜すために海に出たゼペットや、彼を追ったピノキオたちを飲みこんだ。

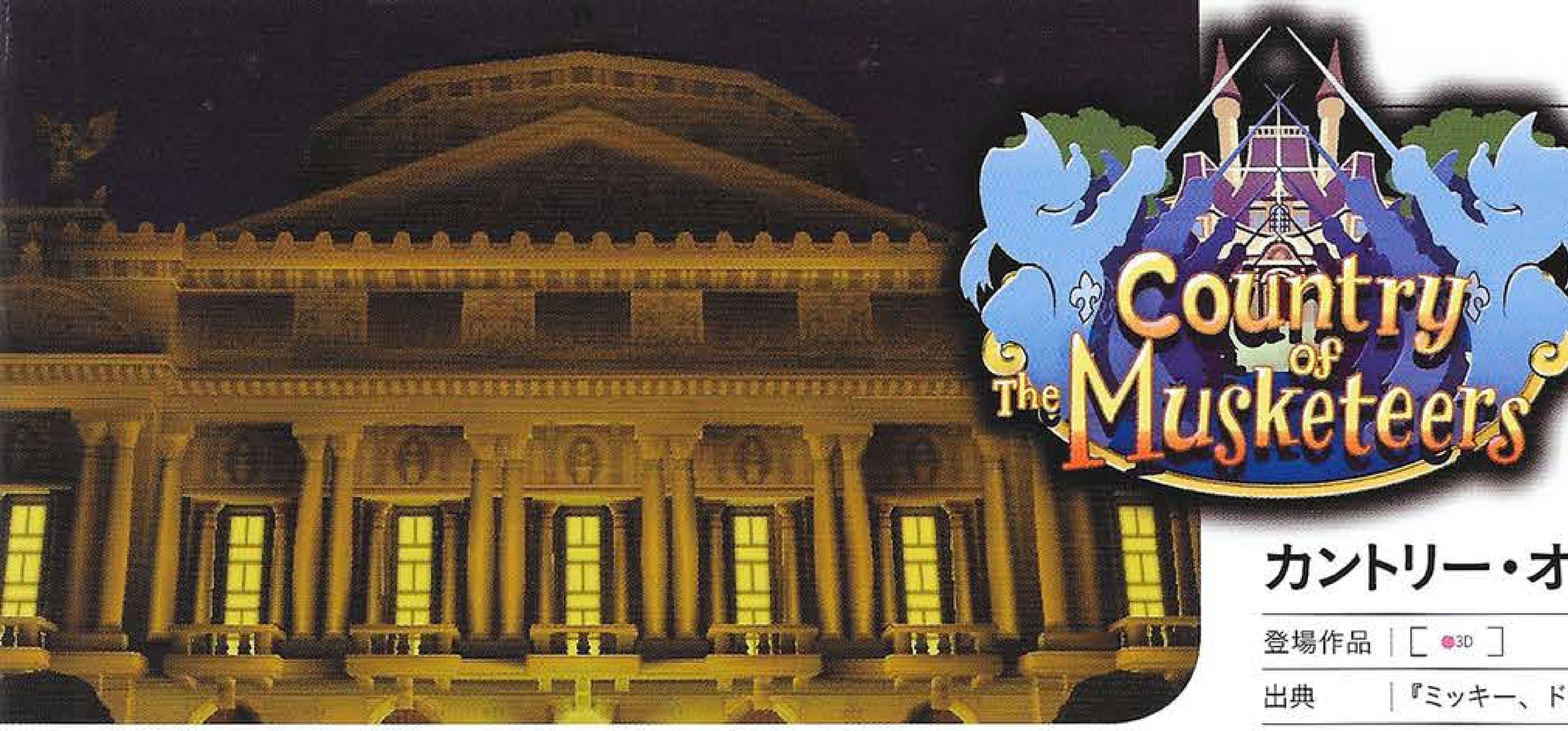
1


2


3


4


5




カントリー・オブ・ザ・マスケティア

登場作品 | [●3D]

出典 | 『ミッキー、ドナルド、グーフィーの三銃士』(2004年)

ミッキーなどおなじみのキャラクターたちが、『三銃士』の登場人物に扮した世界。オペラ座や修道院モン・サン・ミッシェルといった実在の建物も登場する。



[●3D(ソラ)] **大事なのは友情と心意気**

銃士見習いをしているミッキーたちと出会ったソラは、彼らに協力してミニー王女の護衛につく。ところが、王女を狙う黒幕は銃士隊長のピートで、ミッキーたちが護衛に選ばれたのも王女を誘拐しやすくするための策略だった。ミッキーたちは真相を知って意気消沈するも、お互いの友情と銃士としての心意気が大事だと再確認し、ソラと一緒にオペラ座へ急行。もうひとつの世界にいるリクの活躍もあってピートを倒したミッキーたちは、王女を救出し、正式に銃士に任命された。



[●3D(リク)] **たとえ離れていても**

オペラ座にてピートたちを見かけたリクは、彼らを追跡する途中で、大きな箱に閉じこめられていたミニー王女を救出。王女から、ミッキーたちがワナにハメられようとしていると聞き、ビーグル・ボーイズをやっつけてワナを解除する。「銃士さながらの活躍でした」と王女にほめられたリクは、王女にうながされ、銃士隊の心得「ひとりはみんなのために」を宣言し、ソラやミッキーたちとの絆を感じるのだった。

Characters

●3D

1 **ミッキー** ●
近衛銃士隊の見習い隊員。身体は小さいが、銃士としての心は誰にも負けない。

2 **ドナルド** ●
近衛銃士隊の見習い隊員。ちょっぴり臆病で、任務を放棄して逃げ出すことも。

3 **グーフィー** ●
近衛銃士隊の見習い隊員。のんびり屋でマイペースな性格。

4 **ミニー王女** ●
この国の王女。何者かに狙われていると感じて、近衛銃士隊に護衛を要請し、護衛についたミッキーにひと目ぼれする。

5 **プルート** ●
ミッキーがかわいがっている犬。

6 **ピート** ●

7 **ピート(海賊姿)** ●
近衛銃士隊の隊長。野心家で、ひそかに国王の座を狙っている。

8 **ビーグル・ボーイズ** ●
ピートの手下の悪者3人組。いつもヘマをしてはピートにしかられている。

4


3 2 1


5


6


7


8




SYMPHONY OF SORCERY

シンフォニー・オブ・ソーサリー

登場作品 | [●3D]

出典 | 『ファンタジア』(1940年)

不思議な塔に置かれた楽譜のなかの世界。『田園』『くるみ割り人形』『はげ山の一夜』など、クラシック音楽の名曲をイメージさせる風景が広がる。





[●3D(ソラ)] 闇を払う音楽の力

ソラが訪れたのは、修行時代のミッキーがいたころの不思議な塔で、ミッキーは楽譜からあふれ出る闇のせいで悪夢にうなされていた。この闇は、トラヴァースタウンから逃げたナイトメアが楽譜にとりついたために発生しているらしい。ソラは音楽の世界で音の力を手に入れ、もうひとつの世界にいるリクが入手した音の力と合わせることで、楽譜の闇を除去。楽譜のなかへ入りこんでナイトメアを倒し、ミッキーを悪夢から救う。



[●3D(リク)] 友だちと音を重ねて

リクが出会った修業時代のミッキーは、楽譜からあふれる闇のせいで悪夢に悩まされていた。ミッキーを救うべく音楽の世界に入りこんだリクは、火山の魔人に襲われるも、なんとか撃退して音の力を持ち帰ることに成功。その音だけでは闇を払う力は足りなかったが、もうひとつの世界にいるソラが手に入れた音の力と合わさることで音楽となり、楽譜の闇を消し去った。



Characters

●3D

1 **ミッキー** ●

イェン・シッドのもとで修行をしていたころの王様。師匠が留守のあいだに魔法を使ったせいでナイトメアを呼び寄せてしまい、悪夢にとらわれた。

2 **ほうき** ●

水くみをさぼろうとしたミッキーが、魔法で動くようにしたほうき。

3 **チェルナボーグ** ●

はげ山の頂上に現れた漆黒の魔人。大きな翼を持ち、炎の球を放ったり悪霊を呼び出したりする。

4 **悪霊** ●

チェルナボーグが呼び出した亡霊たち。

1

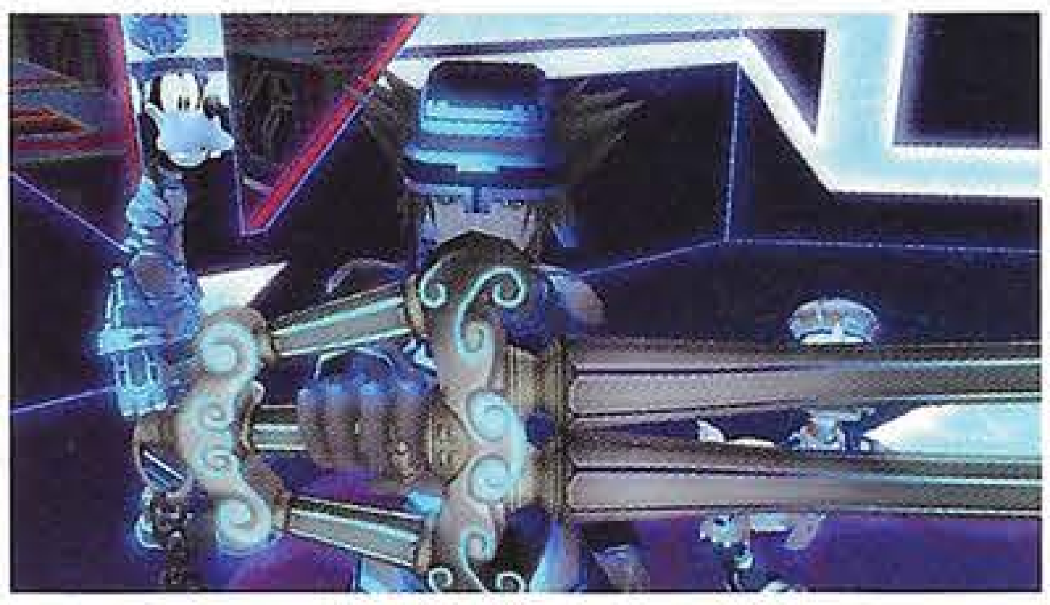

2


4


3


Column ソラたちの変身

一部のワールドでは、ソラたちの外見がそのワールドの雰囲気に合わせて変化する。彼らの華麗な変身ぶりを、とくとご覧あれ。



←ワールドによってはキャラクターだけでなく、武器の見た目も一緒に変化することも。

アトランティカ バージョン

[●I] [●II]

海のなかの世界なので、水中を自由に泳ぎまわるのに適した、海洋生物をモチーフとした姿に変身する。



ハロウィンタウン バージョン

[●I] [●II] [●Re:COM]

ホラー映画に出てくるモンスターのような、恐ろしげな格好に。『KHII』でのソラは、フォームを切りかえると頭につけているお面も変化するというこだわりようだ。



ソラのフォームによるお面の変化



クリスマスタウン バージョン

[●II FM]

『KHII FM』のハロウィンタウンでは、クリスマスタウン滞在中のみ、ソラたちの外見がクリスマス風になる。



Chapter 1 Character File
Chapter 2 World Guide
Chapter 3 Main Story Playback
Chapter 4 Art Gallery

タイムレス・リバー バージョン

[●II]

昔のモノクロアニメを再現した世界に合わせて、3人とも初期のディズニーアニメ調の姿に変身。



プライド・ランド バージョン

[●II]

アフリカに実際に生息している生き物がモチーフ。ちなみに、グーフィーのモデルはリクガメで、アトランティカでのウミガメとは外見が少しちがう。



スペース・パラノイド バージョン

[●II]

レトロなコンピュータ風の服装。ソラは、身体の各所に走るラインの色が、フォームの色に合わせて変化する。



ザ・グリッド バージョン

[●3D]

スペース・パラノイド バージョンに似ているが、身体の各所にあるラインの入りかたが、『KH 3D』での通常の衣装に合わせたものになっている。



Column 『KHⅡ』でのソラのフォーム

『KHⅡ』でのソラの衣装は、通常のもの（→P.14）のほかに特殊な服装（フォーム）が6種類存在し、フォームチェンジで一時的に変更できる。各フォームはそれぞれ異なった力を秘めており、種類に応じて攻撃手段や移動能力が変化するのだ。



ブレイブフォーム

武器による攻撃を得意とし、2本のキーブレードを使って二刀流で戦える。そのかわり、魔法による攻撃や回復は行なえない。



ウィズダムフォーム

すべての魔法の性能が上がり、基本技が弾を撃つ攻撃になる。スライドするように低空飛行ですばやく移動できる能力も持つ。



アンチフォーム

フォームチェンジ実行時に特定の条件を満たすと、このフォームになる。闇の力にとらわれており、動きは機敏になるが、魔法やアイテムが使用できない。



マスターフォーム

二刀流で戦えるうえ、魔法も強化された状態のものが使える。ジャンプ中や足場からの落下中に、空中でジャンプすることも可能。



ファイナルフォーム

武器が2本になって二刀流に変化し、魔法の効果も強化され、さらに『グライド』で空中が飛べるなど、さまざまな能力がパワーアップする究極のフォーム。



リミットフォーム

『KHⅡ FM』で追加されたフォーム。『KHⅠ』でおなじみのアビリティの数々を使うことができる。

ENEMY encyclopedia

【エネミー事典】

これまでの『KH』シリーズでは、闇の世界に属する４つの種族の魔物が敵として登場した。過去の作品で姿を見せた各種族の魔物のほか、最終ボスや隠しボスといった印象深い強敵たちを一挙に紹介しよう。

※掲載しているCGはオリジナル版のもの。ファイナルミックス版ではカラーリングが異なる

ハートレス

闇にとらわれて肉体から離れた心が魔物と化した存在。自然発生した「ピュアブラッド」よりも、人工的に作られた「エンブレム」のほうが、圧倒的に種類が多く攻撃方法も豊富。

[●I][●I FM][●COM][●II][●II FM][●Re:COM][●Days][●coded][●Re:coded][●BbS FM]

No.	名前	I	I FM	COM	II	II FM	Re:COM	Days	coded	Re:coded	BbS FM
1	シャドウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	ギガントシャドウ	—	●	—	—	—	—	●	—	—	—
3	メガシャドウ	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
4	ソルジャー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
5	ステルスソルジャー	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
6	ディザーター	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
7	サージェント	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
8	コマンダー	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
9	ラージボディ	●	●	●	●	●	●	—	●	●	—
10	ファットバンディット	●	●	●	●	●	●	—	●	●	—
11	レッドノクターン	●	●	●	—	—	●	—	●	●	—
12	ブルーラプソディ	●	●	●	—	—	●	—	●	●	—
13	イエローオペラ	●	●	●	—	—	●	●	●	●	—
14	グリーンレクイエム	●	●	●	—	—	●	—	●	●	—
15	ブラックバラード	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
16	シルバーロック	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
17	エメラルドブルース	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
18	クリムゾンジャズ	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
19	スプリングメタル	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—
20	スカーレットタンゴ	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
21	グレイカプリス	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
22	ストライプアリア	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
23	サファイアエレジー	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
24	ピンクコンチェルト	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
25	ターコイズマーチ	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
26	エメラルドセレナーデ	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
27	パワーワイルド	●	●	●	—	—	●	—	—	—	—
28	バウンシーワイルド	●	●	●	—	—	●	—	—	—	—
29	スナイパーワイルド	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
30	エアソルジャー	●	●	●	—	—	●		●	●	—





No.	名前	I	I FM	COM	II	II FM	Re:COM	Days	coded	Re:coded	BbS FM
31	バンディット	●	●	●	—	—	●	—	●	●	—
32	ルナバンディット	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
33	ポットスパイダー	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
34	バレルスパイダー	●	●	●	—	—	●	—	—	—	—
35	ポットスコーピオン	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
36	サーチゴースト	●	●	●	—	—	●	—	—	—	—
37	グランドゴースト	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
38	リアゴースト	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
39	キャリーゴースト	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
40	リビングポッド	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
41	シーネオン	●	●	●	—	—	●	—	—	—	—
42	シェルタリングゾーン	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
43	スクリューダイバー	●	●	●	—	—	●	—	—	—	—
44	ミサイルダイバー	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
45	アクアタンク	●	●	●	—	—	●	—	—	—	—
46	ジェットバルーン	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
47	ワイトナイト	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—
48	ガーゴイル	●	●	●	—	—	●	—	—	—	—
49	パイレーツ	●	●	●	—	—	●	—	—	—	—
50	エアパイレーツ	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—
51	エアバイキング	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—
52	バトルシップ	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
53	ダークボール	●	●	●	—	—	●	—	●	●	●
54	ディフェンダー	●	●	●	—	—	●	—	●	●	—
55	エリミネーター	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
56	ワイバーン	●	●	●	—	—	●	—	●	●	—
57	テイルバンカー	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
58	アヴァランチ	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
59	ウェイブクレスト	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
60	テイルミラージュ	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
61	ウインドストーム	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
62	デブリスフロウ	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
63	ウィザード	●	●	●	—	—	●	—	●	●	—
64	ベヒーモス	●	●	—	—	—	—	—	●	●	—
65	デストロイドベヒーモス	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
66	アークベヒーモス	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
67	インビジブル	●	●	—	—	—	—	●	●	●	—
68	オーガ	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—

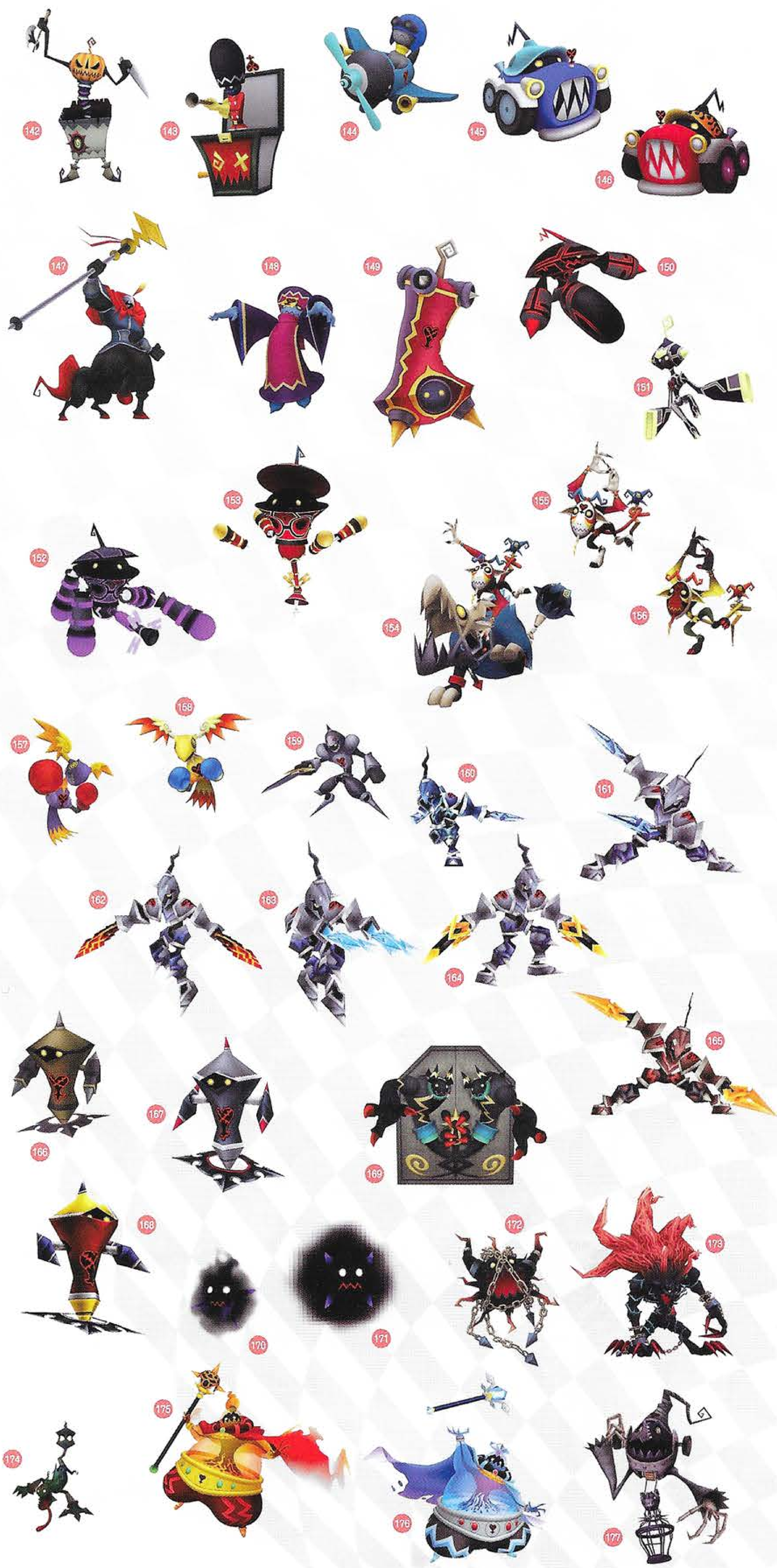
No.	名前	I	I FM	COM	II	II FM	Re:COM	Days	coded	Re:coded	BbS FM
69	エンジェルスター	●	●	—	—	—	—	—	●	●	—
70	ホワイトマッシュルーム	●	●	●	—	—	●	—	—	—	—
71	ブラックファンガス	●	●	●	—	—	●	—	●	●	—
72	レアトリュフ	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
73	ピンクアガリクス	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
74	XIIIキノコ	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—
75	ゴールドトリコローマ	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
76	ダークサイド	●	●	●	—	—	●	●	●	●	—
77	ダークフォロワー	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
78	ネオダークサイド	—	—	—	—	—	—	—	●	●	—
79	ガードアーマー	●	●	●	—	—	●	●	●	●	—
80	オポジットアーマー	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
81	レッドアーマー	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
82	パワードアーマー	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
83	トリックマスター	●	●	●	—	—	●	—	●	●	—
84	ブリードパフォーマー	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
85	ステルススニーク	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
86	スニークアーミー	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
87	バニッシュリザード	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
88	ビハインドリザード	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
89	ポットセンティピード	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
90	パラサイトケイジ	●	●	●	—	—	●	—	—	—	—
91	ファントム	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
92	ビットスナイパー	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
93	キマイラ	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
94	ネオシャドウ	—	●	●	●	●	●	●	—	—	●
95	ネクストシャドウ	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
96	カート・ジーサ	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
97	クリーププラント	—	—	●	●	●	●	—	—	—	—
98	ウィードプラント	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
99	ファイアプラント	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
100	ブリザドプラント	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
101	ポイズンプラント	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
102	トルネードステップ	—	—	●	●	●	●	—	—	—	—

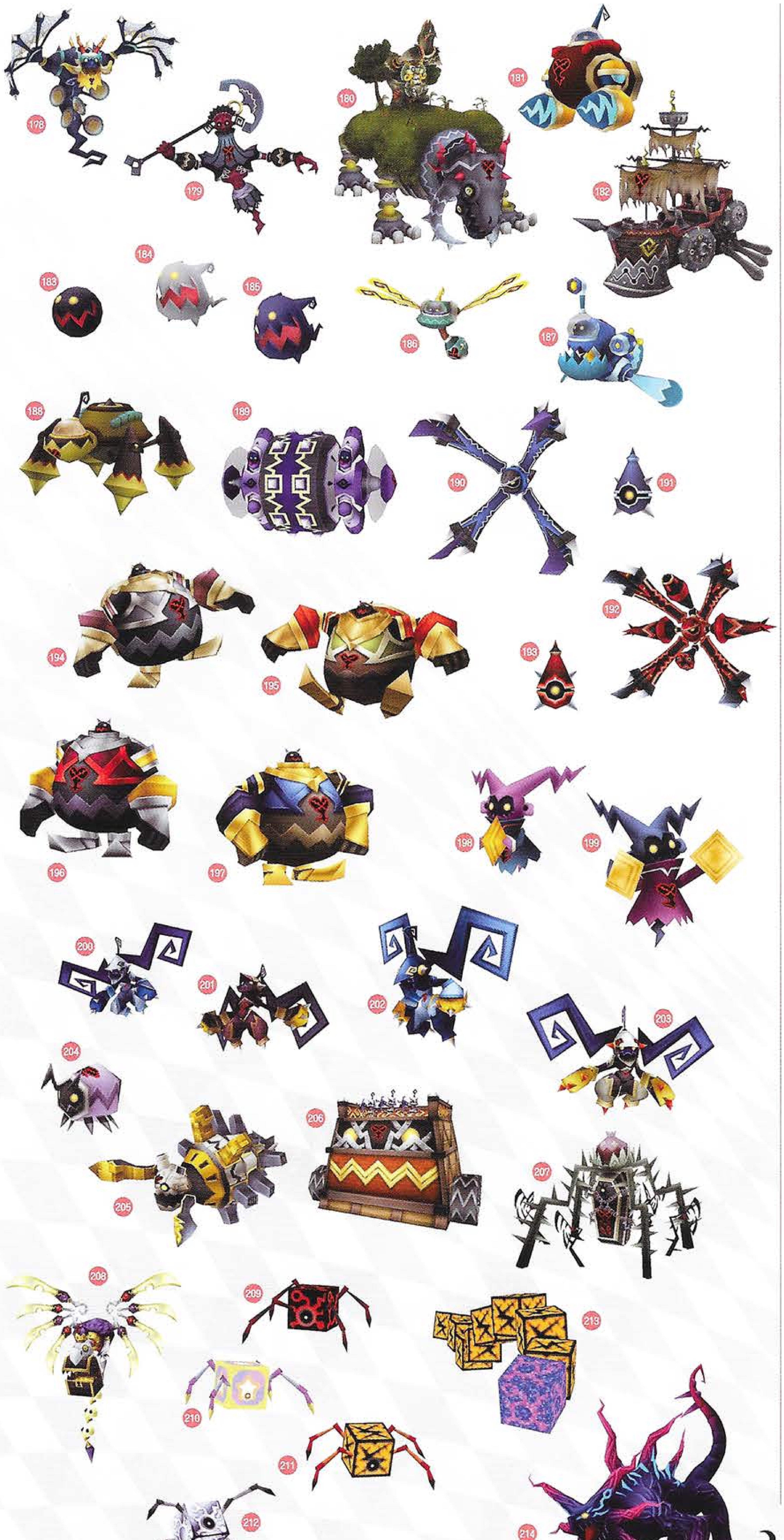




No.	Name	I	I FM	COM	II	II FM	Re:COM	Days	coded	Re:coded	BbS FM
103	ラウドネス			●	●	●	●	●			
104	フレアノート							●			
105	バブルビート							●			
106	トリックゴースト				●	●					
107	マジックファントム					●					
108	マッドドッグ				●	●		●			
109	バイティングドッグ							●			
110	マッドブル							●			
111	フックバット				●	●					
112	パープレックス					●					
113	ブックマスター				●	●					
114	ルーンマスター					●					
115	バリアマスター							●			
116	ミニッツボム				●	●		●			
117	スケートボム							●			
118	ストームボム							●			
119	デトネーター							●			
120	ハンマーボディ				●	●					
121	アイアンハンマー					●					
122	バルクベンダー				●	●		●			
123	レアベンダー							●			
124	フォーチュンテラー				●	●					
125	エイミングキャノン				●	●		●			
126	サイレントランチャー					●					
127	アイスキャノン							●			
128	トレードランチャー							●			
129	ヒュージキャノン							●			
130	ラピットスラスター				●	●					
131	モールドリル				●	●					
132	ランスソルジャー				●	●					
133	ランスウォーリアー					●					
134	モーニングスター				●	●		●			
135	スパイククローラー							●			
136	バーニングボール							●			
137	フレアグローブ				●	●					
138	アイスキューブ				●	●		●			
139	スノークリスタル							●			
140	ソードスタチュー				●	●					
141	アックススタチュー				●	●					

No.	Name	I	I FM	COM	II	II FM	Re:COM	Days	coded	Re:coded	BbS FM
142	グレイブヤード	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
143	トイソルジャー	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
144	エアロプレーン	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
145	ホットロッド	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
146	マッドバンパー	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—
147	アサルトライダー	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
148	ナイトウォーカー	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
149	ボルトタワー	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
150	マグナローダー	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
151	イレイザー	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
152	ターミネーター	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
153	レックレス	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—
154	リビングボーン	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
155	シャーマン	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
156	ネクロマンサー	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—
157	エアリアルノッカー	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
158	エアリアルチャンプ	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—
159	アーマーナイト	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
160	ロールスラッシャー	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
161	デュアルブレード	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
162	ヒートセイバー	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
163	コールドリッパー	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
164	ブリッツスピア	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
165	ストレングスブレード	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
166	サーヴィランス	—	—	—	●	●	—	●	—	—	—
167	ガーディアン	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
168	デストロイヤー	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
169	ゲートガーディアン	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
170	ポセッサー	—	—	—	●	●	—	●	—	—	—
171	マッシブポセッサー	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
172	ダークストーカー	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
173	ブラックソーン	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
174	イルミネーター	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
175	ボルケーノロード	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
176	ブリザードロード	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—
177	プリズンキーパー	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—





No.	名前	I	I FM	COM	II	II FM	Re:COM	Days	coded	Re:coded	BbS FM
178	ストームライダー				●	●					
179	グリムリーパー				●	●					
180	グラウンドシェーカー				●	●					
181	ドリラー				●	●					
182	ゴーストシップ				●	●					
183	キャノンボール				●	●					
184	ゴースト				●	●					
185	ブラックゴースト				●	●					
186	ドラゴンフライ				●	●					
187	サブマリン				●	●					
188	アダマント				●	●					
189	ジョイライダー				●	●					
190	ハンター				●	●					
191	タイニーボマー				●	●					
192	ファイナルハンター				●	●					
193	タイニーボマーR				●	●					
194	ラージアーマー							●			
195	ソイルアーマー							●			
196	ソリッドアーマー							●			
197	グラウンドアーマー							●			
198	シンバルモンキー							●			
199	トリックモンキー							●			
200	エアバトラー							●			
201	エアリアルマスター							●			
202	フライングアーツ							●			
203	スカイグラップラー							●			
204	クリープワーム							●			
205	アントリオン							●			
206	デモンズフォートレス							●			
207	パラサイトグレイブ							●			
208	スカイルーラー							●			
209	ブロックバグ								●	●	
210	プライズバグ								●	●	
211	ダメージバグ								●	●	
212	メタルバグ								●	●	
213	コアブロック								●	●	
214	ダークハイド										●

ノーバディ

心が失われて抜け殻となった肉体と魂が変じた魔物。人型のものは、基本的に身体を流動的に変形させつつ攻撃を行なう。人型以外のものは、グミシップでの移動中に敵として姿を現す。

[●II][●II FM][●Days]

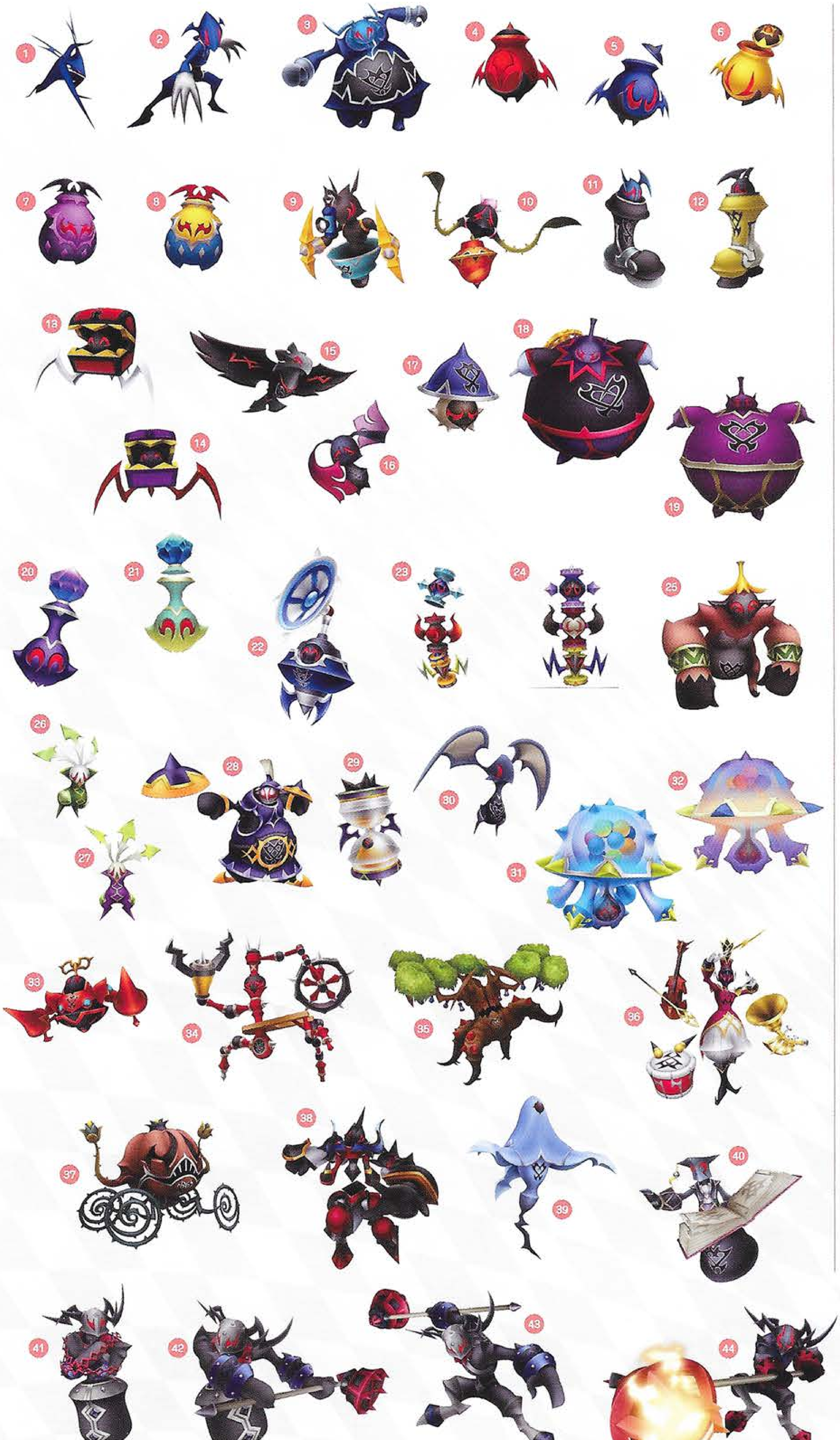
		●II	●II FM	●Days
1	ダスク	●	●	●
2	クリーパー	●	●	—
3	ドラグーン	●	●	—
4	アサシン	●	●	—
5	サムライ	●	●	●
6	スナイパー	●	●	—
7	ダンサー	●	●	—
8	バーサーカー	●	●	—
9	ギャンブラー	●	●	—
10	ソーサラー	●	●	—
11	トワイライトゾーン	●	●	—
12	ナイトヘッド	●	●	—
13	リングタイプ	●	●	—
14	キャリアー	●	●	—
15	ミサイラー	●	●	—
16	ミサイラーB	●	●	—
17	ガトリング	●	●	—
18	フライヤー	●	●	—
19	タンク	●	●	—
20	リングタンク	●	●	—
21	リボルバータンク	●	●	—
22	キャッチャー	●	●	—
23	アタッカー	●	●	—
24	ミラージュ	●	●	—
25	フローティングマイン	●	●	—
26	フローティングマインB	●	●	—
27	マジカルフライヤー	●	●	—
28	シールド	●	●	—
29	スピーダー	●	●	—
30	スピーダーB	●	●	—
31	キマイラ	●	●	—
32	マッドライダー	●	●	—



アンヴァース

[BbS][BbS FM]

怒りや憎悪といった負の感情から生まれた闇の生き物。するどいラインを持つ赤い目の形が、発生源となった感情を表している。バトルでは、トリッキーな動きをするものが多い。



No.	名前	BbS	BbS FM
1	フラッド	●	●
2	スクラッパー	●	●
3	ブルーザー	●	●
4	レッドホットチリ	●	●
5	ブルーシーソルト	●	●
6	イエローマスタード	●	●
7	プライズポット	●	●
8	リンガーポット	—	●
9	モノトラッカー	●	●
10	ソーンバイト	●	●
11	シューゲイザー	●	●
12	ロストランナー	—	●
13	チェストスパイダー	●	●
14	フレイムボックス	—	●
15	アーチレイブン	●	●
16	レイザーバニー	●	●
17	シェイドジェリー	●	●
18	イリタブルタンク	●	●
19	ダイエットタンク	—	●
20	メディシンボトル	●	●
21	サバイバルボトル	—	●
22	ソニックブラスター	●	●
23	パイルフェイス	●	●
24	エレメントクラスタ	—	●
25	ワイルドブルーザー	●	●
26	マンドレイク	●	●
27	ランチングプラント	—	●
28	バックルブルーザー	●	●
29	クロノツイスター	●	●
30	アックスフラッパー	●	●
31	ジェリーボール	●	●
32	ジェリーグリーティー	—	●
33	スプリングロウディ	●	●
34	ホイールマスター	●	●
35	マッドトレント	●	●
36	シンフォニーマスター	●	●
37	カースドキャリッジ	●	●
38	トリニティアーマー	●	●
39	メタモルフォシス	●	●
40	ミミックマスター	●	●
41	アイアンプリズナーⅠ	●	●
42	アイアンプリズナーⅡ	●	●
43	アイアンプリズナーⅢ	●	●
44	アイアンプリズナーⅣ	●	●

ドリームイーター

眠りに閉ざされた世界に巣くう魔物。敵として現れる邪悪な「ナイトメア」と、仲間になって一緒に戦ってくれる善良な「スピリット」がおり、それぞれカラーリングが異なる。

[●3D]

1. ワンダニャン
2. ハナダワンニャン
3. タマシープ
4. ヤギホーン
5. ヤギサイバー
6. コウモリバット
7. ハリライオン
8. ヘビトカゲ
9. クマパンダー
10. ドクドクサンショ
11. ネコキャット
12. イイフラワー
13. ワルフラワー
14. ゾウエレファント
15. カエルおうじ
16. カエルソルジャー
17. カエルシェフ
18. ドリルサイ
19. ツノケラトプス
20. ガンミフクロウ
21. デンデンカルゴ
22. ツノカブト
23. ハサミクワガタ
24. ナルバード
25. タカイーグル
26. ギョライギョ
27. ホネフィッシュ
28. タツホース
29. モエロタツホース
30. アイスペンギン
31. アシカジャグラー
32. オバケピエロ
33. オバケゴースト
34. イダテンキリン
35. ミミバニー
36. マジックラビット
37. ボウクンレックス
38. ボンツピワイルド
39. ハラグチアヒル
40. ドラゴンモドキ
41. オーラライオン
42. キバタイガー
43. ハンサムペガサス
44. エレキユニコーン
45. リュウドラゴン
46. ハコザル・パワー
47. ハコザル・メイジ
48. バレットガゴイル
49. エレカマキリ
50. キンキンロブスタ
51. メラメラロブスタ

ナイトメア





52 アナモグラー
53 スペルカン
54 イカゲソード
55 ハチクイーン
56 ハチコマンダー

スピリット



1 ワンダニャン
2 ハナダワンニャン
3 キングダニャン
4 タマシープ
5 ヤギホーン
6 ヤギサイバー
7 コウモリバット
8 ハリライオン
9 ヘビトカゲ
10 ネクッボイ
11 クマパンダー
12 クマダダイサーカス
13 ドクドクサンショ
14 ネコキャット
15 フルーツキャット
16 イイフラワー
17 ワルフラワー
18 ゾウエレファント
19 カエルおうじ
20 カエルソルジャー
21 カエルシェフ
22 ドリルサイ
23 ツノケラトプス
24 ガンミフクロウ
25 デンデンカルゴ
26 ツノカブト
27 タイホウカブト
28 ハサミクワガタ
29 ナルバード
30 タカイーグル
31 ギョライギョ
32 ホネフィッシュ
33 タツホース
34 モエロタツホース
35 アイスペンギン
36 アシカジャグラー
37 バカンスシール
38 オバケピエロ
39 オバケゴースト
40 イダテンキリン
41 ミミバニー
42 マジックラビット
43 ボウクンレックス
44 ボンツビワイルド
45 ハラグチアヒル
46 ドラゴンモドキ
47 オーラライオン
48 キバタイガー
49 ハンサムペガサス
50 エレキユニコーン
51 リュウドラゴン

最終ボス

冒険のラストに立ちはだかる強敵たち。彼らを倒せば、物語はエンディングを迎えるのだ。なお、最終バトル直前に戦う相手のうち、物語上で重要な役割を持つ敵についても紹介している。





[I] ワールドオブカオス

アンセムが変身した姿。最上部に位置する本体は、各所に隠されたルームコアやメインコアの力で守られている。



[COM(ソラ)] マールーシャ

忘却の城を管理している、XIII機関のナンバーII。2種類(『KH Re:COM』では3種類)の形態を持ち、1戦ごとに形態を変えていく。

[I] アンセム

"世界の心のキングダムハーツ"を求めて、闇の勢力をあやつっていた黒幕。背後の怪物は、攻撃や防御を行なうほか、相手に取りついて動きを封じることもある。





[COM(リク)] アンセム

リクの心の闇に宿っていたアンセムが実体化した姿。強力な防御能力を誇り、攻撃をつぎつぎと弾き返す。

[Days] シオン

ソラの記憶を吸収するために作られたレプリカ人形。形態を変えつつ、4連続でバトルを仕掛けてくる。『ソニックレイヴ』や『ラグナロク』など、ソラと同じ技を使うのが特徴。



[II] ゼムナス

"人の心のキングダムハーツ"の完成を画策する、XIII機関のリーダー。鎧姿になったり巨大ドラゴンに騎乗したりと、多彩な戦闘スタイルを駆使し、最終決戦ではソラとリクのふたりと武器を交える。





[Days] リク

ロクサスの無謀な行動を止めるために立ちはだかる。ロクサスが投げつけたキーブレード(過ぎ去りし思い出)を使用。

[coded] ????

黒コートで正体を隠した、データ世界のロクサス。両手に持つ2本のキーブレードをあやつり、激しい連続攻撃をくり出す。



[BbS(テラ)]
マスター・ゼアノート

キーブレード戦争の再来をもくろむキーブレードマスター。瞬間移動を多用し、圧倒的なパワーでテラに攻めこむ。



[BbS(テラ)] テラ=ゼアノート

テラの身体を乗っ取ったマスター・ゼアノート。肉体を失ってもなお怨念の力だけで立ち上がる鎧姿のテラに、引導を渡すべく襲いかかる。



[BbS(ヴェントゥス)] ヴァニタス

ヴェントゥスから取り出された心の闇によって生まれた存在で、ヴェントゥスの精神世界へと侵入し、融合を図る。倒されそうになると、強制的にヴェントゥスとディメンションリンクを行なう。



[BbS(アクア)]
ヴェントゥス=ヴァニタス

ヴェントゥスと融合して身体を乗っ取ったヴァニタス。バトルには、アクアへの加勢としてミッキー(王様)も参戦する。



[BbS(ラストエピソード)]
テラ=ゼアノート

テラの身体を奪い、さらに心も制圧しようとしているマスター・ゼアノート。背後の怪物がアクアを異空間へ引きこむと、テラの幻影が現れてアクアに力を貸す。







[3D(ソラ)] ゼムナス

ソラを闇の深淵に引きこもうとする、"真のXIII機関"の一員。バトル後半には、ビルを投げつける大技を使用する。

[3D(リク)]
青年ゼアノート

過去からやってきた、若かりしころのマスター・ゼアノート。ダメージを受けても、時計と融合して時間を巻きもどし、体力の回復を行なう。

[3D(リク)]
ナイトメア・アーマーヴェントゥス

ソラの心を悪夢から守っているヴェントゥスの鎧が、悪夢に覆われた姿。倒されそうになったときには、リクの『ナイトメアチャージ』以外のコマンドを封じる。

隠しボス＆追加ボス

物語の流れに関係しない位置づけのボスや、ファイナルミックス版などで追加されたボスたち。ほとんどの敵は、最終ボスをはるかに超える強さを持ち、倒すには相当の腕が要求される。



[●I] ファントム

ネバーランドの時計台に現れる隠しボス。『死の宣告』のカウントダウンは、ソラがストップ系の魔法で大時計の針を止めると一時停止する。



[●I FM] アイスタイタン

闘技大会の試合「ゴールドマッチ」に登場。見た目どおり、ブリザド系の攻撃を得意とする。



[●I FM] セフィロス

闘技大会の試合「プラチナマッチ」に登場。遠くまで届く斬撃のほか、相手のHPとMPをほぼゼロにする『心無い天使』が脅威。

[●I FM] カート・ジーサ

アグラバーの砂漠に現れる隠しボス。相手の魔法を封じる形態と、魔法以外の攻撃を完全に防ぐ形態を切りかえる。





[●I FM] 謎の男

ホロウバスティオンの礼拝堂に現れる隠しボスで、正体はゼムナス。バトルの中盤以降に使う『闇へのいざない』では、ソラのコマンド欄にランダムで表示される『かいほう』を選ぶまで、ソラのHPが減りつづける。



[●II] セフィロス

ホロウバスティオンの闇の淵に現れる隠しボス。『KH I FM』とは異なる戦いかたを見せ、無数の隕石を降らせる『メテオ』などを使う。



[●II FM] アブセント・シルエット

『KH COM』で倒されたXIII機関のメンバーの幻影。世界各地に散らばっている、持ち主の影が焼きついた武器から姿を現す。

[●II FM] XIII機関の再現データ

消滅したXIII機関のメンバーがデータ上で再現されたもの。その強さは、本物を大きく上まわる。ホロウバスティオンの追憶の洞にあるモニュメントから出現。





[●BbS] ヴァニタスの思念

キーブレード墓場の荒野に現れる隠しボス。ヴァニタスの強い思念が実体化した存在で、攻撃が強烈なだけでなく、受けるダメージを大幅に減らす能力も持つ。

[●BbS FM] アーマーオブザマスター

アリーナモードのバトル「光の訓導」に登場する、マスター・エラクゥスの思念が鎧に宿った姿。光の鎖で操作キャラクターの特徴を読み取り、それに似せて戦いかたを変える。



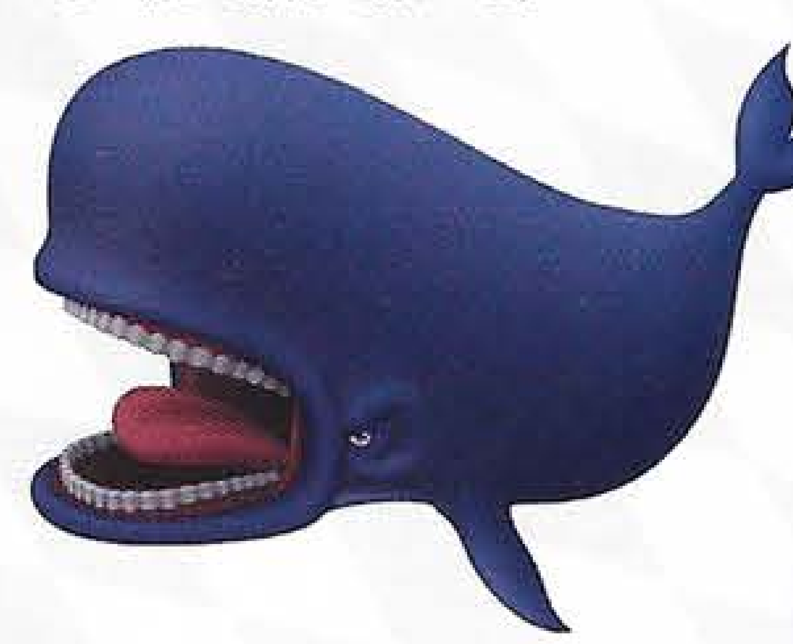
[●II FM] 留まりし思念

謎の荒野（キーブレード墓場）に現れる隠しボスで、テラの思念が鎧に宿った姿。キーブレードを大砲や盾、乗り物といった形に変えて攻撃を行なう。



[●BbS FM] モンストロ

アリーナモードのバトル「大海原の怪物」に登場する巨大なクジラ。バトル中は、一定時間ごとに相手を体内へ飲みこむ。



[●BbS FM] ノーハート

アリーナモードのバトル「闇への遠謀」に登場。その正体は不明で、『KH II』のゼムナスと似た鎧をまとい、マスター・ゼアノートのキーブレードを持つ。最初は玉座にすわっており、部屋中央の障壁が消されると立ち上がって戦いはじめる。





[●BbS FM] ダークハイド

シークレットエピソードの最終ボス。はじめは闇にまぎれているが、バトルが進むにつれて姿が3段階目まで変化し、攻撃も激しくなっていく。

[●BbS FM] 謎の男

旅立ちの地に現れる隠しボスで、正体は青年ゼアノート。操作キャラクターのコマンドを落とさせたり、時間を巻きもどして自分のダメージを取り消したりする。





[●3D] ジュリアス

トラヴァースタウンの噴水広場に出現する隠しボス。みずから帯電してパワーアップを図る。ディズニー作品『ミッキーのアルバイトは危機一髪』の登場キャラクター。

Chapter 3

Main Story Playback

メインストーリープレイバック

KINGDOM HEARTS Birth by Sleep / KINGDOM HEARTS Birth by Sleep FINAL MIX / KINGDOM HEARTS / KINGDOM HEARTS -FINAL MIX- / KINGDOM HEARTS CHAIN OF MEMORIES / KINGDOM HEARTS Re:Chain of Memories / KINGDOM HEARTS 358/2 Days / KINGDOM HEARTS II / KINGDOM HEARTS II FINAL MIX / KINGDOM HEARTS coded / KINGDOM HEARTS Re:coded / KINGDOM HEARTS 3D [Dream Drop Distance]



Disney SQUARE ENIX

KINGDOM HEARTS Birth by Sleep

キングダム ハーツ バース バイ スリープ

キングダム ハーツ
バース バイ スリープ

キーブレードマスターを目指す3人の若者が
大いなる陰謀に巻きこまれていく——

強き心の持ち主だけが使える鍵型の武器、キーブレード。その使い手のなかでもとくにすぐれた存在「キーブレードマスター」となるべく、テラ、ヴェントゥス、アクアの3人の若者が、マスター・エラクゥスのもとで修行に励んでいた。しかし、闇の魔物アンヴァースが世界をおびやかしはじめたのを機に、3人はそれぞれの思惑を抱いて外の世界へ旅立つ。その陰で、キーブレード戦争の再来をもくろむマスター・ゼアノートの陰謀が動きはじめていたとも知らずに……。

KH BbS

序

はじまりの島で

～デスティニーアイランド～





「だったら、
ボクの**心**とつなげばいいよ」







海に囲まれたのどかな世界、デスティニーアイランド。かつて、あまりに小さなその島で、あまりに大きな探究心を抱いた青年が、外の世界へと旅立った。

時は過ぎ、青年は老人となって故郷に帰った。自分の実験で心が壊れた、弟子の少年を捨て去るために。しかし、そのとき奇跡が起きる。島で生まれたばかりの誰かの心が、少年の欠けた心をおぎなったのだ。つながる心は奇跡を生み、少年――ヴェントゥスは心の証たるキーブレードをかざすが、それは老人――マスター・ゼアノートに、危険な計画を新たに思いつかせる。

そして、数年の月日が流れた……。

KEY-POINT

心をつなげるヴェントゥスとソラ

「生まれたばかりの誰か」とはソラのこと。このときヴェントゥスは、χブレードを生み出そうとする師マスター・ゼアノート（→P.120）の実験のせいで心が壊れかけていたが、ソラの心とつながることで、人として復活できた。

KH BbS

I

3人の旅立ち

～旅立ちの地～







「**つながり**、だよ」

「旅立ちの地」――狭間の世界に浮かび、代々正統なるキーブレードマスターに守られてきた土地。その地を守護するマスター・エラクゥスには、3人の弟子がいた。まっすぐな青年テラ、正義感の強い少女アクア、そして数年前この地にきた少年ヴェントゥス。彼らのうちテラとアクアがマスターに内定するも、エラクゥスの兄弟子マスター・ゼアノートの進言で、最終確認としてマスター承認試験が行なわれることになる。

試験を翌日にひかえた夜、3人は満天の星空の下で語り合う。たとえ今後、離ればなれになってしまうことがあっても再会できますように――そんな願いをこめてアクアが作った「つながりのお守り」を手に、互いの絆を確かめ合う3人。しかし、彼らが一緒に夜空をながめるのは、これが最後となった。





「俺の心に闇――」





「おまえの目で確かめるんだ。
テラがテラでなくなるところをな」



「おまえたちには
事態の収拾に努めてもらいたい。
アンヴァースの討伐と
マスター・ゼアノート捜索だ」



一夜明け、テラとアクアのマスター承認試験がはじまった。試験の内容は、エラクゥスとゼアノートの立ち会いのもとで模擬戦を行ない、心のありようを試すというものだったが、白熱する試合のなかでテラはとっさに闇の力を発動。その様子を、闇を厳しく禁じるエラクゥスに見とがめられ、不合格となってしまう。

合格したアクアがマスターの心得を学ぶかたわら、意気消沈して中庭でひとりたたずむテラ。自分には闇に負けない力があるのに――思い悩むテラに希望をくれたのはゼアノートだった。彼は、エラクゥスとちがってテラの闇を頭ごなしに否定せず、力で闇を制すればいいと助言。その言葉に励まされたテラは、自分の良き理解者として、ゼアノートに信頼感を抱く。

そんななか、光の世界を見守る偉大な魔法使いイェン・シッドが異変を知らせてきた。"負の感情から芽生える、生命に精通しない存在"――闇の化け物アンヴァースが各地に現れ、光のプリンセスたちをおびやかしているというのだ。しかも、キーブレード使いとしてともにこの危機にあたるべきゼアノートが、消息を絶ったらしい。アンヴァースの討伐とゼアノートの捜索――ふたつの任務を師に命じられたテラとアクアは、異空の回廊を使って世界をめぐることになった。「活躍しだいではマスター承認を再考する」と師匠に告げられ、奮い立つテラ。そんな彼が闇に堕ちるのを懸念したエラクゥスは、テラを監視する密命をアクアに重ねてくだす。

一方、ヴェントゥスは、奇妙な仮面をかぶった少年と対面していた。テラがテラでなくなる前にあとを追え――仮面の少年のその言葉に不安に駆られたヴェントゥスは、テラのあとを追いかけ、旅立ちの地を飛び出してしまう。テラの監視に加え、ヴェントゥスを連れもどす役目もになうことになったアクア。それぞれの目的を胸に、3人の旅がはじまろうとしていた。

KEY-POINT

ゼアノートの策略①

マスター・ゼアノートは、マスター承認試験の実施をエラクゥスに勧めたうえで、テラが不合格になるように仕向けた。これは、テラをみずからの器にすること(→P.121)と、ヴェントゥスを用いてχブレードを生み出すこと(→P.120)の、両方の目的への第一歩となっている。前者は、落第したテラを孤立させ、心のスキにつけこむことで心を闇に近づけさせて、自分の器となる土台を作ろうというもくろみ。後者は、ヴァニタスを通じてヴェントゥスを旅立たせ、ヴェントゥスの光を強めることで、χブレードを確実に生み出そうという算段だ。

KH BbS

2 闇の足音

～エンチャンテッド・ドミニオン／ドワーフ・ウッドランド／キャッスル・オブ・ドリーム／不思議な塔／謎の荒野～





「テラ、闇に堕ちたりしないよね」





「ミッキーも飛び出してきたのか。俺と同じだ」





「あやつはもはや闇に染まった怪物だ。
おまえの力で闇を討ち、
我が過ちをただしてくれ」

ひと足先に旅立ちの地を出たテラは、闇の勢力と戦いながら、ゼアノートとアンヴァースについて探っていく。どうやらゼアノートは純粋な光の心に興味を抱いており、アンヴァースの出現には仮面の少年が関わっているらしい。だが、それらの情報を得る過程で闇の勢力と接触したテラは、結果的にプリンセスに脅威を与えるような行動に出てしまう。そんなテラの一連の足取りは、ヴェントゥスやアクアには、まるで彼が闇に荷担しているかのように伝わっていた。

テラを捜してあせるヴェントゥスの前に、ふたたび仮面の少年が現れた。漆黒のキーブレードを振るう少年の力に圧倒されるヴェントゥス。そこへ加勢してくれたのは、ミッキーと名乗るキーブレード使いだった。彼は修行中の身ながら世界の危機を知り、師イェン・シッドのもとを飛び出してきたという。互いに似た者同士のヴェントゥスとミッキーは、友情の絆で結ばれる。

そのころテラは、旅立つミッキーと入れちがいで、イェン・シッドのもとを訪れていた。イェン・シッドはテラの報告を聞き、アンヴァースの出現とゼアノートの失踪には何らかの関わりがあるのではないかとにらむ。さらなる調査に向かったテラは、当のゼアノートに呼び出しを受け、驚くべき"事実"を聞かされた。仮面の少年の正体は、ゼアノートの手でヴェントゥスから分かたれた純粋な闇の存在・ヴァニタスであり、彼が自身の闇をアンヴァースとして各地に振りまいているというのだ。己のあやまちが生んだヴァニタスを消してくれ――ゼアノートのその言葉の裏にひそむ邪悪な真意に気づかずに、テラは彼の懇願を受け入れる。

KH BbS

3 すれちがう3人

～レイディアントガーデン～



マスター・ゼアノートの言葉に従い、ヴァニタスが目指すとおぼしき"光の都"へ向かうテラ。その様子を目撃したアクアはテラのあとを追い、ヴェントゥスはミッキーが手にしていた「星のカケラ」に導かれて──3人はそれぞれの事情で、光の都ことレイディアントガーデンにやってきた。

カイリという少女がアンヴァースに襲われているのを発見し、アクアはその場に駆けつけたミッキーと協力して彼女を救出。カイリから特別な光を感じたアクアは、彼女が闇から守られるようにおまじないをかけたのち、街を襲う巨大アンヴァースを追跡する。

テラとヴェントゥスもまた、別の巨大アンヴァースを追っていた。3体のアンヴァースは合体して、偶然にも再会を果たした3人に襲いかかってくるが、彼らは協力してこれを倒し、互いの無事を喜び合う。しかし、アクアのひとことから、エラクゥスが彼女にテラを監視させていた事実が発覚。師や友への疑心にとらわれたテラは、ひとりその場を去ってしまう。

傷心のテラの前に、ブライグという男が現れた。ゼアノートを人質にとり、キーブレードをよこせとテラに襲いかかるブライグ。激戦のすえにテラはブライグを撃退するが、その過程でまたも闇の力を発動させてしまう。闇に堕ちた自分に帰る場所はない──思いつめるテラにゼアノートは「闇を制したお前こそマスターにふさわしい」と言い、自分の弟子としてともに光と闇の均衡をもたらそうと呼びかける。彼の言葉に救われたテラは、以前にも増してゼアノートへの信頼を深め、改めて打倒ヴァニタスを誓う。

一方、アクアは、仮面の少年ヴァニタスと対峙していた。驚異的な実力を見せつけてヴァニタスは去り、彼との今後の死闘を覚悟したアクアは、友ふたりをこれ以上巻きこむまいと決意する。

テラもアクアも、自分の力だけで戦う覚悟を決め、ヴェントゥスの前を去っていった。ひとり残されたヴェントゥスは、リアという少年との出会いを通じて友情について考えさせられ、ふたたび旅路につく。

KEY-POINT

ゼアノートの策略②

ブライグがゼアノートを人質に取ったのは、彼らふたりによる狂言。ゼアノートは、テラとブライグの戦いを通じてテラの闇を引き出させようとし、ブライグは、キーブレードと"キングダムハーツ"の話をゼアノートから聞いて、彼に協力している。

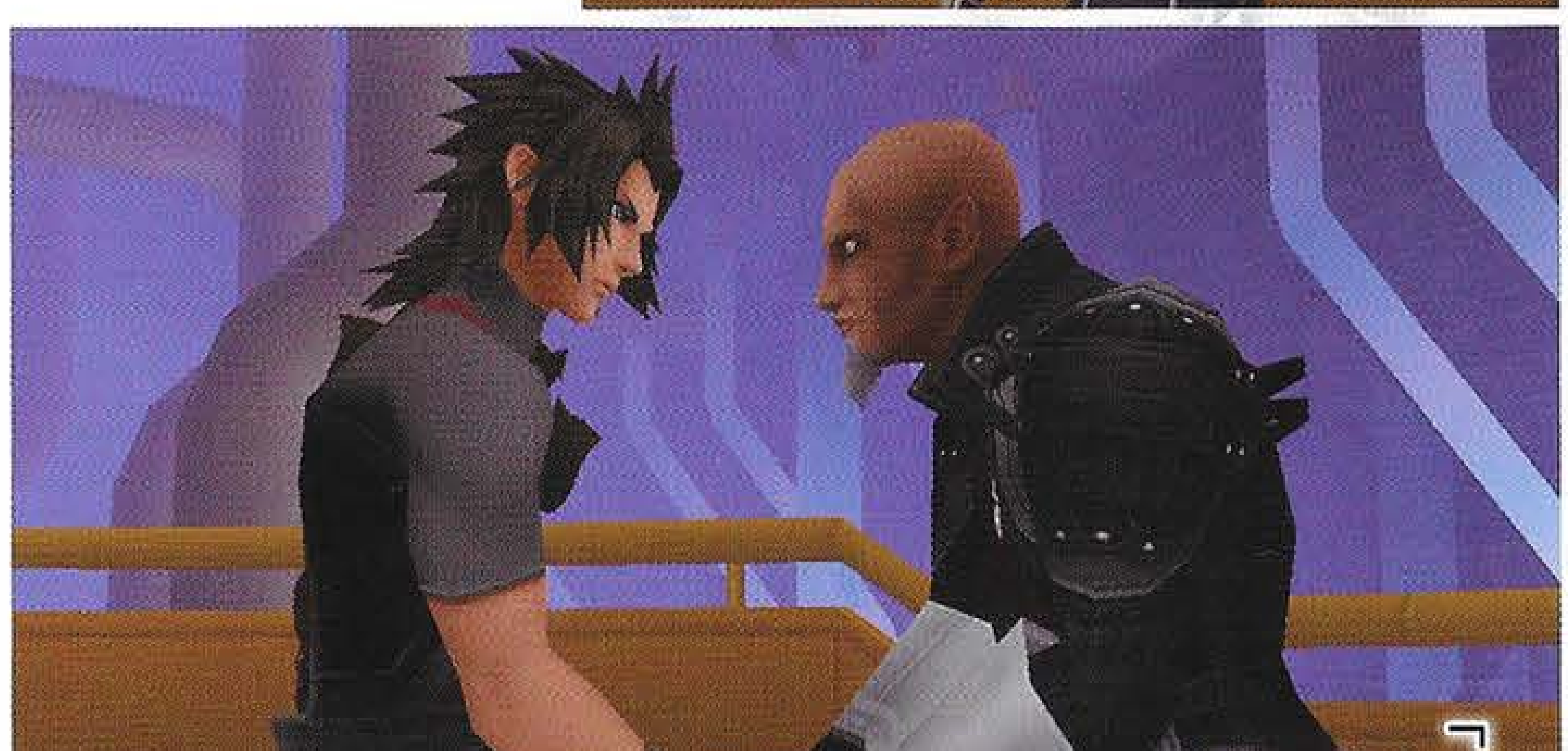


「カイリを守る魔法をかけたからね。
いつかあなたを闇から
守ってくれる光の元へ、
あなたの光が導いてくれる」



「俺の事を監視していたのか──。
それがおまえへの、マスターの命令か？」





「テラよ。
私と共に世界に
均衡をもたらそう」



KH BbS

4 明かされた野望

～ディズニータウン／オリンポスコロシアム／ディープスペース／ネバーランド／不思議な塔／デスティニーアイランド／旅立ちの地～



「君にその資格があるのなら――
いずれ**選ばれし者**として
この小さな世界を出て――
俺のもとへたどり着くだろう」





「許せ、ヴェン。
おまえは**存在**してはならんのだ」







「ならば来るがよい。
我らキーブレード使いの運命を
刻みし場所、
キーブレード墓場へ」

パラバラに旅を再開したテラ、ヴェントゥス、アクアだが、さまざまな世界での出会いと別れを通じ、自分たち3人の絆の大切さを改めてかみしめていた。

そんな旅の果てにデスティニーアイランドへと導かれたテラは、リクという少年と出会う。「大切なものを守る強さがほしい」――そう語るリクの姿にかつての自分を重ねたテラは、リクにキーブレード継承の儀式を行ない、再会を約束して島を去る。

テラにつづき、アクアもまた導かれてデスティニーアイランドにやってきた。リクがテラからキーブレードの継承を受けていると気づいたアクアは、もしものときはリクを助けるように、彼の親友だというソラに伝える。

そのころ、不思議な塔にてミッキーの危機を知ったヴェントゥスは、彼を救うべく訪れた荒野で、マスター・ゼアノートと再会する。とたんに、失われていたヴェントゥスの記憶が断片的によみがえってきた。心を失いゼアノートに捨てられかけた記憶、うつろな状態でエラクゥスに預けられた記憶……混乱するヴェントゥスにゼアノートは、「失った闇を取りもどしχブレードとなれ」とたたみかけ、真実を師に聞くように仕向ける。

旅立ちの地に帰還したヴェントゥスは、動揺のあまりエラクゥスを問いつめる。その様子からエラクゥスは、ゼアノートが、以前語った悪しき野望――「χブレードを生み、かつて世界を滅ぼしかけたキーブレード戦争を再現する」という危険な計画を進めていることを察知。ヴェントゥスがχブレードの素材にされないよう、やむなく彼を封じようとする。そこにテラが割って入った。ヴェントゥスを逃がしたテラは、友を守りたい一心で闇の力を解放し、師に立ち向かう。

激しい戦いのすえ、エラクゥスにトドメを刺したのは、なんとゼアノートだった。信じていたゼアノートの邪悪な本性を知り、愕然とするテラ。そんな彼を見てゼアノートは、怒りで心を闇に染めるようあおり、旅立ちの地を闇の力に包んで去っていく。テラがこのあとキーブレード墓場でヴェントゥスとアクアの最期を見届け、闇に堕ちることになると予言して……。

KH BbS

5

χ（キー）ブレード誕生

～デスティニーアイランド／不思議な塔／キーブレード墓場～



「おまえは素材として十分に成長した。
今こそ俺との融合を果たし——
χブレードとなれ」





「友達だから頼みたいんだ。
俺を—— 消してくれ」







「今こそ私は手に入れる
—— χブレード」

テラの手で危機を逃れたヴェントゥスは、デスティニーアイランドでヴァニタスと邂逅し、ついに自分たちの正体とマスター・ゼアノートの計画を知る。ヴェントゥスの心を分けて闇の分身ヴァニタスを生み出したゼアノートは、ふたりを衝突させることで、光と闇の産物であるχブレードを出現させ、世に大戦をもたらそうとしていたのだ。χブレードを誕生させまいとして、ヴァニタスとの戦いをこばむヴェントゥス。そんな彼にヴァニタスはテラとアクアの危機を告げ、自分を追うよう挑発する。

そのころアクアは、道中で助けたミッキーを送り届けにイェン・シッドのもとを訪れ、「マスター・エラクゥスがテラとゼアノートに討たれた」という衝撃の事実を聞かされる。友の凶行が信じられぬアクアは、みずからの目で真偽を確かめようと決意するのだった。

テラはゼアノートと決着をつけて友を守るため。ヴェントゥスはヴァニタスのたくらみを阻止するため。アクアはエラクゥスの最期にまつわる真相を知るため——それぞれの目的を果たすべく、3人はキーブレード戦争の爪痕が残る荒野、キーブレード墓場に集った。ゼアノートの策に乗せられて師を討ってしまったと告白し、ひとりでケリをつけると言うテラ。だがアクアは、思いつめたテラが戦うことで闇が生まれ、ゼアノートの術中にハマるのではと懸念する。そしてヴェントゥスは、自分とヴァニタスの存在が、世界を滅ぼすキーブレード戦争の引き金になることを説明し、いざというときは自分の存在を消すよう、ふたりの友に頼む。

そこへ、ゼアノートがヴァニタスを連れて現れた。もはや邪悪な本性を隠さず「χブレードを手に入れる」と高らかに宣言するゼアノート。意を決して立ち向かう3人だが、ゼアノートの力に翻弄され、ヴェントゥスは氷漬けとなり、テラはほかのふたりと分断されてしまう。そんな激戦のさなか、いにしえのキーブレード戦争で人々が求めた、χブレードと対をなす存在——あらゆる心の集合体"キングダムハーツ"が、雲間から姿を現した。



「これで見届けられる。
キーブレード戦争の
先に待つものを！
おまえの闇が、
我が器となるのだ！」







「それでも構わない。
テラとアクアを
救えるのなら」





「いずれ目覚めの時が来たならば、
ヴェントゥスの心は
友との**絆**をたどって帰還するだろう」

“キングダムハーツ”が見守るなか、単身マスター・ゼアノートを相手取り、決着をつけようとするテラ。しかし、ゼアノートへの怒りを燃やすうち、テラの心はゼアノートの狙いどおり闇に染まっていく。

氷漬けのヴェントゥスを介抱するアクアの前には、ブライグが立ちはだかった。アクアはブライグを退けるが、ヴァニタスに不意を打たれて絶体絶命となってしまう。友の危機を前に、ヴェントゥスは自力で氷の呪縛を解いてヴァニタスに立ち向かうも、それこそがヴァニタスの思うツボだった。光のヴェントゥスと闇のヴァニタス、ふたりの衝突により、ついにχブレードが誕生する。

念願のχブレード完成を確信したゼアノートは、歓喜しながらキーブレードの力で己の心を解放する。彼のもうひとつの狙いは、テラの心を闇に染め、若い肉体を乗っ取ることだったのだ。まんまとテラの身体を奪うゼアノートだが、テラの思念はまだ消えていなかった。彼の思念は残された鎧を動かし、自分の姿をしたゼアノートに戦いを挑む。

一方、駆けつけたミッキーに助けられてアクアが意識を取りもどすと、そこにはヴェントゥス――否、ヴェントゥスと融合したヴァニタスがいた。手にしたχブレードの力でキーブレード戦争をもたらそうとするヴァニタス。その強大な力にアクアとミッキーは圧倒されるが、友との絆を力に変えてアクアが放った渾身の一撃が、χブレードを欠けさせる。

時を同じくして、ヴァニタスの心のなかでヴェントゥスが目覚めた。今度こそ完全な融合を果たそうとするヴァニタスだが、ヴェントゥスはそれを拒絶。自分の心が壊れるのを承知で彼と戦い、χブレードを破壊する。壊れたχブレードから放出された力はあたりを包み、“キングダムハーツ”はふたたび雲間に消えた。そして――。

王様の助けでアクアはイェン・シッドのもとへもどるが、ともに連れてこられたヴェントゥスの心は目覚めず、テラは行方不明となっていた。アクアは、いつかヴェントゥスが自分たちとの絆をたどって目覚めると信じ、自分はテラを捜し出そうと胸に誓うのだった。

KH BbS

6

友の心を取りもどすために

〜不思議な塔／旅立ちの地／レイディアントガーデン〜





『この地は姿を変え、訪れた者はすべてを
忘却の彼方に失う──』





「さみしい思いをさせるけど、
少しだけ待ってて。
テラを連れて**必ず起こしにくる**からね」





「我が名は、マスター・アクア。
友の心は返してもらう！」

目覚める日までヴェントゥスを守り、行方知れずのテラを助け出す──そう決意してイェン・シッドのもとを発ったアクアは、ヴェントゥスの導きを受け、旅立ちの地へと帰還する。師マスター・エラクゥスや友と過ごしたその世界はいまや、マスター・ゼアノートのせいで闇の力にむしばまれ、見る影もなかった。悲しみをこらえ、キーブレードマスターとして闇の勢力の侵入を防ぐべく、師のキーブレードを使って旅立ちの地を封じるアクア。とたんに旅立ちの地は、訪れた者すべてを忘却へと誘う場所「忘却の城」へと変貌をとげた。その城の一室にヴェントゥスを寝かせたアクアは、かならずテラを連れて帰ると彼に約束して去っていく。

アクアが忘却の城を出ると、聞き覚えのある声が呼びかけてきた。「俺を消してくれ」──悲壮な願いをこめたその声の主がテラだと直感したアクアは、声のあとをたどって、レイディアントガーデンを訪れる。

街の中央広場にて、テラとおぼしき銀髪の青年を発見するアクア。しかし、彼の記憶は混沌としており、その身からはまがまがしい闇の気配が立ちのぼっていた。テラの身体は、ゼアノートに乗っ取られたあとだったのだ。大切な友の心を奪還するため、アクアはテラの姿をした男──テラ＝ゼアノートに、最後の戦いを挑む。

Ending



「絆だ。行けー！」





「また、君の心と一つになっていい？」







「つながっている」

アクアとの激闘のさなか、テラ＝ゼアノートは突如、己のなかからあふれ出した光の力に苦しみはじめる。その身に残るテラの心が、アクアの想いに応え、ゼアノートに抵抗していたのだ。業を煮やしたゼアノートは、テラの心を追い出すべく自身の胸にキーブレードを向け、テラを闇に飲みこませる。

闇の奥底へと沈みゆくテラを何とかつかまえるアクアだったが、もとの世界への脱出口は消えかかっていた。せめてテラだけでも助けねば——そう決意したアクアは、自分を守る鎧をテラにまとわせ、絆の力を頼りに、彼ひとりを光の世界へと送り出す。

やがて……。

レイディアントガーデンを治める賢者アンセムは、弟子ブライグの案内で、記憶喪失の青年——闇の世界を脱したテラ＝ゼアノートを発見した。青年は意識のおぼつかないなかで「ゼアノート」と名乗り、賢者の弟子として迎えられる。それは、ブライグとゼアノートがかねてより練っていた、新たな陰謀の幕開けだった。

一方、デスティニーアイランドにいるソラは、ヴァニタスとの戦いで消滅しかけていたヴェントゥスの心を感じ取る。かつてヴァニタスと分離して心が欠けたときにつづき、二度目の邂逅を意識下で果たすソラとヴェントゥス。ふたりの心はつながり、壊れかけたヴェントゥスの心はソラの心におぎなわれ、ソラのなかで長い眠りにつく。

そのころ、闇の世界では——。

ひとり残されたアクアは、どこまでつづくとも知れぬ道をひたすら歩いていた。闇の魔物との終わりなき戦いに疲れ、闇に身をゆだねかけるアクアだったが、彼女とつながるテラとヴェントゥスの心が、光となって力をくれる。たとえ闇に堕ちても大切な者との絆は失われていない——テラとヴェントゥス、師エラクゥス、そしてこれまで出会った人々とのつながりを希望に変えて、アクアはふたたび歩き出す。いつかもたらされる、すべての目覚めの時を信じて……。



キングダム ハーツ

闇に飲まれようとしている世界を舞台に
“光の勇者”ソラの冒険がはじまる——

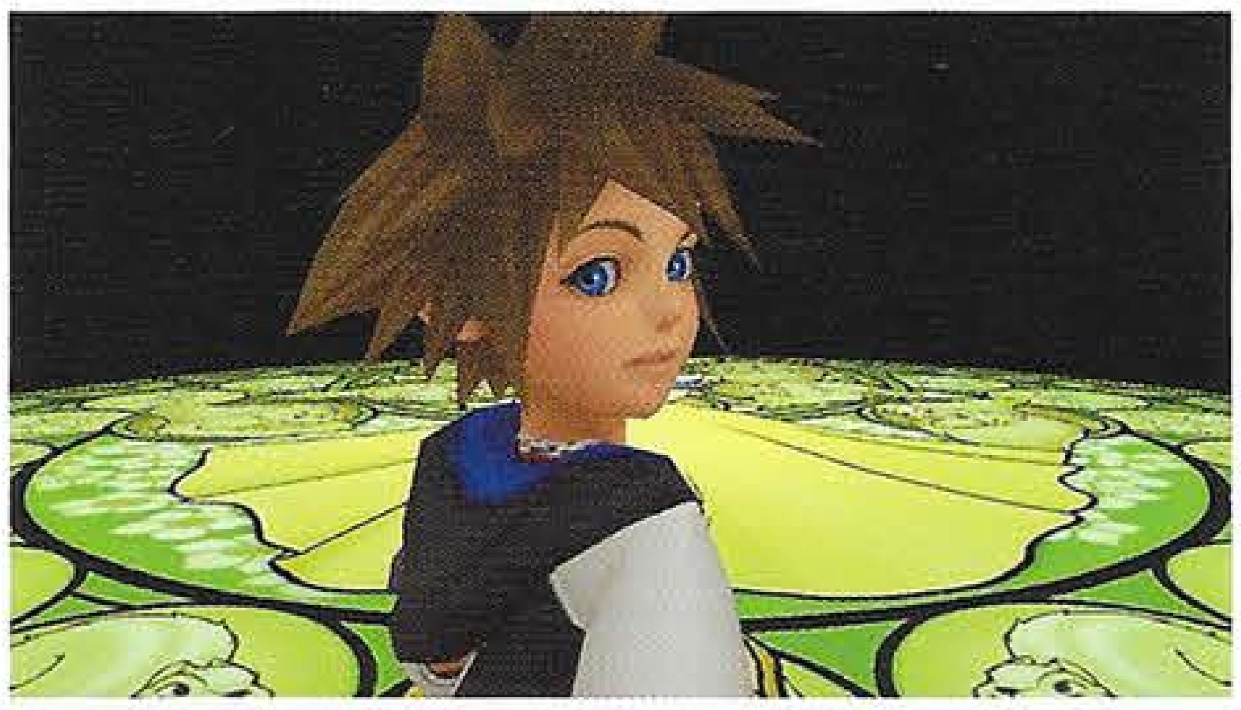
無数のワールドが夜空の星を形成する光の世界。その星々のひとつひとつが、闇の化け物「ハートレス」によって闇に飲まれつつあった。そんななか、住んでいた世界を闇に消され、鍵型の武器「キーブレード」を手にした少年ソラは、ドナルドやグーフィーと一緒に、さまざまな世界を旅していく。光の勇者としてキーブレードで世界の“鍵穴”を閉じ、闇の侵攻を防ぐために。そして、離ればなれになった幼なじみのリクとカイリを捜すために……。

KHI

序 夢で導かれて

～ダイブ・トゥ・ハート～

『その扉を開くのは、キミなんだ――』







その日、まどろみのなかでソラは、ステンドグラスにプリンセスたちの姿が描かれた、不思議な世界に足を踏み入れる。キミが求める力は？　差し出すものは何？　謎の声に導かれつつ扉を開いて奥へ進み、影のような化け物と戦うソラ。それは、このあとソラを待つ冒険の予兆だった――。

KEY-POINT

王様の導き

この場面でソラに呼びかけているのは、王様。王様は、"キングダムハーツ"の扉から闇が光の世界へ侵入するのを防ぐべく、鍵穴を閉じるのに必要なふたつのカギのひとつ――闇の世界のキーブレードを探している。その途中で、ソラの夢を通じて彼の旅立ちを予期し、アドバイスを送っているのだ。

KHI

I "外の世界"への旅立ち

～デスティニーアイランド／ディズニーキャッスル～



「この世界以外にも世界があるんなら、死ぬまでには絶対見たい」





「この世界は繋がった」





暖かな海に浮かぶ平和で小さな世界、デスティニーアイランド。その離れ小島でいつも遊んでいたソラ、リク、カイリの幼なじみ3人は、広い世界にあこがれて、手作りのイカダで海の向こうに漕ぎ出す計画を立てていた。

イカダの完成も間近に迫ったある日、ソラは、「秘密の場所」と呼ぶ洞穴で、茶色いローブ姿の奇妙な男と出会う。「扉の向こう」からきたというその男は、この世界は闇とつながった、と不吉なことをつぶやいて消えた。

男の言葉は、光の世界を構成する無数の世界が闇に飲まれつつあることを意味していた。光の世界の中心地ディズニーキャッスルを治める王様は、その異変をいち早く察知し、光の世界を救うべく、ひとり旅立つ。「我々には"鍵"が必要だ」という手紙を、信頼する友ふたり――ドナルドとグーフィーに残して……。

KEY-POINT

ローブの男の正体はアンセム

茶色いローブの男の正体は、本作の最終ボスである闇の探求者アンセム。ゼアノートのハートレスである彼は、肉体がない点を活かし、世界の壁を越えてきた。







「闇を恐れる事はないんだ！」



ドナルドとグーフィーが"鍵"と王様を探してディズニーキャッスルを出発したその夜、激しい嵐がデスティニーアイランドを襲った。世界を消しつつある闇の力が、この小さな島をも飲みこもうとしていたのだ。

イカダが心配で、離れ小島に駆けつけるソラ。そこにはリクとカイリもいたが、リクは外の世界に出られるのを喜びながら闇に身をまかせて姿を消し、秘密の場所にいたカイリもまた、ソラの胸に飛びこんだかと思うと、かき消えるようにいなくなる。そしてソラも、島にあふれる闇の化け物との戦いの果てに闇へと吸いこまれ、デスティニーアイランドから放り出された。ふたりを探しているときに現れた鍵型の不思議な武器、キーブレードを手にして……。

気がつけばソラは、故郷を闇に消された人々が身を寄せ合う街、トラヴァースタウンにいた。レオンという青年たちに出会ったソラは、闇の化け物——人の心を奪って闇に帰すハートレスと、自分が持つキーブレードについて教えてもらう。レオンたちの世界にいたアンセムという賢者の研究によると、キーブレードはハートレスに対抗できる、文字どおり世界の"鍵"となるもの。偶然とはいえソラは、「キーブレードに選ばれし者」として、世界の命運をにぎることになったのだ。

とまどうソラに、ちょうどレオンに会うべくトラヴァースタウンを訪れていたドナルドとグーフィーが、一緒に行こうと呼びかける。ソラは離ればなれになった友の手がかりを求めて、ドナルドとグーフィーは「"鍵"を持つ者に同行せよ」という王様の手紙に従いつつ王様を捜して——3人はグミシップに乗り、さまざまな世界をめぐる旅に出る。その様子を、闇の力で世界を支配しようともくろむ、マレフィセントたちヴィランズが見つめていた。









「僕たちは仲間だ！」



KEY-POINT

ソラのなかに隠れたカイリの心

デスティニーアイランドが闇に飲まれるさい、自分がプリンセスとしてアンセムに狙われていることを察知したカイリの心は、とっさに自身の身体を離れ、ソラのなかに逃げこんだ。以来、カイリの心はソラとともにありつづけ、互いにそれに気づかないまま、冒険をともにしていく。

KHI 2

“鍵穴”をめぐる旅、わかれていく道

～ワンダーランド／ディープジャングル／トラヴァースタウン／アグラバー／モンストロ／ネバーランド～



「お願い。鍵を閉じて。あなたにしか出来ない」







「ソラはキーブレードに選ばれた勇者なんだ」





「見ろ。おまえが遊んでいる間に、俺はカイリを見つけたぞ」

ソラたちが訪れた世界はどこも闇におびやかされており、闇の力を利用するヴィランズを倒してさまざまな世界の問題を解決していくと、キーブレードが反応する不思議な鍵穴が見つかった。レオンのもとにもどって話を聞いたところ、鍵穴はそれぞれの世界の心、ひいては“世界の中心”に通じており、キーブレードで各世界の鍵穴を閉じていけば、闇の侵攻を防げるという。

鍵穴を閉じて世界を救う決意も新たに、ソラがトラヴァースタウンでハートレスと戦っていると、なんとリクが現れた。ふたりは互いの無事を喜ぶが、カイリの行方はいまだわからない。にもかかわらず「キーブレードの勇者」としての活躍を誇らしげに語るソラに、リクは複雑な想いを抱く。そのままソラの前から失踪したリクは、「望みのものを見つけてあげる」というマレフィセントの言葉に乗せられて、ヴィランズへの協力を承諾する。

望みのもの――カイリとの再会のために、プリンセスの誘拐に荷担するリク。そうとも知らず鍵穴をめぐる旅をつづけていたソラは、おばけクジラのモンストロの腹のなかで、リクとふたたび顔を合わせる。心ある人形のピノキオを利用して一緒にカイリを助けよう、とリクはソラに提案。しかしソラは、たとえ人形が相手でもそうすることは良くないと言って断り、ふたりの道はハッキリわかれてしまう。

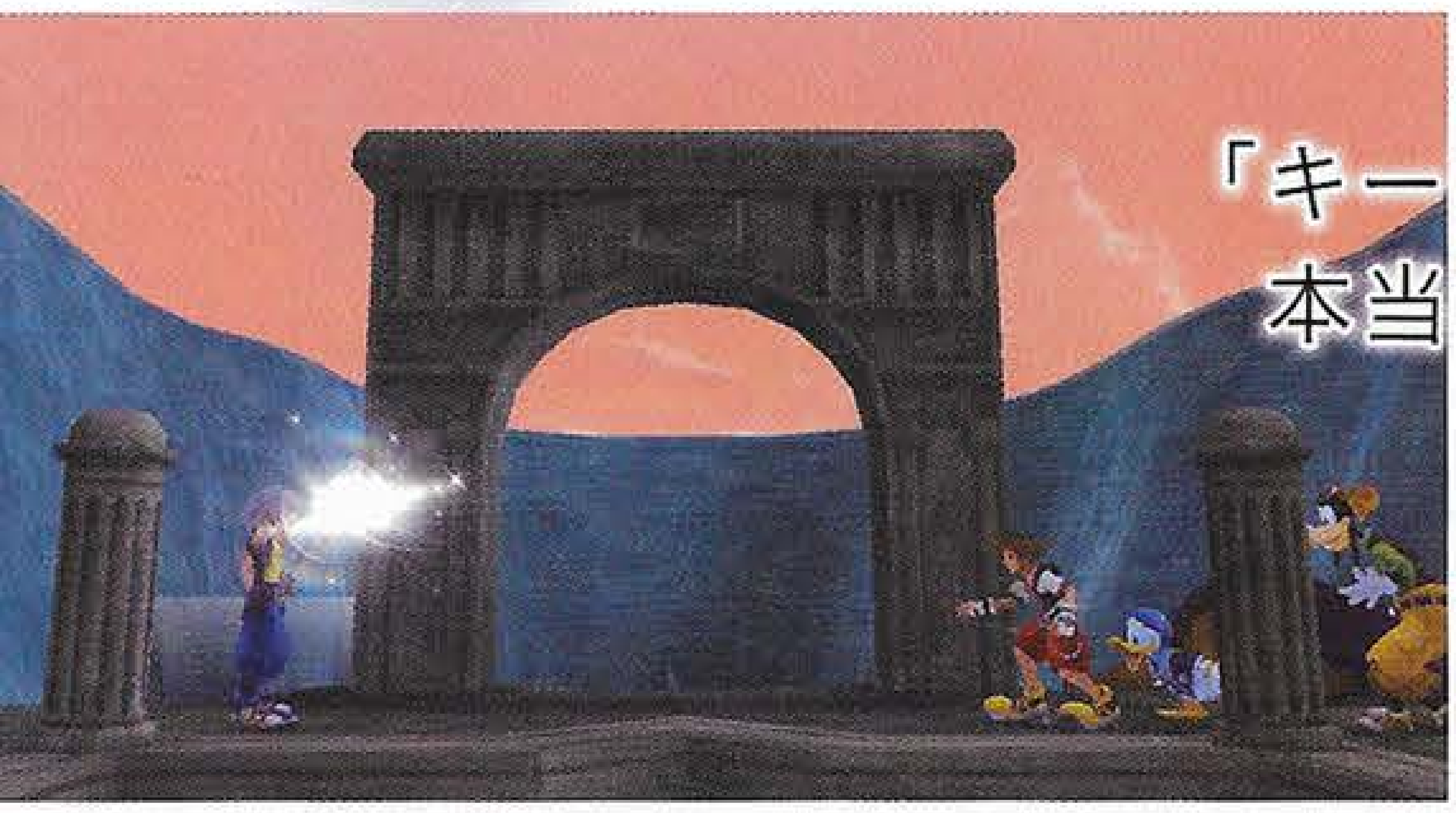
リクは苦悩していた。心をなくして抜けがらのようになったカイリが、ネバーランドで見つかったのだ。カイリを救おうと悩んだリクは、知識の宝庫だという“世界の中心”への扉をマレフィセントたちとともに目指すべく、ハートレスをあやつる力を会得。海賊船で航行中に、船長フックがとらえたソラと再会すると、カイリの現状を見せたあげくハートレスをソラにけしかけ、カイリを魔女の拠点――ホロウバスティオンへ連れ去ってしまう。もともとは親友たちのためを想って行動していたはずなのに、リクの心は確実に闇に染まりつつあった。

KH I

3

大切な者を救うため

～トラヴァースタウン／ホロウバスティオン～



「キーブレードが答えてくれる。本当の**勇者**が誰か！」









「僕、ソラといっしょに旅したいんだ。だって、**大事なともだち**だもんね」

リクは闇に染まり、カイリは心をなくしてしまった――変貌した友に想いを馳せ、無事に一緒に故郷へ帰れるのか不安に駆られるソラ。そんなソラの脳裏に、「どんな闇の奥にも光はある」というおとぎ話の記憶が浮かぶ。その記憶は、カイリの幼いころのものだった。カイリの存在を不思議とすぐそばに感じつつ、ソラはマレフィセントの城、ホロウバスティオンへ向かう。

ホロウバスティオンではリクが待ち受けていた。キーブレードの本当の持ち主は、ソラではなく自分だ――衝撃の事実を告げるリク。その言葉どおり、キーブレードはリクの手へと移り、「"鍵"を持つ者への同行」が使命のドナルドとグーフィーも、ソラのもとを去ってしまった。仲間も武器も失ったソラだが、恋人ベルとの再会を信じるビーストの姿に勇気づけられ、ともに自分の大切な者を救うべく、ビーストと力を合わせて城内を進んでいく。

城の奥ではマレフィセントとリクが、カイリを含む7人のプリンセスの心を使い、"世界の中心"への鍵穴を出現させようとしていた。カイリのもとへ急ごうとしてリクと対峙したソラは、闇の力で消されそうになる。そんなソラをかばったのは、リクについたはずのドナルドとグーフィーだった。王様の命令にそむいてでも自分との友情を取ってくれたふたりに勇気づけられ、「友とつながる心こそが自分の力」と宣言するソラ。そんなソラの心の強さを認めたキーブレードは、リクの手を離れ、今度こそソラのものとなる。

動揺したリクは、闇の力を駆使して挑みかかるも、力を合わせたソラたちにはかなわなかった。むなしく駆け去るリクに、茶色いローブの男が近づく。より強い心を得るには心を闇に開け――まんまとその言葉に従ったリクは、完全に心を闇に明け渡してしまう。



「**つながる心**が、俺の力だ！」



「我が名はアンセム。
闇の探求者」







「おまえなんかに
カイリの心を渡すもんか！」



「今度は私が助けなきゃ──。**ソラ**!!」



マレフィセントのもくろみどおり、ついに“世界の中心”へとつづく鍵穴が現れ、それを開く闇色のキーブレード──「人の心のキーブレード」も、プリンセスの心から生み出される。しかし、7人のプリンセスのうちカイリの心が欠けていたため、鍵穴もキーブレードも不完全だった。いらだちのなか、ソラを始末しようとして返り討ちにあったマレフィセントは、リクの差し金で闇に心を明け渡し、ドラゴンと化してみずからの闇に飲まれてしまう。

マレフィセントを退けたソラは、鍵穴のもとでついにカイリと対面するが、そこへすっかり邪悪な空気をまとったリクが立ちはだかった。「カイリの心はソラのなかに隠れている」と明かし、ソラのなかからカイリの心を無理やり引きずり出そうとするリク。否、彼はすでにリクではなく、その身体を乗っ取った茶色いローブの男──闇の探求者アンセムだった。

激しい一騎打ちのすえ、ソラはアンセムを撃退するが、鍵穴からはいまにも闇があふれ出そうとし、ソラが閉じようとしても鍵穴自体が不完全なためうまくいかない。自分の心ごとカイリの心を取り出せば──思うが早いか、己の胸に闇色のキーブレードを向けるソラ。その結果、カイリは目覚めて鍵穴が完成し、キーブレードは消えてプリンセス全員が心を取りもどすも、ソラは肉体を失い、ハートレスとなってしまう。

ハートレスとなってなお自我を保ち、仲間を追ってさまようソラ。そんな彼を救ったのはカイリだった。ふたりの絆の力が光となって、奇跡を呼び起こしたのだ。もとの姿を取りもどしたソラは、仲間とともにひとまずホロウバスティオンをあとにする。アンセムに身体を奪われつつも闇の力を抑えようと奮闘するリクを、かならず迎えに行くと誓って……。

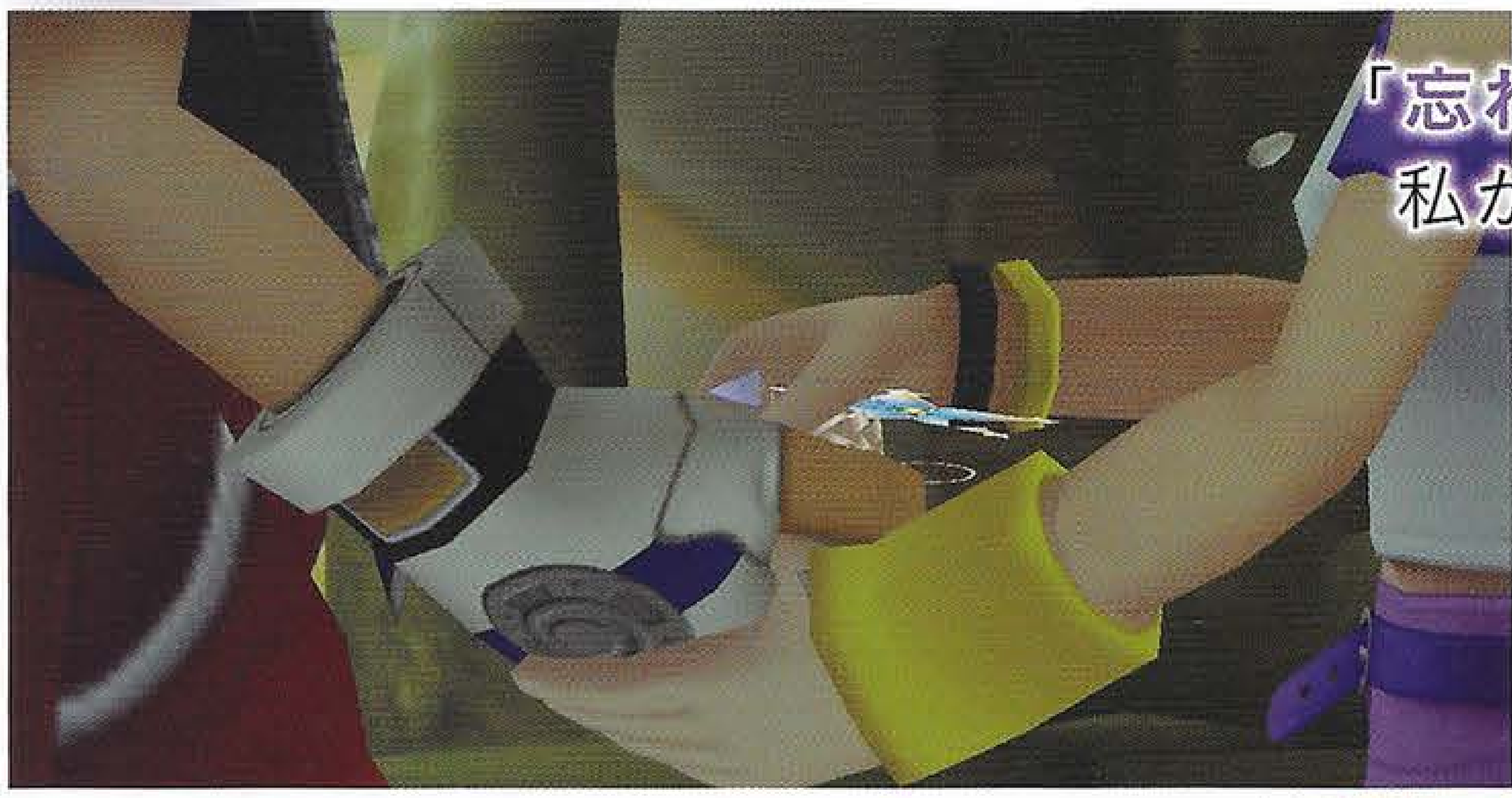
KEY-POINT

ソラのハートレス化で生まれたもの

強い心の持ち主がハートレスになると、対となるノーバディも生まれ落ちる（詳細は『KH II』で明かされる）。ソラがハートレスとなったさいは、ソラのノーバディであるロクサスがトワイライトタウンで誕生した。また、心に闇を持たないカイリにハートレスはいないが、彼女のノーバディであるナミネは、ソラの肉体と魂を媒介とすることで、ロクサスと同時に生まれている。

4 闇の奥の光を信じて

～トラヴァースタウン／ホロウバスティオン／エンド・オブ・ザ・ワールド～



「**忘れないで**。
私が、いつでもそばにいること」



「世界が消えても、僕らの心は**消えない**。
心があれば、ともだちのところに帰れる」





“世界の中心”へとつづく鍵穴がホロウバスティオンに現れた影響で、闇の力はいよいよ強まり、世界を覆い尽くそうとしていた。リクと3人一緒に、またデスティニーアイランドに帰れますように——そんな想いのこもったカイリのお守りを手に、最後の戦いへとおもむくソラ。一方、心が闇の世界へ弾き出されてしまったリクも、不思議な声に勇気づけられながら、闇の出入口となる扉を閉じる機会をうかがう。

ホロウバスティオンをふたたび訪れたソラはキーブレードで鍵穴を閉じるが、アンセムは“世界の中心”を目指して去ったあとだった。彼が向かったのは、闇に消えゆく世界の断片からなる地、“果てる世界”エンド・オブ・ザ・ワールド。その地で諸悪の根源のアンセムを倒せば世界はもとにもどり、人々はそれぞれの居場所に帰って、異なる世界の者同士はふたたび離ればなれになるだろう。本来存在しないはずのエンド・オブ・ザ・ワールドも形を失って、そこにいる者もどうなるかわからない。それでも友との心のつながりを信じて、ソラ、ドナルド、グーフィーは闇の中心を目指す。

「光への扉を開くのはキミ」——聞き覚えのある声に励まされてソラがエンド・オブ・ザ・ワールドの最後の扉を開くと、闇に消えゆくデスティニーアイランドで、リクの身体を完全に乗っ取ったアンセムが待ち受けていた。すべては闇から生まれ闇に帰る運命だと不敵に笑うアンセム。だが、ソラは、どんな闇の奥にも光はあると言い切り、アンセムに立ち向かう。“世界の中心”——世界中の心をつなげた大いなる心“キングダムハーツ”をめぐる戦いがはじまった。



KEY-POINT

リクとソラを励ます王様

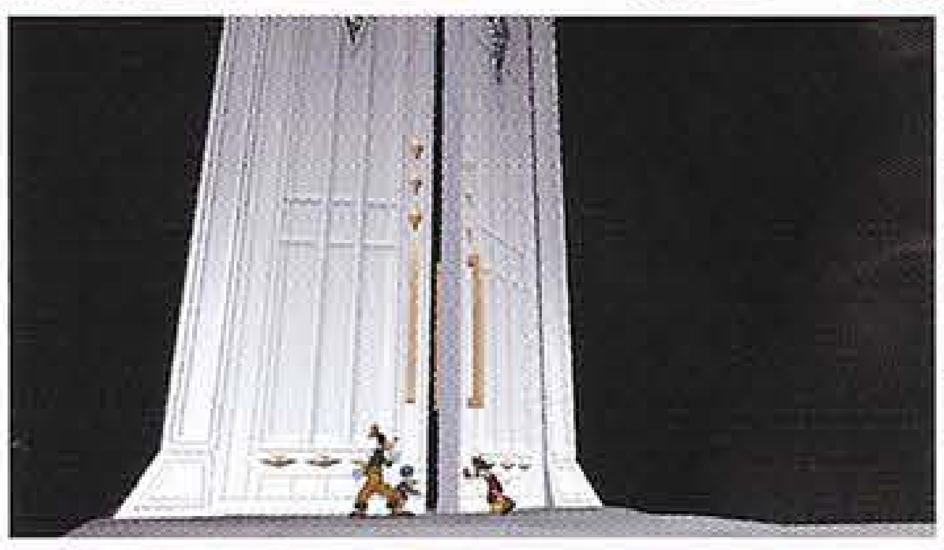
ダイブ・トゥ・ハートでソラに呼びかけたように、ここでも王様がソラとリクにエールを送る。リクとの会話はファイナルミックス版で追加されたもので、「この先の扉を閉じるには2つの鍵と2つの心が必要」という言葉は、エンディングで“キングダムハーツ”の扉を閉じるのに必要なのが「ソラと王様がそれぞれ持つキーブレード」と「ソラとリクというふたりの存在」であることを示す。



「心は弱いかもしれない。
闇に負ける時だってある。
でも——
闇の奥には**光**があるんだ！」

Ending







「さあソラ！
いっしょに鍵をかけよう！」





「俺はいつでもそばにいるよ。
これからも、ずっと。
必ず、ぜったい帰るから」



激戦のさなか、ついに"キングダムハーツ"の扉が、闇の奥底に現れた。ソラたちに敗れてなお闇の力を手にせんとあがき、扉に手を伸ばすアンセム。だが、"キングダムハーツ"の正体は光だとソラが断言した瞬間、闇を吐き出しつつあった扉の奥から、まばゆい光が放たれる。おとぎ話が伝えるとおり、闇の奥には光があったのだ。

光に包まれてアンセムは消えるも、扉からはふたたび闇があふれ出し、ソラ、ドナルド、グーフィーが力を合わせても防げない。そのとき扉の向こうの闇の世界から手を差し伸べたのは、リクと王様だった。ソラとリクの力――そして、ソラが持つ光の世界のキーブレードと王様が持つ闇の世界のキーブレードの力によって扉は閉じ、"キングダムハーツ"は封印される。

闇が去り、光の世界がつぎつぎともとの形にもどっていくなかで、ソラとカイリはつかの間の再会を果たした。「かならず帰る」と誓い、彼方へと消えるソラ。ひとりデスティニーアイランドに帰ったカイリは、「秘密の場所」に刻まれた落書きを見て互いの想いをかみしめ、再会の日を信じて、ソラとリクの帰りを待つ。

そうして人々が日常を取りもどしたころ――。

光と闇の狭間の世界に残ったソラ、ドナルド、グーフィーは、いまも闇の世界にいるはずの王様とリクを捜して、どこまでも伸びる道をあてどなく歩いていた。そんな3人の前に、王様のペットのプルートが、王様の手紙をくわえて現れる。あわててプルートを追って駆け出すソラたち。そこにかならず、大切な人へとつづく光への扉があると信じて……。



キングダム ハーツ
チェイン オブ メモリーズ

訪れる者の記憶を映す城を舞台に
ソラとリクがそれぞれの戦いに挑む

“キングダムハーツ”をめぐって闇の探求者アンセムと死闘をくり広げたソラたちは、戦いのすえに離ればなれになった王様とリクを捜す旅をつづけていた。旅の途中、3人は「忘却の城」と呼ばれる奇妙な城にたどり着く。城内を進むうちに、記憶をあやつる少女ナミネの力で偽りの記憶をすりこまれ、本当の思い出をつぎつぎと忘れていってしまうソラ。一方そのころ、ソラに呼応したリクも忘却の城にたどり着き、城の地下深くから歩み出そうとしていた。

Side:Sora ソラ編

KH COM Side:Sora

序 記憶を映し出す城

～1階～



「手に入れるかわりに失い、
失うかわりに手に入れる。
それが『忘却の城』だ」





闇の世界に残されたリクと王様を捜し出すために、ソラ、ドナルド、グーフィーは旅をつづけていた。ある夜、ソラたちは黒コートの人物に導かれ、不思議な城にたどり着く。そこは忘却の城と呼ばれる、何かを手に入れるかわりに別の物を失う場所だった。記憶から作り出されたカードを渡されたソラは、「大切な人に再会したければ進め」という男の言葉に従い、城の奥へと進んでいく。

KH COM Side:Sora

I 失われる記憶と記録

～1階／2階／3階／4階～







「眠っていた記憶がめざめる時、おまえは、おまえじゃなくなるかもな」



「行った場所や見たものは忘れるかもしれないけど、友達のことは忘れないよ」



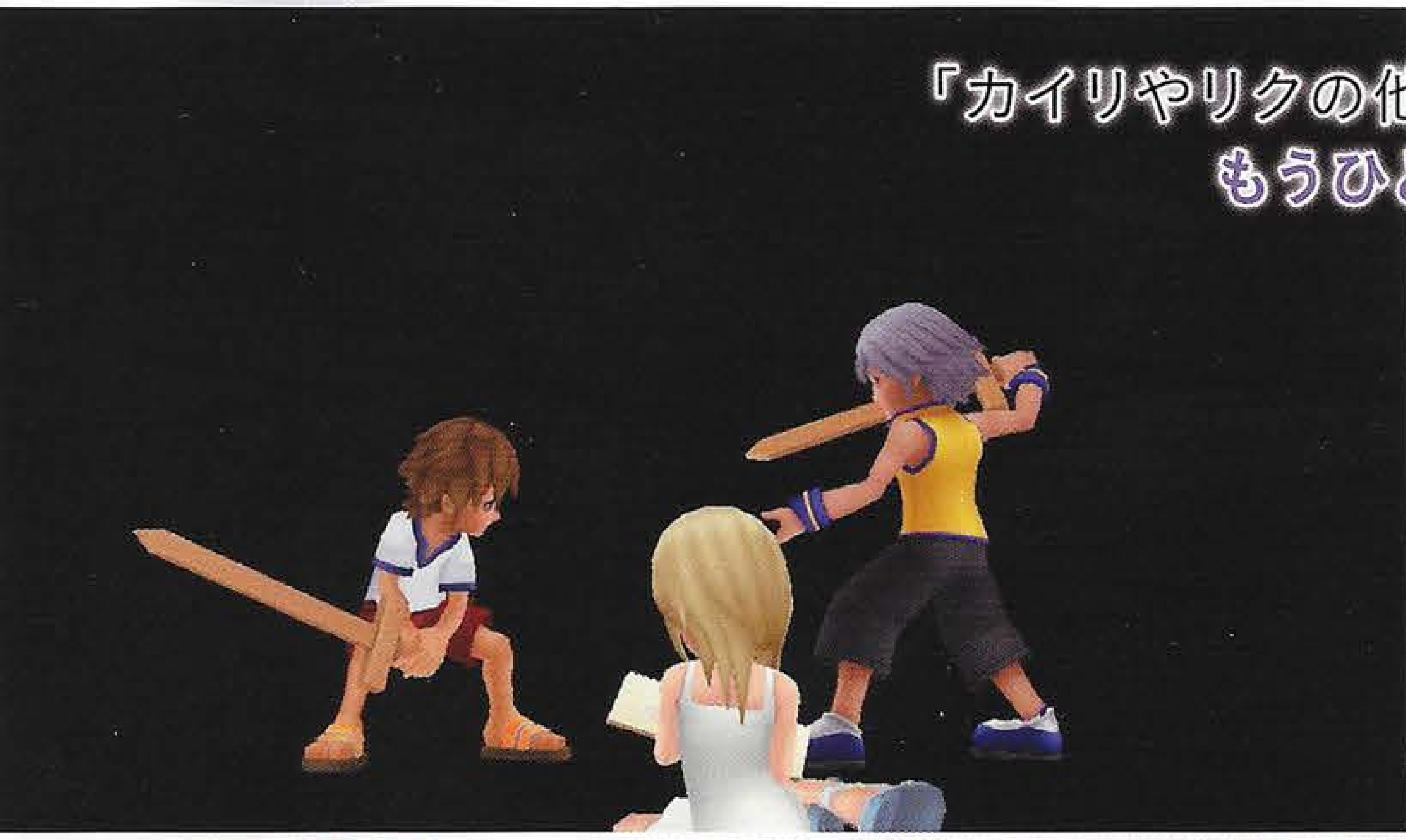
開いた扉の先には、どういうわけか、かつてソラが旅した世界の街並みが広がっていた。しかし、顔なじみのはずの住人たちはみな、ソラとは初対面だと言い張る。どうやら、街も住人もすべて、ソラの記憶から生まれた幻影らしい。とまどいを覚えつつその世界をあとにしたソラたちの前に、黒コートの男の仲間のひとり――アクセルが現れ、襲いかかってきた。ソラの実力を確かめたアクセルは、「ソラがソラではなくなる」という忠告めいた言葉を残してその場を去る。

城内を進み思い出のなかの世界をめぐるうちに、ソラたちは、自分の記憶があやふやになっているのに気づく。確認のために過去の冒険を記録したジミニーメモを見返すと、なんとメモは白紙になっていた。手に入れるかわりに失う――城の入口で聞かされた言葉の意味を思い知り、このまま先へ進めばリクやカイリのことも忘れてしまうかもしれないと不安になるソラ。そのとき、見知らぬ白い服の少女が、ソラの記憶のなかに一瞬だけ浮かび上がる。黒コートの人物たちの組織"機関"の差し金で、ソラたちの記憶に異変が起こりはじめていた。

KH COM
Side:Sora
2

記憶のなかの少女、その名はナミネ

～4階／5階／6階／7階／8階／9階～



「カイリやリクの他に、
もうひとり仲がよかった子がいてさ」







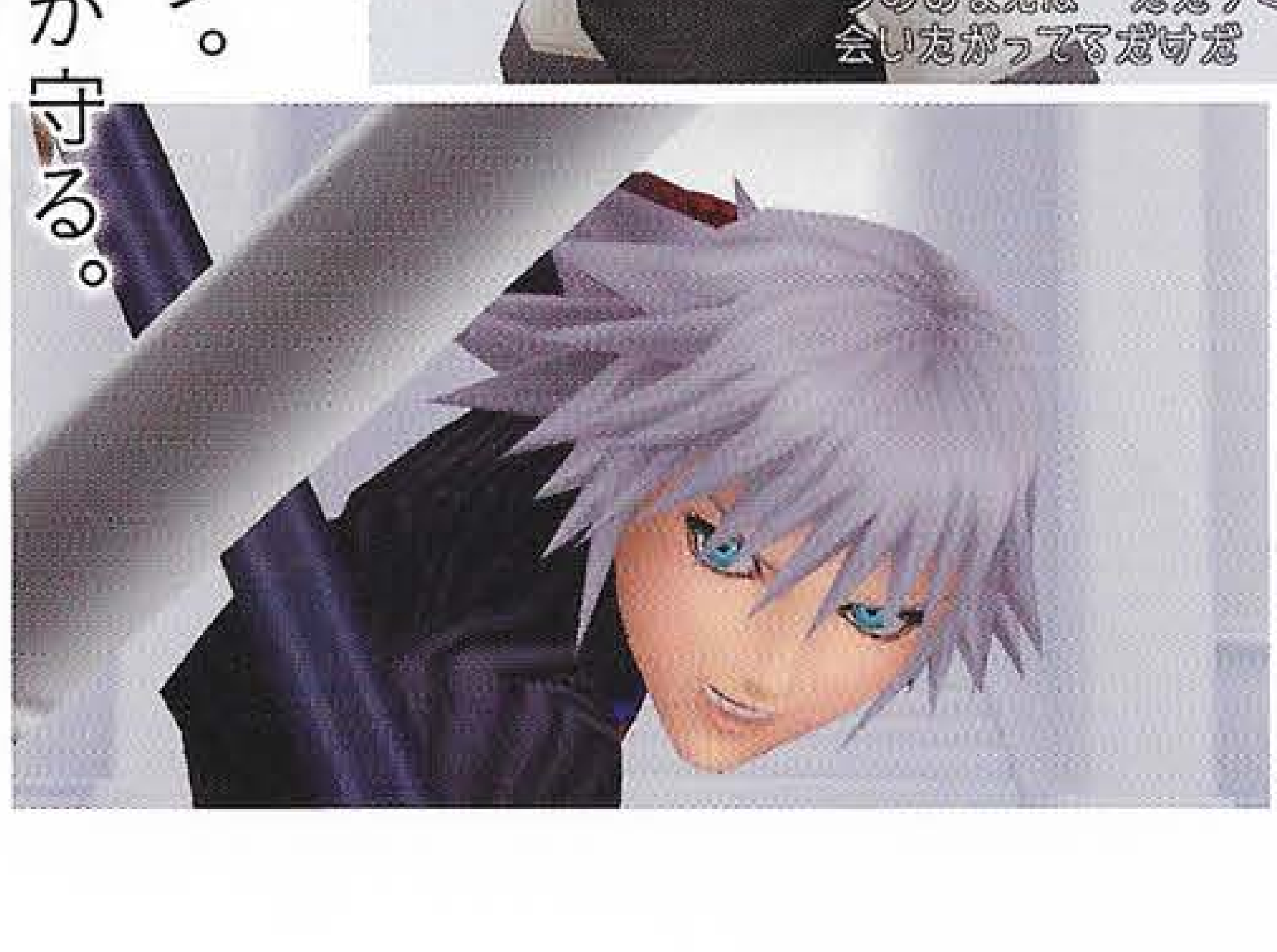




「ほら、思い出してごらんよ。
ソレってな～に？
誰があんたに渡したの？」



「帰れよ、ソラ。
ナミネは俺が守る。
ナミネに近づく奴は――
俺の敵だ！」



ふとソラは、カイリやリクのほかにもうひとり、絵を描くのが好きでおとなしい女の子が故郷にいたことを"思い出し"つつあった。彼女についてもっと知るべく、先を急ぐ一行。そんなソラたちの前に、"機関"の一員ラクシーヌが現れた。彼女との戦いのさなか、記憶のなかの少女の名前がナミネであることを"思い出す"ソラ。しかもラクシーヌによれば、ナミネはこの城にとらわれているという。ナミネを助けなければとあせりはじめたソラは、足早に城の奥を目指す。

ナミネに会いたい一心で突き進むソラの前に現れたのは、ソラの親友であるリクだった。かつての友情をすっかり忘れた様子で、ナミネを守るためだと言ってソラに敵意を向けるリク。豹変した親友の言動に落ちこみながらも、ソラは「自分とリクとナミネの3人はいつだって一緒だった」と思い直し、城の奥へ去ったリクを追う。しかしソラは気づいていなかった。ナミネについての記憶がよみがえったぶん、自分たちの記憶からカイリの存在が失われていることに……。

本当に大切なのは誰？

～9階／10階／11／12階～

「さあ、どうする？　このままでは、
おまえの**勇者**が消されてしまうな」





「**記憶という鎖**に縛られ、
自分の心を信じなければ、
心を捨てたも同じこと」







ソラを忘却の城へ導いた人物——忘却の城の責任者マールーシャは、ソラの記憶の改変をさらに進めるようナミネに命じていた。彼女の力で己の記憶がゆがめられていることに気づかず、ソラはナミネにまつわる記憶をつぎつぎと“思い出し”ては彼女への想いを募らせていく。そんなソラの前に、マールーシャに反感を抱く“機関”の一員ヴィクセンが現れ、ソラが持つ“裏の記憶”の存在をほのめかす。その記憶を映し出した世界——トワイライトタウンにて、ヴィクセンはソラの記憶が偽りで塗りつぶされていることを示唆するが、多くを語る前にアクセルの手によって消滅させられてしまう。

トワイライトタウンをあとにして城内を進むソラの前に、またもやリクが立ちはだかる。リクとソラがそれぞれナミネと個人的にかわしたはずの約束や、その思い出の品が、寸分たがわず同じであることにとまどうソラ。それに対してリクは、ソラの記憶とお守りが偽物なのだと言い張り、襲いかかってくる。からくもソラがリクを退けると、リクが落とした星形のお守りは、デスティニーアイランドのカードに変化した。

そのカードによって作られた幻の故郷で、ソラはついにナミネとめぐり会う。しかし、ナミネは「ソラの記憶のなかにいるのは、本当は自分ではない」と告げ、一番大切な人を思い浮かべるようソラにうながす。そのときソラは、記憶のなかでナミネにすりかわっていたカイリの姿をかすかに思い出した。

「君の胸には、私はいないの」
「誰の胸にも、私はいないの」
「私は**どこにもいなかったの**」





KEY-POINT

ソラが持つ“裏の記憶”

ソラの心に眠る裏の記憶とは、「ソラのノーバディであるロクサス」の記憶を指す。ソラが、訪れたことのないトワイライトタウンに懐かしさを覚えるのは、その地がロクサスが生まれ落ちた世界だからだ。

KH COM Side:Sora 4

嘘の思い出と偽りなき心

～12階／13階～

他人の記憶を操作して偽りの思い出を作り上げる──それがナミネの能力だった。ソラを敵視していたリクも、リクの姿をしたレプリカ人形にナミネが偽りの記憶を植えつけたものだという。ソラたちはすべてを明かしたラクシーヌを打ち破り、改めてナミネから事情を聞く。

ナミネは、マールーシャにおどされてソラたちの記憶を改変していたことを謝罪するが、ナミネとの思い出が嘘だったとわかっても、彼女を守りたいというソラの心は変わらなかった。マールーシャを倒せば、ナミネの力で自分たちの記憶をもとどおりにできると知り、ソラとドナルド、グーフィーは忘却の城の最上階へと向かう。

ナミネの力でソラをあやつり"機関"を乗っ取るというマールーシャの計画を、"機関"の命で調査を行なっていたアクセルは見抜いていた。裏切り者であるマールーシャの始末をはかるアクセルだが、マールーシャはナミネを人質に取り、ソラにアクセルの相手をさせる。アクセルを退けたソラたちは、自我を取りもどしたリク＝レプリカの加勢を受けてナミネを救出。マールーシャを追いつめ、いよいよ最後の決戦に挑む。





「嘘の思い出だったとしても、
約束はまだ、俺の胸にある。
だから、守るんだ」







「一切の心が消えた無の世界──
お前の心を、空しく散らせ！」

KEY-POINT

「レプリカ計画」とマールーシャの計画

忘却の城でソラの記憶をバラバラにするというのは、そもそもはXIII機関の計画。XIII機関は、キーブレード使いの能力をレプリカ人形にコピーする「レプリカ計画」(→P.144)の一環として、"キーブレードの勇者"ソラの記憶を奪おうとしていた。マールーシャはこの計画に乗じて、ソラを己の手駒にすべく、彼に偽りの記憶を刷りこませてあやつるようナミネに命じたのだ。

KINGDOM HEARTS CHAIN of MEMORIES

Ending

マールーシャを破り、最上階の鍵穴を閉め、忘却の城での戦いに終止符を打つソラ。あとはナミネがソラたちの記憶をもとどおりにするのみだったが、そのためにはソラたちが忘却の城での出来事、ひいてはナミネのことを忘れる必要があった。ナミネはソラに問いかける。忘却の城での記憶をなくすかわりにもとの思い出を取りもどすか、城での記憶を残すかわりに大事な思い出をなくしたままにするか──。悩んだすえに、ソラは記憶をもとどおりにすることを選ぶ。

目覚めたらナミネにお礼を言おうと決心し、ソラ、ドナルド、グーフィーの3人は眠りにつく。いつかナミネと再会し、もう一度友だちになれると信じて……。







「大丈夫。ソラは私を忘れるけど──
約束があるから、戻ってこられる」

Side:Riku リク編

KH COM Side:Riku 序 リクを招く声

～光と闇のはざま～

「こんなところで眠ってるのは、退屈だからな」







“キングダムハーツ”の扉を闇の世界側から閉じたリクは、光と闇のはざまに流れ着いていた。謎の声の呼びかけで眠りから目覚めたリクは、手にしたカードに運ばれるかのように、忘却の城の地下深くにたどり着く。

KEY-POINT

リクを導く「アンセム」

リクを目覚めさせた声は闇の探求者アンセムのものだが、その声の主は実際はアンセムではなくディズという男。リクを闇と戦わせるべく、アンセムのふりをして接触してきたのだ。ちなみに、リクのなかにひそむアンセム(→P.129)がリクのことを「おまえ」と呼ぶのに対し、ディズが扮したアンセムは「君」と呼ぶ。

KH COM Side:Riku I 偽物と本物

～地下12階／地下11階／地下10階／地下9階／地下8階／地下7階／地下6階～







「真に貴重な存在は――闇の勇者、リクなのだ」





「ナミネの力で、あんたにリクの記憶を植えつけるのよ」

リクの記憶から作られた世界には、ハートレスやヴィランズといった闇の住人しかいなかった。動揺するリクに「君の心に闇しか残っていないせいだ」と告げる謎の声の主――闇の探求者アンセムは、闇を受け入れろと迫ってくる。しかし、どこからか聞こえた王様の声に励まされ、アンセムを退けたリクは、闇に屈することなく城を最後まで進もうと決意を固める。

地下の一室ではゼクシオン、レクセウス、ヴィクセンの3人が、城内に現れたリクの気配を感じ取っていた。ヴィクセンは光と闇のはざまに立つリクに興味を抱き、彼のデータをもとに作り上げたリクのレプリカを、リクのもとへ差し向ける。闇の力を恐れずに振るうリク＝レプリカをかろうじて追い返したリクは、アンセムの「闇を恐れる君のほうこそ偽物なのではないか」という言葉を否定するためにも、ひたすら先を目指す。

一方、地下の一室へもどったリク＝レプリカは、ヴィクセンに連れられて地上を訪れ、その場でナミネに記憶を操作されてしまう。そして、“ナミネの幼なじみのリク”に作りかえられたのち、ナミネを守るべく、城内をのぼってくるソラのもとへ向かうのだった。

闇の力に立ち向かって

～地下5階／地下4階／地下3階～



「光が道を見失うとき――
闇が役立つかもしれん。
俺たちは**闇を手に入れる**のだ」



「おまえが私を思うほど
私の復活は近づき――
やがてめざめた私は――
支配するのだ！」





おまえの心を――



「だから光を恐れないで。
そして闇に怯えないで。
ともに**君の力**になるから」



ソラを我がものにしようとするマールーシャへの警戒を強めていたゼクシオンとレクセウスは、“機関”の目的達成に必要な“キーブレードの勇者”を奪われたときに備えて、リクを手中に収めようとする。力ずくで従えるべく襲ってきたレクセウスにリクは応戦するが、気を失った拍子に身体を闇の探求者アンセムに乗っ取られてしまう。変貌したリクに一瞬のうちに切り捨てられたレクセウスは、リクの身体に宿っているものの正体に勘づき、己のうかつさを悔いながら消滅する。

闇に落ちたリクの意識に、アンセムの強大な思念が迫ってきた。そのとき、王様の意思がリクのもとへ駆けつけ、間一髪のところでリクはアンセムの支配から解放される。ずっとそばにいてくれている――意識を取りもどしたリクは、王様の心を確かに感じつつ城内を進む。

そのころ、地上ではマールーシャがソラによって倒されていた。マールーシャが消え、リクを手に入れる必要がなくなったゼクシオンは、目ざわりな存在となったリクを始末するべく、滅びゆく故郷の光景を見せつけたうえで、リクを光の幻術で包みこむ。光の力で消されるのか――そう観念しかけたリクの耳に届いたのは、“カイリ”の声だった。光も闇も力になるという彼女の言葉に勇気づけられたリクは、闇の力で幻術を打ち破ってゼクシオンを退ける。ゼクシオンは地下の一室へ逃げこむものの、彼の存在をよしとしないアクセルが差し向けたリク=レプリカに吸収されて消滅した。

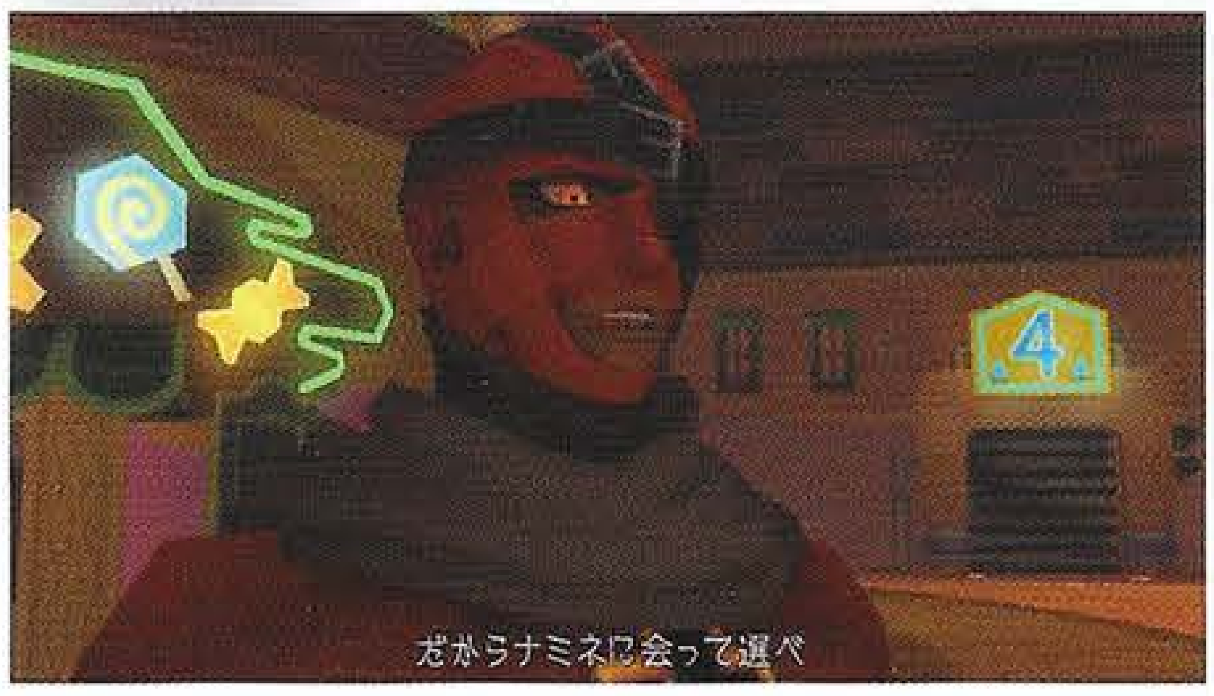
KEY-POINT

リクが聞いた“カイリ”の声

光に飲みこまれたリクに届いたカイリの声は、じつはナミネのもの。彼女は、リクに闇に立ち向かってほしいと願って、カイリの声と姿を借りて彼の心に呼びかけたのだ。

アンセムとの決着

～地下2階／地下1階～





「おまえが存在するかぎり、
俺は永久に影なんだッ！」





「自分の力でケリをつけないと
意味がないんだ」

リクが闇を恐れなくなったぶん、彼のなかにひそむアンセムの力も増大していった。そんなリクの前に、それまでアンセムに扮していた謎の男ディズが姿を現す。ディズの言葉に従いナミネのもとへ向かおうとするリクの行く手をはばんだのは、自分が偽物だということを思い出したリク＝レプリカだった。己の存在意義を賭けて戦いを挑むも、ついに偽物という宿命から逃れられなかったリク＝レプリカは、"本物"の言葉を聞きながら、どこか満たされた表情で闇のなかへと溶けていく。

ナミネのもとでは、ソラが記憶を取りもどすための眠りについていた。「ソラと同じように眠りにつけば、リクの心にひそむアンセムを私の力で永遠に閉じこめることができる」と告げるナミネ。しかし、リクはその提案を断り、己のなかにひそむ闇に立ち向かう道を選ぶ。自分の力で決着をつけることを望んだリクは、闇の世界から駆けつけた王様の協力をあえて断り、忘却の城の地下1階で単身アンセムと対峙する。

Ending







「君と一緒に
歩きたいんだ」

激闘のすえリクはアンセムを破ったものの、その呪縛を完全に断ち切ることはできなかった。闇を抱えながら歩もうとするリクの姿に、光と闇の新たなありかたを見いだした王様は、リクとともに旅をしたいと言って彼に手を差し伸べる。友情を深め合い、ディズから受け取った黒いコートを身にまとって忘却の城をあとにするリクと王様。光と闇が触れ合う夜明けの道を、ふたりは進みゆくのだった――。

Chapter 1 Character File
Chapter 2 World Guide
Chapter 3 Main Story Playback
Chapter 4 Art Gallery



キングダム ハーツ 358／2 Days

自分はいったい何者なのか——
記憶を持たぬノーバディの少年は己の正体に悩み苦しむ

“人の心のキングダムハーツ”を完成させるべく暗躍する集団、「XIII機関」。その一員となったロクサスは、組織の命令にただ従うだけの日々を送りながら、教育係のアクセルや新メンバーのシオンと友情を深めるなかで、自分が何者なのか疑問を持ちはじめていく。やがて、ささいなすれちがいから親友3人の関係はくずれ、シオンとロクサスはそれぞれ大きな決断をくだすことになる。これは、少年たちが、ときに笑い、ときに苦悩した、358日間の物語——。

KH Days

序 友を待つ黄昏時

～DAY 255～



「俺が機関に入ってから、今日で**255日目**なんだ」

ロクサスがⅩⅢ機関に入ってから255日目のこと――。

トワイライトタウンにある時計塔で、ロクサスは機関に入ってからの日々を思い出しつつ、親友であるアクセルとたわいのない会話をかわしていた。それは彼らにとって、ふだんどおりのはずの夕方。しかし、もうひとりの親友――ロクサスが機関に入って7日目に出会った"14番目"のシオンは、いつまでたっても現れなかった……。





KH Days

Ⅰ はじめての友だち

～DAY 7→DAY 26～



「なあ、ロクサス。次の任務、終わったら、またここで**アイス**食べようぜ」





「驚いた。シオンも**キーブレード**が使えるんだな」

記憶がないままトワイライトタウンで目覚め、ⅩⅢ機関の一員に迎えられたロクサスは、機関に入って7日が経過したころから、機関で唯一キーブレードが使える者として、ハートを回収する任務をこなしはじめた。しだいに、ロクサスと教育係のアクセルは友情を深め、任務のあと時計塔で一緒にアイスを食べる仲になっていく。

やがてアクセルが任務で忘却の城へ向かうと、彼が不在のあいだ、ロクサスは14番目の機関メンバー――シオンとともに任務をこなす機会が増えていった。無口なシオンとの接しかたがわからないロクサスだったが、ある日、シオンもロクサスと同じくキーブレードを使えることが判明し、ふたりは一気に打ち解ける。アクセルがもどったら3人でアイスを食べようと約束を交わすふたり。しかしその翌日、忘却の城に行ったメンバーが消滅したとの報を聞いたロクサスは、任務を終えて帰還するさい、突然意識を失ってしまう。



KEY-POINT

ロクサスが倒れた理由

ロクサスが意識を失ったのは、忘却の城においてソラが記憶を操作されたのが原因。ロクサスが倒れた日は、ちょうどソラが忘却の城を進んでいるさなかであり、ソラのノーバディであるロクサスは、本体であるソラの記憶が改変された影響を受けたのだ。

キーブレードの使い手として

～DAY 49→DAY 171～

「シオンがロクサスの友だちなら、
シオンは俺の**友だち**だ」











ロクサスが意識を取りもどしたのは、倒れてから20日以上も過ぎたあとのことだった。休養から復帰して淡々と任務をこなしていたロクサスは、忘却の城で消滅したと思われていたアクセルと、トワイライトタウンで再会を果たす。アクセルの無事を喜ぶロクサスだったが、今度はシオンが行方をくらませる。捜索のすえに発見されたシオンは、なぜかキーブレードを使えなくなっていた。キーブレードが使えなければハートを回収できず、XIII機関にとって用なしになってしまう――そう言ってシオンは落ちこむものの、アクセルの提案に従い、つねにロクサスと一緒に行動することでどうにか任務をこなしていく。

ロクサスのサポートのかいあってシオンはふたたびキーブレードを使えるようになり、いつしか任務後に時計塔で3人そろってアイスを食べつつ話をするのが、ロクサスたちの新たな日課となっていた。会話のなかで、XIII機関のメンバーは人間だったころの記憶を持っていると知り、驚くロクサスとシオン。自分はどんな人間だったのだろうと、ノーバディになる前の記憶がないふたりは考えをめぐらせる。

そんなある日、調子を取りもどしつつあったシオンは、任務の討伐対象だった偽機関員――リクに敗北してしまう。リクに「お前のキーブレードは偽りのものだ」と言われ、ロクサスへの劣等感から自室でふさぎこむことが多くなるシオン。そして、再度任務に失敗した彼女は、眠ったまま目覚めなくなってしまう。



「おまえが何者かは知らないが、
しょせん偽りでは俺には勝てない。
このキーブレードも**まやかし**だ」



KEY-POINT

シオンがキーブレードを使えた理由

シオンは、キーブレード使いの能力をコピーする目的で作られたレプリカ人形であり、ソラの力を奪って成長する素体として生み出された。そのため、ソラのノーバディであるロクサスと任務をともにした結果、シオンはロクサスの力を吸収してキーブレードを使えるようになる。しかし、ロクサスが長い眠りから目覚めたときには、それまでに吸収した力が逆流を起こし、一時的にキーブレードが使えなくなってしまう。その後、シオンがふたたびキーブレードを使用可能になったのは、ロクサスのキーブレードを使ったことで能力の再コピーが完了したからだ。



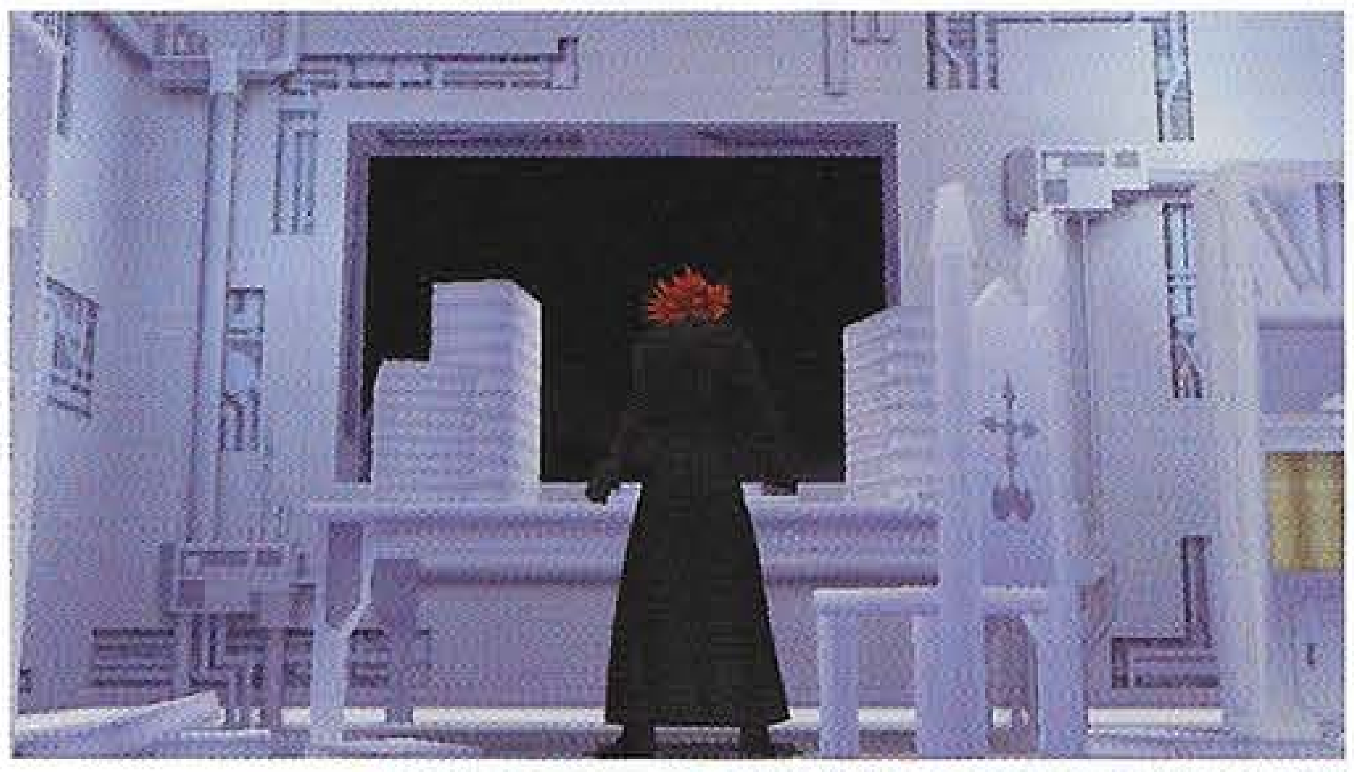
「もし、あたしが
ロクサスと同じように**特別**だとしても――
ロクサスとあたしはきっと違う」

シオンの秘密

～DAY 172→DAY 256～







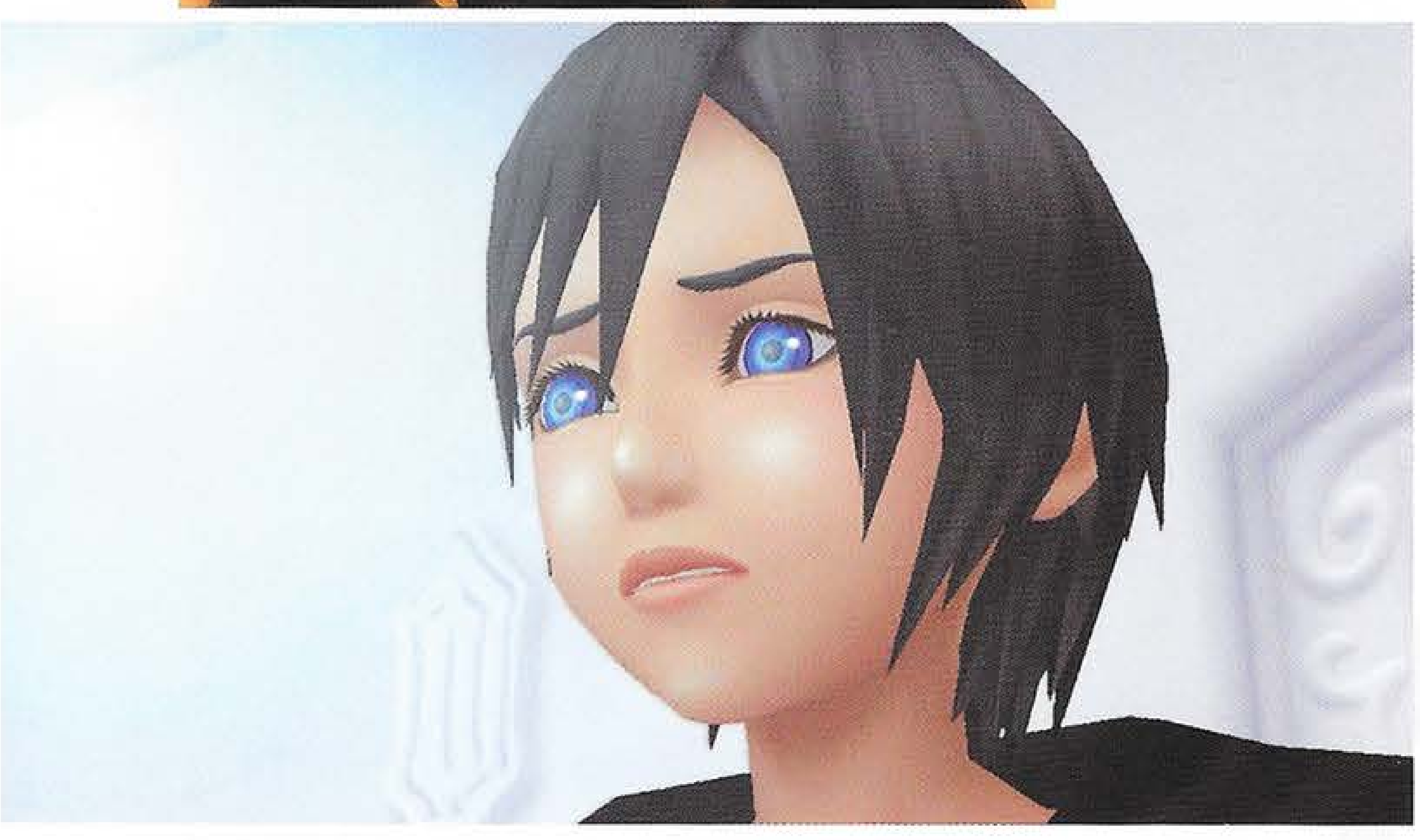
「ちゃんと記憶しとけ。
俺たちは**親友**だ」







「ここにはあたしの**生まれた秘密**が
あるはずなの」



「そんな――。
あたしは、**あたしじゃなかった**の？」

20日間の昏睡を経て目覚めたものの、任務中にふたたび倒れてしまうシオン。彼女の脳裏には、ソラの冒険の記憶がつぎつぎと浮かんでいた。ロクサスとアクセルに見舞ってもらい、一時は安らぎをおぼえたシオンだが、不可解な夢に日々悩まされるようになる。その夢がノーバディになる前の自分の記憶に関係があるのではないかと考えた彼女は、独自で調査し、機関のメインコンピュータから忘却の城に関する情報を入手する。

自分の出生の秘密が忘却の城にあるにちがいないと確信したシオンは、任務を無視して城を訪れる。以前にヴィクセンの研究資料を通じてシオンの正体を知っていたアクセルは彼女を制止するが、シオンは聞き入れずに城の奥へ進み、ついに己の秘密――自分がキーブレード使いの能力をコピーするためのレプリカ人形であることを知ってしまう。

時を同じくして、ロクサスはいつもの時計塔で親友たちがくるのを待っていた。アクセルは遅れて現れたものの、いつまでたってもシオンは姿を見せない。シオンがⅩⅢ機関を脱走したのは、その翌日だった。

機関に背を向けて

～DAY 276→DAY 355～



「よーやく見つけたぜ、シオン」



「このままでは――
ソラは目覚めません」







ロクサスとアクセルは、脱走したシオンを捜して連日各地をまわっていた。最後の捜索場所である忘却の城に入ったとたん、ロクサスは激しい頭痛に襲われ、逃げるように城をあとにする。翌日、トワイライトタウンでついにシオンを発見したロクサスは、XIII機関にもどってくるよう彼女を説得するが、シオンはロクサスにキーブレードを向けて拒絶の意思を示す。うろたえるロクサスをよそに、その場に現れたアクセルはシオンを無理やりとらえ、機関の城へ連れ帰ってしまう。

そのころ、忘却の城での冒険でバラバラになったソラの記憶を回復させていたナミネは、記憶の修復の進行が止まったことにあせっていた。ロクサスを通じてソラの影響を受けたシオンが、キーブレードを使う能力だけでなくソラの記憶までも吸収してしまったため、ソラが目覚められなくなっていたのだ。ソラの力を必要とするディズは、ロクサスとシオンを強引にでもソラのもとへ連れてくるように、リクにうながす。

一方、シオンがXIII機関にもどってからというもの、ロクサスの力は弱まるばかりだった。必要以上に彼の力を吸収していることを悟ったシオンは、ロクサスを助けるために自分がどうすべきかを考えたすえ、ふたたび機関の城から姿を消す。

シオンの二度目の脱走を機に、XIII機関のリーダーであるゼムナスは、シオンを利用した「レプリカ計画」の全容をメンバーに明かす。忘却の城でバラバラにしたソラの記憶と能力を吸収させ、機関の手駒となるキーブレード使いを手に入れる――そのために作られたのがシオンというレプリカ人形だった。信じがたい事実を知らされたロクサスは、シオンと同じく「特別なノーバディ」と言われてきた自分自身の正体に疑問を抱く。ロクサスはたまらずアクセルを問いつめるが、アクセルは言葉をにごして何も答えようとはしなかった。自分が何者なのかを確かめるべく、ロクサスはXIII機関を抜け出す。



「自分が自分のことを知って
何がいけないっていうんだよ！」



KH Days

5 ソラへ帰るために

～DAY 356→DAY 358～





「お前らが何度逃げようが、
俺が何度だって
連れて帰ってやる！」







「ロクサス——
これが、ソラだよ」

シオンは、自分の記憶を本来の持ち主であるソラへ返すために、トワイライトタウンにいるナミネのもとを訪れた。そこへ、シオンをとらえるよう命令を受けたアクセルが現れる。命令に従ってではなく、親友を消したくないがゆえにシオンを連れもどすアクセルだったが、シオンの覚悟はすでに決まっていた。

つぎの日、XIII機関から離れたものの行く当てのないロクサスは、トワイライトタウンの時計塔で途方に暮れる。そこにシオンが現れるが、その顔は、ロクサスの知る少女のものではなく、彼女が吸収した力の持ち主であるソラのものに変貌していた。己の消滅を願うシオンはロクサスに戦いを挑み、彼に倒されることを選ぶ。最期に、"キングダムハーツ"を解放してほしいとロクサスに言い残し、シオンは空に消えていく。

シオンの消滅は、すべての人々から彼女に関する記憶が失われることを意味していた。薄れゆく記憶のかけらをたぐり寄せ、シオンが残した最期の願いをかなえるべく、ロクサスは機関の城を目指す。そんな彼の前に、ソラの記憶を取りもどすためにロクサスをとらえようとするリクが立ちはだかった。

Ending







「俺の夏休みは、
あと7日間で
終わる——」

シオンとの決別を機に手にした2本のキーブレードで、一度はリクを圧倒するロクサス。しかしリクは、ロクサスがソラのノーバディであることを確かめると、己のなかにひそむ闇の力を解放し、ロクサスを打ち負かした。とらえられたロクサスは、ディズの手によって偽りの記憶とかりそめの街を与えられ、ソラが目覚めるまでの日々を送ることになる。

XIII機関で過ごした1年近くの出来事をすべて忘れ、トワイライトタウンで目を覚ました朝、ロクサスは友人たちが待つ「いつもの場所」へと駆けていく。

ロクサスに残された夏休みは、あと7日——。














キングダム ハーツII

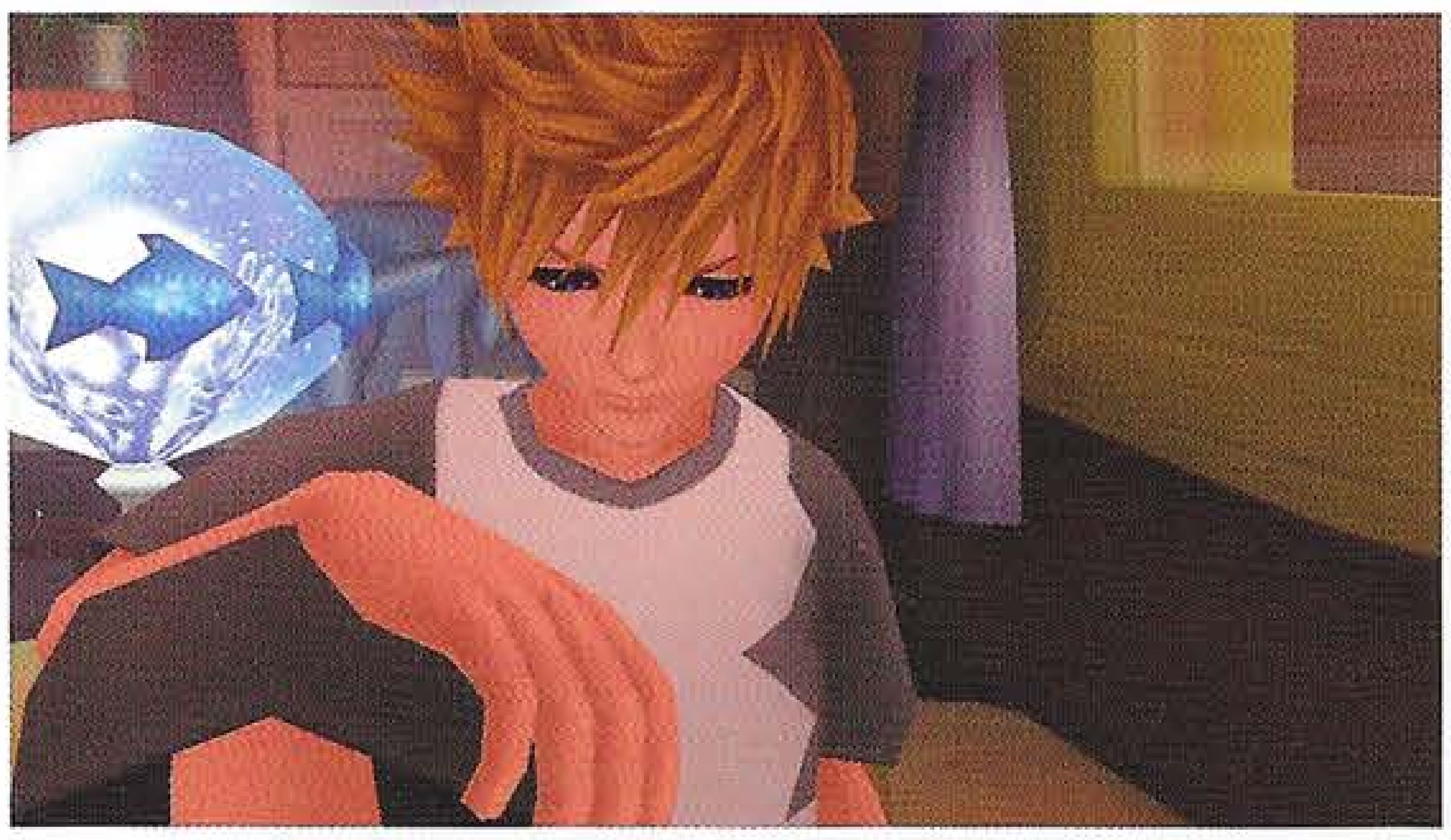
新たな危機に瀕した世界を救うため
ソラがふたたび立ち上がる――

沈まない夕日に照らされた、たそがれの街トワイライトタウンで、残りわずかとなった夏休みを友だちと一緒に過ごす少年ロクサス。彼のささやかな幸せが終わりを告げたとき、キーブレードの勇者ソラは1年の眠りから目覚め、ドナルドやグーフィーとともにふたたび冒険をはじめる。平和を乱すハートレスやノーバディ、そして“キングダムハーツ”を手に入れようとする謎の集団“XIII機関”の魔の手から世界を救い、今度こそ親友リクを連れて故郷の島へ帰るために……。

KH II

序 かりそめの夏休み

～トワイライトタウン～



「またあいつの夢だ──」





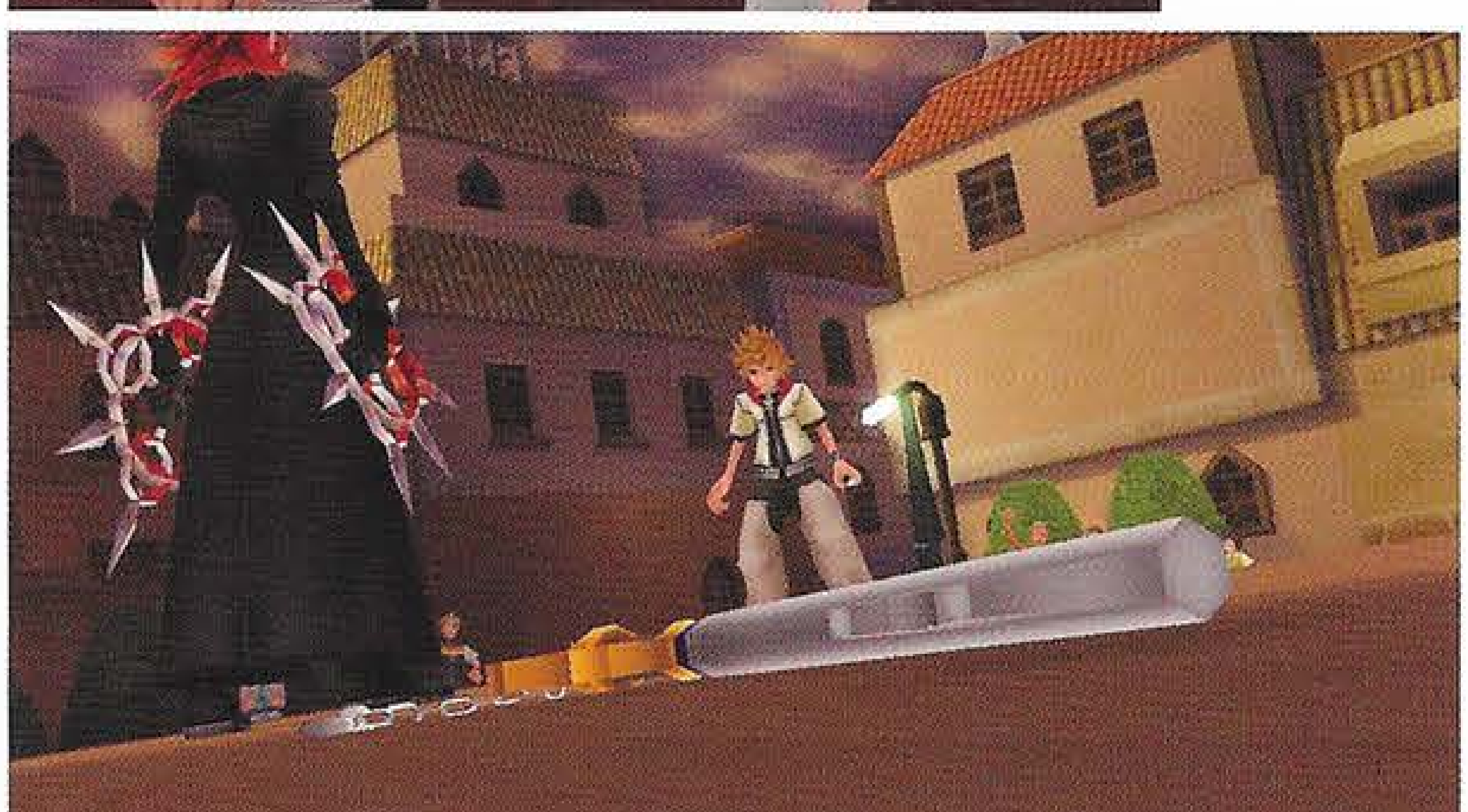






「ソラを感じているか？」





「ナンバー13、ロクサス。
キーブレードに選ばれし男」

トワイライトタウンに住む少年ロクサスは、ここ数日、奇妙な夢に悩まされていた。夢のなかで自分は「ソラ」と呼ばれ、鍵の形をしたキーブレードという武器を手に、さまざまな世界を旅しているのだ。

不思議な思いにとらわれつつも、仲良しのハイネたちとともに、夏休み最後の1週間を楽しもうとするロクサス。だが、夢だけでなく現実の世界でも、彼の周囲に奇妙な出来事がつぎつぎと起きていく。

はじまりは、ロクサスが写っている写真だけが盗まれる「思い出泥棒事件」だった。犯人の白い化け物がロクサスに襲いかかると、夢のなかで見たキーブレードがロクサスの手に出現し、力を貸す。その日を境に、ロクサスの目にしか映らぬ人々が彼のまわりに現れはじめた。ソラの名を口にする黒コートの男。ロクサスに何かを伝えようとする白い服の少女ナミネ。力ずくでロクサスを連れ去ろうとするXIII機関のアクセルと、それを阻止する男ディズ──。彼らと接触するたびにロクサスの周囲の時はゆがみ、夢と現実の境はあやふやになっていく。

それらはすべて、ロクサスがキーブレードの勇者ソラの半分を持つ「ノーバディ」であるがゆえのことだった。1年前、ソラは忘却の城においてナミネに記憶をほどかれ、ソラに関わる人々はソラのことを忘れてしまった。ナミネとディズ、そしてアンセムと名乗る黒コートの男は、そんなソラの記憶の修復を試みるが、ソラがもとにもどった場合、彼から分かたれた存在であるロクサスの消滅は避けられない。それゆえ、ロクサスの親友であるアクセルは白い化け物ダスクを使って友の奪還を図り、ナミネはロクサスに同情して、独断で彼に真実を伝えようとしていたのだ。

KEY-POINT

仮想データ上の世界での夏休み

物語冒頭のロクサスの体験はすべて、仮想データ上のトワイライトタウンでの出来事。ディズと黒コートの男(リク)は、現実世界のトワイライトタウンにてソラの記憶を修復している最中であり、ロクサスが自分たちにとって不都合な行動に出たり、アクセルやダスクが侵入したりするたびに、データの世界に介入している。ちなみに、データ上にはトワイライトタウンの外の世界は存在しないため、ロクサスやハイネが列車に乗ろうとすると、不自然な形ではばまれる。



「最初はソ。ね？　ソ、ラ！」





「君は本当は存在してはいけないの」





そのころ、デスティニーアイランドにいるカイリの身にも変化が生じていた。1年ものあいだ親友ソラのことを忘れ、心に空白を抱えていたカイリだが、自分の半身であるナミネがロクサスと触れ合ったのをきっかけにロクサスと邂逅して記憶を取りもどし、ソラへの想いをつづった手紙を小ビンに入れて海へと流す。

カイリがソラを思い出すと同時に、ソラの記憶も急速に回復していった。ロクサスがロクサスでいられるうちにと、町はずれの幽霊屋敷に彼を呼び出し、真実を打ち明けるナミネ。自分たちノーバディは、本当は存在してはいけない——あまりにもつらい事実を知り、傷心のなかで眠りについたロクサスは、自分が黒コートを着た目隠しの男と戦った日のことを思い出す。

そして6日目——。

気がつくとロクサスは、友だちや街の人々の目に映らず、触れることもできなくなっていた。混乱し、ディズに呼ばれるがままに幽霊屋敷を訪れたロクサスは、ついにすべての記憶を取りもどす。自分がアクセルと同じくXIII機関の一員でありながら、機関を抜け出したこと。目隠しの男との戦いに敗北したのち、仮想データ上に用意された作り物のトワイライトタウンに連れてこられ、ソラの記憶がもどるまでのあいだ、かりそめの夏休みを過ごしてきたことを……。

ロクサスに力を貸そうとしたナミネはディズに連れ去られ、アクセルはXIII機関の刺客として襲いかかってくる。ロクサスはアクセルを退け、ナミネを追ってディズのもとにたどり着くものの、もはや運命は変えられない。ロクサスの夏休みはあと1日を残して終わりを告げ、そして——ソラが目覚めた。



「俺の夏休み—— 終わっちゃった」

KEY-POINT

カイリがソラに宛てて書いた手紙

カイリが海に流した手紙の内容は、じつは『KH I』のなかですでに明かされている。『KH I』のタイトルデモで流れる、「この世界のどこかにいるあなたへ」という手紙こそが、『KH II』においてカイリが"あなた"——ソラに宛てて書いたものだったのだ。この手紙は、『KH II』の物語の最後にて、闇の世界に閉じこめられたソラとリクを救う重要なカギとなる(→P.155)。

KHⅡ

I

新たなる旅のはじまり

～トワイライトタウン／不思議な塔／ホロウバスティオン～



「じゃあ、行こう。
また3人で**旅の続き**だ」











「キーブレードに選ばれし少年よ。
そなたが光の扉を開く**カギ**だ」



ソラ、ドナルド、グーフィー、ジミニーの4人は、気がつくとトワイライトタウンの屋敷にいた。かなり長いあいだ眠っていた自覚はあるが、闇の探求者アンセムを倒したあとのことがまるで思い出せず、首をかしげるソラたち。当時の旅の記録帳であるジミニーメモは白紙になっており、ただひとこと「ナミネにお礼を言う」と書かれたのみ……。ソラたちは事情が飲みこめないまま屋敷を出て、街の散策を開始する。

はじめて訪れるトワイライトタウンに、ソラは奇妙な懐かしさを覚える。街で出会ったハイネたちも、初対面のはずのソラに不思議な親しみを覚えていた。とまどいながらも探索を進めていたソラたちは、突如ダスクに襲われる。そこへ駆けつけたのは、黒コートに身を包んだ王様だった。闇の世界に残ったはずの王様が無事なら、王様と一緒にいたリクも無事なはず――希望も新たにソラたちは、ハイネらに見送られつつ街をあとにする。

列車が着いた先は、王様の師匠でもある偉大な魔法使いイェン・シッドが住む塔だった。イェン・シッドはソラたちに、世界をおびやかす新たな脅威について説明する。強い意思の持ち主がハートレスと化したときに残る"抜け殻"、ノーバディ。そして、ノーバディたちを率いる正体不明の組織、XIII機関――彼らの目的は謎に包まれており、王様はそれを探るべく旅をつづけているらしい。まずは王様に会おうと考え、世界が新たに用意したゲートを開いて、グミシップで旅立つソラたち。そのころ、ソラに倒されたはずのマレフィセントも、王様のライバルのピートを手下につけて復活し、ふたたび世界支配に向けて動き出していた……。







「キーブレード、まったく素晴らしい。問題はその**使い手**だな」

ソラたちが最初にやってきたのは、かつてマレフィセントが本拠地としていた街、ホロウバスティオン。そこでは、以前の冒険でソラの友人となったレオンたちが、ある悩みを抱えていた。再建委員会を結成して街を建て直そうとしているものの、マレフィセントが築いたヴィラン砦でハートレスが増殖中なうえ、ノーバディが街の平和を乱しているのだという。キーブレードの勇者である自分の出番だと意気ごむソラだが、そんな彼の前に、黒コートを着た者たち――XIII機関が現れた。ソラと以前から面識があるかのように、意味深な言葉を投げかけては去っていく機関のメンバーたち。彼らの狙いをはかりかねつつも、ソラたちはキーブレードの導きのまま、新たな世界へと旅立つ。

KH II

2 XIII機関の狙い

～ザ・ランド・オブ・ドラゴン／ビーストキャッスル／ディズニーキャッスル／タイムレス・リバー／ポートロイヤル／アグラバー／ハロウィンタウン／トワイライトタウン／ホロウバスティオン／スペースパラノイド～



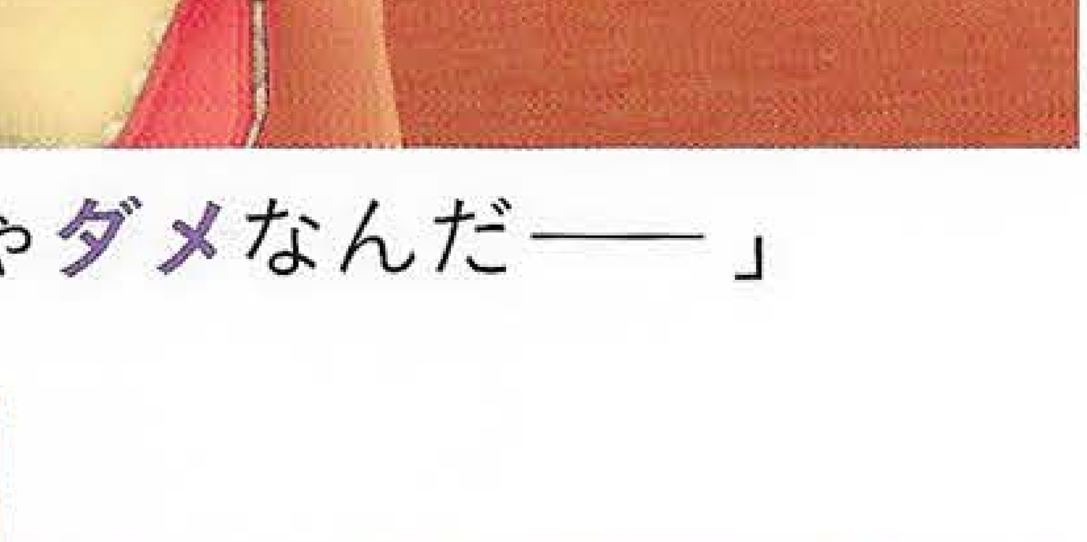


「きっと、待ってるだけじゃ**ダメ**なんだ――」

ソラたちが訪れたさまざまな世界では、ハートレスが平和をおびやかしていたり、マレフィセントやピート、さらにはXIII機関のメンバーが暗躍したりしていた。各地をめぐって懐かしい人との再会や新たな出会いを重ね、持ち前の勇気とキーブレードの力で問題を解決していくソラ。しかし、リクと王様の行方は依然としてわからぬままだった。

一方、デスティニーアイランドにいるカイリも、ソラたちをただ待つのではなく、みずから動き出そうとしていた。そこへアクセルが現れ、一緒にソラのもとへ行こうと甘くささやく。その様子に不穏なものを感じたカイリは誘いを断り、プルートとともにトワイライトタウンへ逃れたが、追ってきたアクセルにさらわれてしまう。











「あんなに苦労して
倒したのがニセモノ!?」







「まんまと罠にかかっちまったな。
おまえはⅫ機関に利用されてるんだよ」



「俺たちがやってきたことは
無意味だったのかもしれない――」

ソラたちがトワイライトタウンを再訪したときは、カイリは連れ去られたあとだった。親友がふたりとも行方不明となって落ちこむソラ。その矢先、闇の力が増しつつあるホロウバスティオンにて、アンセムが使っていたコンピュータが発見される。プログラムの世界に取りこまれるトラブルを経て、ソラたちがコンピュータのデータにアクセスすると、見知らぬ老人の姿が浮かび上がった。不思議がるソラたちのもとに王様が現れ、驚くべき事実を告げる。じつは、この老人こそが本物の賢者アンセムであり、ソラたちが倒した闇の探求者アンセムは、彼の名をかたる偽物から生まれたハートレスだというのだ。

衝撃さめやらぬなか、ハートレスとノーバディの大軍が、ホロウバスティオンの街を襲いはじめた。レオンたち再建委員会のメンバーに加勢して闇の軍勢と戦ううちに、ソラたちは、Ⅻ機関のリーダーのゼムナスと対峙する。賢者アンセムの一番弟子でありながら師の名を奪った「ゼアノート」という男のノーバディ――それがゼムナスの正体だった。さらに、Ⅻ機関のアクセルとサイクスが、機関の目的を明かす。Ⅻ機関の目的とは、キーブレードの勇者であるソラにハートレスから心を解放させ、その心を集めて、“人の心のキングダムハーツ”を手に入れること。世界を救おうとしてソラたちがハートレスを倒しても、それはⅫ機関の思うツボだったのだ。このままハートレスを倒しつづけていいのだろうか？　ととまどうスキに闇の軍勢に包囲されるソラたちだが、マレフィセントと謎の黒コートの男の助けで危機を脱出。ほどなくハートレスやノーバディの侵攻も止み、街はしばしの平穏を取りもどす。

KEY-POINT

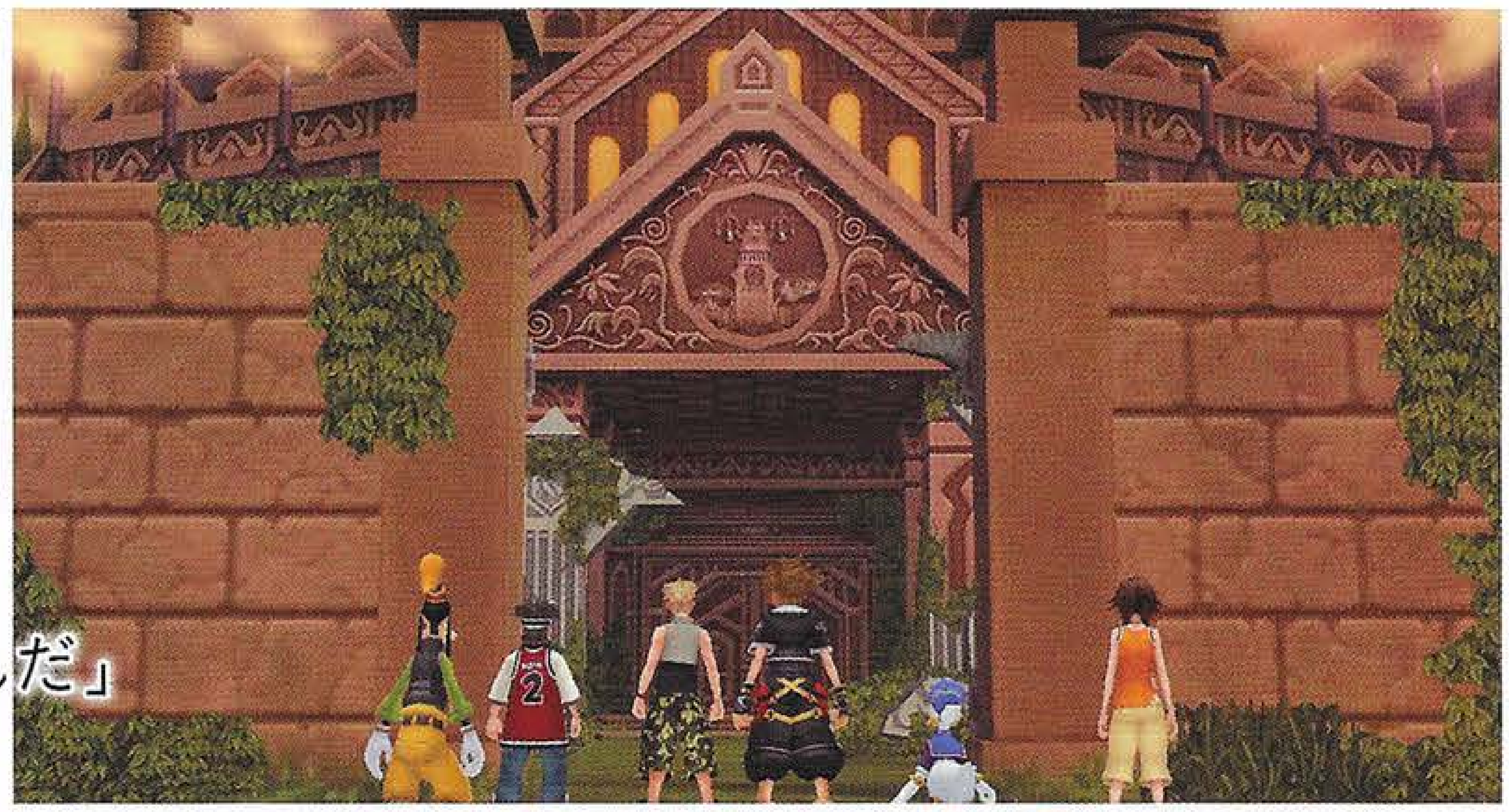
“アンセムの偽物”はテラ=ゼアノート

賢者アンセムの名をかたっていたゼアノートの正体は、『KH BbS』の最後にテラの身体を奪ったマスター・ゼアノート――テラ=ゼアノートだ。
『KH Ⅰ』の約10年前、記憶を失ったところを拾われたテラ=ゼアノートは、賢者の一番弟子として活躍するも、心の闇に関する心理実験を受けたのを機に豹変。ひそかにアンセムを自称してハートレスの製造実験を進めたあげく、自身もハートレスとノーバディに分かれてしまう。このうちハートレスのほうは、「闇の探求者アンセム」として『KH Ⅰ』でソラと対決。ノーバディのほうは、「ゼムナス」と名乗ってⅫ機関を結成し、『KH Ⅱ』のこの場面でソラの前に姿を現す。

3 もうひとつのトワイライトタウン

～ザ・ランド・オブ・ドラゴン／ビーストキャッスル／ポートロイヤル／アグラバー／ハロウィンタウン／トワイライトタウン～





「きっとこの街と同じ場所が
もうひとつあるんだ」



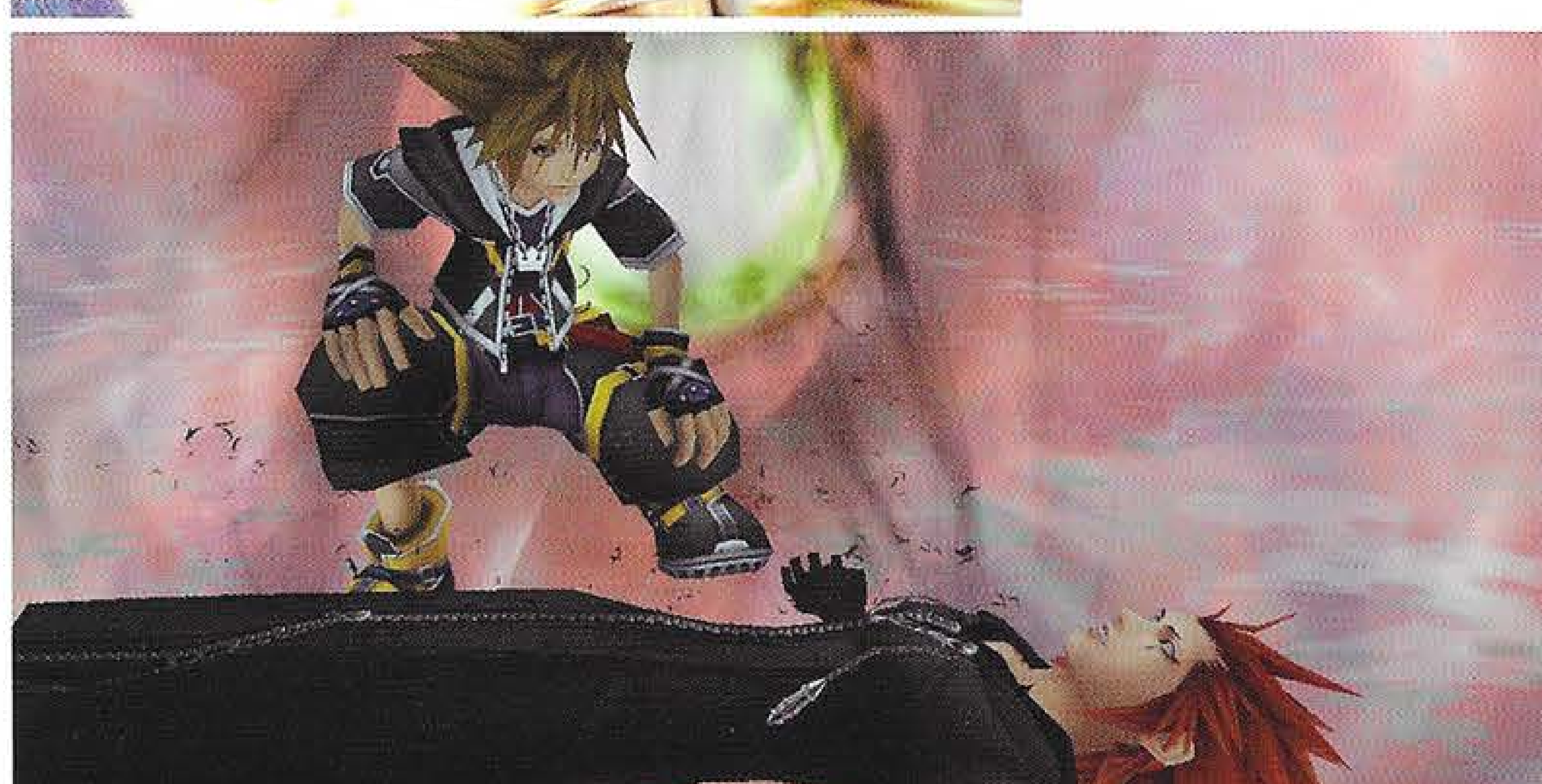




ホロウバスティオンでの大決戦を境に、あちこちの世界にも変化が現れていた。各地をふたたびめぐって新たな問題を解決していくなかで、ソラは、自分を助けた黒コートの男の正体がリクだと確信。彼から受け取った写真とアイスを手がかりに、トワイライトタウンの幽霊屋敷を再訪する。

屋敷には、カイリを捜すハイネたちや、賢者アンセムの行方を追う王様の姿があった。彼らによると、どうやらトワイライトタウンはもうひとつ存在しており、その入口は屋敷のどこかにあるらしい。地下室でコンピュータと移動装置を発見したソラたちは、黒コートの人物が残した品をヒントに装置を起動させ、"もうひとつのトワイライトタウン"へと移動する。

もうひとつのトワイライトタウン——それは、ソラの記憶を修復中のディズが、ロクサスをかくまうべく用意した、仮想データ上の街。本物そっくりのその街には、異世界へとつづく回廊が口を開けていた。ソラたちは意を決して回廊に足を踏み入れるが、無数のノーバディに囲まれ、危機に立たされる。そのとき加勢に現れたのは、なんとアクセルだった。アクセルは、ロクサスを復活させるための人質にしようと独断でカイリを連れ去ったものの、彼女をサイクスに奪われて責任を感じ、ソラの力になろうとしたのだ。カイリのことをソラにわびたアクセルは、全身全霊を振りしぼって敵を一掃。新たな道をソラたちに残して、静かに消滅する。



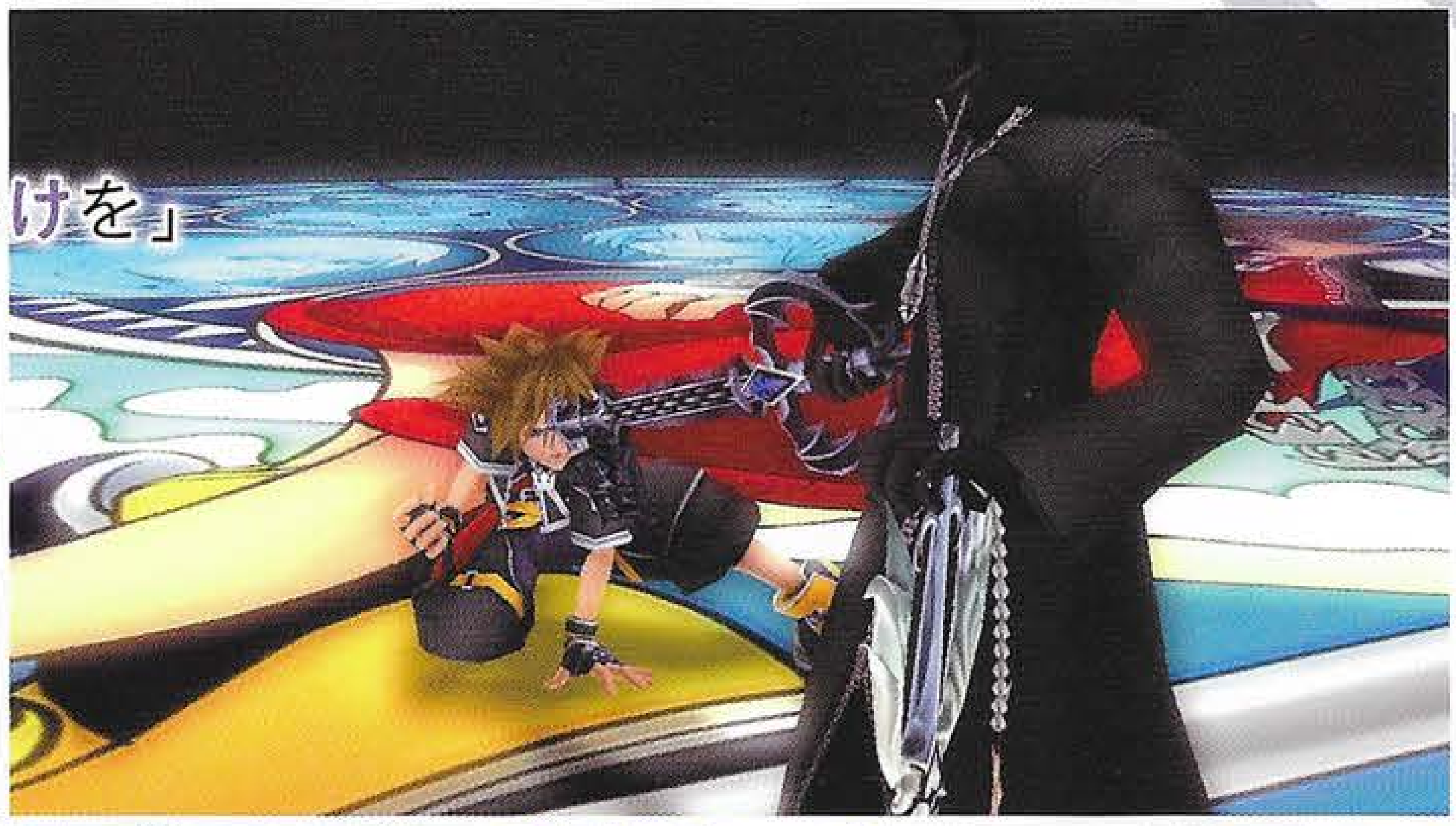
「—— ロクサスに会いたかった。
俺、あいつが好きだった。あいつといると、
俺にも**心がある**みたいな——
そんな気に—— なったんだ」

KH II

4 大切な人たちと帰るために

～存在しなかった世界～

「教えてくれ——
おまえが**選ばれたわけ**を」











「**XIII機関**はもうおまえを
必要としていない」





「どんな姿でも**リク**はリクだ」

アクセルがその存在をかけて切り開いた道は、XIII機関が拠点を構える、かぎりなく闇に近い世界——「存在しなかった世界」につづいていた。"キングダムハーツ"を完成させつつあるゼムナスや、とらわれの身となったカイリは、ここにいるという。彼らのもとへ行くべく、ソラが機関の城を探していると、キーブレードを手にした黒コートの男が突然襲いかかってくる。男の正体は、ソラの半身であるロクサスだった。親友アクセルの消滅をきっかけにソラのなかで目覚め、己の存在意義を問うべく"本体"に戦いを挑むロクサス。激闘のすえにソラが勝利を収めると、ロクサスはその強さに満足して姿を消す。

機関の城の上空に浮かぶ"キングダムハーツ"は、ソラが解放した大量の心によって、まもなく完成しようとしていた。もはやソラは不要だと見なしたサイクスは、城を訪れたソラの始末を図る。そこへ駆けつけたのは、ナミネの助けで牢を脱出したカイリと、黒コートをまとった闇の探求者アンセム——否、己の内にひそむ闇の探求者アンセムの姿となったリクだった。ソラを助けようとして闇の力を解き放った代償に変貌したリクは、これまで正体を隠し、ソラやカイリの行く先々で助け船を出してきたのだ。親友たちとの再会に勇気づけられたソラは、彼らと協力してサイクスたちXIII機関のメンバーを蹴散らしつつ、ゼムナスのもとを目指す。

「私の心が命じているのだ。
自分の心に従わせてくれ！」











一方、王様はとうとう賢者アンセムを見つけ出す。ソラの記憶を回復させるために奔走していた赤い包帯の男ディズこそが、賢者その人だった。ゼアノートへの復讐にソラたちを巻きこんだことを後悔していた賢者アンセムは、自作の機械で"キングダムハーツ"のデータ化を試みるも、機械は暴走。その爆発に巻きこまれて彼は消えるが、"キングダムハーツ"は破壊され、飛び散った心を浴びたリクは、もとの姿を取りもどす。

姿がもどるとともにキーブレードの力を得たリクと共闘し、マレフィセントとピートに助けられながら、ソラたちはついにⅩⅢ機関最後のひとり——リーダーのゼムナスのもとへたどり着いた。半壊した"キングダムハーツ"から力を吸収して再起を図るゼムナス。ソラたちはゼムナスのあとを追って"キングダムハーツ"の扉を開き、光の世界の命運をかけた戦いにのぞむ。

激しい戦いのすえ、ソラたちはゼムナスを打ち破るが、もとの世界へ帰る道が見つからない。そこへ救いの手を差し伸べたのはナミネだった。彼女が開いた闇の回廊を通じて王様たちは帰路につき、ロクサスとナミネは互いの本体——ソラとカイリを通じて再会を果たし、それぞれの身体に還っていく。

すべては終わったかに思えたが、ゼムナスはまだ消滅していなかった。闇の世界に取り残されたソラとリクに、「我ら虚無は永遠」と告げて襲いかかるゼムナス。勝って大切な人のもとへ帰るか、敗れて無となるか——最後の戦いがはじまった。

「これは世界がくれた扉だ。
世界は僕たちに運命を委ねた」





Ending





「世界は——
光の世界はもう大丈夫だもんな」

「ソラ？
たぶんおまえ宛てだ」





「ただいま」



「おかえり」





ソラとリクはついにゼムナスを倒したが、そのまま闇の世界に閉じこめられてしまった。つぎつぎと襲いかかるノーバディの大群を撃退するも、気力と体力を使い果たしてその場にくずれ落ちるリク。それでもソラは希望を捨てず、一緒に大切な人のもとへ帰ろうと、リクをかついで歩きつづける。

やがてソラとリクは、闇の海岸にたどり着いた。XIII機関の脅威が去ったなら、光の世界はもう自分たちがいなくても大丈夫だろう——ソラとリクが故郷にもどれないことを覚悟しはじめたそのとき、小ビンに入った手紙が流れ着く。手紙の差出人はカイリだった。彼女がロクサスと触れ合ってソラのことを思い出したあの日、デスティニーアイランドの浜辺から流した手紙が、いまソラのもとに届いたのだ。自分への想いをつづったカイリの手紙を読み、彼女との絆を実感するソラ。すると、まばゆい光を放つ扉——光への扉が現れる。

扉を開いた先は、懐かしい故郷デスティニーアイランドの海だった。満面の笑顔でソラとリクを迎える、王様、ドナルド、グーフィー、そしてカイリ。ソラは、アンセムとの決戦へ向かうときに受け取ったサラサ貝のお守りをカイリに返し、「お守りをかならず返しにもどる」という1年前の約束をついに果たす。

そうして平穏な日常がもどったある日……。

ソラとリクは、デスティニーアイランドの離れ小島で、いつもと変わらぬ夕日をながめていた。そこへカイリが、王様からの手紙を持ってくる。3人の新たな冒険は、すぐそこまで迫っていた——。



キングダム ハーツ コーデッド

バグに侵食されたジミニーメモの世界を
データのソラが大冒険

ソラたちの旅について記したジミニーメモの1冊目に、突然、意味ありげな文章が浮かび上がった。王様はそのメッセージの謎を解明すべく、ジミニーメモをデータ化して分析に取りかかる。しかし、メモの内部を再現したデータ世界には、原因不明の異変が起きていた。異変を取りのぞく役割を託されたデータ・ソラは、データ世界の冒険を通じて、ソラの内側に眠る“痛み”と向き合うことになる。

KH coded

序 謎のメッセージを解析せよ

～ディズニーキャッスル／めざめの園～

「この謎を解明できるのは一人だけだ！」





ソラたちの長い冒険が一段落したある日、旅の記録をまとめたジミニーメモの1冊目――かつて忘却の城での冒険で白紙になったほうのジミニーメモに、「彼らの痛みを癒やしにもどらなければならない」という新たな文章がいつの間にか記されていた。報告を受けた王様は、白紙になった部分に手がかりが残っているかもしれないと考え、ジミニーメモをデータ化して調査を試みる。しかし、再現されたデータの世界はバグに満ちており、メッセージの解析もままならない。王様は、メモのなかの世界を冒険してデータを修復してもらおうと、データ世界のなかにいるソラ――データ・ソラに協力を仰ぐ。



KH coded

Ⅰ データ・ソラの冒険

～デスティニーアイランド／トラヴァースタウン／ワンダーランド～





「この世界は傷ついている。傷をいやせば道は開ける」





ジミニーメモを再現したデータ世界には、あるはずのものが消えていたり、ないはずのものが存在したりと、不思議な現象が起きていた。とまどうソラの前に黒コートの人物が現れ、鍵穴の奥へ進むようにうながす。言われたとおりにソラがデータ世界の鍵穴の奥にひそむバグを取りのぞくと、それに応じてジミニーメモに新たなメッセージや映像が浮かび上がっていく。

データ・ソラの冒険をモニター越しに見守っていた王様たちは、このままソラがデータ世界のバグを排除すれば、ジミニーメモの謎も解けるのではと期待を抱く。すべては順調かと思われたが、王様たちは知らぬうちに部屋のなかに閉じこめられていた。さらには、データ世界でバグ退治をしているはずのソラが、王様たちの部屋にやってくる。困惑する一同の前に、黒コートの人物――ジミニーメモのデータの避難先に選ばれたデータ・リクが姿を現し、衝撃の事実を語り出す。ジミニーメモに刻まれた言葉の謎を解明してもらうべく、王様たちを部屋ごとデータ世界に取りこんだというのだ。



「このままではデータの中から出られなくなるぞ」

データ・リクの説明の最中、何者かがデータ世界に干渉し、現実世界とつながる道を奪ってしまう。王様たちの帰り道を新たに探すためにも、ソラは引きつづきデータ世界のバグ退治へと向かう。

KH coded 2

データ世界を狙う者たち

～オリンポスコロシアム／アグラバー／ホロウバスティオン～



「こっちの世界は
もう**俺様のもん**だからな！」

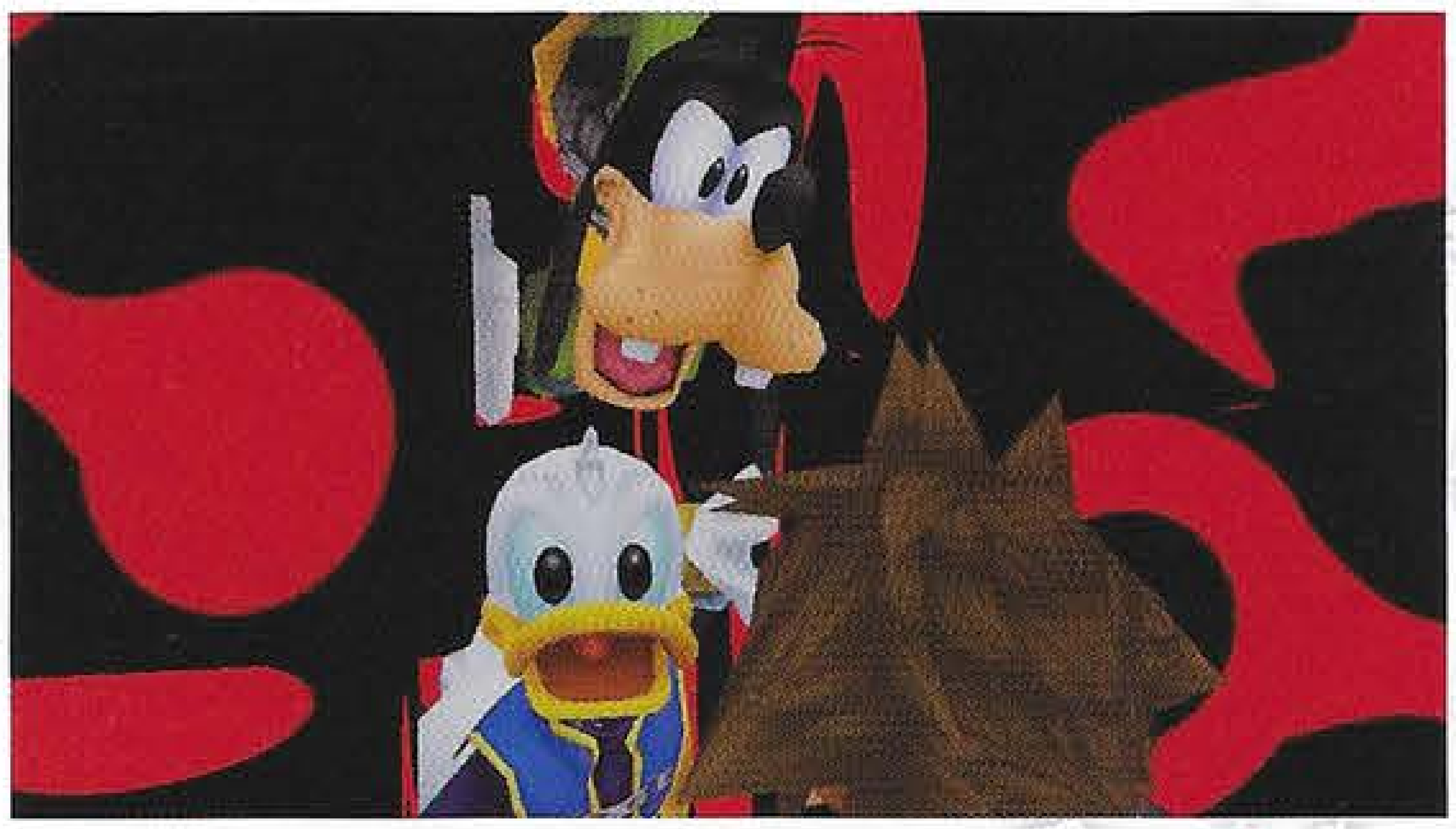






「眠りの時は終わり、
私は今こそ**すべての世界**を手に入れる」





「繋がる心が**僕たちの力**だ」





現実世界への帰り道を奪った犯人は、現実世界からやってきたピートだった。彼はマレフィセントと結託し、データ世界から闇を送りこんで現実世界を支配せんとしていたのだ。ソラはふたりを止めようとするが、データで作られたキーブレードを壊されたうえ、駆けつけたリクも連れ去られてしまう。ジミニーメモのデータそのものであるリクが彼らの手に落ちれば、データ世界が闇に染まるのは時間の問題。王様は急いでリクの救出に向かい、戦う手段を失ったソラもそのあとを追う。

武器も持たずにホロウバスティオンに乗りこんだソラのもとへ、彼の力になろうとドナルドとグーフィーが駆けつけた。所詮は作り物であるデータのソラをなぜかばうのかと馬鹿にするピートに対し、データ上の存在であってもソラは大切な友達だと反論するドナルドとグーフィー。彼らとの絆を確かめたデータ・ソラは、本来はデータ化できないはずの「心の力」を新たに身につけ、真の意味でキーブレードを手に入れる。状況が一転して追いつめられたピートは、バグを植えつけたリクをあやつり人形に仕立て上げ、ソラにけしかけてきた。



「リクの体がバグに乗っ取られてる。
ということは――
そのバグを消さないと
リクは目を覚まさない!?」











「これよりデータ世界のすべてを消去する……」





「記憶は心と繋がって僕たちの絆になるんだ。
だから、これからもずっと友達だ」

ソラと戦わされたリクは、バグの影響で意識を失ってしまった。親友の身体を乗っ取ったバグを取りのぞくために、リクのデータ内部へと潜入するソラ。リクの記憶世界に発生していたバグを一掃し、脱出を妨害してきたマレフィセントを倒したことで、現実世界への道を取りもどすのにも成功する。

王様たちが現実世界にもどり、データ・ソラの冒険もようやく一段落したかに思われたが、突如、それまでとは比較にならない異変がデータ世界を襲う。データの根源にひそむバグ――ソラのハートレスのデータが、データ世界のすべてを消去すべく動き出したのだ。

ソラ・ハートレスは、ソラがデータ世界で倒したハートレスの意思を吸収し、異形の姿へと変貌をとげていた。長い戦いのすえ、王様たちの助けを受けてソラ・ハートレスを打ち破るソラ。そして、すべてをあるべき姿にもどすために、データ世界に取り残されたマレフィセントとピートを現実世界へ送り返す。

バグがすべて取りのぞかれ、ジミニーメモのデータはようやく復旧する。しかし、メモのデータが本来の内容にもどるということはすなわち、データ世界のソラたちがこれまでの冒険の記憶を失うことを意味していた。データの存在でありながらも胸の奥に確かな苦しみを覚えつつ、ソラは王様たちに別れを告げる。

KH coded 3

追加データが伝えるもの

～ディズニーキャッスル／忘却の城～



「みんな聞いてくれ。
メモの中に新しい世界が現れたんだ」





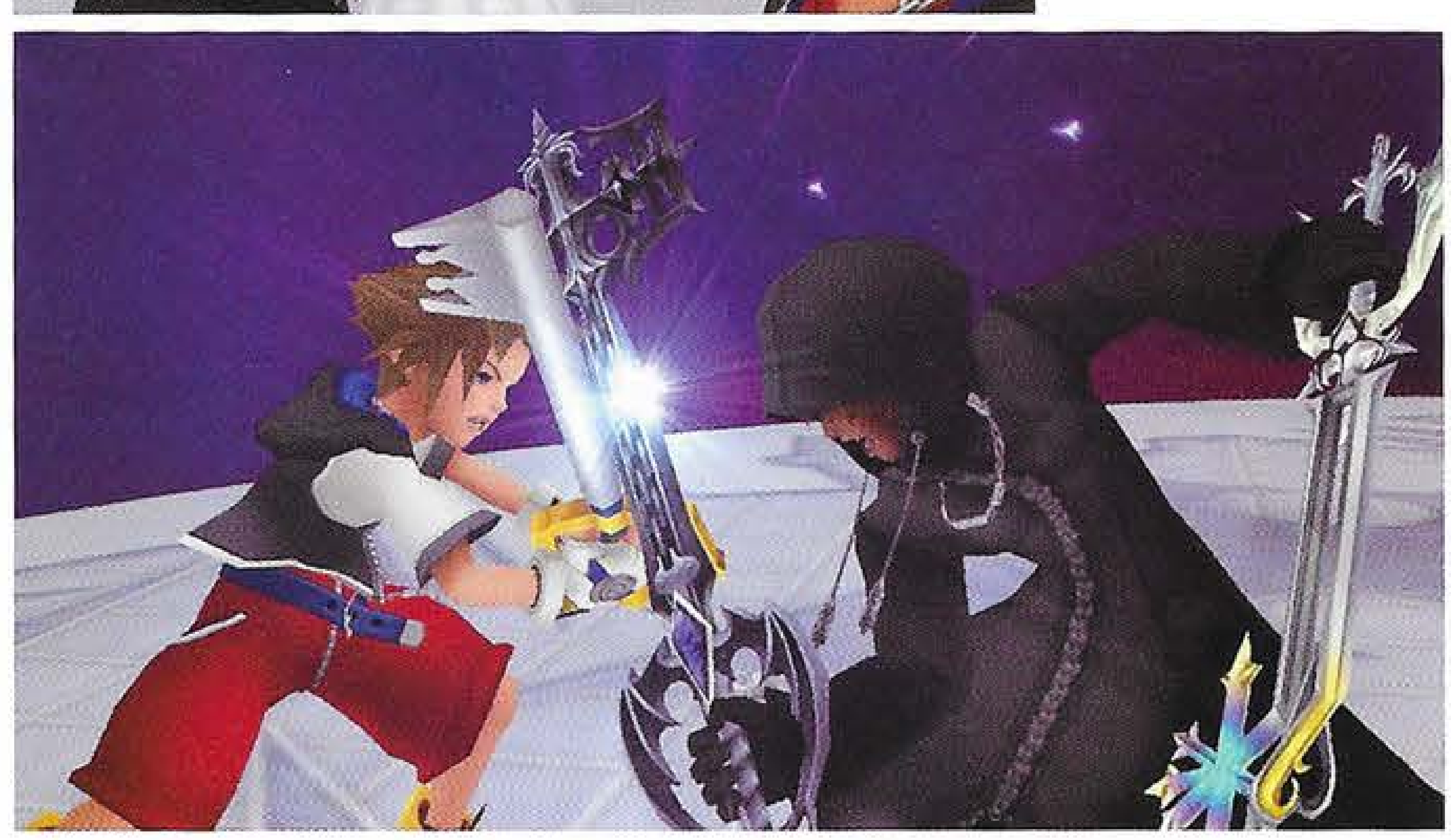


「思い出せなくてくやしいとか、
忘れてしまってさびしいとか——
そういう気持ちがあるせいで
心が痛むんだ」





「痛みが絆だと？
笑わせるな！」



データ・ソラの活躍でジミニーメモのバグは取りのぞかれたものの、メッセージの謎は解けなかった。メモに浮かび上がった文章は結局何だったのか——データ・ソラと別れた王様たちが考えをめぐらせたそのとき、王様たちのもとにデータ・リクから思わぬ知らせが入る。データが修復されたおかげで、何者かが書き足していた追加データへの扉が見つかったというのだ。追加データを探ってメッセージの謎を解くために、王様はリクに頼んでデータ世界をふたたび訪れ、改めてデータ・ソラに協力を呼びかける。先ほどまでの記憶を失っていながらも王様に懐かしさを感じたソラは、呼びかけに応えて追加データへの扉を開く。

扉の奥に広がっていたのは、忘却の城と呼ばれる世界だった。王様とはぐれたソラは、黒コートの人物に導かれ、さまざまな人々の幻と出会っては、誰と会ったのかを忘れるという苦しみをくり返し強いられる。相手を思い出せない悲しみは心の痛みを生むが、それでもソラは自分が感じた痛みを手放そうとはしなかった。「痛みを捨てて楽になれ」という黒コートの人物の誘いに対し、「心の痛みこそが失った記憶をつなぎ止める絆だ」と反論するソラ。その言葉に激高した黒コートの人物は、2本のキーブレードを手にソラに襲いかかってきた。

Ending





「合格だソラ。
おまえは痛みを**理解**した」

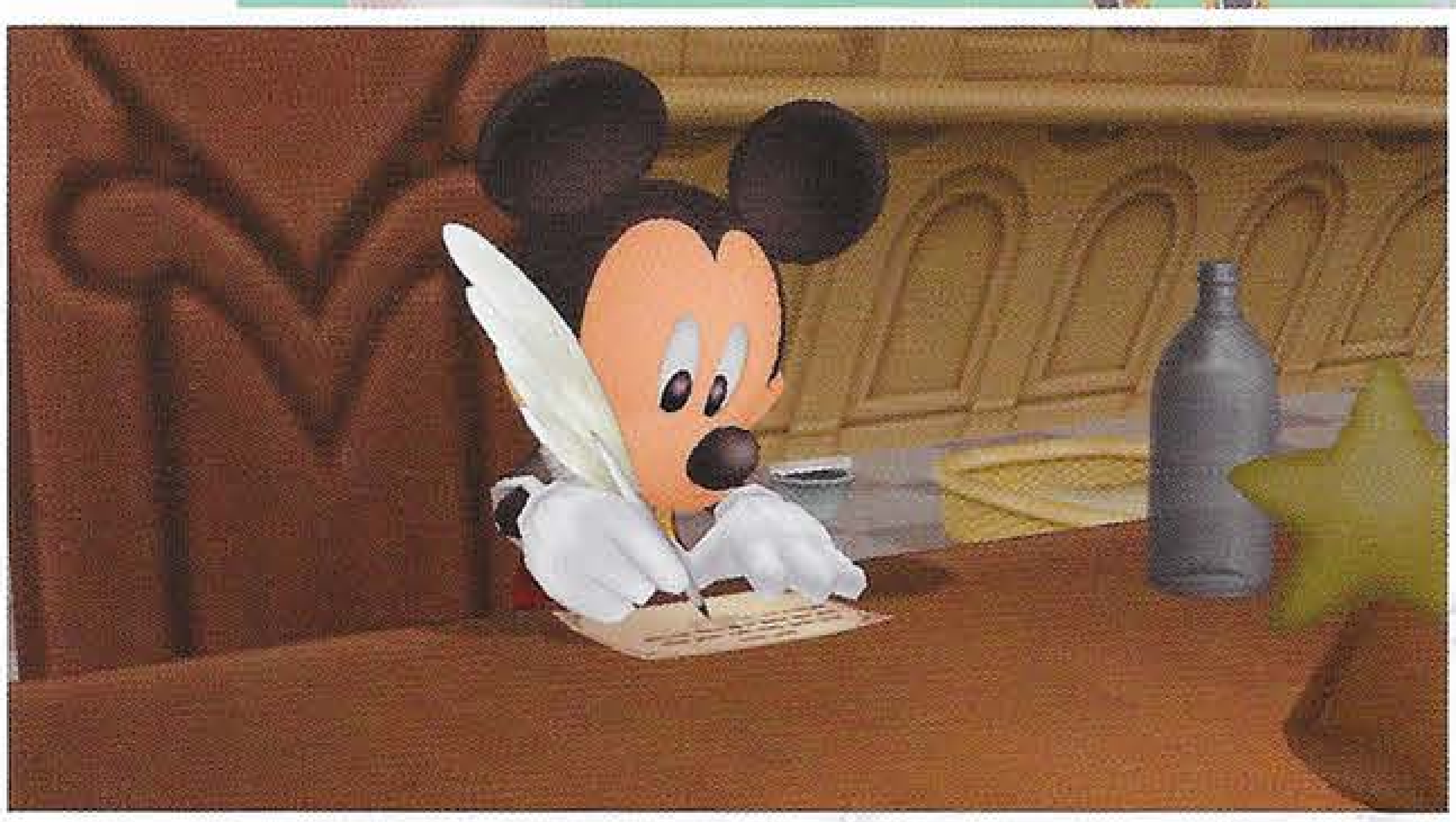


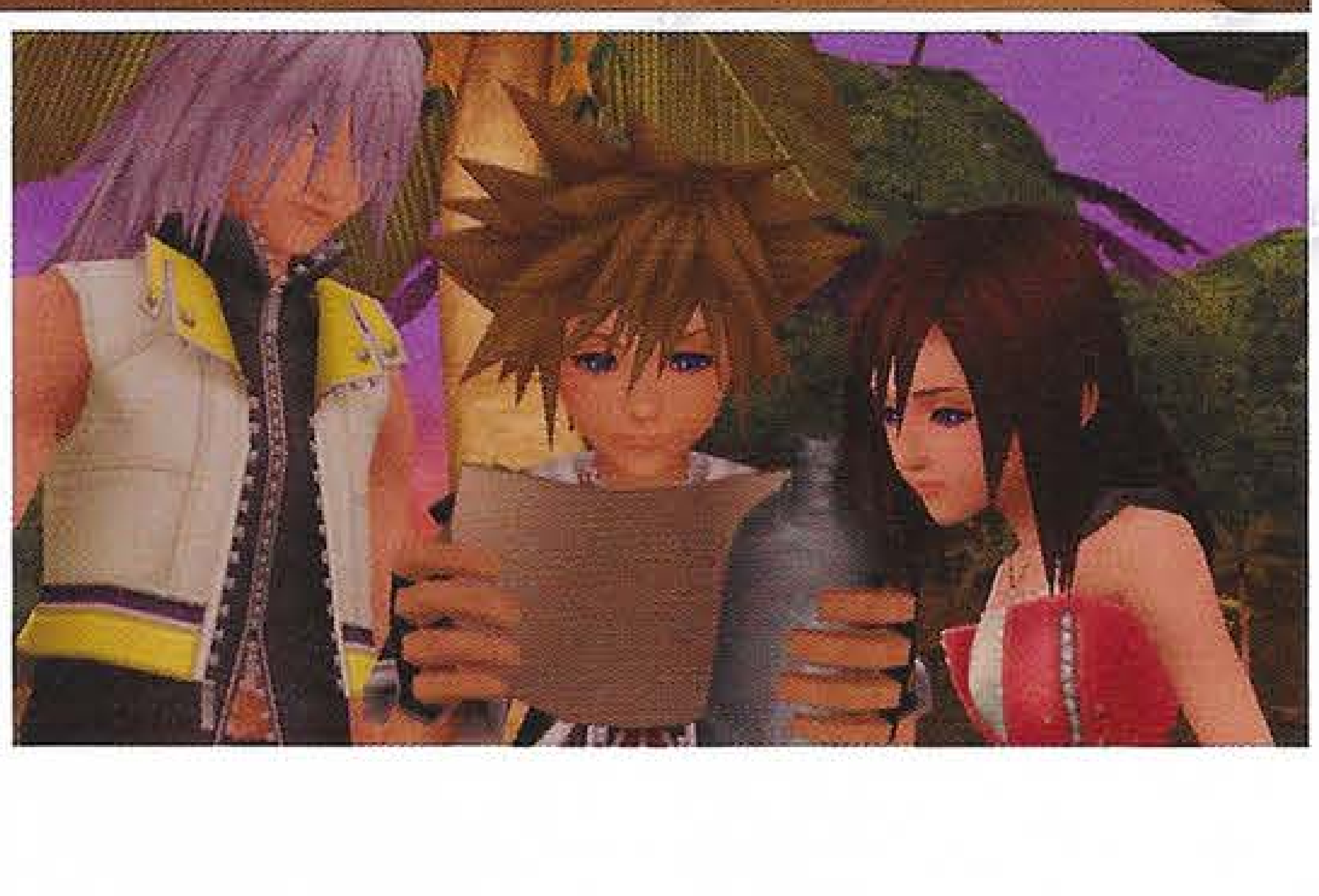






「俺も一つだけ、
ナミネに伝えたいことがあるんだ。
ありがとう」





「もしかしたら、
これまでの旅は、
これからはじまる旅の
準備だったのかもしれない」

黒コートの人物の真意は、ソラに今後"痛み"を受け止める覚悟があるかどうかを確かめることだった。その期待にソラが応え、痛みを絆に変える力があるのを証明すると、黒コートの人物――データのロクサスは、満足そうに消えていく。

王様と合流し、忘却の城の最奥部を訪れるソラ。そこには、ジミニーメモに謎のメッセージを残した当人、ナミネが待っていた。かつてソラの記憶を操作したさい、彼のなかに"痛み"を持つ者たちの記憶が眠っていることに気づいたナミネは、その事実をソラに知らせ、痛みの記憶に耐える力を身につけてもらうために、メッセージを書き加えたのだ。

意を決して"痛み"の記憶に触れたソラと王様の脳裏に、さまざまな者の姿が浮かぶ。ロクサス、シオン、ナミネ、テラ、ヴェントゥス、アクア……彼らの傷を癒やして目覚めさせることができるのは、彼らとつながるソラしかいない。すべてを理解した王様は、その事実を現実世界のソラにも伝えると約束。そしてデータ・ソラは、改めてナミネに「ありがとう」と告げ、メモに残っていたもうひとつの言葉――「ナミネにお礼を言う」という、かつて本物のソラが果たせなかった思いをとげる。

現実世界へもどった王様は、一連の出来事を手紙に記し、デスティニーアイランドにいるソラへ送り届ける。新たな冒険の扉は、いまにも開かれようとしていた――。



キングダム ハーツ 3D [ドリーム ドロップ ディスタンス]

“眠りし心を解放する力”を求めて
ふたりの少年が眠りの世界に旅立つ——

二度にわたる冒険を通じて、“キングダムハーツ”を狙う者——闇の探求者アンセムとⅫ機関のリーダーのゼムナスを倒したソラとリク。しかし、それはすべての元凶であるマスター・ゼアノートの復活を意味していた。ゼアノートたち闇の勢力に対抗するには、マスター承認試験を受け、“眠りし心を解放する力”を身につけねばならない。ソラとリクは意を決して試験に挑み、眠りの世界へと旅立つが、そんなふたりにゼアノートの魔の手が忍び寄る……。

KH 3D

序

マスター承認試験開始

～不思議な塔／デスティニーアイランド～





「我々は、脅威に
立ち向かう**準備**が必要だ」







「この世界は**繋がった**」

マスター・ゼアノートの脅威が迫りつつあるいま、光の世界を守るには新たな力が必要だった。危機感を抱いたイェン・シッドは、王様の手紙を通じてソラとリクを招き、ふたりのさらなる成長のため、キーブレードマスター承認試験を受けさせる。

試験の内容は、1年前の闇から再生しきれていない「眠りに閉ざされた世界」の夢にダイブし、「眠りの鍵穴」を開いて、各世界の再生を手伝うこと。7つの世界を目覚めさせたころには、キーブレードの正しい使いかたが身につくうえ、きたるべき決戦で共闘すべき者たち——以前ジミニーメモのデータを探るなかで判明した、ソラとつながり"悲しみのなかで眠る者"たち——を目覚めさせる力が備わるというのだ。

眠りに閉ざされた世界に入ろうと、イェン・シッドの魔法で時間をさかのぼり、闇に飲まれて眠る直前のデスティニーアイランドを訪れるソラとリク。そこへ、海の魔女アースラの幻影が襲いかかってきた。何とか戦いに勝利したふたりは、無意識のうちに眠りの鍵穴を開き、新たな世界へと向かう。いつか会った茶色いローブの男の気配を、すぐそばに感じながら……。

KEY-POINT

ふたたび現れた茶色いローブの男

『KH I』でデスティニーアイランドに現れた茶色いローブの男——ゼアノートのハートレス（→P.125）は、ソラと会ったあと、未来の（＝『KH 3D』の）ソラとリクが時を超えて同じ場所にやってくるのを待っていた。その夜、予想どおり未来のソラが現れたため、夢の深淵へ誘うべく、彼に異端の印をつけて追跡していく（→P.15）。

KH 3D

I

よく似て異なるふたつの世界

～トラヴァースタウン／ラ・シテ・デ・クローシュ／ザ・グリッド／プランクスターズ・パラダイス～





「どうやら、
今、僕たちがいるこの世界は
そっくりそのまま
二つに分けられたらしい」



気がつくと、ソラとリクは奇妙な印のついた衣装をまとい、眠りに閉ざされた世界のひとつであるトラヴァースタウンに、別々に投げ出されていた。街の創造主だという少年ヨシュアによれば、この街はよく似たふたつの世界にわかれており、ソラとリクはそれぞれ別の世界に分断されてしまったらしい。

いずれ再会できると信じ、住人たちを助けて眠りの鍵穴を開くソラとリク。そんなふたりに、街に混乱をもたらす黒コートの青年が不穏なまなざしを注ぐ。







「おまえは自分が
どこにいるのかもわかっていない。
すでにおまえは**別の道**を歩んでいる」

「そうか。
人間に戻ったんだな」



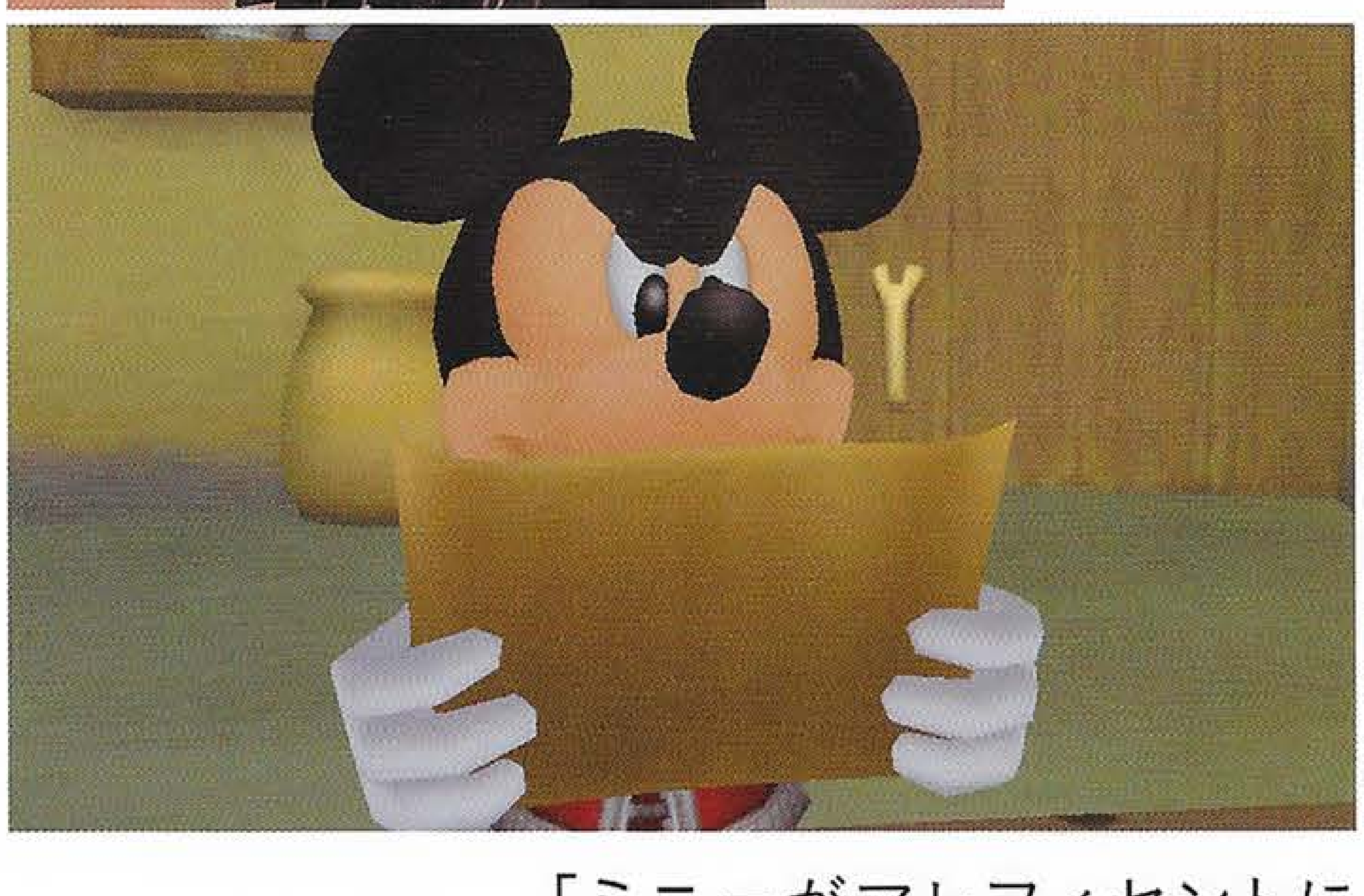


眠りに閉ざされた世界――闇に飲まれた時点で眠りにつき、住人たちがソラやリクを知らないその世界には、独自の魔物「ドリームイーター」が巣くっていた。ソラとリクは、ドリームイーターのなかでも善良な「スピリット」を味方とし、悪しき「ナイトメア」を倒しつつ、別々に旅をつづけていく。承認試験の課題である眠りの鍵穴の解放はそれぞれ順調に進むが、ふたりが合流できるきざしはない。しかも彼らの行く先々には、黒コートの青年のほか、かつて倒したはずのマスター・ゼアノートの分身たち――闇の探求者アンセムやゼムナスが現れ、意味深な言葉をかけてくる。XIII機関と同類のあつかいをされるソラ。"この場所"にいることを驚かれるリク。幾度も心乱され、唐突に眠りへと誘われることをくり返しながら、ソラとリクは夢から夢へとめぐっていく。

そのころ、レイディアントガーデンにある賢者アンセムの研究室では異変が起きていた。かつてこの地で心を捨て、XIII機関を結成した賢者の弟子たちが、つぎつぎと人間にもどっていたのだ。しかし、ゼムナスの本体であるゼアノートと、ゼムナスの側近だったシグバールとサイクスの本体――ブライグとアイザの姿はどこにも見当たらなかった。

そんな事情も知らず、王様たちは不思議な塔でソラとリクの帰りを待っていたが、そこへマレフィセントから「ミニー王妃を誘拐したのでディズニーキャッスルへ来い」という脅迫状が届いた。闇の勢力の新たな動きを感じつつ、王様、ドナルド、グーフィーは王妃の救出に向かう。





「ミニーがマレフィセントに
さらわれたらしい」

KH 3D

2 予測外の出来事、想定外の一手

〜トラヴァースタウン／カントリー・オブ・ザ・マスケティア／シンフォニー・オブ・ソーサリー／ディズニーキャッスル／不思議な塔〜



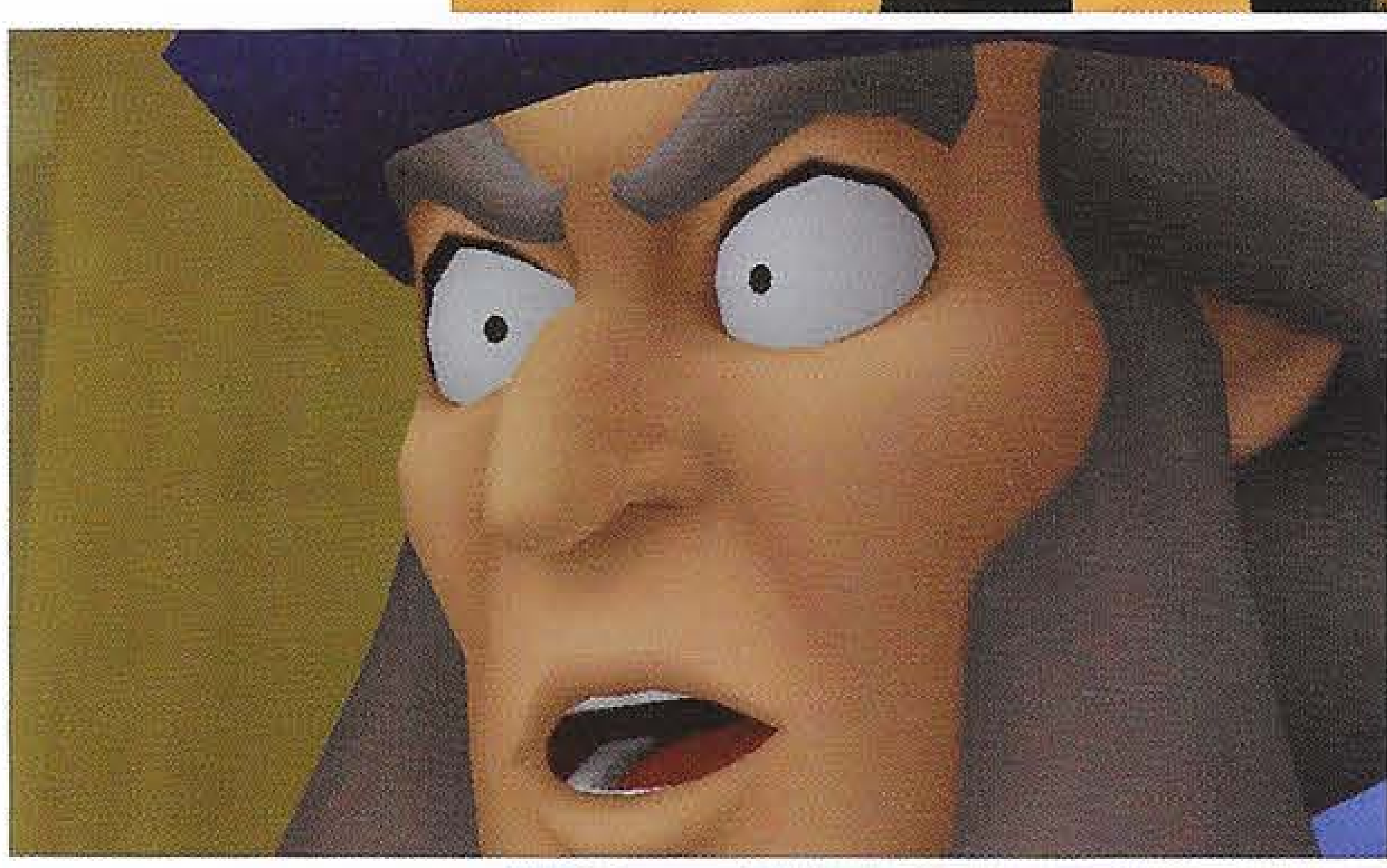


「俺の名前は、リア。記憶したか？」



「深淵の時は近い」





「まさかこれまでのすべてが計算されたことだと言うのか——」



マレフィセントとピートは、王様がジミニーメモを探ったさいに入手した「世界のデータ」を求めていた。ミニー王妃を人質にとり、データをよこせと王様に迫るマレフィセントたち。そこへ助け船を出したのはⅩⅢ機関のアクセル——ではなく、その本体のリアだった。彼のおかげで王妃は無事に王様のもとへもどり、マレフィセントたちは退散する。

不思議な塔で王様たちは、リアの話を参考にして、現状を整理する。リアをはじめⅩⅢ機関のメンバーが人間にもどったということは、ゼアノートがすでに復活し、ソラとリクの試験に干渉している可能性が高かった。ゼアノートを出し抜くには想定外の一手を取らなければ……悩んだイェン・シッドは、リアが自身の協力と引きかえに出した条件——キーブレードを使えるようにすることを承諾し、彼を修行の場へと送り出す。

一方、ソラとリクは、相変わらず分断されたまま試験を進めていた。どちらかの世界がもう片方の世界の夢ではと思い至るリクだが、確証はつかめない。同じ敵をはさみ撃ちにしたり、協力して闇の力を払ったり……互いの姿は見えないながらも、力を合わせて眠りの鍵穴を開いていくふたり。黒コートの青年から、"深淵の時"の訪れを——ソラが夢の深淵にやがて堕ちることを匂わされつつ、ふたりはついに、7つ目の鍵穴を解き放つ。

時を同じくして王様たちは、大変な事実を見落としていたと気づく。過去のデスティニーアイランドにはゼアノートのハートレスがおり、彼ならば、試験を開始しに訪れたソラとリクに接触できたということを。ふたりをゼアノートの魔手から救うべく、王様は不思議な塔を旅立つ。心のつながりをたどり、リクの気配がかすかに残る狭間の世界に向かって……。

Chapter 1 Character File
Chapter 2 World Guide
Chapter 3 Main Story Playback
Chapter 4 Art Gallery

KH 3D

3

“真のⅫ機関”集結

～存在しなかった世界～





「今日ここに、すべての時間の姿を変えた自分が集い、そしておまえを**13番目**として迎える。すべては**決まっていたこと**」





「記憶は夢となり、夢は眠りの中にある。そしてその眠りは闇の中だ。ソラの心は、**闇に堕ちた**のだよ」



「互いに光と闇の完成のあかつきに**彼の地**でまみえるとしよう」



試験の課題を果たしたのに、ソラは不思議な塔ではなく、なぜか「存在しなかった世界」にやってきた。自分とつながる者たちの姿を白昼夢のように見て混乱するソラに、シグバール、ゼムナス、そして黒コートの青年――若き日のゼアノートがすべてを明かす。彼らの目的は、心なき抜け殻にゼアノートの心を植えつけ、13人のゼアノートをそろえること。その13番目の器にソラを選び、試験の最初からひそかに同行して、この夢の深みへ誘導したのだ、と……。絆の力で立ち向かうソラだが、もとの世界へ帰る余力はなかった。親友の名を呼びながら、ソラは幼いころ感じた光に包まれ、夢の深淵、闇の底へと堕ちていく。

一方、存在しなかった世界を同じく訪れたリクは、悪夢にとらわれたソラを発見した。ソラを目覚めさせようとしたリクは、闇の探求者アンセムを通じて真実を知る。リクがこれまでめぐってきたのは、眠りに閉ざされた世界ではなく、そこを旅するソラの夢のなかだった。試験開始時にソラがゼアノートに狙われていると気づいたリクは、無意識にソラの夢に入り、彼の悪夢を喰らってきたのだ。それでもソラを守れなかったいま、「親友を救いたくば、心に閉じこめた闇を解放せよ」と迫る闇の探求者アンセム。しかしリクは、闇も光の一部に変えると宣言し、アンセムを撃ち破る。

夢の世界を脱したリクは、スピリットの導きで、ソラのもとへとたどり着く。ソラの心は闇の眠りにつき、身体は13人のゼアノートからなる“真のⅫ機関”の最後の器にされようとしていた。その最古の者である青年ゼアノートが、残りのメンバーをつぎつぎと召喚。駆けつけた王様が阻止を図るもかなわず、ついに黒幕――人間として復活したマスター・ゼアノートが姿を現す。自分の分身からなる「13の闇」と「7つの光」をぶつけ、今度こそχブレードを生み出す――恐るべき計画を明かし、ソラに己の心を注ごうとするゼアノート。それをはばんだのは、リア、ドナルド、グーフィーという、ゼアノートが予見しなかった者たちだった。想定外の出来事により、ソラを器とすることに失敗したゼアノートたちは、きたるべき決戦を予告して去っていく。

大切な友を目覚めさせるために

～不思議な塔／ソラの夢の深淵／ソラの夢のデスティニーアイランド～



「ソラは俺を救ってくれた。
そして、たしかに俺を呼んだ。
俺が行きたい」







「私とその研究を
データ化し、**ソラの中**に
隠しておいたのだ」

不思議な塔へもどっても、ソラは眠ったままだった。リクが今回の試験を通じて得た“眠りし心を解放する力”を使えば、闇の深みに堕ちたソラの心を目覚めさせることができるかもしれない。リクは危険を承知で、ソラの夢へダイブする。

ソラの夢の深淵を訪れたリクは、漆黒の鎧をまとった人物に襲われる。その正体はソラだった。ソラは夢の深淵に堕ちるさい、幼いころ心にかくまった人物――ヴェントゥスの鎧に守られたが、鎧が悪夢に取りつかれて暴走したのだ。鎧を撃ち破ったリクは、ソラの眠りの鍵穴を開いて、夢のさらなる奥へと進む。

気がつくとそこは、ソラの夢のデスティニーアイランドだった。ソラのなかで眠る者――ロクサス、ヴェントゥス、シオンの問いに答えるなかで、友を大切に想う気持ちを再確認したリクは、最後に、かつて共闘したディズこと賢者アンセムと再会する。自分の復讐劇に巻きこんだつぐないだと言って、あるものをリクに託す賢者アンセム。それは、以前彼がソラの記憶を修復するときにソラのなかに隠した、心に関する研究成果だった。これがあれば、“眠りし心”を取りもどすのに役立つはず――データを受け取ったリクは、夢の世界をあとにする。

Ending



「ソラを見事に
連れ戻したリクを
今回はキーブレード
マスターとして
承認する」





リクが現実世界に帰還すると、ソラはすでに目覚めていた。お祭りムードのなかで、イェン・シッドがマスター承認試験の結果を告げる。ふたりともマスターにふさわしいとされたものの、今回正式に認定されたのはリクのほうだった。親友の合格を我がことのように祝福するソラ。そんな彼らをうらやましげに見つめていたリアも、キーブレード使いとして覚醒する。

そうして、祝福と驚きが入りまじったさわぎがひとしきりつづいたあと……。

“やり残したこと”をするために、ソラは“眠りし心を目覚めさせる力”を使い、ふたたびトラヴァースタウンを訪れる。そこで待っていたスピリットたち――冒険を手伝ってくれた大切な旅の仲間に、ソラは改めて心からの礼を言うのだった。

Chapter 4

Art Gallery

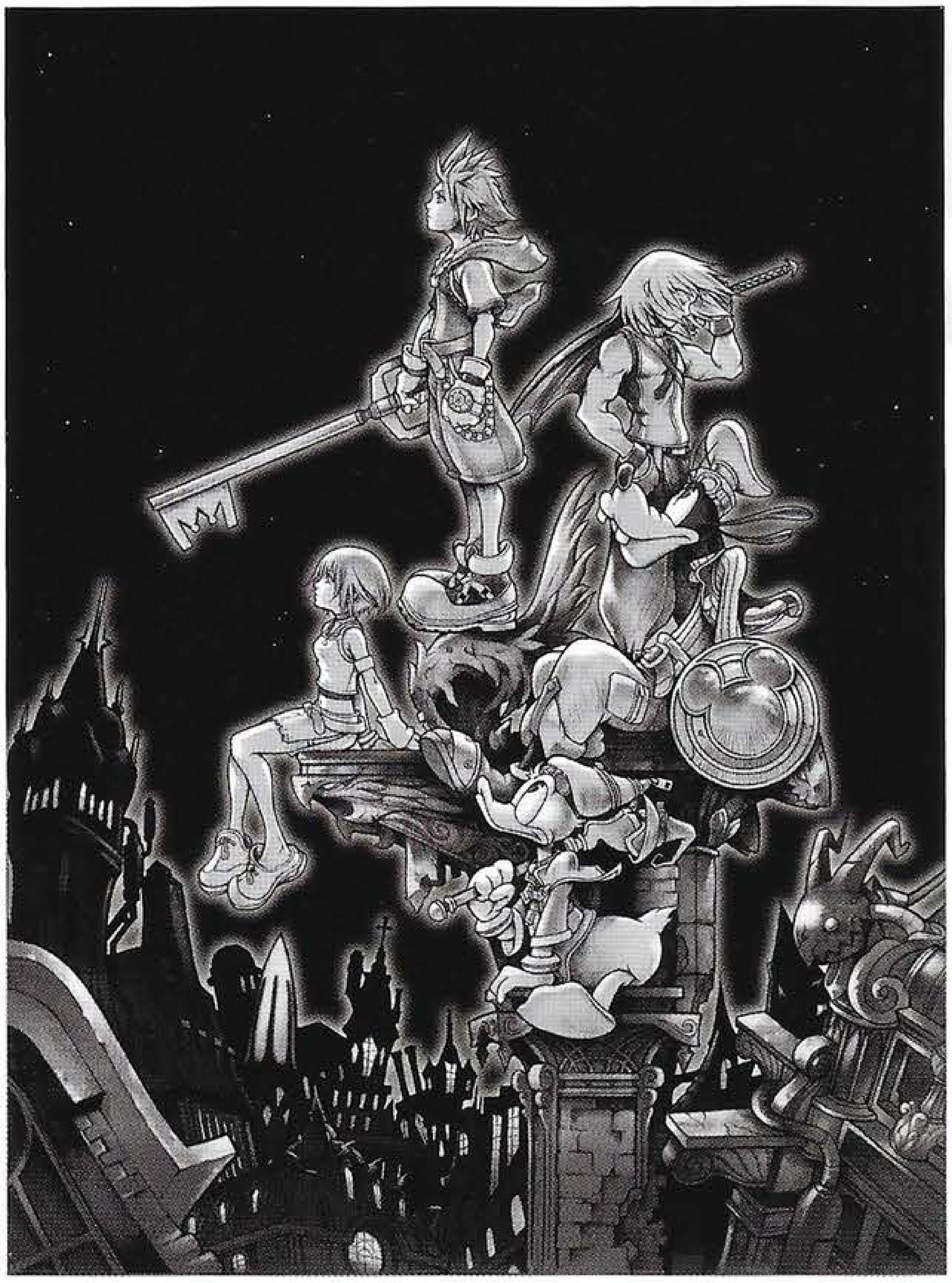
アートギャラリー

KINGDOM HEARTS / KINGDOM HEARTS -FINAL MIX- / KINGDOM HEARTS CHAIN OF MEMORIES / KINGDOM HEARTS Re:Chain of Memories / KINGDOM HEARTS II / KINGDOM HEARTS II FINAL MIX / KINGDOM HEARTS coded / KINGDOM HEARTS Re:coded / KINGDOM HEARTS 358/2 Days / KINGDOM HEARTS Birth by Sleep / KINGDOM HEARTS Birth by Sleep FINAL MIX / KINGDOM HEARTS 3D [Dream Drop Distance] / KINGDOM HEARTS χ [chi] / KINGDOM HEARTS -HD 1.5 ReMIX- / KINGDOM HEARTS -HD 2.5 ReMIX-

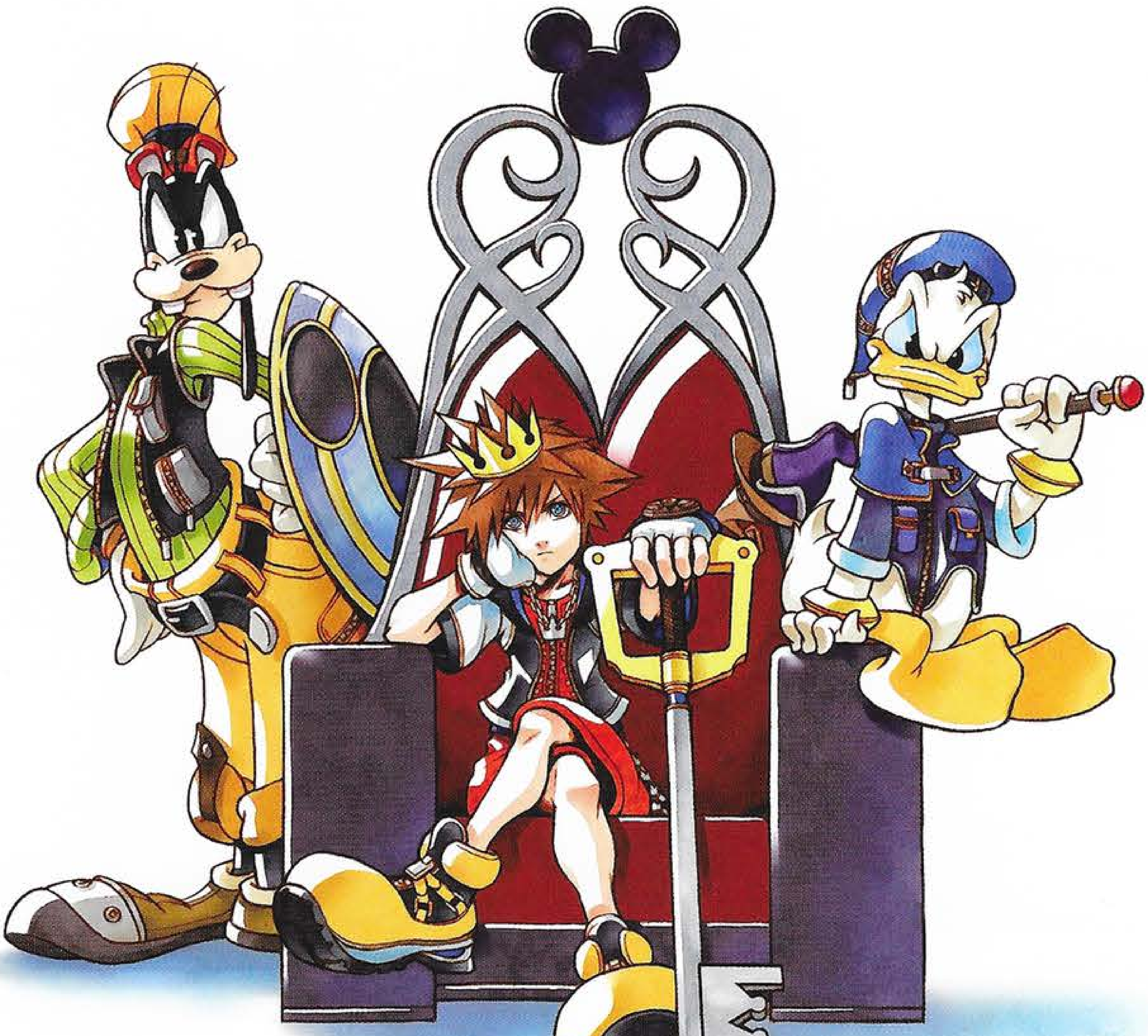
オフィシャルアート



予感



予感(モノクロ・バージョン)



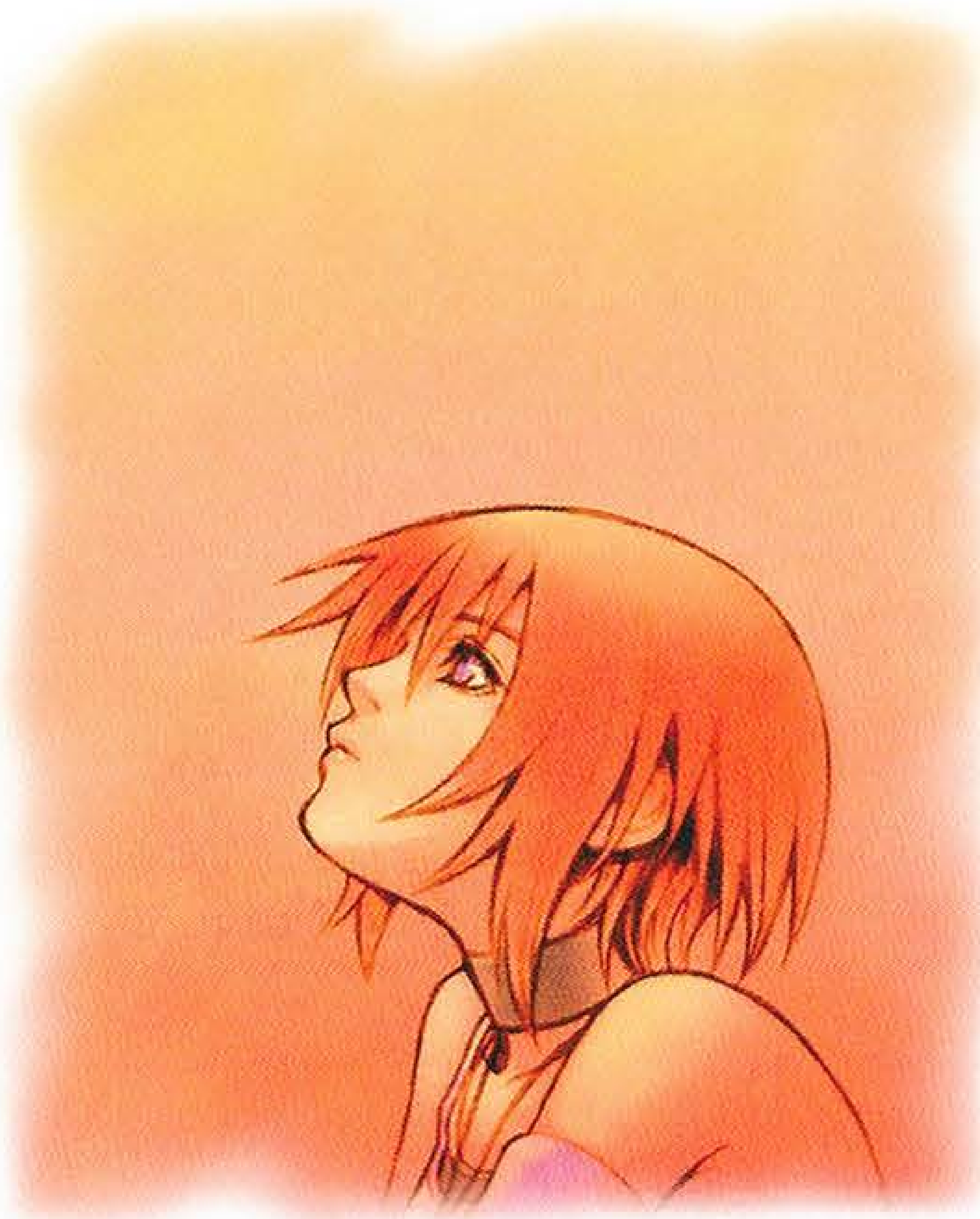
玉座



繋がり



波打ち際



夕焼け



青空



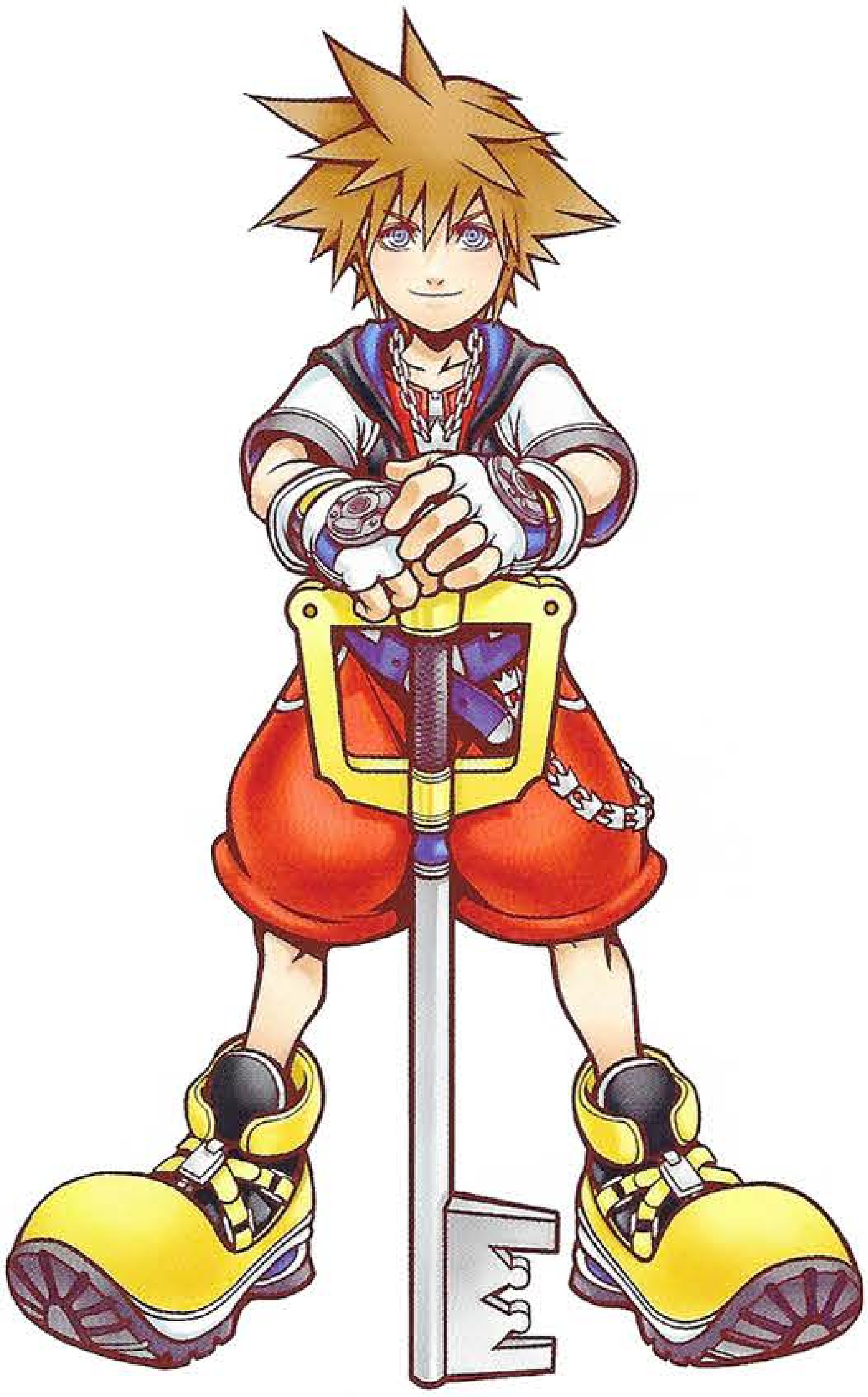
肩車



ソラ



仲間



ソラ



リク



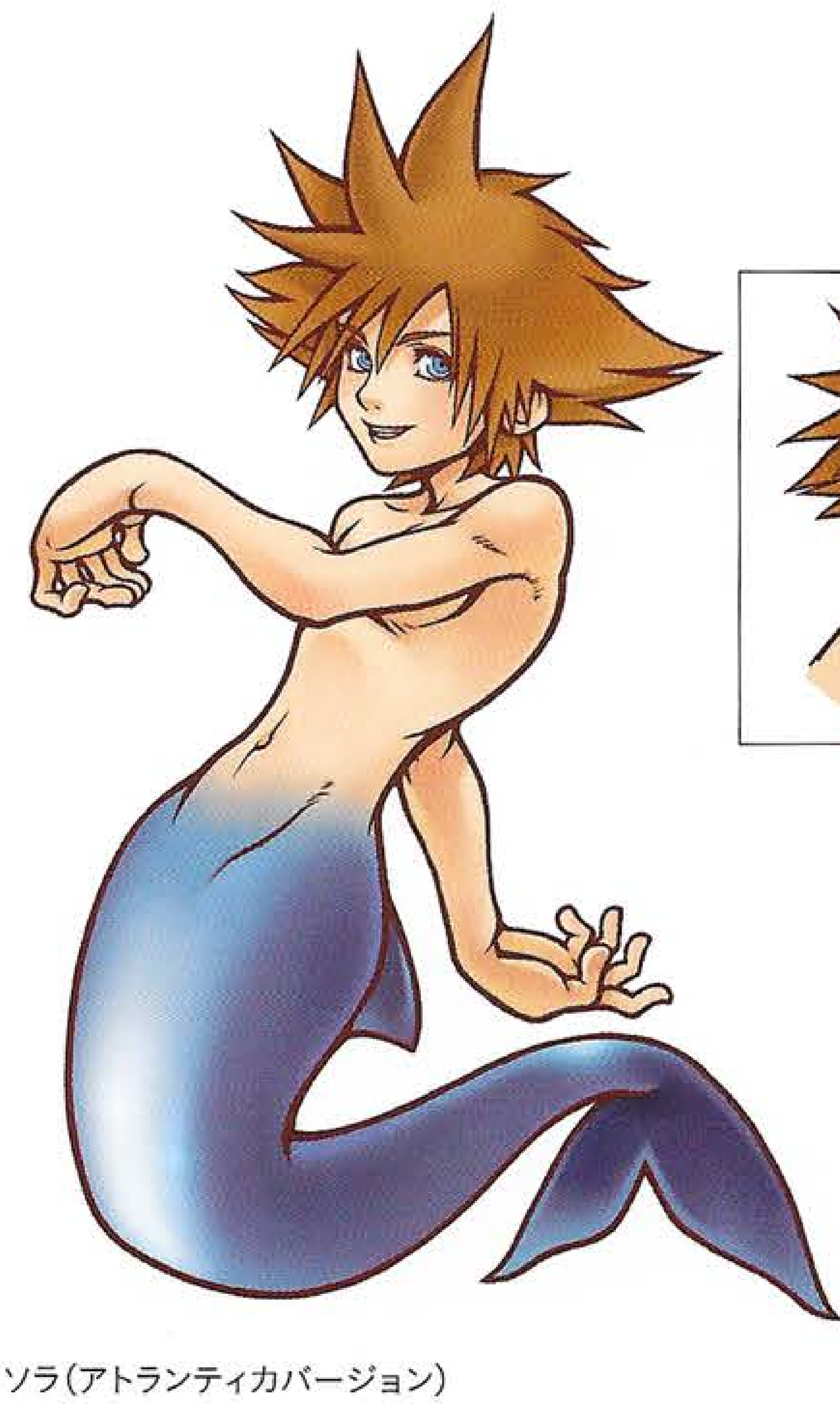
カイリ

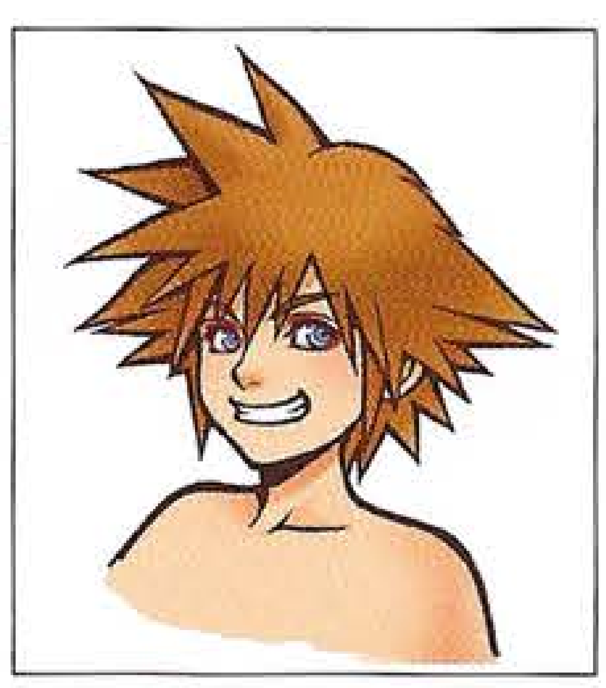


| グーフィー



| ドナルド

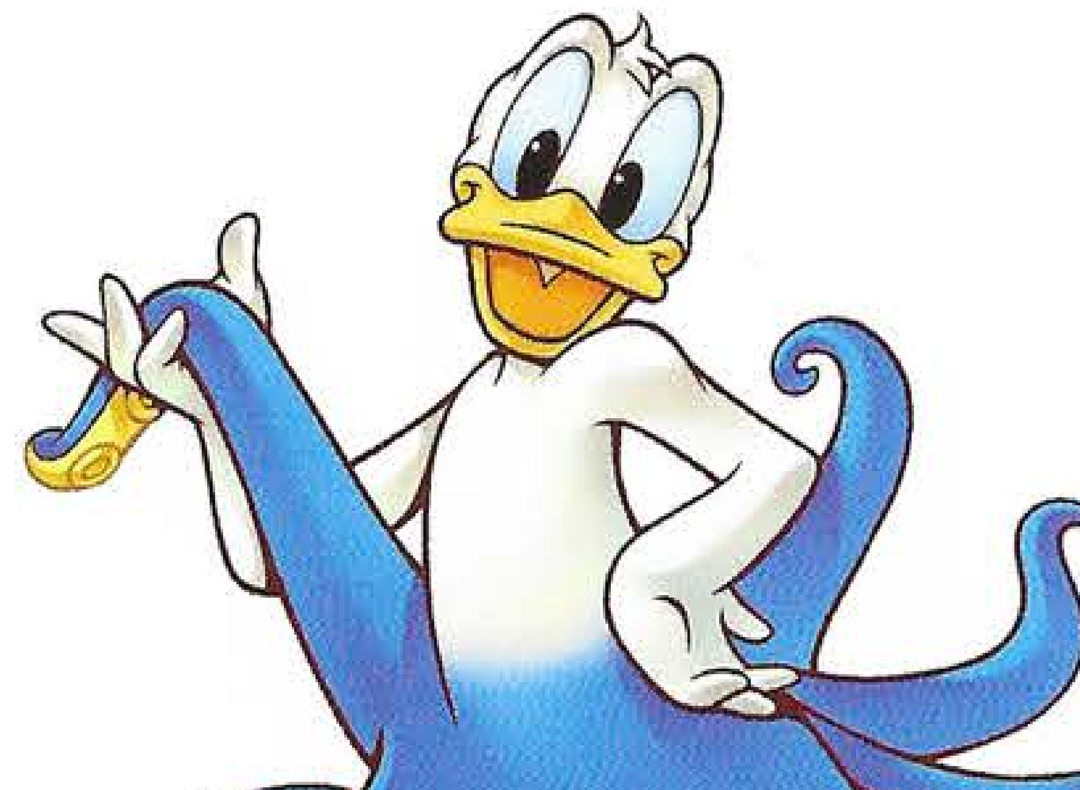




| ソラ(アトランティカバージョン)



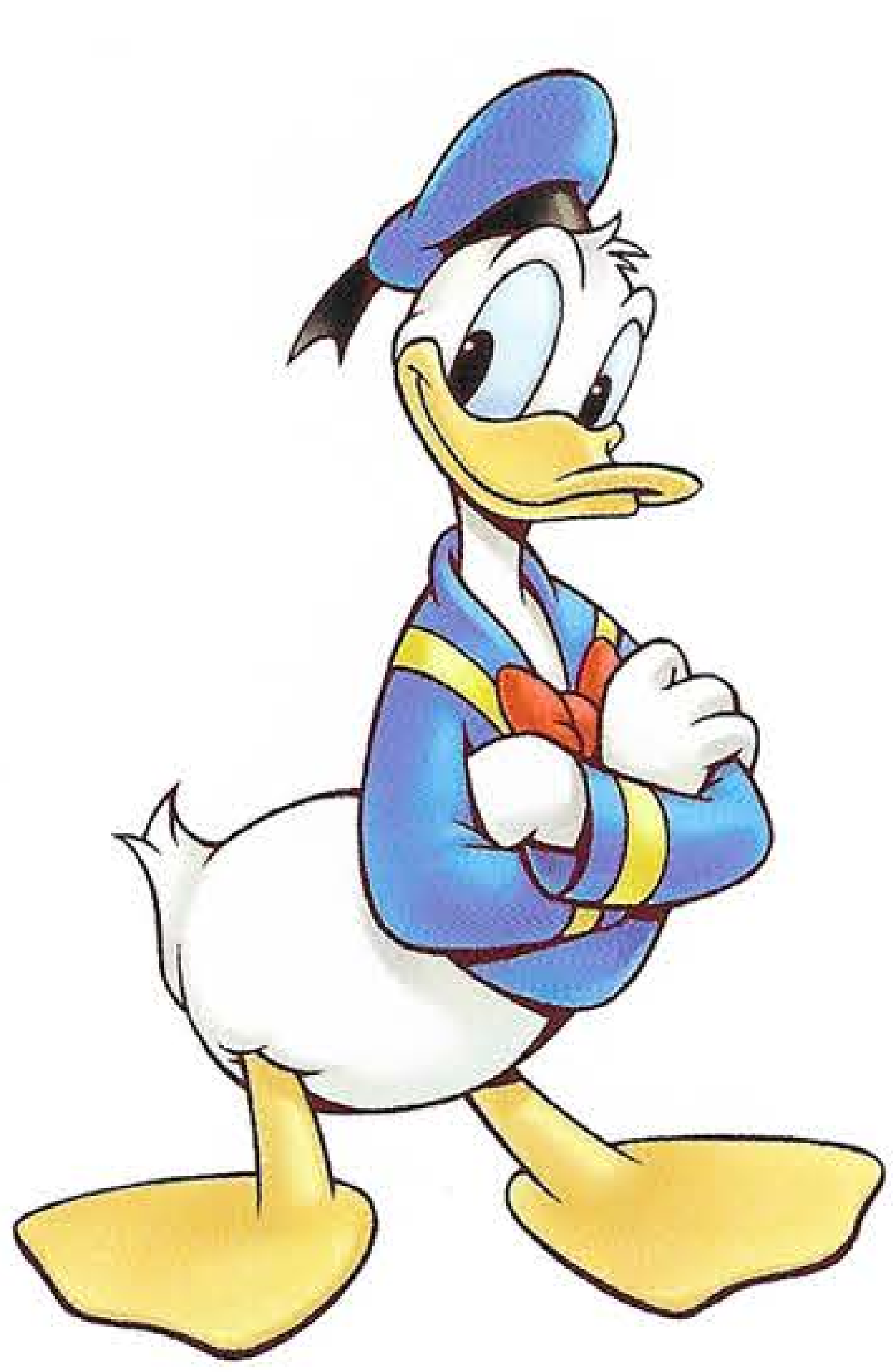
| グーフィー(アトランティカバージョン)



| ドナルド(アトランティカバージョン)

グーフィー（スタンダードコスチューム）





ドナルド（スタンダードコスチューム）





ソラ（ハロウィンタウンバージョン）



グーフィー（ハロウィンタウンバージョン）



ドナルド（ハロウィンタウンバージョン）



闇の探求者アンセム

ティーダ





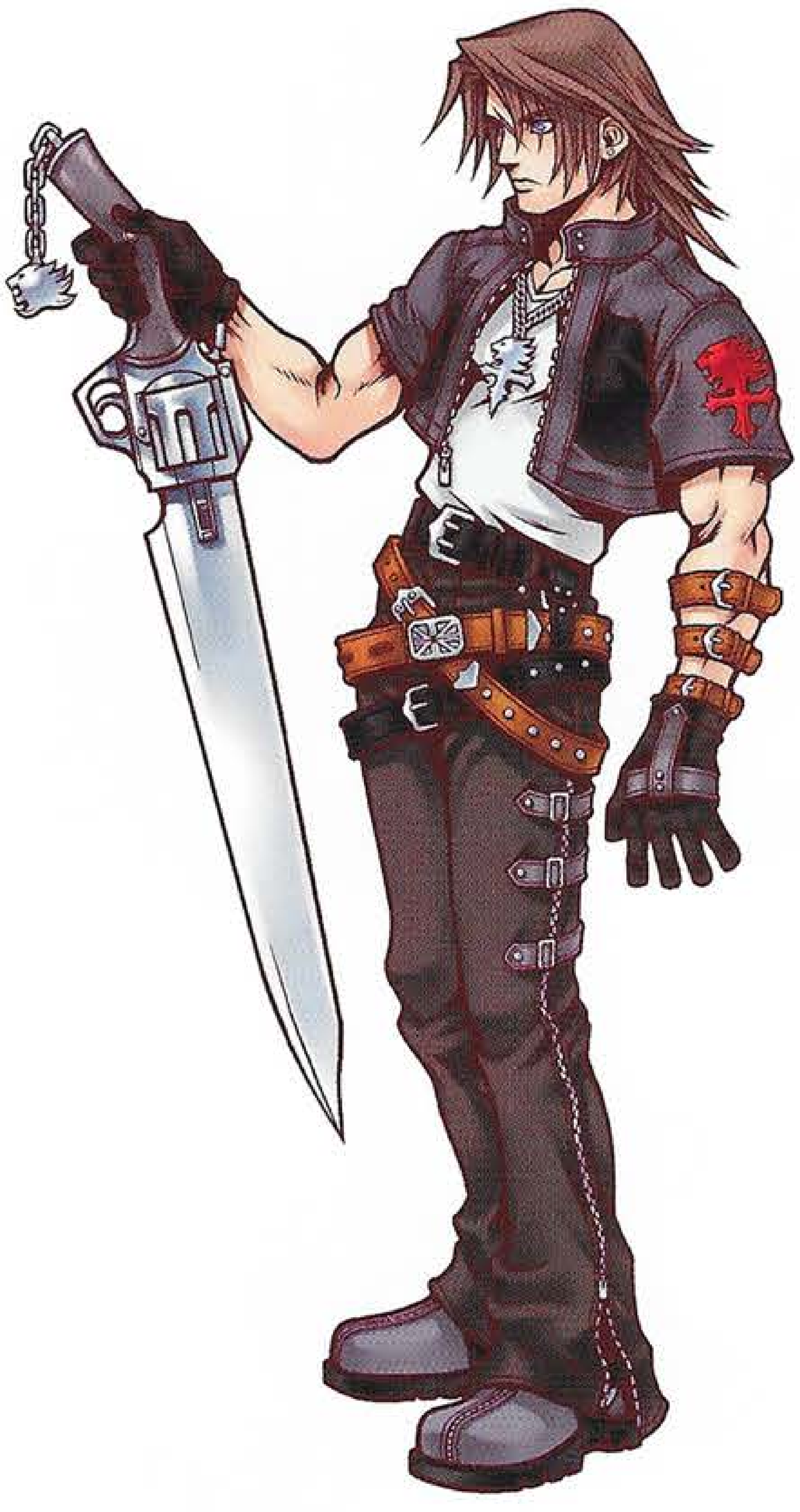
モーグリ



セルフィ



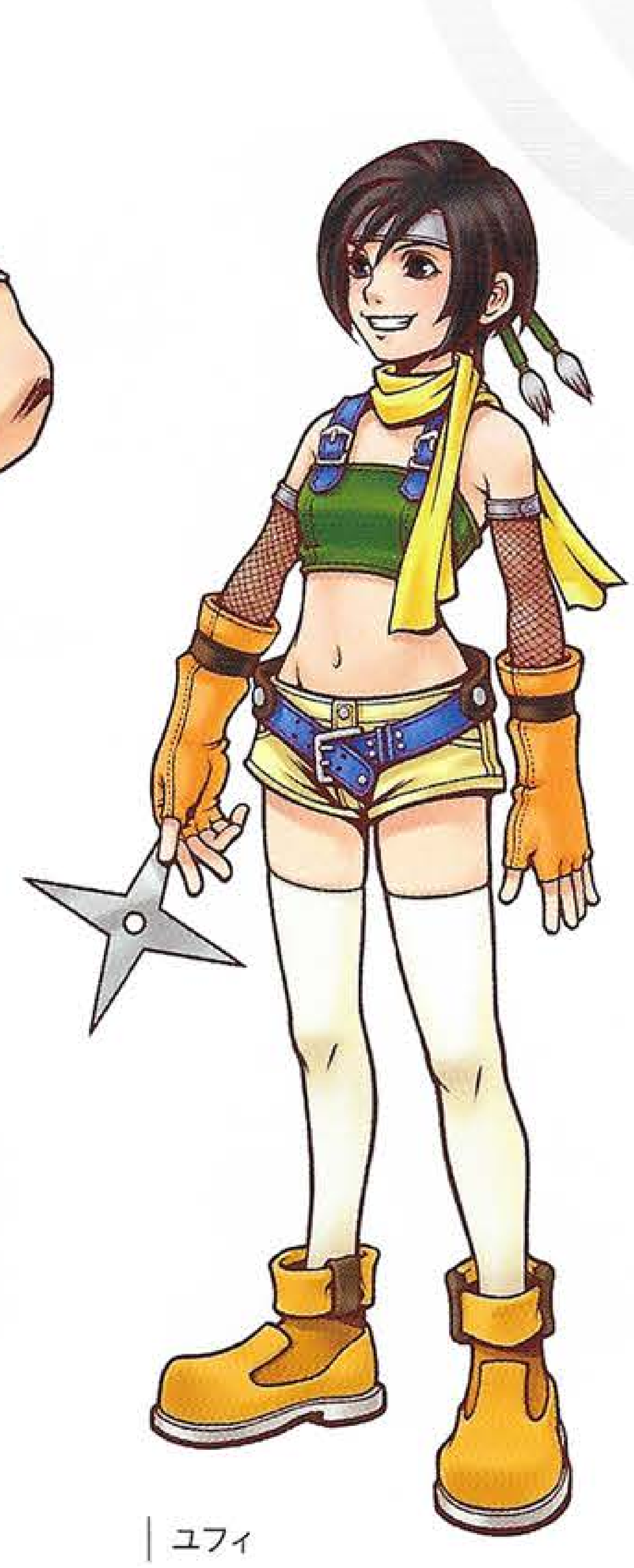
ワッカ



| レオン



| シド



| ユフィ



| エアリス



| クラウド



シャドウ



ソルジャー

ラージボディ





レッドノクターン



ブルーラプソディ



イエローオペラ



グリーンレクイエム



パワーワイルド



バウンシーワイルド



エアソルジャー



バンディット



ポッドスパイダー



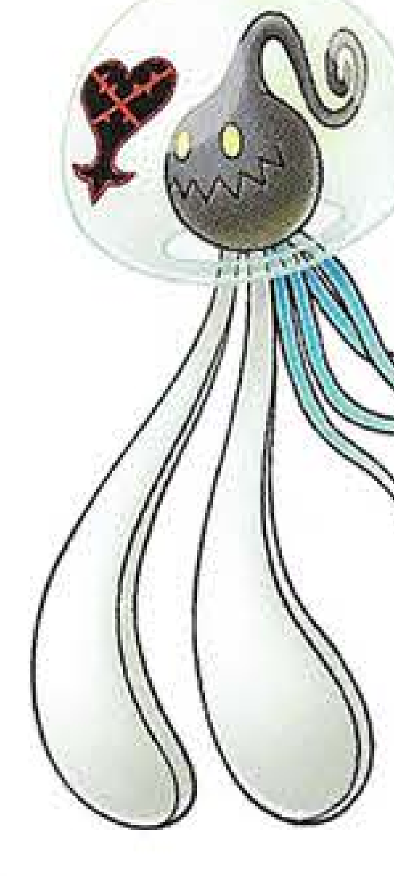
ファットバンディット



バレルスパイダー



サーチゴースト



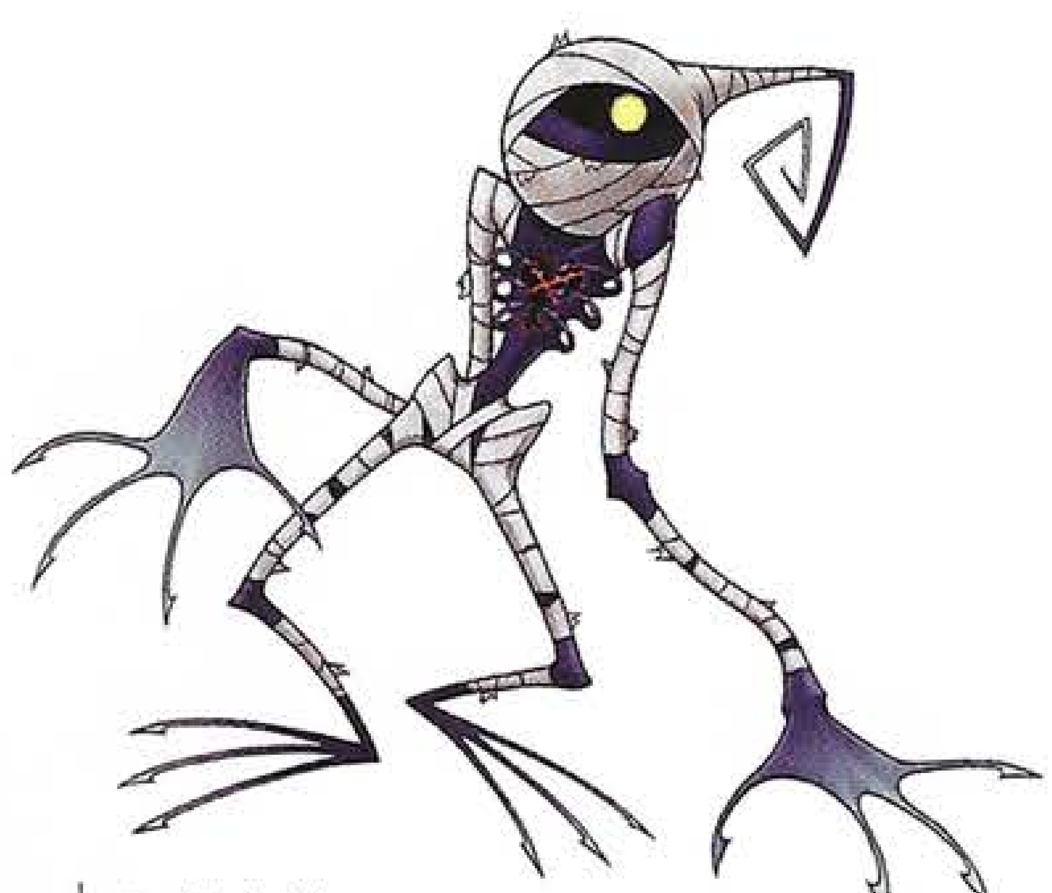
シーネオン、シェルタリングゾーン



スクリューダイバー



アクアタンク



ワイトナイト



ガーゴイル



パイレーツ



バトルシップ



エアパイレーツ



ダークボール



ディフェンダー



ワイバーン



ウィザード



インビジブル



ベヒーモス



ビットスナイパー



エンジェルスター



ホワイトマッシュルーム



ブラックファンガス



レアトリュフ



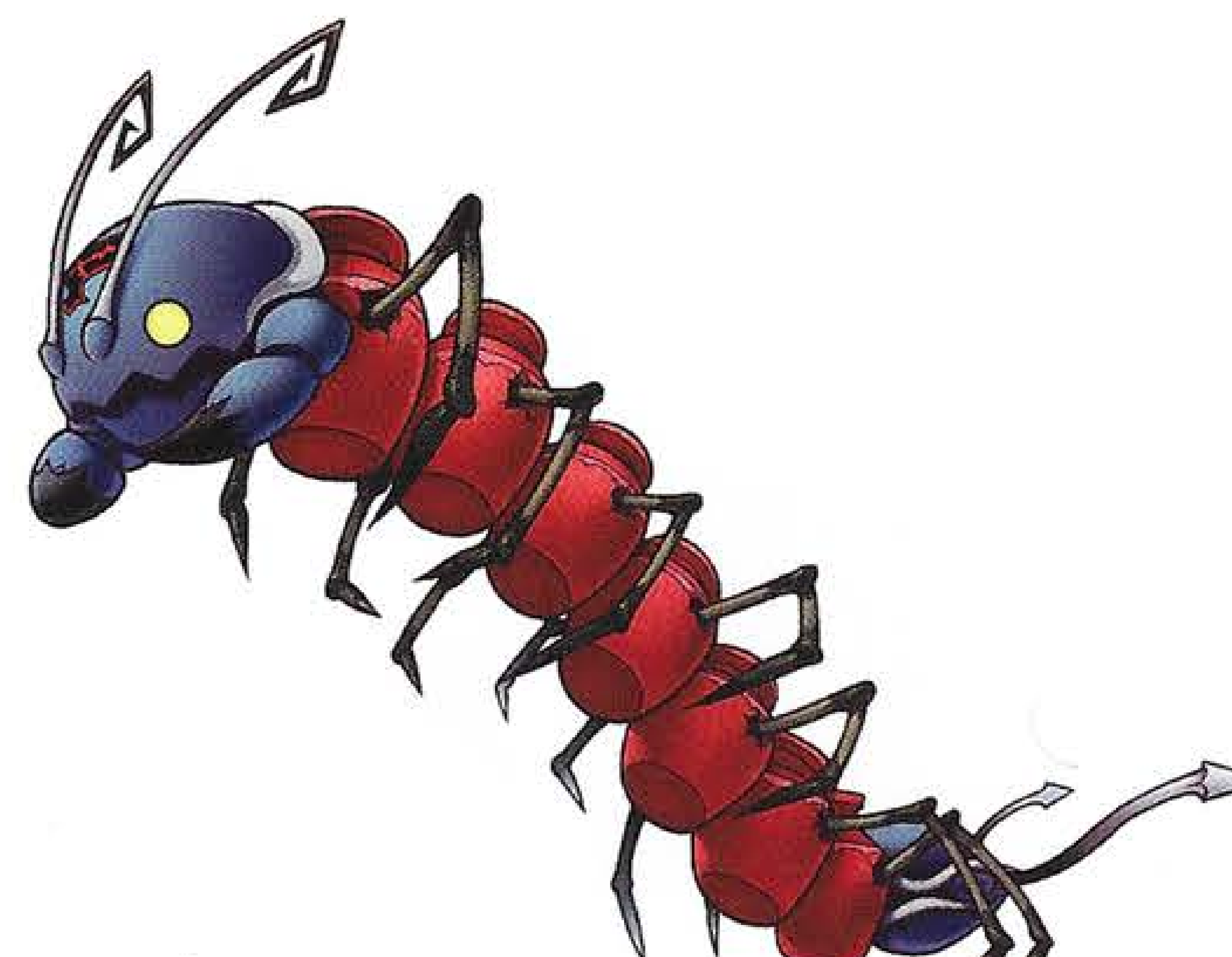
ダークサイド



トリックマスター



ガードアーマー



ポットセンティピード



ステルススニーク

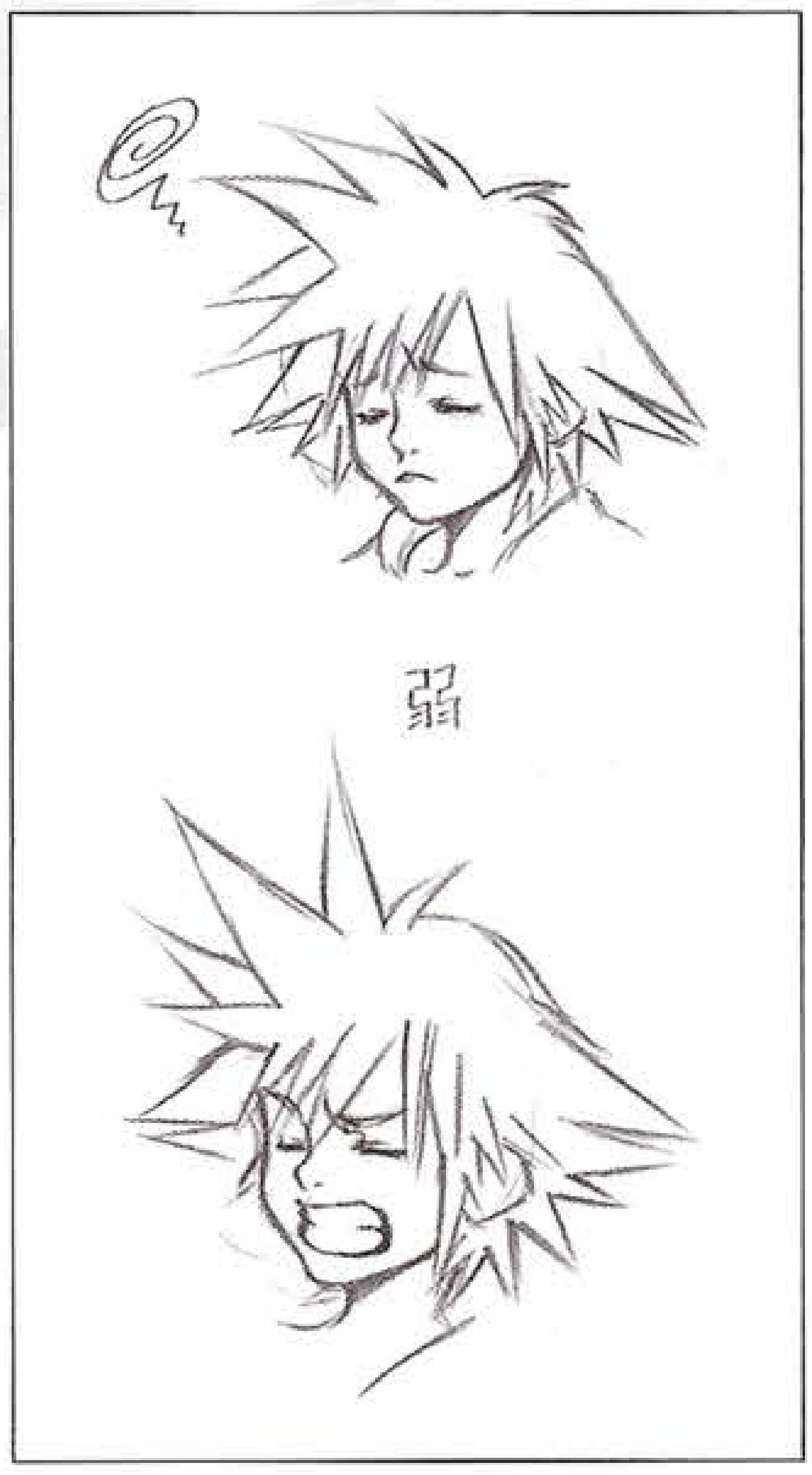


ファントム



パラサイトケイジ

設定画



ソラのパラメータ用表情



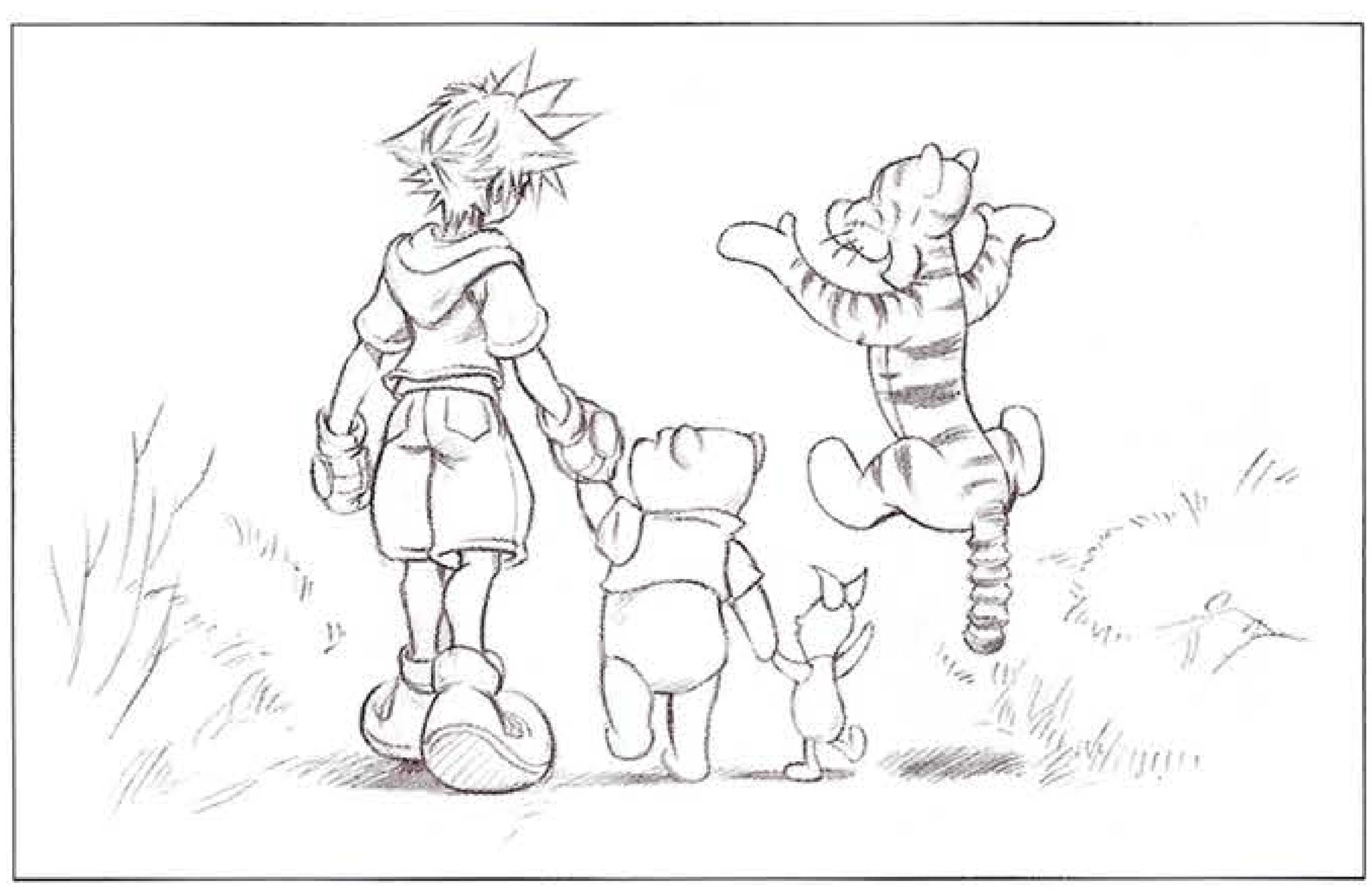
ソラの全身設定



リュック（未採用）

目隠しの男（リク）





古びた本の表紙絵（原画）



幼少時のソラ



幼少時のリク



幼少時のカイリ



カイリのおばあさん





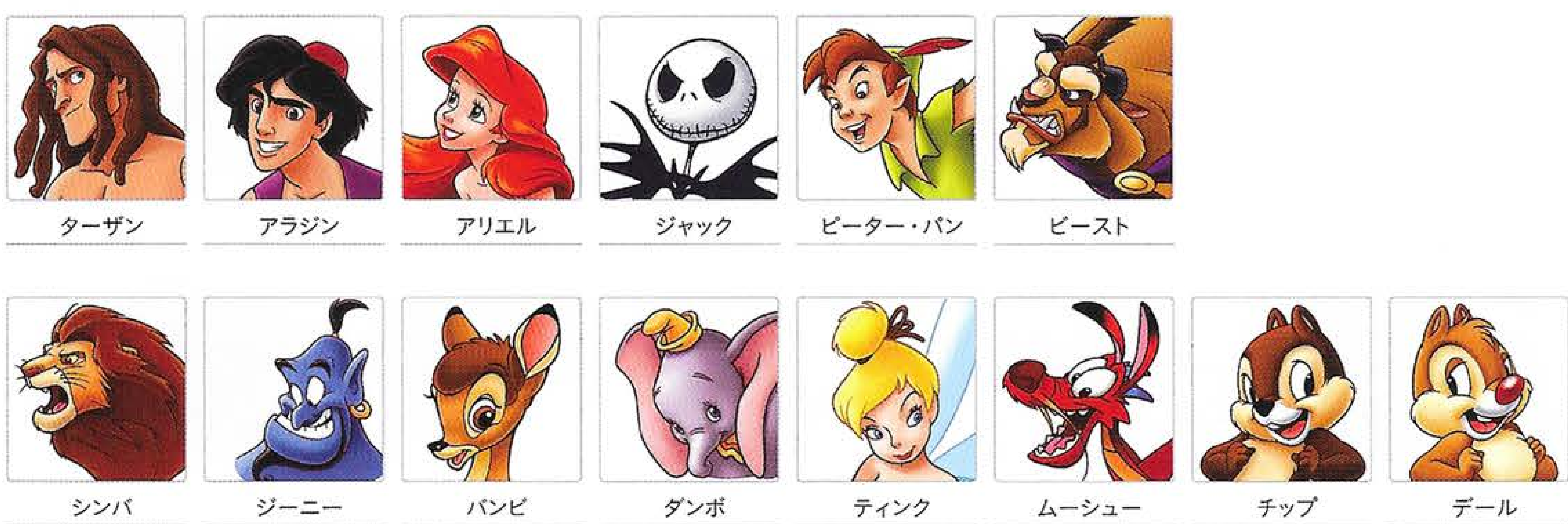
茶ローブの男



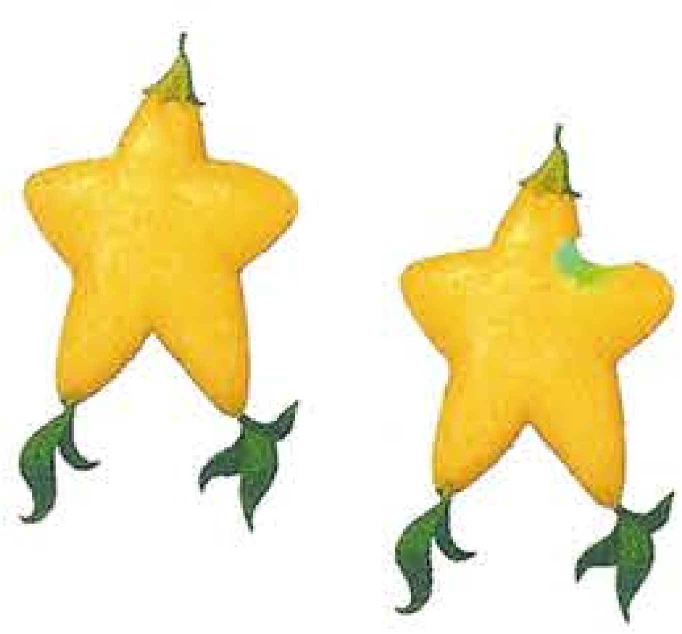
ワールドオブカオス(最上部)

リク(アンセム)

パラメータ用イラスト

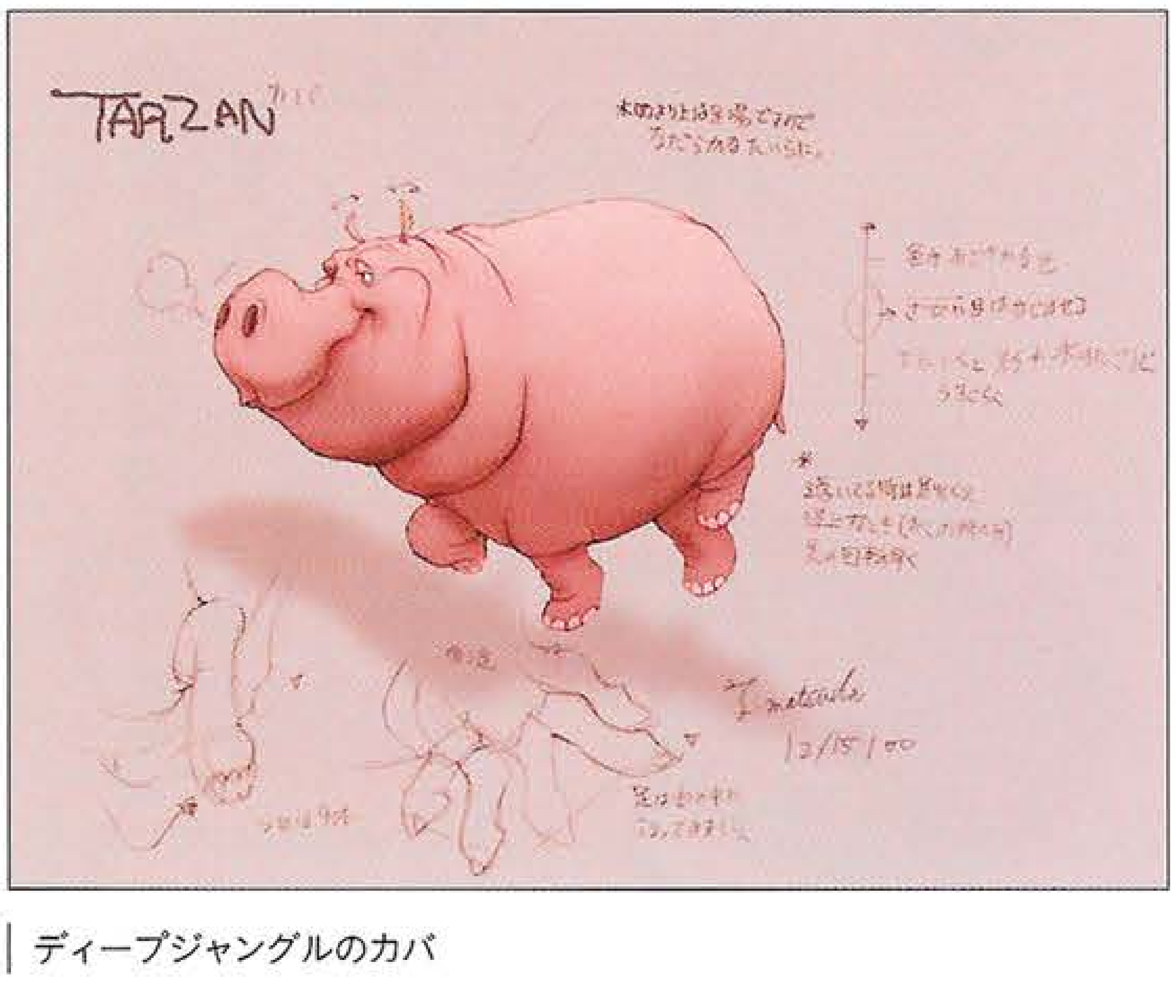


パオプの実





闘技大会優勝トロフィー



ディープジャングルのカバ



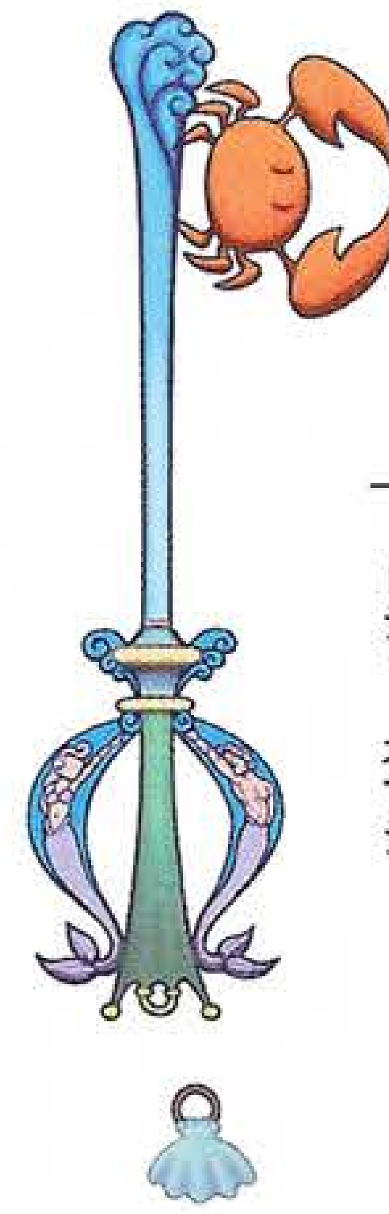
ネイティブワーク



デザイアーランプ



パンプキンヘッド



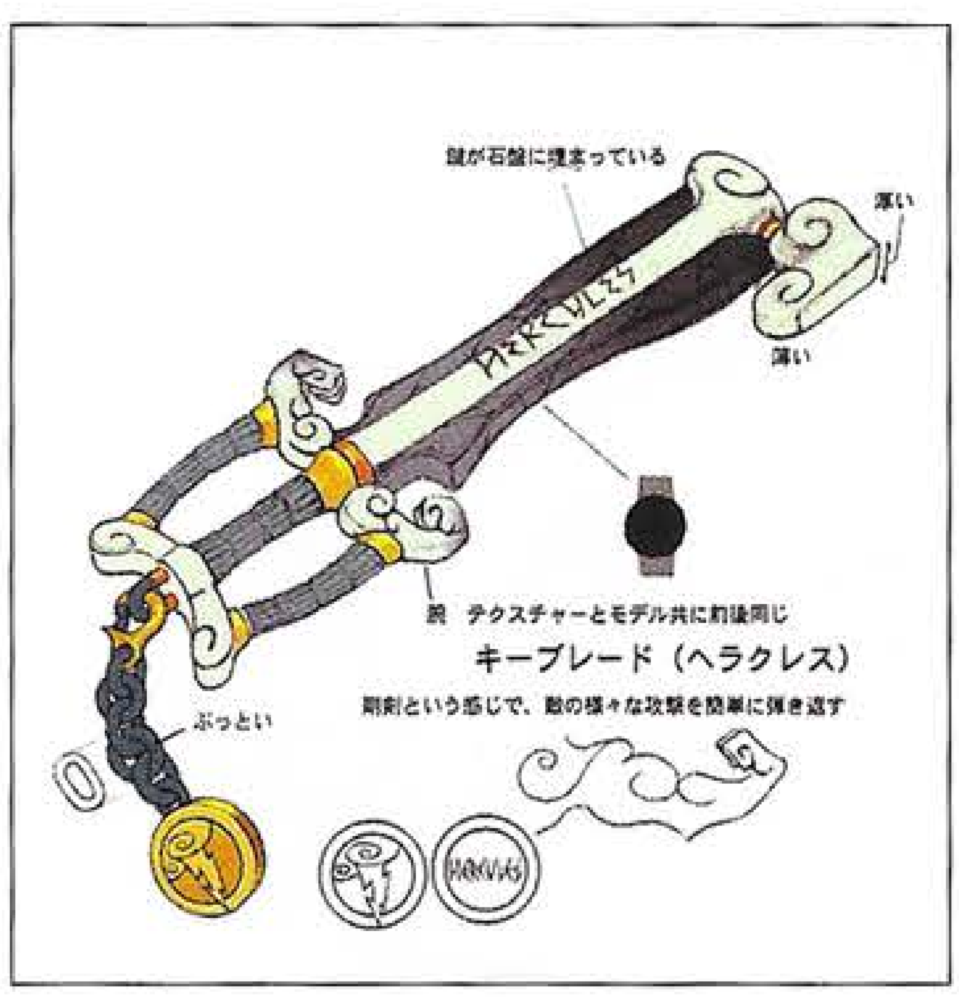
トレジャーオブシー



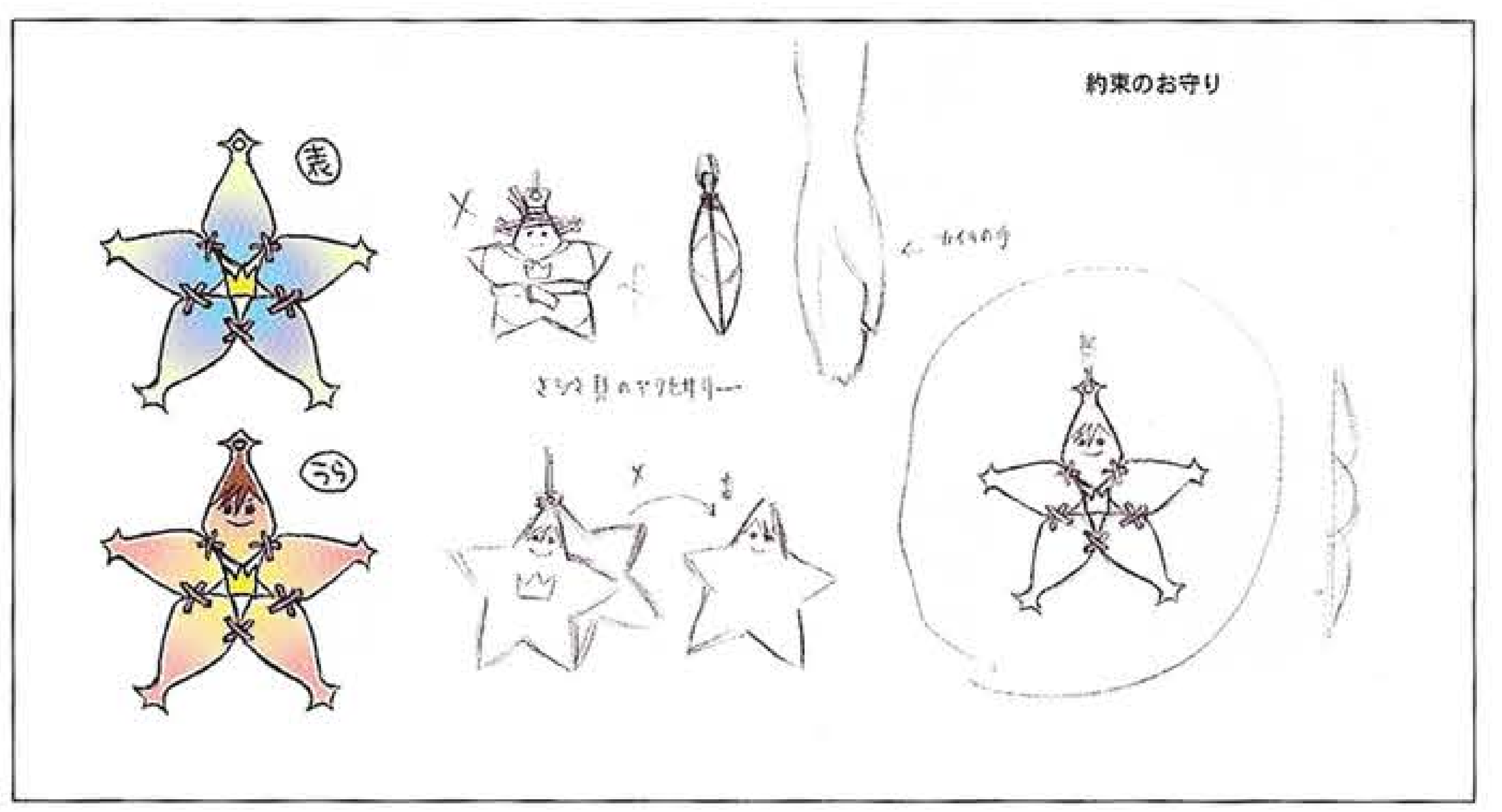
フェアリーハープ



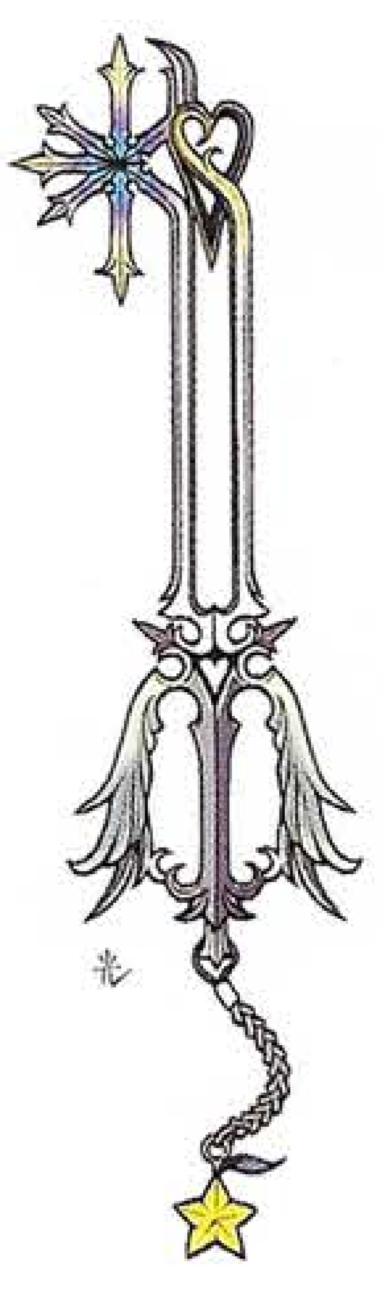
エグザミネイション



パワーオブヒーロー



サラサ貝のお守り



約束のお守り



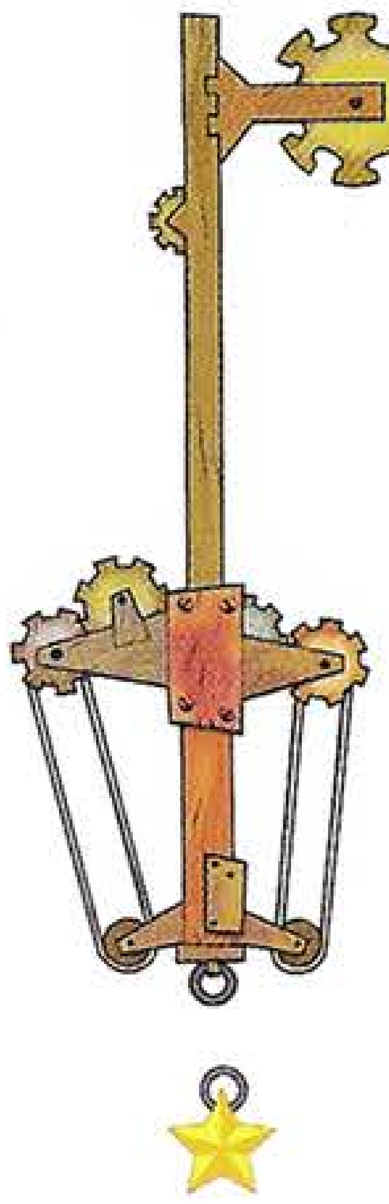
過ぎ去りし思い出



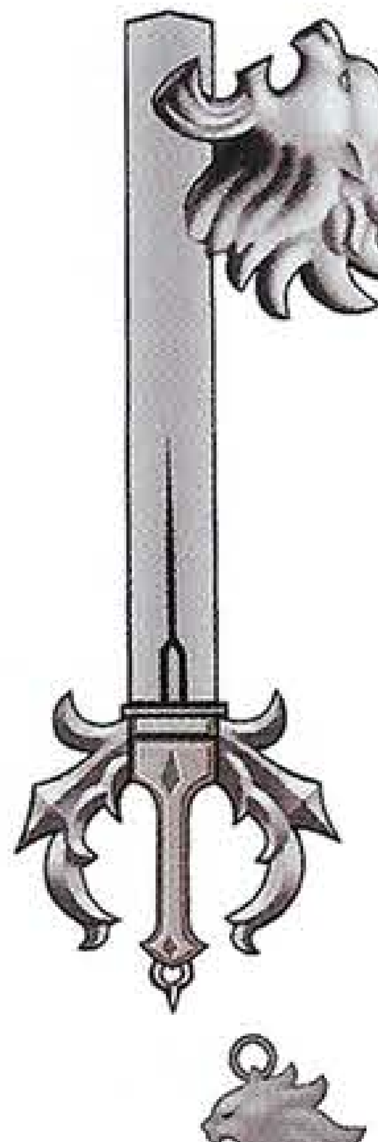
アルテマウェポン

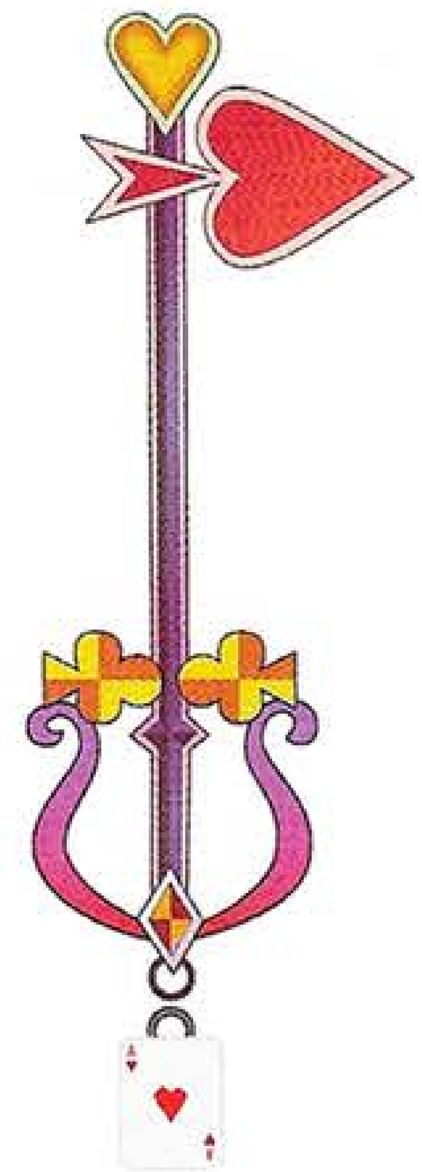


ソウルイーター

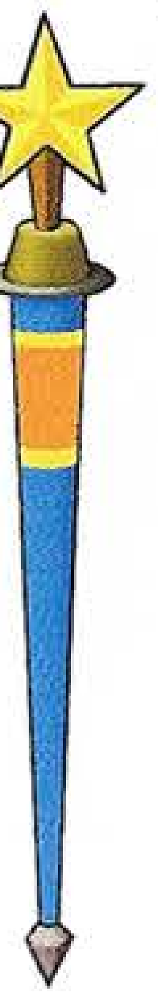

ウィッシュスター

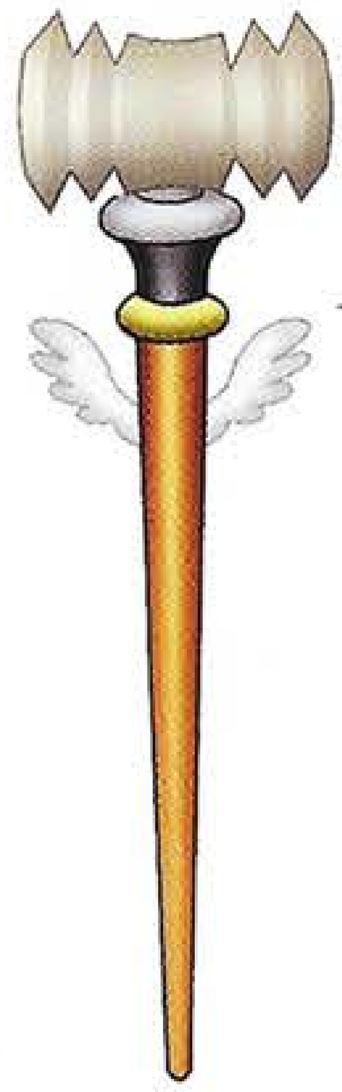

メタルチョコボ


ライオンハート


ラストリゾート


ラヴィアンローズ


モーニングスター


バトルメイス


ロードフォーチュン



クリティカルメイス


セイヴザクイーン



ミスリルシールド、プラチナシールド



スタウトシールド、ゴーレムシールド、アダマンシールド



源氏の盾

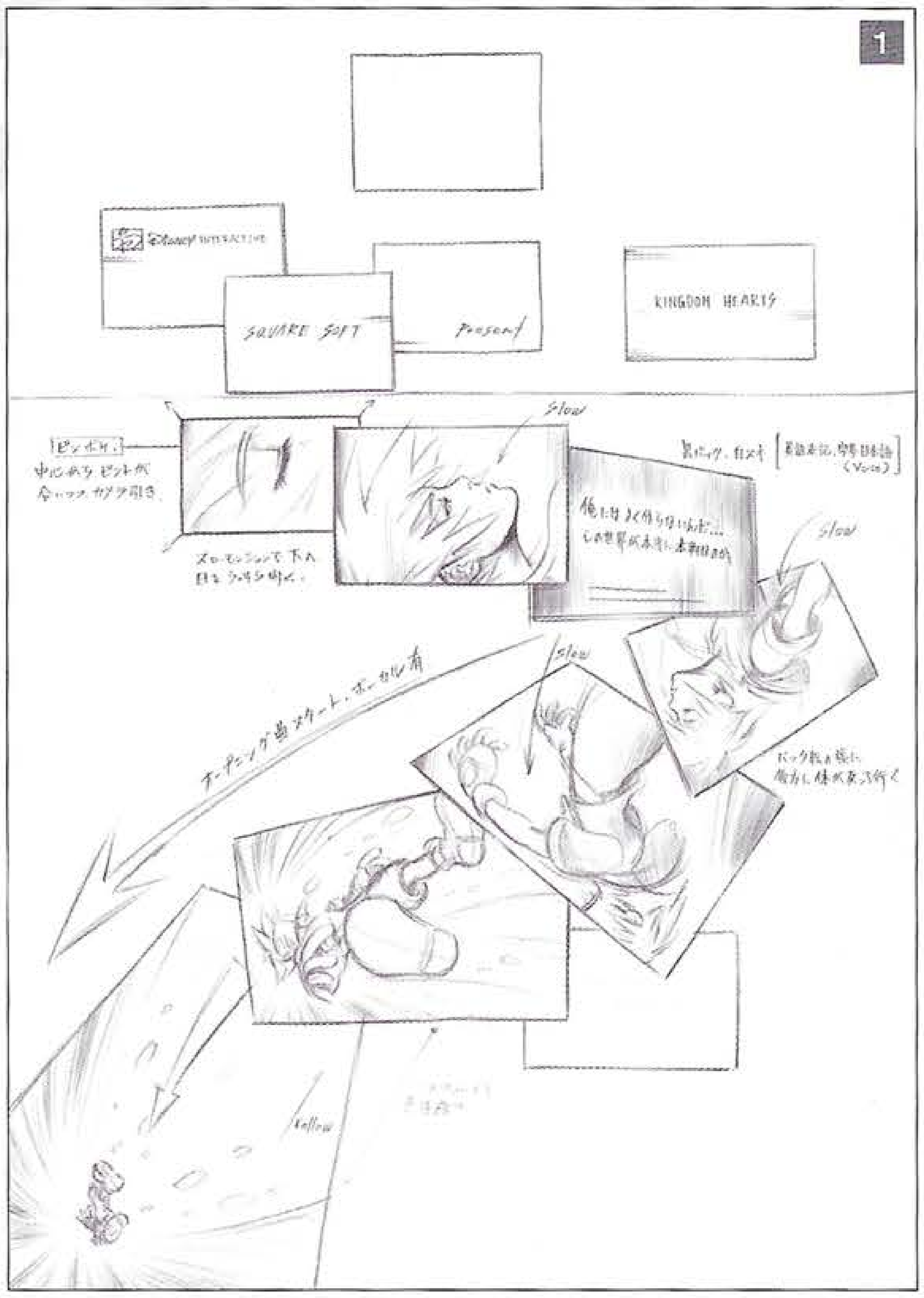

スマッシャー


ヘラクレスの盾


セイヴザキング

絵コンテ

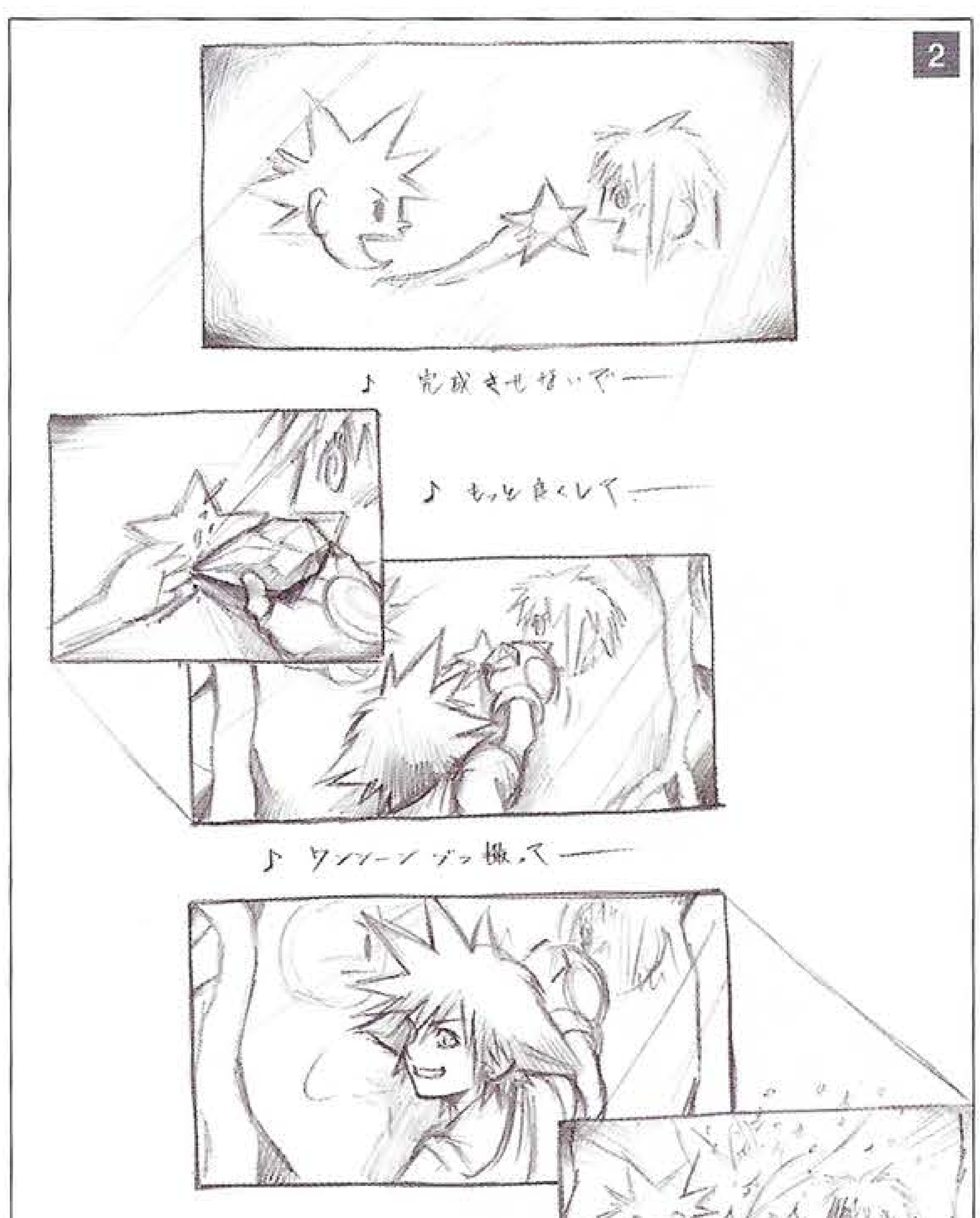
オープニング



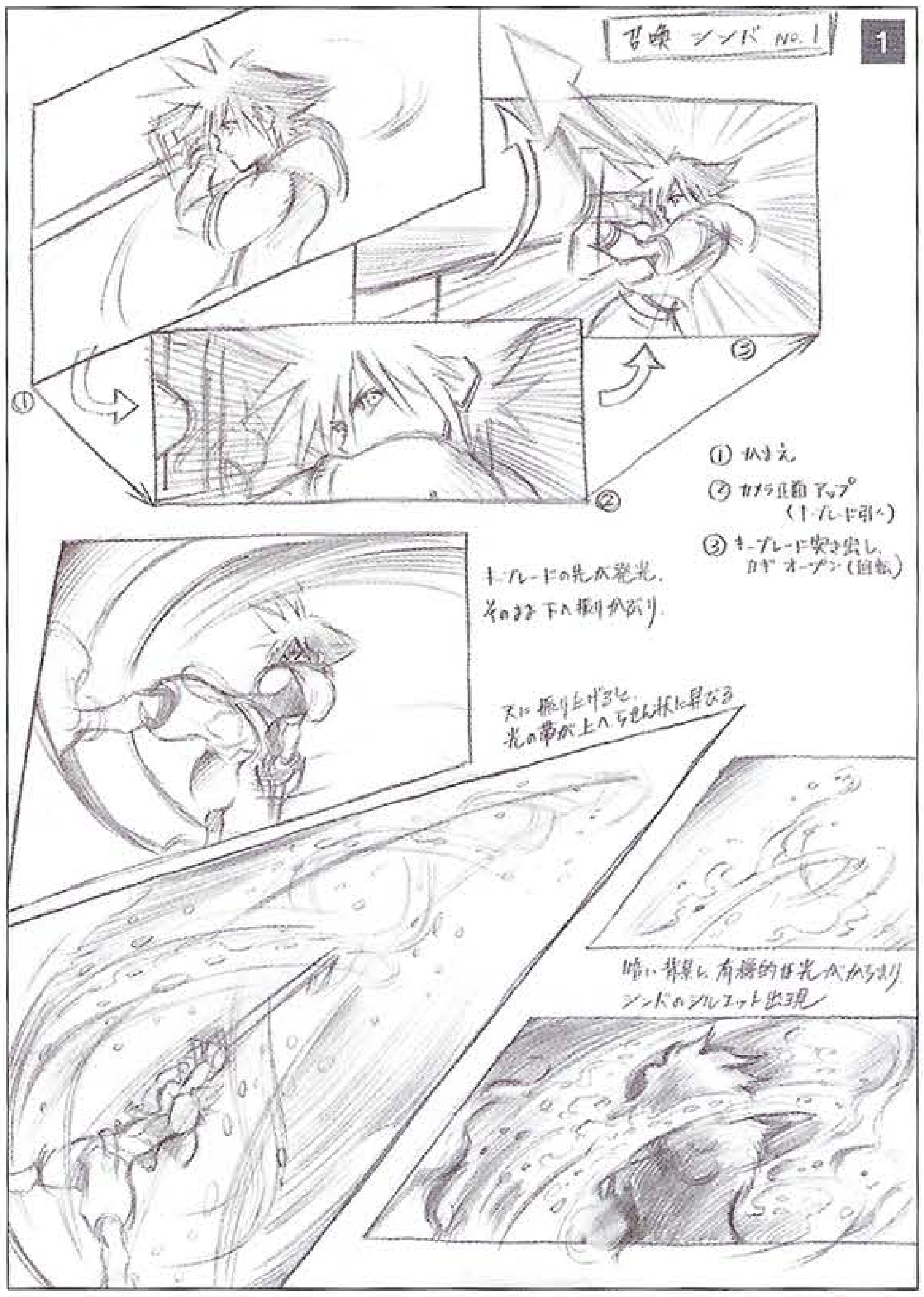


エンディング





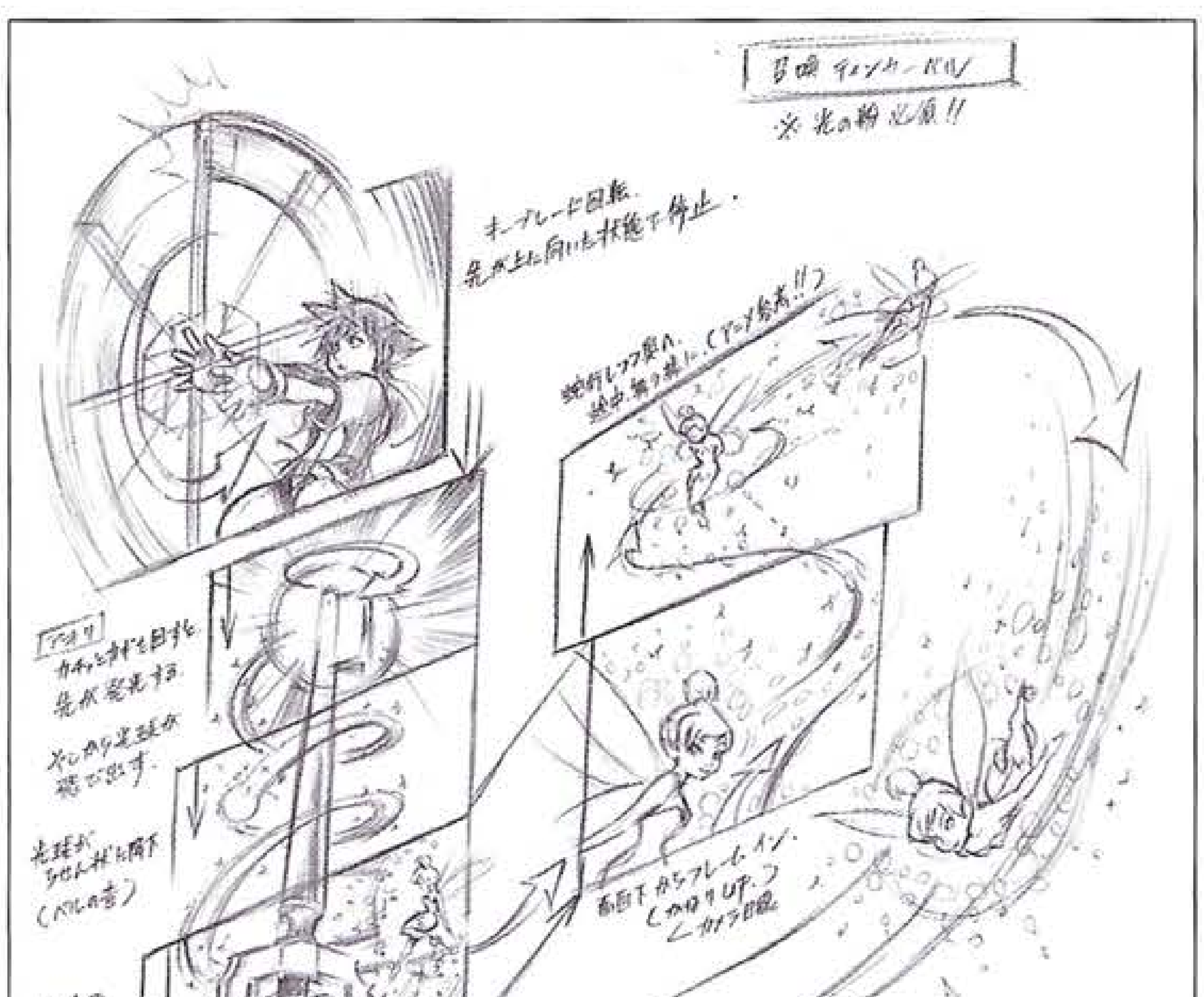
シンバ召喚シーン





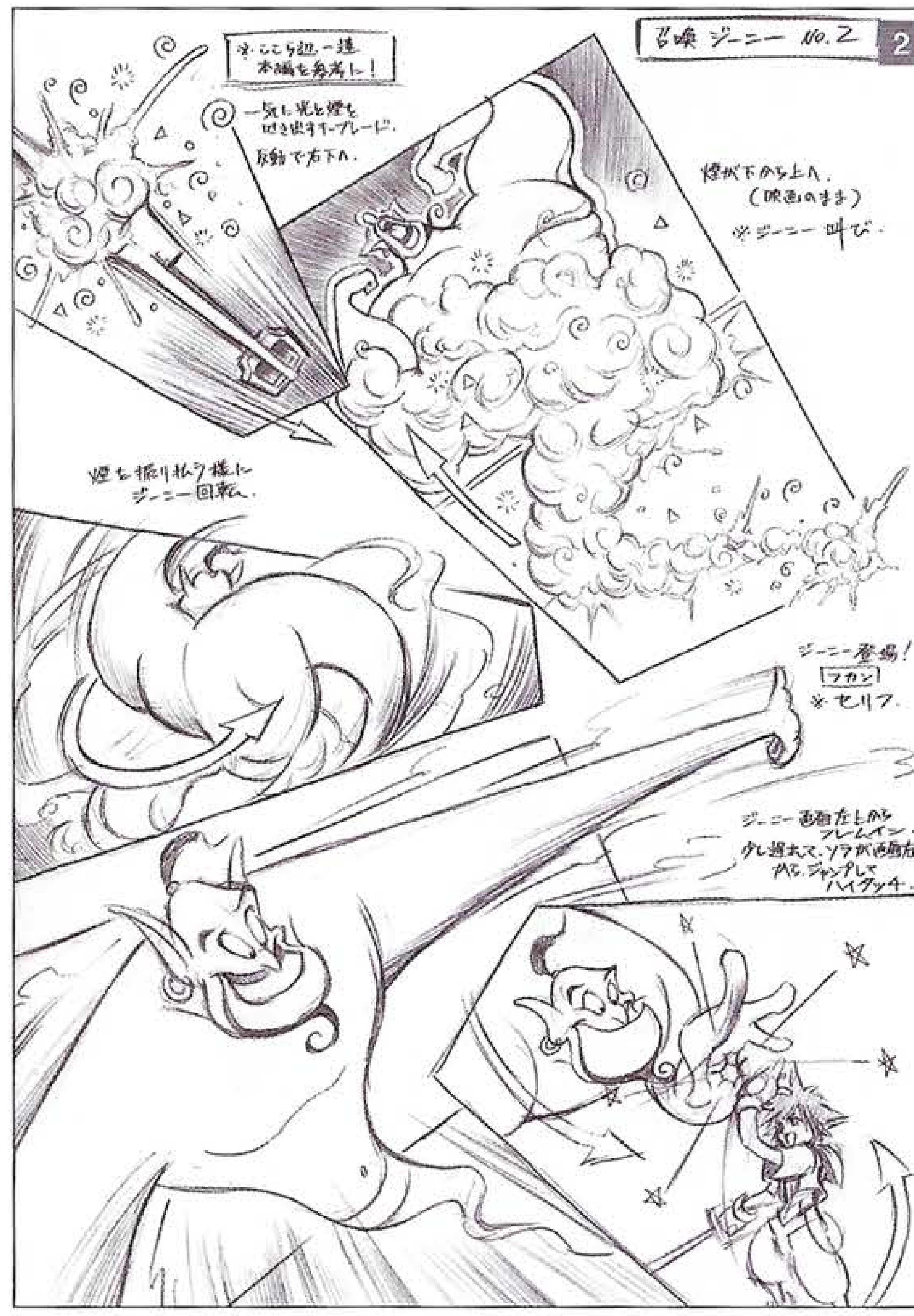


ティンク召喚シーン

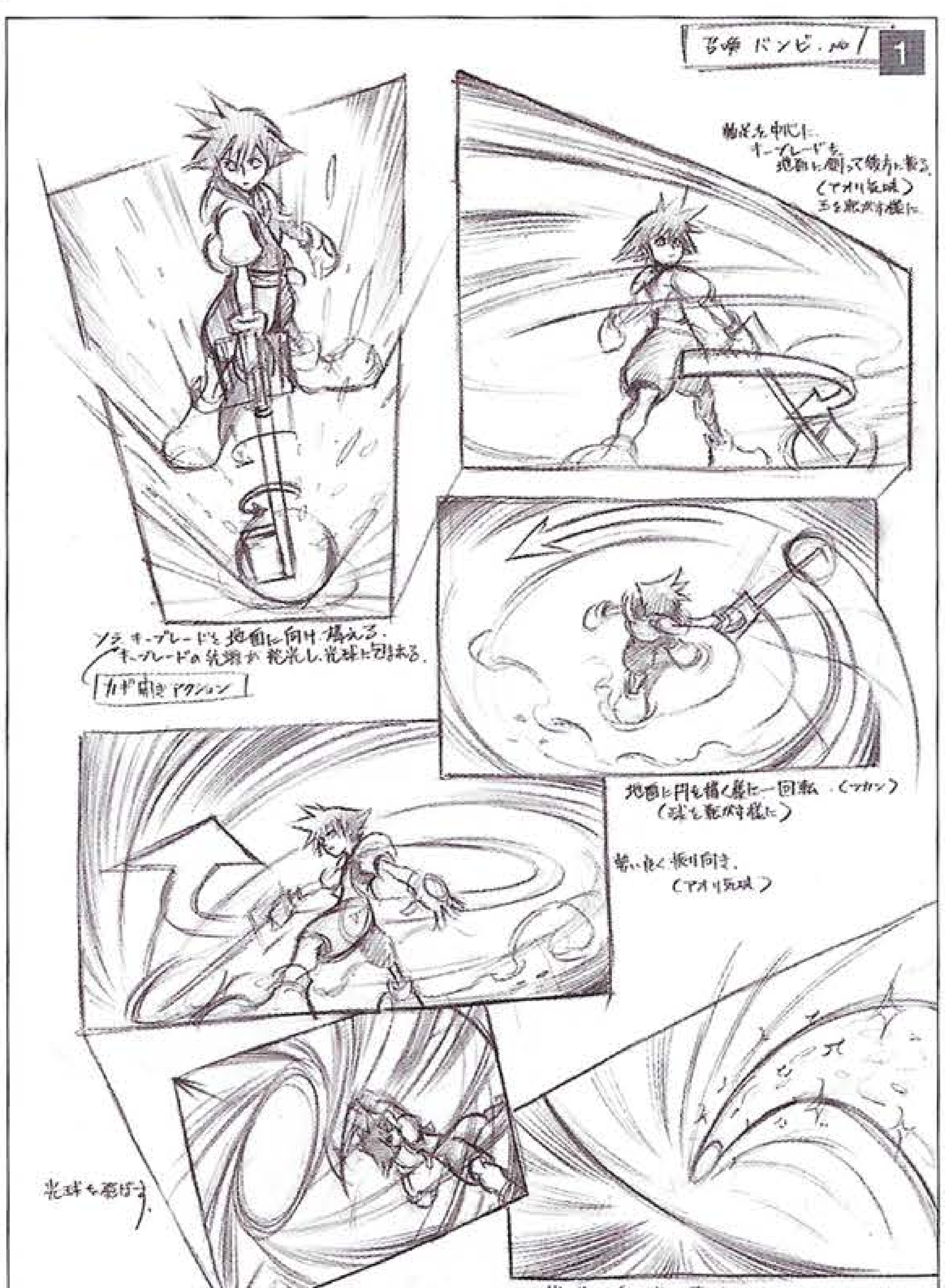


ジーニー召喚シーン



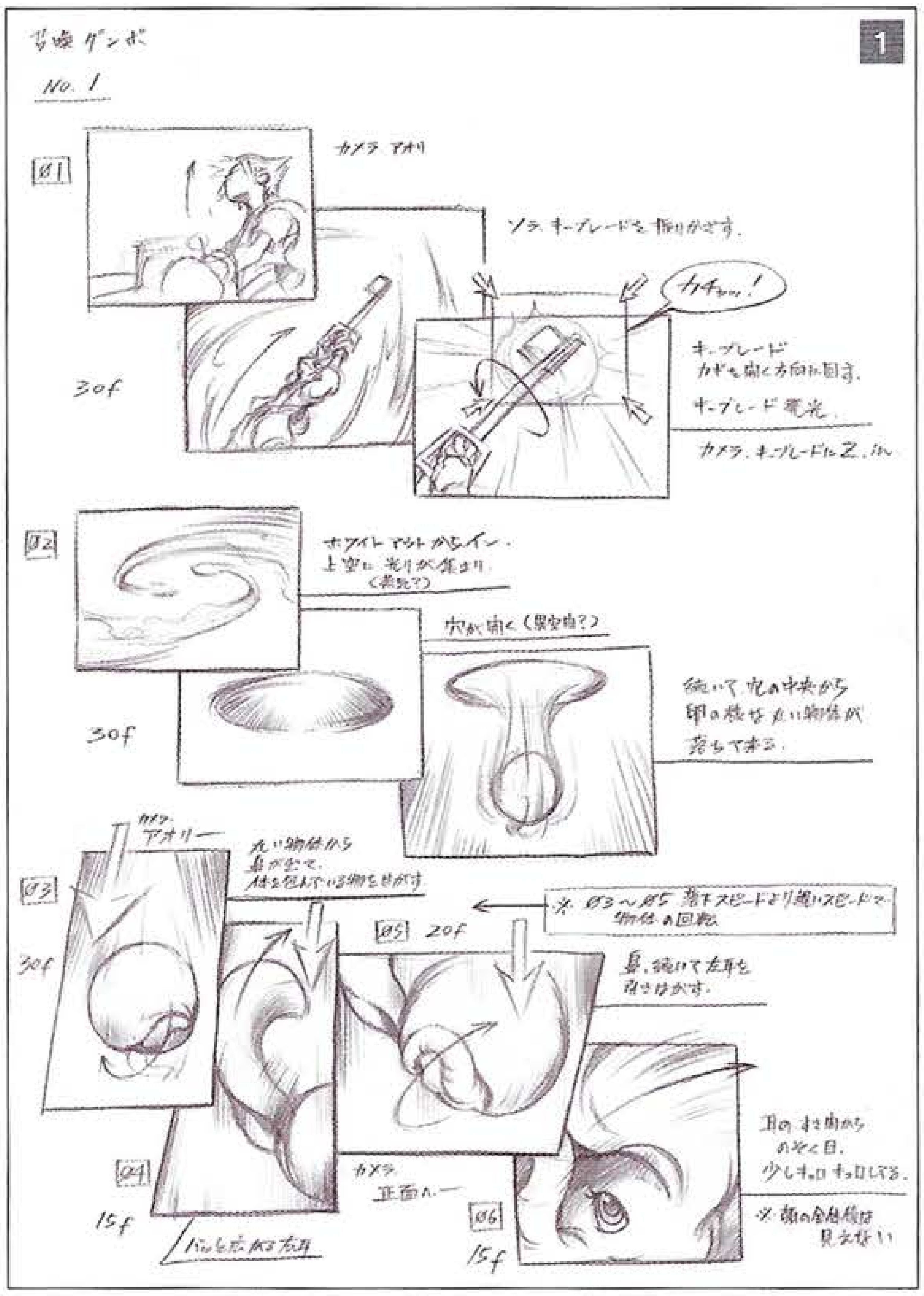


バンビ召喚シーン





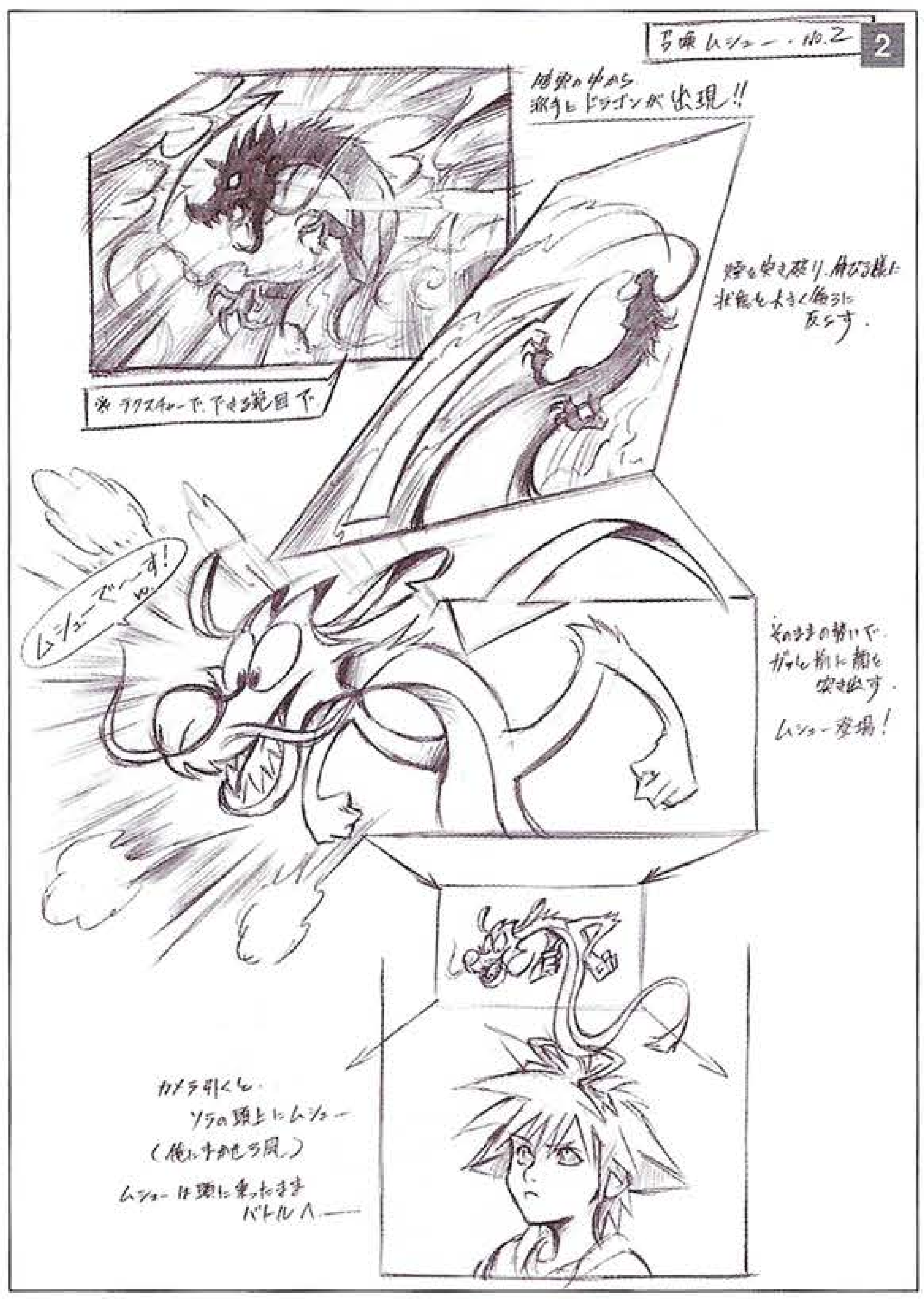
ダンボ召喚シーン





ムーシュー召喚シーン

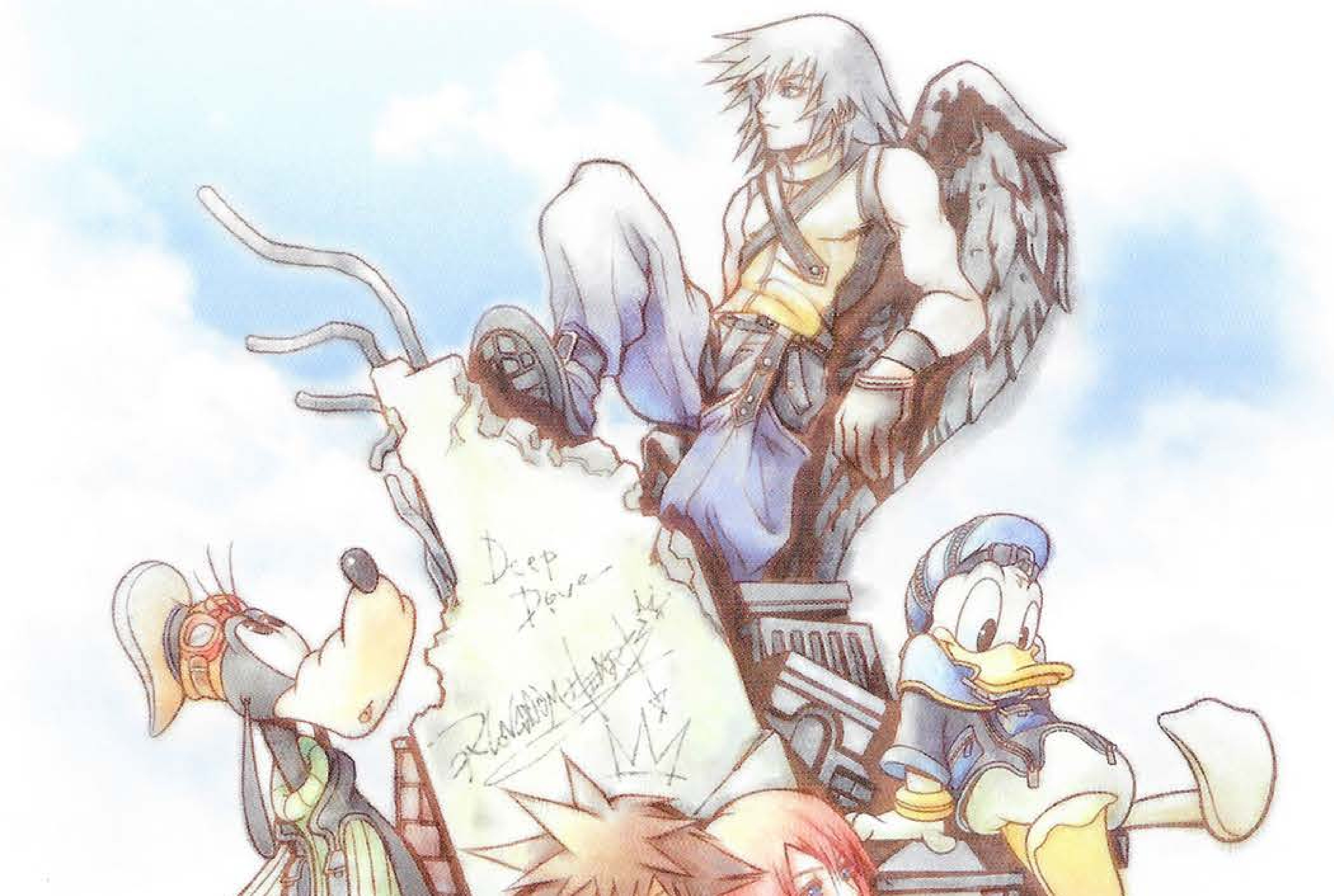




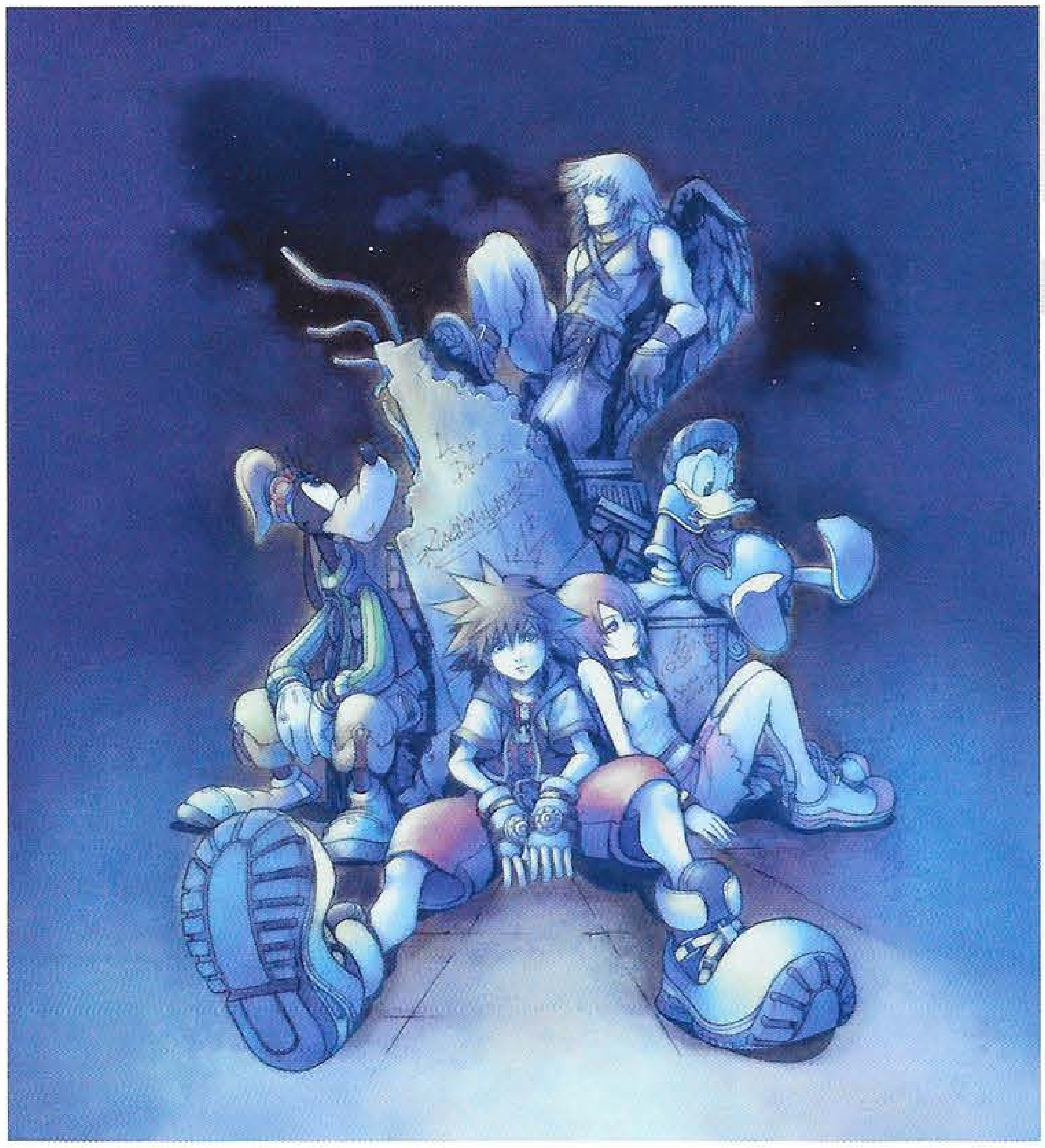
キングダム ハーツ ファイナル ミックス

KINGDOM HEARTS -FINAL MIX-

オフィシャルアート



休息(昼)



休息（夜）



風





セフィロス

設定画



ダイヤモンドダスト



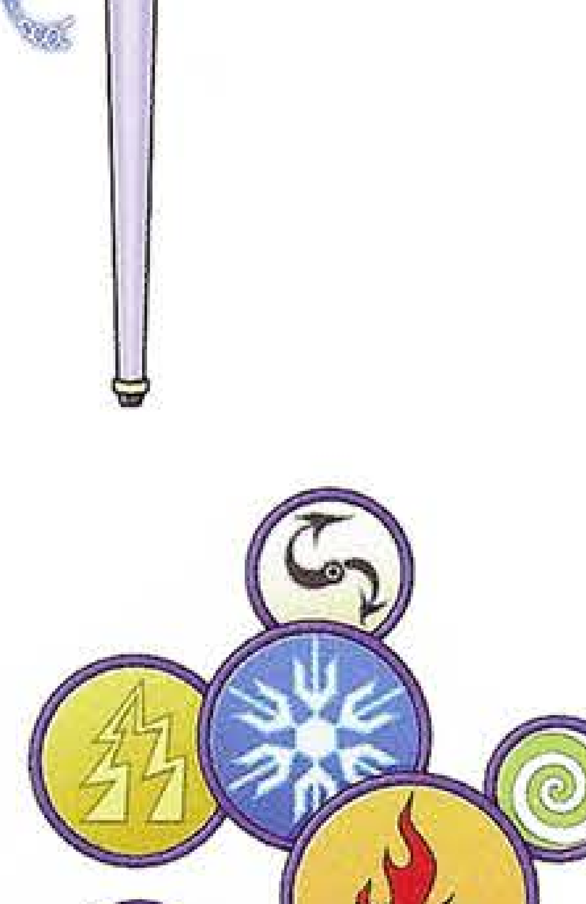
片翼の天使



メテオストライク



ファンタジスタ



セブンエレメンツ



マッシブバンパー

オフィシャルアート



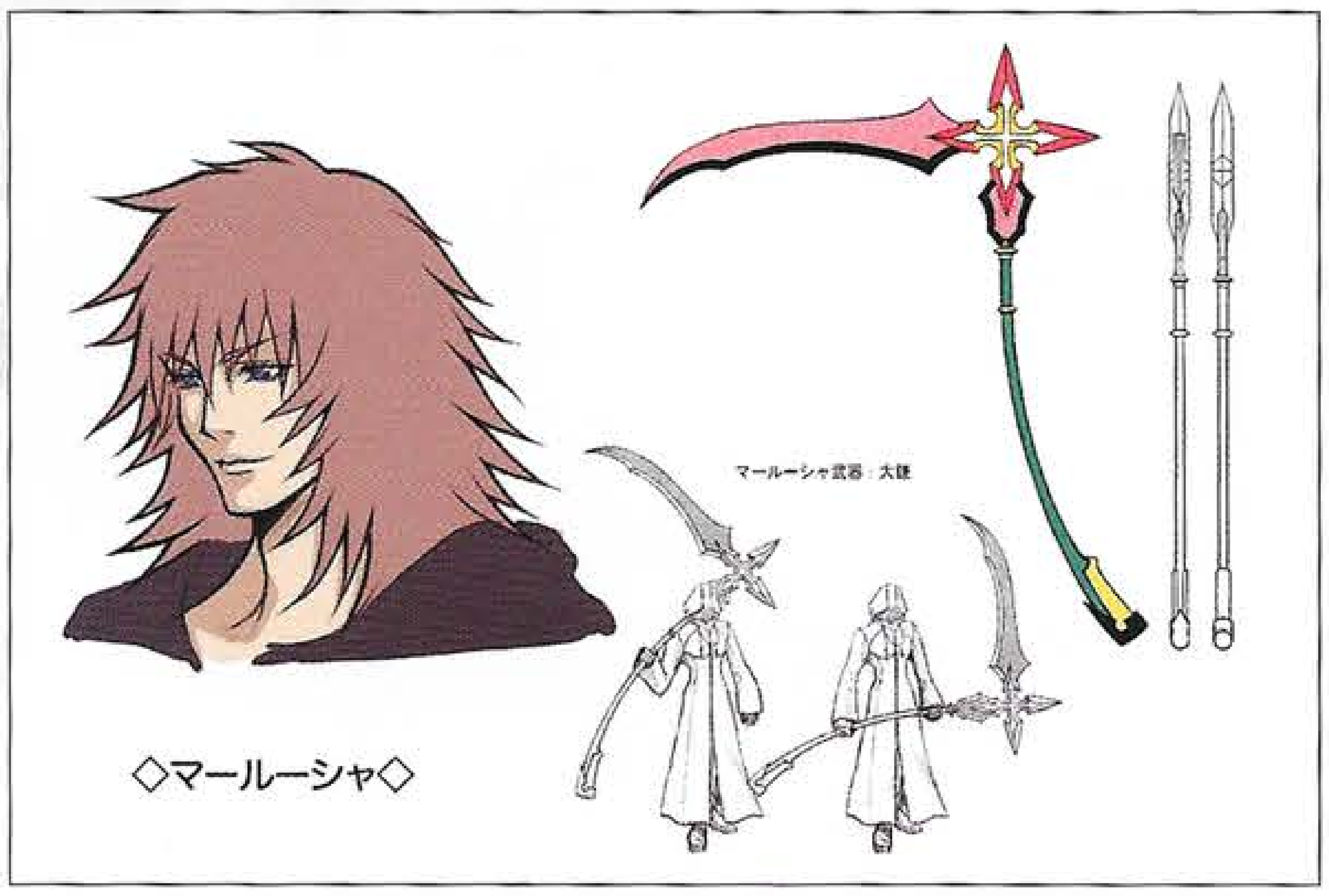
螺旋



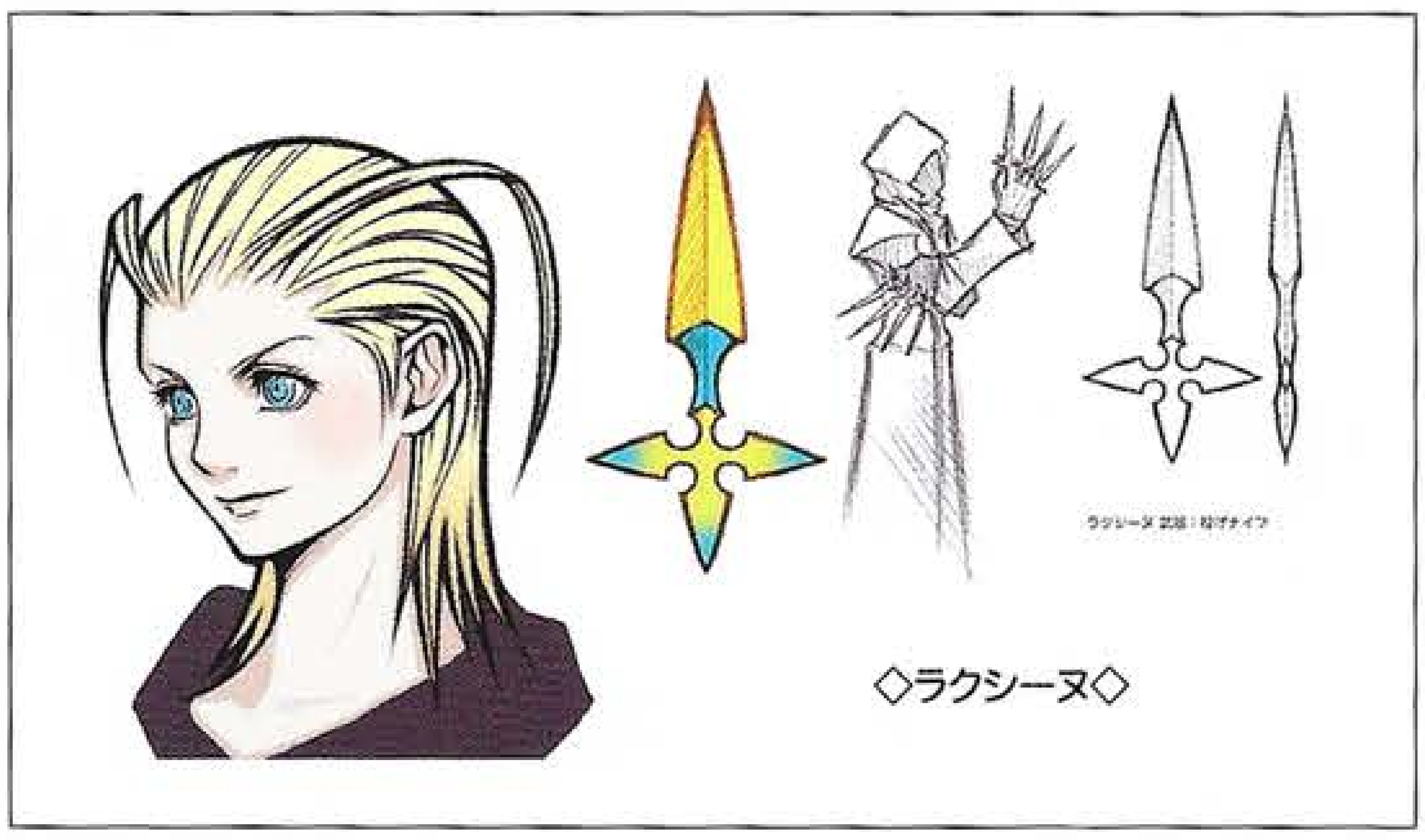
デッキ



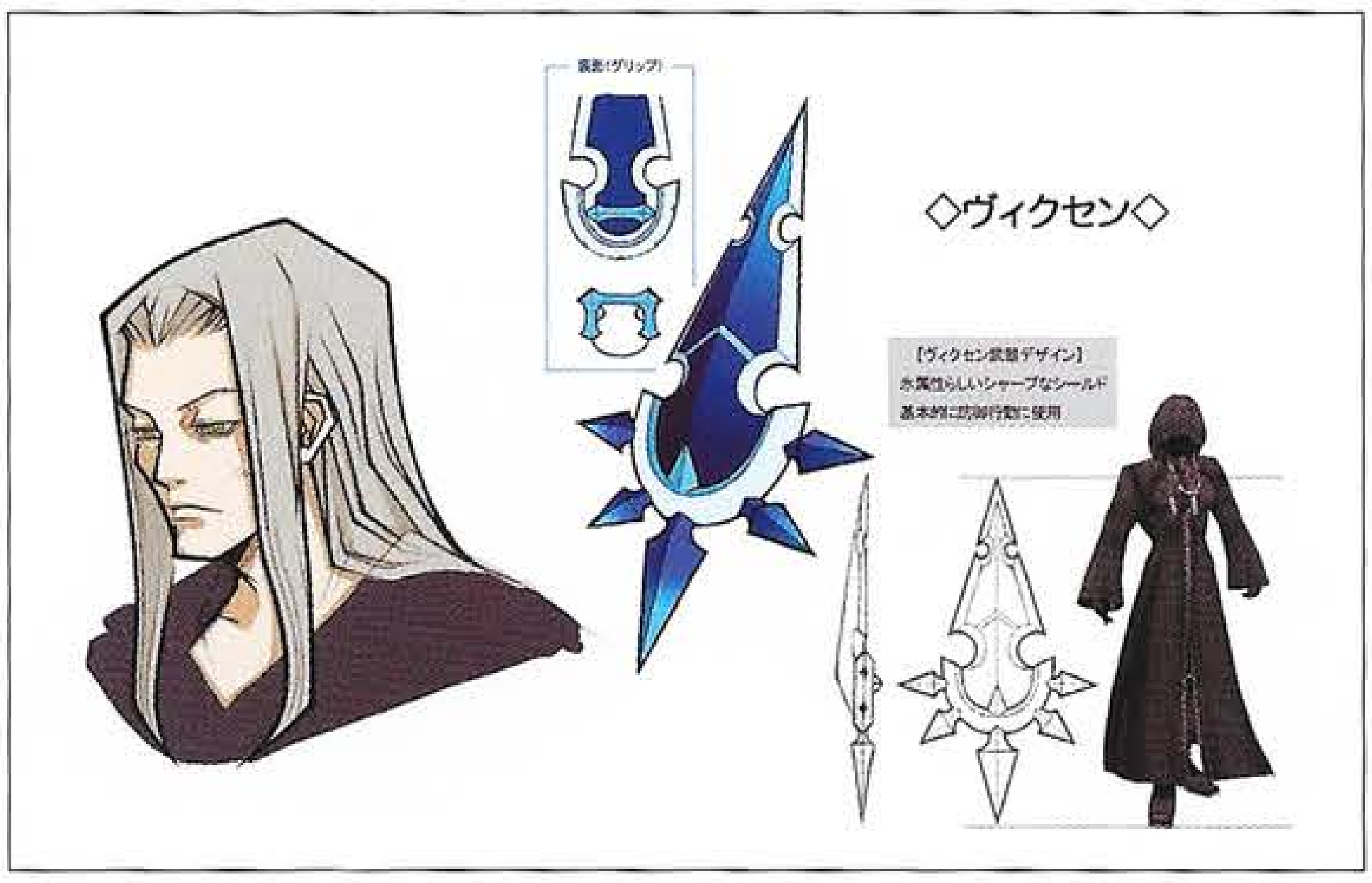
カード



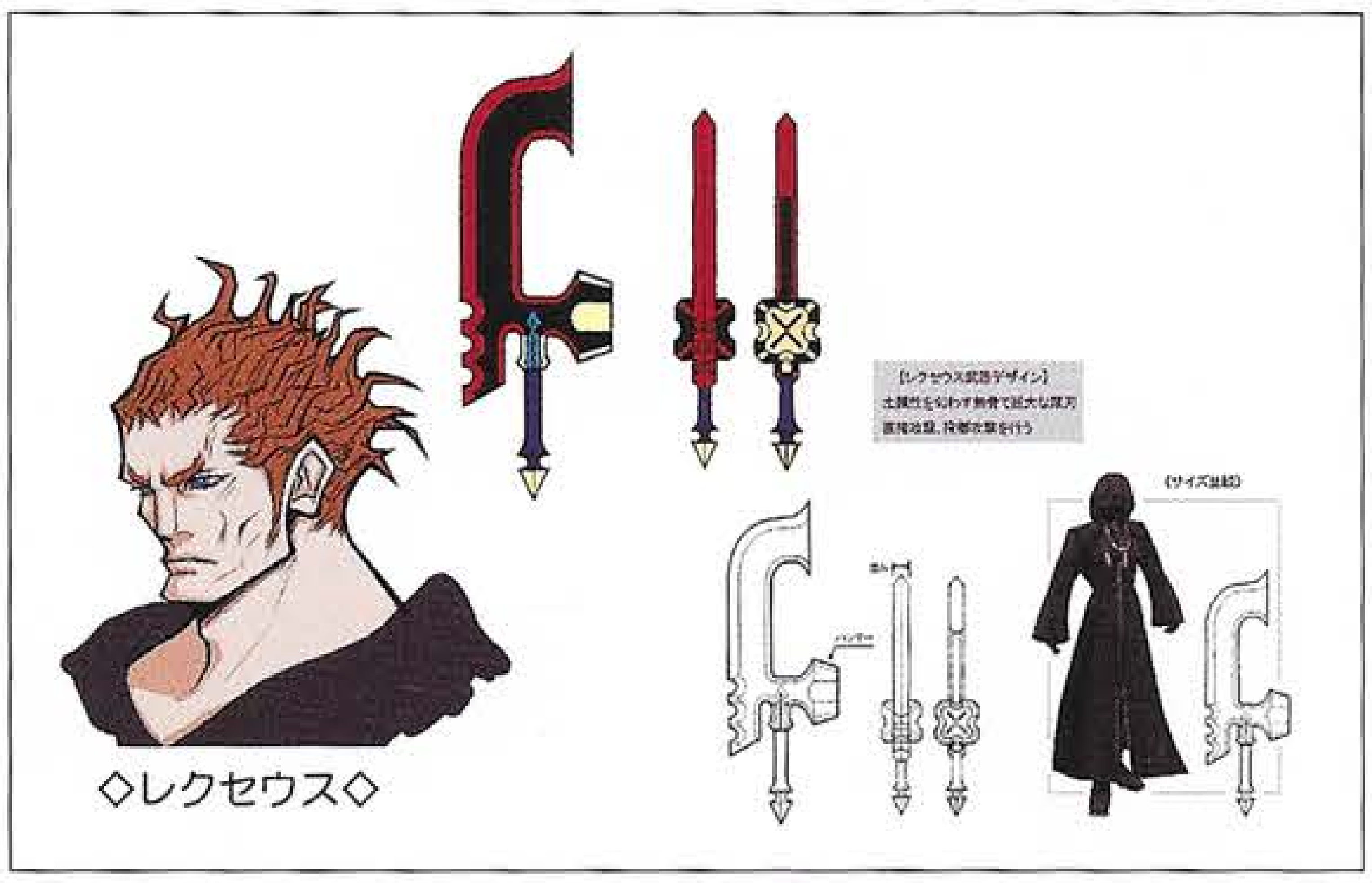
マールーシャ



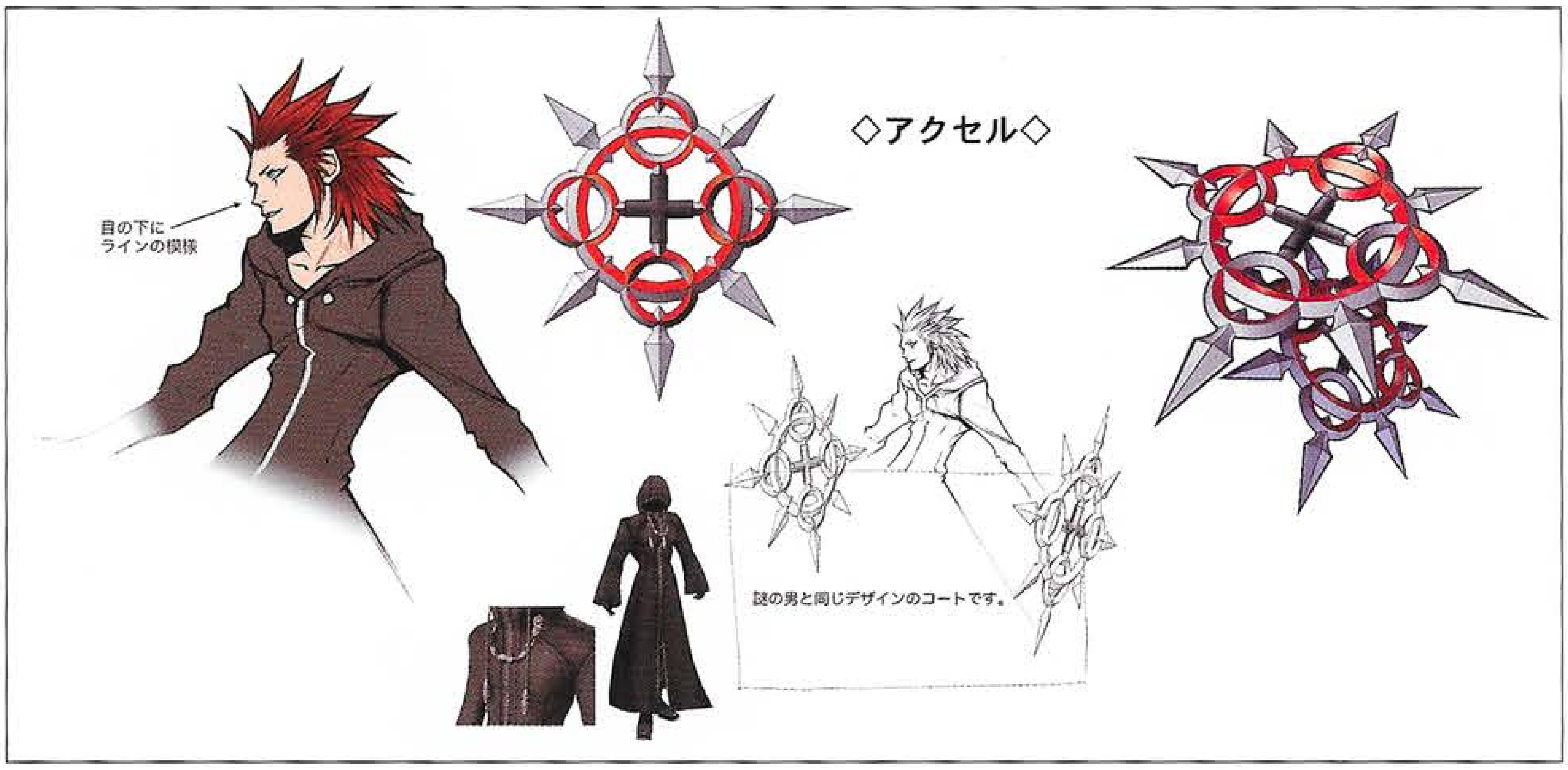
ラクシーヌ



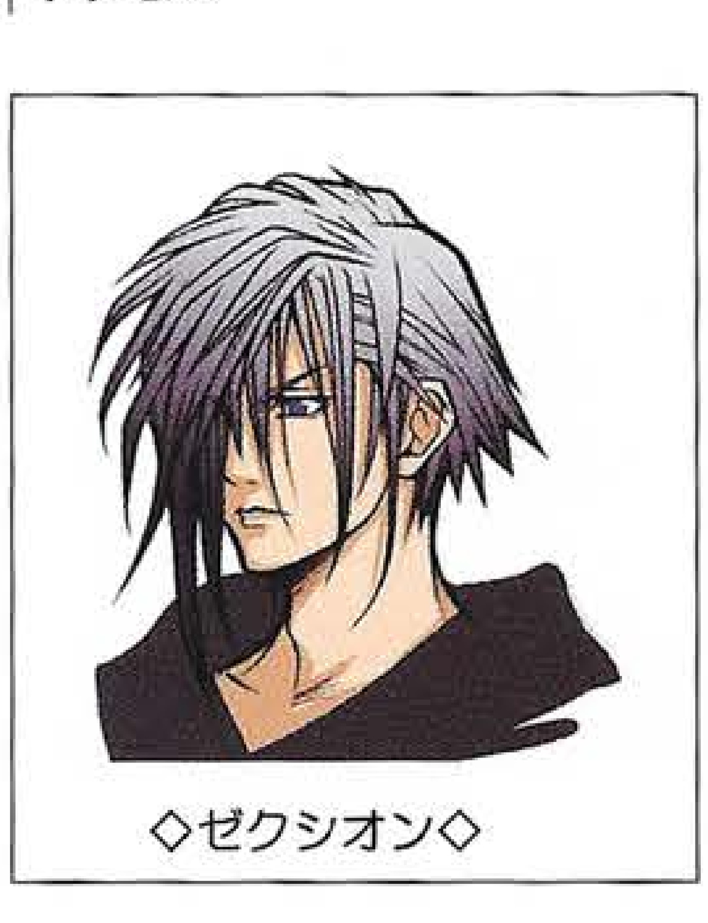
ヴィクセン



レクセウス



アクセル



ゼクシオン



クリーププラント

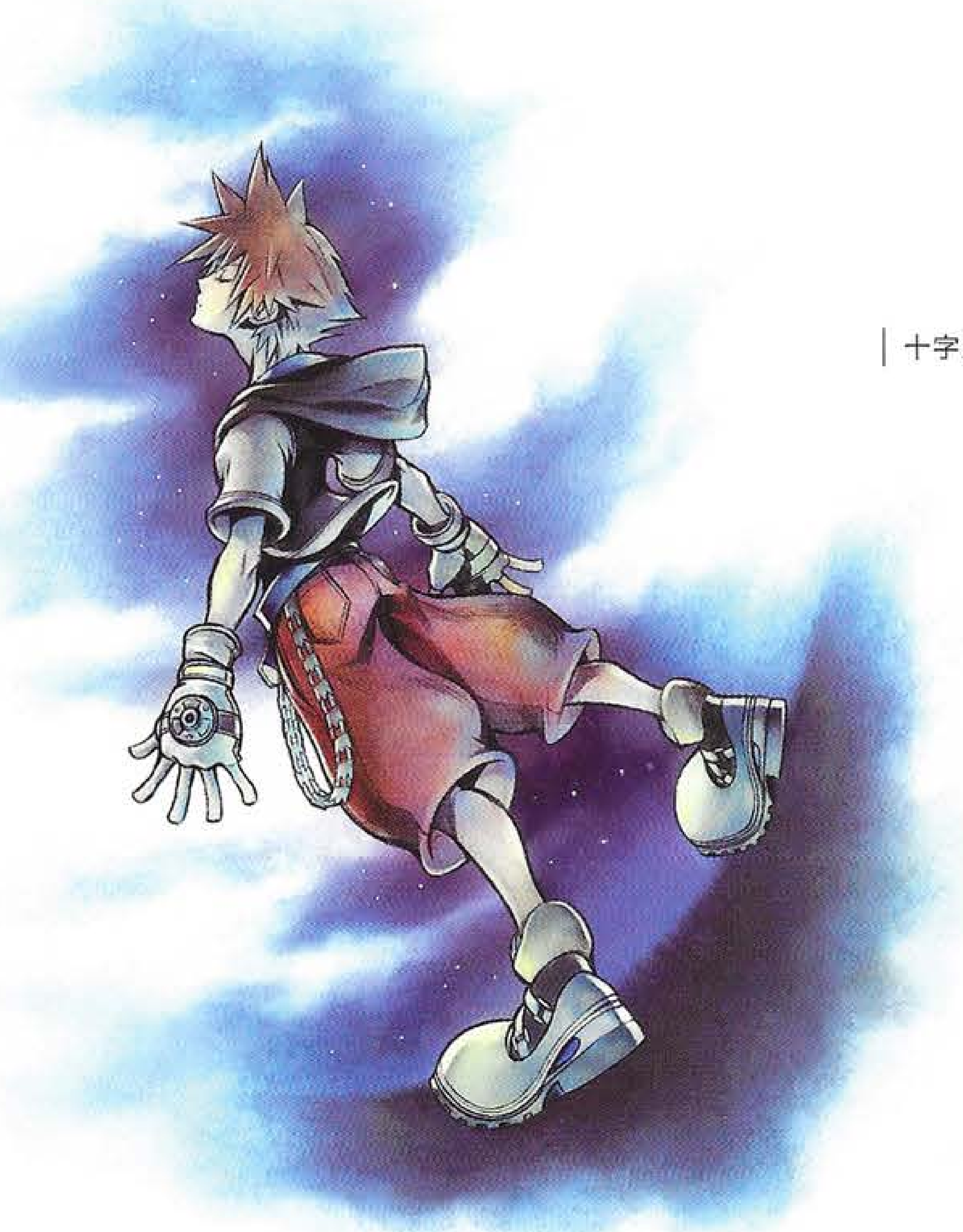


トルネードステップ



ラウドネス

オフィシャルアート



十字路：明星



十字路：暁

オフィシャルアート



ハート



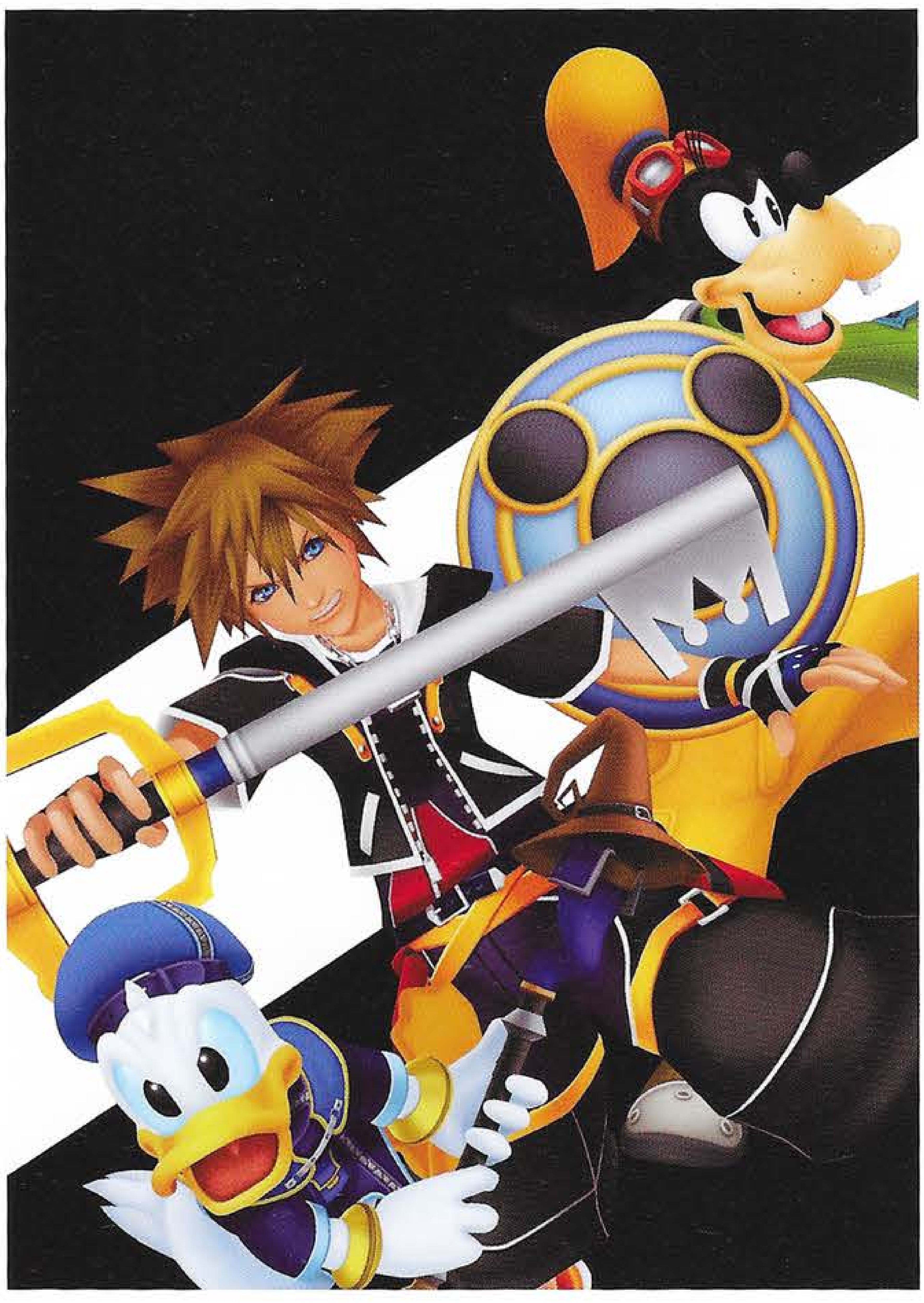
表裏



目覚め

| 海







ソラ



ロクサス



ソラ（ブレイヴフォーム）



ソラ（ウィズダムフォーム）



ソラ（マスターフォーム）



ソラ（ファイナルフォーム）



設定画



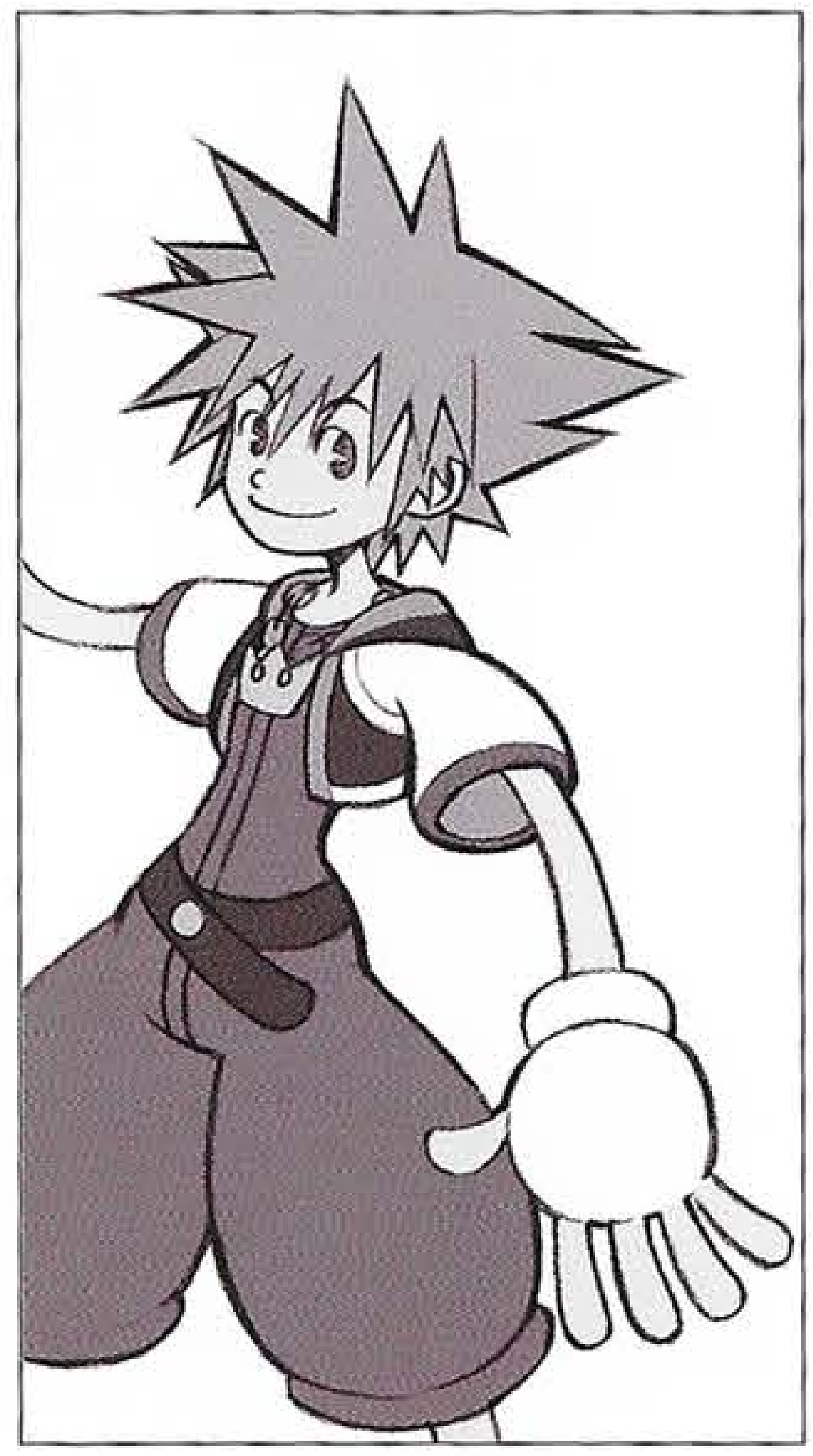
ソラ(プライド・ランドバージョン)



ドナルド(プライド・ランドバージョン)



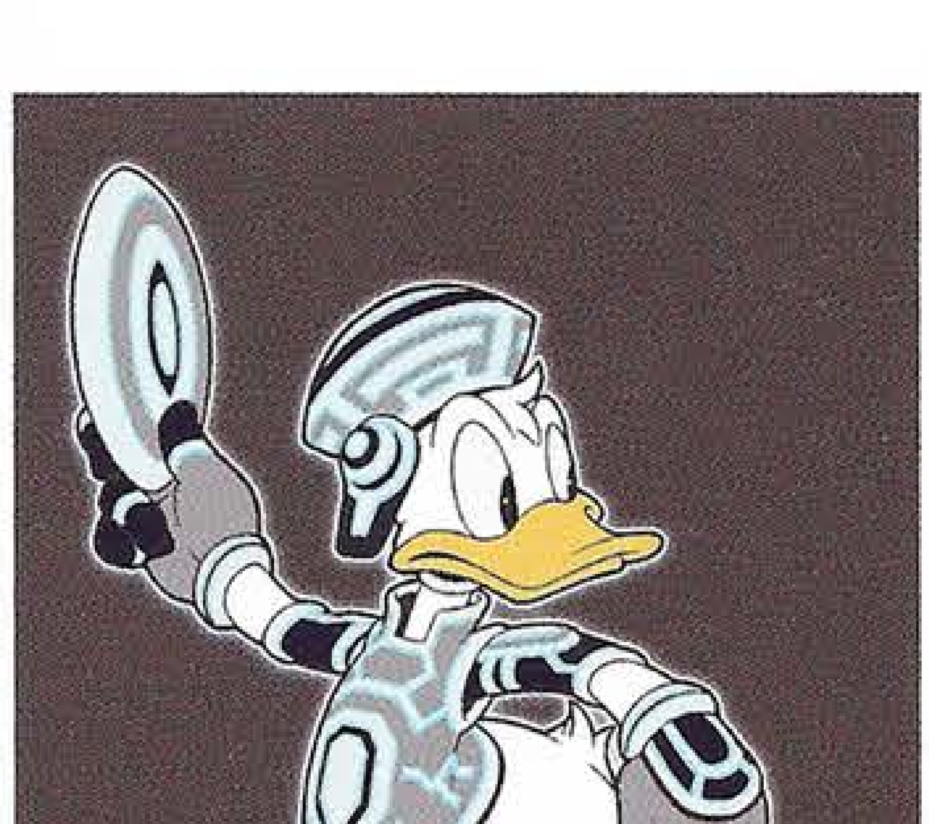
グーフィー(プライド・ランドバージョン)



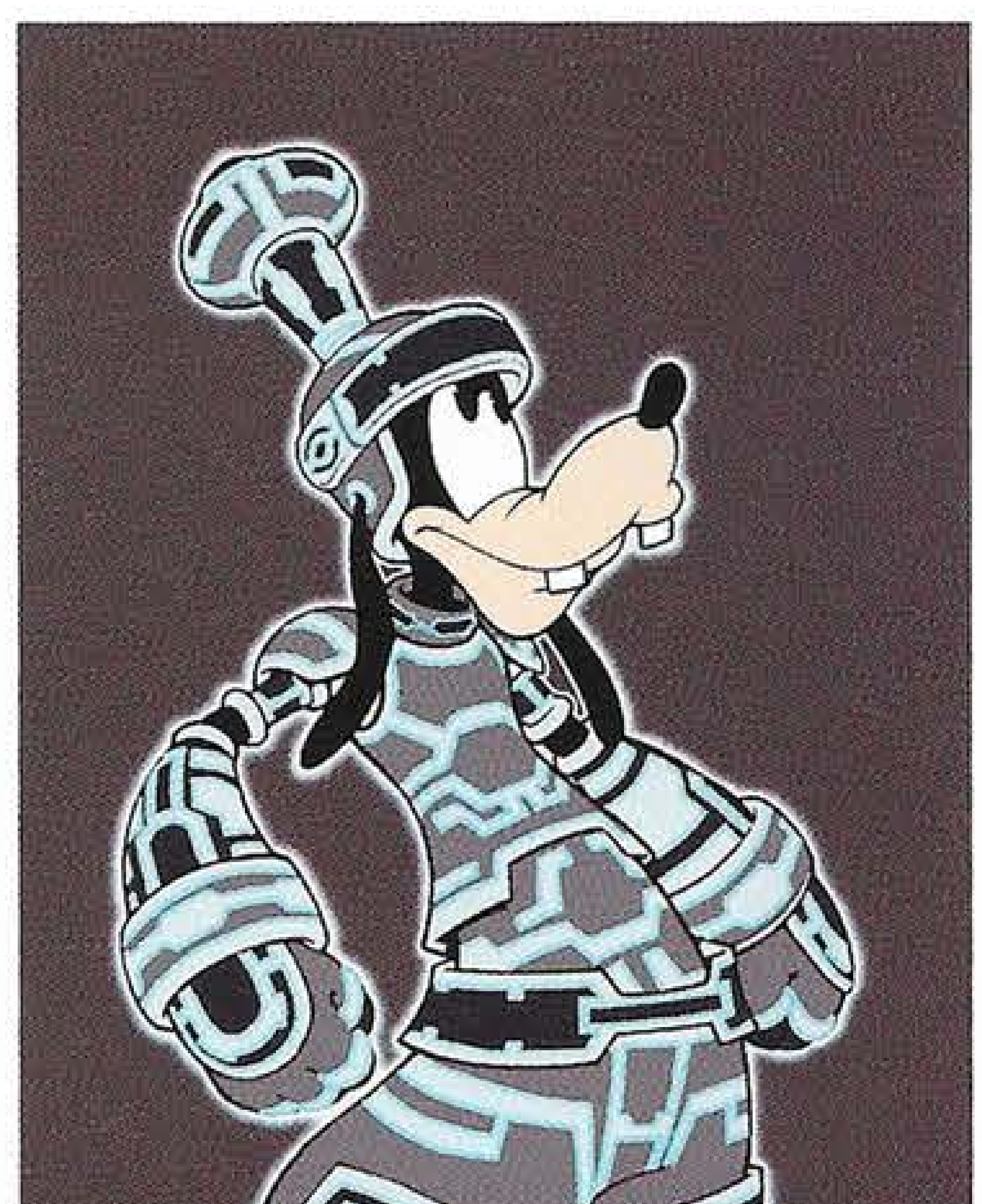
ソラ(タイムレス・リバーバージョン)



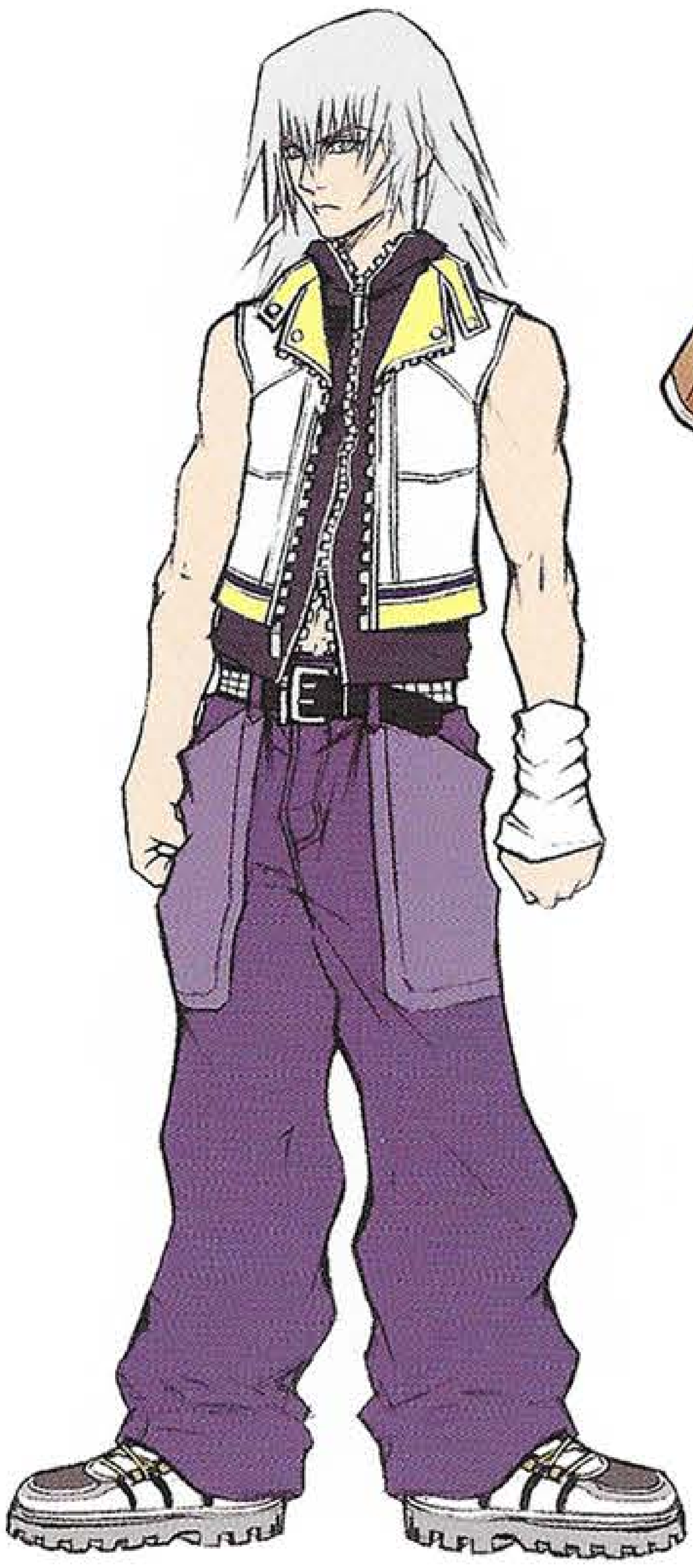
ソラ(スペース・パラノイドバージョン)



ドナルド(スペース・パラノイドバージョン)



グーフィー(スペース・パラノイドバージョン)



リク



カイリ

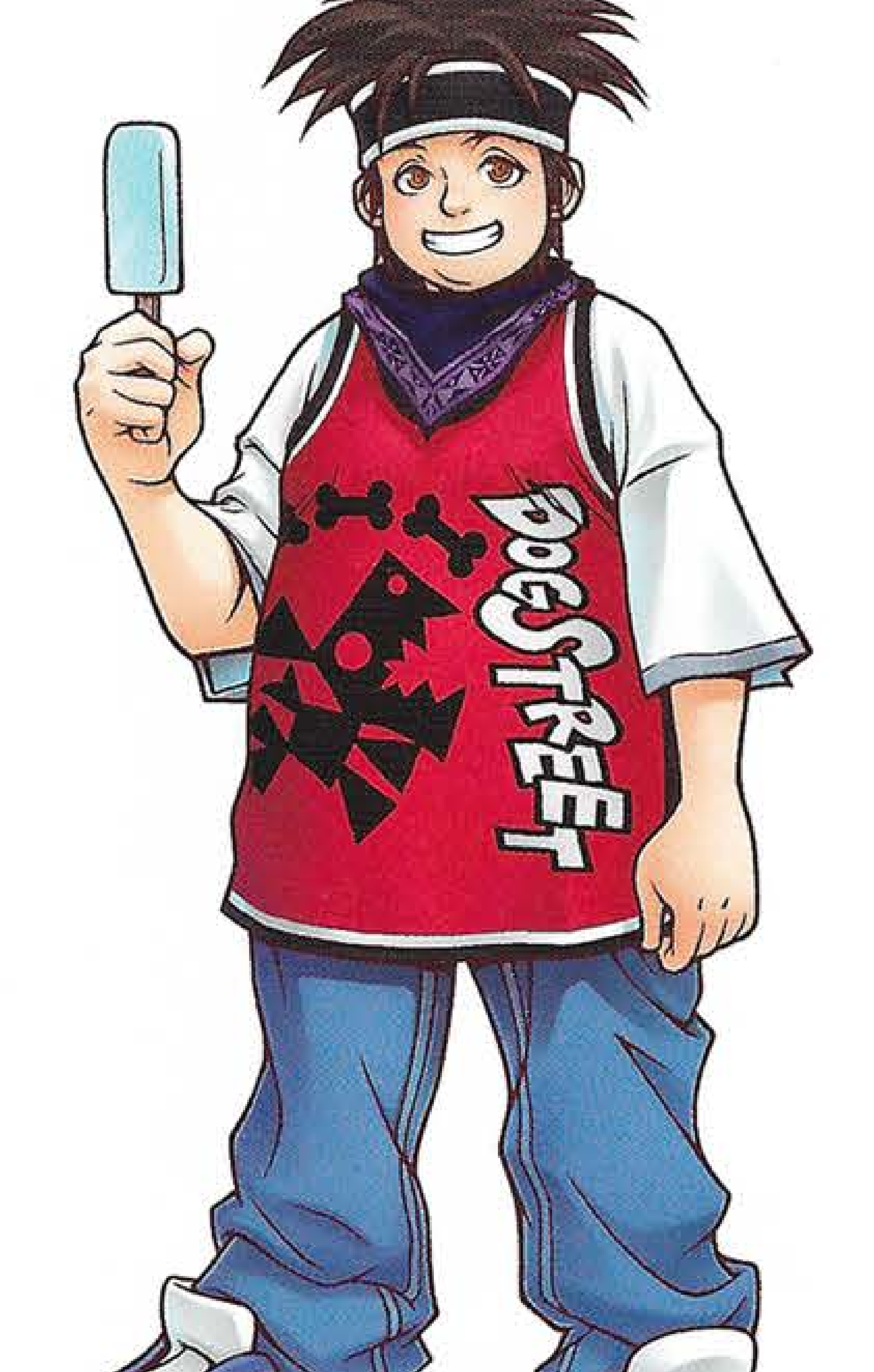


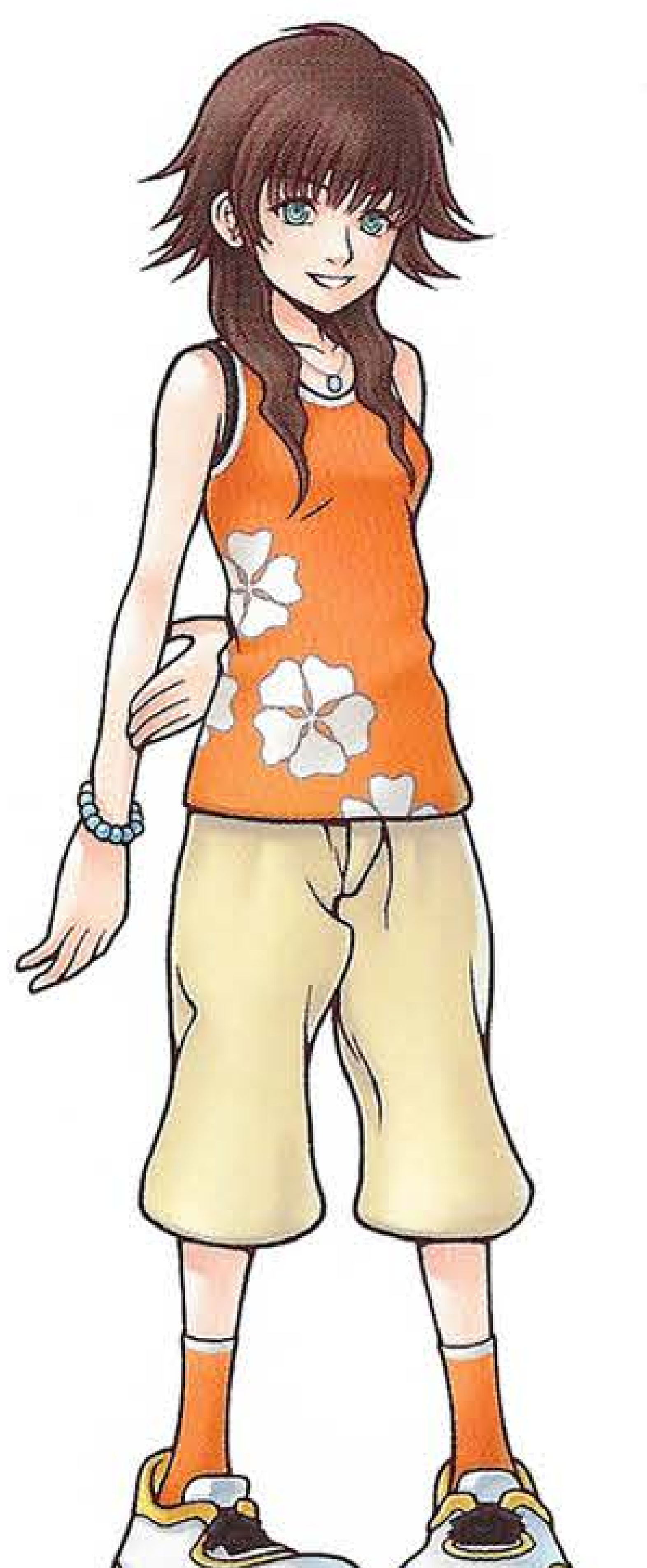
ディズ



ハイネ

ピンツ





オレット



サイファー

フウ



ライ





ビビ



アーロン



ユウナ



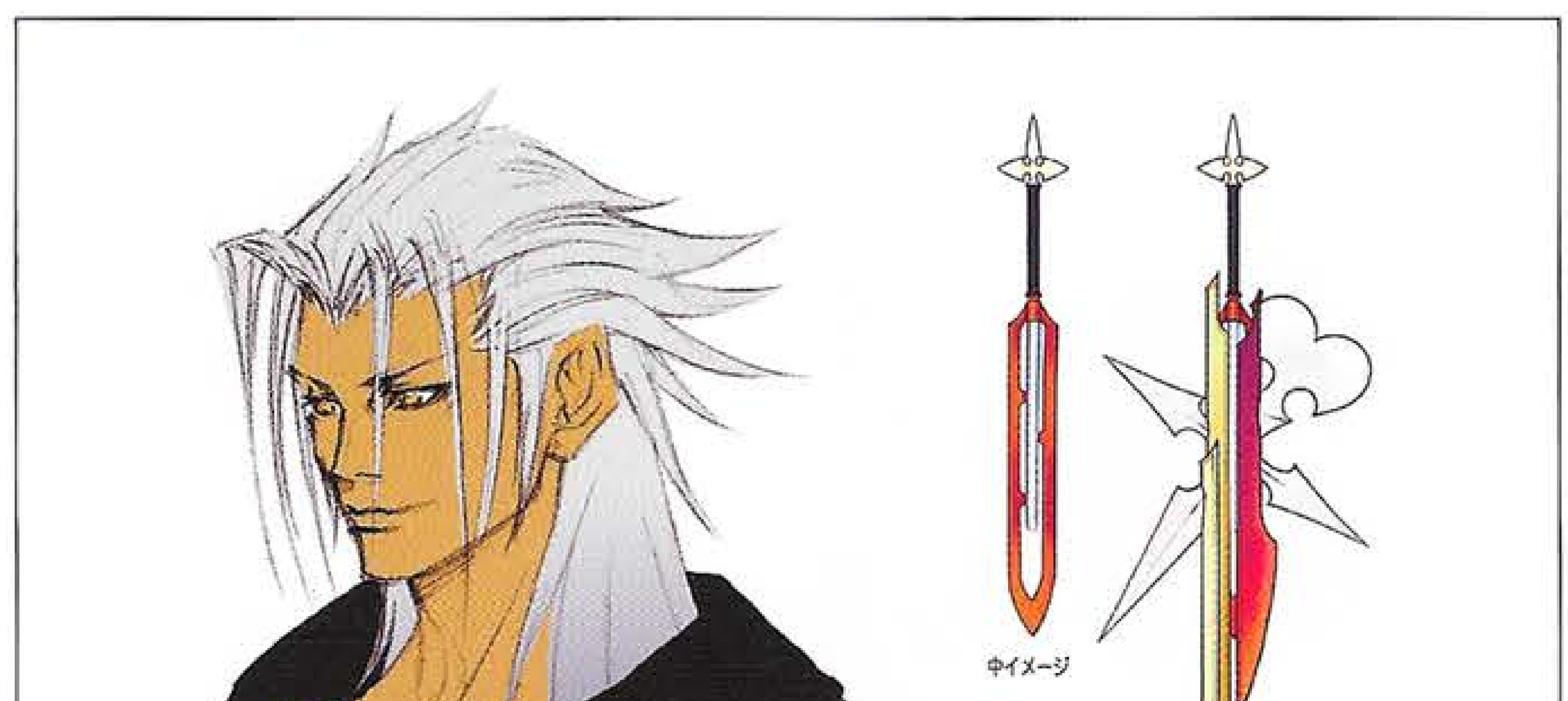
リュック

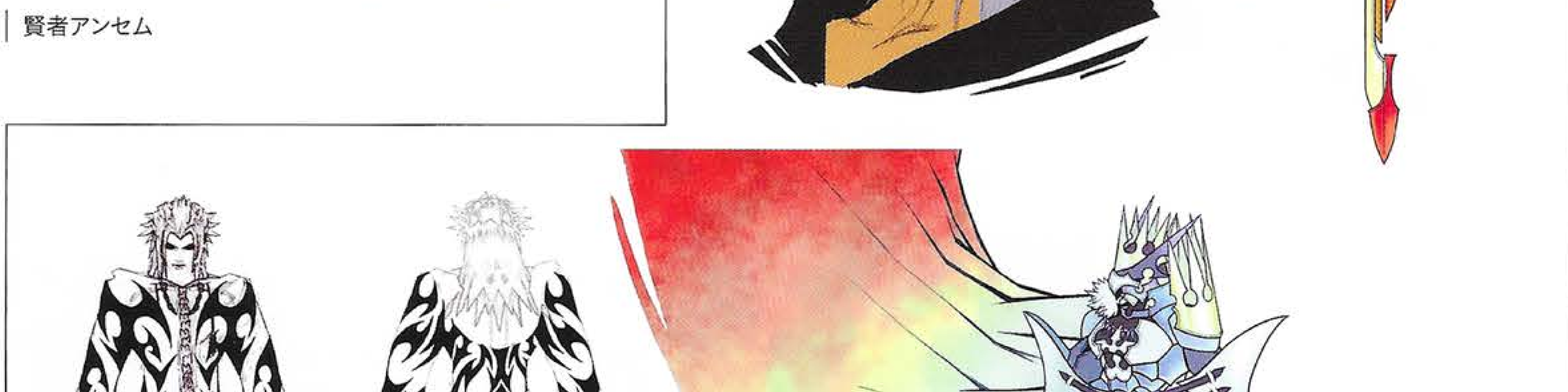


パイン

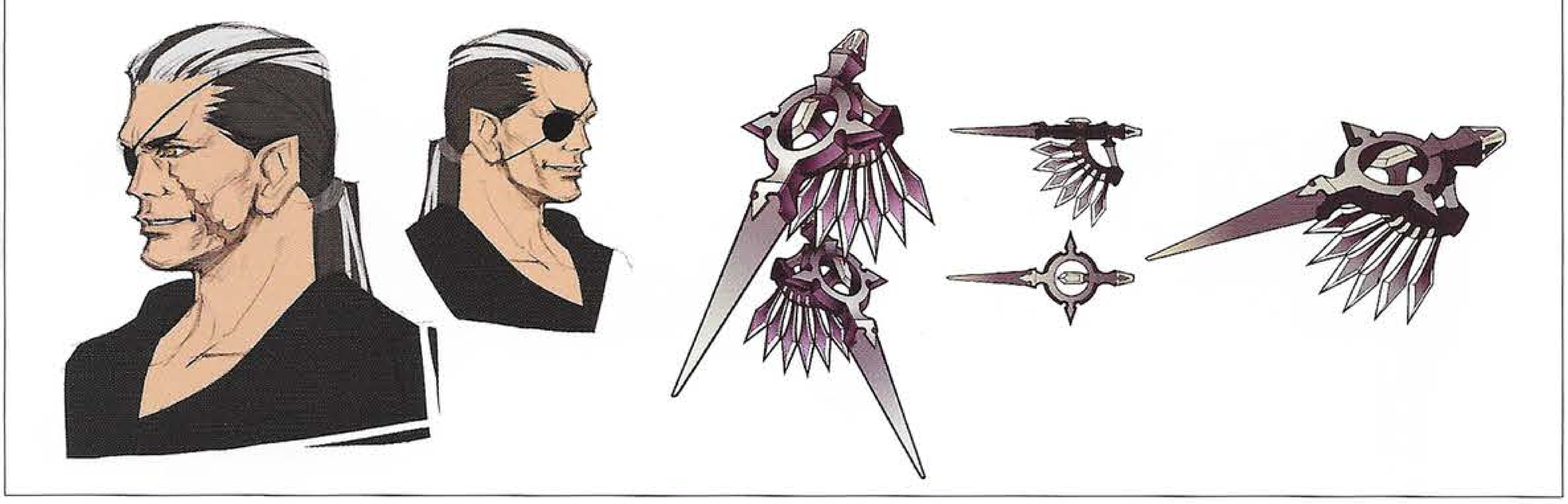


賢者アンセム





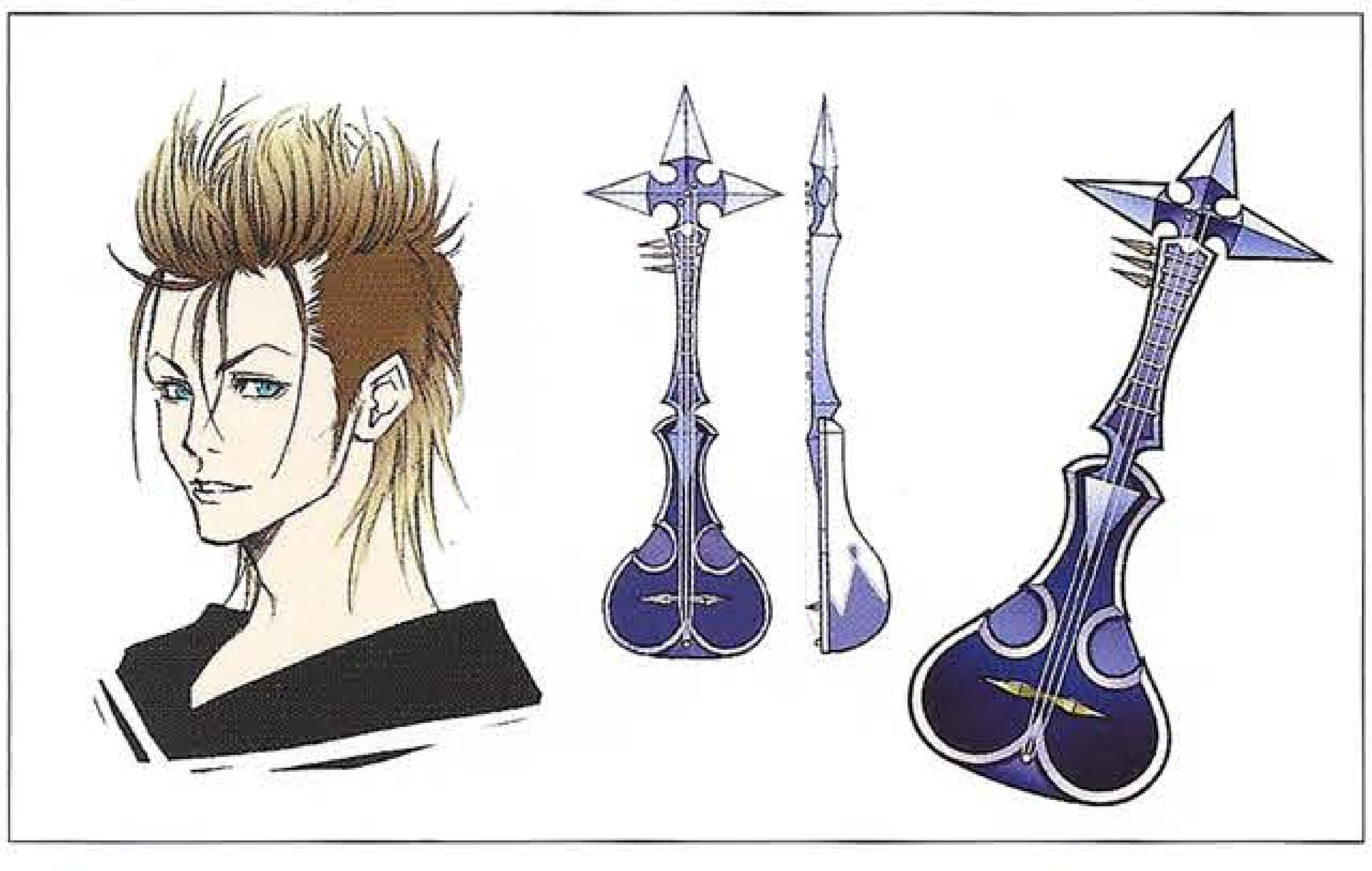
ゼムナス



シグバール



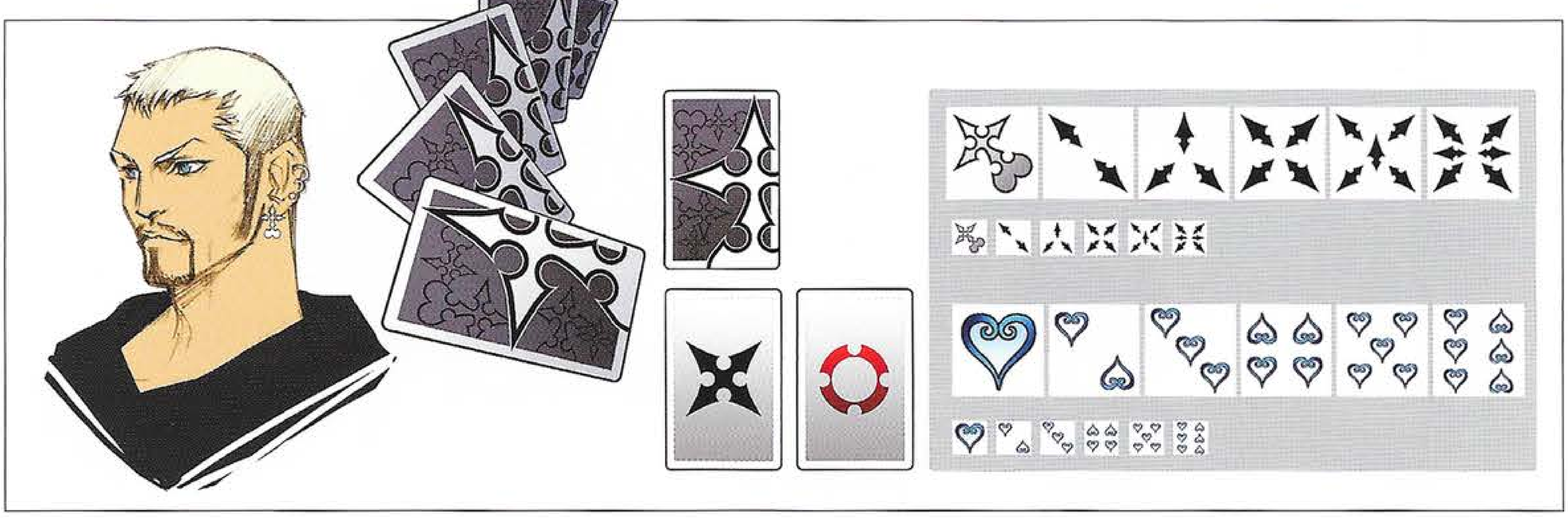
ザルディン



デミックス



サイクス

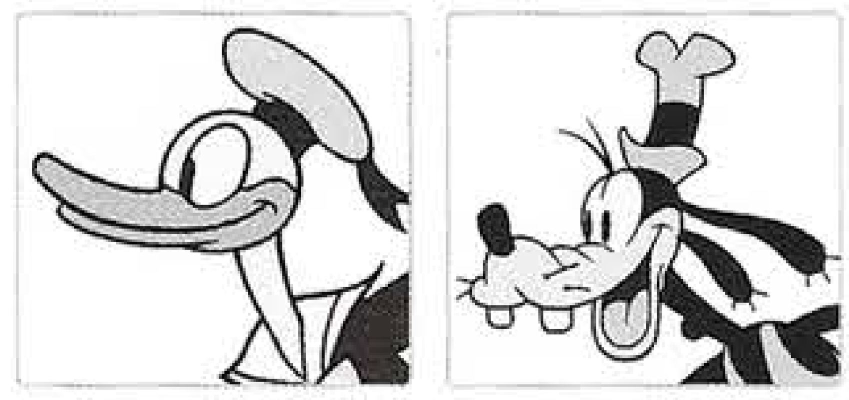


ルクソード

パラメータ用イラスト


ハロウィンタウンでのソラ


スペース・パラノイドでのソラ、ドナルド、グーフィー


タイムレス・リバーでのドナルド、グーフィー


ムーラン


ピン

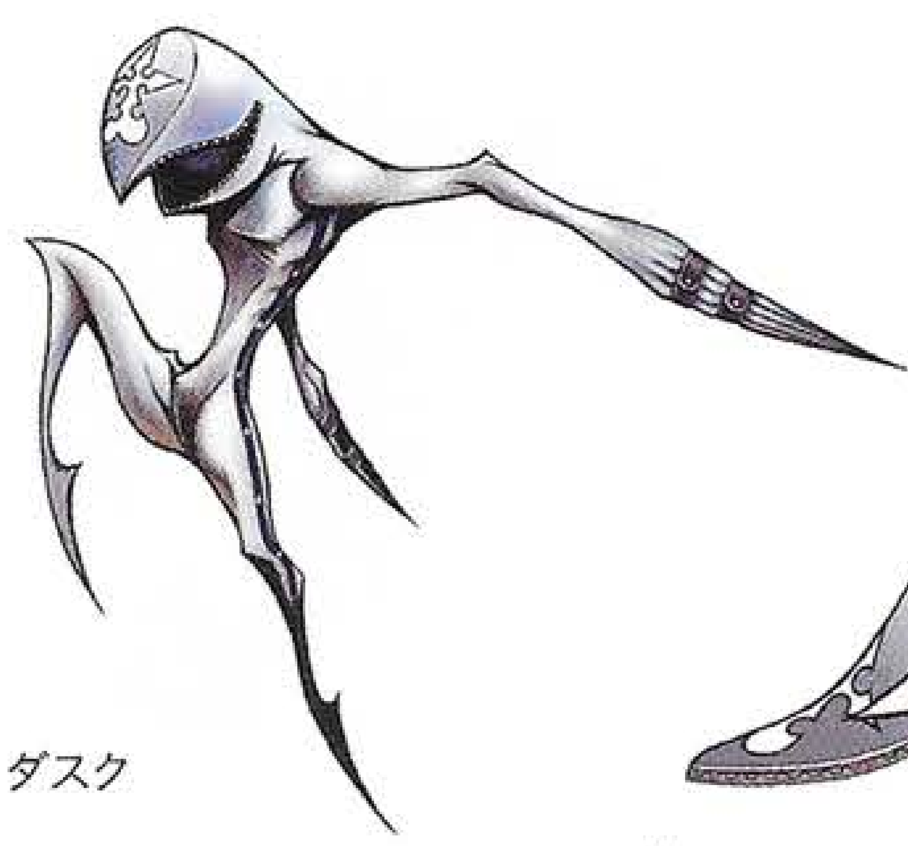

アーロン

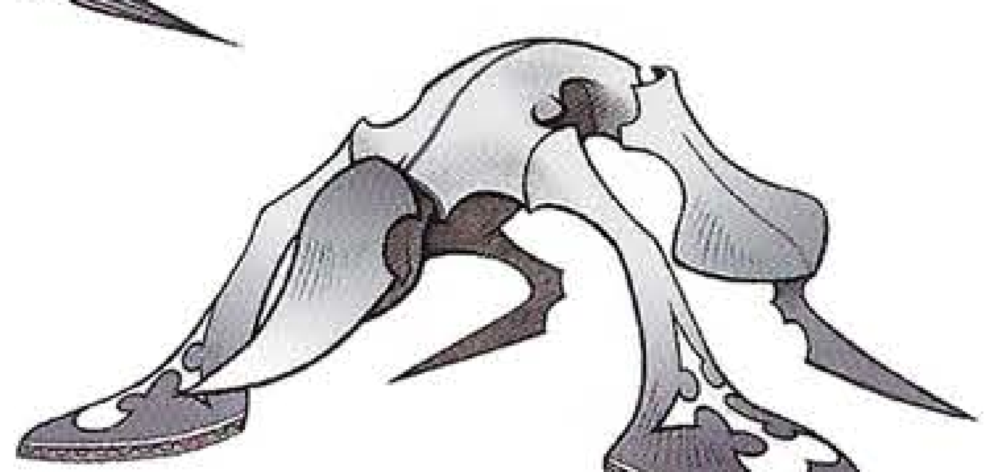

ジャック

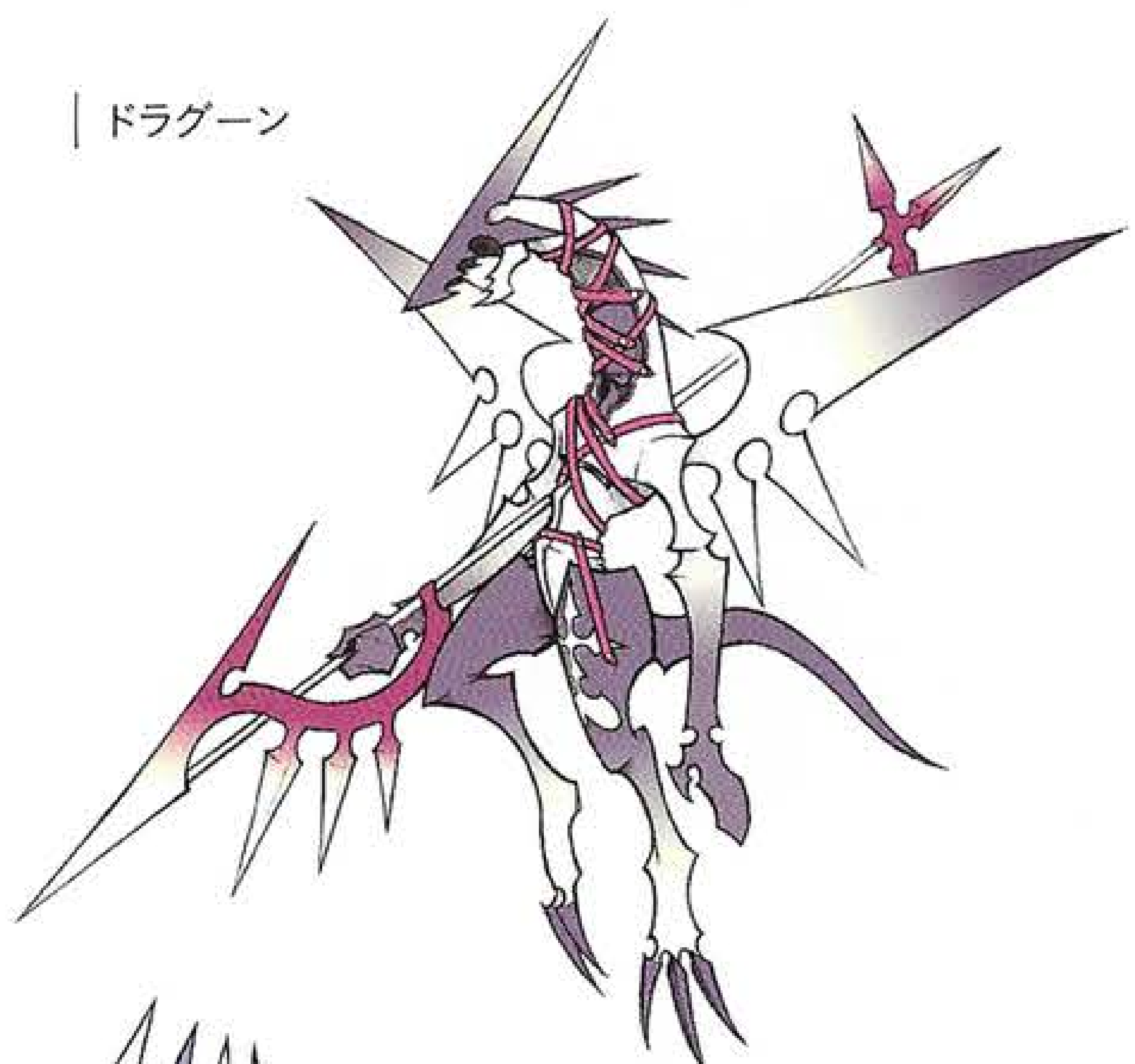

リク


スティッチ


ミニーマウス

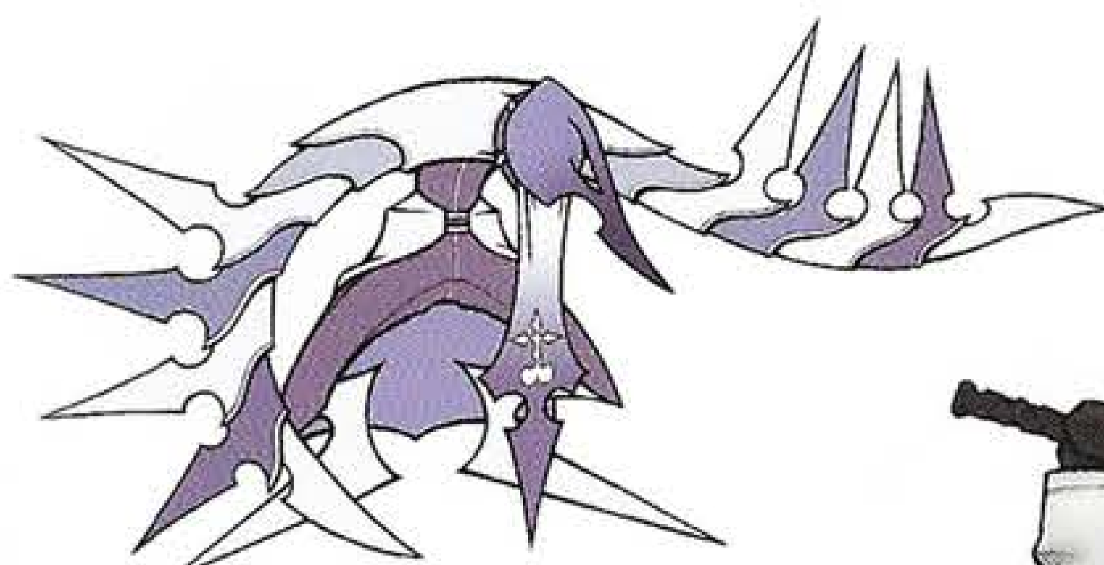

ダスク


クリーパー


ドラグーン


サムライ

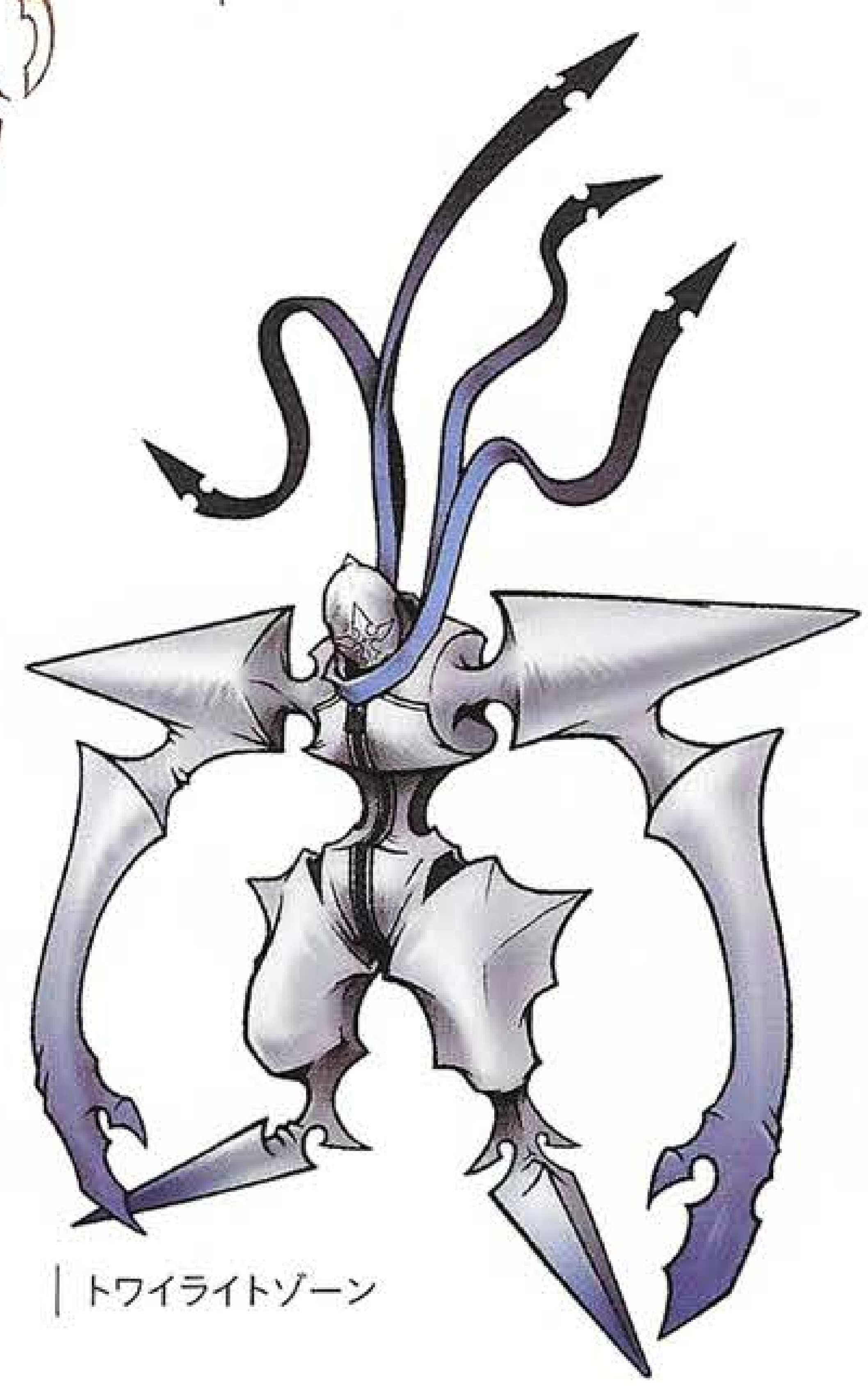

ダンサー

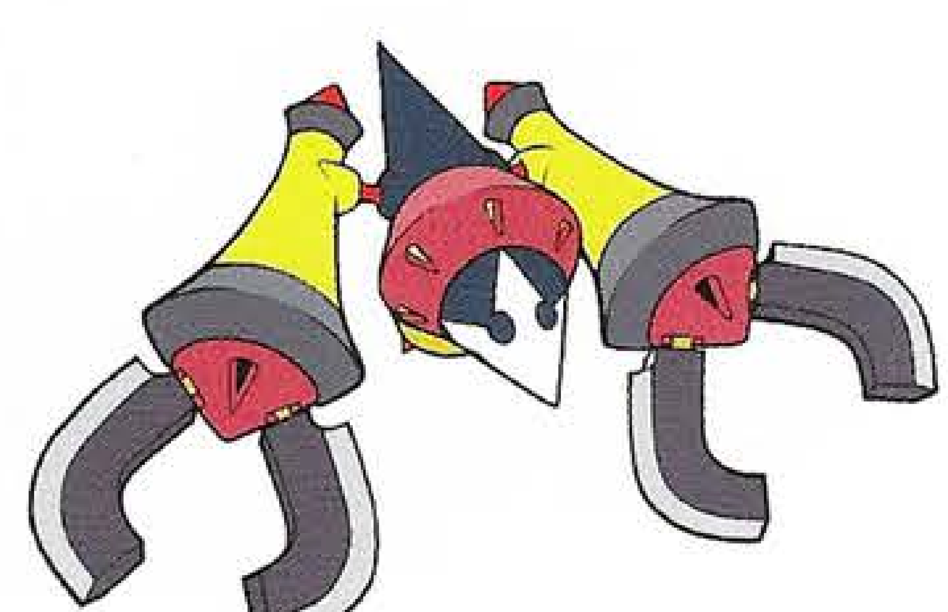

アサシン


バーサーカー


ギャンブラー


ソーサラー


トワイライトゾーン


キャッチャー



トリックゴースト



マッドドッグ



フックバット



ハンマーボディ



バルクベンダー



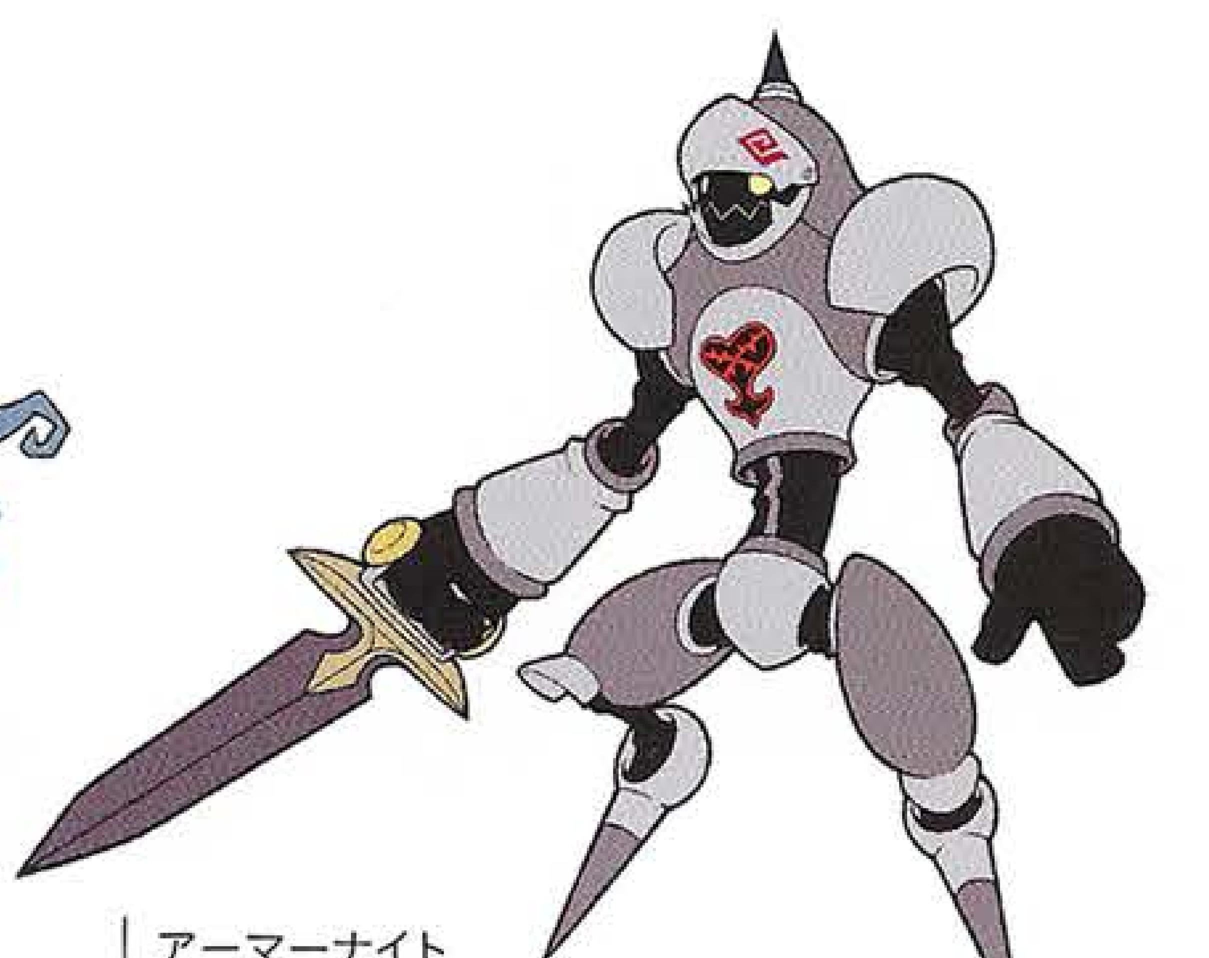
ランスソルジャー



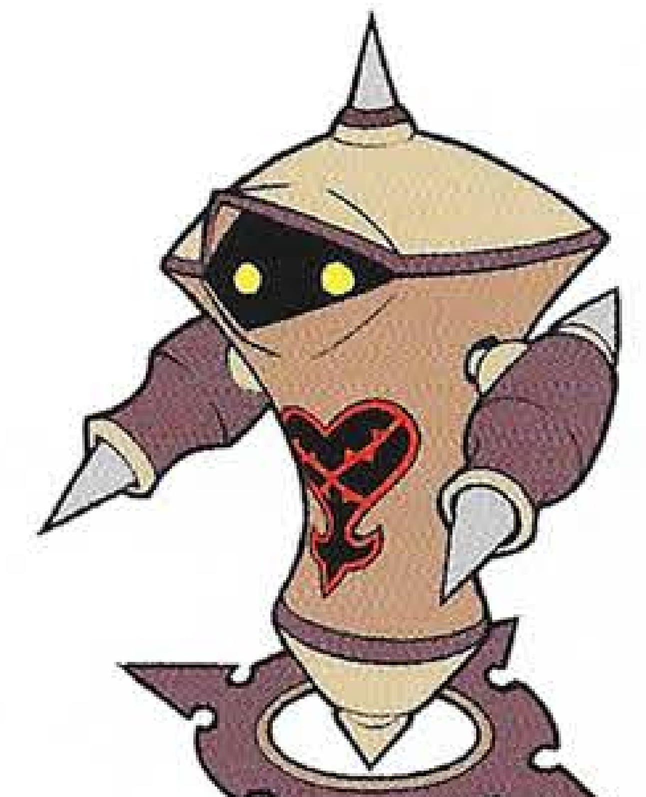
ルナバンディット



シャーマン



アーマーナイト



サーヴィランス



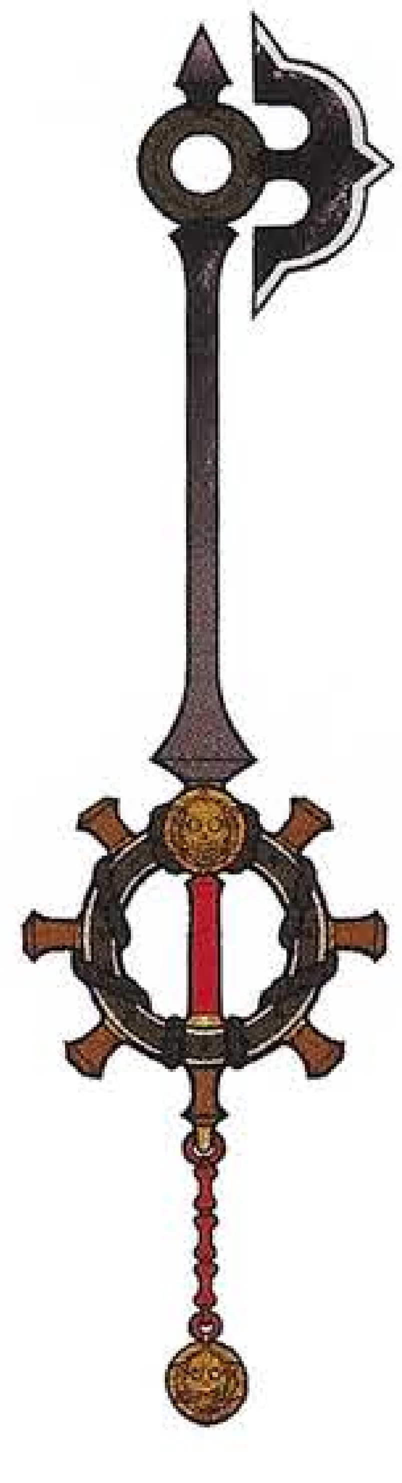
ゲートガーディアン

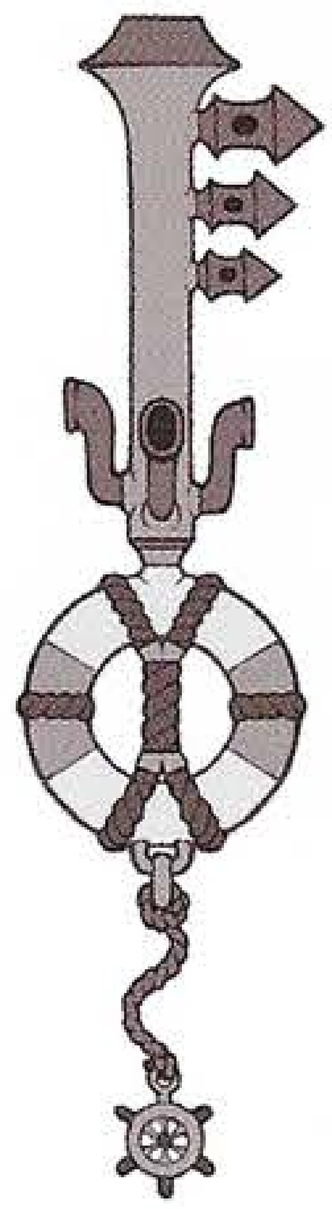


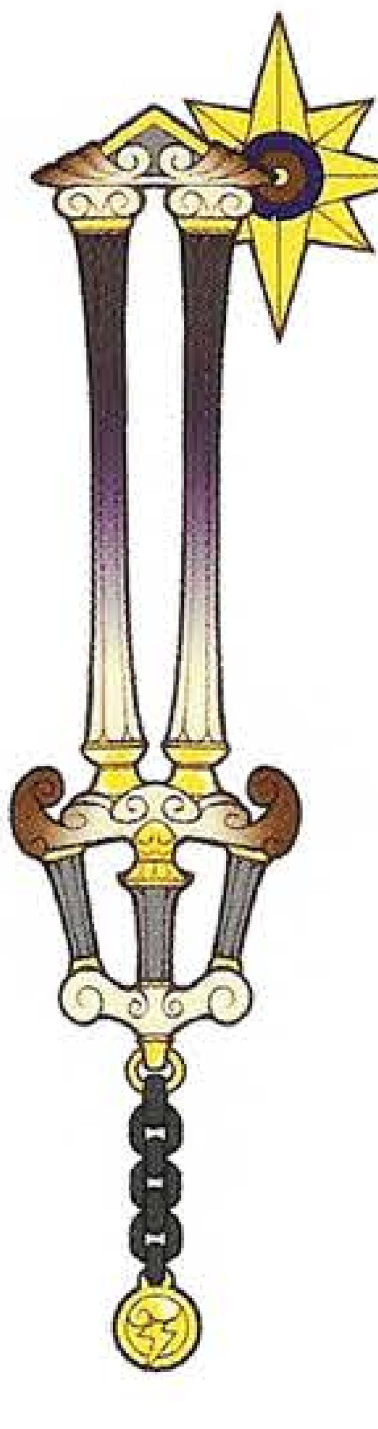
ハンター&タイニーボマー


フォトンデバッガー

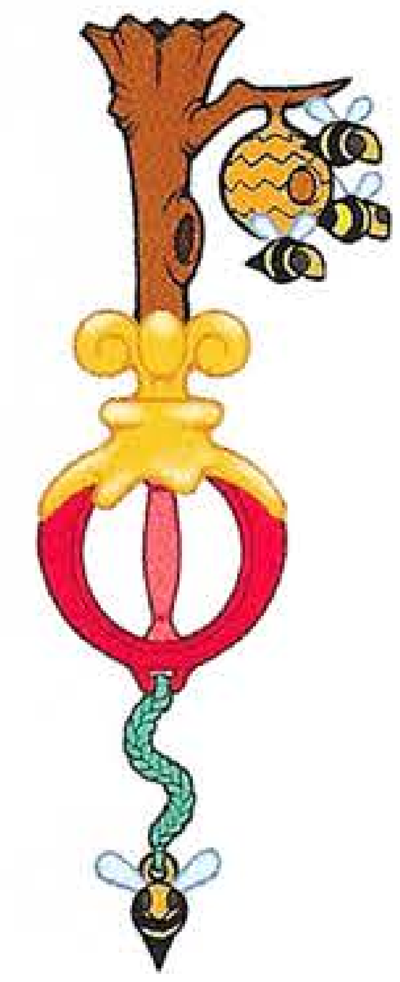

サークルオブライフ


フォローザウィンド


モノクローム

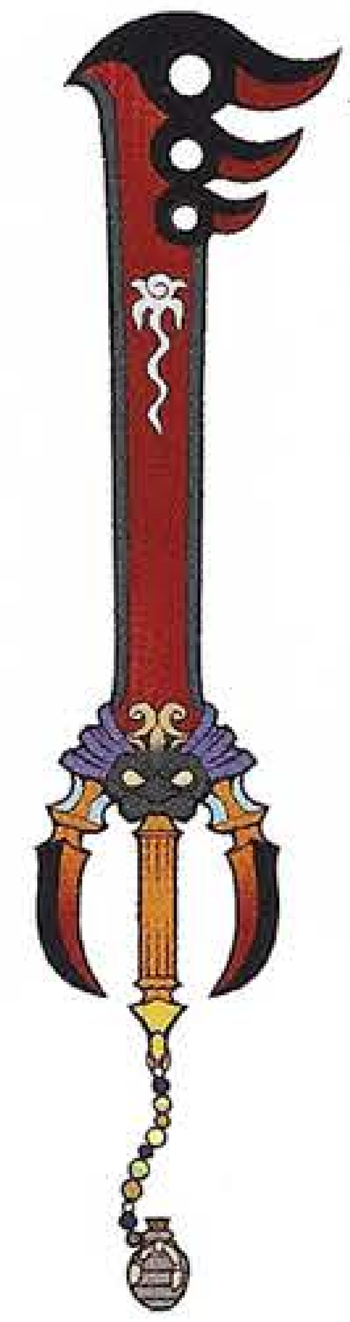

ヒーローズクレスト


ヒドゥンドラゴン

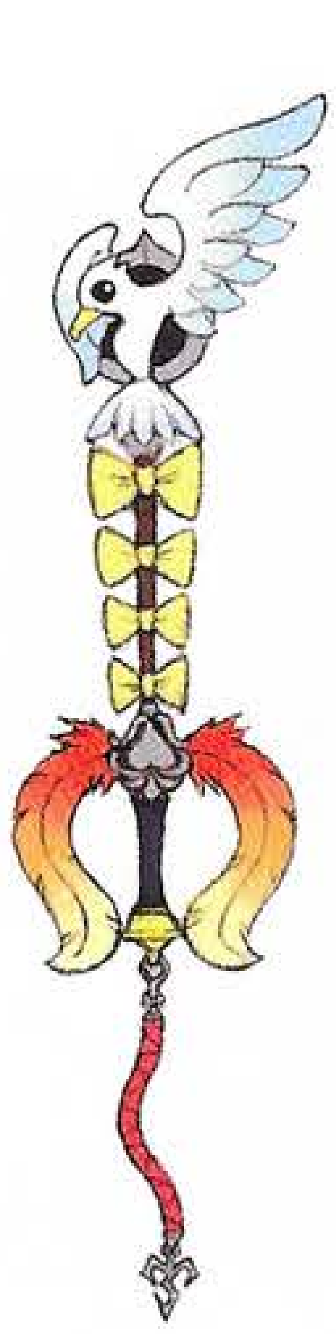

スウィートメモリー


ホーリーパンプキン


ウィッシーズランプ

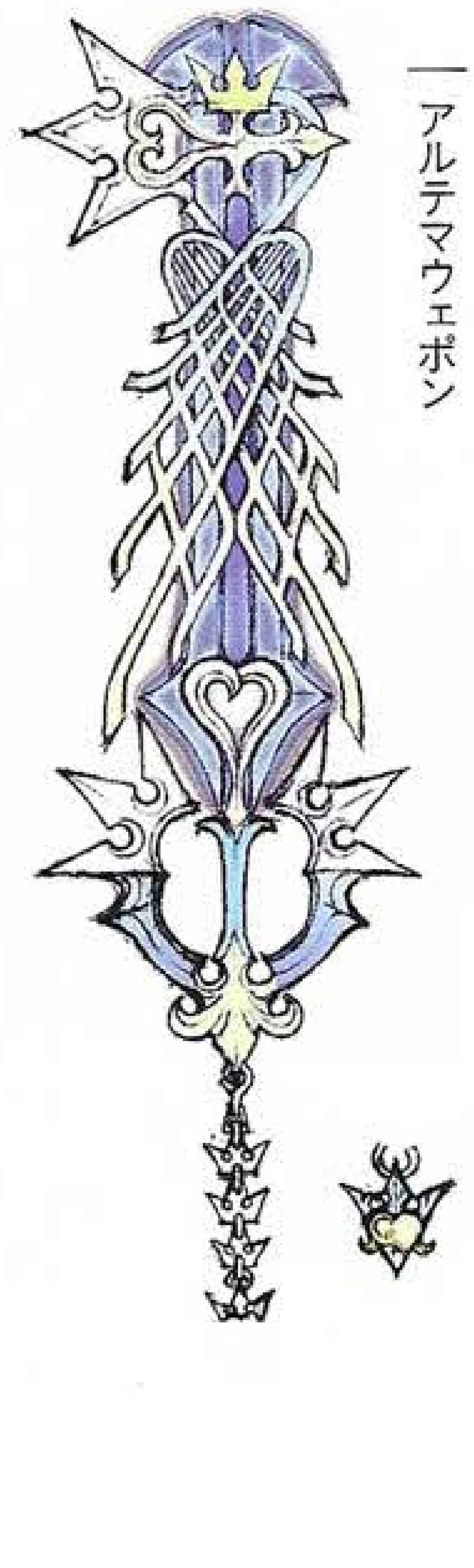

ガーディアンソウル

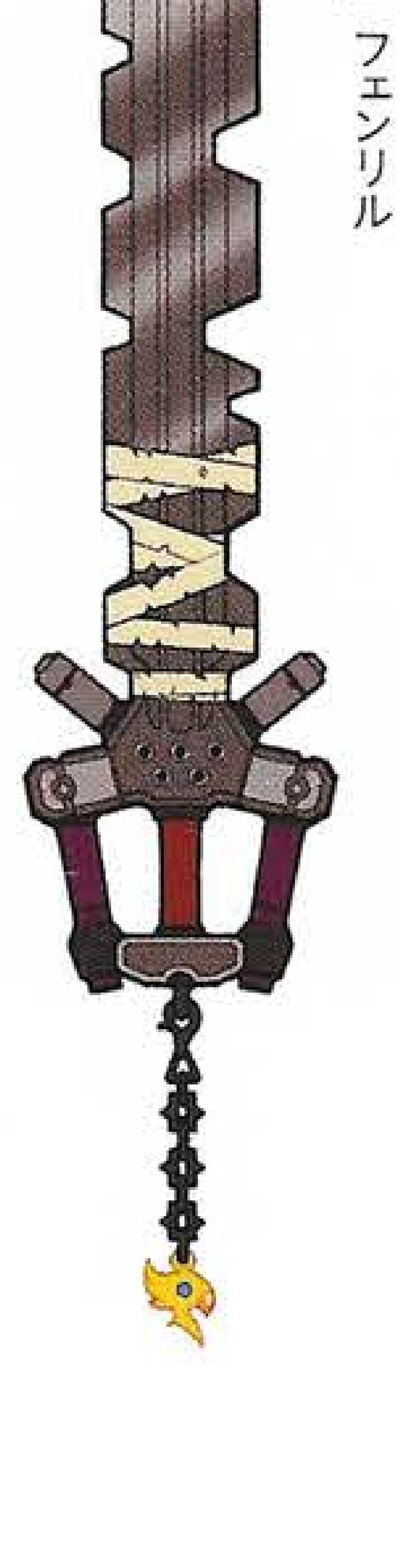

ランブリングローズ


ガルウィング

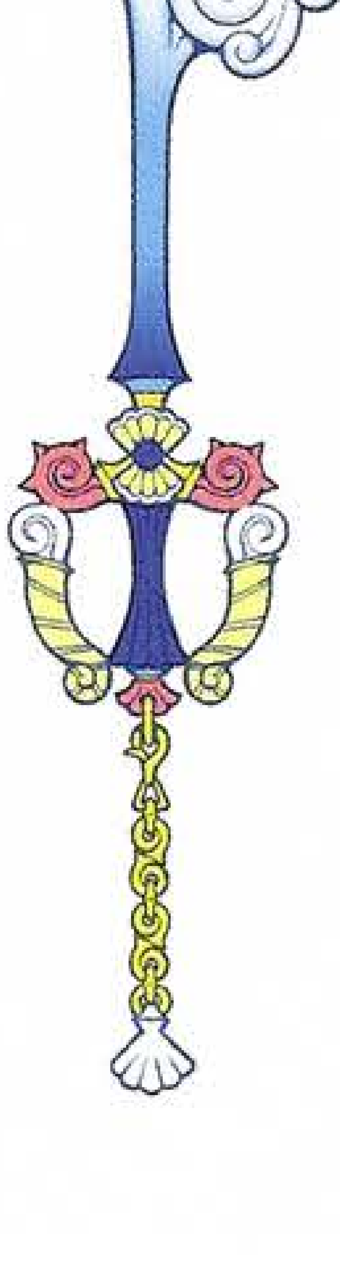

カイリのキーブレード(デスティニープレイス)


ウェイトゥザドーン


アルテマウェポン


フェンリル


スリーピングライオン


ワンダーオブアビス

オフィシャルアート



夕暮れ

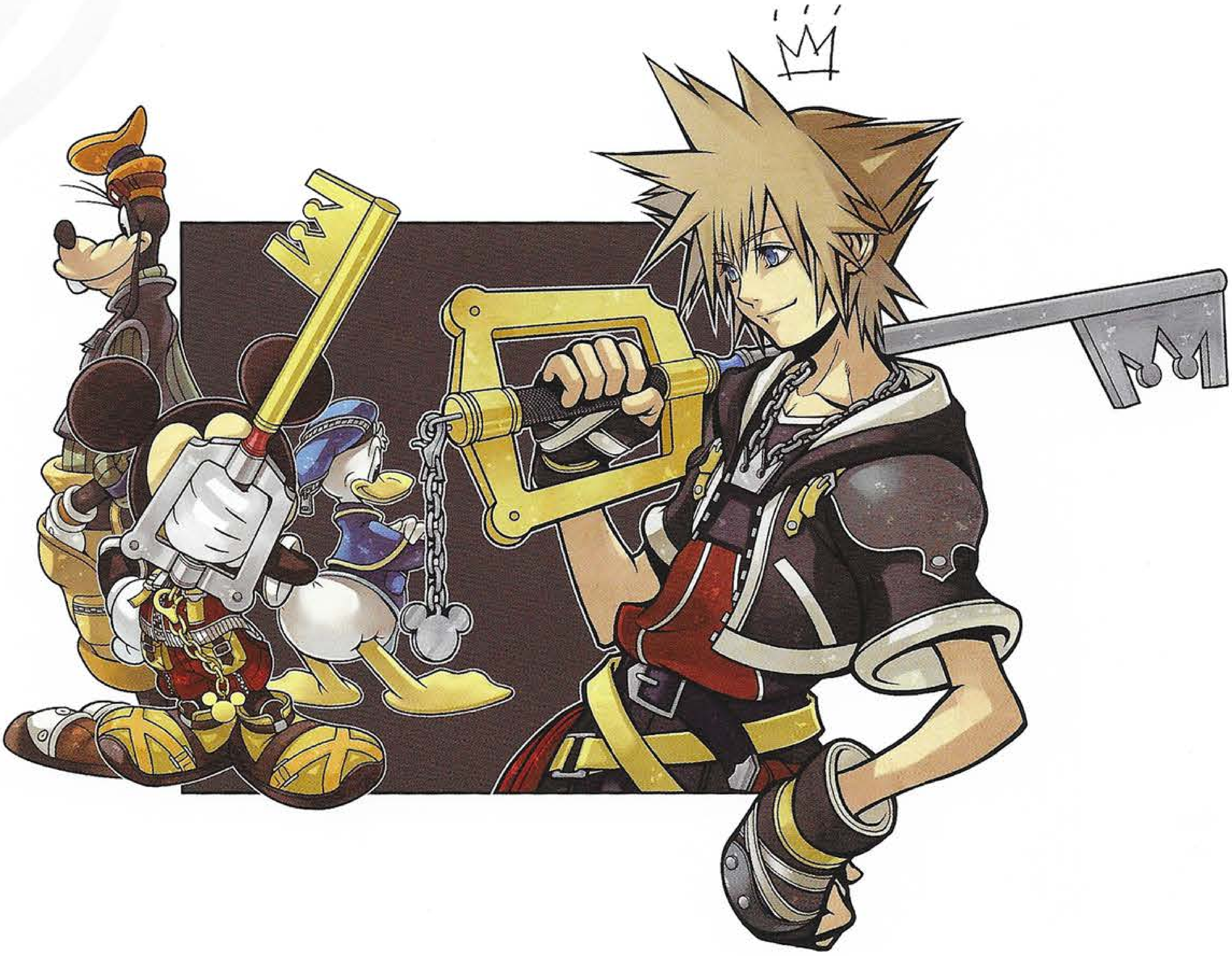


夜明け



爽快







晩夏

設定画



めぐりあう二人

キングダム ハーツ コーデッド KINGDOM HEARTS coded

オフィシャルアート



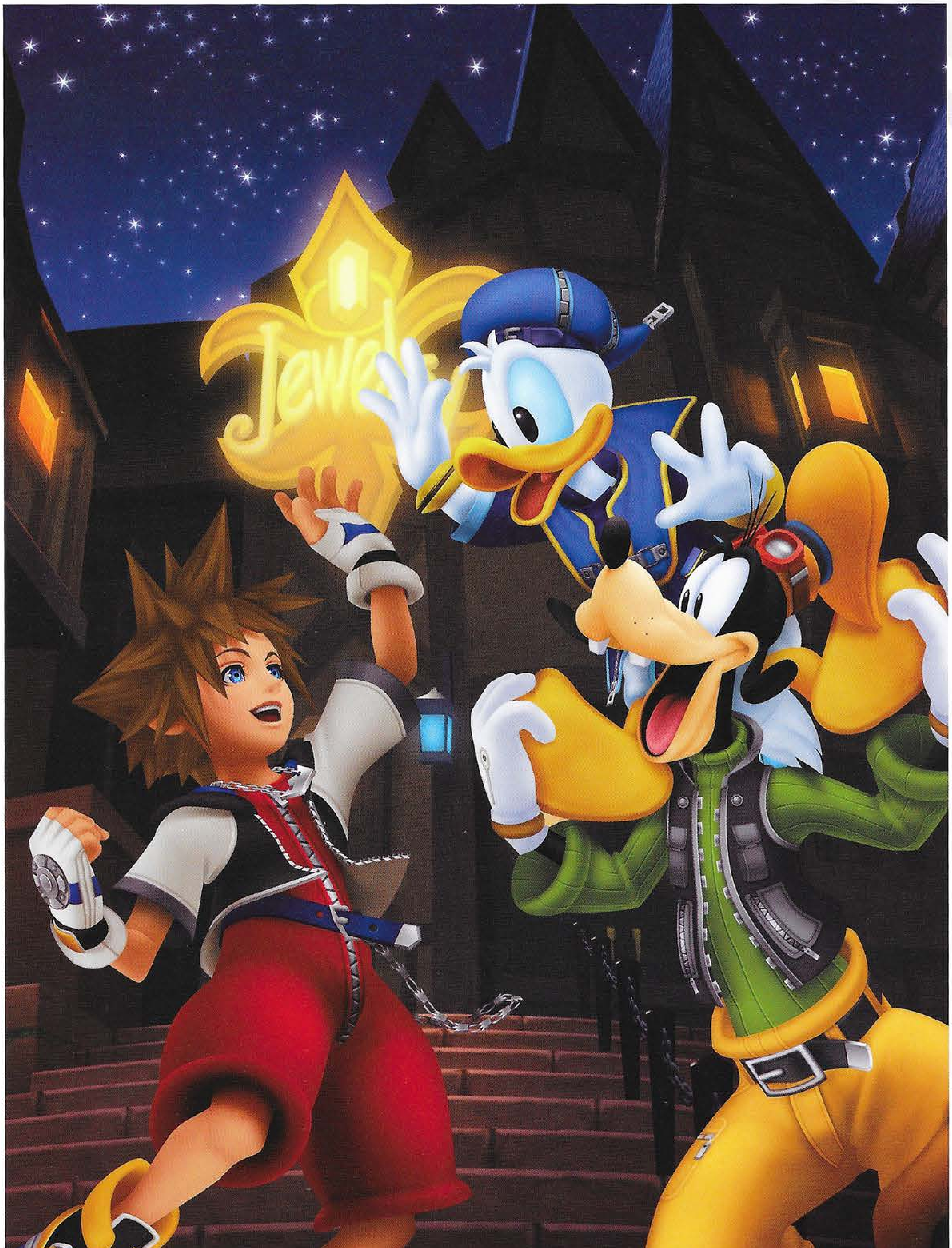
キングダム ハーツ Re:コーデッド

KINGDOM HEARTS Re:coded

オフィシャルアート



笑顔



オフィシャルアート



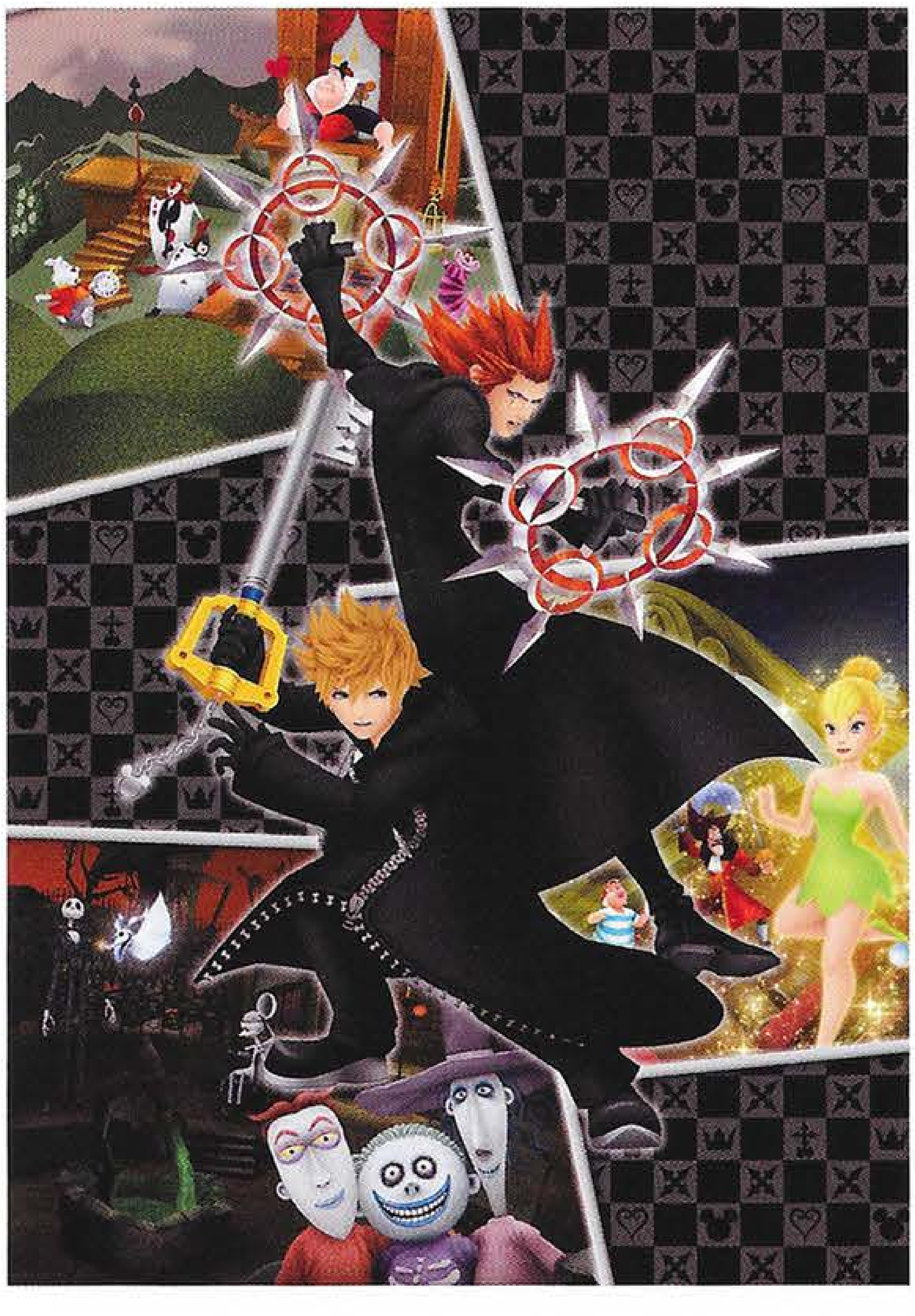
境界



| 追憶











ファイアプラント



バリアマスター



ソイルアーマー



シンバルモンキー



エアバトラー



スノークリスタル



アイスキャノン



スパイククローラー



クリープワーム



ロールスラッシャー



テイルバンカー



テイルミラージュ



アヴァランチ



バニッシュリザード



オーガ



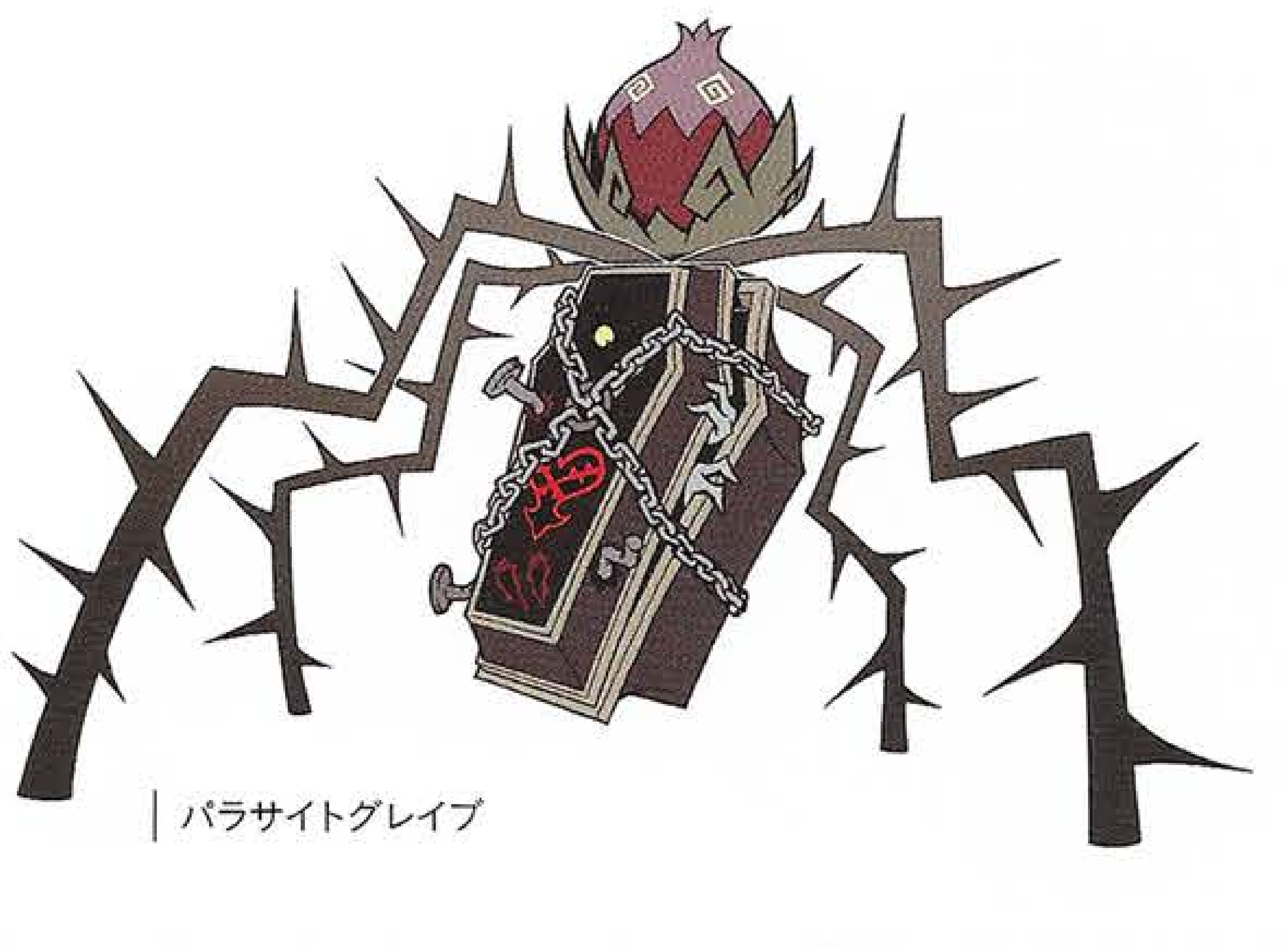
アントリオン



デモンズフォートレス



スカイルーラー



パラサイトグレイブ

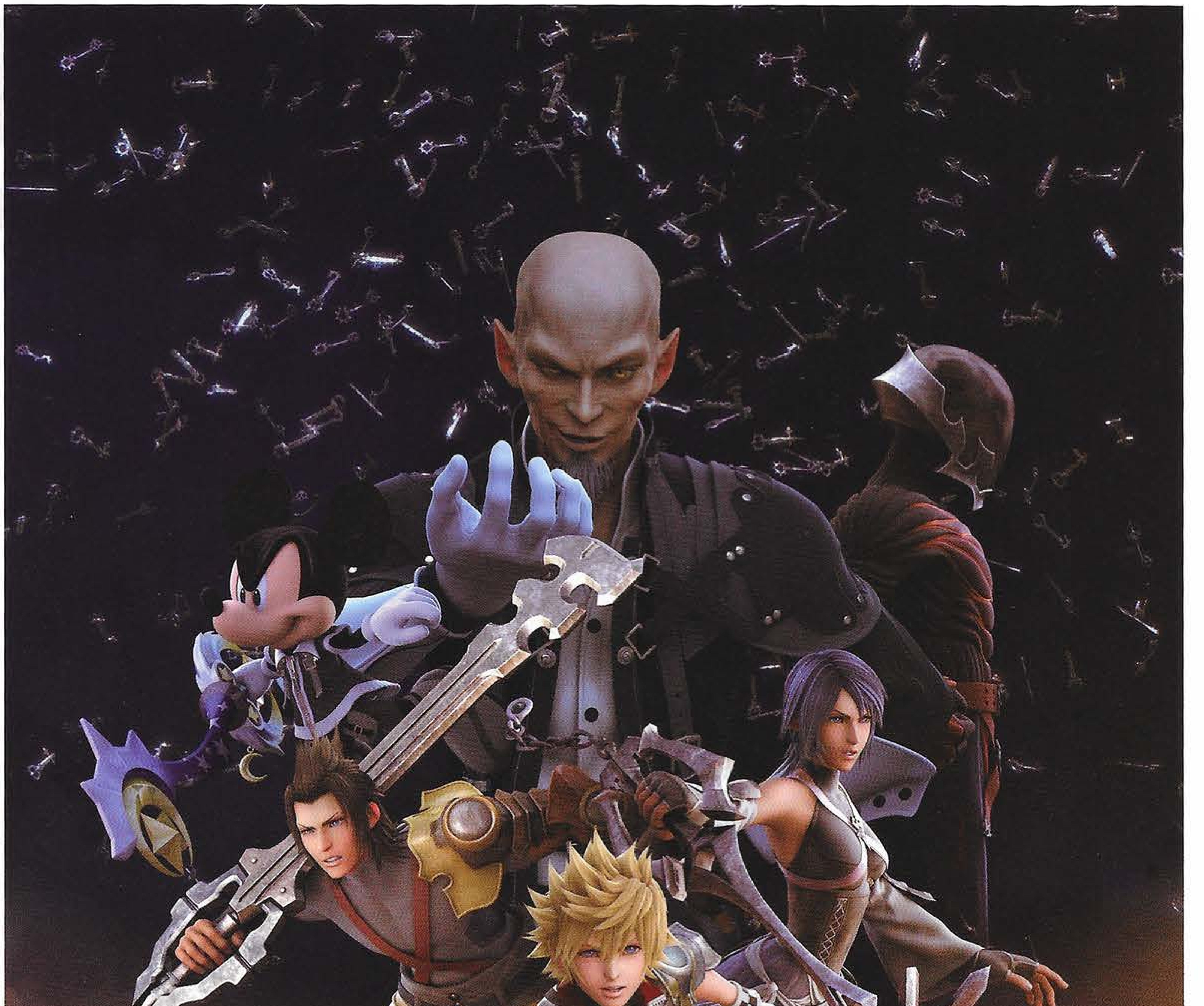


シオン第一～第三形態

オフィシャルアート



─翔る

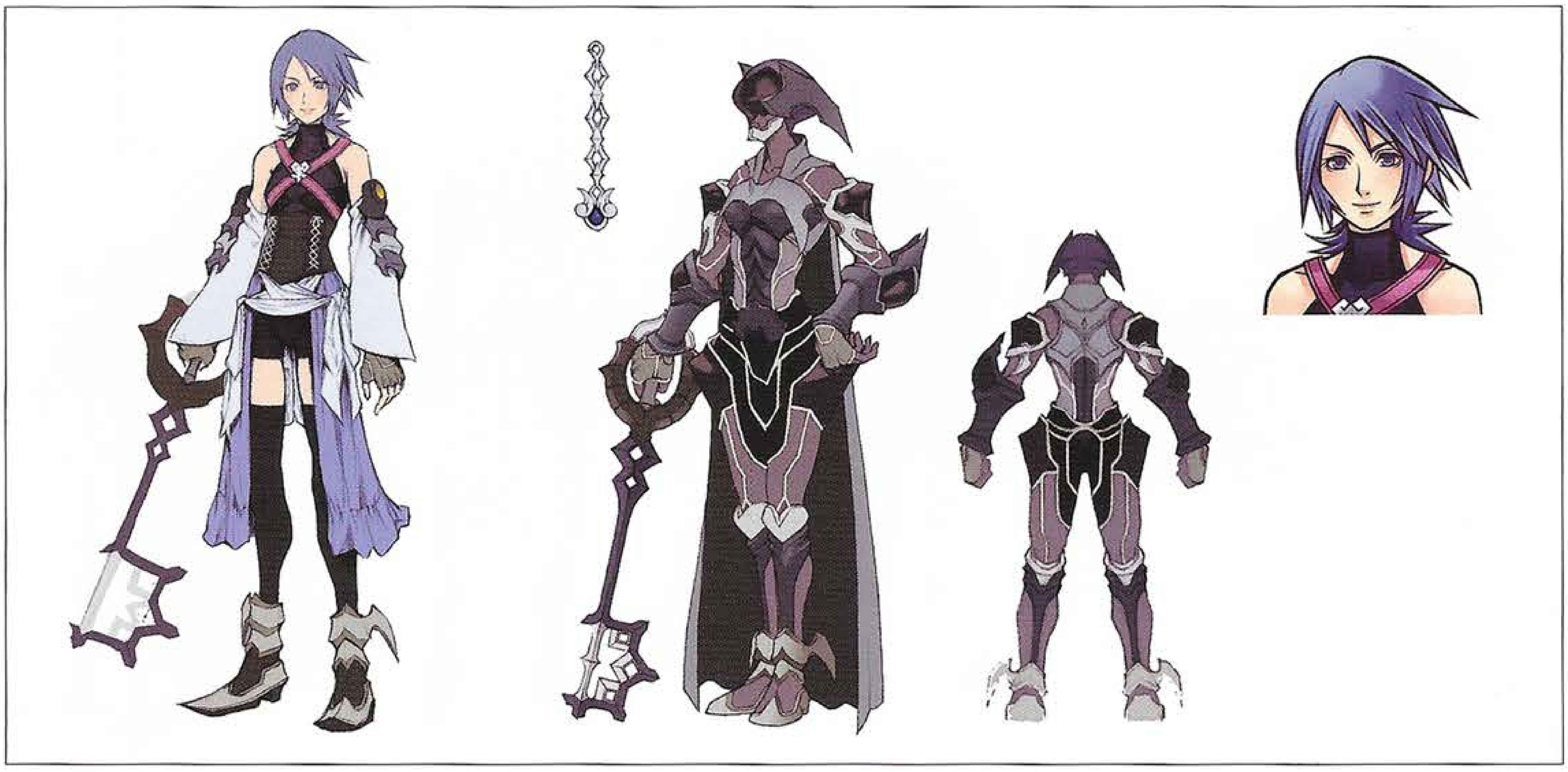




テラ

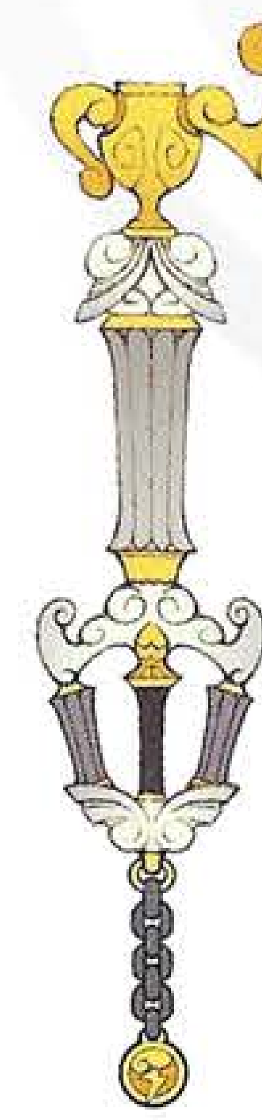


ヴェントゥス

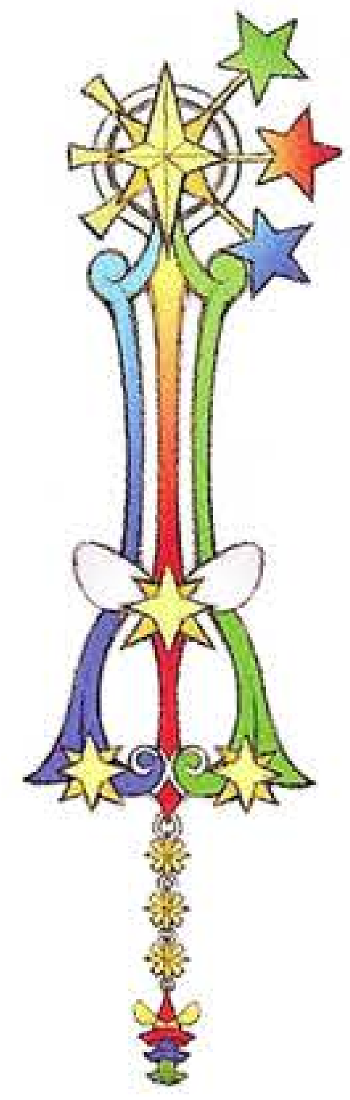


アクア

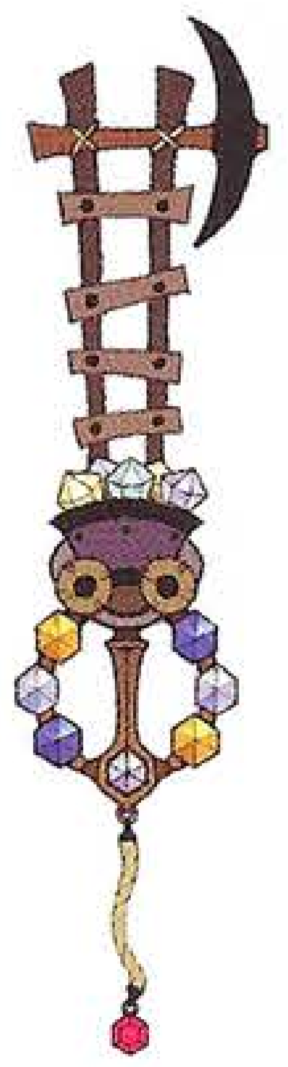

マスター・エラクゥス
ザックス
ベルトのデザイン
ソルジャーソードのデザイン
ブライグ
ディラン
イエンツォ
エレウスの武器
リア
アイザ
青年ゼアノート(背面)
ヴェントゥスの木剣


マークオブヒーロー

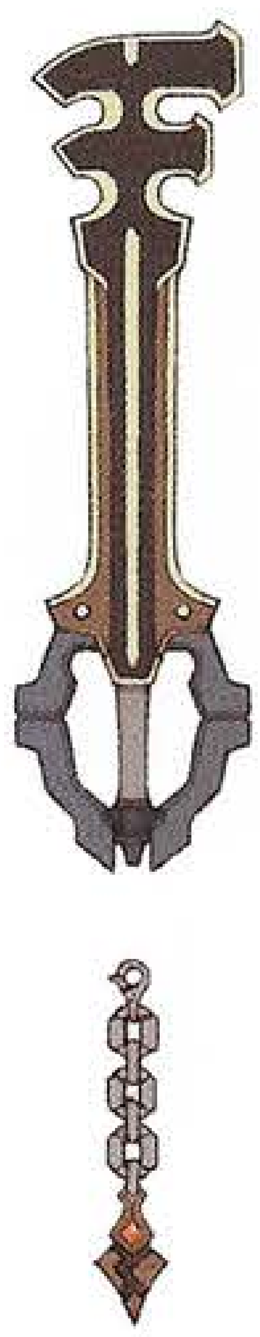

ウィニングメダリオン


フェアリースター

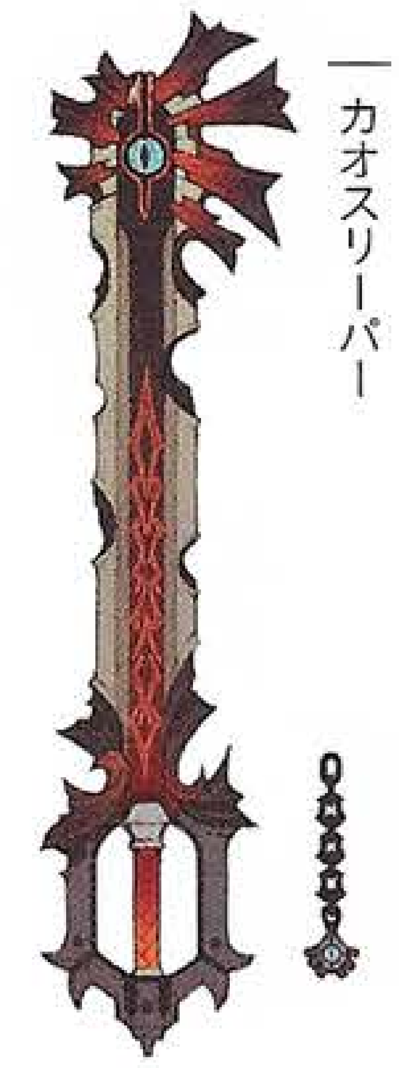

クリスタルワークス

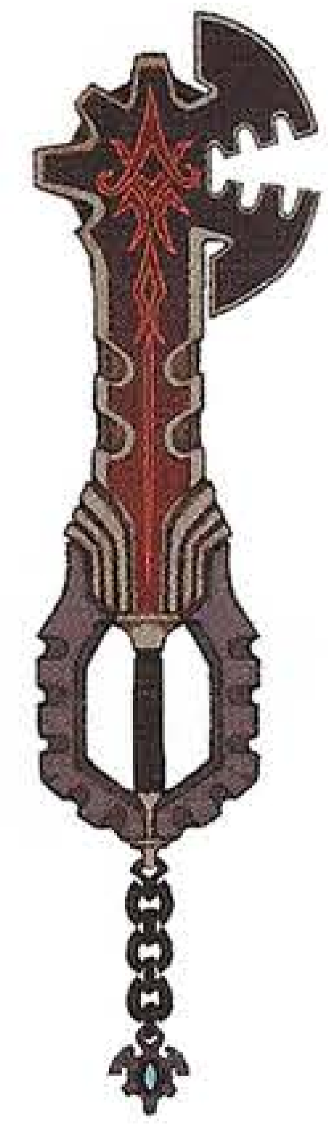

ロックスプレンダー

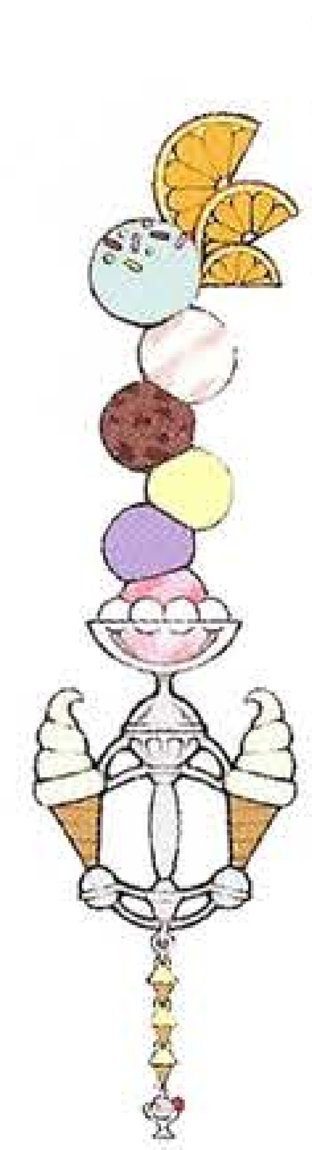

レインフォール

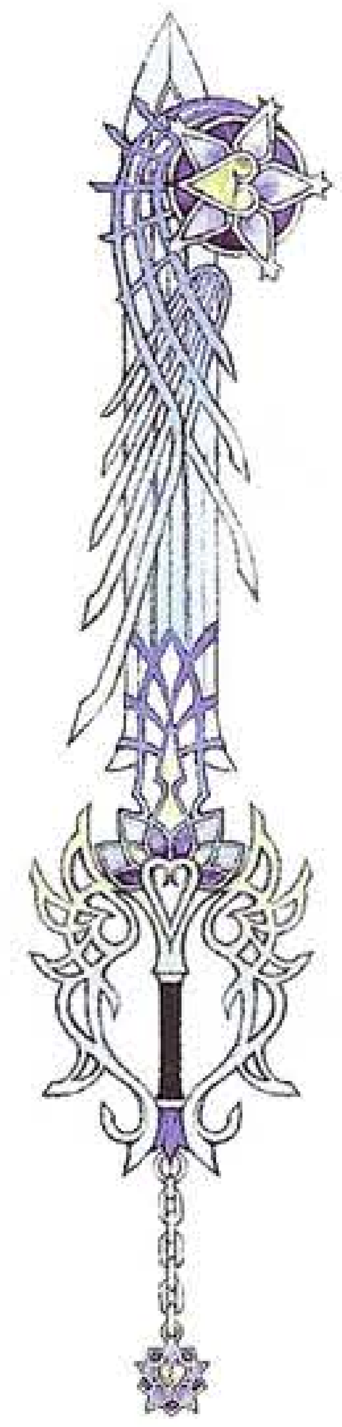

アースシェイカー

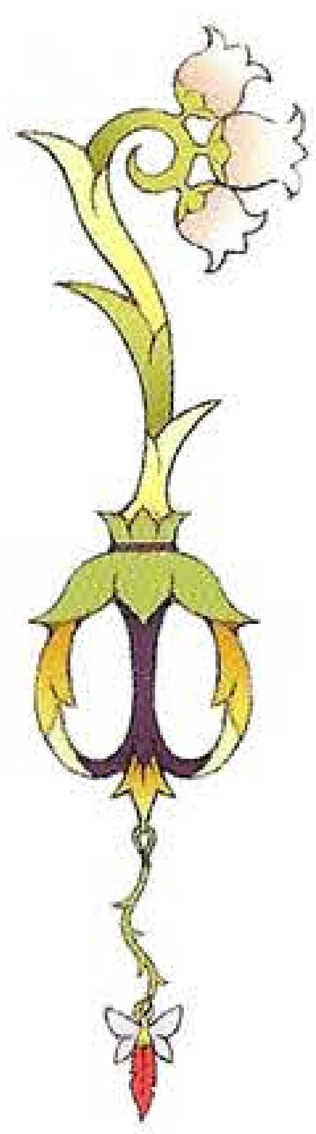

ラスカルフレイム


カオスリーパー

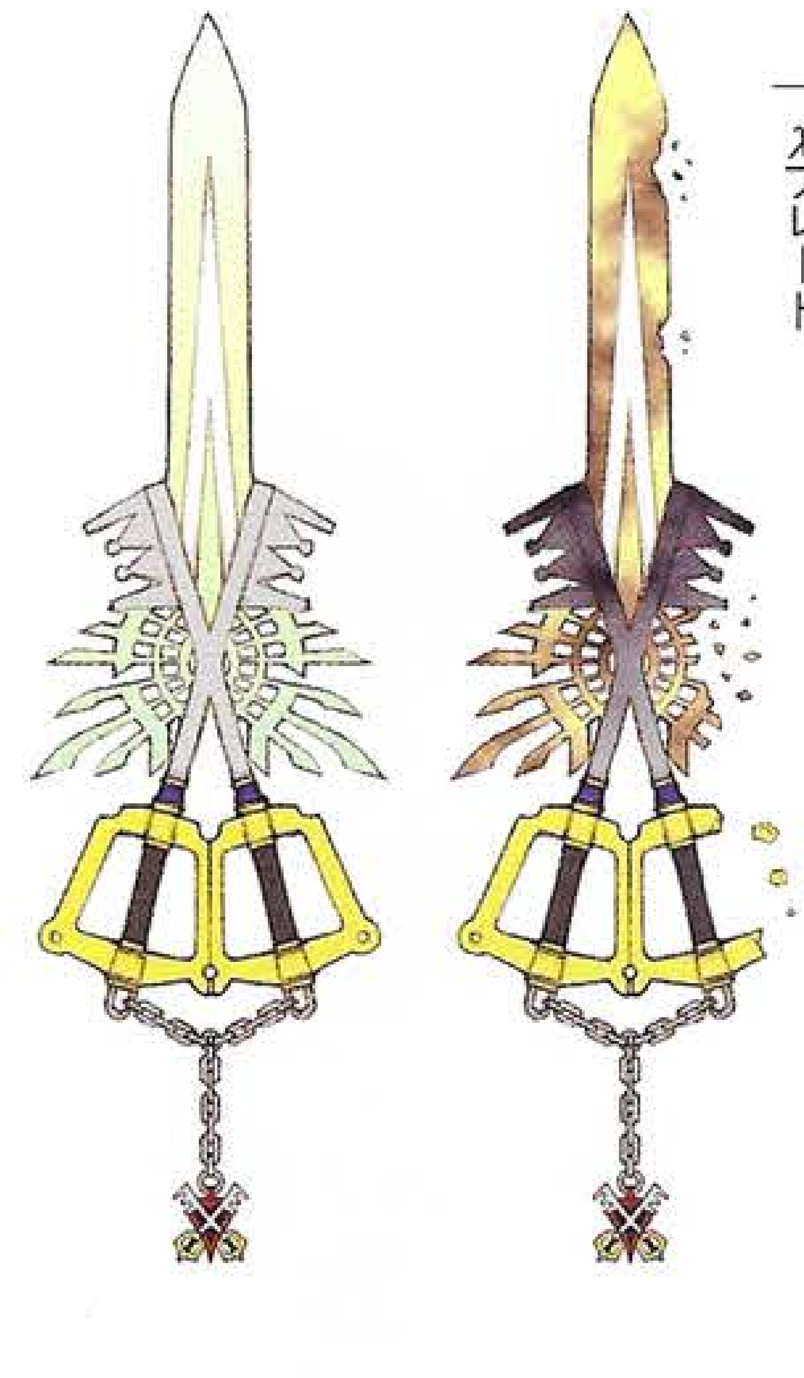

ダークバイター

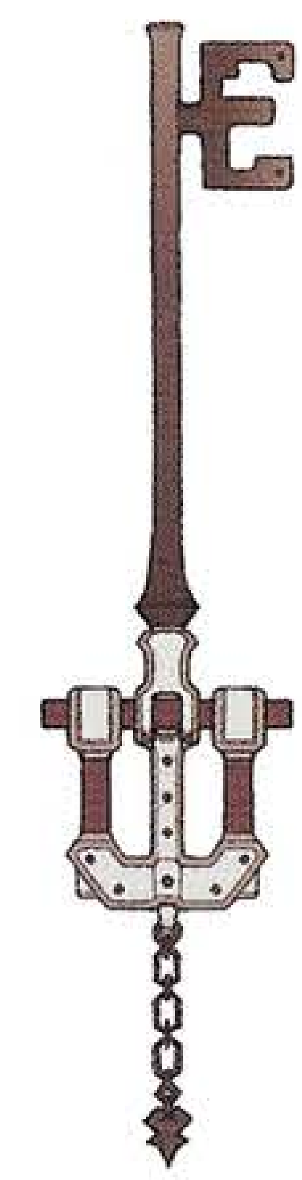

デリシャスタワー


アルテマウェポン


ピクシーチャーム


ハイパードライブ

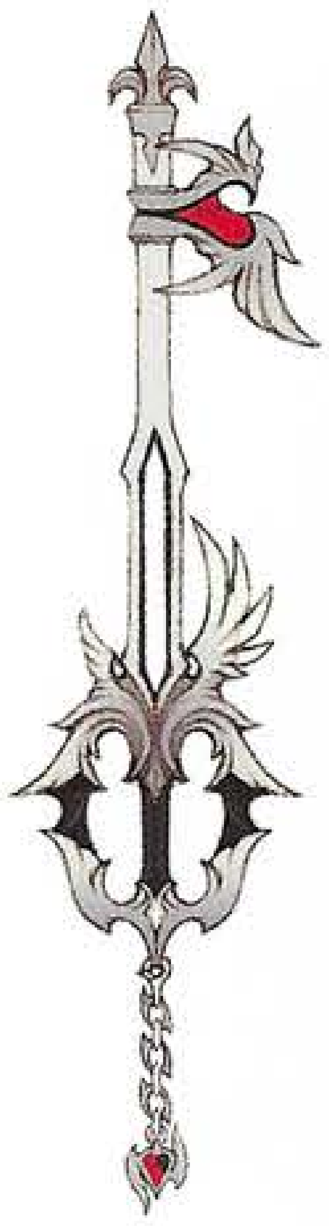

χブレード


マスター・エラクゥスのキーブレード（マスターキーパー）


マスター・ゼアノートのキーブレード


ヴァニタスのキーブレード


ブライトクレスト


ロストメモリー



フラッド



スクラッパー



レッドホットチリ



ブルーシーソルト



イエローマスタード



プライズポット



ブルーザー



モノトラッカー



ソーンバイト



シューゲイザー



チェストスパイダー



アーチレイブン



レイザーバニー



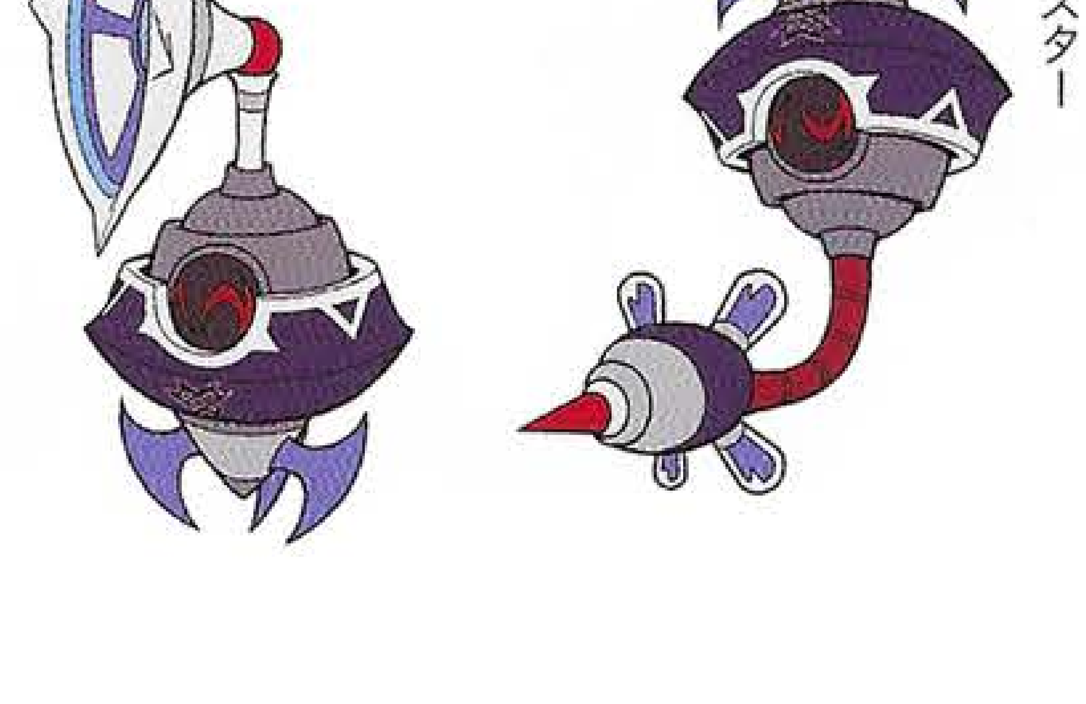
シェイドジェリー



イリタブルタンク



メディシンボトル



ソニックブラスター



パイルフェイス

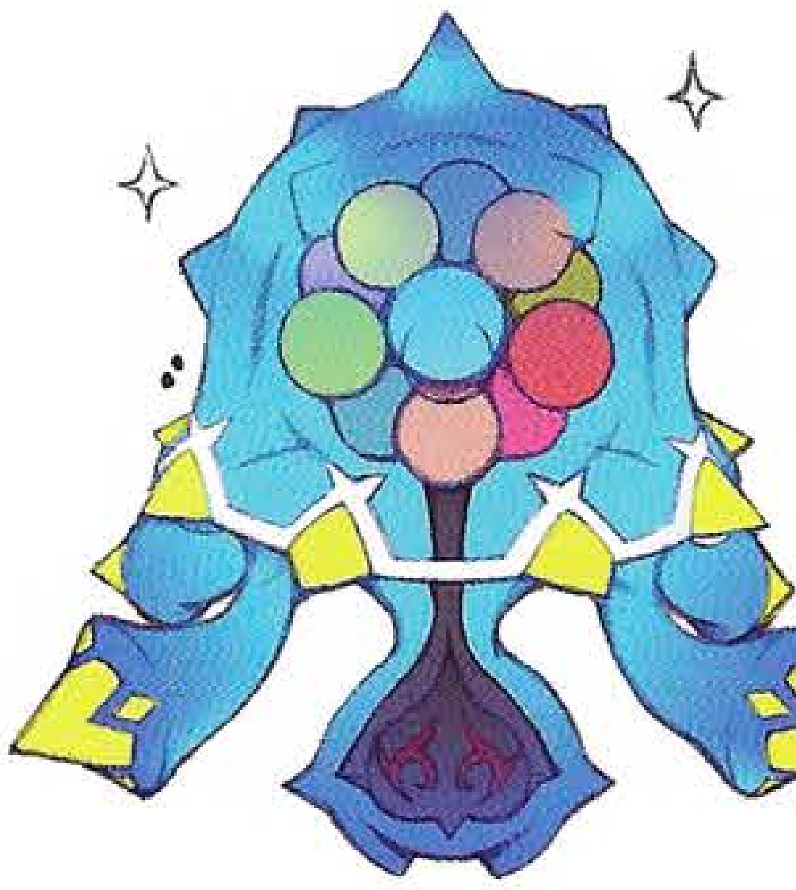

ワイルドブルーザー


マンドレイク


バックルブルーザー

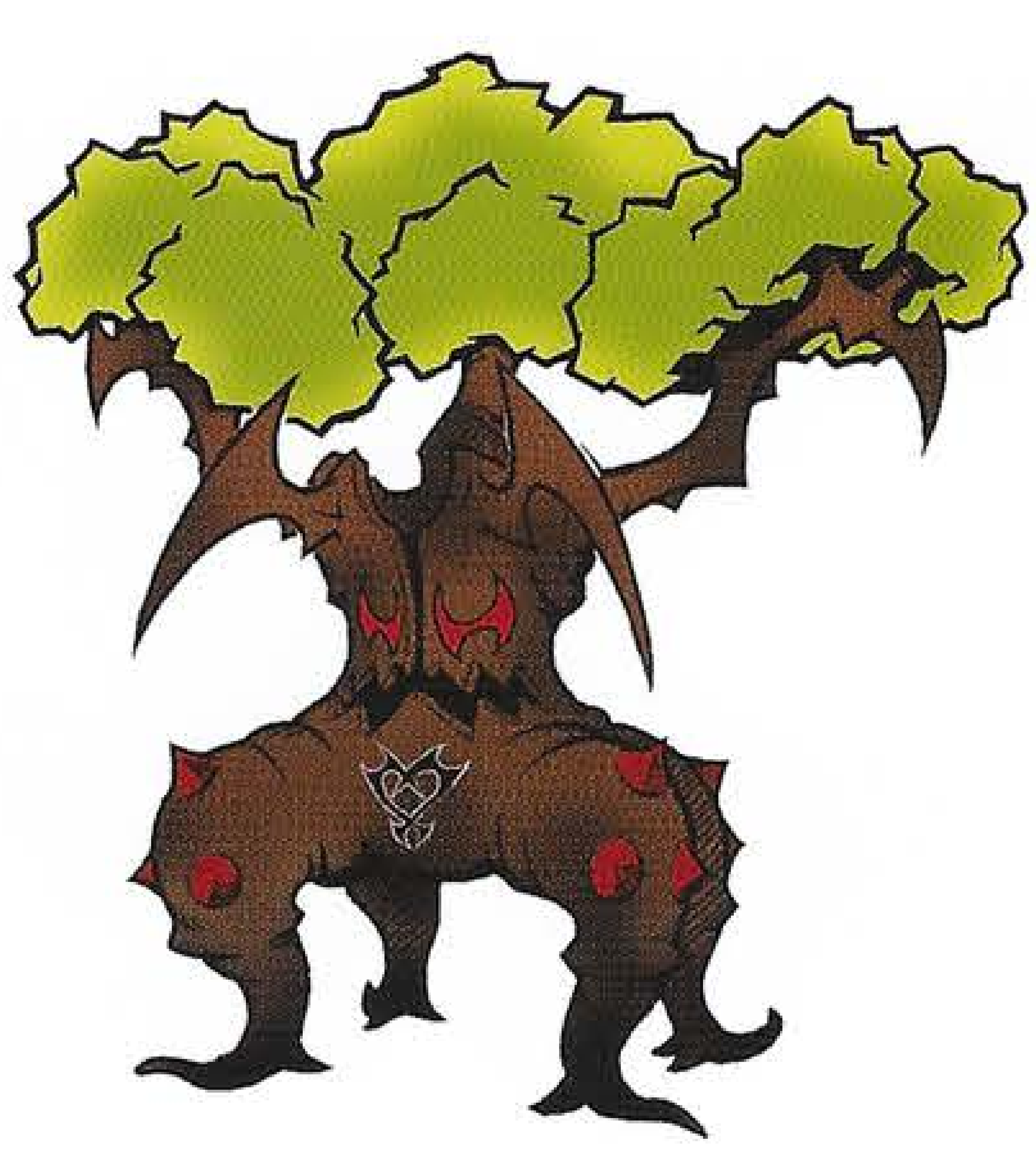

クロノツイスター


アックスフラッパー


ジェリーボール


スプリングロウディ

ホイールマスター



マッドトレント


シンフォニーマスター


カースドキャリッジ


トリニティアーマー



| メタモルフォシス



| ミミックマスター



| アイアンプリズナーIV

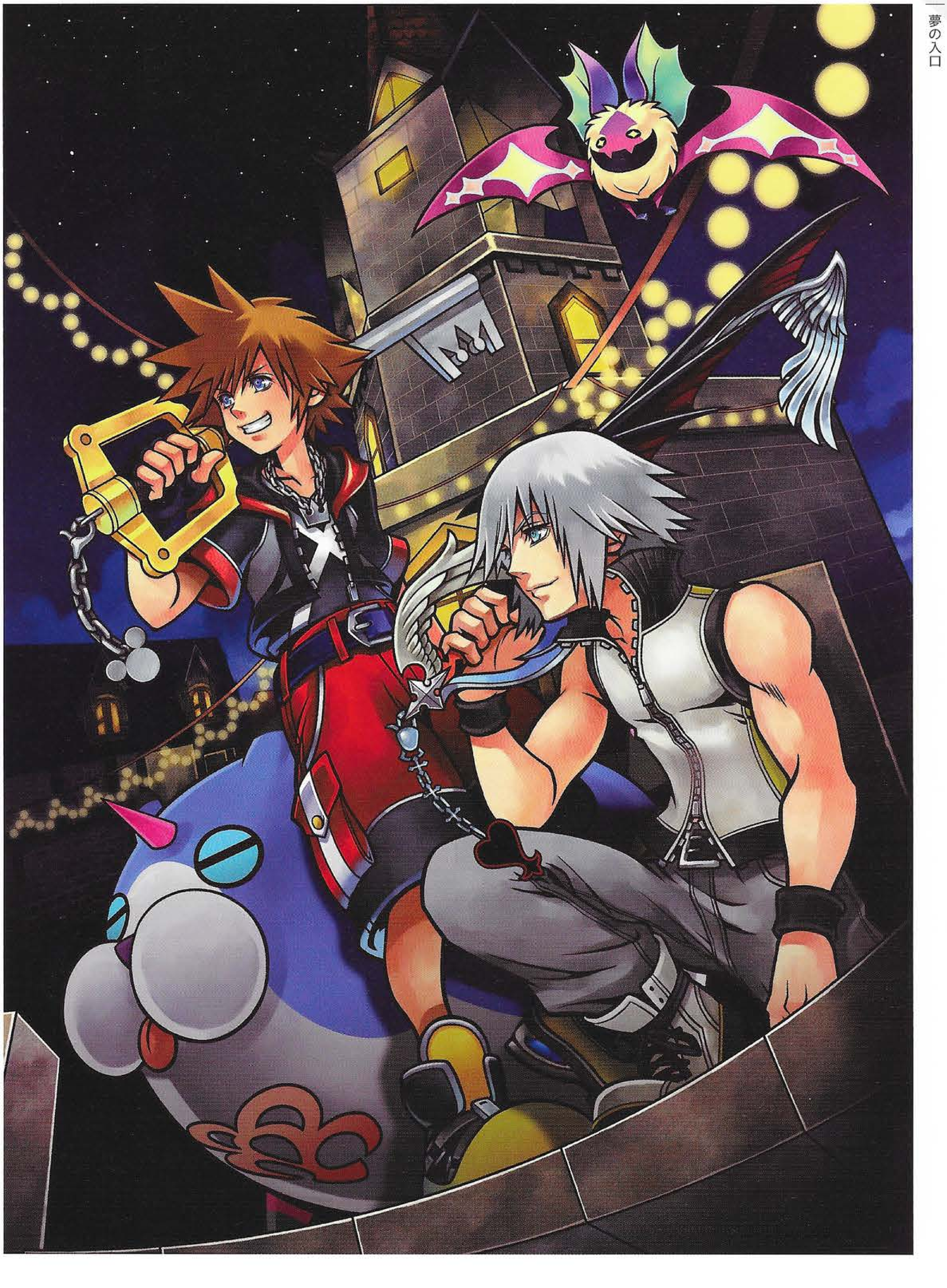
キングダム ハーツ バース バイ スリープ ファイナル ミックス

KINGDOM HEARTS Birth by Sleep FINAL MIX

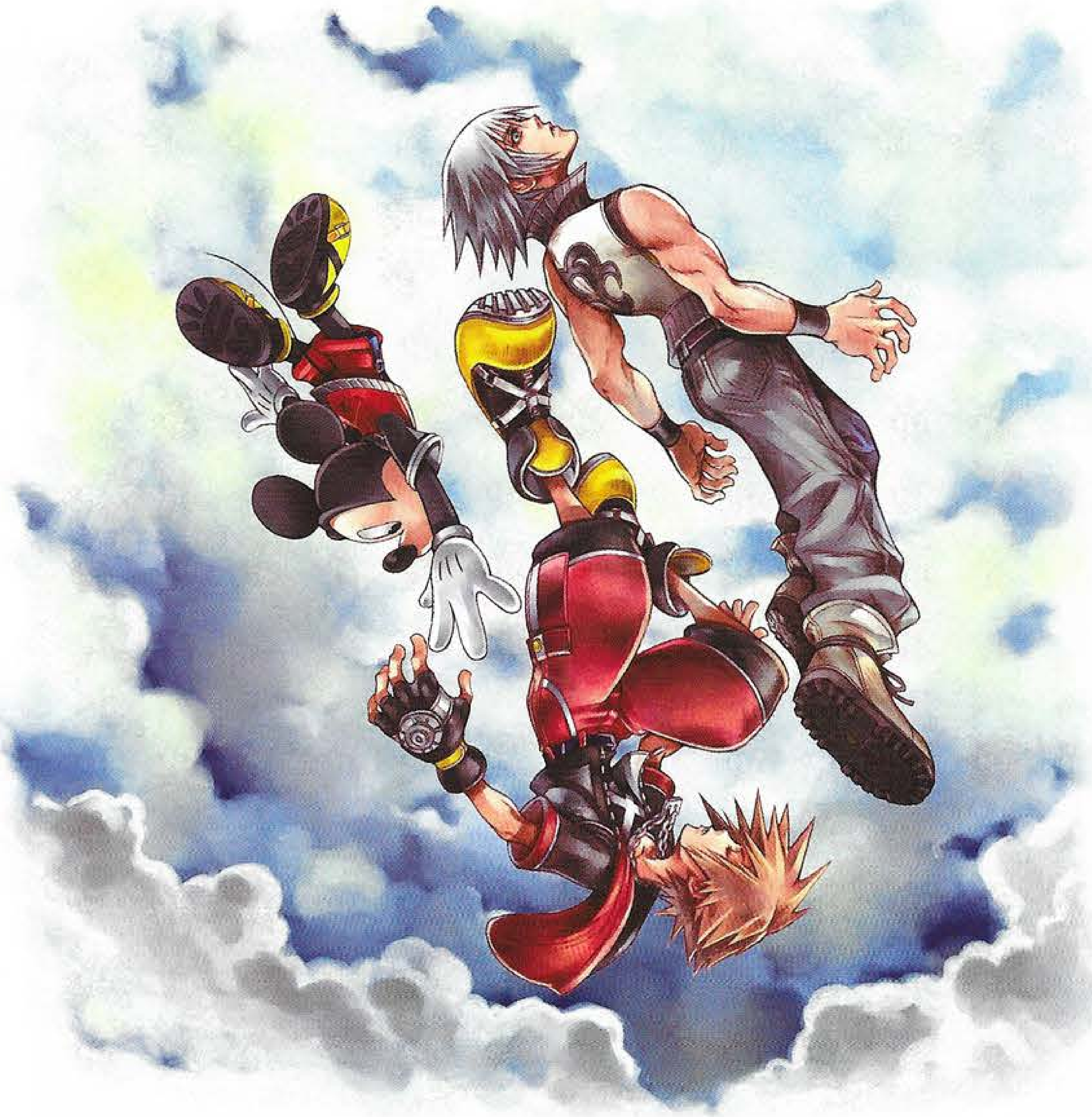
オフィシャルアート



オフィシャルアート



夢の入口



｜雲海



｜薄明



距離

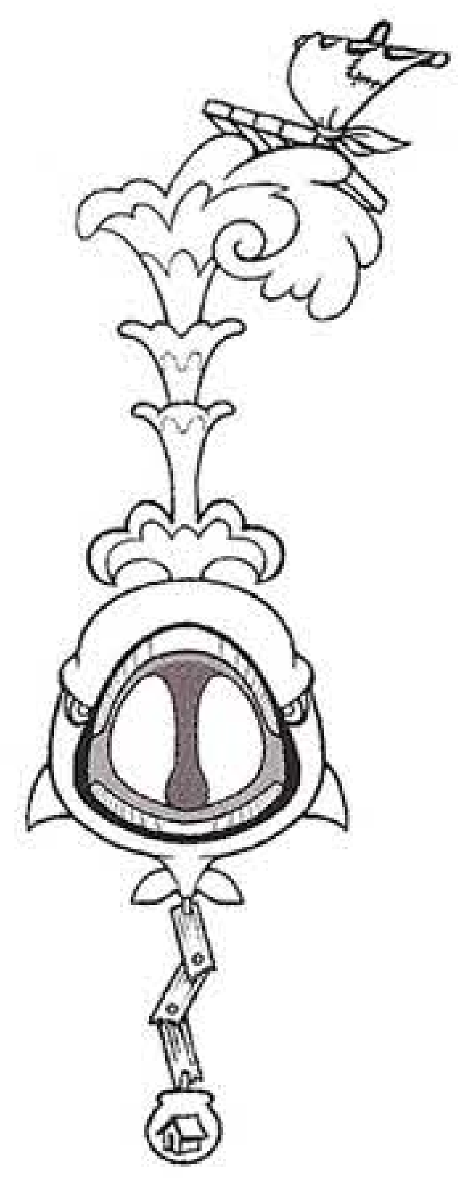




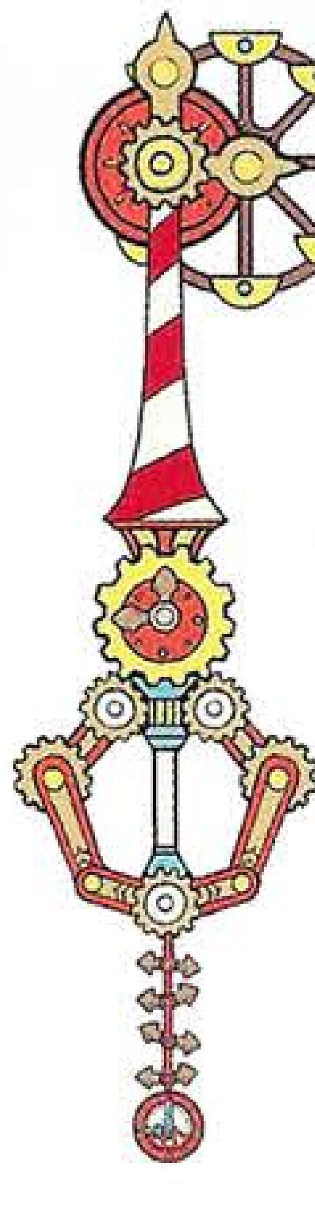
トドメナックル



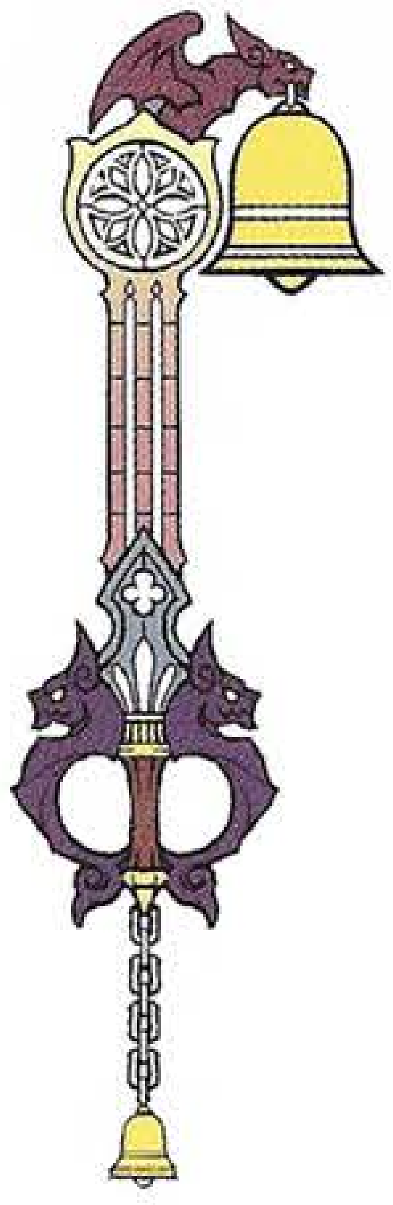
デュアルディスク



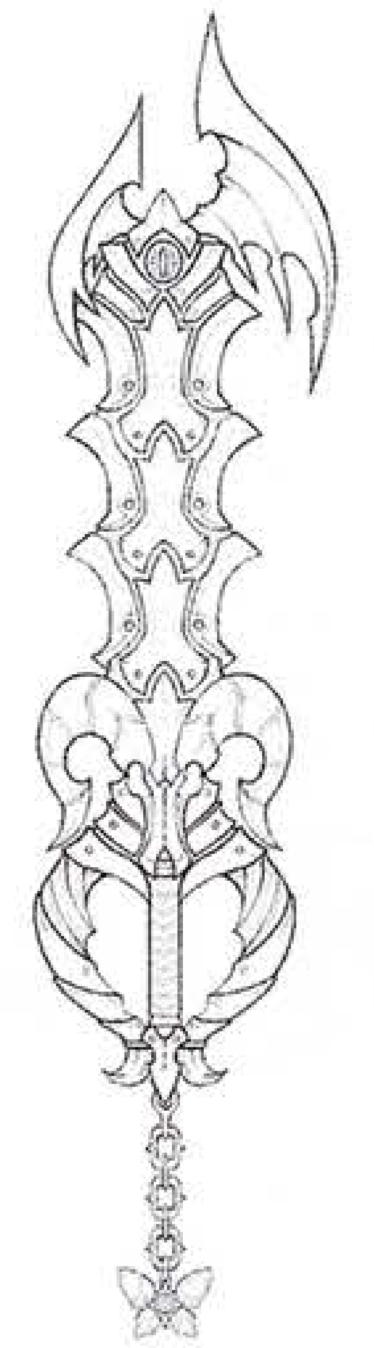
オーシャンレイジ



フェリスギア



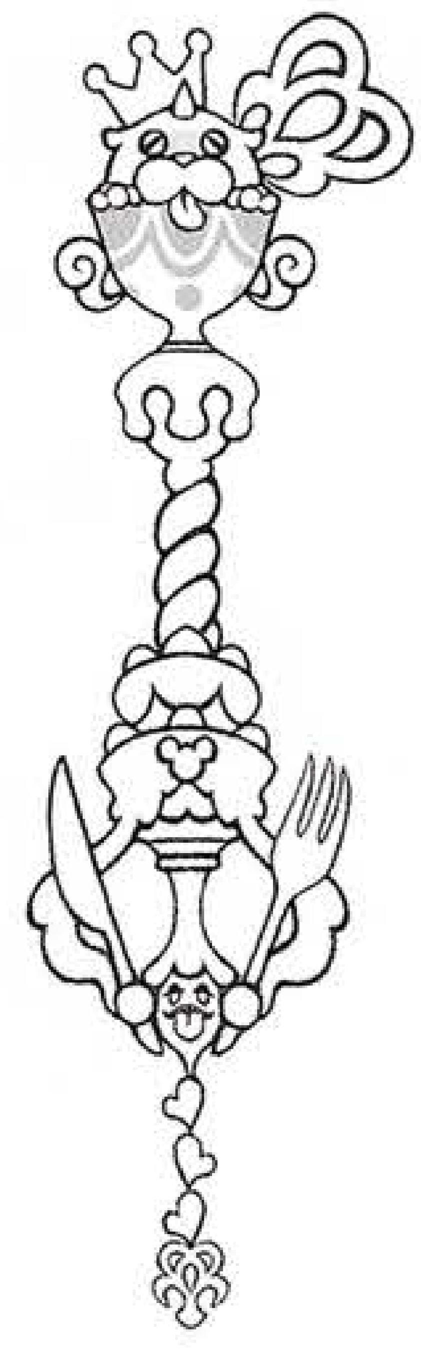
ガーディアンベル



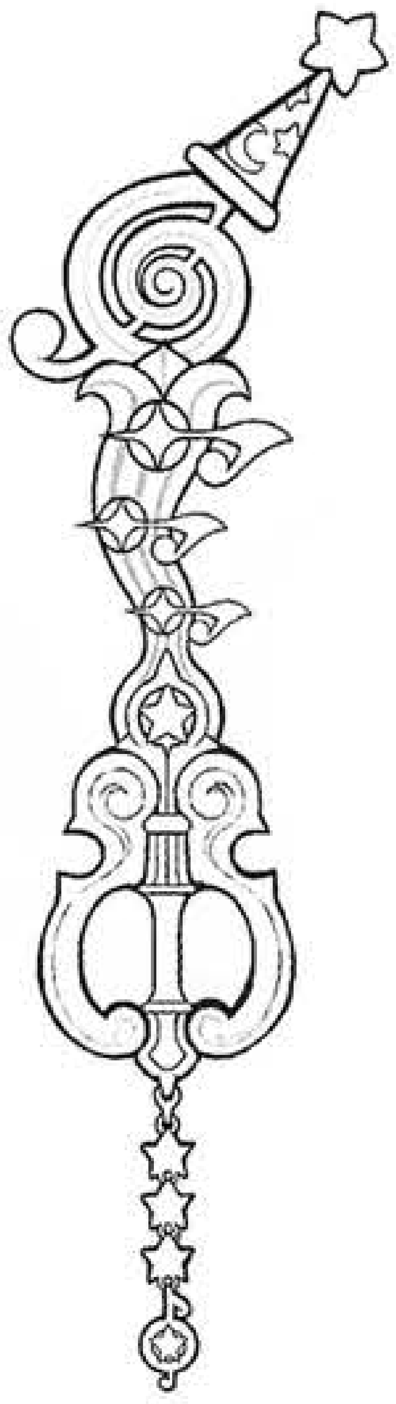
エンドオブペイン



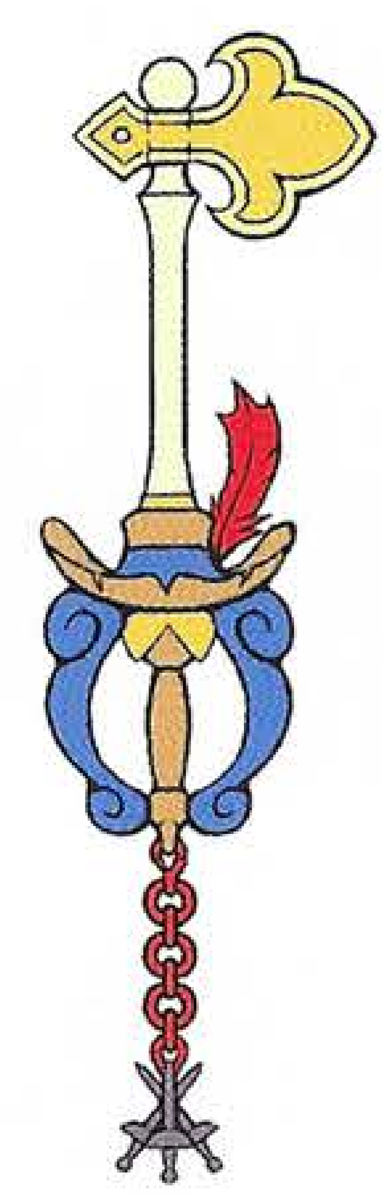
ダイブウイング



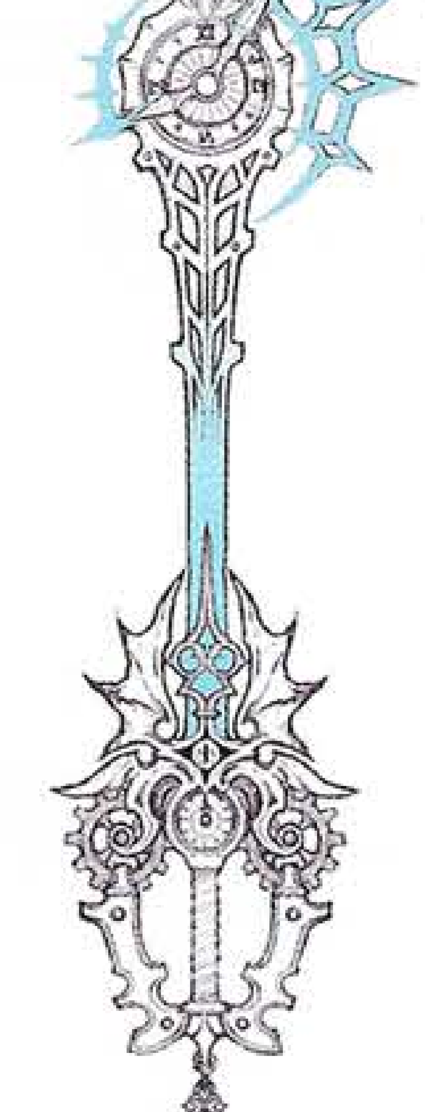
スイートドリーム



ファンタジーノーツ



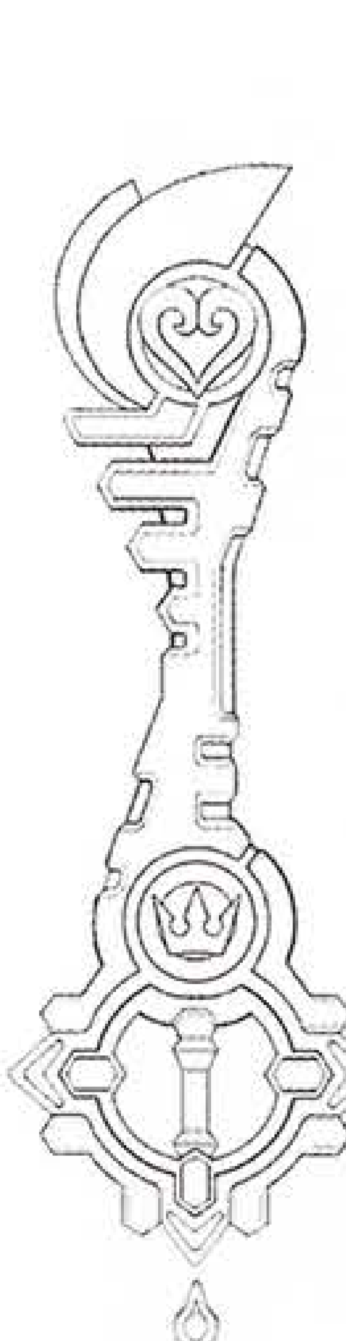
オールフォーワン



青年ゼアノートのキーブレード



合体キーブレード(存在しなかった世界のリアリティシフト時)



オーバードライブ



ワンダニャン



タマシープ



ヤギホーン



コウモリバット



ハリライオン



クマパンダー



ネコキャット



ナルバード



ボウクンレックス



ハンサムペガサス



バカンスシール



タイホウカブト



キングダニャン



クマダダイサーカス



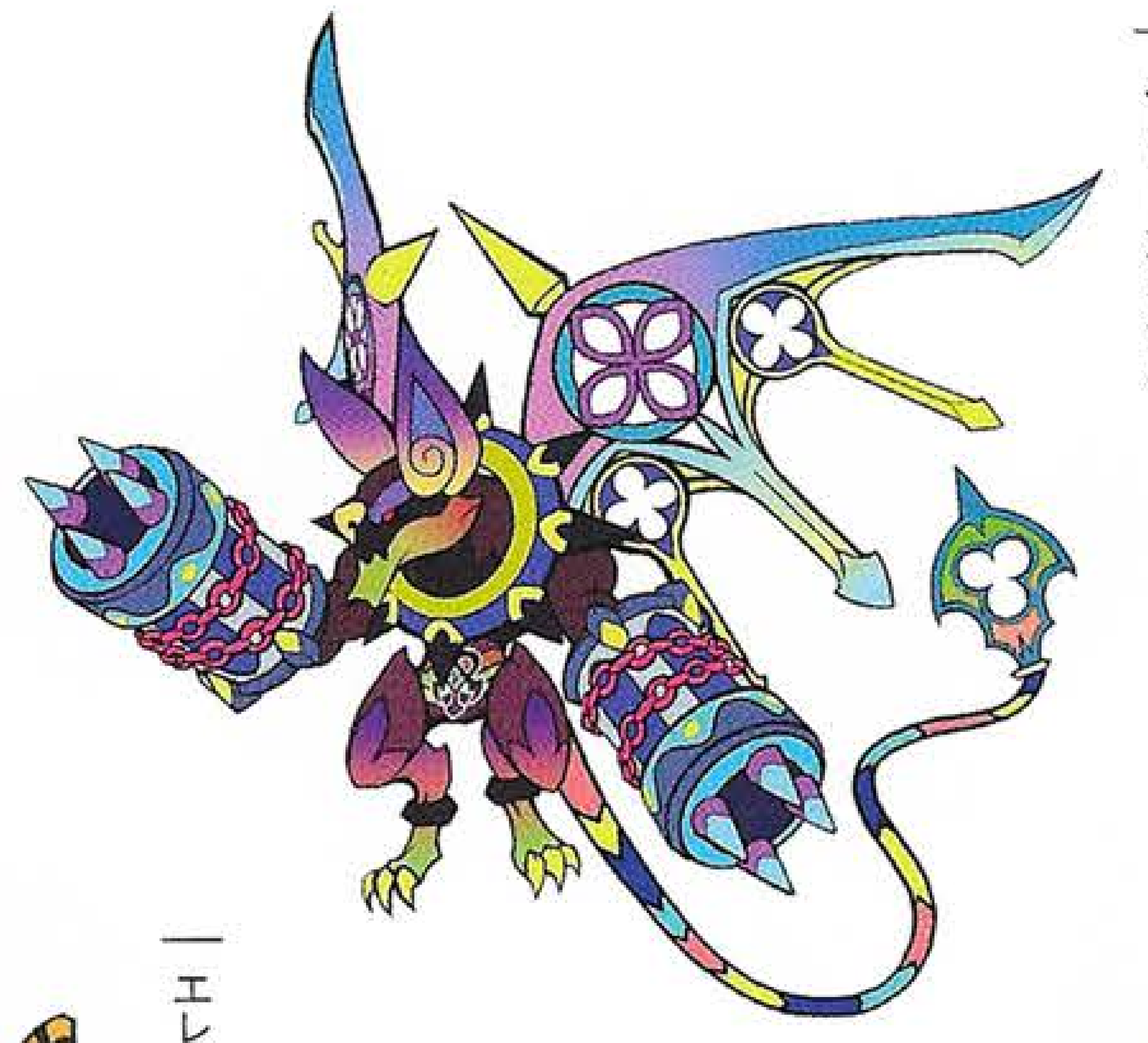
フルーツキャット



ネクッポイ



ハコザル



バレットガゴイル



エレカマキリ



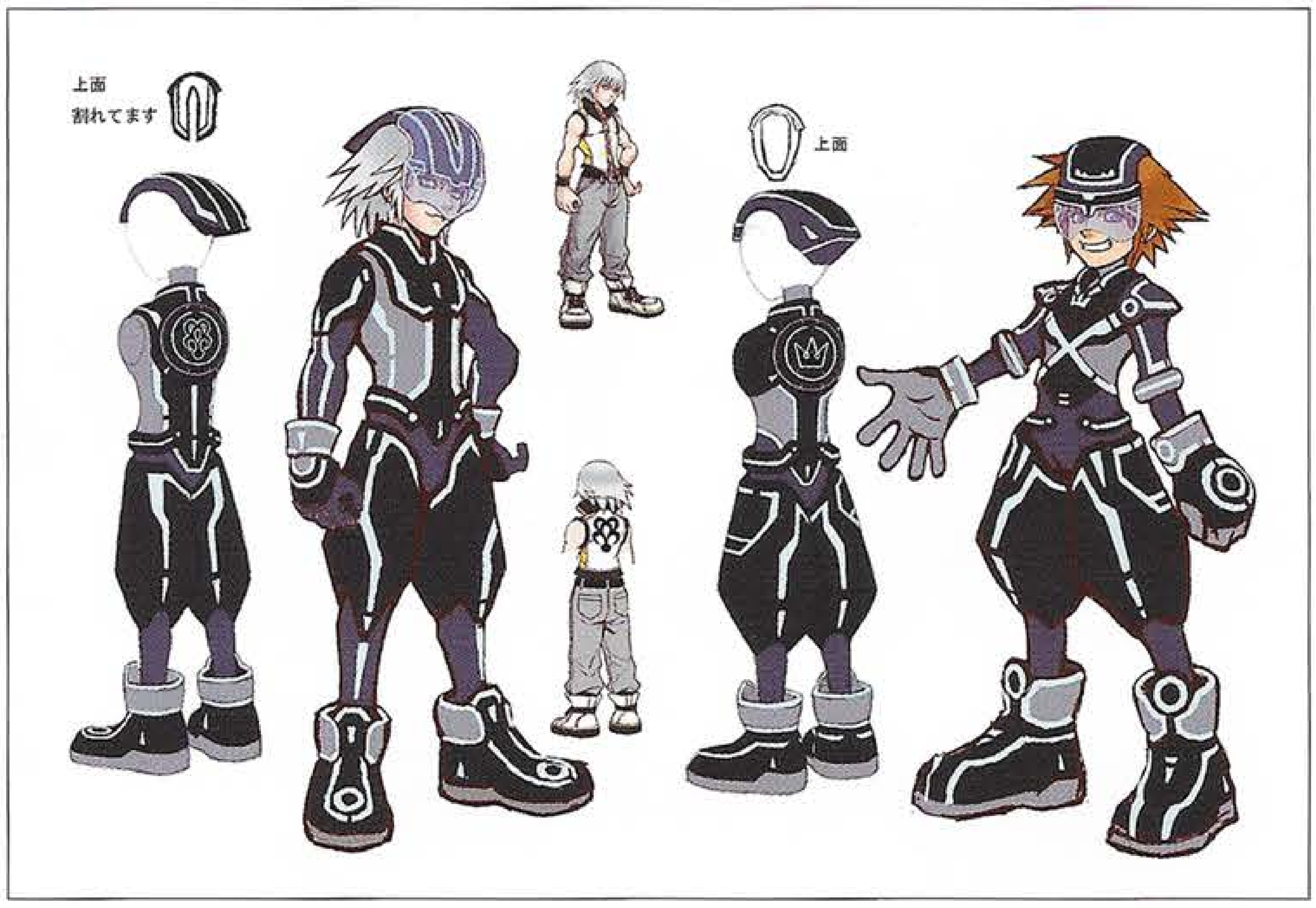
アナモグラー



イカゲソード



アンセム



ソラ&リク(ザ・グリッドバージョン)

キングダム ハーツ キー　KINGDOM HEARTS χ [chi]

オフィシャルアート

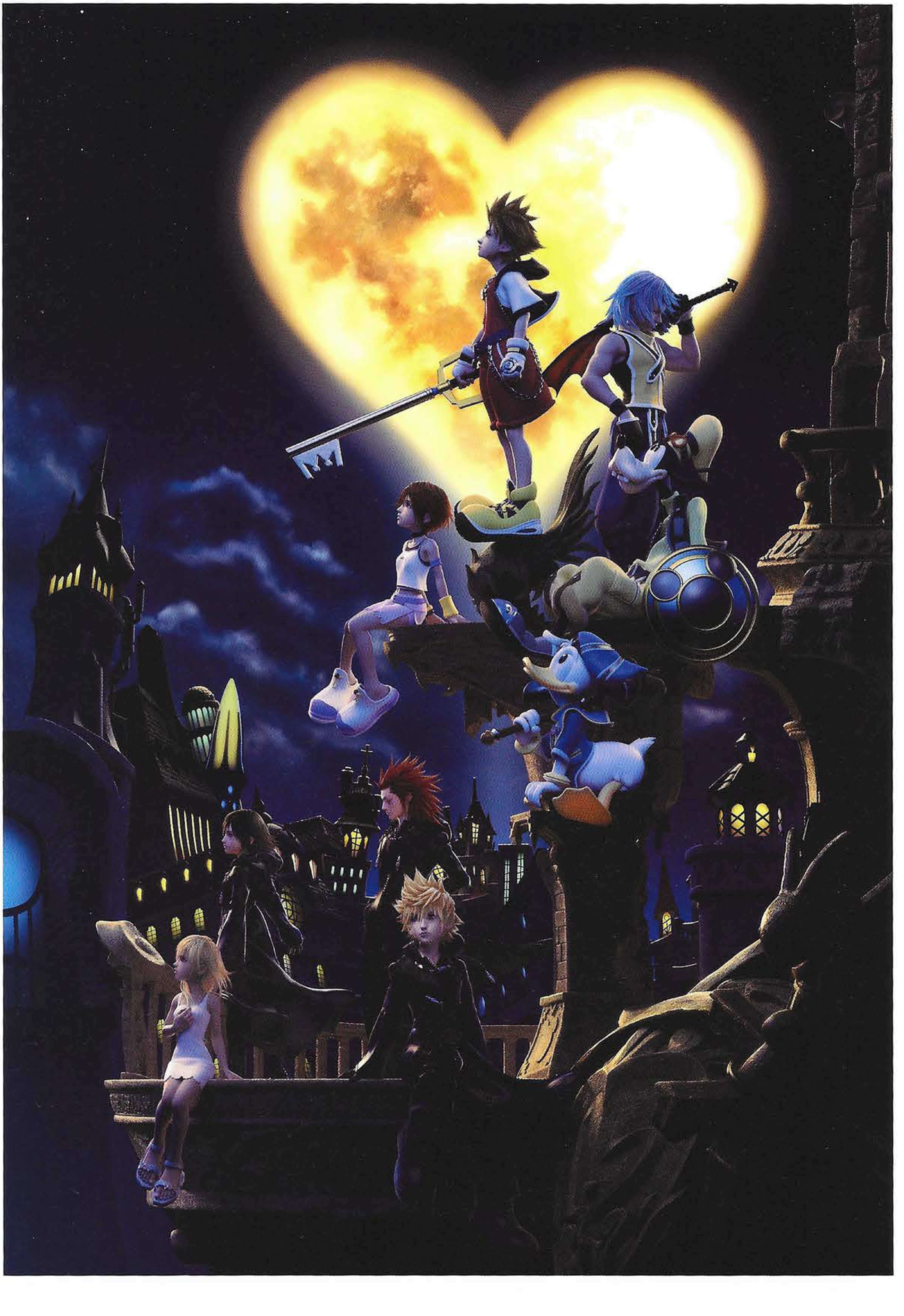


キングダム ハーツ HD1.5リミックス

KINGDOM HEARTS -HD1.5ReMIX-

オフィシャルアート





キングダム ハーツ HD2.5リミックス

KINGDOM HEARTS -HD2.5ReMIX-

オフィシャルアート



SECRET MOVIE collection

【シークレットムービーコレクション】
特定の条件を満たすと、その後の作品の展開を匂わせる映像を見られるのが、『KH』シリーズの恒例。それらのシークレットムービーを一挙に振り返ろう。

Another side, Another story...

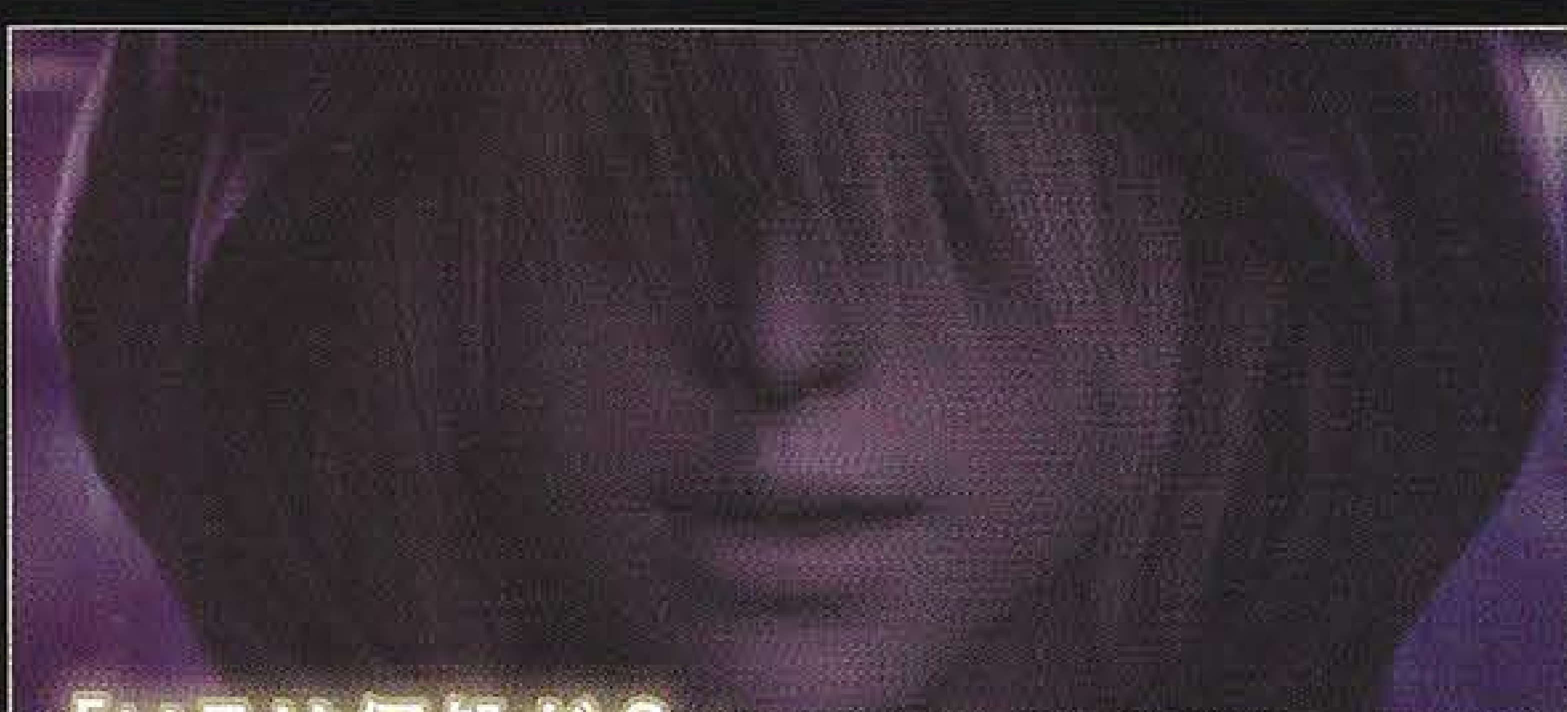
I

降りしきる雨のなか、黒コートの男と目隠しの男が対峙する。『KH』シリーズ初のシークレットムービーであり、さまざまな憶測を呼んだ。





2本のキーブレードを構える、黒コートの男(ロクサス)。対する銀髪の男(リク)は、流星群のなかで目隠しを取る。ロクサスの質問を皮切りに、無数の言葉が流れるように表示されたのち、海岸に少女の姿が……。



「ソラは何処だ？」



deep dive

I FM

『KH I』のシークレットムービーを、より掘り下げた内容。リクとロクサスの戦いのほか、闇の海岸でのロクサスとゼムナスの会話が描かれる。









草原の十字路に立つソラ(『KH COM』の冒頭シーン)や、闇の海岸に流れ着くビン詰めの手紙(『KH II』のエンディング)など、のちの作品の一場面を示唆する映像のあとに、存在しなかった世界を訪れたロクサスの姿(『KH Days』の終盤のシーン)が映る。







ビルを駆け上がり、リクめがけてキーブレードを投げるロクサス。それに応じるかのように、ビルの屋上から飛び降り、キーブレードを受け取るリク。両者はおたがいに視線を交わしつつ、そのまますれちがう。















黒コートの男たちの姿が映ったのち、同じ黒コートに身を包んだ王様がどこからともなく現れ、キーブレードを構える。



「彼に会って来た。
彼は君に良く似ている」



闇の海岸で会話を交わすふたりの黒コートの男——ロクサスとゼムナス。その後、何かを暗示するかのように、目をつぶったソラが海面付近を飛んでいく。



「思い出し始めたんだ、本当の…」

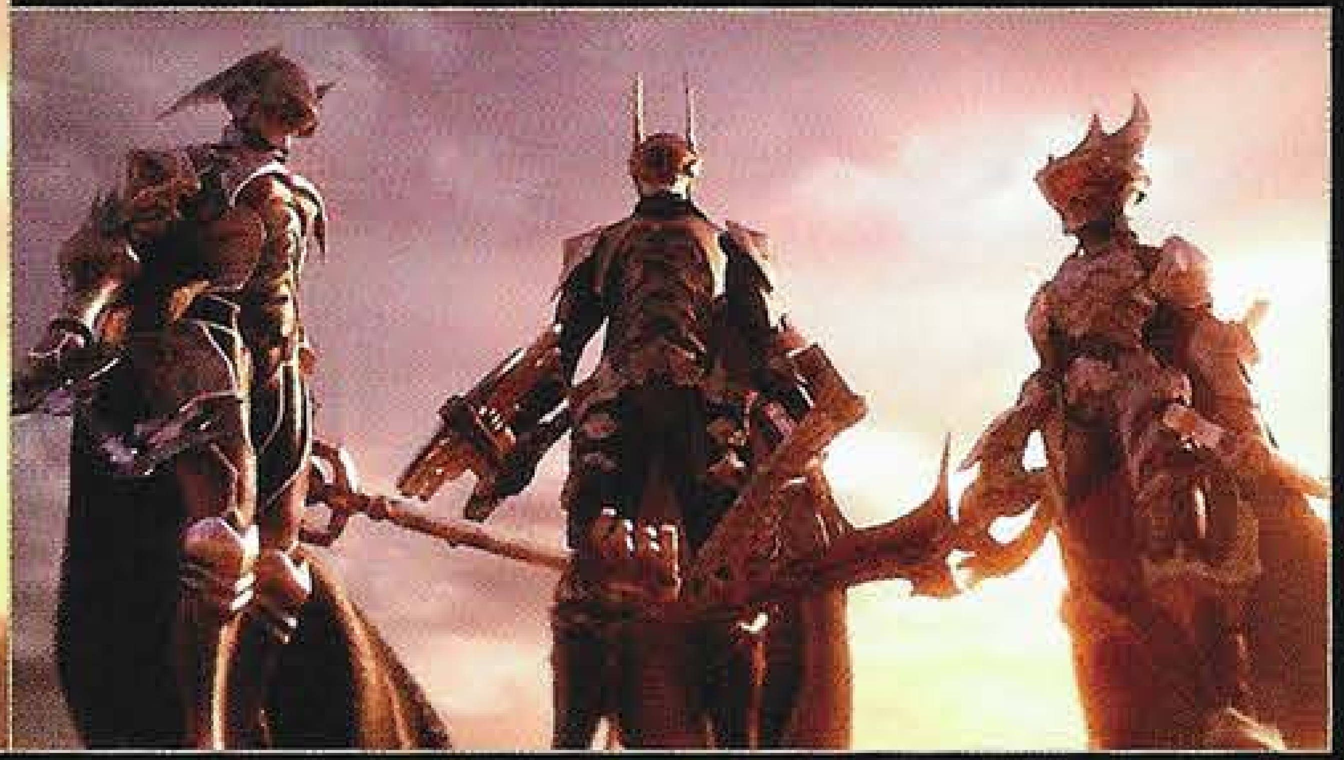
The Gathering

II

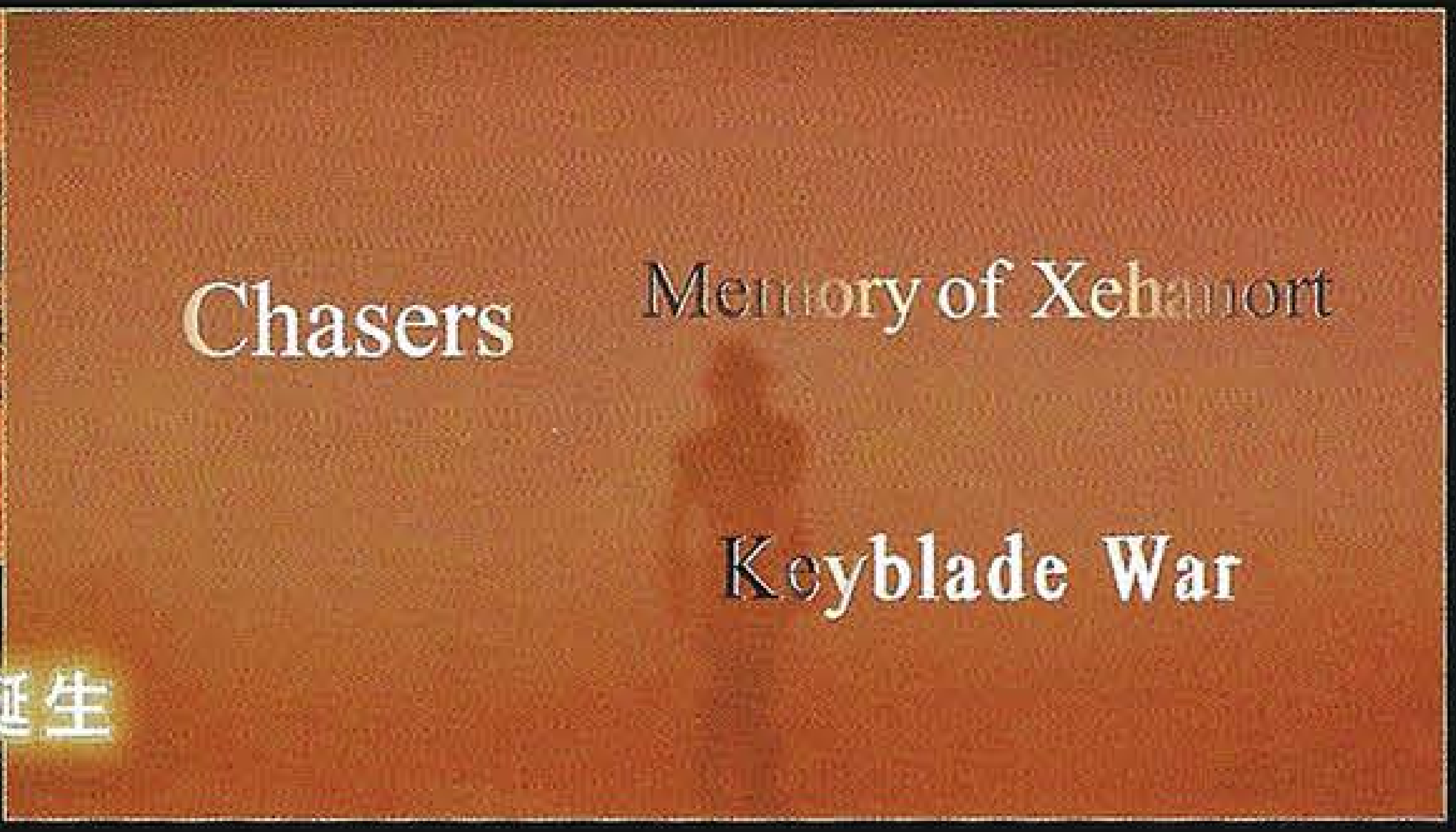
鎧姿の３人組（『KH BbS』の主人公たち）が集結する。タイトルは「集いし者たち」を意味し、この英単語は「deep dive」（→P.246）にも登場。



荒野に立つ屈強な男（テラ）のもとに、細身の女性（アクア）と小柄な少年（ヴェントゥス）がやってくる。地面に突き刺さったキーブレードを手に取る、鎧姿の３人。彼らが視線を向けると、その先の砂塵に人影が……。







全ては――眠りからの誕生

Birth by sleep

II FM

「The Gathering」から直接つづく内容で、『KH BbS』の終盤の展開が描かれる。ムービーの長さは４分以上にもおよび、見どころが満載。







砂煙の向こうから、不敵な笑みを浮かべた老人――マスター・ゼアノートと、その従者ヴァニタスが現れた。にらみ合うテラたちとマスター・ゼアノート。はやるヴェントゥスを制してテラが駆け出し、戦いの火ぶたが切られる。






双方の実力の差は歴然としており、マスター・ゼアノートとヴァニタスがテラたち3人を圧倒。テラたちは防戦一方となり、しだいに追いつめられていく。






激闘のさなか、マスター・ゼアノートが空に手を掲げると、天高くに"キングダムハーツ"が姿を現す。その様子を、戦いの地を訪れた王様も見つめていた。






全ての運命に偶然などない



全ての運命は必然であり
それぞれの運命は
長き時を経て集結し
新たな物語が目覚めの時を待つ——

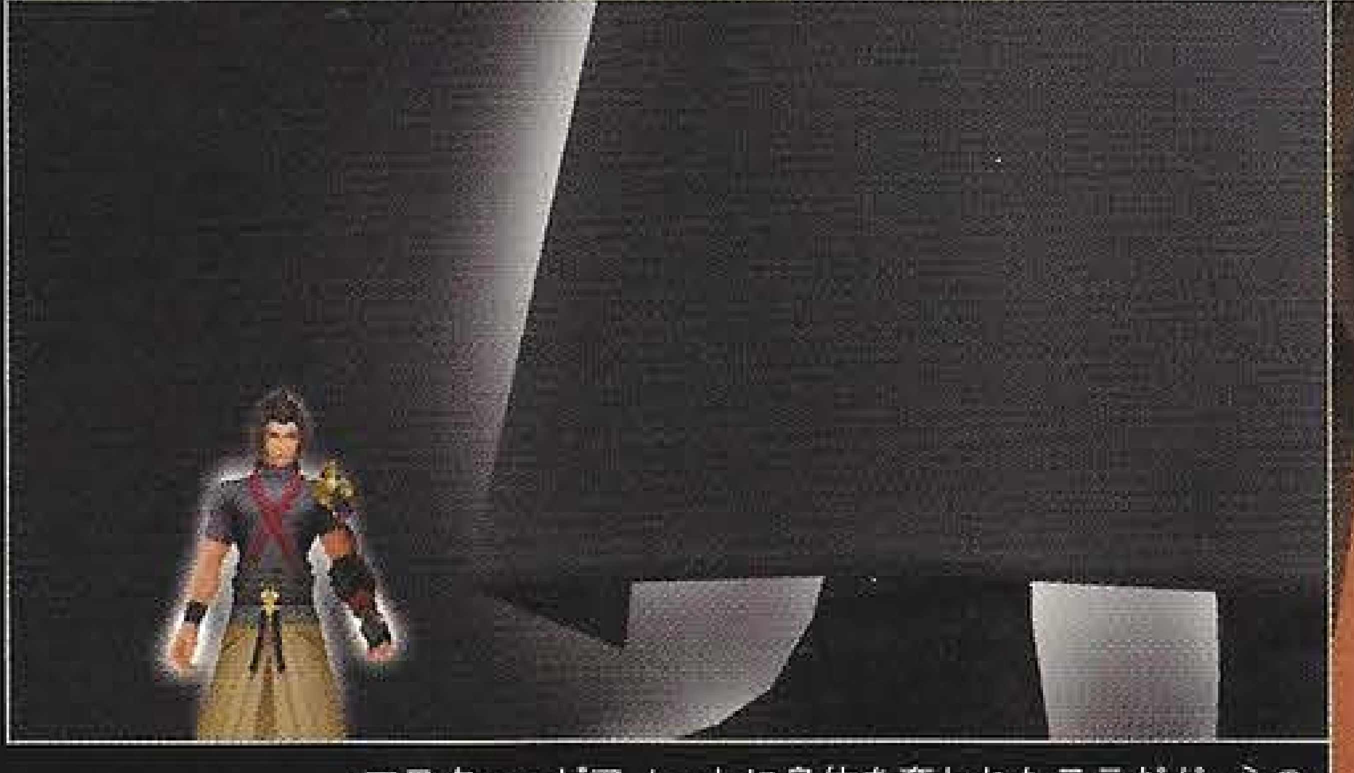


Blank Points

BbS

複数のショートエピソードで構成された映像。物語のカギをにぎる人物たちについて描かれ、ソラの旅立ちを感じさせる場面で締めくくられる。

Hidden truths 隠された真実



マスター・ゼアノートに身体を奪われたテラだが、心の奥深くでは、なおも抵抗をつづけていた。いつかゼアノートを自分の身体から追い出すと自信を見せるテラ。しかし、対するゼアノートも秘策があることをほのめかす。







「策というのはいくつも講じておくものだ。種は既に蒔いてきた」

Image of their backs, preserved in memory. 記憶に残る背中



「記憶喪失は芝居じゃなかったのかよ！
まいったねー、こりゃ」



賢者アンセムの研究所に保護された、ゼアノートと名乗る青年。その素性を知るブライグは、彼の様子をいぶかりつつも親しげに語りかける。通りがかりにふたりに気づいた賢者アンセムとイェンツォは、並んで歩く彼らの背中を見つめていた。





Two who were never meant to meet 出会うはずではなかった二人







「すべては眠りから生まれる——
そう、君さえもな」

時は流れ、闇の海岸にたたずむ賢者アンセムのもとに、アクアがたどり着いた。世界の情勢を尋ねるアクアに、賢者アンセムはひとりの少年の話を語り出す。光の世界を幾度も救った、つながる心を力とする少年のことを……。

All the pieces lie where they fell 悲しみのカケラはいまだ目覚めず







ナミネ、シオン、ロクサス、ヴェントゥス、テラ、そしてアクア。眠りにつき目覚めを待っている者たちは、みな口々にひとりの少年の名を呼ぶ——ソラ、と。





「ソラ」

Where they wait for him... ただ彼を待つ——





王様からの手紙を読み、新たな旅立ちを決意するソラ。カイリはソラに約束のお守りをふたたび手渡し、笑顔で彼を送り出すのだった。





「俺につながるすべてを取り戻しに行かなくちゃ」

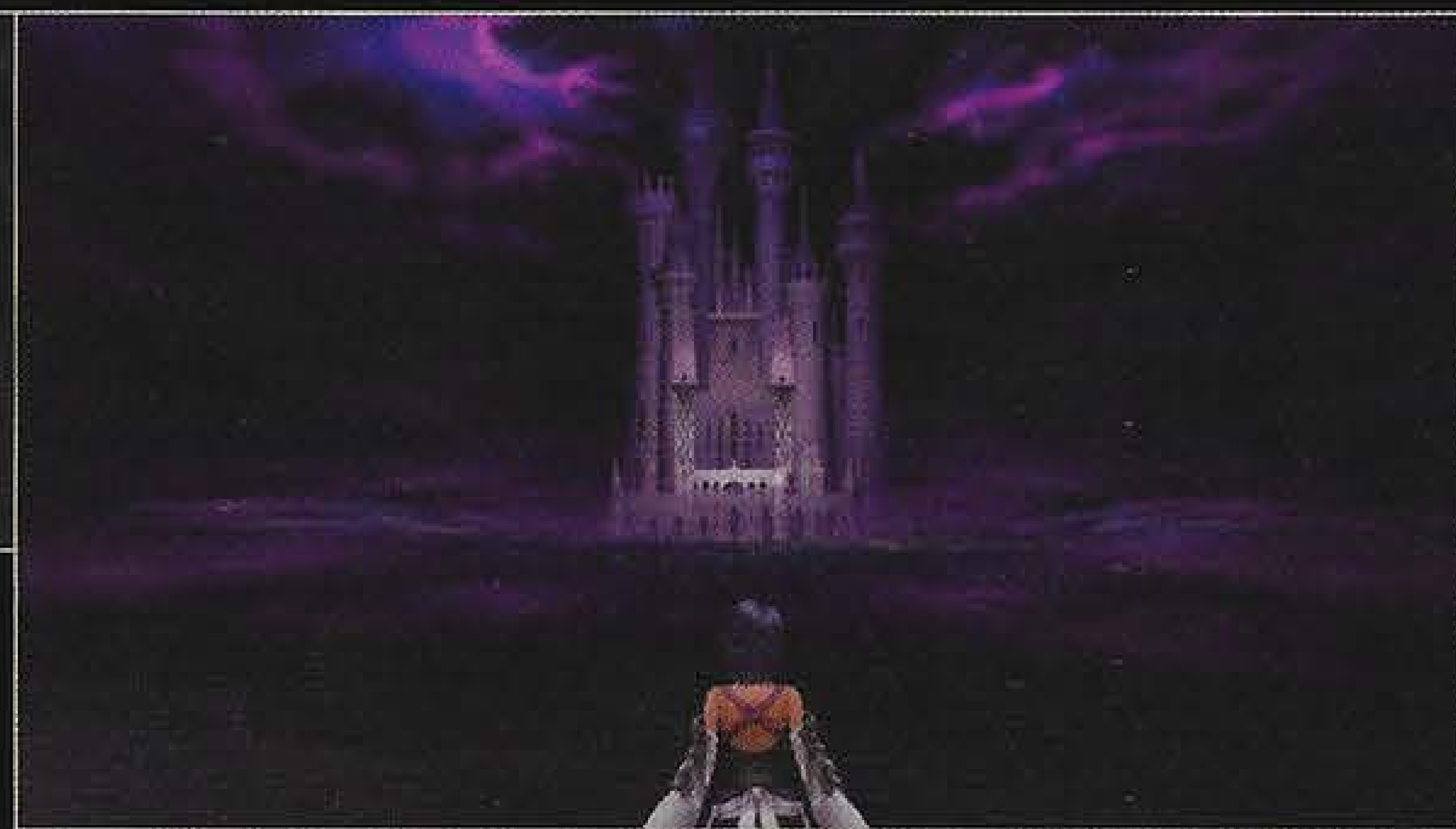
A fragmentary passage

BbS FM

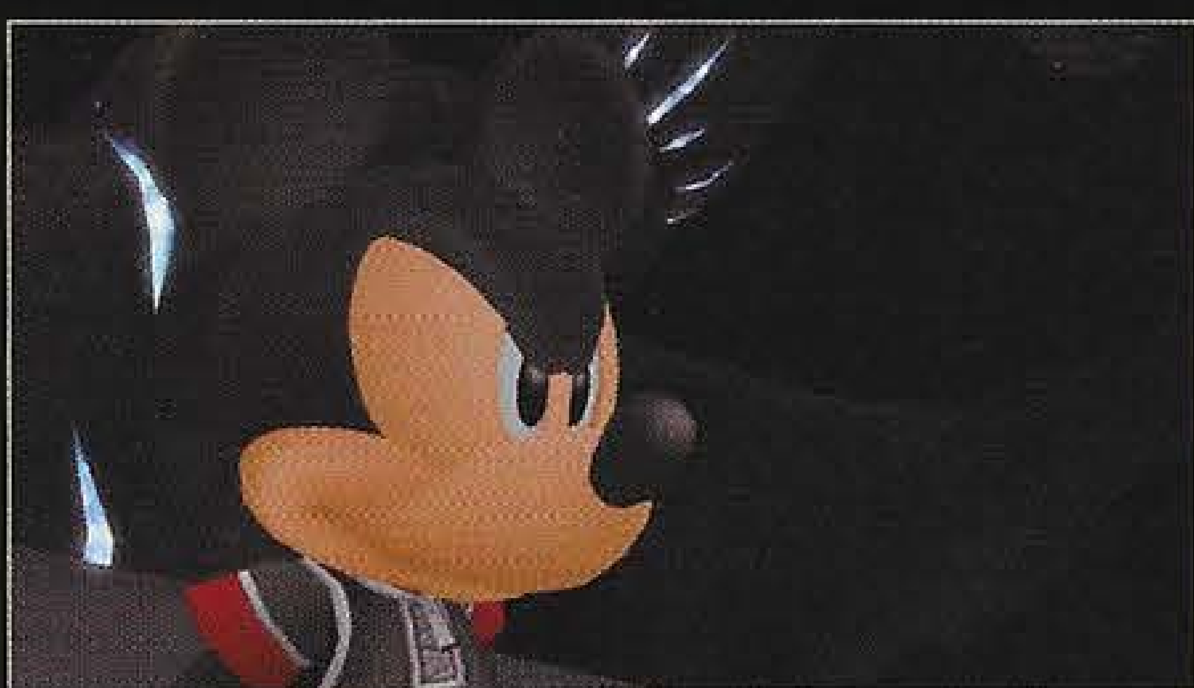
「断章」を意味するフレーズが表示されたあと、さまざまな映像が映し出される。これまでに描かれていない場面の断片をうかがわせる内容。



長らく闇の世界をさまよっていたアクアは、信じがたいものを目にする。それは、闇の世界にあるはずのない、キャッスル・オブ・ドリームの城だった。かつて訪れた世界が闇に飲まれていた事実に、アクアは動揺を隠せない。



「あれは——!」









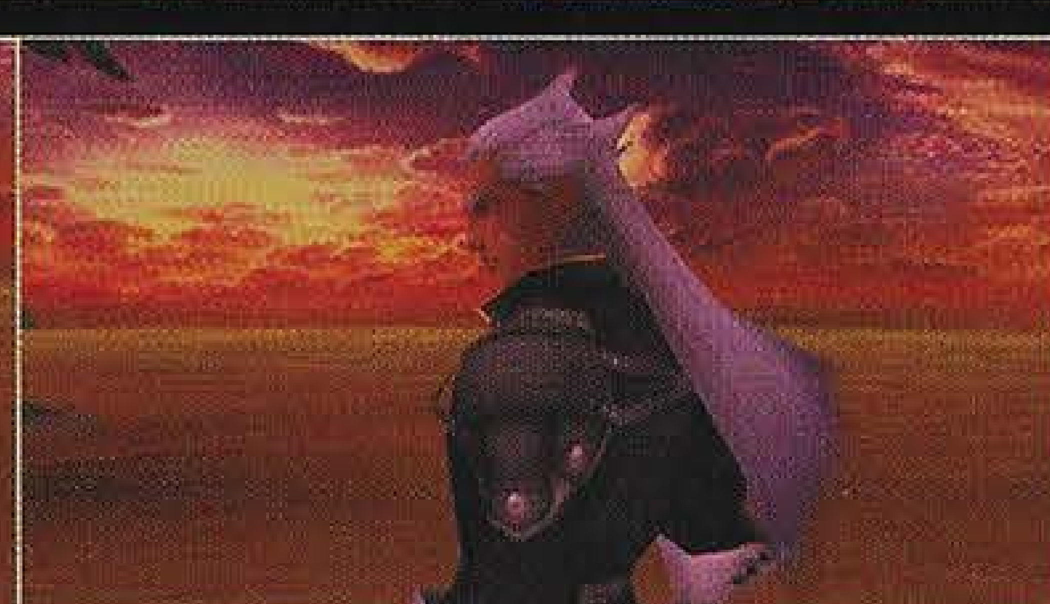


闇の世界を旅する王様や、トワイライトタウンの屋敷におもむくカイリなど、未知のエピソードを匂わせる場面が矢継ぎ早に展開していく。そして、デスティニーアイランドで海をのぞむソラと、忘却の城で眠るヴェントゥスの姿は、前ぶれもなく消えてしまう……。















新たな段階への予兆

Re:coded

アンセムとゼムナスが消滅したことから、マスター・ゼアノートの復活を予見するイェン・シッド。『KH 3D』の物語に深く関わるエピソードだ。





王様がかつての戦友3人――テラ、ヴェントゥス、アクアの救出に意欲を見せる一方、イェン・シッドは、策士であるマスター・ゼアノートの動向を懸念していた。そして、"複数のゼアノート"が現れたときに備えて、マスター承認試験の実施を決定する。



「もし、ゼアノートが一人ではなかったとしたら」

もう一人の光の守護者

3D

真のⅩⅢ機関との決戦を前に、ある人物を不思議な塔へ連れてきたリク。イェン・シッドに呼び出された、その人物とは――。

時間移動を終え、本来の時代にもどった青年ゼアノートは、故郷から水平線を見つめつつ、旅立ちの決意を固めていた。一方、闇の海岸にいるアクアは、どこかおだやかな面持ちで海をながめる。



The darkness awakens 闇は目覚め



The light in the darkness 闇の中の光は――

leads to the last key 最後の鍵へと繋がる





マスター・ゼアノートと対決するには、「13の闇」に対抗しうる「7人の光の守護者」を集めるしかない――そう思案するイェン・シッドと王様のもとへ、リクがもどってくる。リクに連れられて現れたのは、なんとカイリだった。



「そなたもキーブレードが使えると聞き、ここに来てもらった」

すべては

DISNEY SQUARE ENIX

KINGDOM HEARTS III

キングダム ハーツIII

へとつながる

「面倒な段取りだったが予定どおりってことか」



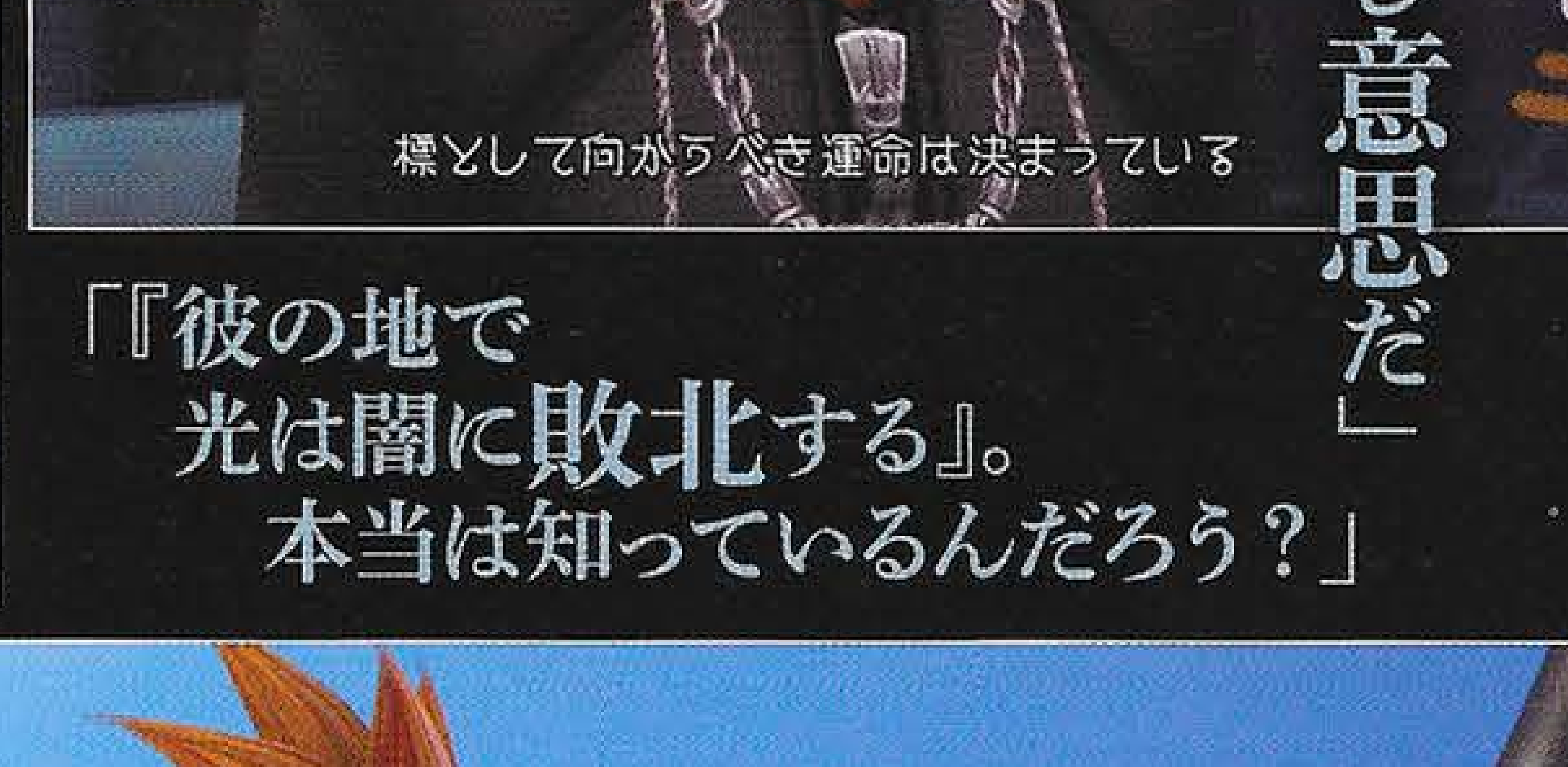
「じゃあ、『ロストマスター』って聞いたことある？」

「初耳だな。どこで聞いたんだよ？」



「で、誰を連れていくんだ？」

「マスター・ゼアノートが持つキーブレードこそが引き継がれし意思だ」



「『彼の地で光は闇に敗北する』。本当は知っているんだろう？」



そして――

ソラたちの大冒険は みたび幕を開ける!!



Message from 野村哲也 (『キングダム ハーツ』シリーズ・ディレクター)

自分はどちらかと言えばゼアノートたち、闇側の人間で、
怒りの心を爆発させて物作りに活かします。
そういう意味では、現在開発中の『キングダム ハーツIII』は、かなりの大爆発なわけです。
毎回、自分とは真逆のソラたちとの戦いは10年以上にもおよび、
いまだに決着はついていません。
きっとこの戦いは長くなるでしょう。
『キングダム ハーツIII』でも、
ソラたちには数々の試練を与えるべく仕掛けを用意しています。
自分も負けるわけにはいきませんので。

そして、きたるべき大戦に備え、彼らとの旅を振り返る一冊が用意されました。
思えば、1作目の『キングダム ハーツ』を作ったときにも大爆発がありました。
こうして資料を見返すと熱を感じます。
これまでソラたちとともに旅をつづけてくださっている
ファンのかたがたの熱も思い起こされます。
その熱によって闇に負けることなく、ソラたちは旅をつづけています。
まだ旅はつづきますが、最後までお付き合いくだされば幸いです。

SE-MOOK

KINGDOM HEARTS SERIES MEMORIAL ULTIMANIA

Before KINGDOM HEARTS III

キングダム ハーツ シリーズ　メモリアル アルティマニア

STAFF

企画・制作
株式会社スクウェア・エニックス【http://www.jp.square-enix.com/】
編 集 長　大矢和裕
編　　集　畠山友子／青島岳志
制作業務　阿部謙一／飯坂佳裕／大岡俊裕

編集・執筆
株式会社スタジオベントスタッフ【http://www.bent.co.jp/】
山下　章(Director)
板場利光(Sub-Director／キャラクターファイル／ワールドガイド／メインストーリープレイバック)
大野優子(用語解説／キャラクターファイル／メインストーリープレイバック)
澤田真之(メインストーリープレイバック／歴代シークレットムービーコレクション／折りこみポスター)
大出綾太(キーブレード図鑑／エネミー事典／アートギャラリー)
中谷　薫／大出啓太／木村昌弘／豊田知行(Editorial Support)

デザイン・DTP
有限会社東京テキスト

協力・監修
ディズニー・インタラクティブ・スタジオ

株式会社スクウェア・エニックス
キングダム ハーツ シリーズ　開発チーム&マーケティング部

2014年10月2日　初版発行

発行人　松浦克義
発行所　株式会社スクウェア・エニックス
〒160-8430　東京都新宿区新宿6-27-30
新宿イーストサイドスクエア

印刷所　凸版印刷株式会社

<書籍内容についてのお問い合わせ>
書籍編集部　03-5292-8306
月～金曜日13:00～18:00(祝日及び弊社指定休日を除く)
<販売・営業についてのお問い合わせ>
出版営業部　03-5292-8326
月～金曜日10:00～17:00(祝日及び弊社指定休日を除く)

ゲームの攻略方法やデータなどのご質問については、お答えしておりません。また、攻略以外のお問い合わせの場合でも、ご質問内容によってはお答えできない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※通話料はお客様のご負担になります

乱丁・落丁本はお取り替え致します。大変お手数ですが、購入された書店名と不具合箇所を明記して、弊社出版業務部宛にお送りください。送料は弊社負担でお取り替え致します。ただし、古書店で購入されたものについては、お取り替えできません。

定価はカバーに表示してあります。

「ニンテンドー3DS」の3D映像は本体でしかご覧いただけません。掲載している画面写真はすべて2D表示のものです。


ISBN978-4-7575-4384-3 C9476 雑誌62012-84


KINGDOM HEARTS SERIES

Character Correlation Diagram

『キングダム ハーツ』シリーズ 人物相関図

……ノーバディと本体の関係　……ノーバディ　……キーブレード使い





"キングダムハーツ"について吹きこむ
兄弟弟子
マスター・エラクゥスの弟子たち
心の闇から生まれる
元師弟
敵対
マスター・エラクゥス
マレフィセント
師弟
旧知の仲
共謀
ヴェントゥス
テラ
アクア
イェン・シッド
ピート
欠けた心をおぎなう
師弟
旧知の仲
キーブレード継承の儀式を行なう
キーブレード継承の儀式を偶然行なう
肉体が同一
友人
敵対
王様
ペットと主人
肉体を奪う
抵抗
協力
リク
カイリ
プルート
幼なじみ
親友
敵対
記憶と力を吸収(のちに返還)
ドナルド・ダック
グーフィー
敵対
ソラ
旅の仲間
ジミニー・クリケット
記憶を操作
利用
同一人物
ナミネ
ディズ
賢者アンセム

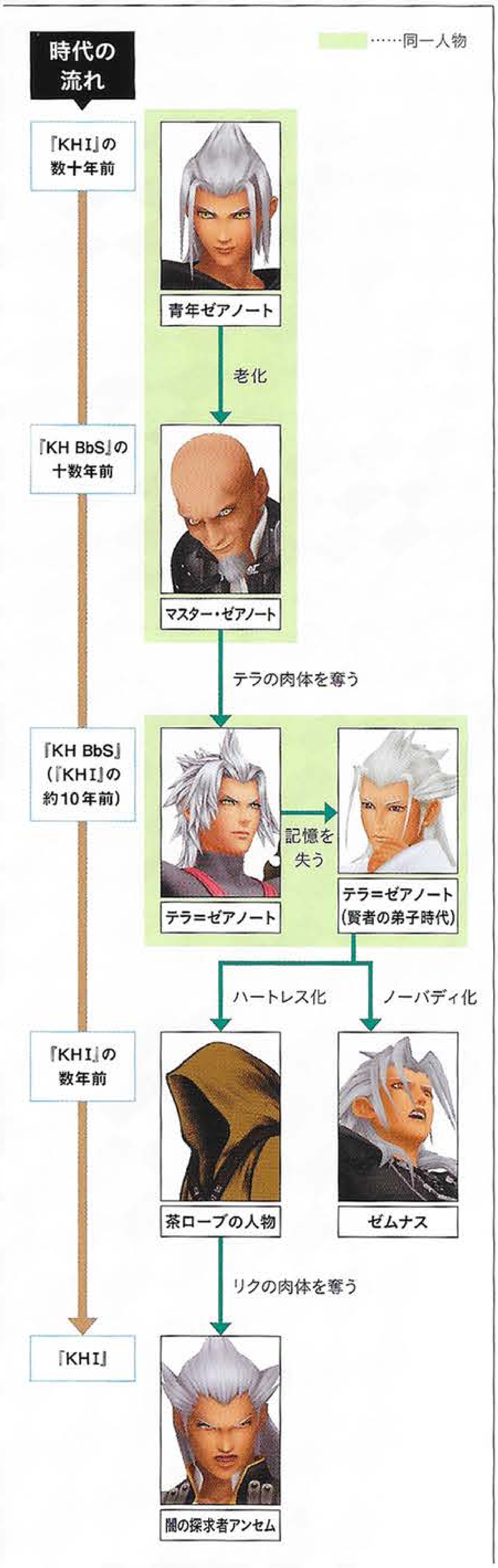
KINGDOM HEARTS SERIES

Xehanort Experience Record

『キングダム ハーツ』シリーズ ゼアノート行動記録

マスター・ゼアノートは、一連の出来事の黒幕と言える人物。彼の分身である"ゼアノートたち"の行動を、『KH 3D』までに判明したぶんについてまとめた。

● "ゼアノートたち"の変遷



時期	青年ゼアノート	マスター・ゼアノート
『KHI』の数十年前	[3D]茶ローブの人物から力を分け与えられ、時間移動が可能になる 故郷のデスティニーアイランドをあとにし、旅立ちの地で兄弟弟子のエラクゥスとともに修行に励む(やがて老人となる)	老化
『KH BbS』開始(『KHI』の約10年前)	未来からもとの時代にもどった青年ゼアノートは、先の時代で得た記憶や経験を失う。しかし、それまでの行動(たどるべき道)が心に標として残り、己の心に突き動かされて島から旅立つことになる。 時間を移動する [BbS FM]時間を移動して旅立ちの地を訪れ、テラ、ヴェントゥス、アクアと対決 『KH BbS FM』において、謎の男として登場。修行する前であるためか、この戦いではキーブレードを使わない。ちなみに、『KH BbS FM』には、マスター・ゼアノートのキーブレードを振るい、ゼムナスの鎧に似た外見をした「ノーハート」という敵も登場する。	[BbS]光を絶対視するマスター…ゥスと決別 [BbS]弟子にしたヴェントゥスの…を取り出し、ヴァニタスを作り出す。…トゥスをχブレードの素材として育…るべく、エラクゥスのもとへ預ける [BbS]エラクゥスに、弟子たちの…承認試験を行なうよう手紙で提案…とアクアのマスター承認試験に立… [BbS]マレフィセントに"キングダ…ツ"について吹きこむ [BbS]レイディアントガーデンに…ブレードに興味を示したブライグと… [BbS]ヴェントゥスとテラをそれ…立ちの地へ誘導。テラとの戦いで…負ったエラクゥスにトドメを刺し、旅…地を闇に飲みこませる [BbS]キーブレード墓場でテラ…し、肉体を奪う(テラ=ゼアノートと… アクアに敗れたテラ=ゼアノートは闇の世界に飲みこまれかけるが、アクアによって救い出される。テラ=ゼアノートのかたわらに残されたアクアの鎧は、テラ=ゼアノートと一緒に賢者アンセムの研究所に回収された。
『KHI』開始	時間を移動する	もとの時間にもどる
『KH Days』開始		
『KH COM』開始		
『KHII』開始(『KHI』の1年後)	"真のXIII機関"の一員として、アイザを回収。彼の顔に刻まれた傷が異端の印「X」と同じ形であるのは、かねてより彼に目をつけていた証だろうか? [Recoded(※1)]時間を移動してレイディアントガーデンへおもむき、ブライグと密談。人間にもどったサイクス(アイザ)をいずこかへ連れ去る	青年ゼアノートは、自分が進む…道を前もってたどり、ソラが眠り…の深淵に堕ちるまでを見て知っ…ていた。その意識はすべてのゼ…アノートの分身に共有され、闇の…探求者アンセムやゼムナスは、…マスター・ゼアノートが求める「7…つの光」や「13の闇」というχブ…レードの素材集めを、知らず知ら…ずのうちに行なうことになる。
『KH 3D』開始	[3D]眠りに閉ざされた世界を旅するソラを夢の深淵へと誘導する [3D]"真のXIII機関"のメンバーを招集し、マスター・ゼアノート本体の復活を見届けたのち、本来の時代へもどる	[3D]己の分身たちに迎えられ、…て復活。ソラを13番目の闇の器に…みずからの闇を注ぎこもうとするが…ちの妨害で失敗し、彼らの前から姿…
『KHIII』へつづく		

※1……『KH HD2.5リミックス』でのみ描かれる

ート

テラ＝ゼアノート

茶ローブの人物

闇の探求者アンセム

ゼムナス

・エラク
心の闇
ヴェン
育てさせ
マスター
し、テラ
ら会う
ダムハー
て、キー
結託
ぞれ旅
深手を
旅立ちの
と対決
なる)

ヴェントゥスをエラクゥスのもとで育てさせたのは、純粋なる光(ヴェントゥス)と闇(ヴァニタス)の心をぶつけてχブレードを作り出すため。また、ヴェントゥスをエラクゥスに預けたさい、修行に励んでいたテラから心の闇を感じ取り、己の器として目星をつける。

表向きは善意の提案を装っているが、本来合格するはずだったテラを不合格に追いこみ、彼に闇の道を歩ませるのが本当の狙い。同じ時期に、ヴァニタスから生まれ出たアンヴァースで各地を混乱させ、テラやヴェントゥスが旅立つきっかけを作る。

純粋な7つの光の心(セブンプリンセス)を集めるために、マレフィセントを利用。ただし、この計画は『KHⅠ』でソラによって阻止される。

テラの肉体を奪う

[BbS]思念を鎧に宿してとどまったテラの抵抗に遭い敗北。χブレード崩壊の余波で飛ばされ、レイディアントガーデンに流れ着く

[BbS]レイディアントガーデンでアクアと対決して敗北。記憶を失い倒れていたところを、ブライグに案内された賢者アンセムによって保護される

賢者の弟子ゼアノートとして才能を発揮。賢者アンセムの実験の被験者となったのち、心の闇に関する研究に没頭。人造ハートレスを生み出す

賢者アンセムを追放。賢者の弟子たちの心を奪って彼らのノーバディを誕生させ、みずからの心も解放する(心が茶ローブの人物に、肉体がゼムナスになる)

ハートレス化

ノーバディ化

肉体を捨てて茶ローブの人物になったことにより、ゼアノートの分身たちは全員、時を超える力を得る。ただし、実際に時を超えたのは、茶ローブの人物と、彼に力を与えられた青年ゼアノートのみ。

[3D]時間をさかのぼって訪れた過去のデスティニーアイランドで、青年ゼアノートにみずからの力を分け与える

時間をさかのぼる

もとの時間にもどる

肉体を捨てたことで時間移動が可能になる

[Ⅰ]闇に飲みこまれる直前のデスティニーアイランドにて、ソラおよびリクと接触

[3D]マスター承認試験のために未来(『KH 3D』の時代)から過去へさかのぼってきたソラおよびリクと接触。ソラに異端の印を刻む

[Ⅰ]ホロウバスティオンにてリクの肉体を乗っ取る(闇の探求者アンセムの姿になる)

このときにテラの思念が宿った鎧は、『KHⅡ FM』においてソラと遭遇。自分が継承させたリクではない彼からキーブレードの気配を感じ、ゼアノートの手の者とカンちがいして襲いかかるも、ソラのなかに眠るヴェントゥスの心を察知し、刃を収める。

過去へもどってきたソラに異端の印を刻むとともに、ゼアノートの分身たちが夢の世界へ侵入するためのポータル(玄関口)としての役割をになう。これらにより、夢の世界を冒険するソラの居場所をつねに把握し、彼に干渉することが可能となった。

リクの肉体を奪う

[Ⅰ]エンド・オブ・ザ・ワールドにて"世界の心のキングダムハーツ"を目指すが、ソラと対決し敗北

[COM]忘却の城を訪れたリクに語りかけ、ふたたびその肉体を乗っ取ろうともくろむが、リクに敗北

ハートレスが消滅

ソラに倒されたアンセムは、ハートレスとしての存在は消滅したものの、その後もリクの心のなかの闇としてひそみつづける。闇の力を解放したリクが『KHⅡ』でアンセムの姿になっているのは、これが原因。

「13の闇の器」のもととなる"ⅩⅢ機関"を完成させるべく、シグバールらに命じて新たな機関メンバーを集めさせる。その一方で、賢者アンセムの研究所の地下にある「眠りの部屋」にアクアの鎧を安置しつつ、忘却の城ではヴェントゥスの本体がいる「目覚めの部屋」を機関員たちに探させる。

"機関"を結成して、存在しなかった世界に拠点を構え、忘却の城を研究施設とする

[ⅠFM][Days]トワイライトタウンに生まれ落ちたロクサスをⅩⅢ機関に迎え入れる

[ⅠFM][ⅡFM]ホロウバスティオンでソラと対決。その後、闇の海岸でロクサスと語らう

[COM]部下を使ってソラを忘却の城に誘いこみ、記憶を奪って「キーブレード使い」の能力を持つレプリカを作ろうとする

[Days]ロクサスやシオンに命じてハートレスを倒させ、"人の心のキングダムハーツ"を作りはじめる

[Days][Ⅱ]立てつづけに機関を脱走したシオンとロクサスを連れもどすよう、アクセルに命じる

[Ⅱ]ⅩⅢ機関のメンバーを引きつれてホロウバスティオンを訪れ、ソラの前に姿を現す

[Ⅱ]存在しなかった世界でソラたちを迎え撃つが、賢者アンセムに"人の心のキングダムハーツ"を消されたうえ、ソラとリクに敗北し消滅

ノーバディが消滅

復活

実体とし
すべく、
、リクた
を消す

「7つの光」と「13の闇」を戦わせ、χブレードを生み出すという目的を果たすべく、マスター・ゼアノートとして復活。しかし、ソラを闇の器にすることに失敗したため、「13人の闇の探求者」は、もともと人数が不足していた「7人の光の守護者」と同様に人員が欠けたまま、それぞれの場所(時代)へ帰ることになる。

[3D]リクに「ソラを助けたければ闇の力を解放しろ」と迫るが敗北

[3D]"真のⅩⅢ機関"の一員としてマスター・ゼアノート本体を迎えたのち、姿を消す

[3D]ソラの前に立ちはだかり、ⅩⅢ機関結成の真の目的を語って交戦。ソラを疲弊させ、眠りから目覚められなくすることに成功する

[3D]"真のⅩⅢ機関"の一員としてマスター・ゼアノート本体を迎えたのち、姿を消す



9784757543843

1929476029003

ISBN978-4-7575-4384-3

C9476 ¥2900E

定価：本体2,900円＋税

雑誌 62012-84